

The Japan Foundation

平成 22 年度（2010 年度）事業実績



国際交流基金

平成 22 年度 (2010 年度) 事業実績



国際交流基金

平成 22 年度（2010 年度）国際交流基金 事業実績 目次

平成 22 年度（2010 年度）国際交流基金事業実績

目次	ii
注	vi
地域分類・国名表記一覧	vii
<文化芸術交流事業に必要な経費>	1
文化協力事業費	1
1. 催し等事業費	2
(1) 文化協力（主催）	2
(2) 文化協力（助成）	4
文化事業費	7
1. 人物交流事業費	8
(1) 文化人招へい	8
2. 催し等事業費	11
(1) 日本文化紹介派遣（主催）	11
(2) 日本文化紹介派遣（助成）	21
市民青少年交流事業費	29
1. 人物交流事業費	30
(1) 受託事業（アセアン）	30
2. 催し等事業費	36
(1) 市民青少年交流（主催／派遣）	36
(2) 市民青少年交流（主催／招へい）	39
(3) 市民青少年交流（助成）	40
造形美術事業費	46
1. 人物交流事業費	47
(1) 受託事業（アセアン）	47
2. 催し等事業費	49
(1) 国際展（国際展参加）	49
(2) 海外展（企画展）	49
(3) 海外展（巡回展）	53
(4) 海外展（助成）	61
(5) 造形美術情報交流（催し）	70
(6) 市民青少年美術交流助成	73
舞台芸術事業費	74
1. 人物交流事業費	75
(1) 舞台芸術情報交流（内田奨学金フェローシップ）	75

2. 催し等事業費	76
(1) 公演（主催）	76
(2) 公演（助成・海外公演〔舞台芸術〕）	82
(3) 公演（助成・PAJ 北米）	108
(4) 公演（助成・PAJ 欧州）	113
(5) 公演（国際舞台芸術共同制作）	116
(6) 舞台芸術情報交流	117
(7) 公演（助成・海外公演〔市民青少年交流〕）	123
映像出版事業費	129
1. 催し等事業費	130
(1) 海外日本映画祭（主催）	130
(2) 海外日本映画祭（助成）	138
(3) 国際漫画賞	142
(4) アニメ文化大使	143
(5) 映像出版情報交流（催し）	143
2. 文化資料事業費	144
(1) テレビ番組交流促進	144
(2) フィルムライブラリー充実（本部）	146
(3) フィルムライブラリー充実（海外）	148
(4) 国際図書展参加	149
(5) 映像出版情報交流（文化資料）	151
3. 日本研究事業費	152
(1) 日本理解促進映像制作（助成）	152
(2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）	153

<日本語普及事業に必要な経費>	156
日本語事業費	156
1. 日本語企画調整費	157
(1) 海外日本語教育機関等調査	157
2. 日本語派遣・助成費	158
(1) 受託事業（アセアン 第二期）	158
(2) 受託事業（アセアン 第三期）	161
(3) 日本語専門家派遣（日本語上級専門家）	165
(4) 日本語専門家派遣（日本語専門家）	172
(5) 国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）	177
(6) 日本語専門家派遣（日本語指導助手）	183
(7) 日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）	184
(8) さくら中核事業（基金海外拠点）	185
(9) さくら中核事業（非基金海外拠点）	188

(10) 日本語普及活動助成	190
3. 研修事業費	199
(1) EPA 研修 (交付金)	199
(2) EPA 研修 (受託)	199
4. 日本語能力試験費	200
(1) 日本語能力試験実施	200
(2) 試験問題作成・分析評価	201
附属機関日本語国際センター事業費	202
1. 研修事業費	203
(1) 指導的日本語教師の養成 (日本語教育指導者)	203
(2) 指導的日本語教師の養成 (海外日本語教師上級研修)	204
(3) 海外日本語教師研修 (長期)	205
(4) 海外日本語教師研修 (短期)	206
(5) 海外日本語教師研修 (国別)	209
(6) 受託研修 (日本語国際センター)	209
(7) 受託研修 (日本語国際センター) [アセアン]	210
(8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]	211
2. 制作事業費	212
(1) 日本語教材・教授法等開発・普及	212
(2) 図書館運営 (日本語国際センター)	214
附属機関関西国際センター事業費	215
1. 研修事業費	216
(1) 図書館運営 (関西国際センター)	216
(2) 専門日本語研修 (外交官)	217
(3) 専門日本語研修 (公務員)	219
(4) 専門日本語研修 (文化・学術専門家)	221
(5) 日本語学習者訪日研修 (各国成績優秀者)	222
(6) 日本語学習者訪日研修 (大学生) (関西国際センター)	225
(7) 日本語学習者訪日研修 (高校生) (関西国際センター)	227
(8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	227
(9) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修	228
(10) 地域交流研修 (関西国際センター)	228
(11) 在日外交官日本語研修	230
(12) 受託研修 (関西国際センター)	231
(13) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン]	232
(14) 受託研修 (関西国際センター) [サーク]	234
(15) 国内連携による日本語普及支援 (招へい)	235
(16) Eラーニング開発事業	238
<日本研究・知的交流事業に必要な経費>	239
日中交流センター事業費	239

1. 人物交流事業費	240
(1) 受託事業 (日中交流センター)	240
(2) 中国高校生の招へい事業	241
(3) ネットワーク整備事業 (派遣)	242
(4) ネットワーク整備事業 (招へい)	243
2. 催し等事業費	244
(1) 中国「ふれあいの場」事業 (共同設置)	244
(2) 中国「ふれあいの場」事業 (助成)	245
3. 文化資料事業費	246
(1) ネットワーク整備事業 (ウェブサイト構築・運営)	246
4. 調査研究費	246
(1) ネットワーク整備事業 (交流担い手ネットワーク構築)	246
米州交流事業費	247
1. 日本研究事業費	248
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]	248
(2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]	249
(3) 日本研究機関支援 [米州]	249
2. 人物交流事業費	251
(1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [米州]	251
(2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [米州]	252
(3) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [米州]	255
3. 催し等事業費	257
(1) 知的交流会議 (主催) [米州]	257
(2) 知的交流会議 (助成) [米州]	258
(3) 人材育成グラント [米州]	259
アジア・大洋州交流事業費	260
1. 日本研究事業費	261
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]	261
(2) 北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)	264
(3) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)	265
(4) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)	266
(5) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)	267
(6) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)	268
(7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)	268
(8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]	269
(9) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]	272
2. 人物交流事業費	274
(1) 受託事業 (アセアン)	274
(2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]	282
(3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [アジア・大洋州]	286
(4) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]	289

(5) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)	290	(1) 国内連携促進	351
(6) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]	291	2. 文化資料事業費	352
3. 催し等事業費	292	(1) 広報 (情報センター)	352
(1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]	292	(2) 年次報告	353
(2) 知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]	299	(3) ウェブサイト・メールマガジン	353
(3) 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]	303	(4) JF サポーターズクラブ	354
(4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]	305	3. 調査研究費	354
欧州・中東・アフリカ交流事業費	307	(1) JFIC 事業	354
1. 日本研究事業費	308	(2) 国際交流顕彰事業 (基金賞)	355
(1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	308	(3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)	356
(2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	309	4. その他	357
(3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]	310	(1) 後援名義の付与	357
2. 人物交流事業費	312	企画・評価費	372
(1) 日本研究フェローシップ		1. 調査研究費	373
(学者・研究者 長期) [欧州・中東・アフリカ]	312	(1) 調査研究	373
(2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]	314	(2) 事業評価 (企画評価)	374
(3) 日本研究フェローシップ		文化事情調査費	375
(学者・研究者 短期) [欧州・中東・アフリカ]	316	1. 調査研究費	376
(4) 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]	318	(1) 文化事情調査	376
3. 催し等事業費	320	国際文化交流研究センター事業費	377
(1) 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]	320	1. 調査研究費	378
(2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]	323	(1) 機関連携事業	378
(3) 人材育成グラント [欧州・中東・アフリカ]	327	(2) 調査研究	379
日米センター運営管理費	329	事業開発戦略室事業費	380
1. ニューヨーク日米センター事業費	330	1. 催し等事業費	381
(1) 知的交流小規模助成	330	(1) 事業開発 (催し)	381
(2) 教育アウトリーチ支援小規模助成	331	2. 文化資料事業費	383
(3) 地域・草の根交流小規模助成	334	(1) 事業開発 (文化資料)	383
(4) 日米協会支援	335	<在外事業に必要な経費>	384
日米交流推進費	337	京都支部	385
1. 人物交流事業費	338	1. 京都支部	385
(1) 安倍フェローシップ	338	海外拠点	390
(2) 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)	339	1. ローマ日本文化会館	390
2. 催し等事業費	340	2. ケルン日本文化会館	399
(1) 日米交流支援 (助成)	340	3. パリ日本文化会館	408
(2) 日米交流支援 (主催)	349	4. ソウル日本文化センター	421
<調査研究及び情報提供事業等に必要な経費>	350	5. 北京日本文化センター	433
情報センター事業費	350	6. ジャカルタ日本文化センター	441
1. 催し等事業費	351		

7. バンコク日本文化センター	454
8. マニラ日本文化センター	462
9. クアラルンプール日本文化センター	470
10. ニューデリー日本文化センター	480
11. シドニー日本文化センター	486
12. トロント日本文化センター	493
13. ニューヨーク日本文化センター	505
14. ロサンゼルス日本文化センター	515
15. メキシコ日本文化センター	522
16. サンパウロ日本文化センター	527
17. ロンドン日本文化センター	540
18. マドリード日本文化センター	550
19. ブダペスト日本文化センター	561
20. モスクワ日本文化センター	566
21. カイロ日本文化センター	581
22. ベトナム日本文化交流センター	585

<文化交流施設等協力事業に必要な経費> 593

文化交流施設等協力事業費	593
1. 文化交流施設等協力事業費	594
(1) 人物交流特定寄附	594
(2) 日本研究特定寄附	594
(3) 日本語特定寄附	595
(4) 催し等特定寄附	596
(5) 文化紹介特定寄附	597
(6) 文化交流施設等特定寄附	597

プログラム名索引 (五十音順) 598

(注)

1. 期 間

- (1) 本書で扱う事業実績は、事業の実施期間が平成 22 事業年度（2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日）内のもの、および実施期間の一部がこの年度にかかっているものを対象としている。
- (2) 各事業の実施期間は次による。
 - ・人物の派遣・招へい：派遣期間または招へい期間
 - ・展覧会／公演／映画祭／会議・セミナー等の実施：実施期間（開催日、公演日、実施日）または総巡回期間
 - ・上記を除く助成事業：助成対象期間
 - ・調査：調査実施期間
 - ・出版物の刊行：発行日

2. 地域・国

- (1) 地域分類および国名表記は別表のとおり。
- (2) 各事業の実施対象国は次による。
 - ・人物の派遣：派遣先国
 - ・人物の招へい：被招へい者の所属国
 - ・展覧会／公演／映画祭等の実施
 - 海外で実施される場合：実施国
 - 国内で実施される場合：参加国またはテーマ国
 - ・リサーチ／会議／セミナー等の実施
 - 主催事業の場合：参加国またはテーマ国、対象者（機関）所在国
 - 助成事業の場合：助成対象者（機関）所在国
 - ・図書／フィルム等の寄贈・配布：寄贈・配布先国
 - ・出版物の刊行：配布先国
 - ・上記を除く助成事業：助成対象者（機関）所在国

3. 海外拠点の事業

海外拠点の経費は、年平均のレートで円換算し、小数点以下は切り捨て。

※ 2001年度より、本書で扱う事業実績額は、プロジェクトごとにまとめている。

(別表) 地域分類・国名表記一覧

(2014年10月現在)

大地域分類	小地域分類	国・地域 (通称、五十音順)
アジア地域	東アジア地域	韓国、台湾、中国、日本、モンゴル
	東南アジア地域	インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、東ティモール、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス
	南アジア地域	インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ
大洋州地域	大洋州地域	オーストラリア、キリバス、クック諸島、サモア、ソロモン、ツバル、トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、フィジー、マーシャル、ミクロネシア
米州地域	北米地域	カナダ、米国
	中米地域	アンティグア・バーブーダ、エルサルバドル、キューバ、グアテマラ、グレナダ、コスタリカ、ジャマイカ、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、セントルシア、ドミニカ、ドミニカ共和国、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、ハイチ、パナマ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、ホンジュラス、メキシコ
	南米地域	アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、チリ、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア
欧州地域	西欧地域	アイスランド、アイルランド、アンドラ、イタリア、英国、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、サンマリノ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、バチカン、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、マルタ、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク
	東欧地域	アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、グルジア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア
中東地域	中東地域	アフガニスタン、アラブ首長国連邦、イエメン、イスラエル、イラク、イラン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、トルコ、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン
	北アフリカ地域	アルジェリア、エジプト、スーダン、チュニジア、モロッコ、リビア
アフリカ地域	アフリカ地域	アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カーボヴェルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボワール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジンバブエ、スワジランド、セーシェル、赤道ギニア、セネガル、ソマリア、タンザニア、チャド、中央アフリカ、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ共和国、南スーダン、モーリシャス、モーリタニア、モザンビーク、リベリア、ルワンダ、レソト

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 催し等事業費

(1) 文化協力（主催）

(2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (1) 文化協力 (主催)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー、ワークショップ等を実施する。

合計額 15,855,902 円

事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1 博物館運営支援(派遣)	青木 繁夫 小林 公治	サイバー大学世界遺産学部 教授 九州国立博物館文化財課資料管理室室長	モンゴル	在モンゴル大使館	2010.10.09 ~ 2010.10.24	カラコルム博物館の開館を前に、新たに採用された博物館員他に対して博物館運営や展示物・遺物の維持管理に関する知識や技術のスキル・アップを目的に、専門家2名を派遣し、ワークショップ研修を実施。青木繁夫は、博物館資料保存を、小林公治は資料展示を担当
2 日本の伝統工芸品展示支援(招へい)	Dorota Roz-Mielecka	ブロッツワフ国立博物館東洋美術部門キュレーター	ポーランド	関鍛冶伝承館 石川県立博物館 石川県立輪島漆芸技術研究所 刀剣博物館 東京国立博物館	2010.11.04 ~ 2010.11.25	ヴロツワフ国立博物館が2011年上半期に刀剣展を、2011~12年にかけて漆器展を開催予定であることから、その展示準備等に向けた知見と技術を習得させるため、ドロタ・ルシ・ミエレツカ(同博物館東洋美術部門キュレーター)を3週間日本に招へい。日本の伝統工芸(特に刀剣、漆器)について研修を実施
3 樺太時代の文化遺産保存・修復支援(派遣)	角 幸博(かど・ゆきひろ) 伊藤雅彦 渡辺一幸 八木真爾 飯田信男 林文浩 疋良一	北海道大学大学院工学研究科特任教授・名誉教授 株式会社伊藤 北電総合設計株式会社 株式会社佐藤総合計画 飯田ウッドワークシステム 株式会社梵陶石 ファインテクノ	ロシア	在ユジノサハリンスク総領事館	2010.10.05 ~ 2010.10.09	ユジノサハリンスクに現存する史跡・文化遺産(拓殖銀行大泊支店等の歴史的建築物)の保存・整備に係わる建築専門家7名を派遣し、現地調査を実施

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
4	柔道人材育成支援 (派遣)	山下 泰裕 井上 康生	柔道家／東海大学 体育学部 学部長 柔道家	イスラエル パレスチナ	在イスラエル大使館	2010.07.17 ～ 2010.07.23	在イスラエル大使館の要請に基づき、山下泰裕による講演、井上康生による柔道指導及びイスラエル・パレスチナ合同の柔道教室を実施。本事業を通じて、イスラエル・パレスチナ両国の交流を促進することにより、両国の柔道の担い手育成と技術的蓄積を支援するとともに、中東和平の進展に貢献することを目的とする
5	イラクにおける日本写真展 <i>Japan the Land of Gold, as I saw it</i> 開催協力	Fuad Shaker	写真家	イラク	イラク文化支援協会(Iraqi Cultural Support Association) 在イラク大使館	2011.03.21 ～ 2011.03.30	本年度「文化人招へい」プログラムで来日したイラク人写真家ファード・シャーキルが訪日中(2010.07.26～08.08)に撮影した写真を中心に作品90点をバグダッドのIraq Plastic Artists Societyギャラリーにて展示
6	空手人材育成支援 (派遣)	土屋 秀人	空手家	サウジアラビア	在サウジアラビア大使館	2011.01.11 ～ 2011.03.31	日本の空手専門家によるサウジアラビア空手選手への指導及び教育施設等での演武披露を通して、現地での日本文化の理解を促進
7	カマン遺跡文化財展示・保存支援 (平成21年度事業継続分)	永金 宏文	株式会社ディグ 社長／展示ディレクター	トルコ	カマン・カレホユック博物館	2010.02.28 ～ 2010.04.13	永金宏文を2009年5月19～29日、2010年2月28日～4月13日の2回にわたりカマン・カレホユック考古学博物館に派遣し、同博物館におけるカマン遺跡からの出土品の展示・陳列計画の策定方法を指導し、将来的な現地主導での博物館運営のために現地専門家を指導・育成
8	カマン遺跡文化財展示・保存支援	永金 宏文	株式会社ディグ 社長／展示ディレクター	トルコ	カマン・カレホユック博物館	2010.06.04 ～ 2010.07.18	カマン・カレホユック考古学博物館における博物館遺物展示等設置作業、遺跡資料模型、集落想像復元模型製作指導、写真、説明、図版パネル原案作成、発注、設置指導(トルコ若手学芸員への技術指導)のため、永金宏文を平成21年度に引き続き派遣
9	柔道人材育成支援	永井 多恵子	柔道家	コートジボワール	在コートジボワール大使館	2010.11.25 ～ 2010.12.13	柔道家を派遣し、アビジャンの道場「希望館」において有段者の若手柔道家を対象に柔道を指導

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (2) 文化協力 (助成)

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、日本の機関が実施する国際共同事業に対し、経費の一部を助成する。

合計額 14,478,503 円

	事業名	助成対象者 (機関・個人)	対象国	期間	事業内容
1	正倉院所蔵天平文化財復元・復興プロジェクト (派遣)	一般社団法人天平芸術研究所	中国	2010.05.12 ~ 2011.02.22	正倉院に保存されている中国・唐時代の楽器及び衣裳などの文化財を復元・復興するため、日本から専門家6名が訪中。北京中国音楽学院大学、大連大学等の大学や工房で講演・指導を実施。日本から中村芳子 (ファッションコーディネーター)、柘植元一 (東京藝術大学名誉教授)、畠中恵子 (一般社団法人天平芸術研究所理事)、米田雄介 (一般社団法人天平芸術研究所理事)、劉宏軍 (一般社団法人天平芸術研究所理事)、鈴木肇 (中国伝媒大学南広学院教授) の6名の専門家を派遣
2	スラウェシ、ブトン島バウバウ市社会へのウォリオ城考古学調査成果の還元活動 (派遣)	特定非営利活動法人アジア文化財協力協会	インドネシア	2011.01.26 ~ 2011.02.02	東南アジアで最大規模の近世城跡で、膨大な陶磁器が発見された、南東スラウェシ州バウバウ市に残るウォリオ城跡で、その陶磁器の性格、城の構造の解明を目的に協力活動を行い、日本語・インドネシア語併記の発掘調査報告書を刊行。この城には現在でも貴族子孫約1,000名が居住し、城下町であるバウバウ市民にとっても城は精神的な拠り所となっているため、市民に調査成果を分かり易く伝える説明会を行う事業を実施。同事業実施のために日本から坂井隆 (アジア文化財協力協会副理事/台湾大学助教授)、山口裕子 (吉備国際大学講師)、生田滋 (大東文化大学名誉教授)、川口洋平 (長崎県教育委員会文化財主事)、大橋康二 (特定非営利活動法人アジア文化財協力協会理事)、瀧本正志 (福岡市教育委員会文化財主事)、野上健紀 (佐賀県有田町歴史民族資料館) の7名の専門家を派遣
3	カンボジア・オンドルルッセイ村におけるオカリナ製作普及活動 (派遣)	樹 紫苑 (いつき・しおん) 翻訳家/音楽家/オフィス樹エージェンシー 代表	カンボジア	2011.01.23 ~ 2011.01.30	日本の益子焼の技術を使い、コンボンチュナン町のカンボジアの伝統的製陶技術「クメール焼」を復活させ、人々の自立を支援するべく2009年から実施している技術支援の発展事業。外貨獲得のための商品としてオカリナ製作を技術指導。併せて基本的な演奏技術の指導、小学校や孤児院でのプロ演奏などを通じ、オカリナ音楽の楽しさを現地に伝える事業を実施
4	釉薬を用いた高火度焼成技術と様々な成形技術伝達 (派遣)	丸山 武 陶芸家	フィリピン	2010.08.01 ~ 2010.12.28	テラコッタ (素焼き) 技術が主流の現地で、大学生・アーティストを対象に、釉薬を用いた高火度焼成の技術を伝達する事業をドゥマゲッティ市のファウンデーション大学 (Foundation University) にて実施

文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
5	ホイアン町並み保存II	友田 博通 昭和女子大学国際文化研究所 教授	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ホイアン遺跡は、「世界遺産」に登録されたことで観光地として急速に発展を遂げたが、遺跡保存の観点からは危機的状況にあるとユネスコから警告を受けている。ホイアン遺跡管理事務所の保存計画の見直しと能力強化のための支援を実施
6	古代チャンパー音楽の収集と資料化事業（派遣）	ベトナム文化芸術研究所	ベトナム	2010.11.15 ~ 2010.11.25	日本とベトナムの12名の研究者が、両国のチャンパー音楽（日本では林邑楽）を収集し、その比較研究を行なうことでチャンパー音楽と林邑楽の共通性と相違を明らかにする。ベトナムの研究者が日本の収集・保存技術を学ぶことによりベトナムにおけるチャンパー音楽のより良い記録と保存の技術移転を目指すプロジェクト
7	オーケストラ演奏技術の向上のための育成ワークショップ（派遣）	スリランカ交響楽団	スリランカ	2010.10.17 ~ 2010.11.08	外国人プロ奏者及び指揮者による指導が必要な、スリランカ交響楽団の団員に対して、過去に交流の実績があり、その指導に定評がある小林恵子（指揮者／洗足学園音楽大学講師）、木原亜土（クラリネット奏者／The Wind Waveメンバー）が演奏を指導
8	グアテマラ及びホンジュラスにおけるマヤ文明世界遺産の保存活用計画（派遣）	中村 誠一 サイバー大学世界遺産学部 教授	グアテマラ ホンジュラス	2010.04.20 ~ 2011.01.31	グアテマラでの「ティカル国立公園（世界複合遺産）文化遺産保存研究センター建設計画」のグアテマラ文化・スポーツ省の準備プロセスを指導。またホンジュラスでの世界遺産を政府が保全し、文化・観光資源として活用し、平和構築するための政府機関、ホンジュラス国立人類学歴史学研究所へ助言を実施
9	日本美術保存マニュアル作成（招へい）	BARLES BAGUENA, Elena サラゴサ大学哲文学部美術史科 教授	スペイン	2010.08.31 ~ 2010.09.12	和紙や漆という素材からなる日本の工芸品の取扱い方及び基本的保存方法に関するスペイン語マニュアル作成のため、スペインから専門家3名が来日。国内の博物館や伝統技術を受け継ぐ研究所や商店等を訪問して和紙・浮世絵・漆器等の製作工程について理解を深め、また保存技術の研修を受けた
10	ウズベキスタンにおける文化遺産保存修復技術実技講習（派遣）	古庄 浩明 駒澤大学文学部歴史学科 非常勤講師	ウズベキスタン	2010.09.21 ~ 2010.10.15	古庄浩明を始め日本人専門家5名がウズベキスタン芸術アカデミーに赴き、ウズベキスタン共和国で急務となっている若手考古学者や保存修復専門家の人材育成に協力。日本の保存・修復技術の技術移転を図り、またこの活動を通じてウズベキスタンを含む中央アジア諸国と日本との文化遺産保護分野におけるネットワークを構築

文化協力事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
11	世界遺産教育（派遣）	日高 健一郎 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 世界文化遺産学専攻長（教授）	シリア リビア	2010.04.01 ～ 2011.03.31	岡本篤志（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター研究員）、高根沢均（神戸夙川学院大学観光学部講師）、佐藤希美子（筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学博士後期課程）、水嶋英治（常磐大学コミュニティ振興学部教授）、日高健一郎（教授）の5名がシリアとリビアを訪れ、ダマスカス大学やオマール・アル・ムクタール大学、ガル・ユニス大学、リビア政府考古学局等主に考古学部に在籍の学生を対象に、地域の文化遺産保護意識を高めると共に、日本の国際貢献の事例を示すことを目的とした世界遺産保護のための講義、演習を実施
12	スーダン共和国におけるカジュバルダム水没危機遺跡救済と文化遺産の保存活用に関するプロジェクト（派遣）	関廣 尚世 広島大学石灰岩地帯一人と自然の共生プロジェクト研究センター	スーダン	2011.02.07 ～ 2011.03.03	関廣尚世（せきひろ・なおよ：広島大学石灰岩地帯一人と自然の共生プロジェクト研究センター）、村治笙子（古代オリエント博物館 講師）の2名がスーダンを訪れ、カジュバルダム水没危機遺跡群の現地確認と支援案の立案し、また日本の壁画の専門家と共に、砂岩に描かれた壁画やレリーフの風化や劣化に対する支援案を立案する等で協力。更に文化遺産における長期的な研究者の育成と、保存修復技術を中心とした技術支援を円滑に行っていくための基盤形成を行う事業を実施

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

(1) 文化人招へい

2. 催し等事業費

(1) 日本文化紹介派遣 (主催)

(2) 日本文化紹介派遣 (助成)

文化事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 文化人招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家等との意見交換の機会を提供する。

合計額 55,108,274 円

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	LIM, Youn Churl (林然哲)	国立中央劇場 劇場長	韓国	2011.01.28 ~ 2011.02.07	劇場運営について関係者との意見交換及び地域劇場視察のため、東京・秋田・静岡・兵庫県宝塚・岐阜県可児を訪問
2	NAMSRAI, Suvd	国立ドラマ劇場 副館長	モンゴル	2011.01.14 ~ 2011.01.28	舞台芸術関係者及び女性のための教育・キャリア形成支援に関わる団体の関係者を訪問し、長期的な協力関係の構築を目的として国際演劇協会日本センター、日本芸能実演家団体協議会、南魚沼アジア交流会のほか、各地の劇場、芸術系教育機関を訪問
3	Thepchai YONG	タイ公共放送サービス(タイPBS) 会長	タイ	2011.03.01 ~ 2011.03.10	(1)公共放送サービスをはじめとするテレビ産業関係者との意見交換、ネットワーク構築(2)日本と近隣諸国(中国や東南アジア)との関わりや高齢社会、ポップカルチャー、ニューメディアなど、現代社会についての意見交換(3)日本の文化事情視察
4	SUNICO, Raul M.	フィリピン文化センター 副館長・芸術監督	フィリピン	2010.11.01 ~ 2010.11.14	日本の芸術文化活動の視察、文化行政関係者との意見交換のため、文化庁、企業メセナ協議会、日本芸術文化振興会等を訪問
5	ベトナム中央文学芸術協会 連合会グループ(11名)		ベトナム	2010.03.28 ~ 2010.04.07	ベトナム中央文学芸術協会連合を形成する作家協会、舞台協会、美術協会、映画協会、音楽協会、舞踊協会、建築協会、写真協会、民間文化協会、少数民族文学協会の代表団一行が、日本の当該分野の関係団体と交流しネットワークを構築
	Cao Viet Dung	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社 翻訳家			
	Do Thi Thu Ha	若者新聞 記者			
	Huynh Vinh Son	解放映画社 アニメ監督			
	Luong Viet Dung	ニャ・ナム出版・コミュニケーション株式会社 通訳・翻訳家			
	Nguyen Nhu Huy	キュレーター			
	Nguyen Quang Dung	映画監督			
	Nguyen Thanh Loc	タイズオン舞台芸術有限会社			
	Nguyen Vinh Tien	T&T越仏建築TM株式会社 (Tグループ)会長/建築家			
	Pham Khanh Linh	歌手			

文化事業費

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Tran Huyen Sam Truong Duc Tri	フエ教育大学／文学評論家 ミュージック・フェイス社 副社長／作曲家			
6	DAS, Jatin	美術家／インド芸術院 (RSA) 理事／インド芸術文 化遺産トラスト (INTACH) 終身会員／ジャミア・ミリ ア・イスラミア大学名誉教 授	インド	2010.09.26 ～ 2010.10.10	インド現代美術の大家であり、自ら芸術家養成学校を主宰するジャ ティン・ダスを招へい。国内各地の美術館を中心に視察し、関係者 と意見交換を行うとともに、一般市民を対象としたインド美術に関 する講演会を実施
7	AHMED NASIR, Tauqeer	国立美術館 (パキスタン国 立芸術評議会) 館長	パキスタン	2010.07.26 ～ 2010.08.09	映画・テレビドラマ関連施設視察及び関係者とのネットワーク構 築、無形文化財アーカイブに関する情報収集のため、東京・京都な どを訪問
8	BENNETT, James	南オーストラリア州立美術 館 アジア担当学芸員	オーストラリア	2010.11.05 ～ 2010.11.18	国内各地の美術館等を訪問し、日本美術・日本文化に関する見識と 人的ネットワークを構築し、帰国後に日本文化をオーストラリアで 広める一助とする。一般市民を対象としたオーストラリアに保管さ れているアジア美術についての講演会を実施
9	PERALTA, Chichi	歌手／作曲家／打楽器演奏 者	ドミニカ共和国	2010.10.02 ～ 2010.10.16	ドミニカ共和国の国民的歌手、チチ・ペラルタを招へい。日本の伝 統音楽事情の視察、ドミニカ共和国・日本両国間の音楽交流を担う 関係者とのネットワーク構築のため、東京・京都・福岡などを訪 問。東京 (10.06セルバンテス文化センター及び10.14羽村市生涯学 習センターゆとろぎ) と福岡 (10.11ラテン文化センター・ティエ ンポ) にて、市民向けにドミニカ音楽紹介レクチャー「ドミニカ共 和国とカリブの多極的なリズムの歴史と発展」等を開催
10	THARP, Kenneth	ザ・プレイス 最高責任者	英国	2011.02.23 ～ 2011.03.06	舞台芸術 (特にコンテンポラリー・ダンス) 関係者やアーティスト との意見交換および各種機関訪問のため、東京・新潟・神戸・京 都・大阪・山口を訪問。東京 (02.27) 及び神戸 (03.01) にて市民 向けセミナー「英国でコンテンポラリーダンスが生まれ、育つ場— 『ザ・プレイス』の仕組みと現状を語る」を開催
11	BRENK, Tobias WALSER, Dagmar ASCHEBRENNER, Max-Philip GERSTENBERG, Judith ORTMANN, Lucie	バーゼル・カゼルネ ドラ マトゥルク スイス国営ラジオDRS2局演 劇部門チーフディレクター 世界演劇フェスティバル共 同プログラムキュレーター ハノーファー州立劇場主任 ドラマトゥルク ケルン市立劇場ドラマトゥ ルク	スイス ドイツ	2010.11.23 ～ 2010.12.02 2010.11.23 ～ 2010.12.07 2010.11.23 ～ 2010.11.30 2010.11.23 ～ 2010.12.07 2010.11.27 ～ 2010.12.07	2011年の日独交流150周年のイベントとして、舞台芸術分野に おける日・独語圏の相互理解の促進、ネットワーク形成と新たな事 業の発案・展開を目的に、独語圏各地の劇場で活躍する若手・中堅 のキュレーター、ドラマトゥルクをグループで招へい。関係機関の 視察や日本側専門家との意見・情報交換を行った他、東京ドイツ文 化センターにおいてそれぞれが関与する演劇フェスティバルの紹介 など、ドイツの現代演劇事情に関する講演を実施

文化事業費

	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	WAGNER, Almut	デュッセルドルフ劇場主任 ドラマトゥルク		2010.11.23 ~ 2010.12.07	
12	DURING, Elie	パリ第10大学哲学科 准教授	フランス	2011.02.11 ~ 2011.02.24	日本の現代思想、美術、建築、科学哲学等幅広い分野の専門家との交流を通じ、日仏間の知的交流を促進
13	ZINK, Rui	作家／リスボン新大学人文 社会科学部ポルトガル学科 准教授	ポルトガル	2010.07.04 ~ 2010.07.15	日本の文学者、出版関係者、ラテン文学研究者とのネットワーク構築のため、日本ペンクラブ等を訪問。上智大学ポルトガル語学科（07.08）で、東京大学文学部（07.09）においてポルトガル文学に関する講演を実施
14	BARNABAS, Bencsik	ルードヴィグ美術館 館長	ハンガリー	2010.10.12 ~ 2010.10.27	ハンガリー最大の現代美術コレクションを有するルードヴィグ美術館より館長を招へい。日本の現代美術関係者とのネットワーク構築のため、関係機関を訪問。京都市立芸術大学ギャラリー（10.16）において中東欧美術の現況についての講演を実施
15	ZAGARS, Andrejs	ラトビア国立オペラ劇場 総支配人	ラトビア	2011.02.14 ~ 2011.02.28	オペラ関係者とのネットワーク構築、日本の舞台芸術の現状視察、芸術文化施設視察のため、東京・神奈川・金沢・滋賀・京都などを訪問
16	PATAPIEVICI, Horia-Roman	ルーマニア文化会館 館長	ルーマニア	2011.02.01 ~ 2011.02.15	日本の現代及び伝統文化の両側面の考察及び文化関連施設視察のため、文化研究者、各機関・団体の関係者と面談。ルーマニア大使館（02.24）において一般市民向けにルーマニア文化に関する講演会を実施
17	GULZAMAN	アフガニスタン・シンガー ズ・ユニオン 代表代行/ 音楽家	アフガニスタン	2010.03.24 ~ 2010.04.04	アフガニスタン伝統音楽の紹介（演奏・歌唱披露）、日本の伝統音楽関係者との交流、ならびに日本文化・社会事業の視察
18	YOSSI Tal-Gan	イスラエル・フェスティバル 総監督	イスラエル	2011.03.06 ~ 2011.03.15	歌舞伎及びコンテンポラリーダンスの公演鑑賞、舞台芸術関係者との意見交換のため、東京・大阪・福岡・山口などを訪問
19	SHAKER, Fuad	写真家／イラク写真協会 会員	イラク	2010.07.26 ~ 2010.08.08	日本の写真家や写真関連施設を訪問するとともに、東京・長崎・広島等で日本の発展を象徴する建物や人々の生活風景を撮影
20	AL-NAJJAR, Abdulla	カタール美術館庁 長官	カタール	2010.10.01 ~ 2010.10.14	日本の博物館との運営・技術面での連携、2012年日本・カタール国交樹立40周年関連事業の日本側関係者と意見交換を実施
21	TANER, Gorgun	イスタンブール文化芸術基金（IKSV） 総合ディレクター	トルコ	2010.11.13 ~ 2010.11.20	日本の文化基金、芸術関連施設視察及び日本側関係者との意見交換
22	ANDRIANARIMANANA, Jean-Baptiste	音楽グループ「ザンバ」 団長	マダガスカル	2010.07.23 ~ 2010.08.06	日本の伝統楽器演奏者との交流のため、日本の音楽関係者と面談。東京藝術大学（07.29）においてマダガスカルの伝統音楽を例に、伝統文化とグローバル化についての講演、ワークショップ、デモンストレーションを実施

文化事業費

2. 催し等事業費 / (1) 日本文化紹介派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う。(音楽・演劇・舞踊・民俗芸能等公演事業を除く)

合計額 108,842,973 円

事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
1 現代文学	片山 恭一	作家	韓国	韓南大学	2010.10.08 ~ 2010.10.09	10月初旬の韓国「昌原ジャパン・ウィーク」にあわせて、『世界の中心で、愛をさけぶ』がベストセラーとなり、韓国語翻訳作品のある作家、片山恭一を派遣し、講演会や翻訳者との対談を実施。また中国でも、これまでに7冊の翻訳書が出版されている同氏の講演会・交流会を実施することで、日本文学に対する親近感と理解の増進を図った
				教保文庫	2010.10.06 ~ 2010.10.07	
			中国	昌原大学	2010.10.04 ~ 2010.10.05	
				時尚廊	2010.10.14 ~ 2010.10.15	
				中国海洋大学図書館内第二会議室	2010.10.12 ~ 2010.10.13	
北京日本文化センター多目的ホール	2010.10.10 ~ 2010.10.11					
2 アニメ・漫画	吉浦 康裕	スタジオ六花代表/ アニメーション監督	中国	香港大学專業進修学院	2010.12.04	吉浦康裕(若手アニメーション監督)と氷川竜介(アニメ評論家)によるレクチャーの実施及び同監督のアニメ作品『イヴの時間』の上映。12月4日は、2カ所で実施
				重慶大学芸術学院	2010.11.30	
	上海財経大学	2010.11.28				
	暨南大学芸術学院、ホリデーインホテル内ホール	2010.12.02				
	氷川 竜介	アニメ評論家				

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
3	折り紙	山口 真 松浦 英子 川村 みゆき	おりがみはうす 主 宰 おりがみはうす デ ザイナー ユニット折紙作家	インドネシア	Braga City Walk、 バンドン工科大学	2010.09.26 ~ 2010.09.28	3名の折り紙の専門家、山口真、川村みゆき、 松浦英子を派遣し、ワークショップ及びレク チャー・デモンストレーションを実施
					ジャカルタ日本文 化センター、ジャ カルタ・コンベン ションセンター	2010.09.30 ~ 2010.10.02	
					アイルランガ大学	2010.10.05 ~ 2010.10.06	
					北スマトラ州政府 ビナ・グラハ講 堂、メダン国立大 学	2010.09.24	
				マレーシア	クアラルンプール 日本文化センター	2010.10.08	
				マレーシア	ペラ州立図書館	2010.10.09	
4	アニメ	ふくなが POP ツジ シンヤ	株式会社ばすてるデ ザイン/イラスト レーター/プロ デューサー 株式会社ばすてるデ ザイン/イラスト レーター アニメーション作家	カンボジア	カンボジア日本人 材開発センター	2010.11.13	アニメーション作家3名（ツジシンヤ、POP&ふ くなが）が自ら作成したアニメ映像を紹介しつ つ、アニメ制作に関するレクチャーとデモンス トレーションを実施
				ラオス	ラオス日本武道セ ンター	2010.11.15	
				タイ	College of Arts, Media and Technology, Chiang Mai University	2010.11.19	
				タイ	Department of Computer Art, Faculty of Arts and Design, Rang	2010.11.17	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
5	ロボット	柴田 崇徳 川口 幸隆	産業技術総合研究所 主任研究員 産業技術総合研究所 テクニカル・スタッ フ	ベトナム シンガポール ブルネイ パキスタン	ハノイ工科大学 シンガポール国立 大学、ジャパン・ クリエイティブ・ センター (JCC) 、 サイエンス・セン ター他 ブルネイ政府公共 サービスセンター 国立科学技術大学	2010.09.28 ~ 2010.09.30 2010.09.30 ~ 2010.10.04 2010.10.04 ~ 2010.10.06 2010.10.06 ~ 2010.10.09	高齢者用に開発されたセラピーロボット「パ ロ」の製作者を派遣し、大学等において日本の ロボット文化、高齢者社会への取り組み等につ いて、開発秘話を交えながらのレクチャー、パ ロのデモンストレーションを実施
6	日本庭園・盆栽	山口 安久 藤井 英二郎	株式会社樹芸 代表取締役 千葉大学 教授	スリランカ インド バングラデシュ	バンダラナイケ記 念国際会議場 (BMICH) ニューデリー日本 文化センター ジャハンギルナガ ル大学	2011.02.27 ~ 2011.03.02 2011.03.04 ~ 2011.03.07 2011.03.08 ~ 2011.03.11	スリランカ、インド、バングラデシュにおいて 日本文化理解促進のため日本庭園及び盆栽に関 する講演・ワークショップを実施
7	落語・演芸 (21年度継続分)	桂 あさ吉	株式会社米朝事務所 嘶家	オーストラリア	State Library of Western Australia The Lower Town Hall Courtyard by Marriott Surfers Paradise Resort The Juith Wright Center of Contemporary Arts The Street Theater Kellyville High School, Eastern Avenue Auditorium, The University of Sydney	2010.03.20 ~ 2010.04.03	桂あさ吉（落語家）をパース、メルボルン、 ゴールドコースト、ブリスベン、キャンベラ、 シドニーに巡回派遣し、英語での落語について 講演と実演を実施

文化事業費

事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
8 浮世絵版画	酒井 邦男 伊藤 達也 酒井 栄美子	日本浮世絵博物館学芸員／有限会社酒井好古堂 代表 浮世絵木版画 摺師 有限会社酒井好古堂	オーストラリア	シドニー日本文化センター、ニューサウスウェールズ州立美術館	2011.03.13 ~ 2011.03.17	浮世絵版画について、講師と摺り師を派遣し、レクチャーと摺りのデモンストレーションを実施し、現代に生きる日本の優れた伝統技術を紹介
				クイーンズランド工科大学附属美術館	2011.03.10 ~ 2011.03.13	
				ヴィクトリア州立美術館	2011.03.20 ~ 2011.03.23	
				オーストラリア国立美術館、オーストラリア国立大学、メガロプリントスタジオ	2011.03.17 ~ 2011.03.20	
9 現代文学	阿刀田 高 浅田 次郎 堀 武昭 森 絵都 佐藤 アヤ子	作家／日本ペンクラブ 会長 作家／日本ペンクラブ 専務理事 作家／日本ペンクラブ 常務理事 作家 日本カナダ文学会 副会長／明治学院大学 教授	カナダ	コンコルディア大学	2010.04.27	国際交流基金、日本ペンクラブ及びカナダ・ペンクラブの共催による「カナダ日本作家フォーラム」の開催。阿刀田高（日本ペンクラブ会長、直木賞作家）、浅田次郎（直木賞作家）、森 絵都（直木賞作家）等5名をカナダ3都市（モントリオール、トロント、バンクーバー）に派遣
				日系文化会館（JCCC）	2010.04.29	
				トロント大学マンクスクール	2010.04.30	
				トロント日本人補習校	2010.05.01	
				サイモンフレイザー大学	2010.05.03	
10 食文化	柳原 雅彦	寿司職人／日本料理人	米国	ヒューストン大学	2010.10.25 ~ 2010.10.28	一般市民及び料理専門学校生等の専門家を対象に、寿司に留まらない日本料理の奥深さを紹介
				ボストン大学、在ボストン総領事公邸	2010.10.31 ~ 2010.11.04	
				オースチン・ピー州立大学、Viking料理学校	2010.10.28 ~ 2010.10.31	
				在アトランタ総領事公邸、Viking料理学校	2010.10.21 ~ 2010.10.25	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
11	日本武道（柔道）	大坪 俊裕 内村 直也 柏崎 克彦 廣川 充志	財団法人講道館 財団法人講道館 財団法人講道館 財団法人講道館	ニカラグア ジャマイカ ドミニカ共和国	ニカラグア自治大学 ジャマイカ警察学校 セントロ・オリンピコ	2011.02.07 ～ 2011.02.08 2011.02.11 ～ 2011.02.12 2011.02.14 ～ 2011.02.16	柔道レクチャー・デモンストレーション及び指導を通じて、日本の伝統文化を紹介
12	食文化	遠藤 十士夫 遠藤 とも子 葛西 恒太	宮内庁御用達萬屋調理師会 会長 料理研究所青山クラブ 佳遊亭	メキシコ	日墨会館、クラウドストロ・デ・ソル・フアナ大学	2010.09.22 ～ 2010.10.04	日本メキシコ交流400周年及び日本中米外交樹立75周年を記念して、遠藤十士夫（宮内庁御用達萬屋調理師会会長）等3名を派遣し、一般市民・有識者に対してレクチャー・デモンストレーションを実施。懐石料理を主とする日本食を紹介
13	ラッピング（包装文化）	倉谷 美津子 河原 敏子 吉田 麻子 宮田 眞由美	社団法人全日本ギフト用品協会 常務理事 社団法人全日本ギフト用品協会 認定ギフト・ラッピングコーディネーター・講師 社団法人全日本ギフト用品協会 認定ギフト・ラッピングコーディネーター・講師 社団法人全日本ギフト用品協会 認定ギフト・ラッピングコーディネーター・講師	アルゼンチン ウルグアイ ウルグアイ チリ パラグアイ	パレルモ大学、ラプラタ大学 ORTウルグアイ大学 サンホセ博物館 カトリカ大学 人造りセンター	2010.10.13 ～ 2010.10.15 2010.10.11 2010.10.11 2010.10.06 ～ 2010.10.08 2010.10.19	南米のアルゼンチン、ウルグアイ、チリ、（パラグアイ）の各主要都市において、一般市民、政府・企業関係者、日本研究者・日本語学習者、学生等の幅広い層を対象に、日本人には親しみがあるがこれらの国々においてはあまり馴染みのない美しい包装紙・包装材料やそれを用いた高度なラッピング技術について、その歴史や文化的・商業的側面を含むレクチャー・デモンストレーションとワークショップを組み合わせるため、ギフト・ラッピングの専門家グループを派遣

文化事業費

事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
14 ロボット文化	石黒 浩 大和 信夫	大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 ヴィストン株式会社代表取締役	ベネズエラ	シモン・ポリバル大学、コルプバンガ文化センター	2011.02.14	南米のカラカス（ベネズエラ）、キト（エクアドル）、リマ（ペルー）において、一般市民及び政府・企業関係者、学生・大学関係者等の幅広い層を対象に、わが国の最先端技術の象徴として関心の高い「ロボット」に関する講演と実演（デモンストレーション）を行うため、ロボット工学研究者を派遣
			エクアドル	カトリカ大学	2011.02.15	
			ペルー	ペルー国立工学大学、日秘文化センター	2011.02.17	
15 建築	西沢 立衛	建築家／西沢立衛建築設計事務所代表	ブラジル	ブラジリア国立博物館	2010.09.17	2010年に、ブラジリアへの首都移転から50周年を迎えたブラジルへ、現代日本建築に関する講演のため専門家を派遣。国際交流基金の海外展（巡回展）プログラムによる「パラレル・ニッポン 現代日本建築1996～2006」展のブラジリア開催期間（10.08.31～09.19）に合わせて西沢立衛（建築家）を派遣し、現代日本建築に関する講演を実施。その後、クリチバ、リオ・デ・ジャネイロにも巡回して講演
				ブラジル建築家協会	2010.09.21	
				ポジティブ大学大	2010.09.20	
16 ポップカルチャー	古川 タク 鈴木 伸一	アニメーション作家／東京工芸大学客員教授 杉並アニメーションミュージアム 館長	イタリア	ローマ日本文化会館	2010.09.28 ～ 2010.09.30	古川タク（アニメ作家／東京工芸大学客員教授）と鈴木伸一（杉並アニメーションミュージアム館長）をローマ、ハンブルク、ハノーファー、ケルンへ派遣。アニメの歴史、制作現場や最近の日本アニメについてレクチャー・デモンストレーションを実施
			ドイツ	NicON e.V. アニメーション・スクール・ハンブルク	2010.10.02 ～ 2010.10.03 2010.10.01 ～ 2010.10.02	
				ケルン日本文化会館	2010.10.04 ～ 2010.10.06	
17 食文化	川村 浩司	料亭つば甚 料理長	スイス	エコール・ビジネス・ミグロ	2011.03.02	金沢の料亭「つば甚」の料理長、川村浩司を派遣して、一般市民及び料理専門家を対象に伝統的な日本料理（金沢の郷土料理）を通して和食文化を伝えるレクチャー・デモンストレーション及びワークショップを実施
			フランス	Centre Européen de Formation et de Promotion Professionnelle par Alternance pour l'Industrie Hôtelière (CEFPPA)	2011.03.09	
				パリ日本文化会館 欧州評議会	2011.03.03 ～ 2011.03.06 2011.03.10	

文化事業費

事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
18 切り絵	久保 修 植田 さくら	切り絵画家 切り絵画家アシスタント	スペイン ポルトガル	コンプルテンセ大学、マドリード日本文化センター サラゴサ大学 バルセロナ日本人学校、バルセロナ民俗学博物館 カスカイス文化センター ジョアン・アルベルト・ファリア小中高等学校他	2010.11.28 ～ 2010.11.30 2010.12.01 2010.12.01 ～ 2010.12.05 2010.12.06 2010.12.05 ～ 2010.12.08	切り絵についてのレクチャー・デモンストレーション及びワークショップをマドリード、サラゴサ、バルセロナ（スペイン）、リスボン、カスカイス（ポルトガル）の2カ国5都市で実施
19 アニメ	原 恵一	アニメーション監督	ドイツ	Mal Sehn映画館	2011.03.12 ～ 2011.03.19	フランクフルトにおいて、一般市民を対象にアニメーションに関するレクチャーを実施。当初、デュッセルドルフ、ベルリンでも実施予定のところ、東日本大震災の発生により、実施期間を短縮
20 アニメ・マンガ・子どもの本	森 絵都 令丈 ヒロ子 松本 侑子 野上 暁 宮川 慶子	作家 児童文学作家 作家／翻訳家 日本ペンクラブ 常務理事 文芸評論家・作家／ 日本ペンクラブ 理事 社団法人日本ペンクラブ 職員	ドイツ	ドイツ歴史博物館 ベルリン日独センター	2011.03.20 2011.03.17 ～ 2011.03.18	日本のアニメ・マンガの原作等となっている日本の「子どもの本」（児童文学・ライトノベル・ヤングアダルト（YA）文学）の作家等5名をドイツに派遣。ドイツの若者層を対象に、アニメ・マンガの原作に関する講演会、パネルディスカッション、関連アニメ映画上映会をドイツ及び日本のペンクラブとの共催事業として実施
21 日本武道(合気道)	伊藤 眞 金澤 威 小谷 佑一 劔持 聖輝	財団法人合気会 財団法人合気会 財団法人合気会 財団法人合気会	グルジア アゼルバイジャン ウズベキスタン	グルジア柔道連盟 アゼルバイジャン合気道連盟 中央将校会館	2011.02.10 ～ 2011.02.12 2011.02.15 ～ 2011.02.16 2011.02.18 ～ 2011.02.20	合気道の専門家4名をトビリシ（グルジア）、バクー（アゼルバイジャン）、タシケント（ウズベキスタン）の東欧3カ国3都市へ派遣。レクチャー・デモンストレーション及び指導を通じて、日本の伝統文化を紹介

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
22	日本武道(空手)	安住 克敏	財団法人全日本空手道連盟	カザフスタン	アルマティ市内生徒宮殿	2010.11.07 ~ 2010.11.09	空手の専門家4名をアルマティ(カザフスタン)、ドゥシャンベ(タジキスタン)、ブカレスト(ルーマニア)の東欧3カ国3都市へ派遣。レクチャー・デモンストレーション及び指導を通じて、日本の伝統文化を紹介
		稲田 保久	財団法人全日本空手道連盟	タジキスタン	ドゥシャンベ市内総合体育館	2010.11.12 ~ 2010.11.13	
		若杉 秀樹	空手家	ルーマニア	国立体育大学	2010.11.16 ~ 2010.11.18	
		信川 邦明	財団法人全日本空手道連盟				
23	浮世絵版画	安達 以乍牟	アダチ伝統木版画技術保存財団 理事長	スロベニア	民族学博物館	2010.10.03 ~ 2010.10.05	浮世絵専門家3名をリュブリャナ(スロベニア)、プラハ(チェコ)、ブダペスト、ペーチ(ハンガリー)、ソフィア(ブルガリア)の東欧4カ国5都市へ派遣。浮世絵の歴史や作成方法についてのレクチャー、摺りのデモンストレーション及びワークショップを実施
		堀本 長志	アダチ伝統木版画技術保存財団	チェコ	建築財団ホール	2010.10.06 ~ 2010.10.08	
		川合 千春	アダチ伝統木版画技術保存財団	ハンガリー	ハンガリー美術大学	2010.10.09 ~ 2010.10.11	
				ハンガリー	ペーチ大学美術学科	2010.10.12	
			ブルガリア	国立海外美術館	2010.10.13 ~ 2010.10.15		
24	英語落語・紙切り	三笑亭 茶楽	社団法人落語芸術協会 落語家	サウジアラビア	キング・ファイサル校、アッタルビヤ・ナムーザジーヤ校、キングダム校	2011.03.03 ~ 2011.03.06	三笑亭茶楽(落語家)、春風亭笑松(落語家)及び林家今丸(紙切り芸人)の3名をリヤド、ジッダ(サウジアラビア)、ドーハ(カタール)、アンマン(ヨルダン)の中東3カ国4都市へ派遣し、落語の鑑賞方法の説明、英語による落語「船徳」公演、紙切りデモンストレーションとワークショップを実施
		春風亭 笑松	社団法人落語芸術協会 落語家			2011.03.07 ~ 2011.03.09	
		林家 今丸	社団法人落語芸術協会 紙切り芸人	カタール	イスラム美術館ホール、日本人学校	2011.03.10 ~ 2011.03.12	
				ヨルダン	Al Bayan Secondary School、アンマン・バカロレア学校、ハムザ王子学校	2011.03.13 ~ 2011.03.15	

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
25	和食レクチャー・デモンストレーション	藤田 貴子	日本料理教室藤田主宰	シリア	シャームパレスホテル内レストラン	2010.11.19 ~ 2010.11.23	ダマスカス（シリア）、カイロ（エジプト）の中東地域2カ国2都市に料理研究家の藤田貴子等3名を派遣し、日本料理に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
		郷農 潤子	日本料理教室藤田アシスタント	エジプト	ホリデー・イン	2010.11.24 ~ 2010.11.27	
		渡邊 直子	日本料理教室藤田アシスタント				
26	和食レクチャー・デモンストレーション	栗栖 正博	特定非営利活動法人日本料理アカデミー／たん熊北店 主人	トルコ	イスタンブール・キュリナリー・インスティテュート、イェディテペ大学	2010.09.23 ~ 2010.09.30	「2010年トルコにおける日本年」記念事業の一環としてイスタンブール、アンカラ（トルコ）及びベイルート（レバノン）の中東2カ国3都市に、たん熊北店の栗栖正博等3名を派遣し、日本料理（京料理）に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
		栗栖 基	嵐山熊彦 主人				
		岡本 真也	たん熊北店	レバノン	ホリデー・インベイルート — デューンズ	2010.09.30 ~ 2010.10.04	
27	日本映画	塩田 明彦	映画監督	アルジェリア	オラン理工科大学	2010.10.26 ~ 2010.10.27	日本映画の監督、脚本家2名を派遣し、10.28にアルジェリアのオラン理工科大学において「日本映画の現状」、11.02にセネガルのレオポルド・セダール・サンゴール・フランス研究所において「日本の死生観」、11.03にセネガル文化省アフリカ記憶の広場において「死をめぐる幼少期の記憶」というテーマでそれぞれ講演を実施
		高橋 洋	脚本家／映画監督	セネガル	映画館フィルムテック	2010.10.27 ~ 2010.10.30	
28	日本武道（柔道）	甲斐 光	柔道家	アンゴラ	シダデーラ競技場体育館	2011.11.08 ~ 2011.11.09	柔道専門家4名をルアンダ（アンゴラ）、ハボローネ（ボツワナ）、ダルエスサラーム（タンザニア）のアフリカ地域3カ国3都市に派遣し、レクチャー・デモンストレーション及び指導を通じて、日本の伝統文化を紹介
		真喜志 慶治	柔道家／警視庁	ボツワナ	ボツワナ警察大学校	2010.11.11 ~ 2010.11.13	
		石川 美久	柔道家／筑波大学職員	タンザニア	ドンボスコユースセンター	2010.11.15 ~ 2010.11.16	
		平 智哉	柔道家				

文化事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	会場	期間	事業内容
29	日本武道（空手）	佐藤 重徳	沖縄剛柔流空手道協会支部事務局長	マラウイ	カムズ・インスティテュート・オブ・スポーツ、マラウイ大学ブンダ農業カレッジ	2010.09.27 ~ 2010.09.28	空手専門家4名をリロングウェ（マラウイ）、アディスアベバ（エチオピア）、ナイロビ（ケニア）のアフリカ地域3カ国3都市に派遣し、レクチャー・デモンストレーション及び指導を通じて、日本の伝統文化を紹介
		松江 肇	特定非営利活動法人日本空手松涛連盟				
		前田 利明	株式会社日本エム・ケー・デイ 役員	エチオピア	アラットキロ・ジナジウム	2010.10.02 ~ 2010.10.03	
		長友 憲一郎	学校法人村上学院	ケニア	広報文化センター、ゲーティンステイトウート	2010.10.05 ~ 2010.10.07	

文化事業費

2. 催し等事業費 / (2) 日本文化紹介派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップ等を行う事業に対し、経費の一部を助成する(音楽・演劇・舞踊・民俗芸能などの公演事業は除く)。

合計額 28,228,101 円

	事業名	助成対象者 (機関・個人)	対象国	期間	事業内容
1	からくりワークショップ～ロボットアートとあそびの世界	からくり文化実行委員会	韓国	2010.08.04 ～ 2010.08.25	ソウル南西に位置する光州市で開催された「ロボットアートとあそびの世界」展に合わせワークショップを実施。会場で、からくり人形や、からくりロボットを展示しながら、子供たちや一般市民を対象に、紙、木、ソーラー・パネル、ダンボールなど様々な素材を使ったからくり工作教室を実施
2	中国2010年上海万博 日中親善文化交流きものフェスティバル	特定非営利活動法人日本礼美協会・日本和装学園	中国	2010.10.08 ～ 2010.10.11	上海国際博覧会(上海万博)で、2部構成の着物紹介イベントを実施。第1部は中国人女性20名の着物体験、第2部は日本の四季に合わせた着物や、元禄時代、江戸時代(十二単など)の歴史的衣装を紹介
3	折り紙のレクチャー・デモンストレーション	熊田 勝保 折り紙指導者	モンゴル	2010.05.16 ～ 2010.05.21	日本の伝統文化の一つである折り紙の普及と指導者の育成を目的とした事業。一般公開指導を行い、折り紙の知名度を向上させると共に、幼稚園、学校を訪問し、教師を対象とした指導者の育成を図る事業を実施
4	第4回折り紙・パッチワーク・シンポジウム	清水 光枝 キルト作家	モンゴル	2010.05.16 ～ 2010.05.21	2005年からモンゴル折り紙センターと共同で、「折り紙シンポジウム」を開き参加団体による展示やワークショップ、コンテスト等を実施。またモンゴルの教師及び児童にパッチワークを指導
5	陶芸デモンストレーションー伝統と現代の技の融合・日本の抹茶碗制作を通じてー	水田 泉 美術講師、フリーランス学芸員、アーティスト	インドネシア	2010.07.27 ～ 2010.08.25	マラナタ・キリスト教大学芸術学部において日本の抹茶碗の制作を通じ、伝統的な手びねり、ろくろづくり、板づくりといった陶芸技術の伝承や、電動ろくろを用いた現代的な陶芸技術を指導
6	ビデオアート講演会とワークショップ	津田 道子 アーティスト/東京芸術大学大学院映像研究科・後期博士課程	インドネシア	2010.12.18 ～ 2011.01.04	ジョクジャカルタ及びバンドンにおいて、津田道子(アーティスト)が学生や地元のアーティスト、芸術に関心を持つ一般市民を対象に、自身の作品や日本のビデオアート作品を例にしながら、日本のビデオアート、メディアアートの状況に関する講演を実施。ワークショップでは、セットをつくり撮影する内容を共に考え、実際にビデオ作品を制作。成果を発表・展示
7	「きもの てこらぼ」デモンストレーションと展示	特定非営利活動法人てこらぼ	インドネシア	2011.02.23 ～ 2011.02.28	ジョグジャカルタ国立博物館においてジョグジャカルタと京都の染織素材、職人技術のコラボレーションで創作した着物のデモンストレーションと展示をロイヤルシルク財団と共催実施。京都府とジョグジャカルタ特別州友好府州提携25周年記念事業として2010年10月6日から12日にJR京都伊勢丹において開催された展示会「てこらぼ展～京都とジョグジャカルタのコラボレーション」を発展、進化させたもの

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
8	茶道「遠州流」レクチャー・デモンストレーション	遠州茶道宗家	シンガポール	2010.08.24 ～ 2010.08.30	小堀正晴（遠州茶道宗家元）が茶道に関するレクチャーとデモンストレーションを、在シンガポール大使館及びシンガポール国立大学と共催。学生や一般市民を対象に、シンガポール国立大学及びジャパングリエイティブセンター（Japan Creative Centre: JCC）で実施
9	英語落語 フィリピン・ベトナム・マレーシア公演	桂 歌蔵 落語家／社団法人落語芸術協会	マレーシア ベトナム フィリピン	2010.10.10 ～ 2010.10.22	日本人のユーモアのセンス、日本文化のエッセンスを伝えるため、桂歌蔵が日本の古典芸能である落語の英語公演を3カ国5都市、クアラルンプールとペナン（マレーシア）、ハノイ（ベトナム）、マニラとダバオ（フィリピン）で実施。一般市民や、特に日本語学習者を対象に、大学での公演を行い日本理解への深化を目指す事業を実施
10	日本のアニメに関するレクチャーと制作方法の紹介事業	水谷 英二 CGプロデューサー／Production I.G	ラオス	2011.01.09 ～ 2011.01.14	水谷英二がビエンチャンにて、若年層に関心が高い日本アニメに関するセミナーを開催。日本からアニメクリエイターを派遣し、日本アニメの歴史紹介とともに、コンピューターや原画を使用しながら実際の制作過程を実演し、日本のアニメに対する理解促進を図る
11	日本とインドの伝統音楽の比較レクチャー・デモンストレーション	中川 博志 音楽家／龍谷大学非常勤講師／大谷大学非常勤講師	インド	2011.01.22 ～ 2011.02.20	ムンバイ、ブネーの2都市で行われる音楽祭において、中川博志が日本とインドの伝統音楽の音楽的特徴、その違いと共通性を、インドの楽器パーンスリーによる演奏とレクチャーによって紹介し、日本の音楽文化への理解を深める事業を実施
12	オーストラリアにおける囲碁文化の普及促進	財団法人日本棋院	オーストラリア	2010.11.21 ～ 2010.11.30	シドニーで開催されるオーストラリア囲碁選手権へ青木紳一（棋士／財団法人日本棋院）を派遣し、試合の審判や指導を実施。またブリスベンでは、現地の囲碁クラブと協力し、囲碁の指導や講義を実施
13	ニュージーランド親善交流・ウェリントン日本祭2010参加	全日本空手道剛柔会	ニュージーランド	2010.09.01 ～ 2010.09.08	山口剛史（全日本空手道剛柔会会長）が「ウェリントン日本祭2010」に参加し、空手のレクチャー・デモンストレーションを実施。またオークランドでは、現地の空手団体と協力し、空手愛好者への技術指導を実施
14	茶道・華道のレクチャー・デモンストレーション	荒木 ミズホ 松花古流家元／世田谷花道茶道協会理事長	ニュージーランド	2010.09.03 ～ 2010.09.10	「ウェリントン日本祭2010」及びウェリントン市内高校での日本語を学習する高校生を対象に、茶道・華道のレクチャー・デモンストレーションを実施
15	2010年国際日本庭園シンポジウム	山田 拓広 花豊造園株式会社取締役	米国	2010.10.01 ～ 2010.10.06	国際日本庭園協会及びサンディエゴ日本友好庭園（三景園）主催のもと、日本、米国、ヨーロッパからの講演者が、日本庭園の経営・デザイン・メンテナンス等に従事する者を対象に、「日本庭園と日本文化の精神」「海外における日本庭園の課題と展望」という2つのテーマに沿って講演及びディスカッションを実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
16	藪内流茶道デモンストレーション及び茶道体験会	財団法人藪内燕庵	米国	2010.10.13 ～ 2010.10.19	サンフランシスコ・アジア美術館からの要請に基づき、藪内紹由（古儀茶道藪内流若宗匠）が訪米。同美術館における「屏風」の特別展開催にあわせ、藪内流の茶道デモンストレーション及び茶会、ワークショップ、また茶の湯における屏風の役割について講義を実施。参加者に対してお点前体験も実施
17	浮世絵制作技術・伝統木版技術実演及び制作体験プログラム	財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	米国	2010.11.14 ～ 2010.11.23	サンディエゴ美術館にて開催された浮世絵展に併せ、彫・摺の技術実演を広く一般市民向けに実施すると共に、対象者を現地のアーティスト・美術関係者に限定した専門家向けの実演も実施。また、木版画教室では、プロの職人の指導の下、浮世絵の簡単な図柄を伝統技法で参加者が制作体験するプログラムを実施
18	日本のテキスタイルと衣装「第5回R.L. シェップ・シンポジウム」	深井 晃子 公益財団法人京都服飾文化研究財団理事、チーフキュレーター	米国	2011.01.14 ～ 2011.01.17	ロサンゼルス・カウンティ美術館が開催する <i>Fashioning Fashion: European Dress in Detail, 1700-1915</i> 展において、ファッションの高い芸術性とそれを支えた技術を解明するため、18世紀フランスのファッション、日本ファッションなどの専門家によるシンポジウムを開催。同シンポジウムで、深井晃子が基調講演を実施。日本ファッションと日本文化へのより深い理解を喚起した
19	中米AVレクチャー「日本の伝統芸能：雅楽、能楽、文楽、歌舞伎」（龍笛デモンストレーション付き）	平間 充子 聖徳大学音楽学部講師／桐朋学園大学 非常勤講師	キューバ グアテマラ コスタリカ メキシコ	2010.08.10 ～ 2010.09.01	日本メキシコ交流400周年を迎えたメキシコ、外交樹立80周年目のキューバ。両国を含むメキシコ・シティー（メキシコ）、アンティグア、グアテマラ・シティー（グアテマラ）、サンホセ、ヘレディア（コスタリカ）、マタンサス、ハバナ（キューバ）中米4カ国7都市において、それぞれ2時間で雅楽、能楽、文楽、歌舞伎を紹介するDVDを上映。更に龍笛のデモンストレーションも交えながら、講師がスペイン語で解説した後、質疑応答を実施
20	国境なきアーティスト in ハイチ	エクトル・シエラ 作家／教師	ハイチ	2011.03.07 ～ 2011.03.18	2010年1月のハイチ地震被災地であるボンレポス及びポルトフランスの学校を訪問し、折紙、書道等の日本文化を紹介するアートワークショップを実施し、被災した子どもたちに癒しや創造的体験の機会を提供。コロンビア生まれの絵本・映像作家、エクトル・シエラや坂下雅紀与（シンガー）が実施
21	紙芝居デモンストレーション・ワークショップ	特定非営利活動法人手をつなぐメキシコと日本	メキシコ	2011.01.24 ～ 2011.02.02	ミチュアカン演劇センターにおいて日本独自の「紙芝居」のデモンストレーションとワークショップを実施。デモンストレーションでは、日本の名作を上演してその語り方を紹介しながら紙芝居の歴史や変遷などについてレクチャー。ワークショップでは、現地の民話等を題材に、紙芝居の手法に従って各グループが創作紙芝居を製作。地元の教会に地域住民を招待し日墨の紙芝居を上演して成果を発表
22	2010年度南米将棋普及事業	大島 映二 将棋棋士	ペルー ブラジル	2010.05.20 ～ 2010.06.03	ペルー日本文化週間における行事の一環として、日秘文化会館での将棋講座及び将棋大会への参加と指導。現地大学での将棋講座の実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
23	欧州連続講演、デモンストラーション、ワークショップ、野外彫刻制作プロジェクト	日誌 明男 造形作家／龍谷大学 客員教授	アイルランド オーストリア	2010.08.21 ～ 2010.09.08	籠編み技術、折り紙、和算の文化的背景に裏打ちされた日本ならではの新しい幾何学造形を紹介。更に日本語特有のリズムから生まれた幾何学的音楽も披露し、参加者に演奏を体験してもらい、アイルランドではハンディを持った人たちやボランティアと共に生活し、ワークショップを実施
24	Romics 2010における池田理代子講演会及び関連イベントへの出演	池田 理代子 漫画家／声楽家	イタリア	2010.09.28 ～ 2010.10.05	イタリアでも繰り返しテレビ放映されているアニメ『ベルサイユのばら』の作者、池田理代子の講演会及びワークショップを、イタリア最大のポップカルチャー・フェスティバルのRomics（ロミックス）で実施
25	子どものためのドラマ／演劇による児童・青少年の「居場所」づくりのためのレクチャー・ワークショップ・フォーラム	小林 由利子 東京都市大学 教授	英国	2010.09.05 ～ 2010.09.13	ドラマ演劇による子どものための「居場所」づくりの具体的事例を、レクチャー、ワークショップ、フォーラムで紹介。ドラマ教育を通して児童青少年が自信と幸福感を持ちながら、将来の世界を担えるよう新しい健全育成プログラムの開発につなげていく事業を実施
26	「日本古典文学」講演と研究会	今西 祐一郎 大学共同利用法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 館長	英国 フランス	2010.10.06 ～ 2010.10.18	オックスフォード大学日本研究センター、コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所、ストラスブール大学、パリ日本文化会館、ボルドー第3大学など、フランスの日本文化研究機関、大学等及びアルザス・欧州日本学研究所(CEEJA)で日本文学、特に『源氏物語』等の古典文学とその背景に関する講演会を実施
27	KOTATSU実行委員会「日本アニメーション映画祭」	林 緑子 ANIMATION TAPES 代表	英国	2010.11.22 ～ 2010.12.06	日本で制作されたアニメーションを上映し、作品の中で表現されている日常の風景、感性、思考を通じて日本人の姿を伝える講演を実施
28	手漉き和紙及び墨流しのワークショップ	小高 良作 染織作家	オランダ	2010.05.22 ～ 2010.08.20	日本にゆかりの深いシーボルトハウス（ライデン）より招へいを受け、作品の展示を行うとともに、手漉き和紙のワークショップを行い、1本の木から和紙を作る技術を紹介し、四季を通じた作業についてレクチャーを実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
29	写真家都築響一による現代日本文化紹介講演会「社会の窓から見たニッポン」	都築 響一 写真家／編集者	ドイツ ハンガリー	2010.10.19 ～ 2010.10.28	写真家、編集者、アーティストである都築響一による、「デコトラ」や「ラブホテル」「暴走族」など、ありふれていながら日本人には、なかなか「日本文化」として意識されにくい、日本文化を紹介する講演会をケルン日本文化会館、在フランクフルト総領事館、ライプツィヒ大学、ブタペスト日本文化センター2カ国4都市で実施
30	複合イベント <i>Japan Culture Now</i> の開催	公益財団法人京都服飾文化研究財団	ドイツ	2011.03.02 ～ 2011.03.08	ミュンヘンの現代美術館との共催で行う <i>Future Beauty: 30 years of Japanese Fashion</i> 展の開催に併せて、日本のアート、建築、ファッション、写真、音楽の今をタイムリーに紹介。ワークショップ、対談・講演会、シンポジウム・パフォーマンスを実施
31	ジャン・ジュネ演劇上演における歌舞伎の影響の具体的解明	渡邊 守章 京都造形大学舞台芸術研究センター教授・所長	フランス	2010.06.08 ～ 2010.06.14	劇作家ジャン・ジュネ生誕100周年記念事業として国立プロヴァンス大学で開催されるジャン・ジュネ国際シンポジウムにおいて、『女中たち』（1994）及び『バルコン』（2001）の映像を紹介しながら、ジュネ演劇の未知の力とその多様性を立証し、21世紀におけるその力を論証する講演を実施
32	アニメ『ざくろ屋敷』を素材に日本のアニメーションについての講演	深田 晃司 映像作家／劇団青年団演出部	フランス	2010.06.15 ～ 2010.07.15	バルザックの短編小説を映像化した、アニメ『ざくろ屋敷』（2006）の監督が日本のアニメーションについて「絵巻物より続く日本のアニメーション技法におけるフランス文学の受容とその可能性」というテーマで講演。バルザック記念館（Maison de Balzac）で開催と原画作者深澤研の講演及び同アニメの上映会も実施（10.06.19）
33	講演会「陰陽師を通じて見る日本」	夢枕 獏 作家	フランス	2010.09.27 ～ 2010.10.03	若年層に人気を博す漫画『陰陽師』を通して、日本の風土、歴史、精神性への理解をより深めることを目的とした講演をパリ日本文化会館（パリ）とストラスブール大学（ストラブール）の2都市で実施
34	和菓子レクチャー・デモンストレーション	全国菓子研究団体連合会	フランス	2011.02.01 ～ 2011.02.06	和菓子文化の啓蒙を目的に、パリ日本文化会館において、5名の講師（全国技術コンテストグランプリ受賞者および準グランプリ受賞者含む）による和菓子のレクチャー・デモンストレーションを実施。講義内容は、和菓子の歴史と菓子作りの紹介。更に参加者による和菓子作り体験も実施
35	ル・テアトル能2011 実行委員会「能楽ワークショップ イン パリ」	安福 光雄 能楽師	フランス	2011.02.09 ～ 2011.02.14	パリのエスパス・ベルタンポワレ（Espace Bertin Poiree）にて能楽への入門・初心者向けワークショップを開催。①能楽の歴史に関する解説②能楽師の指導のもと、舞の所作、能楽器の体験③装束の着付け実演④演奏「葵上」枕ノ段見せ場。また、パンフレット『学んでみよう能・狂言』（日・仏語版）を配布

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
36	渋紙を用いたきりえ文化紹介プログラム	柳沢 京子 きりえアーティスト／柳沢京子事務所 代表取締役	フランス	2011.02.13 ～ 2011.03.11	フランス4都市において渋紙を使って創る切り絵を紹介し、体験してもらうプログラムを実施。日本人とフランス人の感性の違いに留意しながら、初心者には教材『きりえバイエル』を基に、更に興味を持つ人にはオリジナルの切り絵を創れるよう指導
37	女流義太夫 南フランス公演	鶴澤 三寿々 義太夫三味線演奏家	フランス	2011.03.15 ～ 2011.03.24	日本の伝統芸能のひとつである女流義太夫紹介のため、レクチャー・デモンストレーションを実施。ワークショップを行った後、演奏会も実施
38	野菜細工と寿司のデモンストレーション	佐藤 一弘 日本料理・寿司職人	ポルトガル	2010.11.16 ～ 2010.11.27	日本・ポルトガル修好150周年記念事業のひとつ。国際親善協会が主催する「第35回ジャパン・ウィーク：ポルトガル・ポルト」（国際交流基金後援）に参加し、野菜を使って花や動物を制作。また佐藤元重（日本最年少料理人：12歳）が現地の食材を使った寿司のデモンストレーションを実施
39	日本の天然染織「草木染」と伝統染織技法「型染」のワークショップ	柴田 玲甫 草木染作家	ポルトガル	2010.11.21 ～ 2010.11.23	日本・ポルトガル修好150周年記念事業のひとつ。国際親善協会が主催する「第35回ジャパン・ウィーク：ポルトガル・ポルト」（国際交流基金後援）への参加。日本の伝統染色「草木染」と伝統染色技法「型染」のワークショップを、3日間で毎日約50名のポルト市民を対象に実施
40	居合道普及活動と講習会	星野 友昭 新潟県剣道連盟 居合道部会 副会長	キルギス	2010.09.01 ～ 2010.09.10	キルギス志誠館武道場（ビシュケク）にて武道（居合道）の本質、礼儀作法・立ち居振舞い、要義・着眼点・補足等の解説・指導に加え、現地では学ぶ機会の少ない、古流の指導も実施。日本の伝統文化の素晴らしさを伝えることを目標に事業を実施
41	囲碁対局とデモンストレーション	今井 一宏 財団法人関西棋院	クロアチア	2010.10.20 ～ 2010.10.26	ザグレブにおける「日本文化週間」実施イベントのひとつとして、クロアチア囲碁連盟及び在クロアチア大使館より招請があった、日本人プロ棋士によるクロアチア囲碁愛好家との対局、囲碁指導を実施
42	狂言ワークショップ及び公演	茂山 宗彦 大蔵流 狂言師	チェコ リトアニア	2010.09.01 ～ 2010.09.15	チェコでは、初めての観客にも理解し易いように、ヨーロッパ人に馴染みのある中世フランスの喜劇作品を元にした新作狂言を上演。リトアニア カウナス大学では、演者による舞台上からの解説のほか狂言の歴史、日本語台本及び翻訳をパンフレットとして作成・配布して、観客の理解を助けた
43	ポエトリー・デイズ 2010—日本文学・詩歌の紹介事業	ラトビア作家連盟（Latvian Writers Union）	ラトビア	2010.09.03 ～ 2010.09.13	1965年以來の歴史を誇り、ラトビア市民にとって大きな影響を持つ詩歌の分野のイベント「ポエトリー・デイズ」に、日本から紺野万里（短歌）、Yoko Danno（詩人：英語詩）、藤富保男（詩人）の3名が参加し、日本の詩歌を朗読・紹介。併せて日本文学に関するレクチャーも実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
44	和紙人形作品展示&ワークショップ in サンクトペテルブルク	丹野 恵美子 和紙人形作家	ロシア	2010.05.18 ~ 2010.05.27	露日協会主催「日本の春」フェスティバル事業の一環として、ルミャンツェフ伯爵宮殿にて、和紙人形の展示、和紙人形・和紙クラフトのワークショップ及び和紙に関するシンポジウムを実施
45	総合日本文化紹介事業(生け花・着付け・着物ショー等)	中本 信幸 神奈川大学外国語学部 教授	ロシア	2010.09.04 ~ 2010.09.13	クラスノヤルスクにおける日本文化フェスティバルで、ロシア人作家が書き下ろした、第二次世界大戦中でシベリアに抑留された日本人を描いた演劇作品『シベリアに桜咲くとき』の日露共同公演の他、日本映画上映会や写真展、更に日本文化紹介事業として、生け花、着物ショー、「日本とクラスノヤルスク地方の文化交流促進に向けて」に関する会議を実施
46	サウジアラビア・ジャナドリヤ祭における生け花デモンストレーション・ワークショップ	古流東洋会水墨花点前	サウジアラビア	2011.04.21 ~ 2011.04.29	日本がゲスト国として参加する第26回ジャナドリヤ祭（サウジアラビアの伝統文化を後世に継承していくことを目的とした、国王が主催する国家的文化祭）開催期間中の3日間、ジャナドリヤ祭会場内日本館（1日当たり約3万人が来場）において、宮本理峰（古流東洋会・水墨花点前家元）等5名による生け花デモンストレーション・ワークショップを実施。 当初、11.02.25~11.03.05に実施予定のところ、ジャナドリヤ祭の実施が急遽延期されたため、11.04.21~11.04.29に変更して実施
47	マジック公演と簡単手品のレクチャー・デモンストレーション講座	特定非営利活動法人オアシス	シリア ヨルダン	2010.06.01 ~ 2010.06.25	渡邊坂司（特定非営利活動法人オアシス 代表）、足立泰敏（特定非営利活動法人オアシス 監事）の2名が日本古典奇術（夫婦抽斗、滝の白糸、すだれ花）、児童とトークショー、春爛漫など演目30種類を公演。終演後、レクチャー・デモンストレーション「誰にでもできるマジック講座」を指導。アンマン、イルビト、アカバ（ヨルダン）、ダマスカス、アレppo（シリア）の2カ国5都市で実施
48	日本文化紹介デモンストレーション、ワークショップ	阿部 悦子 特定非営利活動法人アジア文化交流協会 理事長	トルコ	2010.05.25 ~ 2010.06.04	2010年「トルコにおける日本年」事業のひとつとして、阿部悦子を始め12名の専門家が日本文化についての講演、生け花デモンストレーションワークショップ、書道デモンストレーション、茶道紹介、日本楽曲の紹介、舞踊、着付け等日本の文化を多岐にわたって紹介、指導、ワークショップを実施。アンカラ、チョルム、カイセリ、サクランボルのトルコ国内4都市を巡回
49	太鼓、木遣デモンストレーションと日本の祭り	鈴木 清美 双峰会 会長	トルコ	2010.05.27 ~ 2010.06.04	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、鈴木清美を始め、11名の専門家がアンカラ、チョルム、カイセリ、サフランボルのトルコ国内4都市で、太鼓と木遣のデモンストレーションと指導、現地の人々と共に日本の祭りを再現するイベントを実施

文化事業費

	事業名	助成対象者（機関・個人）	対象国	期間	事業内容
50	生け花及び詩舞のデモンストレーションと生け花展示	篠田 智代 華の会 会主	トルコ	2010.05.28 ～ 2010.06.04	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、篠田智代を始め11名の専門家がカイセリ、アンカラ、サフランボルのトルコ国内3都市で、生け花のデモンストレーションと展示及び詩舞のデモンストレーションを実施
51	トルコにおける日本年 殺陣&技斗、技藝演舞	高野 あゆ美 俳優	トルコ	2010.06.16 ～ 2010.06.26	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、高野あゆ美を始め11名の専門家がイスタンブール、コンヤ、アンカラのトルコ国内3都市で波瀾流・殺陣技芸演舞会を実施
52	日本の市民生活文化紹介・国際交流事業	特定非営利活動法人名古屋トルコ日本協会	トルコ	2010.09.16 ～ 2010.09.23	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、名古屋を中心とした「市民レベルの地域活動」について活動報告の発表と意見交換の実施。また、茶道、武道、書道、着物、音楽（三味線等）等、日本の市民生活文化の紹介やワークショップをウシュキュダル、エレリートのトルコ国内2都市で実施
53	アンタルヤ・マルマリス日本文化祭参加	日本トルコ民間交流協会	トルコ	2010.10.14 ～ 2010.10.24	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、アンタルヤ・マルマリス日本文化祭において、茶道・華道・書道をはじめとする総合的な日本文化紹介事業を実施
54	和食、お香、日本茶のレクチャー・デモンストレーション	颯川 邦子 料理研究家／三泉株式会社 役員	トルコ	2010.10.24 ～ 2010.11.01	「2010年トルコにおける日本年」事業のひとつとして、イスタンブール、アンカラのトルコ国内2都市で日本人の生活に溶け込んだ伝統、芸術の一端を紹介するため、茶道、香道、和食等のレクチャー・デモンストレーションを実施
55	日本の現代書の講演・実演、ワークショップとエチオピア人画家とのコラボレーション	北古味 可葉 書家／スタジオ可葉 主宰	エチオピア	2010.11.08 ～ 2010.12.08	西洋美術の教育は受けているが、「書」という形態での創作表現に馴染みのないアジスアベバ大学美術学部の学生、美術家、美術愛好家、中・高校生を対象にして、日本の書についての概略、伝統的な文字の表現に関してレクチャーし、伝統的手法と同様、墨を用いて、より抽象的な表現を行う現代の書についてレクチャー・デモンストレーション、ワークショップも実施
56	陶芸ワークショップ、技術指導及び書道デモンストレーション	西村 早百合 陶芸家／書家	ブルキナファソ	2010.10.27 ～ 2010.11.14	首都ワガドゥグにて開催される「第12回国際工芸見本市」（日本は、2010年の同見本市の招へい国）に日本陶芸のワークショップと技術指導及び書道のデモンストレーションを実施

文化芸術交流事業に必要な経費

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費

(1) 受託事業 (アセアン)

2. 催し等事業費

(1) 市民青少年交流 (主催／派遣)

(2) 市民青少年交流 (主催／招へい)

(3) 市民青少年交流 (助成)

市民青少年交流事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、東アジア首脳会議 (EAS) 加盟国から各界の第一線で活動し、次世代のリーダーとなりうる若者を招へい。

合計額 49,483,140 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS次世代リーダープログラム (ESDグループ)	Kim Myoung Shin	Assistant Program Specialist, Korean National Commission for UNESCO	韓国	2010.04.11 ~ 2010.04.23	東アジア首脳会議 (EAS) 加盟国の社会各層・分野にわたりコミュニティ形成の将来を担う各国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日感情の促進を図り、将来にわたる知日派指導者の育成を目的とする。EAS加盟国における重要な共通課題についての議論等を行うことで、参加者同士が広域的連帯感を醸成し将来にわたる幅広い人的ネットワークの構築をめざす。「自然と文化による豊かな環境づくり：持続可能な開発のための教育 (ESD: Education for Sustainable Development) と環境教育」をテーマに同分野で実績を持つNGO・教育関係者、若手研究者、行政官を14カ国から24名招へい。水俣市立水俣病資料館、長崎県野崎島・小値賀島、京 (みやこ) エコロジーセンター、日本科学未来館等を訪問し、関係者と意見交換を実施
		Song Xi	Nature Education Project Officer, Friends of Nature	中国		
		Elisa Sutanudjaja	Teaching Staff, University of Pelita Harapan	インドネシア		
		Reza Fahlevi	Technical Staff, Environmental Impact Assessment Division, Ministry of Environment	インドネシア		
		Panchakneat Oeurn	Assistant to the General Director of Technical Affairs, Ministry of Environment	カンボジア		
		Sreyroth Heal	Technical Officer, Ministry of Environment	カンボジア		
		Chen Dexiang	Student, National University of Singapore	シンガポール		
		Kumaran Kephren Ayanari	Student, Tamasek Polytechnic	シンガポール		
		Nantawan Lourith	Dissemination Technical Officer, Ministry of Natural Resource and Environment	タイ		
		Watcharaporn Kaewdee	Lecturer, Faculty of Education, Chulalongkorn University	タイ		
		Lisa Ito Tapang	Program Coordinator, Center for Environmental Concerns (CEC) Philippines	フィリピン		
		Ratunil Casiano Oliver Patrick Talaroc Paderanga	Instructor, Silliman University	フィリピン		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Haji Ryni Sofian Bin Haji Othman	Forestry Officer, Forestry Department Ministry of Industry and Primary Resources	ブルネイ		
	Muhammad Zul- Akmal Bin Haji Zainuddin	Education Officer, Ministry of Education	ブルネイ		
	Do Van Nguyet	Director, Live and Learn for Environment and Community	ベトナム		
	Nguyen Hue Phuong	Project Officer, Action Center for City Development	ベトナム		
	Nguyen Van Luan	Environmental Education Manager, Center of People and Nature Reconciliation (Pan Nature)	ベトナム		
	Chuah Chiew Yen	Environmental Educator, Water Watch Penan	マレーシア		
	Intan Sazrina Binti Saimy	Lecturer, Universiti Industri Selangor (UNISEL)	マレーシア		
	Ye Khaung	Project Manager, Friends of Rainforests in Myanmar (FORM)	ミャンマー		
	Jasmine Kaur	Senior Lecturer, Lovely Professional University	インド		
	Alexandra Hilvert	Teacher, Spensley St. Primary School	オーストラリア		
	Michelle Ann Gane	Project Manager, Institute for Sustainable Resources at Queensland University of Technology	オーストラリア		
	Lee Ja Yeun Alexandra	Ph. D. Student, University of Auckland	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
2	JENESYS次世代リーダープログラム (まちづくりグループ)	HAN, Myung Hee	Assistant Programme Specialist, Korean National Commission for UNESCO	韓国	2010.07.08 ~ 2010.07.20	東アジア首脳会議 (EAS) 加盟国の社会各層・分野にわたりコミュニティ形成の将来を担う各国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日感情の促進を図り、将来にわたる知日派指導者の育成を目的とする。東アジアにおける重要な共通課題についての議論等を行うことで、参加者同士が広域的連帯感を醸成し将来にわたる幅広い人的ネットワークの構築をめざす。EAS参加国15カ国から「まちづくり」の分野で実績を持つコミュニティ・デザインに携わる行政官、NGO職員、教員、大学院生、ボランティア関係者等25名を招へい。各国でリーダーとしての活躍が期待される参加者たちが「自然と文化による豊かな環境づくり：文化による環境を活かしたまちづくり (Community Design)」をテーマに東京、京都、高山、五箇山、金沢等を訪問し観光や町おこし、環境問題など多角的アプローチからまちづくりに取り組む自治体やNGO関係者と意見交換を実施
		WU, Lili	Managing Director, Beijin Cultural Heritage Protection Center (CHP)	中国		
		Muhammad Hatta	Secretary, Borobudur Tourism Network (jaker)	インドネシア		
		Rahmat Kurniawan	Head of Sub-Division of Spatial Planning, Land Use Planning and Environment, Batam Municipality	インドネシア		
		Rotha Chy	Deputy Chief of Foundation Year Department, Royal University of Fine Arts, Phnom Penh	カンボジア		
		Min Li Foo	Assistant Manager, (Research and Education), Preservation of Monuments Board	シンガポール		
		Wei Soon, Jeremy Ho	Post Graduate Student, National University of Singapore	シンガポール		
		William Tay Wei Xian	Post Graduate Student, National University of Singapore	シンガポール		
		Ladsena Chunyporn	M.A. student, Department of Urban and Regional Planning Program, Chulalongkorn University	タイ		
		Sribhudwong Peethakorn	Public Communication Officer, Bangkok Forum	タイ		
		Manalo, Michael Festejo	Project Director, Escuela Taller de Intramuros	フィリピン		
		Ramil Belleza Tibayan	Construction Project Manager, Design Coordinates, Incorporated	フィリピン		
		Ena Kartina Binti Haji Abdul Rahman	Lecturer, Institut Teknologi Brunei (ITB)	ブルネイ		
		Hajah Siti Ratayah Binti Haji Ibrahim	Lecturer, Institut Teknologi Brunei (ITB)	ブルネイ		

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Le, Thi Thanh Binh	Officer, Hue Monuments Conservation Center	ベトナム		
	Vi Dang Ha	Architecture and urban designer, Thai Thinh Capital	ベトナム		
	Noor Adeeb Binti Kamaluddin	Undergraduate Student, Universiti Teknologi Malaysia	マレーシア		
	Nurliyana Binti Rusli	Undergraduate Student, Universiti Teknologi Malaysia	マレーシア		
	Kyi Min Thu	Operation Officer, SEEDS Asia and Myanmar Engineering Society	ミャンマー		
	Yu Wai Yan Thein Tan	Post Graduate Student Member of / Myanmar Engineering Society	ミャンマー		
	Thanongsone Xaisongkham	Project Coordinator, Gender and Development Group (GDG)	ラオス		
	Thongdam Phongphichith	Co-Director, Sustainable Agriculture and Environment Development Association (SAEDA)	ラオス		
	Shuvojit Sarkar	Lecturer, School of Planning & Architecture (SPA)	インド		
	Ann Honywood Cartwright	Herritage Consultant (Assistant) / Master Student, City Plan Heritage / University of Sydney	オーストラリア		
	Amy Louise Young	Planner / Landscape Architect, Dunedin City Council	ニュージーランド		

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
3	JENESYS次世代リーダープログラム (福祉グループ)	LEE, Unkyung ZHANG, Wei 曾我 幸代 藤原 航 Nathanael Elnadus Johanes Sumampouw Ramly Ali Aulia Hsu Yuh Wen (Xu Yuwen) LIN, Jingyi Ng Chiu Li (Huang Qiuli) KAO-IEAN, Surasak PUNSIRI, Bundith Richard Beniza de Villena Visitacion Espinosa Apostol Nguyen, Nhu Mai Anh Nguyen, Thu Hien	ユネスコアジア太平洋国際理解教育院 企画行政室 事業担当 心身障害者自立支援研究所 代表 聖心女子大学大学院 博士後期課程 (文学研究科人間科学専攻) 大学院生 特定非営利活動法人あしやNPOセン ター事務局 インドネシア大学心理学部 講師 (心 理学) ユニセフ (ジャカルタ) 子供の保護及び社会政策専門家 グレイス・オーチャード・スクール 教員 マインズ (MINDS) ソーシャルワー カー グレイス・オーチャード・スクール 教員 チュラロンコン大学教育学部 ESDイ ノベーションセンター 研究者 チュラロンコン大学教育学部 ESDイ ノベーションセンター 研究助手 美術教師・美術指導者協会 (ATALA) 代表 フィリピン障害者連合 (KAMPI) ナ ショナル・プロジェクト・コーディネーター リサーチセンター・フォー・ファミ リー・ヘルス・アンド・コミュニ ティ・デベロップメント プログラ ム・マネージャー ベトナム教育科学院 プログラム・オ フィサー	韓国 中国 日本 日本 インドネシア インドネシア シンガポール シンガポール シンガポール タイ タイ フィリピン フィリピン ベトナム ベトナム	2011.02.26 ~ 2011.03.09	東アジア首脳会議 (EAS) 加盟国の社会各層・ 分野にわたりコミュニティ形成の将来を担う各 国の若手リーダーを招へいし、対日理解と親日 感情の促進を図り、将来にわたる知日派指導者 の育成を目的とする。東アジアにおける重要な 共通課題についての議論等を行うことで、参加 者同士が広域的連帯感を醸成し将来にわたる幅 広い人的ネットワークの構築をめざす。 EAS参加国13カ国から24名の福祉に携る若者を 招へいし、日本からの若者を含む26名がプログ ラムに参加。各国でリーダーとしての活躍が期 待される参加者たちが「社会保障と福祉：社会 的弱者の自立と共生」をテーマに東京、北海道 (浦河)を訪問し、行政機関、NGO・民間団体 関係者と意見交換を実施

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	Chu Shi Wei	ユナイテッド・ボイス マーケティング・コーディネーター	マレーシア		
	Muhamad Khairul Anuar bin Hussin	教育省 教師	マレーシア		
	Ki Ling	社会福祉・救済復興省社会福祉局成人身体障害者訓練学校 校長	ミャンマー		
	Nan Mouk Seng	社会福祉・救済復興省社会福祉局サイガン盲学校 教頭	ミャンマー		
	Chitdavanh CHANTHARIDETH	労働社会福祉省国家社会保障局 公務員	ラオス		
	Vonglatsamy RATANAVONG	難民を助ける会 プロジェクト・スタッフ	ラオス		
	SHARMA, Boski	タマナ・スクール 教育専門家	インド		
	SARANGI, Rituparna	笹川ハンセン病財団 プロジェクト・オフィサー	インド		
	DUGGAN, Eliza Clare	連邦政府社会福祉省（家族・住宅・コミュニティサービス・アボリジニ関係省） ファミリーグループ行政官	オーストラリア		
	TRACTON, Sarah	チャーチヒル・トラスト チャーチヒル・フェロー	オーストラリア		
	McHALE, Kieran	ワークワイズ雇用斡旋団体 チームリーダー	ニュージーランド		
4	JENESYS次世代リーダープログラム （食料問題グループ） 【H23年度事業／準備】	—	—	2011.01.15 ～ 2011.03.31	第4期招へい事業（2011年6月実施）の準備経費

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (1) 市民青少年交流 (主催/派遣)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年を日本から海外へ派遣し、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会等の機会を提供する。

合計額 14,559,571 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓ブラストビート・プロジェクト (日韓若者交流)	松浦 貴昌 Y00, Hyobong	特定非営利活動法人 ブラストビート 代表理事 社会的企業ノリダ ン青年事業チーム 共同代表	韓国	特定非営利活動法人 ブラストビート 社会的企業ノリダ ン青年事業チーム	2010.09.01 ~ 2011.03.31	「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト(日韓新時代:未来へのコラボレーション)」のひとつとして、日本と韓国の大学生(相手国に留学中・滞在中の者も含む。コアメンバー11名)が合同で1つの模擬音楽会社を設立、音楽イベントをゼロからプロデュースし、その収益を自分たちで選んだNPOに寄付する国際社会教育プログラム。松浦貴昌(特定非営利活動法人ブラストビート代表理事)をはじめ、社会人メンターが学生にアドバイスを与えつつプログラムを進行。二度の合宿で企業理念やイベントコンセプト、役職、出演アーティストの選定について計画を立案・実行。プロジェクトの成果として2011年2月に大学生が運営する模擬会社が自らプロデュースした音楽イベントをソウルと東京で開催、終了後は「ふりかえり」を実施。(当初、ファシリテーターを務める教育/NPO関係者による報告シンポジウムを開催予定であったが、東日本大震災の影響でシンポジウム部分のみ2011年9月に延期)
2	日本教員韓国学 ワークショップ	池田 毅司 池田 良 宇津木 宏一 大西 崇 大濱 新 加藤 泰幸 金田 良史	北海道当別高等学校 教員 高松市立山田中 学校 教員 茨城県立並木高 等学校 教員 北海道千歳高 等学校 教員 和歌山県立新 翔高等学校 教 員 岐阜県立加茂 高等学校 教 員 鹿沼市立北押 原中学校 教 員	韓国	韓国国際交流財 団	2010.09.26 ~ 2010.10.10	韓国国際交流財団が実施する韓日教育者交流事業(日本の社会科教員の韓国派遣)について、①日本での参加者公募、②事前オリエンテーション、③報告書作成部分 につき協力(23名参加)

市民青少年交流事業費

事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
	狩野 真理子	長生村立長生中学校 教員				
	黒澤 拓也	県立秩父高等学校 主幹教員				
	近藤 実	愛媛県教育委員会 事務局指導主事				
	杉山 崇裕	神奈川県立菅高等学校				
	関谷 雅樹	愛知県立幸田高等学校 教員				
	永井 林一郎	長岡市立西中学校 教員				
	永田 明	唐津市立佐志中学校 教員				
	福留 真一	長島町立獅子島中学校 教員				
	前田 大輔	福岡市立友泉中学校 教員				
	宮本 陽子	大分県立宇佐高等学校 教員				
	本山 英俊	熊本県立済々黌高等学校 教員				
	山田 義治	京都府立大江高等学校 教員				
	山中 一樹	曾於市立財部中学校 教員				
	吉井 哲	千葉県立千葉高等学校 教員				
	吉末 恭享	佐賀市立城北中学校 教員				
	六山 和弘	大村市立桜が原中学校 教員				

市民青少年交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
3	環境教育ふろしき レクチャー・ワー クショップ	安藤 直美 酒井 亜希子 福田 慶子	ふろしき講師／着 物礼法講師 ふろしき講師 ふろしき講師	米国 メキシコ	ロサンゼルス日本 文化センター 在デンバー総領事 館 在ポートランド総 領事館 メキシコ日本文化 センター	2010.07.01 ~ 2010.07.14	レジ袋の代替やリユース可能な包装材としての ふろしきという、日本独自の環境に優しい取り 組みを紹介する環境教育的観点と、日常生活に 根づく伝統文化としてのふろしきという日本文 化紹介の観点を組み合わせ、メキシコ(10.07. 01~07.07)及び米国(10.07.07~07.14)の一般 市民を対象としたレクチャー及び参加型ワーク ショップを実施

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (2) 市民青少年交流 (主催/招へい)

諸外国の市民青少年レベルでの相互理解と友好親善を促進するため、市民青少年交流活動を幅広く展開する団体の関係者や、指導的立場にある専門家を日本に招へいし、視察・意見交換に加えシンポジウムや講演会等の機会を提供する。

合計額 47,067,370 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	中学・高校教員第1グループ	韓国 インドネシア ミャンマー フランス カーボヴェルデ コンゴ セネガル ベナン	5 5 10 5 2 2 4 2	2010.10.14 ~ 2010.10.27	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、日本の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供 (8カ国35名)
2	中学・高校教員第2グループ	アフガニスタン イラク イラン モーリタニア	6 10 10 2	2011.01.27 ~ 2011.02.09	各国の青少年教育指導者の日本の教育・文化に関する理解を促進し、自国の青少年の日本理解促進につなげるため、世界各国の中等教育に携わる教員（主として社会科、国際理解教育）等をグループで招へいし、日本の教育、文化、社会等の実情を視察し、関係者との意見交換の機会を提供 (4カ国28名)

市民青少年交流事業費

2. 催し等事業費 / (3) 市民青少年交流 (助成)

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の機関が実施または参加する事業（助成事業）、または、国際交流基金の海外拠点所在国の機関が実施する訪日事業（在外協力型事業）に対して、旅費の一部を助成する。

合計額 39,235,913 円

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
1	日韓&タイ「空飛ぶ車いす」プロジェクト	韓国 タイ	空飛ぶ車いすを応援する会	2010.05.05 ~ 2010.11.30	日本の高校生が修理した車いすをタイに送り、日・韓、タイの学生が共同で点検、整備をして利用者に寄贈。今後タイで車いす修理、製造をするため基礎技術や工具、部品を提供する。9月3日から8日の間、日本と韓国からそれぞれ15名、12名の技術ボランティアと学生がタイの整備拠点、車いす利用者などを訪問するとともに、将来タイを拠点にメコン流域諸国にも寄贈を広げるためのネットワーク作りを実施
2	日韓青少年環境教育ワークキャンプ	韓国	特定非営利活動法人環境ネットワークくまもと	2010.08.05 ~ 2010.08.09	熊本県内で活動する環境団体「環境ネットワークくまもと」と韓国忠清南道の環境ネットワーク団体・機関（緑の忠南21推進協議会、忠南環境教育ネットワークなど）により、青少年を対象とした環境をテーマとするエコナレッジ・エクスチェンジ（環境知識・知見交流）型のエコキャンプを韓国忠清南道にて実施
3	日韓ユース・カンファレンス	韓国	財団法人日本YWCA	2010.08.14 ~ 2010.08.20	日韓ユース・カンファレンスは、30歳以下の女性が主体となり、両国が抱える問題に対し共に取り組んできたプログラム。独自の視点から青年の草の根交流を通じて信頼関係を築き、東北アジアの平和構築及びリーダーシップを育成することを目的に交流事業を実施
4	歴史的町並み保存における日韓市民まちづくり交流フォーラム「ソウル北村・奈良」	韓国	社団法人奈良まちづくりセンター	2010.08.28 ~ 2010.11.21	奈良県下において約30年にわたり市民参加のまちづくりを勧めてきた奈良まちづくりセンターが、日韓両国の市民レベルの相互理解、経験交流の発展を目指し、韓国（ソウル、北村地区）において市民レベルで歴史的町並み地区の保全、まちづくり活動を行っている北村文化フォーラムを相互訪問しフォーラムを開催
5	日韓こどもの絵を通じた交流事業	韓国	特定非営利活動法人国際教育情報交流協会	2010.09.01 ~ 2010.12.31	国際親善を深め、協力し合って明るい未来に向かって共に歩む心を育成することを目的に、古くから日本と関係の深い韓国慶尚南道の子ども達と東京の子ども達の絵を中心とした展覧会を慶尚南道昌原市で開催するとともに、両国の指導者によるフォーラムや日韓両国の子ども参加のワークショップを実施
6	日韓交流おまつり2010 in Seoulへの参加（唐子踊）	韓国	唐子踊保存会	2010.10.01 ~ 2010.10.04	日韓交流おまつりは、「おまつり」という文化を通して日韓両国民の市民交流、両国の未来を担う若者達の交流、そして隣国としての身近な地方同士の交流の場。2010年は「悠久の歴史と未来」がテーマ。より良い日韓関係の基礎を築く一助とすべく唐子踊を披露
7	日韓交流おまつり2010 in Seoulへの参加（高円寺阿波おどり）	韓国	東京高円寺阿波おどり連協会ひよっこ連	2010.10.01 ~ 2010.10.04	2005年日韓国交正常化40周年を記念して始まった「日韓交流おまつり」は6回目を迎え、両国を代表する文化・芸能を通して市民交流、若者交流を重ね、未来志向のより良い日韓関係を生み出す一助になりつつある事業。日本を代表する芸能のひとつ「阿波おどり」を紹介、韓国側との共演を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
8	第5回日本沖縄県島民謡と大韓民国南部島民謡比較研究セミナー及び両国伝統芸能文化交流会	韓国	天のソリ・地のソリ	2010.11.19 ~ 2010.11.24	土俗民謡の世界化に向けて国際交流事業を行う任意団体<天のソリ・地のソリ>が、「第5回日韓島地方土俗民謡比較研究セミナー及び伝統芸能文化交流」に参加し、両国の土俗民謡を比較、島の民謡を中心に紹介
9	日韓子ども交流「カササギ交流 2011 釜山」	韓国	サンブリッジ国際交流協会	2011.03.24 ~ 2011.03.28	「日韓子ども交流」10周年記念事業として、日韓の子供達がホームステイしながらミニ留学、芸能交歓会、スポーツ交流などを実施
10	国際こどもアート・フェスティバル イン シンガポール 2011	シンガポール	特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ	2011.03.31 ~ 2011.05.23	BTバディング・アーティスト・ファンズ (BTBAF) が2005年から開催している「アートキャンプ」と連動し、日本の子供たちが、ダンス、美術、歌等様々な創作活動を通じて、シンガポールの子供たちと交流
11	日本タイ青少年空手道交流相互理解促進事業	タイ	特定非営利活動法人一橋空手道一空会	2010.04.15 ~ 2010.09.15	日・タイ青少年が相互訪問して、日本の伝統的武道である空手道を共同して研鑽し、心技体に亘る人格形成と礼節を重んじ相手を尊重する精神を育成。異文化交流や両国産業経済への理解、更にこれらをテーマとするワークショップを開催することにより、両国の相互理解・文化経済交流の発展に役立て、市民交流の担い手を育成
12	ようこそタイ山岳少数民族の子ども達	タイ	特定非営利活動法人地球市民ACTかながわ/TPAK	2010.04.29 ~ 2010.05.07	タイ北部山岳少数民族の村にあるメートー中学校から学生及び教師を招へい。日本の中学校にて交流会、シンポジウム、異文化交流、一般家庭でのホームステイを体験し、両国の市民青少年間の相互理解と成長を目指す事業。これまでの国際協力活動から培ったアプローチを活かし、タイの中学生と教師からみた日本社会に対する気づきを発信させ、日本の再生について考える機会を提供
13	棚田保全と平和構築のためのアート・プロジェクト	フィリピン	アメント天然芸術研究所	2010.12.12 ~ 2011.02.01	森林破壊が著しく世界危機遺産に指定されているフィリピン、イフガオ州の棚田の村で、日本とフィリピンのアーティストが協力し、環境保全と日比の平和的關係構築のために、コミュニティの人々を対象としたワークショップと共同制作活動を実施。日比間の交流を深め、持続可能で平和な世界の実現への思いを表現し、住民の環境保全と平和への実践活動を促す事業
14	山の子供たち～日比交流・環境教育ワークショップ	フィリピン	コーディネエラ・グリーン・ネットワーク	2011.03.31 ~ 2011.05.21	山岳地方の先住民族の高校生たちが、日本の環境団体で環境教育ワークショップを受けて環境の大切さを学ぶと共に山岳地方が抱える環境問題を日本の若者に伝達。また、彼らが日本の山村でホームステイを行い、山村の抱える問題を知り、お互いの共通点や違いを知り、日比が共同で環境保全と文化保全のために活動していくための基盤づくりを行った
15	「東遊運動顕彰」日越交流事業	ベトナム	浅羽ベトナム会	2010.11.01 ~ 2010.11.09	20世紀初めインドシナの独立を目指して日本で学ぶベトナム青年の留学運動「東遊運動」の指導者ファン・ボイ・チャウの没後70年、及びチャウの恩人、浅羽佐喜太郎没後100年となる2010年に浅羽佐喜太郎記念碑の歴史をテーマに、ベトナムにて映像上映会、展示会を行うとともに、東遊運動顕彰碑や記念碑拓本を寄贈
16	ラオスの学校に教材を届けよう！	ラオス	特定非営利活動法人新潟国際援助学生ボランティア協会	2010.12.24 ~ 2010.12.30	新潟の学生が学校の垣根を越えて様々な国際協力活動の一つとして、日本とラオスの相互理解を目的に、新潟の小学生から高校生までの生徒の手を借りて作った教材をラオスに寄贈

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
17	「子どもの憩いの村」 in インド・スタディツアー8日間	インド	教育と環境の「爽」企画室	2010.08.01 ~ 2010.08.08	インドのストリートチルドレンのための自立支援センター「子どもの憩いの村」を訪問。現地の子どもたちに日本語や日本の文化を紹介する授業、音楽、スポーツ、ゲーム等の交歓したり、庭園・農園の作業をしたりしながら、両国の文化や習慣を相互に理解し、併せてオリッサ山地や首都デリーの庶民の生活に触れ、異文化を体験する機会を提供
18	ウォールアートフェスティバル 2011	インド	特定非営利活動法人ニラン ジャナ セワ サンガ	2011.02.19 ~ 2011.02.21	アートの可能性を子どもたちを通じて地域に伝えると共に、地元の学生・住民と協働して開催することにより地域活性化・自立支援をめざす。インドの最貧困州とされるビハール州の民間学校にて日印のアーティストが壁画を描く芸術祭及びワークショップを実施
19	国際環境ワークキャンプ	ネパール	秋田キャンパスネット	2010.09.15 ~ 2010.09.27	異文化理解、国際相互理解促進を目的に、ネパールの学生団体CGNNを秋田に招へいし、共同生活を送りながら有機堆肥を製造するコンポストセンターや農家などの先進事例を紹介するワークキャンプ、ワークショップ、スポーツ、ボランティアなどの活動を実施
20	自然の詩・生命の詩—ネパールの風を読む	ネパール	一般社団法人日本詩人クラブ	2010.12.03 ~ 2010.12.19	吟遊詩人として自然と民衆とともにあるマンジュール (Manjul : 詩人) の講演やパフォーマンスを通し、地球の自然環境と「人々の暮らしと詩」について考察
21	第6回アジアの子供の夢舞台	中国 (香港) 台湾 ネパール アフガニスタン	アジアの子供の夢舞台実行委員会	2010.09.20 ~ 2010.09.29	異なる文化と歴史をもつアジアの子供達の相互理解を目的に、東京都北区にアフガニスタン等4カ国から子供の舞踊グループなどを招へいし交流を実施
22	国際ボランティア・アジア広報サミット 2010	アジア地域区分 困難	特定非営利活動法人日本国際ワークキャンプセンター (NICE)	2010.10.29 ~ 2010.11.04	主に青少年が活動する国際ボランティアNGOの広報リーダー22名によるワークショップ、フィールドワーク、フェスタを行って、市民参加と官民協働を進めながら「PR協力網」を創設
23	多文化ワークキャンプ	アジア地域区分 困難	特定非営利活動法人多文化共生センター北九州	2011.01.14 ~ 2011.01.17	東アジアの人的ネットワーク構築を目的として、「アジアはひとつ」をテーマに東アジア各国の次世代を担う青少年が相互の文化・歴史等を学ぶ交流事業を実施
24	姉妹都市リトルリーグ・ベースボール交流プログラム	カナダ	岐阜リトルシニア野球協会	2010.07.20 ~ 2010.07.29	青少年の国際的な視野の涵養と国際相互理解の促進を目的に、カナダのサンダーベイ市で開催される姉妹都市野球大会に参加し、カナダ、米国、台湾チームとの親善試合や野球クリニック、合同練習、ホームステイ等を実施
25	青少年のサケ学習国際交流事業	カナダ	北海道サーモン協会	2011.03.26 ~ 2011.04.03	サケを介して環境保全の重要性を認識することを目的に、札幌市内の小中学生がカナダ・ブリティッシュコロンビア州第83学区 (アームストロング町) において環境センターでの野外活動やホームステイを実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
26	2010年度 クレオールの夏プロジェクト「日米聴覚障害学生交流 2010」	米国	聴覚障害英語サークル・クレオール	2010.07.14 ~ 2010.09.30	障害の有無や国籍を越えた日米双方の学生の相互理解促進や国際的視野の醸成を目的に、北カリフォルニアのレイ高校の聴覚障害学生達を日本に招き、沖縄や東京の聴覚障害学児童達との交流・英語キャンプや、「広島原爆」についての学習・体験等を実施
27	水環境学習に関わる日米高校生交換事業	米国	滋賀短期大学	2010.07.22 ~ 2010.08.19	日米相互理解、異文化理解を目的に、滋賀県とミシガン州の高校生が日米両国で生活を共にしながら水質検査を中心とした環境学習し、報告書の共同作成等ミシガン州立大学との共催事業を体験
28	ろう社会への貢献活動・文化交流企画：日本におけるろう文化、ろう教育に関する調査・研究	米国	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校	2011.01.05 ~ 2011.01.22	米国のろう者を対象に、コミュニティ・サービスと手話の社会教育を行っているカリフォルニア州立大学が、筑波大学・上智大学・Deaf Japan, Inc. と協力して日米交流を行う事業。米国の参加者は、各日本側受入機関でアメリカ手話のデモンストレーションや各種調査も実施
29	第3回メキシコ他3カ国囲碁文化交流	キューバ グアテマラ コスタリカ メキシコ	特定非営利活動法人囲碁国際交流の会	2010.11.10 ~ 2010.11.27	日本メキシコ交流400周年を記念して、メキシコ囲碁連盟の招へいにより、囲碁文化交流をメキシコ国立自治大学などで実施。その後、相互理解とネットワークの増進を目的に各国囲碁協会と協働し、コスタリカ、グアテマラ及びキューバの市民、学生らと囲碁を通じた交流を実施
30	日墨交流400周年記念大分演劇国際交流行事	メキシコ	ナデーシダ シーシーアイ ジャパン (Nadieshda C. C. I. Japan)	2010.12.02 ~ 2010.12.21	日本メキシコ交流400周年記念事業として、ミゲル・ヴァロン (VAYLON, Miguel A. :メキシコ人演出家)を大分県に招へいし日本人俳優や日本人学生に対してワークショップを行い、演劇公演を実施
31	日秘子どもワンダーアイズ環境写真交流	ペルー	ワンダーアイズプロジェクト	2010.04.01 ~ 2010.12.31	写真文化を通じて日本とペルーの市民青少年間相互理解と成長を目指し、ペルーのアマゾン流域、プカルパで、美術を通じて次世代に環境への意識を広げる活動を行っている絵画学校ウスコアヤールと協働し、子どもたちと自然環境に目を開く写真プログラムを実施。写真家2名が現地を訪問、ウスコアヤール学校を中心に活動
32	「イタリアで最も美しい村」協会フェスティバル参加及び「世界で最も美しい村」連合総会	イタリア	特定非営利活動法人「日本で最も美しい村」連合	2010.09.02 ~ 2010.09.08	「日本で最も美しい村」連合が「世界で最も美しい村」連合会に正式加盟することを記念し、「イタリアで最も美しい村」協会主催のフェスティバルに参加し、大鹿歌舞伎を公演。「最も美しい村」運動を通じた市民交流を推進
33	日本・ポルトガル修好150周年記念事業	ポルトガル	種子島火縄銃保存会	2010.11.15 ~ 2010.11.24	鉄砲伝来の取り持つ縁で種子島と友好関係にあるポルトガルを訪問し、11月20日から25日までポルト市で開催される第35回ジャパンウィーク2010年ポルトガル・ポルト（財団法人国際親善協会主催、国際交流基金後援）において火縄銃の試射を披露。また、友好関係の再確認と今後の絆を深めることを目的に、西之表市の姉妹都市ヴィラ・ド・ビスポ市を訪問して市民青少年との交流を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
34	第1回平成遣欧使節団 in ポルトガル	ポルトガル	一般社団法人元気ジャパン	2010.11.18 ~ 2010.11.22	天正遣欧少年使節帰国後420周年、慶長遣欧使節団帰国後390周年、日本ポルトガル修好150周年を記念し、第35回ジャパンウィーク2010年ポルトガル・ポルトに参加し、剣伎サムライ・パフォーマンス等を実施。市民レベルで文化、芸術、食、観光、スポーツなどのテーマ毎に相互交流する場を創出
35	ウクライナ・スタディー・ツアー 2010	ウクライナ	特定非営利活動法人仙文化センター	2010.09.22 ~ 2010.09.30	日本とウクライナの大学生・青年を対象とした文化交流・平和教育のプログラム。多文化共生による相互理解の促進を目的に、日本とウクライナの大学生がペアを組み、キエフ市内の孤児院におけるボランティア活動やホームステイを行うとともに、学生同士のシンポジウム、文化交流会を開催
36	キルギス共和国青少年文化センター「セイテック」付属舞踊団「シャティック」日本招へい	キルギス	かわさき国際交流民間団体協議会	2010.11.25 ~ 2010.12.01	2005年から2008年にかけて行われた日本とキルギスの青少年相互交流事業を発展させるべく、キルギス人高校生からなる舞踊団「シャティック」のメンバー16名を招へいし、公演等を実施(2010.11.28)
37	教育支援NPO「ブレザ」とザダル大学による国際教育プロジェクトへの参加	クロアチア	みやぎDEネット Team Future	2010.08.02 ~ 2010.08.07	ヨーロッパ各国の人々が集う国際文化交流祭において、小学校の平和教育模擬授業や日本文化体験ワークショップ等を通じて日本の教育的手法を参加者に紹介するとともに、21世紀の子供達や若者達が創造的未來を築く力を育む教育的方法について他国の先進的事例を摂取
38	第12回青少年サハリン・北海道「体験・友情」の船	ロシア	北海道・ロシア極東交流事業実行委員会	2010.07.27 ~ 2010.08.02	サハリンより80名の青少年(小学生～大学生)を北海道(稚内、札幌)に7日間招へいし、独立心と日ロの国境を越えた友情を育むべく北海道の青少年との共同キャンプを通じ、文化・スポーツ交流、自主体験活動、ホームステイなどを実施
39	クラスノヤルスク文化交流訪ロ団派遣	ロシア	日本とロシアの友好親善を進める愛知の会	2010.09.05 ~ 2010.09.13	日ロ両国の相互理解を深め、今後の更なる友好と親善を深化すべく、ロシアのクラスノヤルスクを訪問しホームステイやホームビジット、キャンプを通じて互いの国の文化を体験
40	「絆」KIZUNAプロジェクト 2010 in Japan	イスラエル パレスチナ	特定非営利活動法人ピース・フィールド・ジャパン	2010.08.08 ~ 2010.08.20	未来へと繋がる平和な文化を作り上げていくきっかけとして日本、イスラエル、パレスチナの(16～19才の女子各4名。他に引率教師各1名)が山梨県清里、小菅村で約2週間共同生活を行い、土地の文化・伝統・自然を一緒に体験
41	コフレ・プロジェクト in Turkey	トルコ	コフレ・プロジェクト	2010.10.01 ~ 2010.10.08	日本国内で使いきれずに捨てられる化粧品を収集しトルコ国内で女性の自立支援活動へと繋げるコスメを通じた青少年交流推進のため、カウンターパートとなりうる現地NGOとの交流及びメイク・レッスン等のワークショップを実施
42	TIFA一日・土女性交流とセミナー	トルコ	特定非営利活動法人国際交流の会とよなか (TIFA)	2010.10.20 ~ 2010.10.29	日本とトルコの女性が持つ知識・経験を共有するために、トルコの教育関係者及び青少年を日本・トルコの友好の原点である和歌山県串本町に招へいし、教育問題・女性の生き方について意見交換を実施

市民青少年交流事業費

	事業名	対象国・地域	助成対象機関	期間	事業内容
43	第73回ポネル展と「ポネルのように手をつなごう」の旅	トルコ	水を考える女性会議	2011.03.10 ～ 2011.03.25	「ポネル(君)」は、同会議のマスコットキャラクター。トルコと日本の青少年同士の相互理解と地球人としての視野を養うことを目的に、日本から「水大使」(子供8名を含む12名)がイスタンブールを訪問。小学校等学校訪問やホームステイを行い交流すると共に、「水フォーラム」等を通じて水環境や水質保全に関して共に学び、併せて日本の子どもたちによるアート作品の展示(ポネル展:11.03.18～22)を実施
44	手をつなぐ子どもたち—パレスチナ・日本・レバノン—絵画と音楽によるコラボレーション	パレスチナ レバノン	特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン	2010.04.01 ～ 2011.03.31	日本人の美術家と音楽家がレバノンを訪問、パレスチナ難民キャンプ等で子どもたちにワークショップを行うとともに、ベイルート市内のユネスコホールで作品展とコンサートを開催。それに先立ち日本でも子どもたちの絵画のワークショップを開き、その作品をベイルートで展示
45	第4回エコビレッジ国際会議 TOKYO	全世界区分困難	特定非営利活動法人ビーグッド・カフェ	2010.04.01 ～ 2010.07.30	環境に負荷をかけない生活の実践者と今後実践を希望する人への情報提供・相互学習の機会として「地球とつながるリローカライゼーション～都市の再生と農山村のエコビレッジ化～」というテーマで講演・分科会・ディスカッション・ワークショップを実施(2010.05.28～30)。米国、フィリピン、インドのエコビレッジ成功例も紹介し、国内活動の振興を模索
46	2010年「勇気と平和」日本語サミット	全世界区分困難	特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム	2010.06.11 ～ 2010.07.15	「勇気と平和」をテーマに、全世界から公募した外国人18名を日本に招へいし、福岡と東京にて日本語サミットを開催。国籍や文化の異なる同世代の若者が一堂に会し、日本の高校生・大学生とのディスカッションや、ホームステイ、伝統文化体験等の35日間のプログラムを通じて日本語で平和への思いを共有するとともに、日本から世界にメッセージを発信
47	世界コスプレサミット2010	全世界区分困難	世界コスプレサミット実行委員会	2010.07.31 ～ 2010.08.02	世界15国以上の国々から選抜されたコスプレを行う青少年を招へいし、日本の青少年とマンガ、アニメ、コスプレを通じた交流を実施。主要イベントである大須コスプレパレード(07.31)、世界コスプレチャンピオンシップ(08.01)に参加
48	PEACE ON EARTH プロジェクト	全世界区分困難	特定非営利活動法人ローハスクラブ	2010.08.01 ～ 2010.08.09	詩作を通じて平和意識の啓発に努めている詩人ギー・クレキー(CREQUIE, Guy:フランス)エルネスト・カーン(KAHAN, Ernest:イスラエル)等を海外から招へい。東京大学駒場キャンパスにおいて国際平和文化フォーラム「平和への新しいアプローチ」に出席(08.02)するとともに、広島・長崎で平和文化活動を実施

文化芸術交流事業に必要な経費

造形美術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）

2. 催し等事業費

- (1) 国際展（国際展参加）
- (2) 海外展（企画展）
- (3) 海外展（巡回展）
- (4) 海外展（助成）
- (5) 造形美術情報交流（催し）
- (6) 市民青少年美術交流助成

造形美術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する造形美術分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 25,284,992 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	東アジアクリエイター招へい (第3期)	WARDHANI, Farah	インドネシア・ビジュアル・アート・アーカイブ エグゼクティブ・ディレクター	インドネシア	2010.07.05 ~ 2010.08.16	東アジア首脳会議(EAS)参加国のうち13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイター21名を日本に招へいし、制作者や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図った
		WIJASMARA, Firman	モキシール インドネシア代表	インドネシア	2010.05.31 ~ 2010.08.11	
		KHVAY, Samnang	現代美術家	カンボジア	2010.06.01 ~ 2010.08.29	
		HO, Michelle	シンガポール美術館 アシスタント・キュレーター	シンガポール	2010.07.05 ~ 2010.08.01	
		ONG, Zhen Min	ナショナル・アート・ギャラリー アシスタント・キュレーター	シンガポール	2010.07.12 ~ 2010.09.30	
		NITPOLPRASERT, Chattiya	パープル・ヘイズ キュレーター	タイ	2010.07.01 ~ 2010.07.31	
		KLOMSAKUL, Passapak	スーパーノーマル・スタジオ ディレクター	タイ	2010.07.05 ~ 2010.08.22	
		VIRANUVAT, Patavee	映画監督	タイ	2010.04.26 ~ 2010.07.08	
		PACENA II, Jaime	アジア・パシフィック大学 講師	フィリピン	2010.06.29 ~ 2010.09.18	
		LANIOG, Ma. Elena	フィリピン大学ダンスカンパニー 振付家	フィリピン	2010.07.15 ~ 2010.09.05	
		ROSALIE ZERRUDO, Maria	エニグマタ クリエイティブ・ディレクター/アーティスト	フィリピン	2010.08.17 ~ 2010.10.18	
		HAJI OTHMAN, Hernie	ブルネイ首相府情報局 カメラマン	ブルネイ	2010.07.05 ~ 2010.08.11	
		NGUYEN, Anh Tuan	現代美術家	ベトナム	2010.06.01 ~ 2010.08.18	
FADZIL, Fahmi	ファイブ・アーツ・センター メンバー	マレーシア	2010.06.21 ~ 2010.08.01			
SOON, Simon	『アルテリ』編集者	マレーシア	2010.07.01 ~ 2010.08.16			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		LATT, Win Ei Ei	現代美術家	ミャンマー	2010.06.01 ~ 2010.08.29	
		PHOUMIVONG, Souliya	ラオス国立美術学校 講師	ラオス	2010.03.23 ~ 2010.05.31	
		MANEKSHAW, Jehan	シアター・プロフェッショナルズ ディレクター	インド	2010.06.07 ~ 2010.07.25	
		MAGAR, Nivedita	キュレーター	インド	2010.07.16 ~ 2010.09.18	
		ROBB, Leigh	パース現代美術館 キュレーター	オーストラリア	2010.07.01 ~ 2010.08.01	
		CARR, Steve	ホワイトクリフ美術大学 講師	ニュージーランド	2010.04.26 ~ 2010.07.08	
2	東アジアクリエイター招へい（第4期）				2010.08.01 ~ 2011.07.31	第4期（2011～12年）の東アジアクリエイター招へいのための準備業務を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 64,323,975 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第14回バングラデシュ・ビエンナーレ	バングラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	2010.10.08 ~ 2010.11.07	バングラデシュ・シルパカラアカデミーが主催する現代美術の国際展。日本は第1回目(1981年)から参加。今回は、コミッショナーに林寿美(川村記念美術館学芸員)、出品作家として名和晃平が参加し、グランプリを受賞
2	第29回サンパウロビエンナーレ	ブラジル	サンパウロ	ビエンナーレ会場	2010.09.25 ~ 2010.12.12	サンパウロ(ブラジル)において開催される国際美術展、第29回サンパウロ・ビエンナーレに関し、長谷川祐子(東京都現代美術館チーフ・キュレーター)と日本人グループ作家、Chim↑Pomの派遣を支援
3	第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2010.08.29 ~ 2010.11.21	北山恒コミッショナーのもと、塚本由晴、西沢立衛両氏の出品を得、日本が「メタボリズム」という概念を発信してから50年を迎える2010年に、絶え間なく生成変化を遂げる「東京」の都市としての魅力を伝える展示を実施
4	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展(準備)	イタリア	ローマ	ジャルディーニ公園内日本館		2011年6月4日から11月27日の間開催予定の企画展の開催準備

2. 催し等事業費 / (2) 海外展(企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 134,377,750 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	新次元 マンガ表現の現在	全世界区分困難 韓国	水戸市 ソウル	水戸芸術館 アートソングェ・センター	2010.08.14 ~ 2010.09.26 2010.12.03 ~ 2011.02.13	2000年代の日本マンガ9作品を取り上げ、「マンガ表現の今日的可能性」というテーマで企画した展覧会。キュレーターは高橋瑞木(水戸芸術館)、空間デザイナーは豊嶋秀樹(gm projects)。第一会場の水戸芸術館現代美術センターで展示した後、「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト(日韓新時代:未来へのコラボレーション)」事業の一環として、韓国・ソウルのアートソングェ・センターにおいて実施した。日本マンガが同時代的に受容されている韓国においては、美術雑誌に特集が組まれるなど好評を博し、展覧会にあわせて実施したシンポジウムにも大勢の観客が集まった

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
2	WA—現代日本デザインと調和の精神	フランス 韓国	サン・テティエンヌ ソウル	国際デザインビエンナーレ コリア・ファウンデーション文化センター	2010. 11. 20 ～ 2010. 12. 05 2011. 02. 12 ～ 2011. 03. 19	日常生活の中から現代の日本の優れたプロダクトデザイン161点を、12のカテゴリー（食器／水まわり／家電／情報／遊具／文具／雑貨／ウェア／包みとバッグ／乗り物／家具／あかり）に分けて展示。日本のデザインに特徴的な6つのキーワード（かわいい、クラフト、きめ、手ざわり、ミニマル、心くばり）を取りあげて紹介。ソウル展は、「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」事業の一環として実施
3	上海万博記念特別巡回展	中国	上海	上海環球金融センター	2010. 09. 03 ～ 2010. 11. 07	上海国際博覧会（上海万博）の実施時期に合わせ、日中両国の交流を深めるため、「キャラクター大国、日本」及び「都市と建築：1960年代の日本都市計画から語ろう」の2つの特別記念展示を上海環球金融センターで開催
4	マンガ文化史	シンガポール	シンガポール	ジャパン・クリエイティブ・センター	2010. 10. 16 ～ 2010. 11. 12	ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として、シンガポールでも人気の高い「日本のマンガとアニメ」の文化的背景、歴史、主要な作家等を網羅的に紹介する展覧会を実施
5	クリエイターシリーズ 伊東豊雄建築展 <i>MY COSMOS from my room to my city</i>	シンガポール	シンガポール	シンガポール国立大学講堂 ジャパン・クリエイティブ・センター	2011. 01. 07 2011. 01. 08 ～ 2011. 02. 25	シンガポールで多くのプロジェクトに携わっており、現地での知名度も高い伊東豊雄（建築家）のプロジェクトを幅広く紹介し、また同氏の講演会（01. 07 シンガポール国立大学講堂）も併せて行なった。ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として実施
6	シンガポール・ビエンナーレ記念「日本現代美術展」山口晃展 <i>Singa-Planet</i>	シンガポール	シンガポール	ジャパン・クリエイティブ・センター	2011. 03. 12 ～ 2011. 05. 06	「シンガポール・ビエンナーレ」の開催時期をとらえ、日本のアートシーンを代表する山口晃の海外初個展を、ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として実施。多民族国家シンガポールの庶民生活から着想を得た新作ドローイング類と、2000年代の代表的な油彩、水彩画、立体を展示
7	JENESYSフォローアップ事業（準備）	インド オーストラリア	ニューデリー パース		2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	平成23年度実施の企画展「山口晃展」の準備作業

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	桂離宮—石元泰博写真展	米国 カナダ 米国 米国 米国	ロサンゼルス バーナビー シアトル ボイシ ポートランド	カリフォルニア大学ロサンゼルス校建築学部建築学科 日系プレース (Nikkei Place) シアトル日本庭園 ボイシ州立大学 ポートランド市日本庭園パビリオン	2010.04.30 ~ 2010.05.21 2010.06.06 ~ 2010.08.04 2010.09.02 ~ 2010.11.14 2010.12.02 ~ 2011.01.09 2011.01.27 ~ 2011.02.20	日本の王朝の雅を今に伝える桂離宮を、個性的な視座で捉えた石元泰博の写真作品50点から成る展覧会を開催し、モダンな造形性で知られる石元の写真を通して、桂離宮という日本美の精緻をクローズアップした
9	写真展「出発（たびだち）—6人のアーティストによる旅」展	ポルトガル メキシコ メキシコ メキシコ	レイリア トルーカ メキシコ・シティー ベラクルス	レイリア市立ギャラリー モデロ科学産業博物館 メキシコ市立写真アーカイブ博物館 ベラクルサーナ大学付属ギャラリー	2010.05.31 ~ 2010.07.11 2010.10.01 ~ 2010.10.24 2010.12.16 ~ 2011.02.06 2011.02.16 ~ 2011.03.27	若手日本人の写真家5名及び映像作家1名による「旅」をテーマとした作品170点を紹介。キュレーションは藤村里美（東京都写真美術館）。2009年パリでの展示後、2010年はポルトガル1会場、メキシコ3会場を巡回
10	近代日本工芸1900～1930	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2010.10.13 ~ 2010.12.23	本展覧会では、陶芸、染織、漆工を中心に、1900年から1930年の間に制作された工芸作品75点を展示。アール・ヌーヴォー、アール・デコ等の影響を経て日本人作家が生み出した独自の展開をヨーロッパに紹介
11	ジャナドリヤ祭日本館展示「武道の精神」展【準備】	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	サウジアラビアの国民的文化行事である「伝統と文化の祭典（ジャナドリヤ祭）」における「武道の精神」展の展示及び和室ステージ等の準備。当初2011年3月に開催予定のところ、同祭の開催が2011年4月13日～29日に延期されたことに伴い、本年度は、実施準備のみとなったもの

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
12	北斎展【実施準備】	ドイツ			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
13	田中敦子展【実施準備】	英国 スペイン			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
14	ロシアにおける日本現代美術展【実施準備】	ロシア			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
15	樂展【実施準備】	米国 ロシア			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化を紹介する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 189,930,460 円

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
1	90年代の日本の絵画	ルクセンブルク	ディーキルシュ	ディーキルシュ市中・高等学校 ディーキルシュ市文化会館	2010.04.15 ~ 2010.05.16	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆を含む9名の作家が、1990年代に、30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
		スロベニア	ツェリエ	ツェリエ現代美術館	2010.06.18 ~ 2010.08.15	
		ウクライナ	キエフ	ウクライナ国立美術館	2010.09.17 ~ 2010.10.17	
		ウクライナ	オデッサ	オデッサ西洋・東洋芸術博物館	2010.10.28 ~ 2010.11.21	
2	<i>out of ordinary / extraordinary</i>	フィリピン	マニラ	メトロポリタン美術館	2010.06.30 ~ 2010.10.16	様々な価値観や視点によって、より複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現—日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
3	都市と建築 Struggling Cities: from Japanese Urban projects in '60s-	中国	上海	上海環球金融センター	2010.10.14 ~ 2010.11.07	1960年代における日本人建築家による野心的な都市提案をきっかけとして、「都市」を様々な角度から考察し、新しい都市像を模索するための展覧会。第一部は、丹下健三の「東京計画1960」、菊竹清訓の「塔状都市」、磯崎新の「空中都市」を取り上げる。第二部では、第一部の「都市計画」を実際に行った海外4事例に触れ、3D立体都市模型を通じて紹介。第三部では、東京の様々な側面を、押井守監督によるアニメーション作品、スライドショー等を通して紹介
		ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2011.02.15 ~ 2011.03.18	
4	ウィンターガーデン	米国	ロサンゼルス	日米文化会館ドイザギギャラリー	2010.06.12 ~ 2010.07.18	1960年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品（平面作品、映像等）から構成される展示セット。本展の企画は、松井みどり（美術評論家）が提唱する、無名、時代遅れと言われるものに新たな用途や文脈を与える「マイクロポップ」（造語）をキーワードに構成
		カナダ	トロント	トロント日本文化センター	2010.08.06 ~ 2010.11.06	
		メキシコ	メキシコ・シティ	メキシコ国立自治大学付属チョボ美術館	2010.12.08 ~ 2011.03.02	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
5	くまもとアートポリス	チュニジア	チュニス	ベルベデール・アートの家	2010.04.07 ~ 2010.04.26	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
		イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2010.05.18 ~ 2010.07.02	
		ドイツ	ハノーヴァー	ニーダーザクセン州建築家協会	2010.08.05 ~ 2010.09.09	
		ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2010.09.24 ~ 2010.11.26	
		ドイツ	マグデブルク	フォーラム・ゲシュタルトウング	2011.01.26 ~ 2011.03.04	
6	現代日本デザイン100選	マレーシア	ペナン	マレーシア科学大学芸術学部アディワルナ・ギャラリー	2010.04.19 ~ 2010.05.15	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、及びその原点ともいえる戦後の1950年代に製作された作品13点を紹介
		韓国	済州	国立済州博物館	2010.06.22 ~ 2010.07.11	
		韓国	釜山	新世界センタムシテイ6階新世界ギャラリー	2010.07.20 ~ 2010.08.01	
		韓国	ソウル	在韓国大使館広報文化院	2010.08.27 ~ 2010.09.11	
		トルコ	イスタンブール	イスタンブール・デザインウィーク	2010.09.29 ~ 2010.10.03	
		トルコ	イスタンブール	イスタンブール工科大学	2010.10.12 ~ 2010.10.27	
		トルコ	アンカラ	ジェパ・ショッピングセンター	2010.11.01 ~ 2010.11.30	
		インドネシア	ジャカルタ	ナショナル・ギャラリー	2011.01.18 ~ 2011.02.06	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
7	現代日本の工芸	ネパール	カトマンズ	在ネパール大使館 ホール	2010.04.16 ~ 2010.04.29	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された64点の工芸作品で構成。華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類して紹介。人間国宝の故・江里佐代子氏の作品を含む64点の構成
		ブルネイ	バンドルスリブガ ワン	ブルネイ博物館	2010.06.07 ~ 2010.06.27	
		マレーシア	コタ・キナバル	サバ・アート・ ギャラリー	2010.07.12 ~ 2010.07.30	
		韓国	済州	済州学生文化院	2010.08.24 ~ 2010.09.01	
		韓国	昌原市	城山アートホール 展示場	2010.10.01 ~ 2010.10.09	
		韓国	ソウル	在韓国大使館広報 文化院	2010.10.18 ~ 2010.10.29	
		タイ	チェンマイ	チェンマイ大学 アートセンター	2010.11.26 ~ 2010.12.15	
		タイ	バンコク	バンコク芸術文化 センター	2011.01.14 ~ 2011.02.13	
		シンガポール	シンガポール	南洋芸術学院	2011.03.14 ~ 2011.04.19	
8	現代日本の陶磁器	ギリシャ	アテネ	メリーナ文化セン ター	2010.04.12 ~ 2010.04.30	特色のある窯をもつ有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸、美濃、益子で、日本の窯の伝統を引き継ぎながら優れた陶芸作品を生み出している若手作家の作品71点を紹介
		ハンガリー	ケチケメート	国際陶磁器スタジ オ	2010.06.03 ~ 2010.06.26	
		ハンガリー	デブレツェン	メッジェシ美術館	2010.07.15 ~ 2010.09.12	
		英国	アピリスウィス	アピリスウィス・ アーツ・センター	2010.10.23 ~ 2011.01.05	
		イタリア	ファエンツァ	ファエンツァ国際 陶磁器美術館	2011.01.20 ~ 2011.03.20	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
9	自然に潜む日本	中国	深圳	華美術館	2010.03.05 ~ 2010.03.25	矢萩喜徒郎（写真家）が「ありのままに日本の自然をみつめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上げよう」と企画し、日本全国を巡り制作した写真集『Hidden Japan - 自然に潜む日本』からモノクロ写真85点を選び構成
		スリランカ	コロンボ	ナショナル・アート・ギャラリー	2010.06.02 ~ 2010.06.07	
		中国	香港	香港大学美術博物館	2010.08.10 ~ 2010.09.10	
		中国	北京	清華大学美術院	2010.09.16 ~ 2010.10.07	
		中国	合肥市	合肥・久留米友好美術館	2010.11.10 ~ 2010.11.21	
		中国	瀋陽	魯迅美術学院、瀋陽市図書館	2010.12.02 ~ 2010.12.25	
		中国	重慶	三峡博物館	2011.01.20 ~ 2011.02.20	
10	新世代アーティスト	ベトナム	ハノイ	エキシビション・ハウス「29ハン・バイ」	2010.05.15 ~ 2010.05.24	1990年代半ば以降、注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的にインパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点（絵画、彫刻、写真、ビデオなど）により構成
		ベトナム	ホーチミン	ホーチミン市労働文化会館	2010.06.12 ~ 2010.06.21	
		ベトナム	フエ	フエ市ホーチミン博物館	2010.07.17 ~ 2010.07.26	
		インドネシア	スラバヤ	エミタン・ギャラリー	2010.09.26 ~ 2010.10.10	
		インドネシア	ジャカルタ	サリハラ・ギャラリー	2010.10.27 ~ 2010.11.16	
		マレーシア	シャー・アラム	ギャラリー・シャーアラム	2010.12.08 ~ 2010.12.24	
		マレーシア	ペナン	マカリスター通り57号（ペナン州立博物館付属）	2011.01.07 ~ 2011.01.23	
		パキスタン	イスラマバード	国立美術館	2011.02.04 ~ 2011.03.31	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
11	写楽再見	ボリビア チリ ペルー 米国	ラパス サンティアゴ リマ アルバニー	国立美術館 プロビデンスシア区文化院 リカルド・パルマ大学クコリ・ワシ文化センター アルバニー美術館	2010.06.02 ~ 2010.07.02 2010.08.03 ~ 2010.09.24 2010.11.08 ~ 2010.11.28 2011.02.04 ~ 2011.03.28	独特の大首絵で歌舞伎役者等を描いた江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介。写楽の大首絵(複製)28点、グラフィックデザイナーによるポスター28点、現代美術作家による絵画・彫刻・陶芸・版画など23点により構成
12	スピリトを写す	オマーン カタール シリア	マスカット ドーハ ダマスカス	オマーン芸術協会 カタール写真協会(文化村会場) ハーン・アスアド・パンシャ	2010.10.04 ~ 2010.10.12 2010.11.29 ~ 2010.12.09 2011.01.09 ~ 2011.01.22	精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実には隠された、見えないものが持っているであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介
13	手仕事のかたち	ドミニカ共和国 中国	サント・ドミンゴ 北京	ベジャス・アルテス 北京日本文化センター	2010.04.15 ~ 2010.05.15 2010.12.11 ~ 2011.01.08	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木竹工、紙など)及び各地の工房で伝統的な技術を用いて創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
14	キャラクター大国、ニッポン Aセット	中国 台湾 台湾 オーストラリア	上海 台北 高雄 メルボルン	上海環球金融センター 国立中正紀年堂 夢時代8階夢時代会館 王立メルボルン工科大学ギャラリー	2010.09.03 ~ 2010.10.10 2010.11.19 ~ 2010.12.05 2010.12.09 ~ 2010.12.21 2011.01.21 ~ 2011.03.19	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950~60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、キティちゃん、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
15	キャラクター大国、ニッポン Bセット	イタリア ハンガリー	ローマ ブダペスト	ローマ日本文化会館 ハンガリー貿易観光博物館	2010.09.27 ~ 2010.11.06 2011.01.14 ~ 2011.02.14	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950~60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、キティちゃん、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
16	日本人形 Eセット	オーストラリア	バーンサイド	バーンサイド市タウンホール	2010.07.08 ~ 2010.07.22	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に題材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		オーストラリア	パース	カウンスル・ハウス	2010.08.11 ~ 2010.08.24	
		オーストラリア	キャンベラ	アリアンス・フランセーズ	2010.09.20 ~ 2010.10.02	
		インド	プネ	カラ・ダラン	2010.11.13 ~ 2010.11.21	
		インド	コルカタ	アバニンドラナート・ギャラリー・ラビンドラナート・ダゴールセンター	2011.01.10 ~ 2011.01.23	
		インド	チェンナイ	アンナドゥライ生誕百周年記念図書館	2011.02.08 ~ 2011.02.19	
17	日本人形 Fセット	米国	オマハ	ローリツイン・オマハ植物園	2010.04.17 ~ 2010.05.09	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
18	日本の現代写真	ニュージーランド	ウェリントン	在ニュージーランド大使館広報文化センター	2010.04.21 ~ 2010.04.30	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれを取りまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟を含む23名の写真家による、計76点の作品を紹介
		ニュージーランド	オークランド	スノーホワイトギャラリー	2010.05.18 ~ 2010.06.17	
		コスタリカ	サンホセ	ナショナルギャラリー	2010.07.15 ~ 2010.08.12	
		コスタリカ	アラフェラ	アラフェラ市立劇場ロビー	2010.08.26 ~ 2010.09.23	
		コロンビア	ボゴタ	ビルヒリオ・バルコ図書館	2010.10.28 ~ 2010.12.05	
		ベネズエラ	カラカス	コープバンカ文化センター	2011.02.10 ~ 2011.02.27	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
19	日本の子ども60年	米国	シアトル	シアトルセンター	2010.04.11 ~ 2010.04.22	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後から現在にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという趣旨で、木村伊兵衛、土門拳を含む97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介
		アルゼンチン	コルドバ	コルドバ日本人会館	2010.06.10 ~ 2010.06.30	
		ウルグアイ	モンテビデオ	カビルド展示場	2010.09.01 ~ 2010.09.15	
		ウルグアイ	サン・ホセ	文化スペース (サン・ホセ)	2010.09.23 ~ 2010.10.12	
		エルサルバドル	サンサルバドル	ダビッド・J・グスマン国立考古学博物館	2010.11.26 ~ 2011.01.09	
		グアテマラ	グアテマラ	国立近代美術館	2011.02.15 ~ 2011.03.20	
20	パラレル・ニッポン	ブラジル	ポルト・アレグレ	リオグランデドスル・カトリック大学建築学部	2010.04.29 ~ 2010.05.18	1996年～2006年の10年間に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、わが国の社会文化状況と対比させながら紹介
		ブラジル	クリチバ	メモリアル・クリチバ パラナホール	2010.05.28 ~ 2010.06.20	
		ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	国立歴史博物館	2010.07.05 ~ 2010.07.20	
		ブラジル	ジョアン・ペソア	ウジナ・カルトゥラル・エネルジザ (パライバ電力会社文化ギャラリー)	2010.08.03 ~ 2010.08.22	
		ブラジル	ブラジリア	国立博物館	2010.08.31 ~ 2010.09.19	
		ブラジル	ベレン	ベレン市立美術館	2010.09.30 ~ 2010.10.20	
		ブラジル	マナウス	西部アマゾン日伯協会	2010.10.29 ~ 2010.11.22	
		ブラジル	サンパウロ	インスティテュート・トミエ・オオタケ	2010.12.07 ~ 2011.01.30	
		米国	ヒューストン	ヒューストン建築センター	2011.03.24 ~ 2011.04.22	

造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
21	武道の精神	トルコ	アンカラ	ジェパ・ショッピングセンター	2010.04.04 ~ 2010.04.18	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観すると共に、現代の各武道団体の活動についても紹介。日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	ボスニア・ヘルツェゴビナ美術館	2010.05.07 ~ 2010.05.15	
		クロアチア	ザグレブ	民俗歴史博物館	2010.06.12 ~ 2010.07.03	
		ロシア	モスクワ	全ロシア国立外国文献図書館	2010.07.30 ~ 2010.08.19	
		ロシア	クラスノヤルスク	クラスノヤルスク美術館センター	2010.09.04 ~ 2010.09.26	
		アイスランド	レイキャビク	北欧ハウス	2010.11.21 ~ 2010.12.12	
22	日本の自画像 1945～1964 (仮称) 展 【準備】				2010.04.01 ~ 2011.03.31	1945年から1964年までの日本の戦後社会の移り変わりを11名の写真家の作品により紹介する新規巡回展示セットの制作

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 海外展 (助成)

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 53,844,877 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	ムーブ・オン・アジア2010 (<i>Move on Asia 2010 & Media Archive Network Project</i>)	韓国	ソウル	LOOP	ALTERNATIVE SPACE LOOP	2010.04.10 ~ 2010.05.10	日本、韓国、中国、ベトナム、スリランカ、インドネシアなどアジア各国のキュレーター20名が推薦する映像作品40点を展示、あわせてシンポジウムを開催。日本人のキュレーターはNTTインターコミュニケーション・センター(ICC)の畠中実、作家は泉太郎、田中功起、小林耕平らの作品を展示
2	第8回光州ビエンナーレ 8th Gwangju Biennale, 2010	韓国	ソウル	光州ビエンナーレ会場	光州ビエンナーレ財団	2010.09.03 ~ 2010.11.07	光州ビエンナーレは、1995年から開始されたアジア初の本格的国際展。アーティスティック・ディレクターにMassimiliano Gioniを迎え、 <i>10,000 Lives</i> のタイトルのもとに約100名の作家が参加。日本からは工藤哲巳、実験工房、大竹伸朗らが参加
3	第6回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ (<i>The 6th Seoul International Media Biennale</i>)	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	ソウル国際メディアアートビエンナーレ諮問委員会	2010.09.07 ~ 2010.11.07	2000年からソウル市美術館を会場として開始されたメディアアートに特化したビエンナーレ。第6回目となる今回はアーティスティック・ディレクターにキム・ソンジョン、キュレーターの一人に日本人の住友文彦を起用。展覧会のほかにシンポジウム、ワークショップ、トーク等を実施。日本からは宮島達男、池田亮司、大巻伸嗣が出品
4	釜山ビエンナーレ2010 (<i>Busan Biennale 2010</i>)	韓国	釜山	釜山市立美術館他	釜山ビエンナーレ組織委員会	2010.11.09 ~ 2010.11.20	2000年から開催されている釜山市主催のビエンナーレ。第5回目の今回のテーマは <i>Living in Evolution</i> 。アーティスティック・ディレクターに日本人キュレーターの東谷隆司を起用。世界各国から60~80名の作家を招へいし、展示。日本からは名和晃平、ヤノベケンジ、Chim ↑Pom、鴻池朋子等が参加
5	北野謙「our face プロジェクト」 (<i>Our face project, Ken Kitano</i>)	中国	北京	北京三影堂影視文化伝播有限公司	北京三影堂影視文化伝播有限公司	2010.05.01 ~ 2010.07.31	三影堂は写真家・榮榮(ロンロン)と日本人写真家・映里(インリ)が2007年に設立した写真に特化した展示・収集施設。展覧会の他、講演会や映画上映など幅広い活動を実施。今回のプロジェクトは北野謙のレジデンスにより「アジアの人々」というテーマで大判の手焼き写真を制作、制作方法を伝授しつつ作品を展示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
6	<i>Around Sound Art Festival 2010</i>	中国	香港	Academy of Visual Arts Gallery, SINSIN atelier + annex, etc.	サウンド・ポケット (Sound pocket)	2010.08.20 ~ 2010.09.09	サウンドアートのネットワーク形成を目的に、香港芸術発展局のサポートを得て実施した展覧会。日本からはベテランの鈴木昭男と若手作家のMiki Yuiが出品。サウンドアートという新たなアプローチが新鮮な企画
7	<i>Nu-Substance Festival 2010</i>	インドネシア	バンドン	スラサール・スナリオ・アートスペース	コモンルーム・ネットワーク財団 (Common Room Networks Foundation)	2010.07.05 ~ 2010.07.25	Nu-Substance Festival 2010の一環として <i>The Loss of the Real</i> をテーマに実施するレジデンス、ワークショップ、展覧会。パフォーマンスと総合した事業。キュレーターは21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) 平成20年度東アジアクリエイター招へいプログラムによる被招聘者Gustaff Harriman Iskandar。会場は国際交流基金主催の <i>KITA!!</i> 展でも共催実施したスラサール・スナリオ・アートスペース。国際交流基金関連事業のフォローアップ事業として位置づけられる
8	田名網敬一展 (<i>Keiichi Tanaami Exhibition: The World of TATEBANKO with Tribute by WORK</i>)	シンガポール	シンガポール	LaSalle College of the Arts	ラ・サール芸術大学 (LaSalle College of the Arts)	2010.08.12 ~ 2010.09.11	日本のグラフィックデザイナー・イラストレーター・アニメーション作家である田名網敬一の個展。会場であるラ・サール芸術大学の学生を主な鑑賞者として、同氏の作品を通じて日本のポップカルチャーの一端を紹介
9	鳥羽美花型染展 ーハノイ建都1000年・奈良遷都1300年を祝して (<i>Toba Mika's Special Katazome Exhibition-in commemoration of hanoi 1000th year & Nara 1300th year</i>)	ベトナム	ハノイ	ベトナム国立美術博物館、文廟	鳥羽美花型染展ハノイ実行委員会	2010.12.06 ~ 2010.12.25	長年ベトナムでの創作活動・交流に関わってきた鳥羽美花の作品を、ハノイ建都1000年・奈良遷都1300年を記念する日越交流イベントとして実施。作品はベトナム各地の風景を日本独自の伝統染色技法である型染めを使い表現したものの20点を展示。会場は国立美術博物館
10	スリランカ国際仏教博物館日本展 (<i>Exhibition of Japan in Sri Dalada International Buddhist Museum, Kandi</i>)	スリランカ	キャンディ	Sri Dalada International Buddhist Museum	大谷暢順・マヒンダ・ラージャパクシャ・ジョイント・アワード財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	スリランカ政府運営のスリランカ国際仏教博物館で実施。16カ国の仏教国が参加。日本展については、財団法人本願寺維持財団とスリランカ政府公認のNGOである大谷暢順・マヒンダ・ラージャパクシャ・ジョイント・アワード財団が日本国内の宗教関係機関、大学・研究機関等の協力を得て開催。「大乘の至極 日本仏教」をテーマに彫刻、絵画、書籍などを出展、併せて映像により日本の精神を紹介

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
11	儚くも永遠なる言葉たち：アジアの面影 (<i>Ephemeral but Eternal Words : Traces of Asia</i>)	オーストラリア	キャンベラ	The School of Art Gallery, The Australian National University (ANU)	オーストラリア国立大学人文学研究所 Australian National University (ANU)	2010. 04. 02 ~ 2010. 05. 01	アジア諸国出身でオーストラリア在住のアーティスト3名と、日本からの2名(港千尋、木村翼沙)による言葉、文字、書くという行為を扱った作品を展示。国際学会“Asia: Moving Across and Between Locations”と同時開催
12	<i>Structural Integrity</i>	オーストラリア	シドニー	The Meat Market Arts Centre	Next Wave Festival Inc.	2010. 04. 19 ~ 2010. 05. 30	2010年Next Wave Festivalの一環として実施。アジア、オーストラリアのArtist Run Initiativeが構造物/パヴィリオンを制作。レジデンス、展覧会とシンポジウムからなる。日本からはArt Centre Ongoingが参加し、和田昌宏がパヴィリオンを制作
13	第17回シドニービエンナーレ (<i>17th Biennale of Sydney : The Beauty of Distance—Song of Survival in a Precarious Age</i>)	オーストラリア	シドニー	Cocotoo Island, Museum of Contemporary Art他	Biennale of Sydney Limited	2010. 05. 12 ~ 2010. 08. 01	「距離の美」をテーマに、日本からは会田誠、山口晃、マーク・ダイサム他を招へいし、作品展示に加えて、「ペチャクチャ・ナイツ (Pechakucha nights at Super Deluxe@Artspace)」他、同ビエンナーレのパブリックイベントを実施
14	中嶋興・瀧健太郎ビデオアート展 (<i>Japanese Video Art Exhibition featuring Artists Ko Nakajima & Kentaro Taki</i>)	ニュージーランド	オークランド	ST PAUL St galleries	オークランド工科大学付属セントポール・アートギャラリー	2010. 08. 19 ~ 2010. 09. 24	中嶋興と瀧健太郎の異なる世代の作家2名によるビデオ・アート展。展覧会に加え、2日間のワークショップと講演を実施
15	「城郭と遊郭のために：江戸時代の日本の磁器」展 (<i>For Castles and Courtesans : Japanese Porcelain of the Edo Period</i>)	カナダ	トロント	ガーディナー陶磁器美術館(Gardiner Museum of Ceramic Art)	ガーディナー陶磁器美術館(Gardiner Museum of Ceramic Art)	2010. 07. 03 ~ 2010. 09. 12	ガーディナー陶磁器美術館に寄贈される陶磁器の個人コレクション作品に、米国の美術館等が所蔵する陶磁器、絵画、版画、漆器、織物等を加えた、約100点からなる展覧会。各種教育プログラムも実施
16	日本からの大使たち：友好親善人形展1860~1927 (<i>Ambassadors from Japan : Diplomats, Artists, and Friendship Dolls in San Francisco</i>)	米国	サンフランシスコ	Asian Art Museum	Asian Art Museum	2010. 04. 27 ~ 2010. 11. 21	咸臨丸来航160周年記念事業。日米交流史をテーマとした展示で、日本からの移民や人形の「大使(親善人形)」などの題材を扱う展示会を開催。米国内の美術館から借用した屏風絵の展示も同時開催。教育・アウトリーチプログラムも実施

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
17	奈良美智展 (Yoshitomo Nara : Nobody's Fool)	米国	ニューヨーク	Asia Society Museum	Asia Society Museum	2010.09.09 ~ 2011.02.01	奈良美智の米国初の大規模個展。ロックやパンク音楽とのつながりを中心に、初期の未公開作品から新作までをカバー。パブリック/アウトリーチ・プログラムやコンサートも実施。パーク・アヴェニュー・アーモリーでのレジデンス(オープン・スタジオ)が目玉の一つ
18	福本潮子：藍染の 繊細な世界 (Shioko Fukumoto : The Gossamer World of Indigo and Fiber)	米国	ポートランド	Pavilion at Portland Japanese Garden	オレゴン日本庭園 協会 (Japanese Garden Society of Oregon)	2010.10.30 ~ 2010.11.21	福本潮子の藍染展。オープニングには同氏を招へいし、講演を実施
19	夢と嗜好：サン ディエゴ美術館所 蔵250年の浮世絵展 (Dream and Diversion : 250 Years of Japanese Woodblock Prints from the San Diego Museum of Art)	米国	サンディエゴ	サンディエゴ美術 館 (San Diego Museum of Art)	サンディエゴ美術 館 (San Diego Museum of Art)	2010.11.07 ~ 2011.06.05	400余点の浮世絵の大規模展覧会。菱川師宣から1920~30年代の新版画までの250年間を俯瞰する。木版画制作のデモンストレーションやワークショップ等の関連企画も実施
20	郡裕美「空間の再 発見」展 (Learning Resource Program : Rediscovering Everyday Space)	米国	ピッツバーグ	マットレス・ファ クトリー (The Mattress Factory, Ltd.)	マットレス・ファ クトリー (The Mattress Factory, Ltd.)	2011.03.01 ~ 2011.04.15	郡裕美の作る装置を使って、周囲の空間を来場者に再考させる試み。縁側や軒下、障子や襖に囲まれた空間といった、日本建築内の空間にヒントを得て装置を制作
21	研ぎ澄まされたか たち：深見陶治の 歩み (Purity of Form : The Evolution of Fukami Sueharu's Ceramics)	米国	ハンフォード (カ リフォルニア州)	クラーク日本美 術・文化研究セン ター (The Clark Center for Japanese Art & Culture)	クラーク日本美 術・文化研究セン ター (The Clark Center of Japanese Art & Culture)	2011.03.26 ~ 2011.07.30	青白磁を用いた彫刻的作品で知られる陶芸家・深見陶治の個展。1962年から2005年までの40年以上にわたる創作活動を54点の作品(会期中盤で全作品展示代替)により紹介
22	石塚・進藤イン ディゴアート展	エルサルバドル	マルテ	エルサルバドル美 術館 (Art Museum of El Salvador)	エルサルバドル美 術館 (Art Museum of El Salvador)	2010.12.09 ~ 2011.03.11	インディゴ染色家による展覧会。その他ワークショップやレクチャーなど実施。エルサルバドルの伝統芸術インディゴアートを共通項にし、日本と同国の交流を促進
23	XVII Bienal De Arte Paiz	グアテマラ	グアテマラ・シ ティ	メトロポリタン文 化センター	Fundación Paiz	2010.04.17 ~ 2010.05.09	第17回Paiz Art Biennaleに、日本人として現代美術家・西野達(ドイツ在住)が初参加し、屋外の巨大なモニュメントを取り込む形でインスタレーション作品を設置

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
24	第11回メキシコポスター・ビエンナーレ	メキシコ	メキシコ・シティー	フランツ・マイヤー美術館	TRAMA VISUAL A. C. icograda member MEXICO	2010. 10. 29 ~ 2010. 11. 02	20年以上にわたるポスターに特化したビエンナーレ。本年は福田繁雄記念として同氏関連のイベントも多く実施するほか、原研哉(グラフィックデザイナー/日本デザインセンター代表取締役)を審査員として招へい
25	時の痕跡、言葉の痕跡：日本からのアーティスト展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	東洋美術館	アルゼンチン国立東洋美術館	2010. 11. 04 ~ 2010. 11. 28	2010年はアルゼンチン独立のきっかけとなった五月革命200周年。その記念行事のひとつとして中村冬日(なかむら・ふゆび)のキュレーションによる日本人アーティスト(書道・湯上久雄および木村翼沙と写真・港千尋)3名の作品を紹介
26	The 3rd International Sculptors Encounter	ボリビア	サンタ・クルス	マンサナ・ウノ・スクエア	Manzana 1 Espacio de Arte	2010. 10. 08 ~ 2010. 10. 19	熱帯雨林のサスティナブルな管理に関して一般市民の意識を喚起するために企画された木材による彫刻展。日本人彫刻家・池田雅彦が参加
27	野島康三展	イタリア	モデナ	ジュゼッペ・パニーニ写真美術館	モデナ写真収集体ジュゼッペ・パニーニ写真美術館	2010. 04. 10 ~ 2010. 05. 30	日本の近代写真の誕生と展開において最も重要な役割を果たした写真家のひとり、野島康三の写真113点を展示。京都国立近代美術館の共催によりイタリア初の野島康三の個展となった
28	ビデオズームジャパン	イタリア	ローマ	Gallery of the Associazione Culturale Sala 1	文化財団サラ・ウノ(Associazione Culturale Sala 1)	2010. 09. 23 ~ 2010. 10. 25	各国のビデオアートを紹介する展覧会シリーズの日本版。森美術館の近藤健一のキュレーションにより、平凡な日常をビデオで切り取ることで意味を与える作家たちの試みを展示。参加作家は小泉明郎、小金沢健人、奥村雄樹、サキサトム、さわひらき、田中功起
29	Tabaimo	英国	ロンドン	Parasol unit for contemporary art	Parasol unit for contemporary art	2010. 05. 26 ~ 2010. 08. 06	東芋のロンドンにおける初の個展。過去9年間に制作された代表作品4つのビデオ・インスタレーション作品を展示。日本人アーティストの作品も多く紹介してきたロンドンのギャラリー・パラソルユニットが会場
30	Tatsumi Orimoto	英国	リバプール	A Foundation Liverpool	A Foundation	2010. 06. 22 ~ 2010. 08. 22	折元立身(パフォーマンスアーティスト)の回顧展。1970年代から現在までの折元の活動を、1,000点に及ぶ過去の事業記録写真や動画、スケッチ、更に同氏のライブ・パフォーマンスによって幅広く紹介
31	Unearthed: figure-making and figure-breaking in ancient japan and the Balkans	英国	ノリッジ	Sainsbury Centre for Visual Arts	Sainsbury Centre for Visual Arts	2010. 06. 22 ~ 2010. 08. 31	新石器時代のバルカン地方の土偶と、縄文時代の日本の土偶150点とともに、現代の日本とバルカン諸国を象徴する作品やイメージと併せて展示。日本とバルカン諸国の作品を並置し、地理・時間軸の双方から、類似性と相違を比較検証

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
32	「光の肖像」展 in London (<i>The Light - Portraits of the "Hibakusha"</i>)	英国	ロンドン	Brunei Gallery, School of Asian and African Studies (SOAS) University of London	Kingston University-London	2010.08.05 ~ 2010.10.08	大矢英雄(広島市立大学芸術学部教授)及び同大学大学院学生による65名の被爆者の肖像画をロンドン大学のギャラリーにて展示。肖像画のモデルの情報などもパネルの形で紹介
33	<i>New Work by Rinko Kawauchi for the Brighton Photo Biennial 2010, commissioned by Photoworks</i>	英国	ブライトン	Brighton Museum and Art Gallery	Photoworks	2010.10.02 ~ 2010.11.14	川内倫子(写真家)の新作を、写真専門のビエンナーレ、ブライトン・フォト・ビエンナーレ(BPB:2003年開始)で紹介。若い世代を中心に多くの支持を得る同氏が、BPB2010のテーマ <i>New Documentary</i> を受けて制作した新作の展示。BPBのキュレーターはマーティン・パー
34	日本の建築家 in ライディング	オーストリア	ライディング(Raiding)	ライディング・リスト・センター	Raiding Foundation	2010.09.05 ~ 2010.09.19	青木淳、妹島和世、西沢立衛、藤森照信、藤本壮介、隈研吾、原広司、山下保博、クライン・ダイサム・アーキテクトの展覧会。模型、スケッチ、写真、ビデオを使い日本のデザインがどのようにオーストリアの多機能小住宅に活かされているかを説明。「未来の建築」と題するシンポジウムも実施
35	スタンボット・メット・ローデコール オランダのアート・デザインアカデミー出身 日本人クリエイターたちによる作品展	オランダ	ライデン	シーボルト・ハウス	Siebold Huis	2010.05.20 ~ 2010.06.20	オランダでアートを学んだ若手アーティストのグループ展。2009年からオランダと日本で交互に行なわれたプロジェクトの第3弾。オランダで制作した作品と日本で作成したドキュメンタリーを展示し、異なる文化環境の体験から生み出された視点から「相互作用的コミュニケーション」の可能性を提示
36	<i>In the dark, in the distance, under the shade</i>	キプロス	ニコシア	ニコシア大学(The University of Nicosia)	ニコシア大学(The University of Nicosia)	2010.10.18 ~ 2010.10.27	キプロスに竹山聖(建築家)を招へいし、講演会、建築展及びワークショップを実施。展示の中心は茶室の模型
37	Contemporary Art from Japan: Gutai, Araki, Nagasawa	スイス	ルガノ	Museo d'Arte, Villa Ciani, Museo Cantonale	Dicastero Attivita Culturali- Museo d'Arte- Citta di Lugano	2010.11.24 ~ 2011.02.20	「具体」・荒木経惟・長澤英俊という3つの側面から日本のコンテンポラリーアートを提示。イタリア国境に近いルガノ市(スイス)で、3カ所同時に展覧会を開催。カタログも3種類制作
38	Young contemporary Japanese Photography	スウェーデン	ストックホルム	Foaje 3, Kulturhuset	Kulturhuset, Stockholm	2010.04.01 ~ 2011.01.16	やなぎみわ及び澤田知子それぞれの個展。スウェーデンでは初の展覧会となる。会場はストックホルムの中心に位置し、年間300万人以上が訪問する総合文化施設
39	黒澤明のスケッチ展:侍の眼差し	スペイン	ビルバオ	Alhondiga Bilbao	Alhondiga Bilbao	2010.11.20 ~ 2011.01.20	黒澤明生誕100周年にスペイン国内を巡回する展覧会。映画監督としての側面だけではなく、スケッチの展示を通して、彼の描写能力や衣装デザイナーとしての能力にも着目

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
40	東京+ベルリンコミュニケーション展	ドイツ	ベルリン	Freies Museum Berlin	Kunstfaktor e.V.	2010.07.30 ~ 2010.08.29	日本人14名、ドイツ人14名の現代美術作家による交流グループ展。2009年東京展、2010年ベルリン展を経て、日独修好150周年にあたる2011年には両国で開催
41	SANAA “Forward Movement”	ドイツ	ベルリン	Aedes Architekturforum	Aedes Pfefferberg, International Architecture Forum	2010.08.06 ~ 2010.09.23	妹島和世、西沢立衛による建築ユニットSANAAの代表作及び近作9点を紹介する展覧会。ベルリンの建築専門ギャラリーを会場とし、新しい技術と持続可能な建築の新たな可能性を追求
42	Seiko Mikami: Desire of Codes	ドイツ	ドルトムント	Dortmunder U, Center for Art and Creativity	Hartware Medien-KunstVerein: ISEA 2010 Ruhr	2010.07.31 ~ 2010.09.05	2010年欧州文化首都ルール地方で開催されたメディア・アーティストフェスティバルISEAで実施の展覧会Trustにおいて三上晴子のメディア・インスタレーションを展示
43	Proto Anime Cut - Spacws and Visions in Japanese Animation	ドイツ	ベルリン	Künstlerhaus Bethanien	Les Jardins des Pilotes e.V.	2011.01.21 ~ 2011.03.06	森本晃司、斉藤大他、日本人のアニメ作家をベルリンで紹介する展覧会。アニメにおけるオーディオビジュアル言語の変遷、制作やデジタルメディア影響下の消費に着目する他、教育関連プログラムを実施
44	Japanese Lacquer Chests in the State Coin Collection Munich	ドイツ	ミュンヘン	State Museum of Ethnology	ミュンヘン国立民族学博物館 (Staatliches Museum für Völkerkunde München)	2011.01.25 ~ 2011.06.16	ミュンヘン・コインコレクション所蔵の漆技法を使った箆笥などの家具30点を民族学博物館にて展示。作品を通し、装飾、図像、技法等における江戸時代前期の日欧間の交流と影響を示す
45	日本の金	フランス	ブルガンプレス	Musée de Brou	Ville de Bourg-en-Bresse (City of Bourg-en-Bresse)	2010.05.02 ~ 2010.07.25	フランス国内の公立美術館が所蔵する日本の漆工芸品コレクションを展示。これまで未公開だった南蛮美術から始まる日本の漆工芸品を年代順、テーマ別に判りやすく展示。技術面だけでなく、日本と西欧の交流の歴史なども説明
46	現代ファッションの変遷 第2部: 1990~2000	フランス	パリ	Les Arts Décoratifs	Les Arts Décoratifs	2010.11.25 ~ 2011.05.08	1990年代から2000年代までのモードの変遷を辿る大規模展覧会。Issey MiyakeやYoji Yamamotoなど日本人を含むファッションデザイナーの作品150点を年代順に展示
47	中世のアニメーション: 日本とフランスの国宝を読み解く	フランス	バイユー	Musée de la tapisserie de Bayeux	Musée de la Tapisserie de Bayeux	2010.11.27 ~ 2011.05.22	バイユー・タピスリー美術館の所蔵品である11世紀のタピスリーの複製と、12世紀の日本の絵巻物「伴大納言絵詞」の複製を展示し、絵巻物の世界を、映画・アニメーションの世界の観点から読み解く企画

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
48	<i>Printing: and then again</i>	ポルトガル	ポルト	University of Porto	University of Porto	2010. 11. 20 ~ 2011. 01. 20	伝統的な日本の版画技術を再読し、版画に見られる東洋と西洋の関係を考察。浮世絵から日本の現代作家による版画作品にいたるまで、幅広い作品を展示し、あわせて若手のポルトガル人作家の作品も展示。また展覧会の開催に合わせ、レクチャー、アーティスト・イン・レジデンス、ワークショップも実施
49	<i>REAL PRESENCE 10</i>	セルビア	ベオグラード	City Museum, Museum of History	nKA-Ica/ Belgrade Nezavisna kulturna asocijacija/ Independent Cultural Association	2010. 08. 25 ~ 2010. 09. 30	セルビアの民主化を機に2001年より始まった国際交流事業の10回目の記念事業。学生参加のワークショップから国際的に活躍している現代美術作家らの作品展示やレクチャー、シンポジウムを開催。日本からは石原玲子、大垣美穂子、久野ギルの3人の美術家が参加（全体で71名）
50	展覧会：芸者と侍	チェコ	プラハ	ナーブルステク国立アジア・アフリカ・アメリカ文化博物館 (National Museum, Náprstek Museum of Asian, African and American Culture)	ナーブルステク国立アジア・アフリカ・アメリカ文化博物館 (National Museum, Náprstek Museum of Asian, African and American Culture)	2010. 05. 05 ~ 2010. 10. 30	国立博物館が所蔵する日本の古美術コレクションの展覧会。博物館自らが近年修復を行った刀や衣装等数百点を展示
51	日本の蔵書票(エクスリブリス)チェコ・コレクション	チェコ	フラデツ・クラークロヴェー	Museum of East Bohemia in Hradec Králové	Museum of East Bohemia in Hradec Králové	2010. 09. 19 ~ 2010. 10. 31	チェコ国内にある日本の蔵書票コレクションの展覧会。20世紀以降、80名の日本のグラフィックデザイナーによってデザインされた400プリントを展示。本展のカタログにより日本の蔵書票が初めてチェコ国内に紹介されることとなった
52	第2回メディエーションズ・ビエンナーレ	ポーランド	ポズナニ	ZAMEK Culture Center	“Zamek” Culture Center, Mediations Biennale Office	2010. 09. 04 ~ 2010. 10. 31	2008年の第1回開催に続く2回目の開催。5名のキュレーター(うち1名は、水沢勉・横浜トリエンナーレ 2008 ディレクター)が選んだ120名を超す作家が参加。日本からは塩田千春、矢萩喜徳郎、小林正人、畠山直哉他7名の作家が参加
53	日本人形と静物：美術作品、文化における日本美術のインスピレーション	ポーランド	クラクフ	日本美術技術博物館manggha (Manggha Museum of Japanese Art and Technology)	日本美術技術博物館manggha (Manggha Museum of Japanese Art and Technology)	2010. 10. 15 ~ 2011. 01. 15	日本の美術がポーランドの近現代美術に与えた影響を、日本の浮世絵(葛飾北斎、歌川広重、喜多川歌麿)と、その影響を受けたと考えられるポーランド人作家による作品を通じて提示

造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
54	<i>Senseware</i>	イスラエル	ホロン	ホロン・デザイン美術館 (Design Museum Holon)	ホロン・デザイン美術館 (Design Museum Holon)	2010.06.25 ~ 2010.08.31	日本の繊維産業の潜在力を世界にアピールするため、2007年にスタートした「TOKYO FIBER」という企画。原研哉が展覧会ディレクターを務め、高度に発展した人工繊維という素材を使って、デザイナーや建築家が企業と共同でさまざまなプロダクトを開発したものを作品として展示。過去にミラノトリエンナーレや21_21 DESIGN SIGHT、中国の国立美術館でも展示
55	<i>50-Contemporary Japanese Prints</i>	イスラエル	ハイファ	ハイファ博物館 ティコティン日本美術館 (Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art)	ハイファ博物館 ティコティン日本美術館 (Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art)	2010.11.20 ~ 2011.06.19	日本美術を専門に扱う美術館での創立50周年記念事業。養清堂画廊 (Yoseido gallery) の協力により50名の作家による日本の現代版画作品約100点を展示
56	カリグラフィーの精神と世界	トルコ	イスタンブール	Sakipu Sabanci Museum, Sabanci University	サバンジュ大学 (Sabanci University)	2010.04.14 ~ 2010.06.30	観峰文化センター (京都) が所蔵する日本や中国の書と、サバンジュ大学美術館が所蔵するオスマンカリグラフィーを一堂に集め、文化の違いから生まれる技法の違いや、互いに共通する要素を提示。会期にあわせてシンポジウムやワークショップも実施。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
57	平山郁夫シルクロード日本画展 —文明の十字路を 行くトルコ—	トルコ	イスタンブール	ペラ美術館	ペラ美術館	2010.08.01 ~ 2010.09.19	シルクロードをテーマとした平山郁夫作品70点 (日本画・素描) を一挙に展示。平山郁夫の芸術の理解を通じて、日本とトルコ両国の相互理解を促進。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
58	イスタンブールを愛した3人の日本人：山田寅次郎、伊東忠太、大谷光瑞	トルコ	イスタンブール	Suna & Inan Kirac Foundation Istanbul Research Institute	スナ&イナン・クラチ財団イスタンブール研究所 (Suna & Inan Kirac Foundation Istanbul Research Institute)	2010.10.14 ~ 2011.03.15	日本とトルコの友好に深く寄与した日本人、山田寅次郎 (実業家/茶人)、伊東忠太 (建築家)、大谷光瑞 (宗教家/探検家) の3名にスポットを当てた展覧会。彼らの遺品や作品、さらには関連する書物等を通じて、日本とトルコとの友好の歴史を提示。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
59	ラビー 2010	カメルーン	ヤウンデ	ゲーテ・インスティトゥート他	レ・パレット・デュ・カメル (Les Palettes du Kamer)	2010.04.19 ~ 2010.04.25	2008年から始まった現代美術の国際展。2回目の今回は、1週間の会期中、街頭での展示やパフォーマンス、ギャラリー・スペースでの展示を実施。未だ現代美術を紹介する機会の少ないアフリカにおいて世界中からさまざまな作品を紹介すると共に、カメルーン国内の作家にも作品発表の機会を提供するのが目的

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 30,078,268 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日中韓文化交流 フォーラム関連 事業	LEE, Sang Sub LEE, Yong Woo SHAO, Shan ZHANG, Qing	釜山ビエンナーレ事務局 事務局長 光州ビエンナーレ財団 CEO 広州トリエンナーレ事務局 事務局長 上海ビエンナーレ事務局 事務局長	韓国 韓国 中国 中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「あいちトリエンナーレ2010」との共催で、日中韓3カ国の国際展主催者による国際シンポジウム「国際展のミッションー東アジアからの展望」を開催。東アジアにおける国際展活動の状況・成果についての報告、将来の課題についての意見交換を実施。また、日中韓のアーティストユニット「西京人」による作品『第2章ここは西京ー旅路は彼方の世界へ』を同トリエンナーレの開催に合わせて特別展示
2	アジア次世代キュレーター会議	池上 裕子	神戸大学 准教授	日本	2010.10.16 ~ 2010.10.22	アジアの次世代キュレーターのネットワーク構築のために毎年各国持ち回りで実施。第6回となる今回は、インドのIndia Foundation of the Artsと国際交流基金の共催でデリーとバンガロールで実施し。アジア各国のキュレーターとインドのキュレーターの交流を推進した。ゲスト講師として、池上裕子（神戸大学准教授）を現地に派遣

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
3	日米学芸員交流	MARKS, Andreas	クラーク日本美術・文化研究センター Director and Chief Curator, The Clark Center for Japanese Art and Culture	米国	2011.03.07 ~ 2011.03.17	日本美術に関心のある比較的若手の米国の美術館学芸員11名を11日間日本に招へいし、日本の伝統・現代美術分野の美術館、ギャラリー、アトリエ等を見学し、日本の学芸員や関係者との意見交換を通じて日米間のネットワーク強化を図った
		ROCHE, Catherine	シアトル美術館 Interim Assistant Curator for Japanese and Korean Art, Seattle Museum of Art			
		KIM, Y. Christine	ロサンゼルス・カウンティ美術館 Associate Curator of Contemporary Art, Los Angeles County Museum of Art			
		STARKMAN, Christine	ヒューストン美術館 Curator, Asian Art, the Museum of Fine Arts, Houston			
		CHAN, Dany	サンフランシスコ・アジア美術館 Assistant Curator for Exhibition Projects, Asian Art Museum of San Francisco			
		RICHARD WAGNER JR., Douglas	デンバー美術館 Curatorial Assistant, Asian Art Department, Denver Art Museum			
		SUTCLIFFE, Lisa	サンフランシスコ近代美術館 Assistant Curator of Photography, San Francisco Museum of Modern Aer			
		ROTONDO-MCCORD, Lisa	ニューオーリンズ美術館 Assistant Director for Art, New Orleans Museum of Art			
		MORSIANI, Paola	クリーブランド美術館 Curator of Contemporary Art, the Cleveland Museum of Art			
		MINTZ, Robert	ウォルターズ美術館 Associate Curator of Asian Art, Walter Art Museum			
		DONNELL, Zoe	タコマ美術館 Curatorial Coordinator, Tacoma Art Museum			

造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
4	ニューヨーク近代美術館 (MoMA) との情報交流			米国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニューヨーク近代美術館 (The Museum of Modern Art : MoMA) による戦後日本美術ソースブックの出版 (2012年刊行) に協力し、日米両国の美術専門家による戦後日本美術史に係わる共同研究・調査を支援
5	中東学芸員招へい	ELKADIRI, Abdul Razzak Nazem HOORANI, Khaled A. M. ABUHASHHASH, Mahmoud M. A. CHRISTIDI, Nadia	FAギャラリー キュレーター インターナショナル・アカデミー・オブ・アート アーティスティック・ディレクター AMカッタン財団芸術文化事業部 部長 インディペンデントキュレーター	クウェート パレスチナ パレスチナ レバノン	2011.02.07 ~ 2011.02.19	クウェート、パレスチナ、レバノンよりキュレーター4名を13日間招へいし、日本各地の美術館を視察。また中東美術事情報告会を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 市民青少年美術交流助成

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業（通常の助成事業）に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 4,950,649 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第8回日中友好児童画展	中国	特定非営利活動法人社会教育団体ベルボ会	2010.04.01 ~ 2010.09.30	福岡県下及び中国（上海）において、幼稚園児・小学校児童の絵画作品をそれぞれ募集・選考。入選作品を、両国にて開催する展覧会で展示。開催期間中に入選児童代表を相互招へいして友好交流を行い、日本ではホームステイを実施
2	2010年上海万博公園彫刻プロジェクト関連一復旦大学交流プログラム	中国	2010年上海万博公園彫刻プロジェクト日本委員会	2010.05.01 ~ 2010.10.31	2010年上海国際博覧会公園中国館脇に設置される藤井浩一朗彫刻作品の序幕イベント、遠藤一郎による連絡バス「未来へ」号制作と、関連プログラムである連風合戦を、復旦大学の学生達と日本の若手アーティストたちが協働して開催
3	モンゴルTシャツアート展	モンゴル	特定非営利活動法人砂浜美術館	2010.04.01 ~ 2010.11.30	高知県で開催されてきたTシャツアート展をモンゴルの草原テレルジ草原美術館で実施
4	こどものための国際美術・演劇祭	イタリア	財団法人児童育成協会	2010.11.07 ~ 2010.11.14	マントヴァで毎秋開催されるこどものための芸術祭、セグニ・ダンファンチアに日本のこどもの城で実施されてきた造形プログラムを導入。日本のこども文化を紹介
5	アナドル大学漫画美術館日本漫画展	トルコ	世界漫画家連盟日本支部 (FECO JAPAN)	2010.04.07 ~ 2010.04.30	「2010年トルコにおける日本年」を記念して、国立アナドル大学漫画美術館（エスキシェヒール）で開催された日本の風刺マンガ展を通して、市民に日本の文化・社会の様相を紹介。日本の漫画家による交流会、講演も実施
6	「平和の祭典ムラミッド (MURAMID) 展」	エジプト	ジャパン・アートマイル実行委員会	2010.09.18 ~ 2010.09.26	世界20カ国からの参加者によって描かれた壁画（1.5m×3.6mの大型絵画）をエジプトに集め、アートマイルムラミッド展を開催。日本からは広島・長崎他のユース8名が参加。国際交流壁画共同制作を広めるためのカリキュラムモデルも制作
7	ナイロビ・レジデンス	ケニア	西尾工作所ナイロビ支部 (Nishio Workshop Nairobi)	2010.07.15 ~ 2010.09.30	公募で選出された日本人アーティスト2名（東明、松原慈）がナイロビで1カ月間にわたり、現地のスタッフやアーティスト、地域住民と協力して、日常の素材を使った作品の滞在制作と、その展示、シンポジウム、ワークショップなどを企画実施し、友好交流を深めた

文化芸術交流事業に必要な経費

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 舞台芸術情報交流（内田奨学金フェローシップ）

2. 催し等事業費

- (1) 公演（主催）
- (2) 公演（助成・海外公演〔舞台芸術〕）
- (3) 公演（助成・PAJ北米）
- (4) 公演（助成・PAJ欧州）
- (5) 公演（国際舞台芸術共同制作）
- (6) 舞台芸術情報交流
- (7) 公演（助成・海外公演〔市民青少年交流〕）

舞台芸術事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 舞台芸術情報交流 (内田奨学金フェローシップ)

米国、欧州など外国において将来にわたり活躍が期待される若手音楽家を招へいし、わが国の音楽関係者との交流や共演、共同制作に従事する機会を提供する。本事業は故・内田元亨の寄附金による運用益などにて実施される、冠寄附特別事業。

合計額 485,641 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	事業内容
1	CHASE, Linda	バークリー音楽院 助教授	米国		2011.03.02 ~ 2011.03.16	出資者である故・内田元亨の遺志により米国バークリー音楽院の推薦による若手音楽家・指導者を招へい。平成22年度はリンダ・チェイス (フルート奏者/作曲家/バークリー音楽院助教授) を招へい。同氏は、小宮瑞代 (箏奏者) の指導を受け、尺八、邦楽における「間(ま)」を研究

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (1) 公演 (主催)

広域的かつ間口広く多くの人々に働きかける効果の高い公演事業を企画・実施する。日本の優れた舞台芸術を幅広く紹介するために公演団を海外に派遣し、また日本であまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を日本に紹介する。

合計額 347,603,221 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	加藤和樹 J-POP韓国公演	韓国	ソウル 釜山 ソウル	ソウル広場等 昌原ソンサンアートホール サンサンマダン	2010.10.02 ~ 2010.10.03 2010.10.04 2010.10.06	「日韓交流おまつり2010 in Seoul」、「昌原ジャパンウィーク」において、J-POPアーティスト加藤和樹（ボーカル、ギター）の公演を実施。ソウルでは、KT&サンサンマダンライブホールで、一般有料ライブ公演を実施
2	日韓伝統歌舞楽祭	韓国	ソウル 釜山	国立国楽院牛眠堂 国立釜山国楽院藝池堂	2011.02.22 ~ 2011.02.23 2011.02.25	「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」の一環として、日韓両国の伝統音楽・伝統芸能の若手演奏家が共演する公演を実施。韓国側の共催者は国立国楽院（国立国楽院設立60周年記念事業）。制作は、韓国における日本の伝統音楽公演に実績を持つ公益財団法人新日鐵文化財団。韓国・日本それぞれの演奏を行った後、韓国の即興手法である「シナウイ」による両者のコラボレーション演奏を実施
3	「日本のうた囃子 ～唄、笛、三味線、太鼓による日本の響き～」	中国	上海	上海万博日本館イベントステージ	2010.06.07 ~ 2010.06.10	上海国際博覧会（上海万博）の日本館イベントステージにて、木津茂理（民謡、太鼓）をはじめとする日本人アーティスト6名による邦楽公演を開催。同時に、国際交流基金日中センターの「中国人高校生長期招へい事業」を素材としたドキュメンタリー映像「中国人高校生が見た日本」を上映
4	舞踏ロシア・公演「舞踏ー大いなる魂」	ロシア ロシア ロシア 中国 中国 中国 中国	サンクト・ペテルブルグ サンクト・ペテルブルグ モスクワ 北京 北京 北京 北京	ミハイル・シェミヤークン基金 リツェディ劇場 ドラマ芸術学院 北京日本文化センター ユーレンス・センター・フォー・コンテンポラリーアート 後SARS劇場 TNT劇場	2010.11.18 ~ 2010.11.21 2010.11.20 2010.11.24 ~ 2010.11.28 2011.02.26 2011.02.27 2011.02.28 ~ 2011.03.04 2011.03.06 ~ 2011.03.07	舞踏の創始者である土方巽について、フィルム上映、専門家によるレクチャー、土方直系の舞踏家（ロシア：金沢舞踏館、中国：和栗由紀夫、川本裕子他）による公演を通じて紹介。同時に、土方を撮影した細江英公（写真家）他による写真展を開催し、舞踏の世界にとどまらず美術家・写真家・音楽家等さまざまな芸術家と交流を深めた土方の芸術に関するより深い考察の機会を提示

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
5	日本からの便り ～伝統楽器と歌の現在（いま）～	カンボジア ラオス ベトナム ベトナム ミャンマー ミャンマー	プノンペン ビエンチャン ハノイ ハノイ ヤンゴン ヤンゴン	カンボジア日本人材開発センター 日本・ラオス武道センター 青年劇場 ベトナム音楽学校 ストランド・ホテル ギタメイト	2010. 11. 29 ～ 2010. 11. 30 2010. 12. 03 2010. 12. 08 ～ 2010. 12. 09 2010. 12. 09 2010. 12. 11 2010. 12. 12	伝統楽器を用いながらも現代的感性で独自の音楽を創作・演奏する25弦箏奏者の「かりん」を中心に、小濱明人（尺八）、石塚まみ（ピアノ）、Aki-ra Sunrise（パーカッション）による現代邦楽公演の実施
6	日本舞踊 西川箏乃助 シンガポール・マレーシア公演	マレーシア シンガポール	クアラルンプール シンガポール	トゥンク・アブドゥル・ラーマン・ホール 南洋芸術学院リー財団劇場	2010. 11. 02 2010. 11. 04 ～ 2010. 11. 05	西川箏乃助、花柳せい、長唄の松永忠一郎、堅田新十郎等15名をシンガポール及びマレーシアに派遣、日本舞踊のレクチャー・デモンストレーションと公演を実施
7	レ・フレール 豪州公演	オーストラリア	メルボルン シドニー キャンベラ パース ブリスベーン	BMW Edges Town Hall Play House Astor Theatre Old Museum	2011. 03. 04 2011. 03. 07 2011. 03. 10 2011. 03. 12 2011. 03. 15	豪州5都市（メルボルン、シドニー、キャンベラ、パース、ブリスベーン）において、ピアノ連弾のデュオ「レ・フレール」による巡回公演を実施
8	カナダクラシック音楽公演 — An Evening of Classical Guitar, Flute, and Violin from Japan	カナダ	オタワ モントリオール トロント バンクーバー ケベック	国立美術館シアター マギル大学音楽学院Tanna Schulich Hall グレン・グールド・スタジオ マイケル・J・フォックスシアター 北アメリカフランス歴史博物館チャペル	2010. 10. 25 2010. 10. 27 2010. 10. 30 2010. 10. 31 2010. 11. 02	在モントリオール総領事館の開設50周年を記念し、大萩康司（クラシックギター）、瀬尾和紀（フルート）、鍵富弦太郎（ヴァイオリン）をカナダに派遣、オタワ等5都市で巡回公演を実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
9	米国APAP邦楽公演 Hogaku: New Sounds of Japan 2011	米国	ニューヨーク	ニューヨーク・アニメフェスティバル、ニューヨーク市博物館、コロンビア大学	2010.10.08 ~ 2010.10.11	ニューヨークで開催される国際的な舞台芸術見本市(Association of Performing Arts Presenters: APAP)に合わせ、日本のコンテンツポラリーダンス及び演劇を紹介する資料の作成、舞台芸術専門家の派遣、3組の邦楽ユニットによるショーケース公演を実施。邦楽公演出演者は、黒澤有美(琴)、櫻井亜木子(琵琶)・太田豊(笛)・梅屋喜三郎(鼓)、三糸(上原潤之助・山本普乃/三味線)・松尾慧(笛)
			マーレイ (ケンタッキー)	マーレイ高校、マーレイ州立大学	2010.10.13	
			マーティン (テネシー)	テネシー大学マーティン校	2010.10.16 ~ 2010.10.17	
			ナッシュヴィル	ライマンオーディトリウム、ステーションイン	2010.10.18 ~ 2010.10.19	
			メンフィス	メンフィス大学	2010.10.20	
			ニューヨーク	アジア・ソサエティ	2011.01.08	
10	メキシコ・中米歌舞伎舞踊公演 「歌舞伎400年の伝統との出会い」	メキシコ	モンテレイ	モンテレイ市立劇場	2010.10.08	「日本メキシコ交流400周年」記念事業の一環として、歌舞伎俳優による舞踊公演を実施。演目は『鶯娘』『石橋』。演目の合間に歌舞伎の成立の背景や音楽の詳細、化粧の仕方などを出演者が実演付きで紹介するレクチャーを差し挟み、歌舞伎の魅力を総合的に伝える。併せてエルサルバドル、ホンジュラスにも巡回
		メキシコ	メキシコ・シティー	メキシコ市立劇場	2010.10.12 ~ 2010.10.13	
		エルサルバドル	サンサルバドル	サンサルバドル国立劇場	2010.10.16	
		エルサルバドル	サンタアナ	サンタアナ国立劇場	2010.10.18	
		ホンジュラス	テグシガルパ	マヌエル・ボニージャ国立劇場	2010.10.21	
11	松田美緒、ヤヒロトモヒロ、ウーゴ・ファトルーソ 南米公演 TRANS-CRIOLLA ~響き合う地平の向こうへ~	アルゼンチン	ブエノスアイレス	アウディトリオ・インマクラーダ・コンセプション	2010.08.06	アルゼンチン・ウルグアイ・チリ建国200周年記念事業の一環として、松田美緒、ヤヒロトモヒロ、ウーゴ・ファトルーソ・トリオによる南米3カ国(アルゼンチン、ウルグアイ、チリ)音楽巡回公演を実施。全6回の公演それぞれで各地の代表的アーティストと共演
		アルゼンチン	コルドバ	コルドバ大学	2010.08.08	
		ウルグアイ	サン・ホセ・デ・マヨ	マシオ劇場	2010.08.10	
		ウルグアイ	モンテビデオ	アウディトリオ・ネリ・ゴイティエーニョ	2010.08.11	
		チリ	バルパライソ	バルパライソ大学文化センター	2010.08.13	
		チリ	サンティアゴ	ペニャロレン区文化センター	2010.08.14	
12	大駱駝艦ブラジル公演	ブラジル	サンパウロ	SESC Pinheiros	2010.11.03 ~ 2010.11.04	サンパウロ日本文化センターと在サンパウロ総領事館からの要請に基づき、ブラジル商業連盟社会サービス連盟(SESC)との共催によりサントス市とサンパウロ市において大駱駝艦の公演を実施
			サントス	SESC Santos	2010.11.06	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
13	スペイン・ポルトガル能楽公演	スペイン スペイン ポルトガル	マドリード バルセロナ リスボン	芸術サークル(CBA)フェルナンド・デ・ロハス劇場 リセウ音楽院公演ホール オリエント博物館公演ホール	2010.04.14 ~ 2010.04.16 2010.04.19 ~ 2010.04.20 2010.04.22 ~ 2010.04.23	国際交流基金マドリード日本文化センターの開設を記念して、スペイン2都市にて能楽公演を実施。能楽の流儀は京都を中心に活動する金剛流。演目は、能『巻絹』『雪 雪踏の拍子』、狂言『因幡堂』『寝音曲』。併せて、「日本・ポルトガル修好150周年」を記念してポルトガルにも巡回。各地でマスタークラスを実施
14	ジャズ・イン・ジャパン 2011巡回公演	カタール ルクセンブルク エチオピア フランス ブルキナファソ ブルキナファソ ブルキナファソ	ドーハ ルクセンブルク アディスアベバ パリ ワガドゥグー ボボ・デュラッソ ワガドゥグー	カタール国立劇場 ノイミュンスター修道院文化会館 ヤレド音楽学校 パリ日本文化会館 フランス文化センター(CCF) FESPACO開会式野外ステージ 在ブルキナファソ大使公邸	2011.02.28 2011.03.02 2011.03.02 2011.03.03 ~ 2011.03.05 2011.03.08 2011.03.10 2011.03.12	パリ日本文化会館シリーズ企画「ジャズ・イン・ジャパン2011」として、3つのジャズグループ「寺井尚子Richard Gallianoデュオ」「ケイ赤城トリオ」「寺久保エレナ・クアルテット」をパリに派遣すると同時に、ルクセンブルク、カタール、エチオピア、ブルキナファソ計5カ国7都市に巡回
15	バルカン室内管弦楽団サラエボ公演	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	陸軍省ホール	2010.05.29	柳澤寿男（現・コソボ・フィルハーモニー首席指揮者）が、異なる民族同士が対立するバルカン地域において、音楽を通じた民族の共栄及び現地音楽水準の向上を目指して設立した多民族による「バルカン室内管弦楽団」の通算5回目の公演をサラエボで実施。今回の公演には新たにサラエボ交響楽団からのメンバーも加わり、コソボ（アルバニア）人、マケドニア人、セルビア人及びボスニア・ヘルツェゴビナ人演奏家が合奏

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
16	極東ロシア公演 津軽三味線と日本の民謡 一人人たちの世界	ロシア	ユジノサハリンスク ユジノサハリンスク ハバロフスク ハバロフスク ナホトカ ウラジオストク ウラジオストク	オクチャブリ 中央児童音楽学校 極東フィルハーモニー ハバロフスク地方芸術学校 青年の家劇場 極東国立芸術アカデミー 極東国立芸術アカデミー	2011.03.02 2011.03.03 2011.03.04 2011.03.05 2011.03.07 2011.03.08 2011.03.09	澤田勝秋を始めとする津軽三味線奏者4名と、民謡太鼓・唄の木津茂理のコンサートを、ユジノサハリンスク、ハバロフスク、ナホトカ、ウラジオストクで開催
17	ジャナドリヤ祭 屋外ステージにおける公演事業 【23年度実施準備】	サウジアラビア	—	—	2011.4.13 ~ 2011.04.29	サウジアラビアで開催されるジャナドリヤ祭の野外ステージにおいて、石見神楽社中、鬼太鼓座、現代邦楽、ジャズ等によるパフォーマンスを行う。当初2011年3月に実施予定のところ、同祭の実施が延期されたため、本事業も平成23年度に実施されることとなったもの
18	ユニット・アジア (UNIT ASIA) 中東・インド巡回公演 2010	エジプト トルコ トルコ インド インド	カイロ アンカラ アンカラ チェンナイ コルカタ	El Sawy Culture Wheel, River Hall アンカラ大学ホール 土日基金ホール Sathgura Gnanananda Hall Satyajit Ray Auditorium	2010.11.01 ~ 2010.11.02 2010.11.06 2010.11.07 2010.11.12 2010.11.14	日本・タイ・マレーシアのミュージシャン5人による多国籍ジャズ・グループ「ユニット・アジア (UNIT ASIA)」が、エジプト、トルコ、インドを巡回公演。出演メンバーは、日本より三好功郎 (ギター)、則竹裕之 (ドラム)、一本茂樹 (ベース)、タイよりコー・Mr. サックスマン (サックス)、マレーシアよりテイ・チャー・シアン (ピアノ)
19	日本の民謡・西アフリカ巡回公演	コートジボワール コートジボワール ガボン カメルーン カメルーン カメルーン カメルーン	アビジャン アビジャン リーブルビル エデア ドアラ ヤウンデ バンガンテ	国立芸術学院 (INSAAC) 在コートジボワール大使公邸 フランス文化センター エデア・リセ・テクニク フランス文化センター ドイツ文化センター バンガンテ小学校	2010.11.06 2010.11.08 2010.11.11 2010.11.25 2010.11.27 2010.11.29 2010.11.30	ガボン・カメルーン・コートジボワールと日本の国交樹立50周年記念事業の一環として、各国にて日本の民謡のコンサートを実施。構成は、椿正範、根元麻耶 (いずれも津軽三味線・唄)、佃康史 (尺八・笛)、田川智文 (和太鼓)、山田貴之 (パーカッション) による公演。各地では現地の音楽家との共演、音楽大学でのワークショップも実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
20	AGA-SHIO+ミュージック&リズムス アフリカ巡回公演	コンゴ民主共和国	キンシャサ	マルティール・ミニスタジアム	2010.06.24	<p>コンゴ民主共和国独立/日・コンゴ民主共和国国交樹立50周年、日・南アフリカ共和国交流100周年/サッカー・ワールドカップ南アフリカ大会開催を記念し、上妻宏光（津軽三味線）と塩谷哲（ピアノ）によるデュオAGA-SHIOと、鬼太鼓座（和太鼓）とバンブーオーケストラ（竹楽器）によるミュージック&リズムスとによるライブ・コンサートを実施。コンゴ民主共和国のストリート・チルドレン保護施設エスパス・マソロ、南アフリカ共和国・ソウェト地区オルランド孤児院の児童を対象にワークショップを事前に行い、その成果を活かした現地児童との合奏もライブの中に取り入れた。コンゴ民主共和国では現地バンドNSUMUENI他が共演。南アフリカ共和国では、ナショナル・アーツ・フェスティバルに招へい参加</p>
		コンゴ民主共和国	キンシャサ	マルティール・ミニスタジアム（エスパス・マソロ）	2010.06.24	
		コンゴ民主共和国	キンシャサ	国営テレビ・ラジオ局（RTNC）スタジオ	2010.06.25	
		コンゴ民主共和国	キンシャサ	国会議事堂ホール	2010.06.26	
		南アフリカ共和国	ソウェト	オルランド孤児院	2010.06.28	
		南アフリカ共和国	グラハムスタウン	アメジング・ステージ ヴィレッジ・グリーン（ナショナル・アーツ・フェスティバル）	2010.07.01	
		南アフリカ共和国	グラハムスタウン	モニュメント・フォワイエ（ナショナル・アーツ・フェスティバル）	2010.07.02	
		南アフリカ共和国	グラハムスタウン	ベートーヴェン・ルーム（ナショナル・アーツ・フェスティバル）	2010.07.03	

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (2) 公演 (助成・海外公演 [舞台芸術])

日本を拠点に活動する舞台芸術分野のアーティストに対し、海外公演事業を実施するための経費の一部を助成する。

合計額 147,469,220 円

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
1	COLLLOL『このままでそのままであのままでかみさま』韓国公演	韓国	居昌	コチャン国際演劇祭太陽劇場	COLLLOL	2010.08.04 ~ 2010.08.05	コチャン国際演劇祭からの招へいを受け、2010年初演の『このままでそのままでかみさま』を上演
2	原田依幸 他 韓国公演	韓国	ソウル	The House Concert [yu:l]HAUS The House Concert	原田 依幸	2010.08.27 2010.08.28 2010.09.03	原田依幸 (ジャズ奏者) が、ソウルで開催される「ソウル・フリーミュージックフェスティバル」からの招へいを受け韓国人アーティストと共演。また、黒谷都 (人形遣い) との共演で、松沢香代 (人形作家) 作の人形によるパフォーマンスを実施
3	野村万作・萬斎 狂言韓国公演	韓国	ソウル	韓国国立劇場 Small Hall 'Dal'	財団法人せたがや文化財団	2010.09.03 ~ 2010.09.04	韓国国立劇場からの招へいを受け、野村万作 (人間国宝)、野村萬斎 (世田谷パブリックシアター芸術監督) が国際舞台芸術祭“The World Festival of National Theaters”で『棒縛』『川上』『茸』の3作品を上演。併せてワークショップを実施
4	DOBERMAN 韓国公演	韓国	釜山 ソウル	釜山MBCホール V-HALL	DOBERMAN	2010.09.17 2010.09.18	スカバンド・DOBERMANが韓国のバンド、クライノットからの招へいを受け、クライノットと共に韓国2都市を巡回
5	キラリ☆ふじみ LOVE The World 2010韓国公演	韓国	ソウル	Wonder Space マル (トングラミ)劇場	財団法人富士見市施設管理公社	2010.09.17 ~ 2010.09.19	キラリ☆ふじみ (富士見市民文化会館) 芸術監督の多田淳之介構成・演出による、日韓の俳優を起用しての共同制作作品をソウルで上演
6	SCOTソウル公演	韓国	ソウル	韓国国立明洞芸術劇場	SCOT	2010.09.25 ~ 2010.09.26	2010年9月ソウルで開催される「第5回シアターオリムピックス」のオープニング公演として、鈴木忠志演出の『ディオニュソス』を上演
7	まことクラヴ& KENTARO!! 韓国公演	韓国	ソウル	Towel Theater Seoul Arts Center	アंकリエイティブ	2010.10.01	若手ダンスグループ・まことクラヴとダンサーのKENTARO!!が、ソウル国際ダンスフェスティバル (SIDance Festival) からの招へいを受け公演。まことクラヴは2004年初演のnipponia nipponを、KENTARO!!は新作を上演
8	アダチ宣伝社韓国公演	韓国	昌原	国立昌原大学校 ロッテデパート 昌原専門大学 城山アートホール	特定非営利活動法人 心を伝える会	2010.10.01 2010.10.02 2010.10.02 2010.10.02 ~ 2010.10.03	福岡で活動するチンドン屋グループ「アダチ宣伝社」が、韓国・昌原で開催される昌原ジャパン・ウィークに併せ市内各地で公演。チンドン屋の表現形体で日本の懐メロ、唱歌等を演奏したほか、韓国の演歌等も披露

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
9	バチ・ホリック 韓国公演	韓国	ソウル ソウル 釜山 昌原 金海市	ソウル日本人学校 ソウル市庁舎前広場一帯 新世界デパート内コンサートホール 昌原アートホール 仁済大学内ホール	株式会社バチ・ホリック京都 (BATI-HOLIC)	2010. 10. 01 2010. 10. 02 ～ 2010. 10. 03 2010. 10. 03 ～ 2010. 10. 04 2010. 10. 05 2010. 10. 06	和太鼓を中心としたパフォーマンスグループ・BATI-HOLICが、日韓交流おまつり2010 in Seoul及び昌原JAPAN WEEKに出演。釜山にも巡回し、ワークショップも実施
10	人形浄瑠璃文楽 上海国際博覧会 (万博) 公演	中国	上海	上海国際博覧会 (万博) 会場内・ 日本政府館内イベ ントスペース 上海国際博覧会 (万博) 会場内・ 上海世博文化中心 内ミュージックク ラブ	大阪・上海友好都 市フェスティバル 実行委員会	2010. 06. 29 2010. 06. 30	大阪市と姉妹都市である上海市の万博開催を記念して、文楽を紹介。演目は『二人三番叟』、『義経千本桜』より「道行初音旅」。出演は、吉田襄助、鶴澤燕三、竹本津駒大夫ほか
11	ネクスト・マッ シュルーム・プロ モーション香港公 演	中国	香港	Hong Kong City Hall Theatre	ネクスト・マッ シュルーム・プロ モーション	2010. 10. 16	香港の現代音楽祭「ムジカラマ2010」にて、松尾祐孝、田中吉史、福井とも子、細川俊夫らの作品を演奏。香港作曲家の新作を初演
12	ストアハウスカン パニー『箱』上海 公演	中国	上海	Shanghai Dramatic Arts Centre Studio D6 上海戯劇学院学内 会場	ストアハウスカン パニー	2010. 11. 26 ～ 2010. 11. 28 2010. 11. 29	上海話劇芸術中心が主催するACT上海国際当代戯劇季（コンテンポラリーシアターフェスティバル）及び上海戯劇学院にて、『箱』（構成・演出：木村真悟）を上演。ワークショップも実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
13	豊住芳三郎アジア公演	台湾	台北	基隆海洋大学	豊住 芳三郎	2010. 09. 28	即興演奏を中心に活躍する豊住芳三郎（ドラムス）が台湾、フィリピン、香港で、現地の音楽愛好家等を対象とするツアーを実施
		台湾	台北	Sappho		2010. 09. 29	
		台湾	台北	元智大学		2010. 09. 29	
		台湾	台北	台湾大学		2010. 10. 01	
		台湾	台北	南海芸廊		2010. 10. 02	
		台湾	屏東	屏東大学		2010. 10. 06	
		フィリピン	カビテ	Espasyo Siningdikato		2010. 10. 09	
		フィリピン	マニラ	Tomato Bomb Hq		2010. 10. 12	
		フィリピン	マニラ	Penguin Gallery		2010. 10. 13	
		中国	香港	「多空間」Y劇場	2010. 10. 23		
14	日本音楽集団ブリヤート・モンゴル公演	ロシア	ウランウデ	ウランウデ音楽大学バイチャイコフスキーコンサートホール及び大学内講堂	特定非営利活動法人日本音楽集団	2010. 10. 21	邦楽アンサンブル、日本音楽集団によるロシア・ブリヤート共和国とモンゴルでの公演。ブリヤート共和国は、公演の他に代表の田村拓男による指揮マスタークラス等も含めた「ユーラシア音楽祭」への参加。モンゴルでは「馬頭琴交響楽団」と共演
		ロシア	ウランウデ	ウランウデ音楽大学バイチャイコフスキーコンサートホール		2010. 10. 23	
		ロシア	イルクーツク	フィルハーモニック・ホール		2010. 10. 26	
		モンゴル	ウラン・バートル	音楽舞踊学校		2010. 10. 29	
		モンゴル	ウラン・バートル	国立シンフォニー劇場		2010. 10. 30	
15	コンタクト・ゴンゾ インドネシア公演	インドネシア	ジャカルタ	Plaza Taman Ismail Marzuki Theater Luwes, Taman Ismail Marzuki Plaza Taman Ismail Marzuki	contact Gonzo	2010. 06. 14 2010. 06. 15 2010. 06. 16	パフォーマンスグループ「コンタクト・ゴンゾ」が「第10回インドネシア・ダンス・フェスティバル」に招待を受け、アジアからのダンス・アーティストが集合する「アジア・ナイト」に参加し、 <i>the downhill greetings</i> を上演。姫野さやか（ドラム奏者）との即興をベースにしたセッションを実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
16	館野泉 シンガポール公演	シンガポール	シンガポール	ボタニックガーデン Nanyang Academy Of Fine Arts (NAFA) ビクトリアコンサートホール	株式会社ジャパン・アーツ	2010. 05. 30 2010. 05. 31 2010. 06. 01	館野泉（ピアニスト）のシンガポール初公演。ショパン生誕200年記念野外コンサートに出演するほか、ビクトリア・コンサートホールにてリサイタルを開催。その他、講演会も実施
17	タバマ企画『ドラマチック、の回』シンガポール公演	シンガポール	シンガポール	ESPLANADE, Theater on the Bay, Studio Theater	タバマ企画	2010. 07. 16 ～ 2010. 07. 17	エスプラネード・シアター・オン・ザ・ベイ主催ザ・スタジオ・ダンス・フェスティバル招へい参加。タバマ企画代表作『ドラマチック、の回』と新作デュオの上演とワークショップを実施
18	空間再生事業劇団GIGA シンガポール公演	シンガポール	シンガポール	POST-MUSEUM	空間再生事業劇団GIGA	2011. 02. 25 ～ 2011. 03. 27	福岡を拠点に活動する、空間再生事業劇団GIGAがシンガポールのオルタナティブスペースPost-Museumの招へいにより『雨月物語』を再構成した作品を上演
19	Pe' z東南アジア公演	タイ シンガポール	バンコク シンガポール	Mello Yello Jazz Bar Mozaic Music Festival Mozaic Club	株式会社阪神コンテツリンク	2011. 03. 09 2011. 03. 11	ジャズバンドPe' zが、シンガポールのエスプラネードで開催されるMosaic Music Festival、及び、タイのバンコク・ジャズ・フェスティバルにて公演。バンコクと同フェスティバルでの公演は昨年続き2回目
20	高嶺格演出作品Melody Cupタイ公演	タイ	バンコク	パトラパディ・シアター	高嶺 格	2010. 11. 05 ～ 2010. 11. 06	伊丹市のアイホールが関西を拠点とするアーティストとの共同制作事業‘Take a Chance Project’により、高嶺格（現代美術作家）が日本とタイのアーティストと制作した作品（2009年8月初演）のタイ公演
21	和太鼓「倭」東南アジア公演	フィリピン フィリピン フィリピン マレーシア マレーシア	パサイ パサイ ケソン クアラルンプール クアラルンプール	SMモール・オブ・アジア・センターステージ SMモール・ミュージックホール SMノース・エドサ・スカイドーム One Utama ショッピングモール特設ステージ DBKLホール	株式会社ラバダブ・アンド・カンパニー	2010. 07. 08 2010. 07. 09 2010. 07. 10 2010. 07. 12 2010. 07. 13	和太鼓グループ「倭-YAMATO-」の和太鼓公演。フィリピンは、「日比友好月間」メインイベントとして、マニラ首都圏で3回、初公演となるマレーシアでは、クアラルンプールで2回公演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
22	木村俊介&小野越郎マレーシア公演	マレーシア	クチン	Iban Longhous Main Stage2 SCV Theatre	木村 俊介	2010. 07. 09 2010. 07. 10 2010. 07. 11	木村俊介と小野越郎の津軽三味線ユニットがマレーシア・クチンで開催されるレイン・フォレスト・ワールド・ミュージックフェスティバルに参加
23	五嶋みどり他ラオス公演	ラオス	ビエンチャン ルアン・プラバン ビエンチャン	サティット小学校、セタティラート病院 孤児院学校、ルアンパバン子どもセンター、ティンソム村小学校、ムンカイ郡小学校、少数民族学校、SOSスクール SOSスクール、国立リハビリテーションセンター、子ども教育開発センター、NPOラオスの子ども図書館、武道センター、ターパ	特定非営利活動法人ミュージック・シェアリング	2010. 12. 21 2010. 12. 22 ~ 2010. 12. 24 2010. 12. 25 ~ 2010. 12. 29	五嶋みどり（米国在住バイオリニスト）とオーディションで選出された米国在住奏者が、ラオスの学校、病院、孤児院、児童施設等で演奏や交流レクチャーを実施
24	花傳インド公演	インド	ケーララ デリー	バーラト・ムラーリ野外劇場 カマニ・オーディトリウム	花傳	2010. 12. 30 2011. 01. 10	上田秋成原作『雨月物語—蛇性の淫』をケーララ国際演劇祭、インド演劇祭にて上演。日本の伝統的身体手法を取り入れた演出、忠実に台詞を英語字幕で示すことによりインド人観客の日本古典、日本現代演劇への理解を促す
25	徳丸十盟インド公演	インド	ニューデリー バンガロール バンガロール コルカタ ハイデラバード チェンナイ	ニューデリー日本文化センターR. タゴールホール 現代美術館 バンガロール大学講堂 印日福利文化協会ホール 州立美術館 アジア文化会館・AOTS同窓会ホール	徳丸 十盟	2011. 02. 16 2011. 02. 19 2011. 02. 20 2011. 02. 23 2011. 02. 26 2011. 03. 02	徳丸十盟（尺八演奏家）が、3名の邦楽器奏者（尺八・三弦・箏）と共にインド5都市でコンサートを開催。バンガロールでは現地音楽家と共演（来場者1,145名）

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
26	日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル（ニパフ）実行委員会南アジア公演	インド インド バングラデシュ バングラデシュ	デリー ムンバイ ダッカ チッタゴン		日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル（NIPAF:ニパフ）実行委員会	2010.09.13 ～ 2010.09.27	日本（7名）と韓国（1名）のパフォーマンス・アーティストがインドのデリー、ムンバイ、とバングラデシュのダッカ、チッタゴンの計4都市を巡演。公演の他に資料展示とディスカッションも実施
27	梅田宏明2010ワールドツアー	トルコ ハンガリー スペイン オーストラリア フランス フランス フランス	イスタンブール ペーチ ビルバオ メルボルン パリ レンヌ ストラスブール	DANCE lab Chamber Theatre of the National Theatre Alhondlga Bilbao Cultural Centre Venue Melbourne International Arts Festival パリ日本文化会館 Théâtre National de Bretagne Théâtre Pôle Sud	梅田 宏明	2010.09.19 2010.09.23 2010.10.07 ～ 2010.10.09 2010.10.14 ～ 2010.10.17 2010.11.12 ～ 2010.11.13 2010.11.19 ～ 2010.11.20 2010.11.23 ～ 2010.11.24	梅田宏明（S20代表／振付家）が、世界各地からの作品制作依頼により、2010年の欧州文化都市ペーチ（ハンガリー）のほか、フランス、オーストラリアのフェスティバル等での公演、トルコ、スペインでのワークショップを、計7都市で実施
28	梅若会カナダ公演	カナダ	カスロ ニューデンバー ネルソン ネルソン カルガリー カルガリー バンフ	ランナム劇場 ルーサン小学校 ネルソン・ユナイテッド教会 ヒューム小学校 セントラル・ユナイテッド教会 カルガリー日系会館 バンフ・アングリカン協会	日本民謡梅若流梅若青年部	2010.06.10 2010.06.10 2010.06.11 2010.06.11 2010.06.12 2010.06.13 2010.06.14	秋田県民謡の公演をカナダ西部5都市で実施。日本の伝統芸能紹介ワークショップも同時開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
29	瀬尾久仁&加藤真一郎米国公演	米国	マウント・ビュー サラトガ サンフランシスコ サラトガ	タテウチ・ホール ウェスト・ヴァレー大学劇場 サンフランシスコ総領事公邸 ウェスト・ヴァレー大学劇場	瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオ	2010.06.21 2010.06.23 2010.06.24 2010.06.25 ~ 2010.06.26	クロサワ・ピアノ・ミュージック財団主催「国際ピアノ・ミュージック・フェスティバル」のメイン・ゲストとして招へいされた瀬尾久仁&加藤真一郎デュオが、演奏会並びに学生対象のレクチャー及びワークショップを実施。併せて邦人作品演奏会をカリフォルニア州で実施
30	高橋裕子舞踊団米国公演	米国	ニューヨーク ニューヨーク ニューヨーク サンフランシスコ サンフランシスコ	Tenri Cultural Institute of New York Battery Park OneNewYork Plaza AT&T Park The Westin St. Francis	高橋裕子モダンバレエ研究所（高橋裕子舞踊団）	2010.08.13 ~ 2010.08.14 2010.08.15 2010.08.16 2010.08.24 2010.08.25	ダウン・タウン・フェスティバル（ニューヨーク）及び日米草の根交流サミット「サンフランシスコ・ベイエリア大会」に招へい参加し、『償われた者の伝記のために』他を上演。併せてニューヨーク・サンフランシスコでの自主公演も実施
31	鈴木ユキオ・山下残On Thirteenth米国公演	米国	シアトル ポートランド	Velocity Dance Center Theater TBAフェスティバル	特定非営利活動法人Offsite Dance Project	2010.09.10 ~ 2010.09.11 2010.09.17 ~ 2010.09.18	ポートランド現代芸術研究所主催TBAフェスティバル2010に招へい参加。鈴木ユキオのソロ・パフォーマンスと、山下残がシアトルVelocity Dance Centerと共同制作するダンス作品から成る、サイトスペシフィック・パフォーマンス企画On Thirteenth。ワークショップも併せて実施
32	日本伝統芸能振興会『応挙の幽霊』米国公演	米国	ロサンゼルス	Redondo Beach Performing Arts Center	特定非営利活動法人日本伝統芸能振興会	2010.11.13	国立劇場歌舞伎役者養成所を修了した、歌舞伎役者らによる歌舞伎公演。化粧の解説、歌舞伎舞踊『操り三番叟』に続き、朝丘雪路主演で『応挙の幽霊』を上演(公演2回)
33	サイトウ・キネン・オーケストラ米国公演	米国	ニューヨーク	カーネギーホール	財団法人サイトウ・キネン財団	2010.12.14 ~ 2010.12.18	小澤征爾指揮によるサイトウ・キネン・オーケストラの米国公演。プログラムには武満徹「ノヴェンバー・ステップス」、サイトウ・キネン財団とカーネギーホールからの委嘱の権代敦彦作品（デカセクシス/Decathexis作品125）が含まれる

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
34	ケビン・メッツ 津軽三味線米国公 演	米国	ソルトレークシ ティ	ウエストミン スター・カレ ッジ・コンサ ート・ホール	Kevin Kmetz	2011. 02. 19	ケビン・メッツとマイク・ペニー（米国在住） による、米国中西部3大学での津軽三味線レク チャー・コンサート
			デンバー	コロラド大学 デンバー校キ ングセンタ ー・コンサ ートホール		2011. 02. 21	
			フォート・コ リンズ	コロラド州立 大学オルガ ン・リサイ タル・ホール		2011. 02. 22	
			アルバカーキ	ニューメキシ コ大学カン ファレンス ・ホール		2011. 02. 23	
35	大倉正之助グル ープ・トルコ・米 国公演	トルコ トルコ 米国 米国 米国	アマスヤ ヨズガット サンタクルーズ サンフランシ スコ サンフランシ スコ	野外設立劇 場 ヨズガット文 化施設 サンタクル ーズ野外劇 場 劇場ノース スペース コレット・ オーディトリ ウム	大倉 正之助	2010. 06. 13 2010. 06. 15 2010. 06. 19 2010. 06. 21 2010. 06. 23	能楽シテ方と囃子方による伝統的能仕舞と囃子 に始まり、英語と日本語による狂言『瓜盗 人』、各地の打楽器奏者と能楽囃子太鼓・笛奏 者とのジャムセッションを上演。トルコ、米 国の2カ国計4都市を巡回
36	福村芳一指揮 キューバ国立交 響楽団 キュー バ公演	キューバ	ハバナ	キューバ国立 劇場	福村 芳一	2010. 09. 19 ~ 2010. 09. 26	福村芳一（キューバ国立交響楽団首席名誉指 揮者）が、2010年9月の同楽団定期演奏会、日 曜コンサートを指揮し、最終日には、日本から の特別ゲスト、大萩康司（ギター）、京谷弘司 （バンドネオン）を迎え、アストル・ピアソラ やレオ・ブローウェル作曲の作品演奏を含む特 別公演を実施
37	宮下靖子バレエ 団 メキシコ公 演	メキシコ	メキシコ グアダラハラ	日本メキシコ 学院ホール ハリスコ州立 デコジャード 劇場	有限会社宮下 靖子バレエ団	2010. 08. 23 2010. 08. 26	京都で活動する宮下靖子バレエ団が、メキシ コ2都市で日本人植民地団をテーマにした創 作バレエ、メキシコ榎本植民地史『ピバ・メ ヒコ』を上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
38	中嶋夏演出 イザベル・ベテータ・コウ新作振付 メキシコ公演	メキシコ	メキシコ	Centro Cultural 'Los Tallers'	中嶋 夏	2011.03.12 ~ 2011.03.14	中嶋夏（現代舞踊家）が、アメリカン・モダン・ダンスの影響が濃く、現在自身の舞踊のルーツを求める動きが活発なメキシコの舞踊学校の20周年記念「国際舞踊祭」で、イザベル・ベテータ・コウ（学校主宰者／舞踊家）の新作『鳥の影を追って』を振付、演出
39	冴木杏奈南米公演	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ブエノスアイレス日本庭園サロンセンテナリオ	株式会社ムーンミュージック	2010.05.23	冴木杏奈（タンゴ歌手）が、タンゴ及びフォルクローレの発祥地・南米2カ国でのツアーを実施。各地アーティストとも共演
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	ライブハウスビエーン・ポルテーニョ		2010.06.04	
		アルゼンチン	ブエノス・アイレス	沖縄県連合会館(COA)		2010.06.05	
		ペルー	リマ	ペルー日系人協会大ホール		2010.06.16	
40	Sounds of Japan ペルー・エクアドル公演	ペルー	リマ	カトリック大学音楽学校	井上 鑑	2010.11.02	井上鑑が音楽監督を務める邦楽アンサンブル「Sounds of Japan」が、リマ市にて開催される「日本文化週間」のオープニング公演を実施。現地アーティストとのコラボレーションや大学でのレクチャー・デモンストレーションも実施
		ペルー	リマ	Teatro peruano Japonesa		2010.11.03	
		ペルー	カヤオ	Teatro Municipal del Callao		2010.11.04	
		ペルー	トルヒヨ	Teatro Municipal de Trujillo		2010.11.08	
		エクアドル	グアヤキル	Teatro Centro Civico Eloy Alfaro		2010.11.10	
		エクアドル	キト	Teatro Sucre		2010.11.12	
41	藤倉大 <i>Tocar y Luchar for orchestra 2011</i> ベネズエラ公演	ベネズエラ	カラカス	Social Action Center for Music	日本・ベネズエラ音楽交流支援委員会	2011.02.22	藤倉大（作曲家）が、ベネズエラの音楽教育プログラム「エル・システム」のために新作「 <i>Tocar y Luchar for orchestra</i> 」を献呈、シモン・ポリバル・ユース・オーケストラが初演。現地の音楽家とのワークショップも実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
42	瀬木貴将&榊原大デュオ ポリビア公演	ポリビア	エル・アルト・ラ・パス ラパス ラパス ラパス コチャバンバ	テアトロコンパ ブラド大通り特設ステージ ホテルトリノ テアトロムニシパル テアトロアチャ	瀬木 貴将	2010. 09. 10 2010. 09. 10 2010. 09. 11 2010. 09. 12 2010. 09. 13	南米アンデス地方の民族楽器サンポーニャ及びケーナ奏者の瀬木貴将との榊原大（ピアニスト）が、ポリビア国際ジャズ祭で、オリジナル曲、フォルクローレ、クラシック、日本のポピュラー曲等を演奏
43	『true/本当のこと』欧州公演	イタリア	ボルツァーノ	Alumix in Bolzano	true実行委員会	2010. 09. 08 ~ 2010. 09. 09	藤本隆行（照明）、白井剛と川口隆夫（ともにダンサー）、真鍋大度（音楽）など、LED照明、音、振動子、ダンスなどの各分野で活躍する芸術家10人によるマルチメディア作品のイタリアでの公演を実施
44	Coba他西欧公演	イタリア	カステルノーヴォ・ネ・モンティ カステルフィダルド バスティア・ウンブラ	Teatro Bismantova Teatro Astra Le Muse	coba	2010. 10. 05 2010. 10. 07 2010. 10. 08	Voce d'Oro（ヴォーチェ・ドーロ）賞を受賞した3名のアコーディオニスト、Coba(日)、フランク・マロッコ(米)、リシャール・ガリアーノ(仏)による競演ツアー
45	サル・ガヴオ欧州公演	ドイツ ドイツ ドイツ オランダ ドイツ ドイツ ドイツ ドイツ イタリア	ドレスデン エッセン アーヘン グローニンゲン アインベック オッフエンバッハ イルミナウ ベルリン ローマ	Jazz club Neue Tonne Zeche Carl Dumont Grand Theatre Tango Brucke Spitalkeller Jazz meile Festival Dave Lombardo Casa del Jazz	サル・ガヴオ	2010. 09. 25 2010. 09. 26 2010. 09. 28 2010. 09. 29 2010. 09. 30 2010. 10. 01 2010. 10. 02 2010. 10. 03 2010. 10. 05	アルゼンチン・タンゴを基調にジャズ、ロック、即興音楽を融合させた新しい音楽の演奏会をドイツ、イタリア等で実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
46	牧野由依西欧公演	イタリア フランス	ローマ パリ	ローマ日本文化会館 パリ日本文化会館	EPICレコードジャパン	2010. 06. 19 2010. 06. 21	アニメ『ツバサ・クロニクル』の声優で、アニメソングやCMソング歌手としても活躍する、牧野由依によるコンサート
47	GIBIER du MARI フランス・イタリア公演	フランス イタリア	パリ ローマ	パント展示会場 ティベリーナ島	中島 淳子	2010. 07. 04 2010. 07. 06	中島淳子(夏木マリ)率いるブルース・バンド、GIBIER du MARIのパリ・ジャパン・エキスポ及びローマJapanitalyにおけるライブ公演。中島は、アニメ『千と千尋の神隠し』で声優を担当した湯婆婆の扮装で参加
48	八木美知依 英国公演	英国	ロンドン	Kings Place	八木 美知依	2011. 03. 05	八木美知依(箏奏者)が英国で現代邦楽公演を実施
49	木村俊介&小野越郎デュオ欧州公演	英国 オランダ	ロンドン ユトレヒト	Kings Place Hall 1 RASA	小野 越郎	2010. 03. 04 2010. 03. 06	小野越郎(津軽三味線)と木村俊介(笛、津軽三味線)のデュオが英国とオランダで民謡公演を実施
50	長谷川きよし欧州公演	フランス フランス フランス ドイツ ドイツ 英国 英国 英国	パリ パリ パリ トリーア ライプツィヒ ロンドン ロンドン ケンブリッジ	パリ日本文化会館 三越エトワール Jazz Club Sunset SMW メンデルスゾーンハウス Crane & Tortoise Archangel 嘉悦ケンブリッジ教育文化センター	長谷川きよし海外公演実行委員会	2010. 10. 20 2010. 10. 22 2010. 10. 23 2010. 10. 26 2010. 10. 28 2010. 10. 31 2010. 11. 01 2010. 11. 03	盲目のギター弾き語り奏者、長谷川きよしがフランス、ドイツ、英国でソロ演奏会を実施
51	宮田まゆみ欧州公演	フランス 英国	パリ ロンドン	パリ日本文化会館小ホール Kings Place (Hall 1)	株式会社アマティ	2010. 02. 23 2010. 03. 03	宮田まゆみ(笙奏者)がフランスと英国で公演を実施。英国ではロンドン・シンフォニエッタと共演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
52	チェルフィッ チュ、庭劇団ペニ ノ、快快（現代演 劇）欧州公演	オランダ スイス スイス スイス スイス ドイツ	グローニンゲン チューリッヒ チューリッヒ チューリッヒ チューリッヒ ハンブルク	グランドシアター ロメオ・テント ノルドシアター ファブリックシア ター クラブ カンプナーゲル	株式会社precog	2010.08.20 ~ 2010.08.21 2010.08.21 ~ 2010.08.24 2010.08.25 ~ 2010.08.27 2010.08.26 ~ 2010.08.28 2010.08.28 ~ 2010.08.30 2010.08.29 ~ 2010.08.31	東京―渋谷を拠点とするチェルフィッチュ、庭劇団ペニノ、快快(fai fai)の3劇団がスイス、オランダで開催される2つのフェスティバル他で公演を実施
53	劇団かかし座 オ ランダ・ドイツ公 演	オランダ ドイツ	メッペル ボーフム	Theater Ogterop メインホール（2回 公演） Flottmann-Hallen	有限会社劇団かかし座	2010.09.08 ~ 2010.09.10 2010.09.12	オランダ「第10回メッペル国際人形劇フェスティバル」、ドイツ「人形劇フェスティバルFIDENA2010」からの招へいによる手影絵パフォーマンス公演
54	勅使川原三郎 +KARAS『ミロク』 『SHE-彼女』『鏡 と音楽』フランス 公演	スイス フランス	ジュネーブ グルノーブル	Bâtiment des Forces Motrices Maison de la culture de Grenoble	勅使川原三郎 +KARAS（有限会社 カラス）	2011.01.31 ~ 2011.03.24	グルノーブルのMaison de la culture de Grenobleの招へいにより、『ミロク』『SHE-彼女』『鏡と音楽』の3作品を各2回ずつ、計6回公演
55	大蔵基誠（大蔵流 狂言）西欧公演	スイス ルクセンブルク スイス スイス ドイツ スイス	ルガノ ヴァルフェルダン ジュ ジュネーブ ローザンヌ シュトゥットガルト チューリッヒ	Lugano Cittadella Centre Prince Henri CITE BLUE Ecole Polytechnique Fédérale de Lausanne Linden Museum Witikon Kirchgemeindehau	株式会社アンエン ターテイメント	2010.11.29 2010.11.30 2010.12.05 2010.12.07 2010.12.08 2010.12.09	能楽師狂言方大蔵基誠を団長とする大蔵流狂言が、ジュネーブにおける「日本文化月間」等スイス、ドイツ、ルクセンブルグにおいて狂言公演、ワークショップ（能楽堂、能面、日本紹介を含む）を実施
56	康本雅子スペイン 公演	スペイン	バルセロナ	Contemporary Culture Center of Barcelona	康本 雅子	2010.07.10 ~ 2010.07.11	康本雅子（現代舞踊）がスペインのGrec Festival de Barcelonaの招へいで新作ソロ作品『髄髄宙々』を上演（4回公演）

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
57	レナード衛藤スペイン公演	スペイン	マドリード マドリード バリャドリッド アルコベンダス サラマンカ バレンシア サラゴサ バルセロナ	マドリード白夜祭 野外ステージ Oscar Room Mate Hotel バリャドリッド大 学 アルコベンダス市 コンサートホール Colegio Fonseca 公演ホール バレンシア大学講 堂 CAI財団公演ホール フェスティバル・ アジア野外ステー ジ	レナード 衛藤	2010. 09. 11 2010. 09. 12 2010. 09. 14 2010. 09. 16 2010. 09. 17 2010. 09. 22 2010. 09. 24 2010. 09. 26	レナード衛藤（太鼓奏者）がSUJI（タップダンサー）、YUKARIE（サクソ奏者）との3人バンド構成でスペインを巡回公演。マドリード市主催白夜祭、カサ・アジア（Casa Asia）主催アジアフェスティバル等に参加
58	炎太鼓 スペイン公演	スペイン	ムルシア エルチェ マドリード	Puertas de Castilla Institut Municipal de Cultura Circulo de Bellas Artes	財団法人浅野太鼓 文化研究所	2010. 10. 20 2010. 10. 23 2010. 10. 26 ~ 2010. 10. 27	石川県白山市の女性創作和太鼓集団「炎太鼓」がスペインで公演を実施
59	ポツドール『夢の城』ドイツ公演	ドイツ	エッセン	Casa(カーザ)	ポツドール	2010. 07. 09 ~ 2010. 07. 12	劇団ポツドールがドイツのTheater der Welt国際演劇祭から正式招へいを受けて『夢の城』を上演
60	渋谷慶一郎『Concert at ISEA 2010 RUHR』ドイツ公演	ドイツ	ドルトムント	Konzerthaus Dortmund	アタック・トー キョー株式会社	2010. 08. 24	欧州屈指のテクノロジー・アートの祭典ISEA (International Symposium on Electronic Art)にて渋谷慶一郎（現代音楽家）と高谷史郎（映像作家）の共同作品の公演を実施。16回目となるISEAは欧州文化首都 RUHR 2010の一環として実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
61	カンマーフィル ハーモニーひろし まドイツ公演	ドイツ	ドナウエシingen フライブルク ベルリン	ドナウハレ フライブルク大学 ホール ベルリン市庁舎グ ローサーフェスト ザール	カンマーフィル ハーモニーひろし ま	2011. 04. 28 2011. 04. 29 2011. 05. 02	広島を中心に活動する室内楽合奏団「カンマー フィルハーモニーひろしま」が、「日独交流 150周年」を記念してドイツ3都市で公演。 シューベルトやハイドンの交響曲・協奏曲のほか、日本人作曲家の作品も演奏
62	大原保人「スー パージャズトリ オ」ドイツ公演	ドイツ	デュッセルドルフ	Tonhalle Helmut Hentrich-Saal	大原 保人	2011. 05. 14	千葉県に拠点があり、デュッセルドルフ市との 交流に実績をもつ「ヤスト オーハラ スー パージャズトリオ」（ピアノ、バス、ドラム） が、同市トーンハレの「日独交流150周年」記 念コンサートに正式招待され、ジャズのスタン ダードやクラシック、日本歌曲やドイツ民謡を 演奏

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
63	齋藤徹・久田舜一郎フランス・ドイツ公演	フランス	マニー・ル・オン グレ	FILE 7	齋藤 徹	2010.05.14	齋藤徹（コントラバス奏者）と久田舜一郎（能の小鼓奏者）が、フランス人サクソ奏者やダンサーと公演を実施。また、齋藤及び久田によるワークショップや、齋藤のレジデンス活動も実施
		フランス	リヨン	Le Periscope		2010.05.15	
		フランス	サン・エティエンヌ	L' Imprimerie		2010.05.16	
		フランス	ブルグ・エン・ブレス	La Tannerie		2010.05.17	
		フランス	モントレイユ	Instants Chavires		2010.05.18	
		フランス	リール	La Malteriein		2010.05.19	
		フランス	ニース	Mediatheque Municipale		2010.05.20	
		フランス	マルセイユ	Grim-Montevideo		2010.05.21	
		フランス	ナンシー	Centre Culturel Andre Malraux		2010.05.22	
		ドイツ	ヴッパータール	Cafe ADA		2010.05.27 、 2010.06.17	
		ドイツ	ヴッパータール	Evangelishes Vereinsshaus		2010.05.29 、 2010.06.18	
		ドイツ	ヴッパータール	ORT		2010.05.29	
		ドイツ	ハーゲン	Kooperative K		2010.05.30	
		ドイツ	ヴッパータール	ORT		2010.06.03	
		ドイツ	ミュンスター	Cafe CUBA		2010.06.06	
		ドイツ	ヴッパータール	ORT		2010.06.10 ～ 2010.06.21	
64	石山雄三 <i>CatB</i> フィンランド公演	フィンランド	トゥルク		石山 雄三	2011.01.10 ～ 2011.03.29	石山雄三（振付家）による、日本人のダンサー・音楽家・映像作家と、フィンランドのダンサー・照明デザイナーのチームとのマルチメディアを駆使したダンス作品の共同制作。2011年欧州文化首都トゥルクのアートフェスティバルで上演
65	鼓童+伶楽舎フランス客演	フランス	パリ	L'Opera National de Paris	株式会社北前船（鼓童）	2010.06.11 ～ 2010.07.15	石井真木が作曲した組曲『輝夜姫』に振付家イリ・キリアンが振付けたバレエ作品のパリ・オペラ座での初演に、和太鼓集団鼓童が伶楽舎の雅楽奏者と共に出演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
66	Ko & Edge Co. 『アンジェ国立振 付家センター共同 制作』フランス公演	フランス	アンジェ	Theatre 400	Ko & Edge Co.	2010. 11. 24 ~ 2010. 11. 25	現代舞踊団のKo & Edgeがフランス国立アン ジェ振付家センターで新作の共同制作と世界初 演を実施
67	Noism 1 <i>NINA materialize sacrifice(ver. bl ack)</i> フランス公演	フランス	パリ	パリ日本文化会館	財団法人 新潟市 芸術文化振興財団	2010. 12. 02 ~ 2010. 12. 04	パリ日本文化会館招へいにより、 <i>NINA materialize sacrifice(ver. black)</i> を上演 (3 回)。Noism初欧州公演
68	シアターインクラ イン+ゲキダンキ オ『トレイン』フ ランス公演	フランス	ナンシー ランス		国際児童青少年演 劇フェスティバル 大阪実行委員会	2011. 03. 13 ~ 2011. 03. 31	シアターインクライン (カナダ) とゲキダンキ オ (日本) の劇団による、宮沢賢治『銀河鉄道 の夜』をモチーフにした児童向け演劇の共同制 作。2007年より大阪で開催している児童青少年 演劇フェスティバルやカナダで上演した作品を フランスの地方都市とフェスティバルで上演
69	横川理彦『レッ ド・レイルズ』フ ランス公演	フランス フランス フランス フランス フランス フランス フランス フランス ベルギー ベルギー	ナント パンタン マルセイユ コレンス ポワチエ モンリュソン ガナ イエール гент ベルセル	Nouveau Pavillon La Dynamo de Banlienes Blues Daki Ling Fort Gibron Le lieu Multiple Le Guinguis Maison de Jeunes et de la Culture Theatre Denis Musikantenhuos T' Ey Musiekdub	横川 理彦	2011. 02. 19 2011. 03. 08 2011. 03. 10 2011. 03. 11 2011. 03. 12 2011. 03. 15 2011. 03. 16 2011. 03. 18 2011. 02. 22 2011. 02. 23	横川理彦 (コンピュータ音楽家) が欧州のヴァ イオリニストやビデオ・アーティストとの協働 によるマルチメディア作品の公演をフランス及 びベルギーで実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
70	レ・フレール欧州公演	フランス フランス ルクセンブルク ベルギー	パリ パリ ルクセンブルク ブリュッセル	パリ日本文化会館 パリ日本文化会館 Philharmonie Grand Auditorium PALAIS DES BEAUX-ARTS Salle de Musique de Chambre	オフィスキャトルマン合同会社	2010.05.05 2010.05.07 2010.05.10 2010.05.12	斉藤守也と圭士兄弟によるピアノ・デュオ「レ・フレール」による欧州3カ国（フランス、ルクセンブルク、ベルギー）のツアー公演。2009年ツアー内容に代表的オリジナル曲を加えた内容構成で上演
71	松尾邦彦『プロジェクト オー』ルクセンブルク公演	ルクセンブルク	ルクセンブルク	Traffo Carre Rotondes	松尾 邦彦	2010.04.16 ~ 2010.04.22	松尾邦彦（マルチメディア・アーティスト）が、インド、欧州などから参加した振付家、舞踊家、音楽家、照明家などと共に、ルクセンブルクにおいて幼児向けのマルチ・メディア／現代舞踊作品『プロジェクト・オー（PROJET O）』を上演
72	米澤浩・熊沢栄利子欧州公演	デンマーク デンマーク デンマーク スウェーデン スウェーデン デンマーク オーストリア オーストリア オーストリア マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	ソロストランド グレーベ コペンハーゲン マルメ マルメ ブロンショイ クロスターノイブルク グラーツ グラーツ ウィーン スコピエ	Jersie教会 ボルタレン美術館 コンペンハーゲン・インターナショナル・スクール ヘレナホルム芸術高校 マルメ市庁舎ホール フスムボルド教会 クロスターノイブルク修道院 グラーツ芸術大学 ハイランドキルヘ教会 ウィーン国連代表部・大会議場 スコピエ音楽バレエ学校	米澤 浩	2011.01.23 2011.01.25 2011.01.27 2011.01.28 2011.01.28 2011.01.30 2011.02.03 2011.02.04 2011.02.05 2011.02.08 2011.02.09 ~ 2011.02.10	米澤浩（尺八）、熊沢栄利子（箏）による邦楽公演（コンサートやレクチャーコンサート、ワークショップ）を実施。併せて、欧州4カ国の芸術教育機関・教会・国連代表部等で実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
73	渋さ知らズオーケストラ欧州公演	スイス	ルガノ	Estival Jazz	株式会社プランク トン	2010.07.02	ジャズ・ロック・ラテン・ポップス・フォーク・演歌などが混在する脱ジャンルの音楽性に舞踏・美術・映像・ダンス・照明・音響が渾然一体となった、不破大輔を中心とする日本の超巨大バンド「渋さ知らズオーケストラ」による8カ国巡回ツアー。本ツアーのための新曲も上演
		スロベニア	マルボル	Maribor 広場		2010.07.06	
		スロベニア	マルボル	Estival Lent		2010.07.07	
		スロベニア	マルボル	Maribor 市街地		2010.07.07	
		フランス	サレット	Bizart' Nomad		2010.07.09	
		フランス	サレット	Salettes 市街地		2010.07.09	
		オランダ	ロッテルダム	Northseejazz festival		2010.07.11	
		スイス	ジュネーヴ	Musique en été		2010.07.14	
		フランス	カレー	Festival de la Côte d'Opale		2010.07.15	
		ドイツ	イエーナ	Jena 市街地		2010.07.17	
		ドイツ	イエーナ	Kulturarene		2010.07.17	
		ノルウェー	モルデ	Molde Jazz festival		2010.07.19	
		ノルウェー	モルデ	新劇場の着工式典		2010.07.19	
		スペイン	サン・セバスティアン	San Sebastian Jazz festival		2010.07.21	
		フランス	ヴァンス	Festival les nuits du sud	2010.07.22		

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
74	バーバラ村田（大道マイムシアター）欧州公演	スイス	リュサン	サーカステント	バーバラ 村田	2010.06.11	スイスの国際パフォーマンス・フェスティバル「リュサンパフォーマンス・フェスティバル」への招へい参加、及びフランスの大道芸フェスティバル他でのマイム公演の実施。演目は『バーバラビットのキャバレショー』
		スイス	リュサン	野外ステージ		2010.06.12	
		スイス	リュサン	移動式劇場		2010.06.13	
		ポーランド	ヴロツラフ	Busker Bus Festival		2010.06.18 ～ 2010.06.30	
		ポーランド	カーリシュ	Busker Bus Festival		2010.06.18 ～ 2010.06.30	
		ポーランド	ジェロナグ	Busker Bus Festival		2010.06.18 ～ 2010.06.30	
		ポーランド	ブジェク	Busker Bus Festival		2010.06.18 ～ 2010.06.30	
		ポーランド	ブイドゴシュチュ	Busker Festival		2010.07.01 ～ 2010.07.03	
		フランス	シャロン	Chalon dans la rue		2010.07.25	
		スイス	ジュネーヴ	ジュネーヴ国際サーカス見本市		2010.08.01	
		フランス	オーリヤック	Barbantelle		2010.08.18 ～ 2010.08.21	
		フランス	オーリヤック	Theatre Parvis		2010.08.18 ～ 2010.08.21	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
75	AGA-SHIO欧州公演	ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	株式会社ステー ション	2010. 05. 28	上妻宏光（津軽三味線）と塩谷哲（ジャズピア ノ）のデュオ、AGA-SHIOによる、欧州及びエジ プト6カ国ツアー
		ドイツ	デュッセルドルフ	デュッセルドルフ 日本デー会場		2010. 05. 29	
		イタリア	ローマ	ローマ日本文化会 館		2010. 05. 31	
		チェコ	プラハ	アルカ劇場		2010. 06. 02	
		チェコ	プラハ	アルカ劇場		2010. 06. 05	
		エジプト	カイロ	カイロ・オペラ座 小ホール		2010. 06. 08	
		フランス	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 10 ～ 2010. 06. 11	
		スペイン	マドリード	Sala Clamores		2010. 06. 13	
		スペイン	セゴビア	ファン・ブラヴォ 劇場		2010. 06. 18	
76	日本太鼓連盟（橘 太鼓「響座」） 南ア・ボツワナ・ ポルトガル公演	南アフリカ共和国	プレトリア	国立劇場ドラマシ アター	財団法人日本太鼓 連盟	2010. 09. 03 ～ 2010. 09. 04	財団法人日本太鼓連盟が、ワールドカップ開催 年、日本・南アフリカ共和国交流100周年、日 本ポルトガル修好150周年記念事業として橘太 鼓「響座」を派遣し、プレトリア、ハボローネ （ボツワナ）、リスボン、オエイラスで公演
		ボツワナ	ハボローネ	ボツワナテレビ局 内・講堂		2010. 09. 06	
		ボツワナ	ハボローネ	ボツワナ大学・講 堂		2010. 09. 07	
		ポルトガル	リスボン	オリエン特博物館 講堂		2010. 09. 10	
		ポルトガル	リスボン	グルベンキアン財 団・野外劇場		2010. 09. 11	
		ポルトガル	オエイラス	オエイラス市サン トアマロ海岸特設 会場		2010. 09. 12	
		ポルトガル	リスボン	万博公演ポルトガ ル館・野外スペー ス特設会場		2010. 09. 12	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
77	和力東欧公演	セルビア	ベオグラード	ベオグラード市内 精神障害者施設	一般社団法人和力	2011. 02. 10	日本各地の民俗芸能をベースに独自の舞台作品を創作している「和力」による公演とワークショップ等を東欧4カ国5都市で実施
		セルビア	ベオグラード	ベオグラード国立 劇場		2011. 02. 11	
		セルビア	センタ	センタ文化会館		2011. 02. 12	
		ボスニア・ヘル ツェゴビナ	サラエボ	ドム・ムラディ		2011. 02. 15	
		アルバニア	ティラナ	ティラナ国立オペ ラ劇場		2011. 02. 18	
		コソボ	プリシュティナ	レッド・ホール・ ユース・センター		2011. 02. 20	
78	杏奈エストニア公 演	エストニア	タリン タルトゥ		杏奈	2010. 04. 05 ~ 2010. 04. 15	コンテンポラリーダンスの杏奈がソロ <i>BUSU- solo</i> で、エストニアのソロ作品と競演
79	アンサンブル・イ ンタラクティブ・ トキオ欧州公演	スロベニア	リュブリャナ	City Museum	野勢 善樹	2010. 10. 07	「アジアから世界へ」のコンセプトをもとに野勢善樹を中心に結成された音楽家集団「アンサンブル・インタラクティブ・トキオ」が、「UNICUM国際現代音楽祭」(スロベニア)と「ザグレブ・ビエンナーレ」(クロアチア)で、世界初演作品を含む音楽公演を実施
		スロベニア	ノヴァ・ゴリツァ	Kulturni Dom		2010. 10. 11	
		スロベニア	ツェリエ	Norodoni Dom		2010. 10. 12	
		クロアチア	ザグレブ	在クロアチア大使 公邸		2010. 10. 13	
80	クリストファー遙 盟他 チェコ公演	チェコ	プラハ	プラハ音楽学院 中庭 プラハ音楽学院 サール・マティ リサイタルホール	クリストファー遙 盟	2010. 08. 26 2010. 08. 27 ~ 2010. 08. 29	4日間の集中教育プログラムと公演からなるヨーロッパ尺八フェスティバルに講師・演奏家として参加。他に尺八の志村禅保と山本真山、地唄箏曲の佐藤紀久子が参加
81	極私空間ポーラ ンド公演	ポーランド	ワルシャワ ヴロツラフ シュチェチン ワルシャワ	ポーランド国立小 劇場 Studio Na Grobli ポルスキー劇場 中央広場・特設テ ント	舞踏集団 極私空 間	2010. 09. 12 2010. 09. 18 2010. 09. 27 2010. 09. 28	ポーランドの音楽グループOsjanとのコラボレーションによる新作、及び『肉体の廃墟』を上演

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
82	柴田義之『こい』 ルーマニア公演	ルーマニア	バカウ	バコビア市民劇場 メインホール	バカウ・ワンマン ショー・フェス ティバル参加者派 遣日本委員会	2010.04.16 ~ 2010.04.23	劇団1980の柴田義之によるひとり芝居。森山正 行作、藤田傳演出。今年で5回目を迎えるバカ ウのひとり芝居フェスティバルのコンペに参加
83	林英哲ルーマニア 公演	ルーマニア	ブカレスト シビウ	パレスホール タリアホール	有限会社 遥	2010.10.20 2010.10.23	ブカレストとシビウでそれぞれ地元のオーケス トラとの共演により、松下功『飛天遊』を演 奏。シビウではシビウ国際演劇祭へ参加
84	地点『桜の園／ ワーニャ伯父さ ん』ロシア公演	ロシア	モスクワ	メイエルホリド・ センター	合同会社地点	2010.02.14 ~ 2010.02.17	地点が取り組んできたチェーホフ四大戯曲連続 上演より『桜の園』と『ワーニャ伯父さん』を 上演
85	Noism 1 『Nameless Poison－黒衣の 僧』ロシア公演	ロシア	モスクワ	フォメンコシア ター	財団法人新潟市芸 術文化振興財団	2010.06.04 ~ 2010.06.06	チェーホフ国際演劇祭との共同制作による 『Nameless Poison－黒衣の僧』(2009年11月、 新潟・りゅーとびあで初演)を同演劇祭で上演
86	パパ・タラフマラ トルコ公演	トルコ	アダナ トラブゾン	トルコ国立アダナ 劇場 トルコ国立トラブ ゾン劇場	パパ・タラフマラ	2010.04.23 ~ 2010.04.24 2010.05.04	サバンチュ国際演劇祭のひとつであるアダナ演 劇祭で <i>Ship in A View</i> 、トラブゾン国際黒海 演劇祭で『三人姉妹』を上演
87	井上郷子 他 トル コ公演	トルコ	イスタンブール コジャエリ アンカラ メルシン アンカラ	ボルサン・ミュー ジックハウス コジャリエ大学 日土基金文化セン ター メルシン文化ホー ル アンカラ市チャン カヤ区現代芸術セ ンター	井上 郷子	2010.05.18 2010.05.21 2010.05.24 2010.05.26 2010.05.28	「2010年トルコにおける日本年」の関連事業と して、イスタンブールでは井上郷子のピアノで 日本とトルコの現代作品を演奏。メルシン「第 9回メルシン国際音楽フェスティバル」とアン カラでは田中郷子のソプラノによる日本の声楽 曲も合わせて演奏会を実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
88	沖縄歌舞劇団・美 トルコ公演	トルコ	トラブゾン トラブゾン ギレスン サムスン アマスヤ	フォーラムトラブ ゾン トラブゾン国立劇 場 ギレスン県立文化 センター サムスンアタテュ ルク文化会館 サライ・デュズ・ クシュラ・ピナス アマスヤタミー ミー・サロス	沖縄歌舞劇団 美	2010. 06. 23 2010. 06. 24 2010. 06. 26 2010. 06. 28 ～ 2010. 06. 29 2010. 07. 01 ～ 2010. 07. 02	「2010年トルコにおける日本年」の関連事業として、沖縄の芸術を継承し国内外で公演をかさねている女性だけのプロ芸術家集団「美（ちゅら）」が、「南島風土記」をテーマにした沖縄創作歌舞劇などをトルコ各地で上演
89	おおたか 静流 『Serenade』 トルコ公演	トルコ	イスタンブール イスタンブール チャナッカレ チャナッカレ	ボスフォラス大学 テラッキ財団セン ターホール オンセキズ・マル ト大学教育学部 オンセキズ・マル ト大学スレイマ ン・デミル・コン フェレンス・サロ ン	赤松 千里	2010. 10. 02 2010. 10. 03 2010. 10. 06 2010. 10. 07	「2010年トルコにおける日本年」の関連事業として、シンガー&ヴォイス・アーティスト、おおたか静流（しずる）が、トルコ伝統曲とオリジナル曲から構成され、全曲トルコのミュージシャンと、伝統楽器を駆使しイスタンブールで録音したニューアルバム <i>Serenade</i> をテーマに公演。また国立チャナッカレ大学日本語学部学生に対し、日本の童謡、唱歌のワークショップを実施
90	世界遺産コンサー ト トルコ公演	トルコ	イスタンブール サフランボル	アヤイリニ教会 旧迎賓館前野外会 場	特定非営利活動法 人 世界遺産コン サート	2010. 10. 23 2010. 10. 25	「2010年トルコにおける日本年」関連事業としてトルコの世界遺産「イスタンブールの歴史地区」及び「サフランボルの歴史地区」にて、雅楽師東儀秀樹とトルコの音楽家が共演（トルコ政府／自治体の招へい）

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
91	ルートカルチャー 『インターローカル・セッション：失われた1ページ』 ヨルダン公演	ヨルダン	マダバ	キングスアカデミー	特定非営利活動法人 ルートカルチャー	2010. 11. 23	各地のアーティストとディスカッションやワークショップを重ね、一般家庭で即興パフォーマンスを実施。最終的な公演は、ヨルダンの合唱団、ダンサー、映像作家を交え、戦争によって引き裂かれた地域の歴史を再解釈するもの
			アカバ	ワディラム砂漠屋外テント（ディーセ地区）		2010. 11. 26	
			アンマン	ジュベル・カルア空き地（ジュベル・カルア地区）		2010. 11. 27	
			アンマン	Ruwadコミュニティセンター（ジュベル・ナディーフ地区）		2010. 11. 27	
			アンマン	駐日本大使公邸		2010. 11. 28	
			アンマン	アル・バラド劇場（旧市街）		2010. 11. 30 ~ 2010. 12. 01	
			アンマン	ブスラック家（カルダ地区）		2010. 12. 02	
			アンマン	National Center for Culture and Arts（シュメサニ地区）		2010. 12. 02	
			ザルカ	ジャジャラーウィー家		2010. 12. 02	
			アンマン	イラーニー家（ジェベルアンマン地区）		2010. 12. 03	
			アンマン	エルクルディー家（ラービエ地区）		2010. 12. 03	
			マダバ	キングスアカデミー		2010. 12. 08	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
92	パレスチナ・キャラバン『アザリアのピノッキオ』中東公演	パレスチナ	ラマッラー	ダルウィッシュ文化センター	パレスチナ・キャラバン実行委員会	2010. 09. 16	2007年に日本の演劇人とパレスチナ演劇リーグにより上演された作品『アザリアのピノッキオ』（翠羅白作、ニダール・カティブ／翠羅白共同演出）を、パレスチナと「カイロ実験演劇祭」で上演
		パレスチナ	ジュニン	フリーダム・シアター		2010. 09. 22	
		パレスチナ	ヘブロン	イザード・アットファーラ劇場（子供の幸福劇場）		2010. 09. 25	
		パレスチナ	エルサレム	アルクッド大学野外劇場		2010. 09. 29	
		パレスチナ	ラマッラー	ダルウィッシュ文化センター		2010. 10. 03	
		エジプト	カイロ	アゴザコース・シアター		2010. 10. 13 ～ 2010. 10. 14	
93	福原哲郎『スペースダンス・イン・ザ・チューブ 2011』コンゴ・ウガンダ・トルコ公演	ウガンダ	カンパラ	マケレレ大学屋外特設会場	福原 哲郎	2010. 11. 25 ～ 2010. 11. 26	「2010年トルコにおける日本年」の関連事業として、舞踏家福原哲郎（東京スペースダンス主宰）が、イスタンブールで日本の舞踏をベースにしたスペースダンスを実施し、またアフリカでの普及への足掛かりとするため、Art of Life 代表の振付家モーリス・イエーカとともにウガンダにおいてワークショップ・公演を実施
		ウガンダ	カンパラ	国立劇場		2010. 11. 27 ～ 2010. 11. 28	
		トルコ	イスタンブール	カディキョイ港特設会場		2010. 12. 05	
		トルコ	イスタンブール	ミマールシナン大学劇場		2010. 12. 16	
		トルコ	イスタンブール	CATI		2010. 12. 17	
94	エーシーオー沖縄『てるてる』トルコ・カメルーン公演	トルコ	アンカラ	Ankara Universitesi D.T.C. Fakultesi Tiyatro Bolumu Melahat	株式会社 エーシーオー沖縄	2010. 11. 09 ～ 2010. 11. 20	「2010年トルコにおける日本年」の関連事業として、エーシーオー沖縄が、アンカラ大学演劇科の招へいにより音楽劇『てるてる』の公演とワークショップを実施。また、カメルーンの公式招待により「第8回アフリカ青少年演劇祭」にて、オープニング公演、ワークショップを実施
		カメルーン	ヤウンデ	French Cultural Center		2010. 11. 14 ～ 2010. 11. 15	
		カメルーン	ヤウンデ	Complexe scolaire tecla		2010. 11. 16	
		カメルーン	ドアラ	French Cultural Center in Douala		2010. 11. 17 ～ 2010. 11. 18	

舞台芸術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
95	ニヤマ・カンテ& ジュリドン コート・ジボワール 公演	コートジボワール	アビジャン	CARAS INSAAC	ニヤマ・カンテ	2010. 11. 04 2010. 11. 05	在日アフリカ人歌手・舞踏家のニヤマ・カンテと日本人のバンド・ダンスグループ「ジュリドン」が、「第2回アビジャン日本週間」(NGO CARAS主催)において公演及びワークショップを実施
96	スキアフリカ「スキヤキ・オールスターズ」アフリカ 公演	南アフリカ共和国 スワジランド タンザニア ジンバブエ ジンバブエ	ヨハネスブルグ ムババーネ ダルエスサラーム ハラレ ハラレ	MOYO MELROSE ARCH ホール HOUSE ON FIRE中央 ステージ SAUTI ZA BUSARA メインステージ THE MANNENBERG ホール ALLIANCE FRANÇAISE 小劇場	スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド 実行委員会	2011. 02. 04 2011. 02. 05 2011. 02. 10 2011. 02. 12 2011. 02. 16	ワールドミュージック・フェスティバル「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2010」(富山県南砺市)で結成されたアフリカ・アジア多国籍ユニット「スキアフリカ“スキヤキ・オールスターズ”」が、南アフリカ共和国、スワジランド、タンザニア、ジンバブエ4カ国でアフリカツアー公演(講演会やワークショップでの日本文化紹介を含む)を実施

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (3) 公演 (助成・PAJ北米)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする米国の非営利団体のみを申請資格者として、米国内で公募を行う助成プログラム。日本の舞台芸術に触れる機会の少ない地域 (カナダを含む) への巡回公演事業 (教育・研修機会を含む) の拡大、日米両国の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 30,095,257 円

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	HERE Arts Center	米国	ニューヨーク	HERE Arts Center	2010.04.07 ~ 2010.04.23	ニブロール(Nibroll)とニューヨークの劇団 The South Wingが、安部公房の『密会』をベースにした作品 <i>Epona's Labyrinth</i> をダンスシアターの形式で制作・上演
2	MAPPインターナショナル・プロダクションズ (MAPP International Productions, Inc.)	米国	アマースト	Bowker Auditorium, University of Massachusetts Amherst (Umass)	2010.06.10	余越保子(振付)、瀬山ますみ(共同振付、日本舞踊)による新作 <i>Tyler Tyler</i> の上演
			ヒューストン	Diverse Works Art Space	2010.10.14 ~ 2010.10.16	
			アルバカーキ	New Art New Mexico at North Fourth Art Center	2010.10.22 ~ 2010.10.23	
			シカゴ	Dance Center at Columbia College	2010.10.28 ~ 2010.10.30	
3	インタ (Inta, Inc.)	米国	ミドルタウン	Wesleyan University, CFA Theater	2010.07.22 ~ 2010.07.28	Eiko & Komaが自分の活動を回顧する作品 <i>Raven</i> を含むEiko & Komaのレトロスペクティブ・ツアー・プロジェクトを実施
			ミネアポリス	Walker Art Center	2010.09.27 ~ 2010.11.20	
			マイアミ・ビーチ (フロリダ州)	Tigertail Productions Colony Theater, Miami Beach, Florida	2011.02.10 ~ 2011.02.12	
			サラソタ (フロリダ州)	Ringling Museum Historic Asolo Theater, Sarasota, Florida	2011.02.21 ~ 2011.02.26	
			ロサンゼルス	Cal Arts REDCAT Theater	2011.03.01 ~ 2011.03.06	
			ソルトレークシティ	University of Utah, Dance Department	2011.05.31 ~ 2011.06.10	

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
4	Art Re Group, Inc.	米国	マリン・カウンティ (カリフォルニア州) オークランド サン・フランシスコ サン・フランシスコ	Battery Townsley, Marin County, California Terminal The Compound The LAB	2010.08.01 2010.08.03 2010.08.04 2010.08.06	サンフランシスコのNPO、ME' DI. ATEのプロデュースにより開催される <i>Soundwave Festival</i> において、日米のサウンドアーティスト坂本貴大とJorge Bachmanが共同で作品を制作・発表
5	The Playwrights' Center	米国	ミネアポリス	The Playwrights' Center	2010.08.29 ~ 2010.08.30	ミネアポリスのPlaywrights' Centerによる日米劇作家交流プロジェクト。Trista Baldwin作の <i>DOE2.0</i> を羊屋白玉が演出
6	Leah Stein Dance Company	米国	フィラデルフィア	Shofuso	2010.09.09 ~ 2010.09.11	Leah Stein Dance Companyが日本からダンサーの新井英夫ときむらみかを招へいし、フィラデルフィア州フェアモント・パークにある松風荘(日本家屋と日本庭園)において、サイトスペシフィックな作品を制作・上演
7	Pocahontas County Opera House Foundation Inc.	米国	マーリントン ルイスバーグ マーリントン ヒルズボロ リッチウッド ヴァレー・ヘッド パースグラヴ ヒルズボロ グリーンバンク	Pocahontas County Opera House, Marlinton, WV Carnegie Hall, Lewisburg, WV Pocahontas County Opera House, Marlinton, WV Hillsboro Elementary School, Hillsboro, WV Richwood Middle School, Richwood, WV Valley Head Elementary School, Valley Head, WV The Shack, Pursglove, WV Pearl S. Buck Birthplace, Hillsboro, WV Greenbank Elementary Middle, Greenbank, WV	2010.09.24 2010.09.25 2010.09.26 2010.09.28 2010.09.29 2010.09.30 2010.10.01 2010.10.03 2010.10.04	<i>Journey to Japan</i> と題し、人形劇による『一寸法師』の上演と、折り紙や茶道などの日本文化体験ワークショップを組み合わせたパッケージをウェストバージニア州内の9会場で開催

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
8	University Musical Society	米国	シカゴ	Harris Theater	2010. 10. 20	舞踏の山海塾の米国中西部、西海岸7都市へツアー。上演作品は『遙か彼方からの一ひびき』と『降りくるもののなかで—とばり』
			アナーバー	Power Center for the Performing Arts	2010. 10. 22 ~ 2010. 10. 23	
			サンタバーバラ	Grenada Theater, Univ. of California - Santa Barbara	2010. 10. 28	
			コスタメサ	Orange County Performing Arts Center	2010. 10. 30	
			シアトル	Paramount Theatre	2010. 11. 03	
			パロアルト	Stanford University Memorial Auditorium	2010. 11. 09	
			サンフランシスコ	Yerba Buena Center for the Arts	2010. 11. 11 ~ 2010. 11. 14	

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
9	Tradex, a National Organization for Traditional Artists Exchange	米国	パール・シティ (ハワイ州)	Pearl City Cultural Center, Pearl City, HI	2010.10.24	GATEWAY - "Ma" vs. Groove と題したケニー遠藤の活動35周年記念和太鼓コンサート
			ケネソー (ジョージア州)	Atlanta Center for Asian Studies, Kennesaw State University	2010.10.27	
			スワニー	Guerry Auditorium, University of the South	2010.10.30	
			オーバーリン	Finney Chapel, Oberlin College	2010.11.02	
			カラマズー	Dalton Center, Recital Hall, Western Michigan Univ.	2010.11.03	
			ピッツバーグ	Jazz Hall, Manchester Craftsman's Guild of Pittsburgh	2010.11.06	
			ウェストミンスター (メリーランド州)	WMC Alumni Hall, McDaniel College	2010.11.08	
			フレデリクスバーグ (バージニア州)	Dodd Auditorium, Mary Washington Univ.	2010.11.10	
			ストーニーブルック	Charles B Wang Center	2010.11.13	
	フィラデルフィア	Annenberg Center for Performing Arts	2010.11.19			
	ニューヨーク	Skirball Center for Performing Arts	2010.11.20			
10	Arts Midwest	米国	ノックスヴィル (アイオワ州)	Knoxville Middle School, Knoxville, IA	2011.03.20 ~ 2011.03.26	上妻宏光アンサンブル (上妻宏光 (津軽三味線)、野崎洋一 (ピアノ)、ようそろ (はせみきた&岡田寛行 (和太鼓)) による、米国中西部4都市ツアー
			アレクサンドリア (ミネソタ州)	Discovery Middle School, Alexandria, MN	2011.03.27 ~ 2011.04.02	
			アバディーン (サウスダコタ州)	Capitol Theater, Aberdeen, SD	2011.04.03 ~ 2011.04.09	
			ヴァレー・シティ (ノースダコタ州)	Vangstad Auditorium, Valley City, ND	2011.04.10 ~ 2011.04.16	

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
11	New York Theater Workshop	米国	ニューヨーク	New York Theatre Workshop	2011.03.27 ~ 2011.03.29	伊部京子（和紙アーティスト）が大倉正之助（能楽囃子大倉流大鼓）や日本の能役者、米国の演劇人と和紙をモチーフにした作品 <i>Recycling: Washi Tales</i> を制作
12	Ragamala Dance	米国	ロチェスター	Mayo Clinic Center for Humanities in Medicine	2011.05.09	在米のインド舞踊グループRagamala Danceが和太鼓アンサンブルTOKARAと共に、京都三十三間堂の仏像に発想を得た作品 <i>1,001 Buddhas</i> を制作
13	WaxFactory	米国	ニューヨーク	Japan Society	2011.06.02	村上春樹の小説『アフターダーク』に着想を得た作品 <i>416minutes</i> （演出：Ivan Talijancic）の制作準備

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (4) 公演 (助成・PAJ欧州)

日本の優れた舞台芸術を紹介しようとする欧州の文化芸術関連団体のみを申請資格者として、欧州内で公募を行う助成プログラム。欧州内における地域的偏りのない巡回公演事業 (教育・研修機会を含む) の拡大、日欧の舞台芸術家による共同制作の推進が目的。

合計額 19,153,187 円

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
1	Associazione Lios	イタリア	ローマ	Furio Camillo劇場	2010.05.29 ~ 2010.06.02	10年来、継続的に日欧の舞踏表現の場を展開してきたFestival Transform'azioniにて、笠井 叡 (舞踏家) によるイタリアのダンスカンパニーへの振付と自身の作品の公演。舞踏に関するシンポジウムも実施
2	Theatre de complicité (Education) Ltd	英国 フランス	ロンドン パリ	バービカンシアター パリ市立劇場	2010.11.04 ~ 2010.11.15 2010.11.18 ~ 2010.11.23	英国の劇団テアトル・ド・コンプリシテと東京・世田谷パブリックシアターの共同制作演劇作品『春琴』(2009年、東京初演)の、ロンドン再演とパリ巡回公演。ロンドンでは初演時と同じバービカンシアター、パリはフェスティバル・ドートンヌの一環としてパリ市立劇場にて上演
3	CENTRO DE INICIATIVAS DE TOLOSA	スペイン	トロサ	トロサ国際人形劇フェスティバル	2010.11.27 ~ 2010.12.05	日本の人形劇を紹介するオムニバス公演。「第28回トロサ国際人形劇フェスティバル」の日本特集における招へい公演を軸としてスペイン地方都市を巡回。日本からは人形劇団クラルテ、劇団ブーク、ひとみ座-乙女文楽、デフ・バペットシアター・ひとみ、人形芝居燕屋、八王子車人形が招へいを受け公演を実施。公演のほか、日本の人形劇に関する展覧会と日本の伝統工芸、料理、人形製作過程の展示など多角的な日本文化紹介企画も実施。トロサでは地元児童・生徒の鑑賞教育の一環として、地域の全60校の全児童・生徒(約1万人)がフェスティバル企画を鑑賞・参加
4	Theater der Welt 2010 GmbH	ドイツ イタリア	エッセン サンタルカンジェロ	シャウシュピール・エッセン Teatro Supercinema	2010.07.10 ~ 2010.07.13 2010.07.17 ~ 2010.07.18	3年に一度ドイツ国内で開催されるTheater der Welt (本年は欧州文化首都RUHR. 2010の中心都市エッセン)において、東京を拠点として活動するパフォーマンス・グループ快快(Fai Fai)の作品MY NAME IS I LOVE YOUの上演。イタリアの老舗フェスティバル、「第40回サンタルカンジェロ・フェスティバル」にも巡回公演

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
5	Nouveau Theatre - Centre Dramatique National de Besançon et de Franche-Comté	フランス	ベルフォーール パリ ディジョン ティオンヴィル エランクール	Le Granit Scène Nationale Bagnolet - L'échangeur Theatre Dijon-Bourgogne Centre Dramatique National Centre Dramatique National Thionville Lorraine Le Prisme	2009.04.03 2009.04.07 ~ 2009.04.11 2009.04.14 ~ 2009.04.17 2009.04.21 ~ 2009.04.24 2009.04.29	現代演劇。平田オリザ、アミール・レザ・コヘスタニ(イラン)、シルヴァン・モーリス(フランス)の演出家による共同制作作品のフランス巡回公演。3言語使用。演目はFestival/Tokyo 2009春に上演した現代演劇作品『ユートピア?』
6	FONDATION ROYAUMONT	フランス	アニエール・シュル・オワーズ ゴネス	Royaumont 財団 ゴネス文化・交流センター	2010.09.04 ~ 2010.10.17 2010.11.16	元ヴィラ九条山レジデンス・アーティストのフランス人演出家ロラン・コロロンが6カ月のレジデンス中に執筆した <i>Kyotonomatopee</i> (キョウトノマトペ)を演出、制作。女優、川相真紀子(元ブリキの自発団/ク・ナウカ)が参加。8歳から12歳の児童を対象にしたワークショップも実施。初演後とパリのアートセンターLe 104で上演後、仏2都市へ巡回公演
7	FESTIVAL D'AUTOMNE A PARIS	フランス	ジュヌヴィリエ	ジュヌヴィリエ劇場	2010.10.07 ~ 2010.10.10	演劇。パリの大型国際舞台芸術フェスティバル「フェスティバル・ドートンヌ・ア・パリ」にて、劇作家・演出家・小説家岡田利規主宰のチェルフィッチュによる新作の世界初演
8	JAAPAN SARL	フランス フランス フランス フランス スペイン ポルトガル フランス	パリ アジャン エクサン・プロヴァンス マルセイユ ビゴ リスボン パリ	La Java Le Florida Pachamama L'Embobineuse Festival Sinsal SMOG Espace Japon	2010.04.23 ~ 2010.05.01 2010.04.24 2010.04.26 2010.04.27 2010.04.30 2010.05.01 2010.05.02	ロリータ・クラシック・ユニット「黒色すみれ」の欧州巡回公演。「黒色すみれ」が参加している仏レーベル制作のコンピレーション・アルバム <i>Twisted Cabaret</i> の欧州発売に合わせ、欧州各地でコンサートを実施

舞台芸術事業費

	助成対象機関	実施国	都市	会場	期間	事業内容
9	STUDIO SHAIPROD	フランス フランス 英国 フランス ドイツ フランス ポーランド	パリ ベルフォール ロンドン レンヌ ベルリン リール ワルシャワ	La Gaité Lyrique La Poudrière Cafe OTO L'antipode TRAFO Heure Hexquise 未定	2011.03.17 2011.03.18 2011.03.21 ~ 2011.03.23 2011.03.22 2011.03.26 2011.03.29 2011.04.01	欧州各地のフェスティバルにおいて、東京の即興音楽、ノイズミュージック・シーンを代表するミュージシャン達を追ったドキュメンタリー映画 <i>We don't Care About Music Anyway...</i> (2009) の上映と共に映画に登場する前衛的な音楽パフォーマンス・アーティスト達によるライブを実施。出演は坂本弘道、山川冬樹、大友良英、竹久圈(KIRIHITO/ Umi no Yeah!) 早川俊介(KIRIHITO) 嶋崎朋子(Umi no Yeah!)、Numb、Saidrum、L?K?O
10	INTERART CULTURE CENTRE	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	スコピエ	ユース・カルチャー・センター・スコピエ	2010.11.23 ~ 2010.11.30	桂勘(舞踏家)とマケドニア人ダンサー2名による新作クリエーションと公演。マケドニアで初めて発表される日本・マケドニア共同制作の舞踏作品として、マケドニア随一のダンスフェスティバルDANCE FEST SKOPJE 2010にて創作。新作公演のほか、展覧会、レクチャー等の日本の舞踏について紹介する複合的な企画と連動。現地バレエ学校での集中ワークショップも実施

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 公演 (国際舞台芸術共同制作)

日本文化発信に留まらず、相互理解を深め精神的連帯感を醸成するため、他国・地域と共同で先駆性・独自性を重視した舞台芸術作品を制作し、国内外でその公演を行う。

合計額 24,806,601 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	『焼肉ドラゴン』 韓国公演	韓国	ソウル	芸術の殿堂・土月 劇場	芸術の殿堂 財団法人新国立劇 場運営財団	2011.03.09 ~ 2011.03.20	「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト (日韓新時代：未来へのコラボレーション)」の一環として、2008年に日韓で初演され大きな反響を呼んだ新国立劇場と韓国・芸術の殿堂による共同企画作品『焼肉ドラゴン』(鄭義信作・演出)の再演を共催
2	日本・トルコ共同 制作現代音楽公演 Sound Migration	トルコ トルコ エジプト ハンガリー 日本 日本	イスタンブール イズミル カイロ ブダペスト 横浜 東京	Garajistanbul Ahmed Adnan Saygun Sanat Merkezi, Small Hall カイロオペラハウ ス 小ホール Duna Palota、リス ト音楽院ジャズ科 神奈川県民ホール 小ホール Spiralホール	iDANS アフメド・アドナ ン・サイグン芸術 センター 在イスタンブール 総領事館 カイロオペラハウ ス 東京芸術劇場	2010.10.01 2010.10.03 2010.10.05 2010.10.07 ~ 2010.10.08 2011.02.12 2011.02.14	「2010年トルコにおける日本年」関連事業として、国広和毅 (作曲)、サーデット・チュルキョズ (ボーカル)、セヴケット・アキンチ (ギター)、河崎純 (コントラバス) に、美加理 (女優・パフォーマー) を加えた編成で、現代音楽作品の共同制作を実施。作品はイスタンブールとイズミルで上演後、エジプト、ハンガリー、日本でも公演
3	日・イスラエル演 劇共同制作『トロ イアの女たち』	イスラエル	東京	東京芸術劇場	東京芸術劇場	2010.10.22 ~ 2010.11.02	2012年の日本・イスラエル外交関係樹立60周年に併せ、日本とイスラエルの国際共同制作事業として、蛭川幸雄演出、日本人・イスラエル在住のユダヤ系・アラブ系の俳優の出演による演劇作品を3年計画で実施。初年度はイスラエルからドラマターグ、俳優を招へいし日本の古典芸能や白石加代子などによるワークショップを実施。上演作品の候補はギリシア悲劇の傑作『トロイアの女たち』。2011年は今年度の成果を踏まえイスラエルでワークショップを行い、2012年に日本とイスラエル双方で上演することを計画。イスラエル側受入れ機関はテルアビブ市立カメリ劇場

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 舞台芸術情報交流

舞台芸術分野における国際交流事業促進のための環境づくりと基盤整備を目的に、芸術見本市開催、舞台芸術ウェブサイト運営、セミナー・シンポジウム開催、人材育成事業等の情報交流事業を実施する。

合計額 53,360,391 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	平成21年度日インドネシア現代舞踊共同制作事業フォローアップ	HANDIANTO, Johan Didik	舞台監督	インドネシア		2010.09.07 ~ 2010.10.10	平成21年度に「国際舞台芸術共同制作」プログラム事業として実施し、日インドネシア現代舞踊『ガリババの不思議な世界』の公演に舞台監督として参加したジョハン・ディディック・ハンディアントを、フォローアップの一環として日本へ招へいして、パパ・タラフマラの日本・韓国公演にスタッフとして参加させ、研修を実施
2	インドネシア・ドラマティック・リーディング・フェスティバル	坂手 洋二	代表	インドネシア	Indonesia Dramatic Reading Festival 2010 Committee	2010.11.22 ~ 2010.11.28	平成21年度「舞台芸術情報交流（催し）」プログラム事業のひとつとして実施した「アジア劇作家会議」にインドネシアから参加したジョネッド・スリヤトモコ（Joned Suryatmoko）の企画により、インドネシアで初のリーディング・フェスティバルが開催され、日本からは坂手洋二（日本劇作家協会会長）の『屋根裏』と鄭義信『杏仁豆腐のココロ』を上演。国際交流基金は坂手洋二を派遣し、同氏はフェスティバル期間中に日本の現代演劇事情に関する講演も実施
3	PAJ（北米・欧州）アドバイザー委員会メンバーTPAM招へい	MALINA, Arnold WOLLESEN, Martin WEGMAN, MK SETTEMBRI, Maurizia VIMEUX, Nathalie	Flynn Center for the Performing Arts University Events Office, University of California San Diego National Performance Network, New Orleans Fabbrica Europa Office National de Diffusion Artistique (ONDA)	米国 米国 米国 イタリア フランス		2011.02.13 ~ 2011.02.21	国際交流基金が北米及び欧州で運営する公演助成プログラムPerforming Arts Japan (PAJ)のアドバイザー委員会メンバーを「国際舞台芸術ミーティング in 横浜2011」（略称：TPAM in Yokohama 2011）に、招へい。日本の舞台芸術に関する情報を深めてもらうほか、人的ネットワークの構築を目的として実施

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
4	日本の現代演劇に関する講演会（英国・フランス）	扇田 昭彦	演劇評論家	英国 フランス	ロンドン日本文化センター パリ日本文化会館	2010.05.24 ～ 2010.05.31	扇田昭彦（演劇評論家）による日本の現代演劇に関する講演会を、ロンドン日本文化センター及びパリ日本文化会館において実施。パリ日本文化会館では、名取事務所による『病気』（作：別役実、演出：K. Kiyama）が上演される機会に併せて開催。本事業は、主に日本の舞台芸術に関心を持つ層をターゲットとし、1980年代以降最近までの日本の演劇界の動向について、主要な劇団、芸術家の活動を紹介しながら解説を加え、日本の現代演劇に対する理解を深めてもらうことを目的として実施
5	シンポジウム／欧州における日本の現代演劇紹介	丸岡 ひろみ 鴻 英良	特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター(PARC)理事長／東京芸術見本市(TPAM)事務局長 演劇評論家	スイス ドイツ フランス	特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター(PARC)	2010.08.20 ～ 2010.10.30	欧州で注目を集める演劇ユニット「チェルフィッチュ」が欧州各地のフェスティバルから招へいされる機会に併せ、日本における新しい世代の演劇について、評論家・劇作家・フェスティバルディレクターなど専門家を対象にしたレクチャーとディスカッションを開催し、情報発信と交流を行う。第一弾は8月にスイスとドイツで、第二弾は10月にフランスとドイツで実施

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
6	2010 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ国際シンポジウム	MORAWSKA-RUBCZAK, Alicja KRAMER, Andrea SUSA, Anja SCHOEMANN, Boris ZEYANG, Etoundi KIM, Chul-Lee TEH, Mark LEE, Melvin E. 黄 一萍	演劇研究者／演劇評論家 コンソールシアター・ゲルゼンキルヒェン 芸術監督 ベオグラード市立青少年劇場 芸術監督 演出家／俳優／翻訳家 俳優兼演出家 ソウル・パフォーミングアーツ・フェスティバルアーティスティック・ディレクター 演出家／パフォーマー／研究者／教育者 フィリピン教育演劇協会 (PETA) プロデューサー	全世界区分困難	特定非営利活動法人ITF沖縄	2010.07.21 ～ 2010.07.22	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ<キジムナーフェスタ>は、市民と多くの国々の人々との交流を通じて、沖縄の伝統である「イチャリバチョーデー」（一度会ったら人は皆兄弟）の精神を世界の人々と共有し、子どもたちとともに平和な世界への歩みをすすめようという目的を掲げ、2005年以来毎年開催。世界各地から児童・青少年演劇関係者が参集する機会を捉え、止むことのない紛争や、子どもたちを巡る問題など、世界の人々が共通して抱える緊急で困難な課題に対して、子どものための芸術文化にどのような役割があるのか、また何ができるのかを国境を超えて議論

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
7	国際演劇評論家協会シンポジウム・オン・アジア	金 潤哲 金 享起 張 先 陶 慶梅 方 梓勳 Ugoran Prasad Pawit Mahasarinand Tang Fu Kuen Lê Hùng Ravi Chaturvedi Ian Herbert Andrzej Zurowski Andrzej Zurowski、Ivan Medenica	韓国芸術総合学校演劇院教授、AICT会長 順天郷大学教授、韓国AICT会長 中央戯劇学院教授 中国社会科学院副教授 香港中文大学荣誉教授 作家、劇作家 チューラーロンコーン大学演劇学科講師 評論家、ドラマトウルク ベトナム青年劇場芸術監督 マハトマ・ガンディー国際ヒンディー大学演劇映像研究学部教授 演劇評論家、AICT名誉会長 ポメラニアン大学教授 ベオグラード大学助教授	全世界区分困難	国際演劇評論家協会 (AICT) フェスティバル・トーキョー (F/T)	2010. 11. 20 ~ 2010. 11. 25	国際演劇評論家協会 (AICT) 日本センターとフェスティバル・トーキョー (F/T) との連携事業として、海外 (特にアジア地域) から演劇評論家を招き、アジアにおける国際共同制作の意義や有効性、可能性について評論家の立場から議論を行う国際シンポジウムをあうるスポット、東京芸術劇場にて開催

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
8	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	KWONG, Wailap	Guangdong Modern Dance Festival	中国	横浜市芸術文化振興財団	2011.02.14 ~ 2011.02.20	日本の舞台芸術に関する情報を海外へ発信するとともに、内外の舞台芸術関係者間の交流を促進する事業。開催期間中に、海外の舞台芸術プレゼンターを招へいし、現代日本の舞台芸術の紹介及び専門家間のネットワークの形成・維持を図る
		KWONG, Wa Fun (Erik)	Point View Association	中国 (マカオ)	国際舞台芸術交流センター (PARC)		
		PRABOWO, Tony	Komunitas Salihara	インドネシア	神奈川芸術文化財団		
		SUON, Bun Rith	Amrita Performing Arts	カンボジア			
		TONG, Tay	Theatre Works (Singapore) Ltd	シンガポール			
		LEGARDA, Maribel	フィリピン教育演劇協会 (PETA)	フィリピン			
		HUYNH, Anh Tuan	タイ・ズオン・ステージ&アート社	ベトナム			
		FERENS, Ewa	GATI Dance Forum	インド			
		ALDOR, Gaby	The Arab-Hebrew Theater in Jaffa	イスラエル			
		OUISSI, Soufiane	Dream City	チュニジア			
		HELM, Charles R.	Wexner Center for the Arts, The Ohio State University	米国			
		MALINA, Arnold	Flynn Center for the Performing Arts	米国			
		WEGMAN, MK	National Performance Network, New Orleans	米国			
		WOLLESEN, Martin	University Events Office, UC San Diego	米国			
		VIMEUX, Nathalie	Office National de Diffusion Artistique (ONDA)	フランス			

舞台芸術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催機関	期間	事業内容
		SETTEMBRI, Maurizia	Fabbrica Europa	イタリア			
9	伝統演劇の海外公演に関する研究会	竹本 幹夫 鳥越 文蔵 森西 真弓 上田 洋子 坂部由美子	早稲田大学演劇博物館館長 特定非営利活動法人人形浄瑠璃文楽座理事長 大阪樟蔭女子大学教授 早稲田大学演劇博物館助手 財団法人統計情報研究開発センター研究員	全世界区分困難		2010.04.01 ~ 2010.09.30	外国人がどのように日本の伝統芸能に興味を持ちどのようにそれを受容しているかについて調査し、今後の国際文化交流振興・促進に生かすため、日本の伝統芸能の海外公演がもたらす影響と意義に関する研究を、昨年度に続き本年度も文楽について実施。文楽ロシア公演等のケーススタディ、資料分析を実施
10	舞台芸術ウェブサイト運営	—	—	全世界区分困難		2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本の現代舞台芸術情報を海外に発信する日英2カ国語によるウェブサイト Performing Arts Network Japan(URL : http://performingarts.jp/)を運営。アーティスト・インタビュー、戯曲紹介、データベース等を通じて最新状況を紹介し、舞台芸術分野における国際交流の活性化に寄与

舞台芸術事業費

2. 催し等事業費 / (7) 公演 (助成・海外公演 [市民青少年交流])

日本国内の非営利団体に対し、舞台芸術活動を通じた市民・青少年主体の国際交流事業実施のための経費の一部を助成する。

合計額 44,696,000 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
1	徳島邦楽集団韓国公演	韓国	釜山	韓国海洋大学校ホール 釜山国立国学院ホール	徳島邦楽集団	2010.07.03 2010.07.04	徳島で邦楽演奏活動を行う「徳島邦楽集団」が韓国・釜山の韓国伝統音楽合奏団と合同公演等を開催
2	和楽器による「日本のしらべ」韓国公演	韓国	昌原	昌原大学校芸術館コンサートホール	藤本 玲	2010.10.04	邦楽合奏グループ「和楽器による『日本のしらべ』」が、韓国・昌原ジャパンウィークにて公演。併せて邦楽に関する講演及びワークショップを実施
3	ムーミーモ韓国公演	韓国	ソウル	ソンウォンアートセンター	ムーミーモ	2011.03.11	日韓のメディアアート作家が、展示会、音楽公演、ワークショップ等を共同で開催。公演では韓国のアーティストとのコラボレーション作品を上演
4	第20回アジアユースオーケストラ アジア公演	中国 中国 韓国 中国	香港 香港 ソウル 北京	香港カルチュラルセンターホール 香港コロシウム ソンナムコンサートホール 北京国立劇場	アジアユースオーケストラ日本事務局	2010.07.17 ~ 2010.08.12 2010.08.13 2010.08.15 ~ 2010.08.16 2010.08.17	アジア各国からオーディションで選ばれた若いクラシック演奏家(約150名)により編成、香港での合同合宿を経て各地を巡演
5	横浜インターナショナルスクール邦楽アンサンブル北京公演	中国	天津 北京 北京	天津コンサートホール 中国音楽学院 中国国立コンベンションセンター	横浜インターナショナルスクール邦楽アンサンブル	2010.08.01 2010.08.02 2010.08.05	中学高校教育における邦楽カリキュラムの成果として、北京で開催された国際音楽教育協会(International Society for Music Education: ISME)「第29回音楽教育国際大会」にてワークショップ及び公演を実施
6	日中アマチュアバンド大会 上海万博公演	中国	上海	上海万国博覧会アジア会場	茨城県日中友好協会	2010.08.08	高校生アマチュアバンド選手権「ティーンズロック in ひたちなか」が、上海国際博覧会のアジア広場における民間文化公演プログラムとして、日中アマチュアバンド大会を開催

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
7	チャン・ビン二胡演奏団 上海万博公演	中国	上海	上海音楽庁 上海万博日本館 上海万博浦西会場・綜芸大庁	特定非営利活動法人チャン・ビン二胡演奏団	2010. 08. 08 2010. 08. 10 2010. 08. 12	日本人の二胡愛好家グループ（理事長：チャン・ビン（張濱））が、上海国際博覧会のアジア広場における民間文化公演プログラムに参加。上海音楽庁のほか、日本館、浦西会場・綜芸大庁でも2公演
8	日本二胡振興会 上海万博公演	中国	杭州 上海	東坡劇院 上海世博文化中心音楽倶楽部	特定非営利活動法人日本二胡振興会	2010. 10. 24 2010. 10. 25	日本人の二胡愛好家グループ（会長：坂田進一）が、上海国際博覧会（上海万博）のアジア広場における民間文化公演プログラムに参加
9	八丈太鼓インドネシア交流事業	インドネシア	バニユマス ソロ ソロ	バニユマス県立ブンドポ野外劇場 ソロ国立芸術高校野外劇場 ウィスマスニ野外劇場	川島 未来	2010. 09. 23 2010. 09. 26 2010. 09. 28	ジャワ伝統舞踊を日本に伝えるデワンダルと中部ジャワ、バニユマスのバニユビル芸術協会、国立芸術高校スラカルタ校が協力し、八丈太鼓の紹介を行うと共に、ジャワ舞踊家とのコラボレーションを実施
10	国際サーカス村協会カンボジア公演	カンボジア	プノンペン プノンペン プノンペン バットアンバン	プノンペン・フォト・フェスティバル Chaktomuk フランス文化センター Phare Ponleu Selpak	特定非営利活動法人国際サーカス村協会	2010. 12. 04 2010. 12. 05 2010. 12. 06 2010. 12. 09 ~ 2010. 12. 12	国際サーカス村協会が、カンボジアの首都プノンペンで公演実施の後、バットアンバンで開催された「第7回ティニ・ティノ国際サーカス・フェスティバル 2010」へ前年に引き続き参加。参加者は約2週間のワークショップの後、共同で作品を創作し発表
11	琉球旗頭會シンガポール公演	シンガポール	シンガポール	エクスポ・ホール 日本人学校クレメンティ校 Hwa Chong Institute	琉球旗頭會	2011. 02. 23 ~ 2011. 02. 28	シンガポール全国旅行業協会が主催するシンガポール・エクスポにて伝統的琉球旗頭の演舞を披露。日本人学校クレメンティ校、Hwa Chong Institute（中学校）では演舞と交流プログラムを実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
12	日本障害者ピアノ指導者研究会東南アジア公演	タイ	バンコク	マヒドン大学コンサートホール	特定非営利活動法人 日本障害者ピアノ指導者研究会	2011. 01. 22	2005年に日本で始まったピアノパラリンピック運動の普及活動の一環として、シンガポール国立大学、マヒドン大学（タイ）等が受入機関となりコンサートを実施
		タイ	バンコク	シーコンスクエアマヒドン大学才能教室		2011. 01. 22	
		シンガポール	シンガポール	ヤンシュートー音楽院コンサートホール		2011. 01. 25	
		シンガポール	シンガポール	在シンガポール日本人会館		2011. 01. 26	
13	新潟万代太鼓江南青龍会スリランカ公演	スリランカ	コロンボ	ラトマラナ寺院	新潟アピの会	2010. 07. 27	スリランカへの支援活動を行う「新潟アピの会」が、スリランカ国内6カ所で地元の太鼓グループ「新潟万代太鼓江南青龍会」の太鼓公演を実施
			ゴール	ヴィドヤロカ僧侶学校		2010. 07. 28	
			マタラ	メッタユースセンター		2010. 07. 28	
			ハンバントータ	ソリヤポクナ寺院		2010. 07. 29	
			マタラ	セツシリファンデーション		2010. 07. 29	
			キャンディー	アシギリヤ寺院		2010. 07. 30	
14	Brilliant Harmony カナダ公演	カナダ	バンクーバー	クライストチャーチ・カテドラル	Brilliant Harmony	2010. 08. 11	女声合唱団Brilliant Harmonyが、「バンクーバー音楽祭」からの招へいを受け公演。プログラムには、ルネッサンスから現代まで幅広く、また日本の民謡やわらべ歌を題材とした曲も含めた。指揮は松下耕
			バンクーバー	ブリティッシュコロンビア大学チャンセンターオーデトリウム		2010. 08. 13	
			サンシャインコースト	Saint Bartholomew教会		2010. 08. 14	
15	児童劇団「大きな夢」カナダ公演	カナダ	トロント	日系文化会館商工会コート	児童劇団「大きな夢」	2010. 08. 21	日本とカナダの青少年交流と相互理解を目的に、トロント日系文化会館主催ミュージカル・ワークショップ及び発表公演を実施。演目はオリジナル作品の『ロビンソン・ロビンソン』

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
16	外山喜雄&デキシー・セインツ (ジャズ) 米国公演	米国	ニューオーリンズ	0 Perry Walker高校、バーム・コート・ジャズカフェ クリストファー・イン サッチモ・サマーフェスト (コルネット・チョプスイ・ステージ) サッチモ・サマーフェスト・ジャズミサ (セント・オーガスチン教会)	日本レイ・アームストロング協会 (ワンダフルワールドジャズ・ファウンデーション)	2010. 08. 05 2010. 08. 06 2010. 08. 07 2010. 08. 08	外山喜雄 (日本レイ・アームストロング協会会長) 率いるデキシー・セインツが、ニューオーリンズの「サッチモ・サマーフェスト」の招へいを受け参加。同協会が継続してきたハリケーン・カトリーナ被害からの復興支援のための楽器寄贈を、今回も実施
17	ムジカグラート氷見 (吹奏楽) 米国公演	米国	シアトル	ワシントン州立大学ハスキー・スタジアム ノースシュア・ジュニア・ハイスクール	ムジカグラート氷見	2010. 10. 30 2010. 11. 01	富山県氷見市の中高生によるブラスバンド公演。かねてから交流のあるワシントン州立大学フットボール・チーム「ハスキー」が地元シアトルで行う試合にてハーフタイム・ショー「3000人の吹奏楽デー」に参加、出演。更に一般向け公演企画として、現地中学校の音楽授業参加による交流活動も実施
18	北海道農民管弦楽団デンマーク公演	デンマーク	シルケボー ロンデ	Jysk Music&Theaterhus Kaloe Oekologisk Landbrugsskole 学内ホール	北海道農民管弦楽団	2011. 02. 13 2011. 02. 14	宮沢賢治の遺志を汲んで創設された北海道農民管弦楽団がデンマークで現地市民オーケストラとの合同演奏会、農業学校での音楽教室、ホームステイ、農場視察などの市民交流を実施
19	土江子ども神楽団ドイツ公演	ドイツ	ダッハウ ミュンヘン ミュンヘン グラーフینگ	シティーホール 民族博物館 イギリス庭園「日本祭 (ヤーパンフェスタ)」 グラーフینگ学校	土江子ども神楽団	2010. 07. 17 2010. 07. 17 2010. 07. 18 2010. 07. 19	島根県太田市の土江子ども神楽団がドイツ青少年民族舞踊クラブと交流を図ると共に、ミュンヘン、ダッハウ、グラーフینگで石見神楽を紹介
20	沼田市文化協会ドイツ公演	ドイツ	フュッセン	ユーロパーク・ホテル・インターナショナル内ホール ハウスホープフェンゼ	沼田市文化協会	2010. 10. 14 2010. 10. 15	群馬県沼田市で伝承される同市指定文化財「沼田祇園囃子」の公演及び民謡、日舞、茶道、生け花の紹介ワークショップを実施

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
21	高野右吉と秩父社中ロシア公演	ロシア	ノボシビルスク	ノボシビルスク教育大学講堂 ノボシビルスク市広場 キャンプ地コンサートホール仮設舞台 研究都市「アカデミーゴロドーク」	高野右吉と秩父社中	2010.06.25 2010.06.26 2010.06.27 2010.06.27	国際性ある青少年の育成をめざして、秩父社中の少年部が「札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携20周年」記念行事に参加して、秩父屋台囃子を披露
22	YOSAKOIソーランロシア公演	ロシア	ノボシビルスク	ロイヤルパーク・ショッピング・プラザ オペラ・バレエ劇場前広場 ノボシビルスク・ホテル宴会場 「まちの日」特設会場	YOSAKOIソーラン祭り組織委員会	2010.06.25 2010.06.26 2010.06.26 2010.06.27	「札幌・ノボシビルスク姉妹都市提携20周年」記念式典や、シベリア・北海道文化センターでの市民交流会に参加し、YOSAKOIソーランを披露
23	文京区民オーケストラ ロシア公演	ロシア	サンクト・ペテルブルグ モスクワ	サンクトペテルブルグ国立音楽院ホール ノーヴィヤ・オペラ	文京区民オーケストラ	2010.08.23 2010.08.27	子供たちの未来を考えるための交流公演。松下功作曲『和太鼓協奏曲』を林英哲（和太鼓奏者）と、ラフマニノフのピアノ協奏曲を渡邊規久雄（ピアニスト）と共演。また、ポリショイ・バレエ団の岩田守弘が日・ロの子供たちと踊った
24	風聚（かぜしゅう）と藤本すすむトルコ公演	トルコ	アンタルヤ アンタルヤ マルマリス	アクデニズ大学アタチュルク講堂 ムラットパシャ区文化センター エレガンスホテル	西岡 泰則	2010.10.15 2010.10.16 2010.10.19 ~ 2010.10.20	「2010年トルコにおける日本年」関連事業及び「アンタルヤ・マルマリス日本文化祭」参加事業として、和太鼓グループの風聚（かぜしゅう）と、シンガー・ソングライターの藤本すすむが両国の友好を祝う音楽公演を実施。トルコ語でも歌を披露
25	ラマッラーでの7時間	ヨルダン パレスチナ	アンマン ラマッラー	アンマン市内劇場 ラマッラー市内劇場	特定非営利活動法人 ルートカルチャー	2011.04.21 2011.04.27	中馬芳子（演出家／振付家）率いるカンパニーが、ヨルダン及びパレスチナ自治区のラマッラー市を訪れ公演。ラマッラー市では、現地のカンパニーと作品を共同制作

舞台芸術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象者	期間	事業内容
26	劇団虹ケニア公演	ケニア	ナイロビ	コイノニア教育センター	劇団 虹	2010. 07. 05	国際基督教大学学生有志による劇団虹が、ナイロビのスラム、小学校、孤児院等を巡回し、子供を対象とした参加型のオリジナル・ミュージカル及び歌・踊りのワークショップを実施。演目は、「共生」をテーマに、日本・ケニア両国の民族舞踊の要素を取り入れたもの
			ナイロビ	ゲタズル更生院		2010. 07. 06	
			ナイロビ	シャンギリア小学校		2010. 07. 06	
			ナイロビ	ナザリー小学校		2010. 07. 08	
			マクエニ	カサンガシニ小学校		2010. 07. 09	
			カングンド	ムクニケ小学校		2010. 07. 12	
			キテンゲラ	キウイニ・アカデミー		2010. 07. 13	
			ナイロビ	マシモニ小学校		2010. 07. 15	
27	菊水会菊水連（阿波踊り）南アフリカ公演	南アフリカ共和国	プレトリア	プレトリア国立劇場	東京高円寺阿波踊り菊水会菊水連	2010. 09. 03 ~ 2010. 09. 04	東京を代表する祭・東京高円寺阿波踊り屈指の大型連、菊水会菊水連が、「キャピタル・アーツ・フェスティバル」（於プレトリア）の招へいを受け公演。併せて、現地教育機関、HIV・AIDS患者ケアセンター、孤児院等において参加型公演とワークショップを実施
			ヨハネスバーグ	セントフランシス・ケアセンター・ホール		2010. 09. 05	
			ソウェト	オランダ孤児院		2010. 09. 06	
28	SUGEEルワンダ公演	ルワンダ	キガリ	ホテル・デ・ミルコリンズ	SUGEE	2010. 08. 27	杉崎任克（SUGEE：音楽家／平和活動家）が、ルワンダ国立大学有志からなる「平和のための伝統舞踏団INDANGAMUCO」との国際交流コラボレーションを実施。小中学生等に民謡を中心とした日本の音楽とリズムの紹介、ワークショップを開催。また平和コンサートに出演
			ブタレ	ルワンダ国立大学大ホール		2010. 08. 28	
			キガリ	セントメアリー修道院		2010. 08. 30	

文化芸術交流事業に必要な経費

映像出版事業費

1. 催し等事業費

- (1) 海外日本映画祭（主催）
- (2) 海外日本映画祭（助成）
- (3) 国際漫画賞
- (4) アニメ文化大使
- (5) 映像出版情報交流（催し）

2. 文化資料事業費

- (1) テレビ番組交流促進
- (2) フィルムライブラリー充実（本部）
- (3) フィルムライブラリー充実（海外）
- (4) 国際図書展参加
- (5) 映像出版情報交流（文化資料）

3. 日本研究事業費

- (1) 日本理解促進映像制作（助成）
- (2) 日本理解促進出版・翻訳（助成）

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (1) 海外日本映画祭 (主催)

在外公館や国際交流基金海外拠点が実施する日本映画上映事業への協力を行う。

合計額 64,777,737 円

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
1	黒澤明生誕100周年特別映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2010.07.01 ~ 2010.08.29	黒澤明監督作品『七人の侍』『生きる』『用心棒』『姿三四郎』『天国と地獄』『赤ひげ』『蜘蛛巣城』等計20作品を上映
2	ジャパンファウンデーション映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2010.12.16 ~ 2010.12.23	『折り梅』『はないちもんめ』『アイ・ラブ・ユー』(1、2、3)、『ふみ子の海』『ゆずり葉』を上映
3	日韓映画祭	韓国	ソウル日本文化センター	2011.03.10 ~ 2011.03.16	「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業の一環として、『月はどっちに出ている』『マークスの山』(崔洋一)『泥の河』(小栗康平監督)等 日韓合作作品や、日韓関係を描いた作品計30作品を上映
4	上海におけるドキュメンタリー上映会	中国	北京日本文化センター	2010.06.07 ~ 2010.06.11	上海国際博覧会事業の一環として、山形ドキュメンタリー映画祭出品作品ほか、計8作品をテレビ祭のドキュメンタリー部門MIDA映画祭の中で上映した。監督等との交流会も開催
5	第4回日本映画週間	モンゴル	在モンゴル大使館	2010.11.15 ~ 2010.11.30	『河童のクゥと夏休み』『バッテリー』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』『夕風の街 桜の国』『嫌われ松子の一生』を各1回上映
6	黒澤明生誕100周年記念上映会	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.10.28 ~ 2010.11.12	黒澤明監督作品10作品『姿三四郎』『酔いどれ天使』『野良犬』『生きる』『七人の侍』『用心棒』『椿三十郎』『天国と地獄』『赤ひげ』『どですかでん』を上映
7	2010日本映画祭	シンガポール	在シンガポール大使館	2010.08.19 ~ 2010.08.29	国際交流基金本部フィルムライブラリー5作品(『人間蒸発』『豚と軍艦』『日本春歌考』『おとうと』『帰って来たヨッパライ』)及びシンガポール映画協会が独自に手配する5作品(『涙を、獅子のたて髪に』『ろくでなし』『血は渴いてる』『少年』『新宿泥棒日記』)を上映
8	バンコク日本映画祭「黒澤明生誕100周年記念映画祭」	タイ	バンコク日本文化センター	2011.01.06 ~ 2011.01.23	黒澤明監督作品24作品を上映
9	日本映画祭 <i>Eigasai 2010</i>	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.07.01 ~ 2010.08.21	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵の10作品『ALWAYS 続・三丁目の夕日』『めがね』『包帯クラブ』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』『カフカ田舎医者』『バッテリー』『14歳』『あしたの私のつくり方』『ミヨリの森』『それでもボクはやってない』を各8回に加え『おくりびと』を6回上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
10	黒澤明生誕100周年記念映画祭	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.09.14 ~ 2010.09.30	黒澤明監督作品『姿三四郎』『一番美しく』『虎の尾を踏む男達』『わが青春に悔いなし』『素晴らしき日曜日』『酔いどれ天使』等、計21作品を各2回上映
11	Japanese Film Festival 2010	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.10.09 ~ 2010.11.10	『ハッシュ！』『ぼくんち』『アカルイミライ』『下妻物語』『トニー滝谷』『空中庭園』等6作品をハノイとホーチミンでは各2回、ニャチャン、ハイフオンの各地方都市で各1回上映
12	上映促進事業	マレーシア スペイン	クアラルンプール日本文化センター マドリード日本文化センター	2010.05.26 ~ 2011.03.31 2011.03.01 ~ 2011.03.31	フィルムライブラリー所蔵作品の有効活用のため、海外拠点が主催する単発の上映会に、国際交流基金本部フィルムライブラリーから作品を送付し、上映。クアラルンプールからマドリードへ巡回
13	日本映画祭 2010	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2010.06.15 ~ 2010.06.27	『サイドカーに犬』等計8作品を3会場で計24回上映
14	黒澤明生誕100周年記念特別上映会	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011.03.10 ~ 2011.03.20	黒澤明監督作品『七人の侍』『生きる』『赤ひげ』『用心棒』『天国と地獄』『蜘蛛巣城』『わが青春に悔いなし』を各1回上映
15	日本映画祭	ミャンマー	在ミャンマー大使館	2011.03.12 ~ 2011.03.27	『包帯クラブ』『時をかける少女』『たそがれ清兵衛』『かもめ食堂』を、首都ネーピドーのみで上映
16	インド巡回日本映画祭	インド	ニューデリー日本文化センター 在コルカタ総領事館 在チェンナイ総領事館	2010.09.04 ~ 2011.01.25	市川崑監督作品『ビルマの堅琴』『ぼんち』『炎上』『細雪』『日本橋』『破戒』を、ニューデリー、チェンナイ、ムンバイ、コルカタ及びコラブル(『破戒』のみ)で上映
17	ムンバイ映画祭 日本映画紹介	インド	在ムンバイ総領事館	2010.10.21 ~ 2011.01.27	ムンバイ映画祭において日本映画特別プログラムを組み『人間の条件』を始めとする著名な日本映画(短編アニメーションを含む)計42作品を上映。またムンバイ映画祭終了後、トリヴァンドラム映画祭へも巡回
18	第14回巡回日本映画祭	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.10.18 ~ 2011.12.16	『劔岳一点の記』(木村大作)、『おとうと』(山田洋次)、『風が強く吹いている』(大森寿美男)、『火天の城』(田中光敏)、『ヴィヨンの妻 ~桜桃とタンポポ~』(根岸吉太郎)等をパース、ブリスベン、キャンベラ、シドニー、メルボルン、ホバートで巡回上映
19	ウェリントン日本映画祭	ニュージーランド	在ニュージーランド大使館	2010.08.20 ~ 2010.10.31	『劔岳一点の記』『かもめ食堂』『ミヨリの森』を上映
20	JAPAN FILM FESTIVAL 2010	ミクロネシア	在ミクロネシア大使館	2010.10.12 ~ 2010.10.16	『どら平太』(市川崑)、『ナビィの恋』(中江裕司)、『ファンシイダンス』(周防正行)、『Always 続・三丁目の夕日』(山崎貴)、『卓球温泉』(山川元)の5作品を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
21	カナダ巡回日本映画祭	カナダ	トロント日本文化センター 在カナダ大使館	2010.09.14 ~ 2010.12.12	『嫌われ松子の一生』『それでもボクはやってない』『バッテリー』『ALWAYS 三丁目の夕日』をトロント、オタワ、ビクトリア、ホワイトホース、カルガリー、モントリオール、ハリファックス、ハミルトン、ウォータールー、バンクーバー及びキャンベルリバーのいずれかでそれぞれ上映
22	Japanese Cinema Past and Present	米国	在デンバー総領事館	2010.04.07 ~ 2010.04.11	デンバー・フィルム・フェスティバル2010 (Denver FilmFestival 2010) において、デンバー映画協会、コロラド大学デンバー校と共催して日本映画特集「デンバー日本映画祭2010 日本映画—その過去と現在」を開催。国際交流基金本部フィルムライブラリーからは『流れる』『稲妻』『女が階段を上る時』『別れる』（いずれも成瀬巳喜男監督作品）を提供し上映した
23	日本映画上映会	米国	在シアトル総領事館	2010.08.03 ~ 2011.01.20	DVD『ミヨリの森』を12回上映
24	南部大学巡回日本映画上映会	米国	ニューヨーク日本文化センター	2010.09.16 ~ 2010.12.10	『殺人狂時代』『他人の顔』『乱れる』『五人の賞金稼ぎ』『怪談』の計5本をオクラホマ大学（オクラホマ州ノーマン）、ミシシッピ大学（ミシシッピ州ユニバーシティ）、ケンタッキー大学（ケンタッキー州レキシントン）、クレムソン大学（サウスカロライナ州クレムソン）、ヴァージニア大学（ヴァージニア州シャーロットビル）で上映
25	SABU RETROSPECTIVE	米国	ニューヨーク日本文化センター	2011.01.26 ~ 2011.02.05	SABU監督特集をJapan Societyと共催。国際交流基金本部フィルムライブラリー『MONDAY』『弾丸ランナー』『ポストマン・ブルース』等5本を上映、SABU監督を招へい
26	日本アニメ映画祭2010	ニカラグア	在ニカラグア大使館	2011.01.17 ~ 2011.01.28	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mmスペイン語版アニメ作品『ちびまる子ちゃん』『Coo 遠い島から来たクー』『攻殻機動隊』他。巡回
27	「日本の熱い血・16選」特集	メキシコ アルゼンチン	メキシコ日本文化センター 在アルゼンチン大使館	2010.06.03 ~ 2010.07.29 2010.08.10 ~ 2010.08.31	日本メキシコ交流40周年事業として、国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mm『決闘高田馬場』『仁義の墓場』他1930~90年代の計16作品を各2回上映。同フィルムはこの後、ブラジルへ巡回
28	「日本の熱い血・16選」特集	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2010.07.27 ~ 2010.08.08	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mm『決闘高田馬場』『仁義の墓場』他1930~90年代の計16作品(35mm)を各2回上映。アルゼンチンへ巡回
29	「大島渚監督作品」特集	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2011.03.11 ~ 2011.03.13	日本メキシコ交流40周年事業として、国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mmを中心に大島渚監督の代表的な10作品を各2回特集上映。但し、東日本大震災の影響により中止となった分は、平成23年度5~6月に実施

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
30	「大島渚監督作品」特集	アルゼンチン	在アルゼンチン大使館	2011.01.22 ~ 2011.01.30	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mmを中心に大島渚監督の代表的な10作品を各2回特集上映。同フィルムはこの後、メキシコへ巡回
31	日本アニメ映画祭2010	エクアドル ベネズエラ ペルー チリ	在エクアドル大使館 在ベネズエラ大使館 在ペルー大使館 在チリ大使館	2010.08.04 ~ 2010.08.08 2010.09.03 ~ 2010.09.10 2010.10.12 ~ 2010.10.22 2010.11.10 ~ 2010.11.24	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mmスペイン語版アニメ作品『ちびまる子ちゃん』『Coo 遠い島から来たクー』『攻殻機動隊』他。同フィルムはチリの後ニカラグアへ巡回
32	小津安二郎大回顧特集	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2010.06.30 ~ 2010.08.22	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mm及び16mmの『若き日』『落第はしたけれど』『東京の合唱』『生まれてはみたけれど』『出来ごころ』を上映
33	日本映画祭2010	アイルランド	在アイルランド大使館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	『ナインソウルズ』（豊田利晃）、『雲の向こう約束の場所』（新海誠）等をコーク、リムリック、ゴールウェイ、ダブリンで巡回上映
34	美術監督 木村威夫特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2010.10.19 ~ 2010.12.07	『雁』（豊田四郎）、『自分の穴の中で』（内田吐夢）、『悪太郎』『花と怒涛』『春婦伝』『東京流れ者』『ツィゴイネルワイゼン』（鈴木清順）、『夢のまにまに』（木村威夫）、計8本を上映
35	増村保造監督特集	イタリア	ローマ日本文化会館	2011.01.18 ~ 2011.03.10	『くちづけ』『青空娘』『暖流』『氷壁』『巨人と玩具』『女経』『からっ風野郎』『白い巨頭』『陸軍中野学校』『卍』『刺青』等の作品を上映。当初、18作品上映予定のところ、東日本大震災の発生を受け切り上げて終了
36	アルバニア日本映画祭	イタリア	在イタリア大使館	2011.02.19 ~ 2011.02.20	『ALWAYS 三丁目の夕日』『劔岳一点の記』『時をかける少女』『河童のクゥと夏休み』を上映
37	プレミア・ジャパン2010	英国	ロンドン日本文化センター	2010.12.10 ~ 2010.12.11	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵『狂い咲きサンダーロード』（石井聰互）、『南極料理人』（沖田修一）を上映
38	Back to the Future: Japanese Cinema since the mid-90s	英国	ロンドン日本文化センター	2011.02.04 ~ 2011.03.28	『Cure』（黒沢清）、『Go』（行定勲）、『リンダ リンダ リンダ』（山下敦弘）、『百万円と苦虫女』（タナダユキ）、『川の底からこんにちは』（石井裕也）ほか合計7本をロンドン、ベルファースト、エディンバラ、ノッティンガム、ブリストル、シェフィールドで巡回上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
39	東欧巡回映画祭	オーストリア ギリシャ クロアチア スロバキア スロベニア セルビア チェコ ハンガリー ブルガリア ポーランド ボスニア・ヘルツェゴビナ ラトビア リトアニア ルーマニア	在オーストリア大使館 在ギリシャ大使館 在クロアチア大使館 在スロバキア大使館 在スロベニア大使館 在セルビア大使館 在チェコ大使館 ブダペスト日本文化センター 在ブルガリア大使館 在ポーランド大使館 在ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館 在ラトビア大使館 在リトアニア大使館 在ルーマニア大使館	2010.04.01 ~ 2011.03.16	『カムイの剣』『あの夏、いちばん静かな海』『傷だらけの天使』『ホテル・ハイビスカス』『紙屋悦子の青春』『魂萌え!』『クライマーズハイ』の計7作品を巡回上映
40	黒澤映画ウィークエンド	スウェーデン	在スウェーデン大使館	2010.10.01 ~ 2011.03.31	黒澤明の監督作品『静かなる決闘』『白痴』『まあだだよ』『醜聞』を上映
41	増村保造監督特集	スペイン	マドリード日本文化センター 在バルセロナ総領事館	2010.10.28 ~ 2010.11.07	『暖流』『氷壁』『妻は告白する』『華岡青洲の妻』『盲獣』等、増村保造の監督18作品を上映
42	日本映画「日本の熱い血」特集	スペイン	マドリード日本文化センター 在バルセロナ総領事館	2011.03.17 ~ 2011.03.27	『男の顔は履歴書』『車夫遊侠伝・喧嘩辰』『緋牡丹博徒・お竜参上』『緋牡丹博徒・花札勝負』『みな殺しの霊歌』『明治侠客伝・三代目襲名』(加藤泰)、『仁義の墓場』『狼と豚と人間』(深作欣二)、『血槍富士』『人生劇場 飛車角と吉良常』『妖刀物語・花の吉原百人斬り』(内田吐夢)、『日本侠客伝』(マキノ雅弘)『決闘高田馬場』(マキノ正博)、『シャブ極道』(細野辰興)『大殺陣』(工藤栄一)『暴力の街〜ペン偽らず〜』(山本薩夫)ほか1930~90年代の計16作品を上映
43	日本映画ウィーク	デンマーク	在デンマーク大使館	2011.02.14 ~ 2011.02.28	『ナインソウルズ』『空中庭園』(豊田利晃監督)、『ばかのハコ船』(山下敦弘監督)、『アカルイミライ』(黒沢清監督)を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
44	増村保造監督特集	ドイツ	ケルン日本文化会館	2010.05.01 ~ 2010.07.31	『暖流』、『氷壁』、『妻は告白する』、『華岡青洲の妻』、『盲獣』等、増村保造の18作品を上映
45	時代劇特集	ドイツ	ケルン日本文化会館 在ドイツ大使館	2010.09.02 ~ 2010.12.20	『風の武士』(加藤泰)、『座頭市物語』、『眠狂四郎・無頼剣』(三隅研次)、『暗殺』(篠田正浩)、『弁天小僧』(伊藤大輔)、『雪之丞変化』(市川崑)、『竜馬暗殺』(黒木和雄)、『赤西蠣太』(伊丹万作)、『隠し砦の三悪人』(黒澤明)、『不知火検校』(森一生)、『宮本武蔵』(内田吐夢)、『斬る』(岡本喜八)、『丹下左膳余話 百万両の壺』(山中貞雄)、『地獄門』(衣笠貞之助)を上映した
46	小津安二郎特集上映会	ドイツ	ケルン日本文化会館	2011.01.07 ~ 2011.03.28	『落第はしたけれど』、『若き日』、『東京の合唱』、『生れてはみたけれど』、『出来ごころ』、『一人息子』、『長屋紳士録』、『風の中の牝鷄』、『晩春』、『宗方姉妹』、『麦秋』、『お茶漬の味』、『東京物語』、『早春』、『東京暮色』、『彼岸花』、『浮草』、『お早よう』、『秋日和』、『小早川家の秋』、『秋刀魚の味』を上映(東日本大震災のため、一部延期)
47	小栗康平監督特集	フランス	パリ日本文化会館	2010.09.09 ~ 2010.09.18	小栗康平監督の作品5本(『泥の河』、『伽耶子のために』、『死の棘』、『眠る男』、『埋もれ木』)及びドキュメンタリー1本(『KOHEI OGURI』)を上映
48	知られざる監督シリーズ8: 島津保次郎監督特集	フランス	パリ日本文化会館	2010.10.06 ~ 2010.10.16	『春琴抄お琴と佐助』、『兄とその妹』等7作品を上映
49	現代映画特集(2000~2010)	フランス	パリ日本文化会館	2010.10.27 ~ 2011.02.05	国際交流基金基金本部フィルムライブラリー所蔵の『害虫』、『GO』、『めがね』等26作品を上映
50	美術監督 木村威夫追悼特集	フランス	パリ日本文化会館	2011.01.06 ~ 2011.01.20	『雁』(豊田四郎)、『自分の穴の中で』(内田吐夢)、『悪太郎』、『花と怒涛』、『春婦伝』、『東京流れ者』、『ツイゴイネルワイゼン』(鈴木清順)、『夢のまにまに』(木村威夫)等、計16作品を上映
51	東宝の歴史特集	フランス	パリ日本文化会館	2011.02.08 ~ 2011.03.31	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵35mm(伊丹万作、川島雄三、黒澤明、山中貞雄、成瀬巳喜男、岡本喜八、豊田四郎)作品を計47本上映(東日本大震災の発生により3月15日以降は中止)
52	日本ポルトガル修好150周年記念 日本映画祭	ポルトガル	在ポルトガル大使館	2010.09.21 ~ 2010.10.28	『愛と希望の街』、『日本春歌考』、『青春残酷物語』、『太陽の墓場』、『日本の夜と霧』、『ユンボギの日記』、『帰ってきたヨッパライ』、『少年』、『儀式』(大島渚)、『3-4×10月』、『HANA-BI』、『みんな〜やってるか!』、『キッズ・リターン』、『その男、凶暴につき』(北野武)をサンタレン、トーレス・ノヴァ、アブランテシュ、トマール、リスボンで巡回上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
53	増村保造監督特集	ポルトガル	在ポルトガル大使館	2010.11.18 ~ 2010.12.17	『くちづけ』『巨人と玩具』『からっ風野郎』『妻は告白する』『清作の妻』『卍』『兵隊やくざ』『陸軍中野学校』『赤い天使』等、計18作品を上映
54	黒澤明生誕100周年記念上映会	スロバキア	在スロバキア大使館	2011.02.28 ~ 2011.03.02	『羅生門』『静かなる決闘』『七人の侍』『白痴』『まあだだよ』『醜聞(スキャンダル)』の16mm作品を6作品上映
55	黒澤明生誕100周年記念上映会	セルビア	在セルビア大使館	2010.10.25 ~ 2010.11.05	『羅生門』『静かなる決闘』『七人の侍』『白痴』『まあだだよ』『醜聞(スキャンダル)』の16mm作品を6作品上映
56	美術監督 木村威夫追悼特集	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2010.06.10 ~ 2010.06.20	2010年3月に逝去した美術監督 木村威夫追悼上映。『雁』(豊田四郎)、『自分の穴の中で』(内田吐夢)、『花と怒涛』『春婦伝』『東京流れ者』(以上 鈴木清順) 5作品を上映
57	黒澤明生誕100周年記念上映会	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2010.11.11 ~ 2010.11.17	『羅生門』『静かなる決闘』『七人の侍』『白痴』『まあだだよ』『醜聞(スキャンダル)』の16mm作品を6作品上映
58	美術監督 木村威夫追悼特集	ベラルーシ	在ベラルーシ大使館	2011.02.01 ~ 2011.02.28	2010年3月に逝去した美術監督 木村威夫追悼上映。『雁』(豊田四郎)、『自分の穴の中で』(内田吐夢)、『花と怒涛』『春婦伝』『東京流れ者』(以上 鈴木清順)に加え、木村威夫が監督した『夢のまにまに』の計6作品を上映
59	美術監督 木村威夫追悼特集	ロシア	モスクワ日本文化センター	2010.05.20 ~ 2010.05.31	2010年3月に逝去した美術監督 木村威夫追悼上映。『雁』(豊田四郎)、『自分の穴の中で』(内田吐夢)、『花と怒涛』『春婦伝』『東京流れ者』『悪太郎』『ツイゴイネルワイゼン』(以上 鈴木清順)、『忍ぶ川』『千利休一本覺坊遺文』(以上、熊井啓)、『父と暮せば』(黒木和雄)計10作品を上映
60	第12回日本映画レトロスペクティブ(今村昌平監督特集)	ロシア	モスクワ日本文化センター 在ロシア大使館	2010.09.28 ~ 2010.11.22	国際交流基金本部フィルムライブラリーより『西銀座駅前』『豚と軍艦』『人間蒸発』『神々の深き欲望』等14作品を、モスクワ及びクラスノヤルスクにて各1回上映
61	第44回日本映画祭	ロシア	モスクワ日本文化センター 在サンクトペテルブルク総領事館 在ロシア大使館	2010.11.10 ~ 2010.12.07	露語フィルムライブラリーより『ブタがいた教室』『ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』、国際交流基金本部フィルムライブラリーより『百万円と苦虫女』『あしたの私のつくり方』『秒速5センチメートル』の計6作品を、モスクワ及びサンクトペテルブルクにて各2回上映
62	原爆特集上映会	エジプト ヨルダン クウェート	カイロ日本文化センター 在ヨルダン大使館 在クウェート大使館	2010.10.24 ~ 2011.11.23 2011.02.15 ~ 2011.02.17 2011.03.10	『はだしのゲン・1』『夕風の街 桜の国』『父と暮らせば』『黒い雨』『原爆の子』の5作品をカイロ、アレキサンドリアで上映。ヨルダンでも同じ作品を上映したが、クウェートでは東日本大震災の発生を受けて1日のみで中止

映像出版事業費

	事業名	対象国	主催・共催機関	期間	事業内容
63	トルコ巡回日本映画祭	トルコ	在イスタンブール総領事館 在トルコ大使館	2011.03.03 ~ 2011.03.06 2011.03.11 ~ 2011.03.13	国際交流基金本部フィルムライブラリーのDVD『ヴィヨンの妻』、西アジア・フィルムライブラリーのDVD『秒速5センチメートル』『風が強く吹いている』16mm、それに外部からの借用作品『それでもボクはやってない』を加え計4作品を上映
64	日本映画祭	南アフリカ ウガンダ	在南アフリカ大使館 在ウガンダ大使館	2010.11.05 ~ 2011.01.21 2011.01.14 ~ 2011.01.16	『半落ち』『金融破滅ニッポン』『かもめ館』『時をかける少女』『サイドカーに犬』の計5作品を上映
65	日本映画祭	ボツワナ	在ボツワナ大使館	2010.10.06 ~ 2010.10.09	『半落ち』『金融破滅ニッポン』『かもめ館』『時をかける少女』『サイドカーに犬』の計5作品を上映

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (2) 海外日本映画祭 (助成)

海外の国際映画祭、芸術祭、映画専門団体が企画・実施する日本映画上映事業を助成する。

合計額 20,143,656 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	大島渚回顧展	韓国	韓国シネマテーク協議会	2010.07.09 ~ 2010.07.28	大島渚監督作品22本を上映。また、平沢剛(映画評論家)を招へいしてシンポジウムを開催
2	ソウル国際漫画アニメーションフェスティバル2010	韓国	ソウル国際漫画アニメーション・フェスティバル組織委員会	2010.07.21 ~ 2010.07.25	『アシューム・セッション』『ジャングル大帝』等のアニメ映画を上映。『アシューム・セッション』のアオキタクト(監督)等を招へい
3	第4回ピンク映画祭	韓国	エスパーク	2010.11.05 ~ 2010.11.14	女性向けに開催されるピンク映画祭。日本映画13作品を上映。また、城定秀夫等日韓のピンク映画監督によるトークショー等も開催
4	第34回香港国際映画祭	中国	香港国際映画祭協会	2010.03.21 ~ 2010.04.06	島津保次郎(監督)特集。同監督作品6作品を含む日本映画20本を上映
5	第12回ジャカルタ国際映画祭	インドネシア	インドネシア映画振興協会	2010.11.25 ~ 2010.12.05	『アウトレイジ』(北野武)を上映
6	コタ・キナバル国際映画祭 2010	マレーシア	コタ・キナバル国際映画祭事務局	2010.06.04 ~ 2010.06.09	国際交流基金本部フィルムライブラリーより『かもめ食堂』と『時をかける少女』を上映
7	メルボルン国際映画祭	オーストラリア	メルボルン国際映画祭事務局	2010.07.23 ~ 2010.08.09	『キャタピラー』『しんぼる』等、日本映画10本を上映
8	活動弁士巡回公演	オーストラリア	アデレード映画祭	2011.03.03 ~ 2011.03.11	片岡一郎(弁士)を招へいして公演
9	新世代フィルムフェスティバル	カナダ	トロント日系文化会館	2010.07.22 ~ 2010.07.26	『カケラ』『不灯港』等14作品を上映。また、安藤モモ子(監督)等を招へいして関連企画を開催
10	バンクーバー国際映画祭	カナダ	バンクーバー国際映画祭事務局	2010.09.30 ~ 2010.10.15	『世界グッドモーニング!』『冷たい熱帯魚』等日本映画8作品を上映。廣原サトル(監督)等を招へい
11	第39回モントリオール・フェスティバル・ドゥ・ヌーヴォー・シネマ	カナダ	フェスティバル・ドゥ・ヌーヴォー・シネマ事務局	2010.10.13 ~ 2010.10.24	『カラフル』『アウトレイジ』他、日本映画10作品を上映
12	オタワ国際アニメーション・フェスティバル	カナダ	オタワ国際アニメーション・フェスティバル実行委員会	2010.10.20 ~ 2010.10.24	手塚治虫監督特集を含む、日本のアニメーション5作品を特集
13	トロント・リール・アジア国際映画祭	カナダ	トロント・リール・アジア国際映画祭事務局	2010.11.09 ~ 2010.11.15	『ゴールデンランバー』『トイレット』他、日本映画を6作品を上映。また、山村浩二(監督)を招へい
14	ロサンゼルス日本映画祭2010	米国	日米メディア協会	2010.04.10 ~ 2010.04.25	『ヤッターマン』『パコと魔法の絵本』『ラーメンガール』『ハッピーエンド』『サイドウェイズ』等8作品を上映。山田篤宏(監督)等映画関係者3名を招へいし、インタビューを実施

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
15	Japanese Cinema Celebration	米国	ニューポートビーチ映画祭事務局	2010.04.22 ~ 2010.04.29	ロサンゼルス近郊で開催する日本文化紹介イベントの一環として、『空気人形』を上映
16	第53回サンフランシスコ国際映画祭	米国	San Francisco Film Society	2010.04.22 ~ 2010.05.06	『空気人形』『Dr.中松の発明』を上映。また、是枝裕和(監督)を招へいしレクチャーを実施
17	New York Asian Film Festival	米国	Subway Cinema	2010.06.25 ~ 2010.07.08	『SRサイタマノラッパー』『ボーイズオンザラン』等16作品の日本映画を上映。入江悠(監督)等を招へい
18	第46回シカゴ国際映画祭	米国	シカゴ国際映画祭事務局	2010.10.07 ~ 2010.10.21	日本映画を4本上映し、平山秀幸、中村義洋、中野貴雄の3名の監督を招へい
19	サンパウロ国際ファンタスティック映画祭	ブラジル	ヴェラス・イマジナリオ・シネ有 限会社	2010.07.01 ~ 2010.07.08	『ヤッターマン』『クローズZERO II』(三池崇史)等13作品の日本映画を上映。また、三池崇史(監督)を招へい
20	サンパウロ国際短編映画祭	ブラジル	キノフォーラム文化協会	2010.08.19 ~ 2010.08.27	『石の音』『私が沈黙するとき』等、日本の短編映画5作品を上映
21	インディ2010ーワールド映画祭	ブラジル	ZETA FILMS	2010.09.02 ~ 2010.11.21	Permanent Link Japanとして、「黒沢清監督特集」を開催し同監督の22作品を上映
22	国際映画祭ーフィルムクラブ	アイスランド	レイキャビック国際映画祭実行委 員会	2010.09.23 ~ 2010.10.03	『しんぼる』『大日本人』等の日本映画4作品を上映
23	ウディネー・ファー・イースト映画祭「新東宝特集」	イタリア	Centro Espressioni Cinematografiche	2010.04.23 ~ 2010.05.01	新東宝の1950~60年代作品24作品を上映。マーク・シリ ング監修
24	ポルデノーネ無声映画祭「松竹3 大監督特集」	イタリア	ポルデノーネ無声映画祭事務局	2010.10.02 ~ 2010.10.09	「松竹三大監督特集」として、島津保次郎、清水宏、牛 原虚彦の監督作品を計13作品上映
25	ローマ国際映画祭「ジャパ ンフォーカス」	イタリア	ローマ映画財団	2010.10.28 ~ 2010.11.06	『借りぐらしのアリエッティ』等最新日本映画及びスタ ジオジブリ作品を特集上映
26	Scotland Loves Animation	英国	Scotland Loves Animation 実行 委員会	2010.10.08 ~ 2010.10.12	スコットランド地方の3都市(エジンバラ、グラスゴー、 ダンディー)で開催されるアニメ映画祭。日本アニメ10 作品を上映
27	Zipangu Fest	英国	Zipangu Ltd.	2010.10.29 ~ 2010.11.28	『ロボ芸者』『ユリ子のアロマ』等、日本映画20作品を 上映
28	Onedotzero_adventures in motion 2010	英国	Onedotzero	2010.11.10 ~ 2010.11.14	デジタル映像祭。J-STARという日本の様々な才能を紹介 するセクションで日本の作品を紹介。その他のセクショ ンでも日本映画を上映
29	Cinemagic International Children's film Festival	英国	CINEMAGIC	2010.11.10 ~ 2010.11.26	北アイルランド、ベルファーストで開催される児童・青 少年を対象とする映画祭。日本映画10作品を上映
30	小津安二郎レトロスペクティブ	オーストリア	Austrian Film Museum	2011.01.07 ~ 2011.02.07	小津安二郎監督作品の回顧上映。映画監督(ポール・ シュレーダー)によるレクチャーも実施

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
31	ライデン国際映画祭	オランダ	StArt財団	2010.10.26 ~ 2010.10.31	『大日本人』『しんぼる』等、日本映画15作品を上映
32	日本映画上映会 ― 愛にまつわるドキュメンタリーとラブストーリー	スイス	アソシエーション十人十色	2010.11.05 ~ 2010.11.07	『ビューピル』『空気人形』等、愛にまつわる日本映画4作品を上映
33	ストックホルム国際映画祭 2010	スウェーデン	ストックホルム国際映画祭事務局	2010.11.17 ~ 2010.11.28	封切1年以内の新作日本映画を4本上映。また、監督を招へい
34	ニッポンコネクション：日本映画フェスティバル	ドイツ	ニッポン・コネクション事務局	2010.04.14 ~ 2010.04.18	『ウルトラミラクルラブストーリー』『南国料理人』『ディア・ドクター』『めがね』『カケラ』他長編・短編合わせて150作品以上を上映。また、松江哲明監督、田口トモロヲ監督はじめ、映画関係者等34名を招へいし、インタビューやワークショップも開催
35	第24回ブラウンシュヴァイク国際映画祭	ドイツ	ブラウンシュヴァイク国際映画祭事務局	2010.11.09 ~ 2010.11.15	梅林茂が音楽を手がけた6作品を上映
36	ベルリン国際映画祭「ヤングフォーラム」	ドイツ	アルセナーレ：映画・ビデオ芸術研究所	2011.02.10 ~ 2011.02.20	ベルリン国際映画祭ヤングフォーラム部門での日本映画の上映
37	ヘルシンキ国際映画祭 Love & Anarchy 2010	フィンランド	ヘルシンキ国際映画祭事務局	2010.09.16 ~ 2010.10.02	『クローズZERO II』『エヴァンゲリオン』等日本映画を10作品上映。また、日本・フィンランド合作映画『Ito-A Diary of an Urban Priest』主演の藤岡善信を招へい
38	黒澤明監督全作品特集	フランス	シネマテーク・フランセーズ	2010.06.23 ~ 2010.08.01	「黒澤明監督生誕100周年記念イベント」の関連事業として、同監督の全作品を上映
39	パリ国際映画祭	フランス	パリ国際映画祭事務局	2010.07.03 ~ 2010.07.13	2010年は、日本をゲスト国として、若松孝二(監督)等を招へい、『キャタピラー』等を上映
40	第五回KINOTAYO映画祭	フランス	KINOTAYO 映画祭事務局	2010.11.20 ~ 2010.12.10	フランスにおける唯一の日本映画祭。『BOX袴田事件 命とは』『谷中暮色』等、封切後1年半以内の日本映画20作品を紹介
41	MOTELX ― リスボン国際ホラー映画フェスティバル	ポルトガル	リスボン・ホラー・シネクラブ	2010.09.29 ~ 2010.10.03	『鬼婆』『地獄』等の日本映画5作品を上映
42	第4回アニメ映画祭	エストニア	非営利団体オタク	2010.04.02 ~ 2010.04.11	『サマー・ウォーズ』『ピアノの森』『崖の上のポニョ』『スカイクロラ』『下妻物語』等計24作品を上映。コスプレ・フェスティバルやアニメ・ワークショップも開催
43	無声映画祭 弁士公演	エストニア	タリン2011財団	2011.02.19 ~ 2011.03.05	日本より弁士を招き、無声映画『雄呂血』(おろち)を上映
44	AKIRA KUROSAWA RETROSPECTIVE	イスラエル	エルサレム・シネマテーク	2010.11.02 ~ 2010.12.03	黒澤明監督特集上映を開催。19作品を上映

映像出版事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
45	第29回イスタンブール国際映画祭	トルコ	イスタンブール文化芸術基金	2010.04.03 ~ 2010.04.18	『しんぼる』『空気人形』『ウルトラミラクルラブストーリー』『よなよなペンギン』を各3回上映
46	ダーバン国際映画祭	南アフリカ	Centre for Creative Arts - University of KwaZulu-Natal	2010.07.22 ~ 2010.08.01	『ランニング・オン・エンプティ』と『カムイ外伝』を 上映

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (3) 国際漫画賞

海外で漫画文化の普及活動に貢献する漫画作家を顕彰する目的で、実行委員会が開催する国際漫画賞の受賞者を、授賞式に合わせて10日間程度招へいする。

合計額 8,460,467 円

	事業名	所属国	氏名	現職	共催・協力機関	期間	事業内容
1	第4回国際漫画賞	中国	ZHANG, Sheng Nan/ ペンネーム: Xiao Bai	漫画家	外務省、社団法人 日本漫画家協会 (JCA)	2011.02.21 ~ 2011.03.07	海外での漫画文化の普及を目的とした顕彰事業。最も優れた作品1点に国際漫画賞最優秀賞を、その他優秀な作品3点に国際漫画賞優秀賞を授与し、授賞式に併せて各作品の作者を日本に招へい。 本年度は、最優秀賞を授与されたXiao Bai(シャオ・バイ)、優秀賞を授与されたVerachai Duangpla(ウェーラチャイ・ドゥアンプレー)、Enrique Fernandez(エンリケ・フェルナンデス)、Olivier Martin(オリビエ・マルタン)の計4名を15日間日本に招へい
		タイ	VERACHAI, Duangpla	漫画家			
		スペイン	FERNANDEZ, Enrique	漫画家			
		フランス	MARTIN, Olivier	漫画家			

映像出版事業費

1. 催し等事業費 / (4) アニメ文化大使

アニメ文化大使の外国語字幕版DVDを作成し、在外公館及び国際交流基金海外拠点で上映会を実施する。

合計額 460,000 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	アニメ文化大使(ドラえもん)	全世界区分困難	小学館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	映画『ドラえもん のび太の恐竜2006』の4カ国語字幕版DVDを製作し、在外公館及び基金海外拠点で上映

1. 催し等事業費 / (5) 映像出版情報交流 (催し)

国内外で開催される映像・出版等をテーマとするセミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 1,697,176 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓出版交流シンポジウム	韓国	社団法人大韓出版文化協会 在韓国大使館	2011.03.10 ~ 2011.03.12	日韓の出版関係者(日本4名、韓国6名)が参加して、3月11日にソウルにおいて、日韓の文学作品翻訳出版の問題点について討議。主催：国際交流基金、後援：大山文化財団

映像出版事業費

2. 文化資料事業費 / (1) テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、素材の作成費、放映権料を負担した上で、海外放送局に番組を提供する。

合計額 106,053,763 円

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	モンゴルTV放映	モンゴル	国営MNB	2010.12.20 ~ 2013.12.19	モンゴルTV放映向け番組提供。『蟬しぐれ』『盲導犬クイールの一生』等を提供
2	モンゴルTV放映	モンゴル	Education Channel Television	2011.01.01 ~ 2013.12.31	モンゴルTV放映向け番組提供。『ふしぎいっぱい』『はてなにタックル』等を提供
3	カンボジアTV放映	カンボジア	民営CBS	2011.02.01 ~ 2013.01.31	カンボジアTV放映向け番組提供。『ガリレオ』『BOSS』等を提供
4	ベトナムTV放映	ベトナム	国営VTV	2011.03.10 ~ 2014.03.09	ベトナムTV放映向け番組提供。『しらべてサイエンス』『ふしぎ情報局』等を提供
5	スリランカTV放映	スリランカ	国営SLRC	2011.01.15 ~ 2014.01.14	スリランカTV放映向け番組提供。『海猿 海の捜査線 海上保安官物語』等を提供
6	トンガTV放映	トンガ	国営TBC	2011.02.01 ~ 2014.01.31	トンガTV放映向け番組提供。『ネットバイオレンス』『ざわざわ森のがんこちゃん』等を提供
7	パプアニューギニアTV放映	パプアニューギニア	民営MNL	2011.02.01 ~ 2014.01.31	パプアニューギニアTV放映向け番組提供。『京都 庭の物語：前後編』『奈良 お水取り』等を提供
8	エルサルバドルTV放映	エルサルバドル	国営CANAL 10, TV Educativa	2011.01.01 ~ 2013.12.31	エルサルバドルTV放映向け番組提供。『やってみようなんでも実験2000~2001』等を提供
9	グアテマラTV放映	グアテマラ	国営TV USAC	2011.01.01 ~ 2013.12.31	グアテマラTV放映向け番組提供。『ワンダー数学ランド』『ピタゴラススイッチ』等を提供
10	ジャマイカTV放映	ジャマイカ	民営CVM-TV	2011.01.15 ~ 2014.01.14	ジャマイカTV放映向け番組提供。『柳生十兵衛七番勝負』『蟬しぐれ』等を提供
11	トリニダード・トバゴTV放映	トリニダード・トバゴ	民営CNMG(C television)	2010.11.01 ~ 2013.10.31	トリニダード・トバゴTV放映向け番組提供。『美しき日本百の風景』『おしん：36話分』等を提供
12	パナマTV放映	パナマ	国営SER-TV	2011.03.01 ~ 2014.02.28	パナマTV放映向け番組提供。『家族旅行』を提供
13	エクアドルTV放映	エクアドル	国営ECTV	2010.10.01 ~ 2013.09.30	エクアドルTV放映向け番組提供。『大地の子』『おしん』等を提供
14	ベネズエラTV放映	ベネズエラ	国営TEVES	2011.01.20 ~ 2014.01.19	ベネズエラTV放映向け番組提供。『たけしくん、ハイ！ 第1部』『ゼロの焦点』等を提供

映像出版事業費

	事業名	対象国	対象機関	期間	事業内容
15	第37回日本賞	ドイツ	第2ドイツテレビ(ZDF)	2010.06.01 ~ 2011.02.28	東西冷戦下、ベルリンの壁を越えて東から西へ脱出した人々の奇想天外な脱出方法について調査・紹介した番組『ベルリンの壁を越えて』が、NHKが主催する「日本賞」で国際交流基金理事長賞を受賞
16	ウズベキスタンTV放映	ウズベキスタン	国営NTRC	2011.01.15 ~ 2014.01.14	ウズベキスタンTV放映向け番組提供。『すずらん：全156話』を提供
17	ブルガリアTV放映	ブルガリア	国営BNT	2011.01.15 ~ 2014.01.14	ブルガリアTV放映向け番組提供。『たったひとつの地球2005』『日本の世界文化遺産』等を提供
18	ブルガリアTV放映	ブルガリア	民営TV Europe	2011.01.15 ~ 2014.01.14	ブルガリアTV放映向け番組提供。『知識創造企業』『小さな世界企業』等を提供
19	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営BHRT	2011.01.01 ~ 2013.12.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。『経済ドラマシリーズ：銀行』『理科デジタルビデオクリップ』等を提供
20	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映	ボスニア・ヘルツェゴビナ	国営FTV	2011.01.01 ~ 2013.12.31	ボスニア・ヘルツェゴビナTV放映向け番組提供。『永平寺 104歳の禅師』『田中浜 土に眠る』等を提供
21	イランTV放映	イラン	国営IRIB	2010.02.01 ~ 2013.01.31	イランTV放映向け番組提供。『すずらん 第91～第156話』を提供
22	アルジェリアTV放映	アルジェリア	アルジェリア国営EPTV	2011.01.15 ~ 2014.01.14	アルジェリアTV放映向け番組提供。『復活なるかニッポン半導体』等を提供
23	スーダンTV放映	スーダン	国営BNTV	2011.03.10 ~ 2014.03.09	スーダンTV放映向け番組提供。『日本の伝統スポーツ』『日本の伝統文化』等を提供
24	エチオピアTV放映	エチオピア	オロミア州営OTV	2011.02.01 ~ 2014.01.31	エチオピアTV放映向け番組提供。『ちびまる子ちゃん(劇場版)』『ミヨリの森』等を提供
25	ケニアTV放映	ケニア	民営K24	2011.01.01 ~ 2013.12.31	ケニアTV放映向け番組提供。『知識創造企業』『プロジェクトX』等を提供
26	ザンビアTV放映	ザンビア	民営MUVI TV	2011.02.10 ~ 2014.02.09	ザンビアTV放映向け番組提供。『ピタゴラススイッチII』『ワンダー数学ランド』等を提供
27	マダガスカルTV放映	マダガスカル	国営TVM	2011.03.01 ~ 2014.02.28	マダガスカルTV放映向け番組提供。『日本の最新技術』『日本の環境汚染防止技術』等を提供

映像出版事業費

2. 文化資料事業費 / (2) フィルムライブラリー充実(本部)

在外公館や国際交流基金海外拠点が主催する日本映画上映会にて使用するため、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 112,611,382 円

	事業名	監督名	制作年	事業内容
1	木下恵介監督作品購入	木下恵介	1943～1960	8作品英語字幕35mmプリントの購入
2	『原爆の子』購入	新藤兼人	1952	『原爆の子』英語字幕版35mmプリントの購入
3	岡本喜八監督作品購入	岡本喜八	1958～2001	24作品の英語字幕版35mmプリントの購入
4	『選挙』購入	想田和弘	2005	『選挙』英語字幕DVD等の購入
5	『精神』購入	想田和弘	2007	『精神』英語字幕DVD等の購入
6	『ハッピーフライト』購入	矢口史靖	2008	『ハッピーフライト』英語字幕35mmプリントの購入
7	『夢のまにまに』購入	木村威夫	2008	『夢のまにまに』英語字幕35mmプリントの購入
8	『不灯港』購入	内藤隆嗣	2008	『不灯港』英語字幕35mmプリントの購入
9	『歓喜の歌』購入	松岡錠司	2008	『歓喜の歌』英語字幕35mmプリントの購入
10	『風が強く吹いている』購入	大森寿美男	2009	『風が強く吹いている』英語字幕35mmプリントの購入
11	『ヴィヨンの妻』購入	根岸吉太郎	2009	『ヴィヨンの妻～桜桃とタンポポ～』英語字幕35mmプリントの購入
12	『火天の城』購入	田中光敏	2009	『火天の城』英語字幕35mmプリントの購入
13	『ディア・ドクター』購入	西川美和	2009	『ディアドクター』英語字幕35mmプリントの購入
14	『南極料理人』購入	沖田修一	2009	『南極料理人』英語字幕35mmプリントの購入
15	『川の底からこんにちは』購入	石井裕也	2009	『川の底からこんにちは』英語字幕35mmプリントの購入
16	『沈まぬ太陽』購入	若松節郎	2009	『沈まぬ太陽』英語字幕35mmプリントの購入
17	『ゼロの焦点』購入	犬童一心	2009	『ゼロの焦点』英語字幕35mmプリントの購入
18	『カムイ外伝』購入	崔洋一	2009	『カムイ外伝』英語字幕35mmプリントの購入
19	『マイマイ新子と千年の魔法』購入	片渕須直	2009	『マイマイ新子と千年の魔法』英語字幕35mmプリントの購入
20	『おとうと』購入	山田洋次	2010	『おとうと』英語字幕35mmプリントの購入
21	『食堂かたつむり』購入	富永まい	2010	『食堂かたつむり』英語字幕35mmプリントの購入
22	『悪人』購入	李相日	2010	『悪人』英語字幕35mmプリントの購入

映像出版事業費

	事業名	監督名	制作年	事業内容
23	『カラフル』購入	原恵一	2010	『カラフル』英語字幕35mmプリントの購入
24	RAILWAYS購入	錦織良成	2010	RAILWAYS英語字幕35mmプリントの購入
25	<i>New Cinema from Japan</i>		—	日本映画の最新情報を掲載した英文カタログ <i>New Cinema from Japan</i> を、公益財団法人ユニジャパンと共同で年2回(春及び秋)発行
26	購入契約延長		—	『COO 遠い海から来たクー』及び『ちびまる子ちゃん 大野君と杉山君』のスペイン語字幕付35mmプリントの上映許諾期間延長及び『羅生門』(黒澤明)10回、『HANA-BI』(北野武)5回分の上映権買い増し

映像出版事業費

2. 文化資料事業費 / (3) フィルムライブラリー充実 (海外)

在外公館や国際交流基金海外拠点が主催する日本映画上映会で使用するため、海外のフィルムライブラリーに、非商業ベースの上映権を得た劇映画等を配布する。

合計額 168,877,502 円

	事業名	対象国	言語	事業内容
1	JFソウル・フィルムライブラリー	韓国	韓国語	プリント購送
2	中国フィルムライブラリー	中国	中国語	プリント購送
3	JFジャカルタ・フィルムライブラリー	インドネシア	インドネシア語	プリント購送
4	JFバンコク・フィルムライブラリー	タイ	タイ語	プリント購送
5	東アジア・フィルムライブラリー	タイ	英語	プリント購送
6	西アジア・フィルムライブラリー	インド	英語	プリント購送
7	大洋州フィルムライブラリー	オーストラリア	英語	プリント購送
8	中南米フィルムライブラリー	アルゼンチン	スペイン語	プリント購送
9	ブラジル・フィルムライブラリー	ブラジル	ポルトガル語	プリント購送
10	JFローマ・フィルムライブラリー	イタリア	イタリア語	プリント購送
11	欧州フィルムライブラリー	英国	英語	プリント購送
12	JFケルン・フィルムライブラリー	ドイツ	ドイツ語	プリント購送
13	仏語フィルムライブラリー	フランス	英語	プリント購送
14	露語フィルムライブラリー	ロシア	ロシア語	プリント購送
15	中近東フィルムライブラリー	エジプト	アラビア語	プリント購送
16	アフリカ・フィルムライブラリー	ケニア	英語	プリント購送

映像出版事業費

2. 文化資料事業費 / (4) 国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催される国際図書展に参加する。

合計額 17,879,857 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第16回ソウル国際図書展	韓国	ソウル	COEX韓国総合展示場	2010.05.12 ~ 2010.05.16	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
2	第36回ブエノスアイレス国際図書展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	アルゼンチン農業牧畜展示会場	2010.04.21 ~ 2010.05.10	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
3	第21回サンパウロ国際図書ビエンナーレ	ブラジル	サン・パウロ	アニエンビー展示会場	2010.08.12 ~ 2010.08.22	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
4	第62回フランクフルト国際図書展	ドイツ	フランクフルト・アム・マイン	フランクフルト・メッセ会場	2010.10.06 ~ 2010.10.10	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
5	第55回ベオグラード国際図書展	セルビア	ベオグラード	ベオグラード・フェア	2010.10.25 ~ 2010.10.31	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
6	第16回ブックワールド・プラハ2010	チェコ	プラハ	産業博覧会場	2010.05.13 ~ 2010.05.16	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
7	第17回ブダペスト国際図書展	ハンガリー	ブダペスト	ミレナーリシュ	2010.04.22 ~ 2010.04.25	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
8	第55回ワルシャワ国際図書展	ポーランド	ワルシャワ	文化科学宮殿	2010.05.28 ~ 2010.05.31	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
9	バルティック・ブック・フェスティバル	ラトビア	リガ	チープサラ国際展示センター	2011.02.25 ~ 2011.02.28	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
10	第12回モスクワ国際知的図書展 non/fiction	ロシア	モスクワ	モスクワ中央芸術家会館	2010.12.01 ~ 2010.12.05	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
11	第21回アブダビ国際ブックフェア	アラブ首長国連邦	アブダビ	アブダビ国立展示場(ADNEC)	2011.03.15 ~ 2011.03.20	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示

映像出版事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
12	第23回テヘラン国際図書展	イラン	テヘラン	テヘラン常設見本市会場(モサッラー・サイト)	2010.05.07 ~ 2010.05.16	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
13	第21回ドーハ国際図書展	カタール	ドーハ	カタール国際展示場	2010.11.25 ~ 2010.12.05	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
14	第17回出版と本の国際サロン	モロッコ	カサブランカ	カサブランカ国際展示場	2011.02.11 ~ 2011.02.20	一般社団法人出版文化国際交流会(PACE)と共同で参加、日本ブースを出展して日本文化紹介図書等を展示
15	PRACTICAL GUIDEの作成	全世界区分困難			2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外で日本関係図書の翻訳出版を行う場合に必要な知識をまとめたガイドブック <i>Practical Guide to Publishing in Japan 2010</i> の出版

映像出版事業費

2. 文化資料事業費 / (5) 映像出版情報交流 (文化資料)

日本の映像・出版関係情報の海外への発信及び海外における日本の映像・出版の紹介の現状調査・データベース化を行う。

合計額 8,256,835 円

	事業名	発行日	発行部数	事業内容
1	Japanese Book News 第64号	2010.06.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。全世界向けに無償配布
2	Japanese Book News 第65号	2010.09.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。全世界向けに無償配布
3	Japanese Book News 第66号	2010.12.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。全世界向けに無償配布
4	Japanese Book News 第67号	2011.03.01	5,000	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。全世界向けに無償配布
5	Japanese Book News 第68号(発行準備)	—	—	海外の出版社・編集者に向けて、新刊書情報及び出版界の最新情報・動向等を紹介する英文ニュースレター。季刊。全世界向けに無償配布

映像出版事業費

3. 日本研究事業費 / (1) 日本理解促進映像制作 (助成)

海外における日本理解を促進するため、内外の団体が制作する日本に関する映画及びテレビ番組等に対して、制作費の一部を助成する。

合計額 22,978,035 円

	作品名	対象国	助成対象機関代表者	助成対象機関	事業内容
1	<i>KUSAMA: PRINCESS OF POLKA DOTS</i>	米国	Karen Johnson	東京リー・プロダクション (TOKYO LEE PRODUCTIONS, INC.)	草間彌生の作品と生涯を描いたドキュメンタリー
2	<i>interior/exterior</i>	メキシコ	Valdez Dragonne Juan Carlos	Tygre Cine, Foto y Video S.C.	日本人現代美術作家へのインタビューを通じて日本の現代美術を紹介する作品
3	<i>KUROSAWA, THE WAY</i>	フランス	Michiko YOSHITAKE	FILM-IN-EVOLUTION	日本を代表する世界的な映画作家であった黒澤明、その実像を顧みる試みと映像芸術の伝承について考察する作品
4	<i>The Forest In Between</i>	フランス	Philippe Dijon De Monteton	House On Fire	小栗康平の優れた映画作品を紹介し、映画に対する同監督の考えや哲学をまとめた作品
5	<i>Lady Sarashina</i>	フランス	Serge Lalou	LES FILMS D'ICI	現代オペラ「レディ・サラシナ」を通して、現代西洋の創作において遥かなる日本文化の伝承物の影響を問いかけるドキュメンタリー
6	<i>Where is Lady WAKASA? The Exotic Secret of a Carmine Dream</i>	ポルトガル	Christine Reeh	C. R. I. M. Produções	1543年にポルトガル人が初めて種子島に上陸した時代を中心に、日葡関係を描いた作品
7	<i>Five-Seven-Five for Croatia</i>	クロアチア	Maja Vukic	Open Media Group	俳句を嗜むクロアチア人の日常を描いたドキュメンタリー
8	<i>Links of Friendship-Last of the noble stock</i>	ポーランド	Wan Jacek	WAN TV Production	日本によるポーランド人のシベリア孤児救出やゼノ修道士が日本全国各地で行った救護活動など、日本・ポーランド間の善意の交流史に関するドキュメンタリー
9	「デカセギの子に生まれて 孤独なツバメたち」 (Saudade)	日本	津村公博	浜松学院大学地域共創センター	日本とブラジル、二つの故郷の間で揺れ動く浜松在住の日系ブラジル人青年たちの姿を追ったドキュメンタリー

映像出版事業費

3. 日本研究事業費 / (2) 日本理解促進出版・翻訳 (助成)

海外における日本研究及び日本理解を促進するため、人文社会学・芸術分野の優れた日本関連図書の外国語への翻訳出版、ならびに外国語で書き下ろされた優れた図書の出版に助成する。

合計額 24,832,020 円

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
1	ジャポニズム イン ファッション	韓国	深井 晃子 / 許 恩珠	J&C出版社	翻訳・出版： 深井晃子著『ジャポニズム イン ファッション』の韓国語版
2	戦中と戦後の間：1936～1957	韓国	丸山 眞男 / 金 錫根	株式会社ヒュマニスト出版グループ	翻訳・出版： 丸山眞男著『戦中と戦後の間：1936～1957』の韓国語版
3	20世紀日本の歴史学	韓国	永原 慶二 / 河 木宗文	三千里	翻訳・出版： 永原慶二著『20世紀日本の歴史学』の韓国語版
4	方法としての思想史	韓国	安丸 良夫 / 南 椿模	大旺社	翻訳・出版： 安丸良夫著『方法としての思想史』の韓国語版
5	相続と創造の軌跡—明治維新から21世紀に至る日本美術	中国	潘 力	人民美術出版社	出版(書き下ろし)： 明治維新から現在に至る日本美術の伝統や独自性、観念について論じた図書
6	「日本人論」再考	中国	船曳 建夫 / 蔡 敦達	華東師範大学出版社有限公司	翻訳・出版： 船曳建夫著『「日本人論」再考』の中国語版
7	劇画漂流	インドネシア	辰巳 ヨシヒロ / Takabe Yoko	CV Nalar Multimedia	翻訳・出版： 辰巳ヨシヒロ作『劇画漂流』のインドネシア語版
8	日本宗教史	ベトナム	末木 文美士 / Pham Thi Thu Giang	アルファ・ブックス株式会社	翻訳・出版： 末木文美士著『日本宗教史』のベトナム語版
9	少年愛を書く：二十世紀初期日本文学における男同士の絆	米国	ジェフリー・マシュー・アングルス	ミネソタ大学出版会	出版(書き下ろし)： 大正から昭和初期にかけての文学における男色に関する描写について考察した図書
10	日本女性：過去、現在、未来	米国	藤村 久美子 Fanselow / Malaya Amihan Ileteo	The Feminist Press at the City University of N. Y.	出版： 藤村久美子 Fanselow 編『日本女性：過去、現在、未来』の英語版
11	眼の森：多田智満子詩集	米国	多田 智満子 / ジェフリー・マシュー・アングルス	カリフォルニア大学出版部	出版： 多田智満子著『眼の森：多田智満子詩集』の英語版
12	弓道 禅 — 日本での思い出	アルゼンチン	Luis Alberto Falcone	総合アートグラフィック株式会社	出版(書き下ろし)： 著者が日本滞在中に経験した弓道関係者との交友経験を禅の観点から表現した随筆集
13	集成的都市デザイン：協働のプロセスによる都市の形成 (H21繰越)	コロンビア	北尾 靖雅 / Adrian Villa	ポンティフィシヤ・ハベリアナ大学出版	出版： 北尾靖雅著『集成的都市デザイン：協働のプロセスによる都市の形成』のスペイン語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
14	日本国現報善悪霊異記	イタリア	諾楽右京薬師寺沙門景戒 / マリア・キアーラ・ミリオレ	カロッチ出版社	翻訳・出版： 諾楽右京薬師寺沙門景戒著『日本国現報善悪霊異記』のイタリア語版
15	陰翳礼讃	スペイン	谷崎 潤一郎 / 今井 モナ	リノセロンテ出版社	出版： 谷崎潤一郎著『陰翳礼讃』のガリシア語版
16	新日本史	フランス	Pierre-François Souyri	Editions Perrin	出版： 日本の歴史を、その起源から現在まで、考古学的な観点も含め、新しい切り口で書き表した書籍
17	日本の家族の再創造：秩序と情愛の間で	フランス	クリスチャン・ガラン	フィリップ・ピキエ出版社	出版(書き下ろし)： フランスの日本研究者グループが4年に亘って「明治時代の日本の家族」について共同研究をした成果をまとめた図書
18	病院と看護師職：日仏比較研究	フランス	Philippe Mosse他 / Jessica Blanc	ジョン・リベイ・ユーロテキスト出版社	翻訳・出版： Philippe Mosse, 他著 <i>L'hôpital et la profession infirmière, une comparaison France-Japon</i> フランス語の英語版
19	来栖ちくりん：ゆうひの丘のなかま<1>、後路みね：ゆうひのおかのなかま<2>	ベルギー	いわむら かずお / Lilian Froger	Mijade Editions	翻訳： いわむらかずお著『来栖ちくりん：ゆうひの丘のなかま<1>』及び『後路みね：ゆうひの丘のなかま<2>』のフランス語版
20	夢の国ちびっこバク	ポルトガル	高円宮妃 久子 / マリア・クラウディア・アルバレス	Lidel - Edicoes Tecnicas, Lda.	翻訳・出版： 高円宮妃久子著『夢の国ちびっこバク』のポルトガル語版
21	アフターダーク	アルメニア	村上 春樹 / Alexander Aghabekyan	Guitank A gitakrtakan ev mshakutajin himnadram	翻訳・出版： 村上春樹著『アフターダーク』のアルメニア語版
22	日本の詩歌の華やかさと哀れ：日本詩歌の華燭と清貧	ウクライナ	Ivan Petrovych Bondarenko	ドミトロ・ブラゴ出版社	出版(書き下ろし)： 日本古典文学の権威である著者がウクライナで初めて書き下ろした日本の詩歌に関する書籍
23	IQ84, Vol. 2	ウクライナ	村上 春樹 / Ivan Petrovych Dziub	TOV Vydavnytstvo Folio	翻訳・出版： 村上春樹著『IQ84』のウクライナ語版
24	生け花 - 生きている花たち	エストニア	Dagmar Kotli	Kirjastus Varrak	出版(書き下ろし)： エストニアにおける生け花の第一人者が著した教本
25	日本の能	スロバキア	世阿弥、他 / Ivan R. V.	VEDA, vydavateľstvo Slovenskej akademie vied	翻訳・出版： 世阿弥、観阿弥、他著『風姿花伝、能：鶴亀、敦盛、松風、隅田川、山姥』のスロバキア語版
26	The Legal System of Japan	セルビア	Radomir, Milo Durovic	Bibliophile Society Liber	出版(書き下ろし)： 日本の法律制度の歴史や成り立ちについて書かれた書籍
27	オートフィクション	ハンガリー	金原 ひとみ / Gergely Nikolenyi	マグヴェトー出版社	翻訳・出版： 金原ひとみ著『オートフィクション』のハンガリー語版

映像出版事業費

	書名	対象国	編著者／翻訳者	助成対象機関	事業内容
28	人間失格・その他	ブルガリア	太宰 治 / アゴラ・ソフィア翻訳チーム	デルタ出版	翻訳： 太宰治著『人間失格・その他』のブルガリア語版
29	ポーランドのジャポニズム	ポーランド	Anna Krol	Muzeum Sztuki i Techniki Japonskiej manggha	出版(書き下ろし)： 19世紀後半から20世紀にかけての、ポーランドにおけるジャポニズムについて図版を用いて書き下ろした書籍
30	日本古典文学における間テクスト性	リトアニア	ダリア・シュバンバリーテ	ヴィリニユス大学出版会	出版(書き下ろし)： 源氏物語等の日本古典文学についての文学論
31	奔馬	ルーマニア	三島 由紀夫 / Andreea Sion	Humanitas Fiction Publishing House	翻訳： 三島由紀夫著『奔馬』のルーマニア語版
32	ロシアと日本：道徳の力学	ロシア	アレクセイ・ドミトリエヴィチ・パルキン	ナタリス出版株式会社	出版： 国際交流基金の元フェローである著者が日本とロシアの道徳についての研究をまとめた図書
33	100万回生きたねこ	ロシア	佐野 洋子 / ユーリ・コヴァーリ	国立児童書出版所(ヂェトギース)	出版： 佐野洋子著『100万回生きたねこ』のロシア語版
34	平治物語	ロシア	作者不詳 / ヴァチェスラヴ・アナトリエヴィッチ・オニスチェンコ	ヒペリオン出版社	翻訳・出版： 『平治物語』のロシア語版
35	金子みすず童謡集 わたしと小鳥とすずと	イラン	金子 みすず / ベヘナム・ジャヘドザデ	ディヴァイエ出版社	翻訳・出版： 金子みすず著『金子みすず童謡集 わたしと小鳥とすずと』のペルシヤ語版
36	近代日本文学選集	エジプト	森 鷗外、他 / Wael Mohamed oraby Abd Elmaksoud	Nawafez Society for Translation	出版： 森鷗外他著『近代日本文学選集』のアラビア語版
37	竹取物語	エジプト	作者不詳 / Ahmed M. Fathy Mostafa	Nawafez Society for Translation	出版： 民間伝承『竹取物語』のアラビア語版
38	ゴールデンランバー	全世界区分困難	伊坂 幸太郎 / Stephen Snyder	講談社インターナショナル株式会社	出版： 伊坂幸太郎著『ゴールデンランバー』の英語版
39	空海の言語哲学	〃	空海 / 高木 紳元	慶應義塾大学出版会株式会社	翻訳・出版： 空海著『即身成仏義』『声字実相義』『吽字義』その他の英語版
40	ブラジル語版やさしい日本小百科 JAPAO	〃	伊藤 玄二郎、三木 卓 / 平坂 テレサ	株式会社 かまくら春秋社	出版： 伊藤玄二郎、他編『ブラジル語版やさしい日本小百科『JAPAO』』のブラジル語版

日本語普及事業に必要な経費

日本語事業費

1. 日本語企画調整費

- (1) 海外日本語教育機関等調査

2. 日本語派遣・助成費

- (1) 受託事業（アセアン 第二期）
- (2) 受託事業（アセアン 第三期）
- (3) 日本語専門家派遣（日本語上級専門家）
- (4) 日本語専門家派遣（日本語専門家）
- (5) 国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）
- (6) 日本語専門家派遣（日本語指導助手）
- (7) 日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）
- (8) さくら中核事業（基金海外拠点）
- (9) さくら中核事業（非基金海外拠点）
- (10) 日本語普及活動助成

3. 研修事業費

- (1) EPA研修（交付金）
- (2) EPA研修（受託）

4. 日本語能力試験費

- (1) 日本語能力試験実施
- (2) 試験問題作成・分析評価

日本語事業費

1. 日本語企画調整費 / (1) 海外日本語教育機関等調査

海外の日本語教育機関等に関する調査及び特定地域における調査等を実施し、その結果を公開する。また、日本語教育・研究の成果も公開する。

合計額 8,676,547 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	海外日本語教育機関調査	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	3年毎に実施している、海外における日本語教育機関・教師・学習者等に関する一斉調査。本年度は、平成21年度に行った調査結果を報告書、ウェブサイトを通じて公開
2	国・地域別動向調査	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中期計画指針、地域別方針等に基づき、重点国・地域の日本語教育事情の最新動向を把握するため、専門家等による実地調査を実施
3	日本語教育国・地域別情報ウェブサイト	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	各国の日本語教育の状況（沿革／教育制度／現状／動向等）をウェブサイトで紹介
4	第51回外国人による日本語弁論大会	全世界区分困難	2010.06.05	日本語学習を奨励し、日本語普及事業への国民の理解を深めるために、外国人による日本語弁論大会を財団法人国際教育振興会、新潟市と共催で6月5日に新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」にて開催。大会の様子は、7月18日にNHK教育テレビで放映

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (1) 受託事業 (アセアン 第二期)

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) の一環として受託し、ネイティブスピーカーとして日本語教育に携わるとともに、日本文化紹介等の活動を行う若手日本語教師を東アジア首脳会議 (EAS) 諸国に派遣する。

合計額 73,572,995 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	岡田 薫	インドネシア	JIA外国語大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	紺矢 彩織	インドネシア	インドネシア・コンピュータ大学 パシム・ナショナル大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	森島 有紀	インドネシア	ウダヤナ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	森山 史子	インドネシア	ウディアタマ大学 パシム・ナショナル大学	2010.01.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	武藤 理恵	インドネシア	北スマトラ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	常次 亨介	インドネシア	ディアン・ヌスワントロ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	飯室 智恵美	インドネシア	ドクター・ストモ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	藤原 愛	インドネシア	ムハマディア・ドクター・ハムカ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
9	里 真吾	インドネシア	リアウ大学	2010.02.01 ~ 2010.12.10	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	米澤 千昌	カンボジア	王立プノンペン大学	2009.08.27 ~ 2010.07.13	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	熊谷 知美	ブルネイ	ブルネイ教育省生涯教育課	2010.01.27 ~ 2010.12.08	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	片子澤 忍	ベトナム	ダナン市教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	柿内 良太	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省教育訓練局	2009.08.05 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	柏倉 裕美	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2009.08.06 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
15	足立 みか	ベトナム	ホーチミン市教育訓練局	2009.08.05 ~ 2010.06.06	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
16	森 和代	マレーシア	Sekolah Dato' Abdul Razak	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
17	中嶋 りりか	マレーシア	Sekolah Sultan Alam Shah	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
18	小山 弥里	マレーシア	SM Sultan Abdul Halim	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
19	古津 真弓	マレーシア	SMK Raja Chulan	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
20	北出 理恵	マレーシア	SMK Tinggi Perempuan Melaka	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
21	浦野 萌	マレーシア	SMS Kuala Selangor	2010.01.08 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
22	三浦 真美	マレーシア	SMS Sultan Mahmud	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
23	秋山 彩	マレーシア	SMS Tengku Muhammad Faris Petra	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
24	岡村 恵	マレーシア	SMS Tuanku Syed Putra	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
25	池田 愛	マレーシア	SMS Tun Sye Sheh Shahabudin	2010.01.09 ~ 2010.11.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
26	本行 沙織	ミャンマー	ミャンマー元留学生協会	2010.01.11 ~ 2010.12.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
27	船本 日佳里	ラオス	ラオス国立大学文学部日本語学科	2009.09.01 ~ 2010.07.22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
28	近江 麻稚子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2009.08.06 ~ 2010.07.02	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
29	田中 江梨子	インド	ABK-AOTS Dosokai Nihongo Gakko	2009.06.21 ~ 2010.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
30	樋口 佳希	インド	Bluebells School International	2009.06.21 ~ 2010.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
31	川崎 陽子	インド	在チェンナイ商工会議所	2009.06.21 ~ 2010.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
32	林 芳恵	インド	ティラク・マハラシュトラ大学	2009.06.21 ~ 2010.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
33	山岡 友喜子	インド	プネ印日協会	2009.06.21 ~ 2010.04.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
34	初見 絵里花	オーストラリア	南オーストラリア教育省	2010.01.19 ~ 2010.12.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はAdelaide High School及びGrange Primary School）
35	大山 大樹	オーストラリア	ビクトリア州教育省	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はChatham Primary School及びKoonung Secondary College）
36	今江 久美子	オーストラリア	西オーストラリア教育訓練省	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はLeeming Senior High School及びWilletton Senior High School）
37	三木 麻里名	オーストラリア	ニューサウスウェルズ州教育訓練省	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はMurray Farm Public School）
38	岡田 恵	オーストラリア	北部準州教育訓練省	2010.01.19 ~ 2010.12.15	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はNightcliff Middle School及びDarwin Language Centre）
39	楠生 紀子	オーストラリア	タスマニア州教育省	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はRosny College及びRose Bay High School）
40	川口 純子	ニュージーランド	International Language Aotearoa New Zealand	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はMarian College及びRangiruru Girls School）
41	黒岩 朋子	ニュージーランド	International Language Aotearoa New Zealand	2010.01.19 ~ 2010.12.19	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はRangitoto College）

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (2) 受託事業 (アセアン 第三期)

21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) の一環として受託し、ネイティブスピーカーとして日本語教育に携わるとともに、日本文化紹介等の活動を行う若手日本語教師を東アジア首脳会議 (EAS) 諸国に派遣する。

合計額 157,942,352 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	服部 あゆみ	インドネシア	インドネシア教育大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
2	小林 亜希子	インドネシア	ウダヤナ大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
3	豊政 美歩	インドネシア	ウダヤナ大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
4	岩野 真由実	インドネシア	北スマトラ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
5	津坂 朋宏	インドネシア	北スマトラ大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
6	杉山 有香	インドネシア	スマラン国立大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
7	老平 実加	インドネシア	スラバヤ国立大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
8	貝原 美貴子	インドネシア	リアウ大学	2011.01.29 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
9	豊田 陽子	インドネシア	リアウ大学	2011.01.30 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
10	小林 正明	カンボジア	王立プノンペン大学	2010.09.08 ~ 2011.07.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
11	大原 幸子	シンガポール	ナンヤン・ポリテクニク	2010.05.17 ~ 2011.02.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
12	三瓶 葉月	タイ	ウドムダルニー校	2010.05.05 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
13	嶋津 慎哉	タイ	カンペンペットピッタヤーコム高校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
14	松島 調	タイ	クンハンウィッタヤサン校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
15	師井 恵子	タイ	サトリー・パッタルン校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
16	柳 美早	タイ	ドンジェーンウィッタヤコム校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
17	安藤 由紀	タイ	ナリスクン学校	2010.05.05 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
18	福嶋 久美	タイ	ナワミントラーチヌーティットサトリーウィッタヤープッタモントン高校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
19	米原 沙代	タイ	プラチンラツアードーンアムルン高校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
20	砂川 昂大	タイ	ラーウウィニー・バンゲオ校	2010.05.06 ~ 2011.03.05	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
21	福永 佳世	フィリピン	トレード・テック・インターナショナル・サイエンス・インスティテュート	2010.05.14 ~ 2011.03.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
22	片山 恵	フィリピン	フィリピン教育省	2010.05.14 ~ 2011.03.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
23	花見 さやか	フィリピン	フィリピン教育省	2010.05.14 ~ 2011.03.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
24	南 沙代子	フィリピン	フィリピン教育省	2010.05.15 ~ 2011.03.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
25	中澤 綾乃	フィリピン	ミンダナオ国際大学	2010.05.14 ~ 2011.03.28	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
26	松下 恵子	ブルネイ	ブルネイ教育省生涯教育課	2011.02.01 ~ 2011.12.09	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
27	山田 未来	ベトナム	ダナン市教育訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
28	大拙 舞	ベトナム	トゥア・ティエン・フエ省教育訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
29	青木 千枝	ベトナム	ハイフォン私立大学	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
30	大山 智美	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
31	高梨 ひな美	ベトナム	ハノイ市教育訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
32	工藤 繁	ベトナム	ホーチミン市教育訓練局	2010.08.04 ~ 2011.06.03	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
33	石田 知華子	マレーシア	SMS Kuching	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
34	太田 圭美	マレーシア	Kolej Melayu Kuala Kangsar	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
35	桑原 里佳	マレーシア	SMK Inanam	2011.01.08 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
36	後藤 和子	マレーシア	SMS Dungun	2011.01.08 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
37	小林 聡子	マレーシア	Kolej Datuk Patinggi Abang Haji Abdillah	2011.01.08 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
38	齋藤 光枝	マレーシア	SMK Tinggi Bukit Mertajam	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
39	辻 舞子	マレーシア	SMK Putrajaya Presint 8	2011.01.08 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
40	中野 久美子	マレーシア	SMS Pasir Puteh	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
41	西川 陽子	マレーシア	SM Sung Siew	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
42	波多江 優子	マレーシア	SMS Muzaffar Syah	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
43	福本 将也	マレーシア	SS Sultan Haji Ahmad Shah Pekan	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
44	松田 久実	マレーシア	SMK Ibrahim	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
45	山田 智子	マレーシア	SMK Sultan Ibrahim	2011.01.09 ~ 2011.11.18	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
46	笹村 はるか	ミャンマー	ミャンマー元留学生協会	2011.01.10 ~ 2011.11.22	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
47	前田 未央	ラオス	ラオス国立大学	2010.09.14 ~ 2011.07.21	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
48	高橋 舞	インド	印日商工会議所	2010.06.20 ~ 2011.04.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
49	小林 久美子	インド	ティラク・マハラシュトラ大学	2010.06.20 ~ 2011.04.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
50	笹野 亜希子	インド	バンガロール大学	2010.06.19 ~ 2011.04.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
51	曾我 祐美	インド	ブネ印日協会	2010.06.20 ~ 2011.04.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
52	三毛 佳奈美	インド	ブルーベルズ・スクール・インターナショナル	2010.06.20 ~ 2011.04.20	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進
53	稲原 香織	オーストラリア	オーストラリア首都特別地域教育訓練省	2011.01.26 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はFarrer Primary School及びDickson College）
54	郷 亜里沙	オーストラリア	タスマニア州教育省	2011.02.09 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はRosny College、Rose Bay High School及びMackillop Catholic College）
55	真保 知子	オーストラリア	西オーストラリア教育訓練省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はSchool of Isolated and Distance Education及びChurchlands Senior High School）
56	折茂 那美	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州教育訓練省	2011.01.19 ~ 2011.12.23	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はMurray Farm Public School）
57	伊藤 由希	オーストラリア	北部準州教育訓練省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はDripstone Middle School及びSanderson Middle School）
58	横山 理恵子	オーストラリア	南オーストラリア州教育省	2011.01.19 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はKidman Park Primary School及びAdelaide High School）
59	河野 倫子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2011.01.26 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はEllesmere College、Lincoln High School及びRiccarton High School）
60	前川 真理子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2011.01.26 ~ 2011.12.17	受入機関での日本語教育の活性化、現地青少年の対日理解促進及び相互理解促進（配属校はOtago Girls' High School、St.Hilda's Collegiate School及びQueen's High School）

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (3) 日本語専門家派遣（日本語上級専門家）

日本語上級専門家は、国際交流基金海外拠点主任アドバイザーや各国（州）教育省アドバイザーとして派遣される他、日本語専攻学科立ち上げ期の高等教育機関等に派遣され、現地日本語教師の育成、教材・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク構築支援の他、必要に応じて授業を担当する等、派遣先国・機関における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援を行う。

合計額 616,665,906 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	小川 靖子	韓国	ソウル日本文化センター	2008.08.21 ~ 2011.08.20	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
2	小西 広明	韓国	ソウル日本文化センター	2010.03.07 ~ 2013.04.13	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
3	王 崇梁	中国	北京日本文化センター	2008.05.10 ~ 2011.05.09	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
4	木山 登茂子	中国	香港日本語教育研究会	2009.06.10 ~ 2011.12.12	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
5	藤島 夕紀代	モンゴル	モンゴル日本人材開発センター	2008.04.01 ~ 2012.01.21	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
6	山本 晃彦	インドネシア	インドネシア教育大学	2006.08.03 ~ 2010.08.07	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
7	衣笠 秀子	インドネシア	インドネシア教育大学	2010.07.26 ~ 2013.08.07	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
8	山下 美紀	インドネシア	国立スラバヤ大学	2007.07.09 ~ 2010.07.08	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
9	山科 健吉	インドネシア	国立スラバヤ大学	2010.06.26 ~ 2012.07.08	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
10	木谷 直之	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2007.09.15 ~ 2010.09.11	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
11	尾崎 裕子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.08.31 ~ 2013.09.14	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
12	久松 美立	インドネシア	ガジャマダ大学 スマラン国立大学	2007.07.09 ~ 2010.07.08	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
13	片桐 準二	カンボジア	王立プノンペン大学	2009.09.21 ~ 2010.08.20	王立プノンペン大学におけるカリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
14	杉山 純子	カンボジア	王立プノンペン大学	2010.08.09 ~ 2013.08.08	王立プノンペン大学におけるカリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
15	石田 英明	カンボジア	カンボジア日本人材開発センター	2009.04.20 ~ 2011.04.19	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
16	西野 藍	タイ	コンケン大学	2008.04.28 ~ 2010.04.27	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
17	長田 佳奈子	タイ	コンケン大学	2010.04.19 ~ 2013.04.27	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
18	三浦 多佳史	タイ	バンコク日本文化センター	2009.05.15 ~ 2012.07.31	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
19	渋谷 実希	タイ	バンコク日本文化センター	2009.09.22 ~ 2012.09.21	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
20	新見 康之	フィリピン	マニラ日本文化センター	2008.05.14 ~ 2011.05.13	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
21	大船 ちさと	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.03.23 ~ 2014.08.23	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
22	村上 吉文	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	2008.08.07 ~ 2010.08.06	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
23	平岩 桂子	ベトナム	ベトナム日本人材協力センター	2008.09.23 ~ 2010.08.31	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
24	有馬 淳一	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2009.07.22 ~ 2013.10.07	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
25	坪山 由美子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2008.04.08 ~ 2011.04.15	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
26	伊藤 愛子	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.10.13 ~ 2011.10.12	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
27	藤長 かおる	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2011.02.01 ~ 2013.05.28	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
28	遠藤 和歌子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
29	谷井 明美	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
30	矢野 優子	マレーシア	マラヤ大学日本留学予備教育課程	2008.03.17 ~ 2011.03.16	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
31	小林 峰子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)	2009.03.30 ~ 2011.03.29	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
32	星野 智子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)	2009.03.30 ~ 2011.03.02	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
33	三宅 直子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)	2010.03.16 ~ 2012.03.15	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
34	隈井 正三	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)	2010.03.22 ~ 2013.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
35	原田 明子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)	2010.03.22 ~ 2013.04.12	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備部において、専門家・現地講師のコーディネート、カリキュラム作成、学生に対する日本の大学進学に必要な日本語能力の養成

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
36	森西 志保子	ラオス	ラオス国立大学	2007.07.19 ~ 2010.08.18	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
37	立花 秀正	ラオス	ラオス国立大学	2010.08.06 ~ 2013.08.05	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
38	野村 ゆみ子	ラオス	ラオス日本人材開発センター	2008.08.21 ~ 2010.08.20	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
39	和田 衣世	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.05.01 ~ 2011.04.30	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
40	鈴木 今日子	インド	ニューデリー日本文化センター	2008.07.09 ~ 2010.07.08	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
41	田邊 知成	インド	ニューデリー日本文化センター	2009.04.16 ~ 2013.05.15	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
42	渡邊 由美	インド	ニューデリー日本文化センター	2011.01.01 ~ 2014.04.16	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
43	青沼 国夫	スリランカ	ケラニア大学	2007.04.13 ~ 2011.04.30	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
44	松本 剛次	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2007.04.01 ~ 2010.04.30	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
45	岸田 理恵	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.04.20 ~ 2012.04.19	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
46	友岡 純子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2008.01.30 ~ 2010.12.31	派遣先国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
47	千馬 智子	ニュージーランド	ニュージーランド教育省	2011.02.01 ~ 2013.10.12	派遣先国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
48	永富 あゆみ	カナダ	アルバータ州教育省	2009.06.07 ~ 2011.06.06	派遣先国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
49	高崎 三千代	メキシコ	メキシコ日本文化センター	2010.10.18 ~ 2011.03.12	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
50	池津 丈司	ブラジル	サンパウロ日本文化センター	2009.10.01 ~ 2013.09.01	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
51	茅本 百合子	アイルランド	アイルランド教育省	2008.07.28 ~ 2011.07.27	派遣先国の教育省において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
52	室屋 春光	イタリア	ローマ日本文化会館	2009.09.20 ~ 2012.06.30	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
53	宇田川 洋子	英国	ロンドン日本文化センター	2008.02.19 ~ 2011.02.18	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
54	福島 青史	英国	ロンドン日本文化センター	2011.02.08 ~ 2015.02.07	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
55	熊野 七絵	スペイン	マドリード日本文化センター	2010.09.22 ~ 2013.09.21	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
56	岩澤 和宏	ドイツ	ケルン日本文化会館	2007.08.05 ~ 2010.08.13	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
57	三矢 真由美	ドイツ	ケルン日本文化会館	2008.07.13 ~ 2011.07.12	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
58	磯村 一弘	ドイツ	ケルン日本文化会館	2010.08.05 ~ 2012.08.04	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
59	近藤 裕美子	フランス	パリ日本文化会館	2007.12.12 ~ 2010.12.22	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
60	中島 透	フランス	パリ日本文化会館	2010.12.13 ~ 2013.10.12	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
61	大原 淳裕	ウクライナ	ウクライナ日本センター	2008.06.29 ~ 2010.06.28	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
62	平賀 達哉	ウクライナ	ウクライナ日本センター	2010.06.15 ~ 2011.05.21	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
63	立間 智子	ウズベキスタン	ウズベキスタン日本人材開発センター	2008.07.10 ~ 2010.11.30	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
64	山口 敏幸	カザフスタン	カザフスタン日本人材開発センター	2009.04.21 ~ 2010.09.30	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
65	黒岩 幸子	キルギス	キルギス共和国日本人材開発センター	2010.01.24 ~ 2013.03.31	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
66	三上 京子	チェコ	カレル大学	2007.09.22 ~ 2010.09.21	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
67	福島 青史	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2007.07.31 ~ 2010.08.10	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
68	境田 徹	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2010.08.01 ~ 2013.11.19	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
69	駒田 聡	ブルガリア	ソフィア大学	2007.07.19 ~ 2010.07.18	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
70	瓜生 佳代	ポーランド	ヤギェロン大学	2007.07.03 ~ 2010.07.02	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施
71	山口 明	ルーマニア	ブカレスト大学	2009.07.03 ~ 2012.07.02	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
72	小栗 潔	ロシア	モスクワ国立大学	2008.06.22 ~ 2010.06.21	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
73	荒川 友幸	ロシア	モスクワ国立大学	2010.08.23 ~ 2013.08.22	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
74	渡辺 由美	シリア	ダマスカス大学	2007.07.20 ~ 2010.07.19	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
75	松本 剛次	シリア	ダマスカス大学	2010.07.06 ~ 2011.07.26	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
76	松島 幸男	エジプト	アインシャムス大学	2007.07.10 ~ 2010.07.09	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
77	久野 元	エジプト	アインシャムス大学	2010.08.21 ~ 2013.06.30	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
78	村上 吉文	エジプト	カイロ日本文化センター	2010.09.19 ~ 2013.10.06	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施
79	小久保 ひろし	ケニア	ケニヤッタ大学	2008.07.18 ~ 2010.07.17	派遣先国の拠点日本語教育機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援、アドボカシー事業等を実施

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (4) 日本語専門家派遣 (日本語専門家)

日本語専門家は、国際交流基金海外拠点における主任アドバイザー補佐として派遣される他、日本語専攻学科のある高等教育機関、中等教育機関等に派遣され、現地日本語教師の育成、教材・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク構築支援の他、必要に応じて授業を担当する等、派遣先国・機関における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援を行う。

合計額 184,553,308 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	中村 直子	韓国	ソウル日本文化センター	2009.08.16 ~ 2011.08.15	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
2	佐藤 修	中国	北京日本文化センター	2009.07.07 ~ 2012.07.06	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
3	工藤 聖子	インドネシア	インドネシア中等教育機関 (マナド)	2008.06.08 ~ 2010.06.29	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
4	岩田 敏和	インドネシア	インドネシア中等教育機関 (スマラン)	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
5	吉岡 千里	インドネシア	インドネシア中等教育機関 (バリ)	2008.06.08 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
6	秋山 佳世	インドネシア	インドネシア中等教育機関 (ジャカルタ首都圏特別地区: ジャボデタベック)	2009.05.31 ~ 2011.06.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
7	益山 智恵	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2009.06.21 ~ 2012.06.30	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
8	成田 高宏	インドネシア	スマラン国立大学	2010.06.27 ~ 2013.07.08	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
9	太原 ゆか	タイ	タイ東北部中等教育機関	2008.04.16 ~ 2010.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
10	内田 陽子	タイ	タイ北部中等教育機関	2007.04.17 ~ 2010.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
11	高塚 直子	タイ	タイ北部中等教育機関	2010.04.22 ~ 2013.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
12	武井 康次郎	タイ	タイ東北部中等教育機関	2010.04.22 ~ 2013.04.30	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
13	松井 玲子	タイ	バンコク日本文化センター	2008.04.03 ~ 2011.04.30	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
14	和栗 夏海	フィリピン	マニラ日本文化センター	2007.05.01 ~ 2010.06.17	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
15	横山 直子	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2009.08.15 ~ 2012.08.14	主として中等教育レベルの日本語教師の能力向上に資するため、担当地域内において日本語教師のための勉強会の開催や学校訪問、巡回指導等を実施
16	小松原 奈保	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.08.12 ~ 2013.08.19	ベトナム日本文化交流センター日本語専門家としてベトナム日本人材協力センター・ホーチミンに駐在し、同地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
17	伊藤 聡子	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2007.08.25 ~ 2010.08.24	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
18	久木元 恵	マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	2009.08.23 ~ 2011.04.12	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
19	石綿 由美子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
20	尾沼 玄也	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2010.03.22 ~ 2012.03.13	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
21	中村 聖子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
22	野口 真早季	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2010.03.22 ~ 2012.03.21	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
23	星野 智子	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2011.03.13 ~ 2013.03.12	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
24	五十嵐 裕佳	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
25	大脇 元	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
26	河西 隆宏	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2011.03.20 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
27	松浦 梓	マレーシア	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	2011.03.21 ~ 2013.03.20	マレーシア政府がマラヤ大学に設置したマラヤ大学予備教育部の学生に対する、日本の大学進学に必要な日本語能力の養成
28	チャンタボン 令	ラオス	ラオス国立大学	2007.08.20 ~ 2010.08.19	立ち上げ期にある機関で、原則として日本語上級専門家の指導を仰ぎながら、カリキュラム編成や教材の開発、日本語の授業を担当
29	相馬森 佳奈	ラオス	ラオス国立大学	2010.08.05 ~ 2013.08.05	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
30	佐藤 直樹	インド	ニューデリー日本文化センター	2010.06.08 ~ 2012.06.07	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
31	信岡 麻理	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2008.11.01 ~ 2011.10.31	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
32	森 文枝	オーストラリア	シドニー日本文化センター	2010.03.29 ~ 2013.03.28	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
33	森 勇樹	アゼルバイジャン	バクー国立大学	2009.06.05 ~ 2012.06.04	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
34	三森 優	ウクライナ	キエフ国立大学／キエフ国立言語大学	2008.06.19 ~ 2011.06.18	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
35	鈴木 恵理	カザフスタン	カザフ民族大学	2008.06.19 ~ 2010.06.30	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
36	因 麻衣子	カザフスタン	カザフ国立大学（カザフ民族大学の名称変更）	2010.08.10 ~ 2014.01.26	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
37	森田 衛	チェコ	カレル大学	2010.09.09 ~ 2013.09.08	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
38	柳坪 幸佳	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2008.06.19 ~ 2011.06.26	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
39	飯尾 幸司	ブルガリア	ソフィア大学	2010.07.05 ~ 2012.07.04	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
40	渡辺 裕美	ベラルーシ	ベラルーシ国立大学／ミンスク国立言語大学	2008.06.19 ～ 2010.06.26	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
41	石橋 美香	ベラルーシ	ベラルーシ国立大学／ミンスク国立言語大学	2010.08.01 ～ 2012.07.01	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
42	田中 香織	ポーランド	ヤギェロン大学	2010.06.19 ～ 2013.06.30	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
43	安河内 貴子	ロシア	極東国立人文大学	2008.06.19 ～ 2010.12.31	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
44	阪上 彩子	ロシア	サハリン国立総合大学付属経済・東洋学大学	2010.08.24 ～ 2012.08.23	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
45	渡邊 康二	ロシア	サハリン国立総合大学付属経済・東洋学大学	2008.06.21 ～ 2010.06.30	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
46	山口 紀子	ロシア	ノボシビルスク国立大学	2009.08.22 ～ 2012.08.21	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
47	水谷 梢太	サウジアラビア	キングサウド大学	2009.06.19 ～ 2012.06.18	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
48	斎藤 誠	シリア	ダマスカス大学	2007.08.20 ～ 2010.08.19	立ち上げ期にある機関で、原則として日本語上級専門家の指導を仰ぎながら、カリキュラム編成や教材の開発、日本語の授業を担当
49	有馬 芳枝	シリア	ダマスカス大学	2010.07.06 ～ 2011.07.26	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など
50	村木 佳子	トルコ	土日基金文化センター	2009.09.19 ～ 2012.07.13	派遣先国の拠点機関において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施
51	愛木 佳代	エジプト	アインシャムス大学	2009.08.13 ～ 2012.06.30	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
52	櫻井 勇介	エジプト	カイロ大学文学部日本語日本文学科	2008.08.20 ～ 2010.06.30	派遣先大学で日本語講座の担当ほか、カリキュラム、教材作成に関する助言、現地教師育成
53	佐藤 五郎	エジプト	カイロ日本文化センター	2009.09.25 ～ 2012.08.17	国際交流基金海外拠点において、任国あるいはその地域の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーキング支援等を実施

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
54	蟻末 淳	ケニア	ケニヤッタ大学	2010.08.12 ~ 2013.08.11	立ち上げ期にある機関における、カリキュラム編成や教材開発、日本語の授業の担当や現地教師に対する教授法等の指導・助言など

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (5) 国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）

日本語教員養成課程を有する日本国内の大学と協力し、日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生（インターン）として海外へ派遣する他、社団法人日本語教育学会との連携による、海外における日本語普及・日本語教育振興事業などを実施する。

合計額 73,574,808 円

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	愛知教育大学	タイ	スラタニ・ラチャバット大学	2010.08.05 ~ 2010.09.06	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
		タイ	チェンライ・ラチャバット大学	2010.08.05 ~ 2010.09.06	
		タイ	ラチャナカリン・ラチャバット大学	2010.08.05 ~ 2010.09.06	
		米国	ボールステイト大学	2010.08.21 ~ 2010.09.12	
2	岩手大学	中国	精華大学	2011.03.06 ~ 2011.03.20	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
			寧波大学	2010.09.12 ~ 2010.09.19	
3	桜美林大学大学院	米国	ハワイ大学マノア校	2011.02.20 ~ 2011.03.14	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
4	大阪樟蔭女子大学	ニュージーランド	オークランド大学	2011.02.19 ~ 2011.04.02	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
5	大阪大学	シンガポール	ニールン・ポリテクニク	2010.11.18 ~ 2011.12.06	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
		タイ	チェンマイ大学	2011.03.18 ~ 2011.10.16	
		ドイツ	デュッセルドルフ大学	2010.10.01 ~ 2011.07.23	
6	沖縄国際大学	中国	福建師範大学	2010.09.05 ~ 2010.09.26	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
7	学習院大学	オーストラリア	ヴィクトリア州教育省	2010.08.07 ~ 2011.09.05	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
			ニューサウスウェールズ大学	2011.02.26 ~ 2011.04.04	
8	神奈川大学	ハンガリー	カーロリ・ガシュパール・カルビン派大学	2010.09.07 ~ 2010.09.27	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
9	関西外国語大学	中国	蘇州科技学院 天津外国語学院 天津理工大学 北方工業大学	2011.02.20 ~ 2011.07.08 2010.09.01 ~ 2011.01.18 2011.02.22 ~ 2011.07.20 2010.08.30 ~ 2011.01.26 2011.02.19 ~ 2011.06.30	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
10	神田外語大学	タイ	ブラバー大学	2010.08.05 ~ 2011.02.05	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
11	京都外国語大学	韓国 中国 オランダ	仁川大学校 広東外語外貿大学 オランダ国立南大学	2011.02.10 ~ 2011.12.16 2010.08.26 ~ 2011.07.08 2010.08.26 ~ 2011.07.16	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
12	神戸松蔭女子学院大学	インドネシア	ハサヌディン大学	2011.02.11 ~ 2011.03.15	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
13	神戸女子大学	ニュージーランド	オークランド工科大学	2010.08.16 ~ 2010.09.03	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
14	神戸親和女子大学	オーストラリア	シドニー大学	2010.08.19 ~ 2010.09.05	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
15	国際基督教大学	オーストラリア	ヴィクトリア州教育省	2011.03.15 ~ 2011.03.27	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
16	埼玉大学	中国	北京師範大学	2011.03.13 ~ 2011.03.26	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
17	札幌国際大学	中国	吉林師範大学	2011.03.05 ~ 2011.03.26	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
18	山陽学園大学	韓国 中国	柳韓大学 大連大学	2010.09.01 ~ 2010.09.07 2010.09.04 ~ 2010.09.11	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
19	四国学院大学	韓国	韓南大学校	2010.10.24 ~ 2010.11.02	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
20	城西国際大学	韓国	東西大学校	2011.03.01 ~ 2011.03.31	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
		中国	西安外国語大学	2011.02.28 ~ 2011.04.05	
		中国	大連外国語学院	2010.10.09 ~ 2010.12.17	
		フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	2011.02.11 ~ 2011.03.20	
		ノルウェー	オスロ大学	2010.09.06 ~ 2010.12.05 2011.01.27 ~ 2011.09.25	
		ハンガリー	ブタペスト商科大学	2011.02.21 ~ 2011.03.08	
21	昭和女子大学	韓国	韓陽女子大学	2010.08.29 ~ 2010.09.11	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
		韓国	西江大学校	2011.03.16 ~ 2011.03.25	
		ベトナム	ハノイ国家大学人文社会科学大学	2010.09.12 ~ 2010.09.26	
22	信州大学	韓国	カトリック大学校	2010.08.27 ~ 2010.09.26	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
23	筑波大学	マレーシア	マレーシア工科大学	2010.07.16 ~ 2010.08.10	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成及び大学間ネットワーク構築に寄与
		フランス	パリ第七大学	2011.03.05 ~ 2011.03.27	
		スロベニア	リュブリャーナ大学	2010.07.03 ~ 2010.07.10	

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
24	東京外国語大学	中国	上海外国語大学	2011.03.06 ~ 2011.03.19	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
		中国	香港大学	2011.02.08 ~ 2011.02.18 2011.03.06 ~ 2011.03.12	
		シンガポール	シンガポール国立大学	2011.02.23 ~ 2011.03.17	
		タイ	シーナカリンウイロート大学	2011.02.04 ~ 2011.02.19	
		オーストラリア	オーストラリア国立大学	2011.03.02 ~ 2011.03.21	
		ニュージーランド	ウェリントン・ヴィクトリア大学	2010.09.12 ~ 2010.09.27	
		イタリア	ヴェネチア大学	2011.02.28 ~ 2011.03.15	
		スウェーデン	ルンド大学	2011.03.13 ~ 2011.03.30	
		スペイン	マドリード自治大学	2011.02.19 ~ 2011.03.14	
		スロベニア	リュブリャーナ大学	2011.02.27 ~ 2011.03.13	
		ルーマニア	ブカレスト大学	2011.03.09 ~ 2011.03.23	
25	同志社女子大学	オーストラリア	ヴィクトリア州教育訓練省	2010.08.07 ~ 2010.09.04	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
		ニュージーランド	OKCオセアニア交流センター	2011.02.19 ~ 2011.03.20	
26	東北学院大学	韓国	平澤大学校	2010.09.05 ~ 2010.09.18	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
		ドイツ	トリアー大学	2010.11.06 ~ 2010.12.05	
27	東北大学	韓国	忠南大学校	2011.03.08 ~ 2011.03.23	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
		タイ	サイアム大学	2011.01.30 ~ 2011.02.16	
28	日本女子大学	スロベニア	リュブリャーナ大学	2011.02.13 ~ 2011.02.27	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
29	一橋大学	中国	北京大学	2011.02.24 ~ 2011.03.13	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
30	姫路獨協大学	韓国 韓国 中国 タイ オーストラリア	慶南大学校 国民大学校 香港城市大学 College of Asian Scholars 西オーストラリア大学	2011.03.14 ~ 2011.04.03 2011.03.06 ~ 2011.03.19 2011.02.20 ~ 2011.03.19 2010.08.08 ~ 2010.08.27 2011.02.28 ~ 2011.06.22	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
31	広島大学	韓国 中国 インドネシア ニュージーランド 英国	建国大学校 中山大学 ブラウィジャヤ大学 オークランド大学 オックスフォード・ブルックス大学	2011.03.07 ~ 2011.03.18 2011.02.28 ~ 2011.03.18 2011.02.28 ~ 2011.03.18 2011.03.07 ~ 2011.03.25 2011.03.07 ~ 2011.03.25	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
32	文教大学	中国 オーストラリア	北京大学 シドニー大学	2011.02.24 ~ 2011.03.17 2011.03.04 ~ 2011.03.17	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
33	武庫川女子大学	韓国	韓南大学校	2010.08.16 ~ 2010.08.21	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
34	桃山学院大学	オーストリア フランス ドイツ ポーランド	ウィーン大学 セルジ・ポントワーズ大学 ハンブルク大学 ヤギェロン大学	2010.09.21 ~ 2011.02.18 2011.02.26 ~ 2011.03.20 2011.03.27 ~ 2011.08.07 2010.09.24 ~ 2011.02.18	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
35	盛岡大学	カナダ	Camosun College	2011.02.19 ~ 2011.03.07	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
36	安田女子大学	タイ	スィーパトゥム大学	2010.08.08 ~ 2010.09.11	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	受入機関	期間	事業内容
37	立命館大学大学院	韓国 中国 米国	暎園大学校 大連外国語大学 ハワイ大学カピオラニ校	2011. 03. 12 ～ 2011. 04. 02 2011. 03. 12 ～ 2011. 04. 02 2011. 02. 26 ～ 2011. 03. 19	日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣。海外の日本語学習の現場を経験させることによって将来の若手日本語教師の育成・発展及び大学間ネットワーク構築に寄与
38	日本語教育学会助成	東アジア地域区分 困難		2010. 04. 01 ～ 2010. 12. 31	社団法人日本語教育学会が実施する国際研究大会に対し助成金を交付

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (6) 日本語専門家派遣 (日本語指導助手)

同一機関もしくは近隣に派遣されている日本語上級専門家もしくは日本語専門家の指導のもと、国際交流基金海外拠点や高等教育機関、中等教育機関日本語講座における授業担当や日本語専門家業務の補佐を行う。

合計額 48,007,344 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	武内 博子	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.04.12 ~ 2012.04.11	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
2	町田 佳帆梨	インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	2010.04.12 ~ 2012.04.19	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
3	武田 素子	タイ	バンコク日本文化センター	2010.04.22 ~ 2012.04.21	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
4	三宅 絵梨	フィリピン	マニラ日本文化センター	2010.06.01 ~ 2012.05.31	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
5	福永 達士	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2008.08.25 ~ 2010.08.24	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
6	宇住庵 真弓	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.04.04 ~ 2012.04.10	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
7	寺岡 佑季子	ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	2010.08.26 ~ 2012.08.25	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
8	中村 紗弥子	イタリア	ローマ日本文化会館	2010.04.20 ~ 2012.04.19	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
9	村中 雅子	フランス	パリ日本文化会館	2008.07.09 ~ 2010.07.08	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
10	折笠 友美	フランス	パリ日本文化会館	2010.07.12 ~ 2012.07.11	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
11	下村 朱有美	ウクライナ	キエフ国立言語大学	2010.08.14 ~ 2012.08.13	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
12	宮崎 玲子	ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	2009.09.07 ~ 2011.03.06	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
13	中尾 有岐	ブルガリア	ソフィア大学	2008.08.16 ~ 2010.08.15	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
14	武田 英里子	ブルガリア	ソフィア大学	2010.08.30 ~ 2012.08.29	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援

日本語事業費

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
15	荒井 淳一	ポーランド	京都クラクフ基金日本語学校	2010.09.16 ~ 2012.09.15	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援。
16	岩崎 かほり	ポーランド	日本美術技術博物館 (THE CENTER OF JAPANESE ART AND TECHNOLOGY "MANGGHA")	2008.09.10 ~ 2010.09.09	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
17	宇都宮 絵理	ルーマニア	ブカレスト大学	2008.08.31 ~ 2010.08.31	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施
18	府川 未来	ルーマニア	ブカレスト大学	2010.09.13 ~ 2012.09.12	日本語専門家の指導の下、受入機関の日本語講座を担当。任国における日本語教育普及事業を支援
19	富永 正人	シリア	ダマスカス大学	2008.08.20 ~ 2010.07.31	日本語教育専門家の指導の下、日本語の授業、教材作成、教師研修の企画・実施、学校訪問等を実施

2. 日本語派遣・助成費 / (7) 日本語専門家派遣 (日本語シニア専門家)

日本語シニア専門家は、基金海外拠点主任アドバイザー等として派遣され、現地日本語教師の育成、教材・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク構築支援等、派遣先国・機関における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援を行う。

合計額 7,045,539 円

	氏名	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	伊勢田 涼子	インド	ニューデリー日本文化センター	2010.07.02 ~ 2013.07.01	任国の国際交流基金海外拠点において、任国の教師研修、教材作成・日本語教授法等に関するコンサルティング、教師間のネットワーク支援等を実施

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (8) さくら中核事業（基金海外拠点）

国際交流基金海外拠点が実施する、当該国・地域の日本語教育全体の普及・拡大・発展に寄与する波及効果の高い事業を実施する。

合計額 283,913,718 円

	実施機関	対象国	期間	事業内容
1	ソウル日本文化センター	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	韓国における日本語普及のため、アドバイザー業務、中等日本語教師研修、地方日本語教師会等への出講、釜山駐在日本語教育専門家による日本語教育アドバイザー業務、日本語講座、日本語教師サロン、日本語教育少額助成、シンポジウム「中等日本語教育の活性化」の事業を実施
2	北京日本文化センター	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国における日本語普及のため、全国中等日本語教師研修会、全国大学日本語教師研修会、巡回指導、小規模助成、日本語教育普及のための予備調査、日本語教育アドバイザー活動、日本語国際センター訪日研修修了生研修会の事業を実施
3	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	インドネシアにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、日本語教師研修、教師会活動支援、日本語教科書『さくら』支援、インドネシア日本語教育学会活動支援、日本語弁論大会、漢字カップ、日本語履修者高校生向け進路学習会、派遣専門家連絡会議、インドネシア外務省入省日本語試験、インドネシア日本留学フェア、日本文化センターにおける日本語教師研修講座及び日本語講座の事業を実施
4	バンコク日本文化センター	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	タイにおける日本語普及のため、教師研修、教師・学習者向け活動、セミナー・研修会・広域活動強化事業、日本語教育アドバイザー業務、日本語講座の事業を実施
5	マニラ日本文化センター	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	フィリピンにおける日本語普及のため、中等教育における日本語教育導入支援、教師研修の拡充、ネットワーク形成促進、学習者奨励活動、小規模助成の事業を実施
6	ベトナム日本文化交流センター	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ベトナムにおける日本語普及のため、中等教育支援事業（日本語導入試行プロジェクト）、大学教員等一般向け研修・セミナー、日本語学習者活動支援事業、日本語教育機関活動支援（小規模助成）、活動企画評価・成果広報の事業を実施
7	クアラルンプール日本文化センター	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	マレーシアにおける日本語普及のため、アドバイザー業務、中等教育支援、教師研修、学習者支援、日本語講座運営の事業を実施
8	ニューデリー日本文化センター	インド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	インド及び周辺諸国における日本語普及のため、中等教育段階の安定化・拡大プロジェクト、全インド及び南アジア地域協力連合（SAARC）諸国のネットワーク形成プロジェクト、中等教育段階の新規開拓プロジェクト、高等教育段階の新規開拓ならびに安定化プロジェクトを実施
9	シドニー日本文化センター	オーストラリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	オーストラリアにおける日本語普及のため、日本語教師短期集中研修会、ニュージーランド及びオーストラリア各州への支援とネットワーク強化、日本語学習者向けイベントの運営、現地日本語アドバイザー雇用経費支援、教材開発、一般学習者向け日本語講座運営およびJF日本語教育スタンダードとの連携の検証、小規模助成、オンライン日本語講座運営の事業を実施
10	トロント日本文化センター	カナダ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	カナダにおける日本語普及のため、日本語教育アドバイザー業務、日本語教育専門家の配置、ブリティッシュ・コロンビア州の日本語教育支援等検討のための調査、日本語講座開設・導入に向けてのアドボカシー活動、日本語能力試験実施機関関係者のための説明会・意見交換会、オンライン日本語教師養成研修講座、日本語教育ローカルグラントプログラムの事業を実施

日本語事業費

	実施機関	対象国	期間	事業内容
11	ロサンゼルス日本文化センター	米国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	米国における日本語普及のため、米国教育関係者招へい事業、日本語教育次世代リーダー育成研修、教員免許取得・維持のための特別助成、学習者奨励活動助成、謝金助成、教材購入助成、Advanced Placement Program (AP) 日本語関連事業への支援、日本語教育ミニグラント、情報交流、アドボカシーキットDVD作成の事業を実施
12	メキシコ日本文化センター	メキシコ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	メキシコにおける日本語普及のため、El Patioの発行を含む広報活動、弁論大会及び地方勉強会巡回指導のための地方出張、日本語教育アドバイザー業務の事業を実施
13	サンパウロ日本文化センター	ブラジル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ブラジルにおける日本語普及のため、日本語教育専門家出張指導、教員研修会等支援事業、日本語教師支援プログラム、日本語教材アドバイザー業務、弁論大会等支援事業、日本語学習者研修会等支援事業、教員養成課程立上支援事業、ブラジル日本語教育環境マップ調査、日本語教育機関立上支援事業の事業を実施
14	ローマ日本文化会館	イタリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	イタリアにおける日本語普及のため、日本語講座、セミナー・巡回指導、日本語教師会支援、日本語会話会、日本語教師研修の事業を実施
15	ロンドン日本文化センター	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	英国における日本語普及のため、初等教育機関への日本語教育導入、日本語研修事業、日本語プロモーション事業、日本語教育少額助成、日本語教師のためのオンライン日本語講座、日本語スピーチコンテスト、日本語情報提供・情報収集の事業を実施
16	マドリード日本文化センター	スペイン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	スペインにおける日本語普及のため、日本語教育シンポジウム、日本語教育セミナー、日本語教育機関巡回指導、小規模助成、日本語教育リソースセンター、日本語学習体験ブース出展の事業を実施
17	ケルン日本文化会館	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ドイツにおける日本語普及のため、日本語講座、日本語教師会支援事業、ベルリン日本語教師研修、アドバイザー業務の事業を実施
18	パリ日本文化会館	フランス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	フランスにおける日本語普及のため、アドバイザー業務、欧州日本語教師研修会、小規模助成（フランス日本語教師会シンポジウム）、学習者奨励事業（日本語スピーチコンテスト、マンガと日本語コンテスト）、日本語教師研修（日本語教師のための研修会、中等教育機関日本語教師研修）、日本語講座（中級講座）、日本語で遊ぼう（出張講座）、エキスポラング2011ブース出展の事業を実施
19	ブダペスト日本文化センター（交付金事業）	ハンガリー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ハンガリーにおける日本語普及のため、日本語講座、中東欧日本語教育研修会2010、アドバイザー活動の事業を実施
20	ブダペスト日本文化センター（運用益事業）	ハンガリー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ハンガリーにおける日本語普及のため、民間団体との協力による日本・ハンガリー協力フォーラム日本語教育特別事業（教師給与援助、教材寄贈、教師研修、教材開発、助成事業）を実施
21	モスクワ日本文化センター	ロシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ロシアにおける日本語普及のため、日本語講座、日本語教材セミナー、独立国家共同体（CIS）日本語弁論大会、独立国家共同体（CIS）日本語教師研究発表会、初中等教育日本語弁論大会、地方日本語教育拠点共催事業、教材セット制作・巡回貸与事業『となりの国 ニホンを知ろう！』、日本語教育フェスティバル、アドバイザー業務、モスクワ日本語学科長会議、独立国家共同体（CIS）専門家会議、図書閲覧室蔵書拡充の事業を実施

日本語事業費

	実施機関	対象国	期間	事業内容
22	カイロ日本文化センター	エジプト	2010.04.01 ~ 2011.03.31	エジプトにおける日本語普及のため、日本語講座、中東日本語教育セミナー、アドバイザー海外出張指導、国内教師養成、JF日本語教育スタンダード開発検証、小規模助成、リソースセンター充実、カイロ大学日本語学科創設35周年記念日本研究シンポジウムの事業を実施
23	中等日本語・日本文化紹介キット作成	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中等教育段階での日本語教育導入支援の一環として、広く汎用性のあるレアリア教材（日本語学習用実物教材）セットを作成、導入に取り組む教育機関等に提供

日本語事業費

2. 日本語派遣・助成費 / (9) さくら中核事業（非基金海外拠点）

国際交流基金海外拠点以外のさくらネットワーク中核メンバーが実施する、当該国・地域の日本語教育全体の普及・拡大・発展に寄与する波及効果の高い事業経費の一部を助成する。

合計額 20,787,948 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	韓国日本語教育研究会	韓国	2010.08.13	韓国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「全国日本語授業研究発表大会」の実施経費を助成
2	香港日本語教育研究会	中国	2010.07.15 ~ 2011.03.28	中国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「香港中等日本語教育の高校教師研修」、「中、上級日本語におけるITと生教材を利用した日本語教授法」及び「初・中等日本語教材購入」の実施経費を助成
3	インドネシア中学校・高等学校日本語教師会	インドネシア	2010.06.17 ~ 2010.06.19	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「インドネシア中学校・高等学校日本語教師会：地域間ネットワーク形成研究シンポジウム」の実施経費を助成
4	インドネシア日本語教育学会	インドネシア	2010.10.20 ~ 2010.10.21	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである、当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム「第二言語習得研究」の実施経費を助成
5	スラバヤ国立大学	インドネシア	2010.10.16 ~ 2010.10.17	インドネシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「日本語教師専門の能力を高める国際シンポジウム及びワーク・ショップ」の実施経費を助成
6	王立プノンペン大学	カンボジア	2010.05.01 ~ 2010.08.20	カンボジアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「地域巡回日本語・日本文化セミナー」の実施経費を助成
7	シンガポール日本語教師の会 (Japanese Language Teachers' Association in Singapore: JALTAS)	シンガポール	2010.05.31 ~ 2010.12.05	シンガポールにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「日本語フォトエッセイコンテスト」及び日本語教師を対象としたセミナー「青木直子教授招へい事業」の実施経費を助成
8	チュラロンコン大学	タイ	2011.03.01 ~ 2011.03.31	タイにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施するシンポジウム「非母語話者日本語教師の日本語の読解力及び読解教育能力の向上」の実施経費を助成
9	ハノイ国家大学外国語大学	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ベトナムにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした研修事業「ベトナムにおける高度な日本語・日本研究者養成プログラム」の実施経費を助成
10	ハノイ大学日本語学部	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ベトナムにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「教師会及びベトナム人学習者向け教材検討ワークショップ」の実施経費を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
11	貿易大学（ハノイ本校）	ベトナム	2011.01.14 ～ 2011.01.15	ベトナムにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施するシンポジウム「ベトナムにおける日本語使用人材の実態及び日本語教育促進」の実施経費を助成
12	ケラニア大学	スリランカ	2010.04.01 ～ 2010.09.30	スリランカにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する教材制作事業「日本語教科書Aレベルプロジェクト」の実施経費を助成
13	カナダ日本語教育振興会	カナダ	2010.08.13 ～ 2010.08.15	カナダにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム「カナダ日本語教育振興会2010年度年次大会」の実施経費を助成
14	サンフランシスコ州立大学	米国	2011.03.05 ～ 2011.03.06	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象としたシンポジウム「日本語実用言語学国際大会」の実施経費を助成
15	全米日本語教師会（NCJLT）	米国	2010.04.01 ～ 2010.11.30	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育関係者を対象としたアドボカシー事業「全米における日本語教育会での連携強化・アドボカシー促進プロジェクト」の実施経費を助成
16	全米日本語教師会連合（AATJ）	米国	2010.04.01 ～ 2010.10.31	米国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「全米規模の日本語教育団体（日本語教師会（NCJLT）、日本語・日本文学学会（ATJ））の統合に向けたワーキング・グループ会合」の実施経費を助成
17	社団法人メキシコ日本語教師会	メキシコ	2010.04.01 ～ 2011.03.31	メキシコにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師・学習者を対象とした「2010年度日本語教育シンポジウム」「2010年度日本語教師短期集中講座」、「第27回メキシコ日本語弁論大会」「日本語教育教材購入」「メキシコ日本人日本語教師支援プログラム」「第2回地方勉強会」「非日本語話者日本語教師のための研修会」等の実施経費を助成
18	ロンバルディア州ミラノ県中等教育監理監督局	イタリア	2011.01.01 ～ 2011.03.31	イタリアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教師を対象とした「北イタリア日本語教師セミナー：漢字指導法及びヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages：CEFR）とJF日本語教育スタンダードについての勉強会」の実施経費を助成
19	英国日本語教育学会（BATJ）	英国	2010.04.01 ～ 2011.03.31	英国における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「第6回大学生のための日本語スピーチコンテスト」、及び日本語教師・日本語教育関係者を対象とした「第13回英国日本語教育学会（British Association for Teaching Japanese as a Foreign Language：BATJ）」「セミナー・ワークショップ、研修会」の実施経費を助成
20	キエフ国立大学	ウクライナ	2011.03.25 ～ 2011.03.26	ウクライナ及び周辺国・地域における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育・日本語研究関係者を対象とした「第3回全ウクライナ国際公開シンポジウム」の実施経費を助成
21	ハンガリー日本語教師会	ハンガリー	2010.04.01 ～ 2011.03.20	ハンガリーにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「第18回日本語スピーチコンテスト」の実施経費を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
22	ヤギェロン大学	ポーランド	2010.05.04 ~ 2010.05.09	ポーランド及び周辺国・地域における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者を対象とした「国際日本学生ワークショップ」の実施経費を助成
23	極東国立人文大学	ロシア	2010.09.30 ~ 2010.10.01	ロシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語学習者及び日本語教師を対象とした「第15回ロシア極東・東シベリア日本語弁論大会」「第14回ロシア極東・東シベリア日本語セミナー」の実施経費を助成
24	ノボシビルスク国立大学	ロシア	2011.03.18 ~ 2011.03.20	ロシアにおける日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する「第3回シベリア日本及び日本語研究・日本語教育シンポジウム」の実施経費を助成
25	土日基金文化センター	トルコ	2010.08.21 ~ 2010.08.22	トルコ及び周辺国・地域における日本語教育の普及・拡大・発展を目的に、さくら中核メンバーである当該機関が実施する日本語教育関係者を対象とした「第3回トルク諸国日本語教育セミナー」の実施経費を助成

2. 日本語派遣・助成費 / (10) 日本語普及活動助成

国際交流基金海外拠点からの直接支援が届きにくい国において、当該国の日本語教育機関・団体が実施する日本語教師及び日本語学習者を対象とした日本語普及活動の実施経費の一部を助成する。

合計額 34,354,247 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	INI情報技術専門学校	モンゴル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成。更に日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
2	モンゴル国立科学技術大学	モンゴル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第9回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
3	モンゴル国立大学モンゴル言語文化学部	モンゴル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
4	モンゴル日本語教師会	モンゴル	2010.10.16 ~ 2010.10.17	モンゴルの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「2010年モンゴル日本語教育シンポジウム」の開催経費の助成
5	王立プノンペン大学	カンボジア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第14回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
6	ミエンチェイ大学	カンボジア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
7	シンガポール日本文化協会	シンガポール	2010.07.04	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第41回日本大使杯日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
8	ブルネイ教育省技術教育局生涯教育課	ブルネイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第24回ブルネイ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
9	ブルネイ・ダルサラーム大学	ブルネイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
10	マンダレーYMCA（ヒトセンター）	ミャンマー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
11	ミャンマー元日本留学生協会	ミャンマー	2010.06.05	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第11回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
12	ラオス国立大学	ラオス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成。また海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
13	ラオス日本人材開発センター	ラオス	2011.03.13	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第8回ラオス日本語スピーチ大会」実施経費の一部を助成
14	WS/JAYAウィド・ヤーカラ・バーリカー・ウィドヤーラヤ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
15	スリーパーリ・カレッジ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
16	スリランカ日本語教育協会	スリランカ	2010.11.17 ~ 2011.03.02	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第23回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
17	セントジョーサフ女子学校	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
18	セントラル・カレッジ・ピリヤンダラ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
19	ソニキマ日本語センター	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
20	ダルマセーナ・アーティガラ・バーリカー・ウィディヤラヤ・ケスパーワ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
21	ミス/ディーエス・セナーナーヤカ・ナショナル・スクール・ミーリガマ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
22	ミススリ・ナーノダヤ・イスル・セントラルカレッジ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
23	メタテクノ・ランカ	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
24	ルフナ大学	スリランカ	2010.04.01 ~ 2011.04.30	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部及び講師・スタッフの謝金の一部を助成
25	第一日本語学院	ネパール	2010.04.01 ~ 2011.03.01	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
26	ニューインターナショナル・ランゲージ・インスティテュート	ネパール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
27	ネパール日本語教師協会	ネパール	2011.06.18	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第30回日本語弁論大会2010年」実施経費の一部を助成
28	やさしさ日本語学院	ネパール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
29	イスラマバード国立現代語大学	パキスタン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第26回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
30	オイスカ エコロジカル ソーシャル ワイフエアー オーガネゼーション	パキスタン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
31	パキスタン・日本文化協会 (シンド)	パキスタン	2011.03.27	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第25回カラチ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
32	Japanese Universities Alumni Association in Bangladesh (JUAAB) 日本語学校	バングラデシュ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
33	カタカリ・ラングイズ・センター	バングラデシュ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
34	オーストラリア関係教育省特別助成 (西オーストラリア州教育訓練省)	オーストラリア	2009.04.01 ~ 2010.04.01	日本語専門家派遣終了後のオーストラリア関係教育省に対する現地化・自立化のための現地講師謝金助成
35	オーストラリア関係教育省特別助成 (ビクトリア州教育省)	オーストラリア	2009.04.01 ~ 2010.04.01	日本語専門家派遣終了後のオーストラリア関係教育省に対する現地化・自立化のための現地講師謝金助成
36	サモア国立大学	サモア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
37	アカデミックカレッジグループ・シニアカレッジ	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
38	ウェリントン・ヴィクトリア大学	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
39	オタゴ・サウスランド日本語教師会	ニュージーランド	2010.07.01	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「サウスランド日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
40	オタゴ大学	ニュージーランド	2011.01.20 ~ 2011.01.24	ニュージーランドの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的としたシンポジウム「認知言語学と第二言語習得」の開催経費の助成
41	オレワカレッジ	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
42	カンタベリー日本語教師会	ニュージーランド	2010.10.30 ~ 2010.11.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「『こんにちは』日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
43	グリーン・ベイ・ハイスクール	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
44	ビューヒル小学校	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
45	ヘンダーソン高校	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
46	マッセイ大学言語学科東アジアプログラム	ニュージーランド	2010.08.20	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第19回マッセイ大学日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
47	ラファエルハウス・ルドルフ・シュタイナー校	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
48	ロズミニカレッジ	ニュージーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
49	エルサルバドル大学外国語センター	エルサルバドル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
50	エルサルバドル大学人文科学部言語学科	エルサルバドル	2010.11.27	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第8回エルサルバドル日本語スピーチコンテスト 2010」実施経費の一部を助成
51	ハバナ大学外国語学部	キューバ	2010.06.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第15回ハバナの日本語弁論大会」実施経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
52	コスタリカ日本人会	コスタリカ	2010.08.27 ~ 2010.09.04	中米カリブ諸国の日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第2回中米カリブ日本語教育セミナー」の開催経費の助成。日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした、「第10回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
53	アペック大学	ドミニカ共和国	2010.11.14	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第1回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
54	中米大学	ニカラグア	2010.05.01 ~ 2011.02.18	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第13回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
55	ホンジュラス帰国留学生の会	ホンジュラス	2010.09.01 ~ 2010.10.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第4回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
56	社団法人在亜日本語教育連合会	アルゼンチン	2010.11.07	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第18回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
57	在ウルグアイ日本人会	ウルグアイ	2010.10.16	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第20回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
58	富士野	エクアドル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
59	コロンビア日系人協会附属日本語学校	コロンビア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第20回コロンビア・カリ日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
60	パラグアイ日本人会連合会	パラグアイ	2010.08.27 ~ 2010.08.28	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第22回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
61	ペルー日系人協会	ペルー	2010.10.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第30回全国日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
62	国立アイスランド大学	アイスランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第7回日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
63	ハムラフリズ高等学校	アイスランド	2010.04.01 ~ 2010.04.17	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第1回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
64	アイルランド日本語教師会	アイルランド	2011.03.06	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第9回アイルランド日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
65	アイルランド国立大学ヨーク校	アイルランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
66	アムステルダム経済大学	オランダ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
67	エラスムス大学ロッテルダム	オランダ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
68	ロッテルダム職業大学	オランダ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
69	日本文化研究会	ギリシャ	2010.05.08	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第30回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
70	スイス日本語教師の会	スイス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。スイス及びリヒテンシュタインの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第18回日本語教育セミナー」の開催経費の助成
71	ヨーテボリ大学文学部言語文学学科 日本語科	スウェーデン	2010.07.01 ~ 2011.06.30	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
72	オーフス大学	デンマーク	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
73	ノルウェー国立オスロ大学文化東洋 言語学部	ノルウェー	2010.08.15 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
74	フィンランド日本語日本文化教師の会	フィンランド	2011.03.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第26回日本語で語る会」実施経費の一部を助成
75	ヨウツェノ成人学校	フィンランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
76	ベルギー日本語教師会	ベルギー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
77	ルーヴェン・カトリック大学	ベルギー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成。欧州における日本語教育のカリキュラム・教材作成に参照できるものを作成することを目的に、ベルギー及びフランスの共催で実施するヨーロッパ言語共通参照枠 (Common European Framework of Reference for Languages : CEFR) の日本語に関する研究プロジェクト「CEFR B1・B2の言語活動・能力を考えるプロジェクトーB1レベルの口頭活動を考えるー」の実施経費の一部を助成
78	リスボン新大学言語研究所	ポルトガル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
79	エッシュ・シュア・アルゼット市フェ ル・クレマン公立中高校	ルクセンブルク	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
80	ルクセンブルグ市ギヤルソン公立中高校	ルクセンブルク	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
81	バクー国立大学	アゼルバイジャン	2010.04.01～2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第9回バクー日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
82	ウクライナ日本語教師会	ウクライナ	2010.09.25～2011.03.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第15回ウクライナ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。ウクライナの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第10回ウクライナ日本語教育セミナー」の開催経費の助成
83	ウズベキスタン国立世界言語大学	ウズベキスタン	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
84	ウズベキスタン日本語教師会	ウズベキスタン	2010.05.29～2011.03.28	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第19回ウズベキスタン日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。ウズベキスタンの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「ウズベキスタン日本語教育セミナー」の開催経費の助成
85	国立東洋学大学附属ユヌサバッドリツェー	ウズベキスタン	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
86	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
87	カザフスタン日本語教師会	カザフスタン	2011.03.12	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第13回カザフスタン日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
88	カザフスタン日本人材開発センター	カザフスタン	2010.10.01～2011.09.30	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
89	キルギス日本語教師会	キルギス	2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「2011年キルギス共和国日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
90	ザグレブ大学哲学部インド・極東学科 日本研究	クロアチア	2010.05.08	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回日本語発表会・スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
91	日本センター・プルノ	チェコ	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
92	アザジ名称世界言語大学	トルクメニスタン	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
93	キリル・メトディ国際基金	ブルガリア	2010.04.10	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第16回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
94	ミンスク国立言語大学	ベラルーシ	2010.04.01～2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
95	京都クラクフ基金日本語学校	ポーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
96	プロツワフ経済大学	ポーランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
97	ポーランド日本語教師会	ポーランド	2011.03.26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第32回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
98	モルドバ日本交流財団	モルドバ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第6回モルドバ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
99	日本語弁論大会実行委員会	ラトビア	2011.03.01	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第10回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
100	ラトビア大学現代言語学部アジア学科	ラトビア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
101	リーガ文化学校	ラトビア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
102	ルーマニア日本語教師会	ルーマニア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ヨーロッパの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的とした「第15回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム」の開催経費の助成。日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第15回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
103	日本UAE文化センター	アラブ首長国連邦	2010.06.13 ~ 2010.06.17	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第3回サマーキャンプ2010（日本文化紹介・日本語教育振興）」実施経費の一部を助成
104	イエメン日本友好協会	イエメン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第7回スピーチ・コンテスト」実施経費の一部を助成。海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
105	ハイファ大学	イスラエル	2010.06.06	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第2回全国日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
106	ヘブライ大学	イスラエル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
107	オマーン・日本友好協会	オマーン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成

日本語事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
108	シリア日本語教師会	シリア	2010. 11. 11	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第13回シリア日本語スピーチコンテスト」実施経費の一部を助成
109	アンカラ大学	トルコ	2010. 08. 20 ~ 2010. 08. 21	トルコの日本語教育関係者のネットワーク化の促進及び日本語教師のレベルアップを目的としたシンポジウム「第9回トルコ日本語教師会大会」の開催経費の助成
110	アンカラ日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2010. 10. 24	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第19回アンカラ日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
111	イスタンブール日本語弁論大会実行委員会	トルコ	2011. 03. 12	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第20回イスタンブール日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
112	エルジェス大学 文理学部	トルコ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
113	土日基金文化センター	トルコ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
114	ネヴシェヒル大学	トルコ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
115	ヨルダン大学	ヨルダン	2011. 03. 05	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第14回日本語弁論大会」実施経費の一部を助成
116	ドイツインスティテュート日本語クラス	モロッコ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
117	ハッサン2世モハメディア・カサブランカ大学ベンムシック校	モロッコ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
118	モハメッド5世大学	モロッコ	2010. 09. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
119	高等商業学院	コンゴ民主共和国	2010. 10. 01 ~ 2011. 08. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
120	元国費留学生会	コンゴ民主共和国	2011. 03. 01 ~ 2012. 02. 28	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成
121	アフリカ・アジア文化センター（ダカール高等経営学院）	セネガル	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
122	アフリカ高等経営センター	セネガル	2011. 02. 26	日本語学習者の動機付けやレベルの向上、日本語教育への周囲の関心を喚起することを目的とした「第3回セネガル日本語コンクール」実施経費の一部を助成
123	国立ドドマ大学	タンザニア	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、日本語講座を行うにあたり、日本語教師が必要とする教材・副教材の購入経費の一部を助成
124	日マ日本語学校	マダガスカル	2010. 04. 01 ~ 2011. 01. 31	海外の日本語学習の基盤を強化することを目的に、講師・スタッフの謝金の一部を助成

日本語事業費

3. 研修事業費 / (1) EPA研修 (交付金)

日本とインドネシア及びフィリピンとの経済連携協定に基づき、日本に受け入れる看護師・介護福祉士候補者に対し、来日前に現地で日本語研修を行う。

合計額 10,472,421 円

	事業名	対象国	実施場所	期間	事業内容
1	経済連携協定 (EPA) に基づくインドネシア人看護師・介護福祉士候補者日本語予備教育準備	インドネシア	教育省語学教員研修所	2011.01.21 ~ 2012.03.31	平成23年度EPA日本語予備教育事業の実施に向けての準備、調査を実施
2	経済連携協定 (EPA) に基づくフィリピン人看護師・介護福祉士候補者日本語予備教育準備	フィリピン	技術教育技能開発庁語学研修センター	2011.02.02 ~ 2012.03.31	平成23年度EPA日本語予備教育事業の実施に向けての準備、調査を実施

3. 研修事業費 / (2) EPA研修 (受託)

日本とインドネシア及びフィリピンとの経済連携協定に基づき、日本に受け入れる看護師・介護福祉士候補者に対し、来日前に現地で日本語研修を行う。

合計額 68,616,516 円

	事業名	対象国	実施場所	期間	事業内容
1	日本語講師派遣	インドネシア フィリピン	教育省語学教員研修所 技術教育技能開発庁語学研修センター	2011.03.13 ~ 2011.07.15	インドネシア及びフィリピンで実施されるEPA日本語予備教育事業のため日本語講師をインドネシアに14名、フィリピンに20名派遣
2	経済連携協定 (EPA) に基づくインドネシア人看護師・介護福祉士候補者日本語予備教育	インドネシア	教育省語学教員研修所	2011.03.22 ~ 2011.06.21	経済連携協定 (EPA) に基づく看護師・介護福祉士候補者に対する、インドネシアにおける日本語予備教育事業の準備・運営・管理
3	経済連携協定 (EPA) に基づくフィリピン人看護師・介護福祉士候補者日本語予備教育	フィリピン	技術教育技能開発庁語学研修センター	2011.03.28 ~ 2011.07.08	経済連携協定 (EPA) に基づく看護師・介護福祉士候補者に対する、フィリピンにおける日本語予備教育事業の準備・運営・管理

日本語事業費

4. 日本語能力試験費 / (1) 日本語能力試験実施

日本語を母語としない日本語学習者を対象として、日本語能力を測定・認定する日本語能力試験を財団法人日本国際教育支援協会と共催で実施。2010年からN1～N5の5レベルからなる新試験を施行（但し、第1回試験はN1～N3のみ実施）。国際交流基金は、海外の実施機関の協力を得て海外での試験実施を行い、2010年7月4日（日）実施の第1回試験には、海外13の国・地域、80都市で169,912名が受験。12月5日（日）実施の第2回試験には、海外57の国・地域、186都市で305,277名が受験した（第1回、第2回を合わせて、海外57カ国・地域187都市で試験を実施）。

合計額 220,699,077 円

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数
1	韓国	ソウル	17,772	17,859
2		釜山	5,539	6,038
3		全州	734	951
4		済州	549	642
5		仁川	3,167	2,823
6		水原	2,111	2,379
7		城南	1,636	1,892
8		安養	1,638	2,065
9		天安	917	1,157
10		清州	634	720
11		大田	1,652	1,856
12		光州	1,483	1,594
13		春川	714	868
14		高陽	—	1,327
15		富川	—	835
16		金海	412	453
17		梁山	—	195
18		大邱	2,301	2,742
19		亀尾	326	375
20		安東	130	146
21		昌原	—	1,030
22		馬山	945	—
23		晋州	319	443
24		蔚山	819	1,006
25		浦項	372	428
26	中国	北京	6,905	8,725
27		上海	13,675	17,715
28		長春	3,213	4,880
29		大連	10,157	13,775
30		広州	8,091	10,106
31		瀋陽	2,764	3,435
32		天津	3,921	5,241
33		ハルビン	2,942	3,499
34		西安	2,660	4,014
35		重慶	940	1,423
36		濟南	1,793	3,308
37		武漢	3,517	4,850
38		厦門	2,119	2,804
39		杭州	3,428	5,014
40		フフホト	374	533
41		洛陽	1,145	1,372
42		蘇州	3,747	5,154
43		青島	2,347	3,228
44		長沙	2,308	3,433
45		成都	1,629	1,653
46		南京	4,304	6,207
47		合肥	1,780	2,499
48		深セン	2,571	3,585
49		南昌	2,012	3,311
50		石家荘	786	1,169
51		太原	465	730
52		寧波	1,184	1,771
53		無錫	1,689	2,579
54		貴陽	280	594
55		ウルムチ	69	104
56		南寧	491	864
57		イ坊	776	1,185
58		揚州	730	1,598
59		昆明	493	625
60		海口	619	849
61		延吉	1,329	859
62		蘭州	427	579
63		保定	319	640

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数	
64	<台湾>	香港	2,984	9,602	
65		マカオ	—	244	
66		台北	10,031	22,617	
67		高雄	3,156	7,880	
68		台中	2,798	7,161	
69	モンゴル	ウランバートル	—	906	
70	インドネシア	ジャカルタ	985	2,382	
71		バンドン	—	1,493	
72		スラバヤ	—	1,215	
73		メダン	—	683	
74		ジョクジャカルタ	—	728	
75		パダン	—	398	
76		デンパサール	—	485	
77		カンボジア	プノンペン	344	702
78	シンガポール	シンガポール	—	4,244	
79	タイ	バンコク	2,532	8,568	
80		チェンマイ	183	1,376	
81		ソクラ	—	262	
82		コンケン	—	772	
83	フィリピン	マニラ	—	1,846	
84		セブ	—	436	
85		ダバオ	—	252	
86	ブルネイ	バンドルシリブガワン	—	66	
87	ベトナム	ハノイ	2,954	4,220	
88		ホーチミン	—	6,846	
89		ダナン	—	959	
90	マレーシア	クアラルンプール	—	1,948	
91		ペナン	—	394	
92		イボ	—	109	
93		コタキナバル	—	129	
94	ミャンマー	ヤンゴン	—	2,022	
95	ラオス	ビエンチャン	—	113	
96	インド	ニューデリー	555	1,127	
97		ブネ	349	1,053	
98		コルカタ	54	312	
99		チェンナイ	327	1,288	
100		バンガロール	—	493	
101		ムンバイ	150	714	
102		スリランカ	コロンボ	—	1,303
103		ネパール	カトマンズ	131	756
104		パキスタン	イスラマバード	—	28
105			カラチ	—	39
106	バングラデシュ	ダッカ	31	164	
107	モルディブ	マレ	—	12	
108	オーストラリア	キャンベラ	—	63	
109		ブリスベン	—	157	
110		パース	—	95	
111		シドニー	—	383	
112		メルボルン	—	203	
113		アデレード	—	36	
114	ニュージーランド	オークランド	49	209	
115		ウェリントン	7	71	
116		クライストチャーチ	22	61	
117	カナダ	バンクーバー	—	323	
118		トロント	—	309	
119		エドモントン	—	77	
120	米国	ロサンゼルス	—	489	
121		シカゴ	—	424	
122		ニューヨーク	—	370	
123		ホノルル	—	113	
124		アトランタ	—	244	
125		サンフランシスコ	—	497	
126		ワシントンD. C.	—	222	

	国・地域	都市	第1回 受験者数	第2回 受験者数	
127		シアトル	—	313	
128		フェイエットビル	—	70	
129		フィラデルフィア	—	145	
130		ボストン	—	170	
131		メキシコ	メキシコ・シティ	—	1,277
132		アルゼンチン	ブエノスアイレス	—	581
133		コロンビア	ボゴタ	—	53
134		パラグアイ	アスンシオン	—	201
135			アマンバイ	—	104
136			イグアス	—	109
137			エンカルナシオン	—	138
138			ピラポ	—	97
139		ブラジル	サンパウロ	—	2,164
140	ロンドリーナ		—	395	
141	ベレーン		—	97	
142	リオ・デ・ジャネイロ		—	280	
143	ポルトアレグレ		—	99	
144	ブラジリア		—	137	
145	サルバドール		—	56	
146			マナウス	—	91
147	ベネズエラ		カラカス	—	160
148	ペルー		リマ	—	358
149	アイルランド		ダブリン	—	68
150	ローマ		—	256	
151	イタリア		ミラノ	—	251
152			ヴェネツィア	—	204
153	英国	ロンドン	—	738	
154		アテネ	—	341	
155		ベルン	—	198	
156	スペイン	バルセロナ	—	341	
157		マドリッド	—	480	
158	デンマーク	コペンハーゲン	—	82	
159	ドイツ	デュッセルドルフ	—	386	
160		シュトゥットガルト	—	384	
161		ベルリン	—	218	
162		ハンブルク	—	109	
163	フィンランド	ヘルシンキ	—	165	
164	フランス	パリ	—	1,128	
165		リヨン	—	247	
166	ポルトガル	ポルト	—	66	
167		ウクライナ	—	534	
168	ウズベキスタン	タシセント	—	322	
169	カザフスタン	アルマトイ	—	182	
170		ビシュケク	—	190	
171	セルビア	ベオグラード	—	65	
172		ブノ	—	140	
173	ハンガリー	ブダペスト	—	463	
174	ブルガリア	ソフィア	—	203	
175	ポーランド	ワルシャワ	31	535	
176	ルーマニア	ブカレスト	—	397	
177	ロシア	モスクワ	—	1,004	
178		ウラジオストク	70	316	
179		ノボシビルスク	—	268	
180		ハバロフスク	—	162	
181		ユジノサハリンスク	—	128	
182		イルクーツク	—	118	
183			サンクトペテルブルク	—	346
184		トルコ	アンカラ	—	212
185		エジプト	カイロ	—	211
186		モロッコ	ラバト	—	166
187	ケニア	ナイロビ	—	131	
人 数 計			169,912	305,277	
総 計			475,189		

※台湾での実施は、財団法人交流協会が担当。

日本語事業費

4. 日本語能力試験費 / (2) 試験問題作成・分析評価

課題遂行のための言語コミュニケーション能力測定を重視した新しい日本語能力試験の問題作成、得点等化を行い尺度得点による得点算出及び試験に関する妥当性と信頼性を検証するため問題の分析評価を行った。また、旧試験に関する分析評価報告書を作成した。

合計額 157,724,506 円

	事業名	期間	事業内容
1	試験問題作成	2010.04.01 ~ 2011.03.31	旧試験の4段階(1級から4級)から5段階(N1からN5)にレベルを増設した新試験について、言語知識(文字・語彙・文法)、読解、聴解の問題をレベル別に作成すると共に、そのために必要な委員会を運営
2	分析評価	2010.04.01 ~ 2011.03.31	得点等化を行い、尺度得点により得点算出を行うと共に、試験問題の分析評価を行った。また、そのために必要な委員会を運営するとともに模擬試験を実施
3	旧試験の分析評価報告書作成	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語教育の研究者等に日本語テスト研究用資料を提供するため、『平成20年度日本語能力試験 分析評価に関する報告書』を刊行すると共に、『平成21年度第1回・第2回日本語能力試験 分析評価に関する報告書』の刊行を準備

日本語普及事業に必要な経費

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）
- (2) 指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）
- (3) 海外日本語教師研修（長期）
- (4) 海外日本語教師研修（短期）
- (5) 海外日本語教師研修（国別）
- (6) 受託研修（日本語国際センター）
- (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕
- (8) 受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕

2. 制作事業費

- (1) 日本語教材・教授法等開発・普及
- (2) 図書館運営（日本語国際センター）

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）

海外の日本語教育機関等の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、政策研究大学院大学との連携により、1年間で博士前期課程(修士)、3年間で博士後期課程(博士)を修了するものであり、各国における日本語教育指導者の養成を目的とする。

合計額 32,800,957 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	日本語文化研究プログラム (平成18年度博士課程)	インド	1	2007.03.26 ~ 2010.07.31	海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ナビン・クマール・パンダ(PANDA, Nabin Kumar : デリー大学)第4期生が参加
2	日本語文化研究プログラム (平成19年度博士課程)	モンゴル	1	2007.09.27 ~ 2010.09.26	海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ウラムバヤル・ツェツェグドラム(ULAMBAYAR, Tsetsegdulam : モンゴル国立科学技術大学)第5期生が参加
3	日本語文化研究プログラム (平成20年度博士課程)	インドネシア	1	2008.09.25 ~ 2011.09.30	海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、ナヨアン・フランキー・レイモンド(NAJOAN, Franky Reymond : マナド国立大学)第6期生が参加
4	日本語文化研究プログラム (平成21年度博士課程)	中国	1	2009.09.29 ~ 2012.09.29	海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程（日本語文化研究プログラム）に、張勇(ZHANG, Yong : 揚州大学外国語学院)第7期生が参加
5	日本語教育指導者養成プログラム (平成21年度修士課程)	中国 モンゴル ベトナム インド アゼルバイジャン ロシア	2 1 2 1 1 1	2009.09.24 ~ 2010.09.20	海外の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、各国の日本語教育における将来の指導的教師の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携して運営する1年間の修士課程（日本語教育指導者養成プログラム）。平成21年度は、6カ国より8名を招へい

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
6 日本語文化研究プログラム (平成22年度博士課程)	ベトナム	1	2010.10.01 ~ 2013.09.30	海外の日本語教育において優れた指導能力を有し、かつ日本の文化・社会全般に渡って知識と理解力を備えた、指導的な日本語教育分野関連での研究者、教師、及びその国の日本語教育施策の企画と推進の中心的な担い手となる実務者を養成する。政策研究大学院大学と連携して運営する3年間の博士課程(日本語文化研究プログラム)に、グエン・ソン・ラン・アイン(NGUYEN, Song Lan Anh: ハノイ大学) 第8期生が参加
7 日本語教育指導者養成プログラム (平成22年度修士課程)	中国	1	2010.09.30 ~ 2011.09.30	海外の現職日本語教師もしくは日本語教授経験者を対象として、各国の日本語教育における将来の指導的教師の養成を目的とする。政策研究大学院大学と連携して運営する1年間の修士課程(日本語教育指導者養成プログラム)。平成22年度は、6カ国より6名を招へい
	モンゴル	1		
	ミャンマー	1		
	スリランカ	1		
	パラグアイ	1		
	キルギス	1		

1. 研修事業費 / (2) 指導的日本語教師の養成(海外日本語教師上級研修)

より高度な専門知識、技能を求め、日本語教育実践において実現・解決したい具体的な課題を有する海外日本語教師を2カ月間招へいし、自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とする。

合計額 3,478,337 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 海外日本語教師上級研修	韓国	1	2010.05.26 ~ 2010.07.23	高度な専門知識や技能を必要とし、かつ各国・地域の日本語教育基盤整備のための日本語教材制作、教授法、カリキュラム開発等の課題や解決したい問題点を具体的に有する者を対象に自立的な問題解決能力の育成を図ることを目的とした集中研修。5カ国から8名を招へい
	中国	3		
	マレーシア	2		
	イタリア	1		
	チェコ	1		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (3) 海外日本語教師研修 (長期)

海外の中・高等教育機関等の日本語教師養成を図るため、日本語教授経験の比較的少ない教師及び日本語教師となることが既に決まっている者を約6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上と基礎的な日本語教授法の研修を行う。

合計額 65,100,569 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	海外日本語教師長期研修	中国	1	2010.09.15 ~ 2011.03.11	33カ国、53名の外国人若手日本語教師を約6カ月間招へいし、日本語運用能力の向上を図るとともに、教授活動、日本事情等を学習するための集中研修を実施
		モンゴル	2		
		インドネシア	5		
		カンボジア	1		
		タイ	2		
		フィリピン	2		
		ベトナム	4		
		マレーシア	1		
		ミャンマー	1		
		ラオス	1		
		インド	4		
		スリランカ	2		
		ネパール	1		
		オーストラリア	1		
		トンガ	1		
		エルサルバドル	1		
		キューバ	1		
		メキシコ	1		
		コロンビア	1		
		チリ	1		
		ブラジル	3		
		アゼルバイジャン	1		

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ウクライナ	1		
	ウズベキスタン	1		
	カザフスタン	1		
	キルギス	1		
	タジキスタン	1		
	ハンガリー	1		
	ブルガリア	1		
	ベラルーシ	1		
	ロシア	5		
	シリア	1		
	ケニア	1		

1. 研修事業費 / (4) 海外日本語教師研修 (短期)

海外の初・中・高等教育機関等の日本語教師の教授能力向上を図るため、日本語教師を2カ月間招へいし、日本語と日本語教授法及び日本事情の集中研修を実施する。

合計額 63,372,549 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 海外日本語教師短期研修 (春期)	モンゴル	1	2010.05.12 ~ 2010.07.02	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師8カ国21名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。海外日本語教師研修(国別)プログラムによる「マレーシア中等教育日本語教師研修」と合同で実施
	インドネシア	8		
	タイ	5		
	ベトナム	2		
	スリランカ	2		
	バングラデシュ	1		
	オーストラリア	1		
	ブラジル	1		

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	海外日本語教師短期研修 (夏期)	中国	1	2010. 07. 14 ~ 2010. 09. 03	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師31カ国から51名の日本語教師を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
		モンゴル	1		
		インドネシア	1		
		タイ	4		
		フィリピン	1		
		ベトナム	3		
		ミャンマー	1		
		インド	5		
		ネパール	2		
		バングラデシュ	1		
		ニュージーランド	1		
		カナダ	1		
		米国	1		
		メキシコ	1		
		ブラジル	3		
		ベネズエラ	1		
		英国	2		
		ギリシャ	1		
		スペイン	1		
		ドイツ	1		
		アルメニア	1		
		ウクライナ	1		
		ウズベキスタン	2		
		カザフスタン	1		
		セルビア	1		

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ポーランド	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	7		
	イラン	1		
	トルコ	1		
	マダガスカル	1		
3 海外日本語教師短期研修 (冬期)	モンゴル	2	2011. 01. 26 ~ 2011. 03. 18	日本語教師として2年以上の経験を持つ外国人日本語教師18カ国31名を2カ月間日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施。受託研修（日本語国際センター）プログラムによる「台湾日本語教師短期研修」と合同で実施
	インドネシア	1		
	カンボジア	1		
	フィリピン	2		
	ベトナム	2		
	ミャンマー	1		
	インド	4		
	スリランカ	1		
	ネパール	1		
	オーストラリア	2		
	メキシコ	1		
	ブラジル	1		
	ベルギー	1		
	ウクライナ	2		
	キルギス	2		
	タジキスタン	1		
	チェコ	1		
	ロシア	5		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (5) 海外日本語教師研修 (国別)

当該国政府（教育省など）、国際交流基金海外拠点、在外公館等から推薦を受けた日本語教師を対象に、国・地域別に現地事情や現地のニーズに応じたカリキュラムを編成し、研修を行う。

合計額 59,855,260 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	大韓民国中等教育日本語教師研修	韓国	55	2010.07.28 ~ 2010.08.27	韓国政府教育部が選抜した中等教育機関の日本語教師55名を約1カ月間招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する集中研修を実施
2	中国大学日本語教師研修	中国	40	2010.09.28 ~ 2010.11.18	中国の大学等高等教育機関の日本語教師40名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施
3	中国中等学校日本語教師研修	中国	20	2011.01.26 ~ 2011.03.18	中国の中等教育機関の日本語教師20名を約2カ月間招へいし、現状とニーズに即した日本語、日本語教授法、日本事情の集中研修を実施
4	インドネシア中等教育日本語教師研修	インドネシア	20	2010.04.14 ~ 2010.06.04	インドネシア教育省から推薦された中等教育機関の日本語教師20名を約2カ月間日本に招へいし、日本語力向上と日本事情の集中研修を実施
5	タイ日本語教師会研修	タイ	21	2010.04.04 ~ 2010.04.20	タイ国日本語日本文化教師協会（JTAT）との共催で実施する日本語教師研修。同協会に所属する若手日本語教師21名に対し、教材収集・文化体験等の研修を実施
6	マレーシア中等教育日本語教師研修	マレーシア	7	2010.05.12 ~ 2010.07.02	マレーシア教育省が実施している「中等教育日本語教師研修」の参加者7名を日本に招へいし、日本語、日本語教授法、日本事情等に関する約2カ月間の研修を行う。「海外日本語教師短期研修（春期）」と合同で実施
7	米国日本語教師研修	米国	20	2010.06.18 ~ 2010.07.18	全米日本語教師会連合（AATJ）と共催で、米国の初・中等、高等教育機関で日本語教育に従事している日本語教師20名を対象に、米国内の日本語教育状況に合わせた4週間の研修を実施

1. 研修事業費 / (6) 受託研修 (日本語国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 2,024,456 円

	事業名	所属国・地域	人数	期間	事業内容
1	日本語教材日中共同会議	中国	4	2011.01.07 ~ 2011.01.20	北京日本学研究中心が実施する日本語教材日中共同会議への協力
2	日露交流センター日本語教師派遣事業赴任前研修	日本	20	2010.08.01 ~ 2010.08.11	日露青年交流センターが主催する日本語教師派遣事業で派遣される日本人教師の派遣前研修の一部を日本語国際センターで実施
3	台湾日本語教師短期研修	台湾	2	2011.01.26 ~ 2011.03.23	財団法人交流協会より受託事業として、台湾の日本語教師2名に対する2カ月間の訪日研修を「平成22年度海外日本語教師短期研修（冬期）」と合同で実施

附属機関日本語国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
4 海外児童日本体験プログラム	モンゴル	1	2010. 09. 11 ~ 2010. 09. 19	博報堂が設立した財団法人博報児童教育振興会の受託を受け、同財団が実施する『世界のこども日本語ネットワーク推進事業』に協力。平成22年度は海外児童日本体験プログラムを実施（9カ国9名）
	タイ	1		
	マレーシア	1		
	ベトナム	1		
	インド	1		
	スリランカ	1		
	ハンガリー	1		
	ロシア	1		
	ルーマニア	1		
5 ロシア初中等教育日本語教師招聘プログラム	ロシア	12	2010. 12. 06 ~ 2010. 12. 17	日露青年交流センターが主催するロシア人若手日本語教師短期研修を日本語国際センターで受託し実施

1. 研修事業費 / (7) 受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語教師研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 21,775,278 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 東アジア若手日本語教師特別招へいプログラム	インドネシア	5	2010. 05. 27 ~ 2010. 07. 21	東アジア首脳会議（EAS）加盟国にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施（9カ国34名）
	カンボジア	2		
	タイ	7		
	フィリピン	3		
	ベトナム	6		
	マレーシア	6		
	ミャンマー	2		
	ラオス	1		
	インド	2		

附属機関日本語国際センター事業費

1. 研修事業費 / (8) 受託研修 (日本語国際センター) [サーク]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語教師研修事業を外部から受託し実施する。

合計額 13,061,738 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	南アジア若手日本語教師特別招へいプログラム	インド スリランカ ネパール バングラデシュ モルディブ	4 6 5 2 1	2011.01.16 ~ 2011.03.12	南アジア地域協力連合 (South Asian Association for Regional Cooperation : SAARC) 諸国にある日本語教育の拠点機関等から若手日本語教師を招へいし、日本語教育の普及および促進の担い手となる人材育成を行うプログラム。「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施 (5カ国18名)

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (1) 日本語教材・教授法等開発・普及

日本語学習の多様なニーズに対応すべく、教育の現場で必要とされている教材、教授法等を開発・普及する事業。具体的には、「JF日本語教育スタンダード」の開発・普及、インターネットを利用した日本語教材・情報提供、各種日本語教材の開発・提供等を実施。

合計額 118,272,779 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	JF日本語教育スタンダード	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語の教え方、学び方、学習成果の評価の仕方を考えるためのツール「JF日本語教育スタンダード」(以下、JFスタンダード)を冊子『JF日本語教育スタンダード2010』として2010年7月に刊行。国際交流基金が「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」を参考として独自に開発したJF Can-doを新規に169個『みんなの「Can-do」サイト』に格納し、累計格納数は342個(A1~B2レベル)。JFスタンダードに関連する国内外セミナー・研修会・共同研究等20件実施
2	JF日本語教育スタンダード教材制作	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	JFスタンダードの理念(「相互理解のための日本語」)を日本語教育の現場に反映させるにあたり、特に開発主体である国際交流基金の現場でJFスタンダードをどう適用していくか、具体的な実践のモデルを示すために準拠教材(コースブック)を開発した。本年度に制作した教材は、JFスタンダードが示す6つのレベルのうち、最も初歩のA1レベル(入門レベル)で、刊行予定は2011年5月。教材は、試用版として国際交流基金の海外拠点における直営講座で試用した後に、市販に供される予定
3	『みんなの教材サイト』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	主に海外で活動する日本語教師の教材作成を支援するウェブサイト「みんなの教材サイト」の運営。本年度は、読解素材の追加、ユーザーからの新規素材アイデア投稿のリスト化、ユーザーからの各素材へのコメントのリスト化、教材用素材の編集機能の開発、ユーザーからの問い合わせ管理機能の開発を実施。利用者数約6万2千名、年間総アクセス数(ページビュー)約491万件(平成22年度末現在)
4	日本語映像教材『エリンが挑戦!にほんごできます。』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	『エリンが挑戦!にほんごできます。』のテレビ放映について、国内ではNHK教育テレビ、海外ではNHKワールドおよびNHKワールド・プレミアム、テレビジャパンを通じて放映を行った(これらの放映は、平成22年度末で終了)。また各国のテレビ局との放映契約に基づいて、平成22年度末時点で10カ国13の放送局で放映を実施。株式会社凡人社から出版した『DVDで学ぶ日本語「エリンが挑戦!にほんごできます。」』の各巻累計販売部数は、Vol.1:14,209冊、Vol.2:8,372冊、Vol.3:7,702冊
5	WEB版『エリンが挑戦!にほんごできます。』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	2010年3月に日本語版を公開後、4月に英語版も追加公開した。平成22年度末時点での累計ページビュー数は約335万。さらに、日本語学習者の裾野を広げ、本サイトユーザーを増やすことを目的として、新たにスペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語版の追加制作を行い、平成23年5月より公開

附属機関日本語国際センター事業費

	事業名	対象国	期間	事業内容
6	『日本語教育通信』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本語教師を主な対象として、教材情報、授業のアイデア、日本事情や国内外の日本語教師による日本語教育情報等、最新で実用性の高い世界の日本語教育情報をウェブサイト上で提供した。日本語を母語としない教師の視点から授業や教授上のアイデアを提供する「授業のヒント」や「文法を楽しく」などのコーナーには、海外で教えている日本語教師から「興味深いポイントを取り上げてくれ参考になった」「使い方の違いが分析してあり楽しみに読んでいた」などの反響があった。平成22年度の総アクセス数は約17万件
7	『国際交流基金日本語教育紀要』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際交流基金の日本語教育事業に従事する日本語教育専門員、海外派遣日本語専門家、職員等が執筆した研究論文、実践報告等を掲載した論集。平成22年度は、第7号（950部）を発行し、国内外の日本語教育機関等に配布するとともに、基金ホームページ上にて公開
8	教授法教材『国際交流基金 日本語教授法シリーズ』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成22年度は、既刊の8巻に続いて、『日本事情・日本文化を教える』、『書くことを教える』、『教え方を改善する』の3巻を刊行。また、同シリーズの普及を進めるための一環として、同シリーズを利用した研修会等（平成22年度は国内計8回（ボランティア講座も含めて10回）、海外計2回）からの要請に応じ、日本語国際センター専任講師を派遣した
9	『基礎日本語学習辞典』（アラビア語版）	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成16年から制作支援を行ってきたアラビア語版が平成22年7月にエジプトの出版社シュルーク社から刊行された。平成22年度末時点で、全16言語版が世界各国・地域で出版された
10	『教科書を作ろう』	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外における中等教育段階の日本語教材開発を支援するための素材集。日本語版・英語版の配布及び在庫管理を実施。平成22年度は24機関に配布した

附属機関日本語国際センター事業費

2. 制作事業費 / (2) 図書館運営 (日本語国際センター)

日本語国際センターが招へいする海外の日本語教師など、内外の日本語教育関係者の教育研究活動のための専門図書館として、資料を収集・整理し、閲覧・貸出し・レファレンスなどの各種図書館サービスを提供。

合計額 17,333,693 円

	事業名	事業内容
1	図書館運営	<p>国内外における日本語教育の促進を目的として、日本語教科書・教材をはじめ、日本語教育、日本語、言語学、日本事情、外国語教育に関する資料や情報を収集・提供する専門図書館の運営</p> <p>①所蔵資料合計 (視聴覚資料を含む) : 47,362点+720タイトル (内訳: 図書 39,183点、視聴覚資料 6,668点、電子形態資料758点、絵教材326点、マイクロ資料 427点) (内訳: 雑誌・紀要・ニューズレター709タイトル、新聞11紙)</p> <p>②利用者数 (年間) : 19,744名 ③貸出点数 (年間) : 14,234点 ④レファレンス件数 (年間) : 1,750件</p>

日本語普及事業に必要な経費

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費

- (1) 図書館運営（関西国際センター）
- (2) 専門日本語研修（外交官）
- (3) 専門日本語研修（公務員）
- (4) 専門日本語研修（文化・学術専門家）
- (5) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）
- (6) 日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）
- (7) 日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）
- (8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修
- (9) アジア・ユースフェローシップ高等教育奨学金訪日研修
- (10) 地域交流研修（関西国際センター）
- (11) 在日外交官日本語研修
- (12) 受託研修（関西国際センター）
- (13) 受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕
- (14) 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕
- (15) 国内連携による日本語普及支援（招へい）
- (16) Eラーニング開発事業

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (1) 図書館運営 (関西国際センター)

関西国際センターの研修参加者の学習・研究をサポートするため、各分野の参考資料の充実と日本の文化・社会を広く紹介する各国語版資料等の収集、提供、及びレファレンスなどの各種図書館サービスを提供。

合計額 15,684,250 円

	事業名	事業内容
1	図書館運営	<p>主に関西国際センターが実施する研修参加者への学習・研究を支援する図書館として、日本関連の各分野の参考資料及び日本の文化・社会に関する各国語版資料等を収集し、利用者に、貸し出し、レファレンス、文献複写サービスを提供</p> <p>①所蔵資料合計 (視聴覚資料を含む) : 図書・視聴覚資料48,092点+雑誌等280タイトル 内訳: 図書 46,858点 視聴覚資料 1,234点 マイクロフィルム 1,378点 雑誌 280タイトル 新聞 18紙</p> <p>②利用者数 (年間) : 15,836名 ③貸出点数 (年間) : 8,548点 ④レファレンス件数 (年間) : 1,078件</p>

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度専門日本語研修 (外交官・4カ月コース)	ベトナム	1	2010.08.26 ~ 2010.12.22	外務省の協力を得て、諸外国の若手外交官を招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する研修を実施。当研修では通常日本語未習者を対象にしたカリキュラムを提供しているが、ベトナム外務省から受け入れ要請のあった当該参加者が日本語既習者であったため、専門日本語研修（文化学術専門家）の2学期・3学期と併せて4カ月のコースとして実施（1カ国1名）
3	平成22年度専門日本語研修（外交官・8カ月コース）	インドネシア	1	2010.10.06 ~ 2011.06.03	外務省の協力を得て、諸外国の若手外交官を招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する研修を実施（29カ国31名）
	カンボジア	2			
	タイ	1			
	フィリピン	1			
	ブルネイ	1			
	マレーシア	1			
	ミャンマー	2			
	ラオス	1			
	スリランカ	1			
	ブータン	1			
	トンガ	1			
	バヌアツ	1			
	アルゼンチン	1			
	コロンビア	1			
	アゼルバイジャン	1			
	アルメニア	1			
	グルジア	1			
	コソボ	1			
	セルビア	1			
	アフガニスタン	1			
	イエメン	1			

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	クウェート	1		
	シリア	1		
	トルコ	1		
	パレスチナ	1		
	スーダン	1		
	ガボン	1		
	ジブチ	1		
	ベナン	1		

1. 研修事業費 / (3) 専門日本語研修 (公務員)

諸外国の政府・公的機関、日本政府の代表部が置かれている国際機関の公務員等で、業務上の目的で日本語の習得を必要とする者を、8カ月間日本に招へいし、日本語及び日本事情の長期集中研修を実施する。

合計額 12,019,078 円

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1 平成21年度公務員日本語研修	モンゴル	1	2009. 09. 30 ~ 2010. 05. 28	外務省の協力を得て、諸外国の若手公務員を招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する研修を実施 (5カ国5名)
	インドネシア	1		
	ベトナム	1		
	ラオス	1		
	フィジー	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度専門日本語研修（公務員）	モンゴル	1	2010. 10. 06 ～ 2011. 06. 03	外務省の協力を得て、諸外国の若手公務員を招へいし、業務上必要な日本語能力の獲得及び日本文化・社会の理解を目的とした日本語・日本事情に関する研修を実施（8カ国8名）
		インドネシア	1		
		ベトナム	1		
		ラオス	1		
		モルドバ	1		
		イラク	1		
		イラン	1		
		ザンビア	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (4) 専門日本語研修 (文化・学術専門家)

特定の専門業務及び研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要とする専門家(研究者、大学院生、図書館司書、博物館・美術館学芸員等)の日本語学習を支援するため、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムにより、実用的な日本語能力を身につける研修を実施。

合計額 32,711,806 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度文化・学術専門家日本語研修 (2カ月コース)	韓国	5	2010.06.23 ~ 2011.08.18	特定の専門業務及び研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要とする専門家(研究者1名、大学院生27名、図書館司書4名、博物館・美術館学芸員1名)の日本語学習を支援するため、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムにより、実用的な日本語能力を身につける研修を実施 (15カ国33名)
		中国	5		
		インドネシア	4		
		フィリピン	1		
		米国	3		
		ブラジル	1		
		英国	1		
		ドイツ	1		
		フィンランド	2		
		アゼルバイジャン	1		
		ウクライナ	2		
		セルビア	1		
		ハンガリー	1		
		ロシア	4		
		エジプト	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度文化・学術専門家日本語研修（6カ月コース）	韓国 中国 シンガポール オーストラリア フィンランド フランス ウクライナ エジプト	4 5 1 1 1 1 2 1	2010.06.23 ～ 2011.12.22	特定の専門業務及び研究活動を円滑に遂行する上で日本語能力を必要とする専門家（研究者5名、大学院生8名、図書館司書2名、博物館・美術館学芸員1名）の日本語学習を支援するため、各専門業務の特色に配慮したカリキュラムにより、実用的な日本語能力を身につける研修を実施（8カ国16名）

1. 研修事業費 / (5) 日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）

海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本へ招へいし、講義・研修旅行等を通じて日本語及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 23,944,835 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	モンゴル カンボジア フィリピン ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス インド スリランカ ネパール バングラデシュ トンガ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2010.09.01 ～ 2010.09.15	海外の日本語教育機関等で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間日本へ招へいし、講義・研修旅行等を通じて日本語及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供（56カ国56名）

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	パプアニューギニア	1		
	マーシャル	1		
	ミクロネシア	1		
	エルサルバドル	1		
	グアテマラ	1		
	コスタリカ	1		
	ドミニカ共和国	1		
	ニカラグア	1		
	メキシコ	1		
	アルゼンチン	1		
	ウルグアイ	1		
	コロンビア	1		
	チリ	1		
	パラグアイ	1		
	ブラジル	1		
	ベネズエラ	1		
	ペルー	1		
	ボリビア	1		
	ウクライナ	1		
	ウズベキスタン	1		
	カザフスタン	1		
	クロアチア	1		
	セルビア	1		
	チェコ	1		
	ハンガリー	1		

附属機関関西国際センター事業費

事業名	所属国	人数	期間	事業内容
	ブルガリア	1		
	ベラルーシ	1		
	ポーランド	1		
	ラトビア	1		
	リトアニア	1		
	ルーマニア	1		
	ロシア	1		
	サウジアラビア	1		
	シリア	1		
	トルコ	1		
	バーレーン	1		
	ヨルダン	1		
	エジプト	1		
	チュニジア	1		
	モロッコ	1		
	ガーナ	1		
	ケニア	1		
	セネガル	1		
	マダガスカル	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (6) 日本語学習者訪日研修 (大学生) (関西国際センター)

海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を約6週間日本へ招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。

合計額 26,656,918 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度日本語学習者訪日研修 (大学生/春季)	カンボジア インド スリランカ メキシコ アルゼンチン コロンビア チリ アゼルバイジャン クロアチア ロシア トルコ	1 2 1 2 1 1 1 1 1 5 3	2010.05.12 ~ 2010.06.23	海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施する (11カ国19名)

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度日本語学習者訪日研修 (大学生／秋季)	インドネシア	3	2010. 10. 06 ～ 2010. 11. 17	海外の日本語教育の拠点機関から、日本語を学習している大学生を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深めるための研修を実施する（18カ国30名）
		タイ	3		
		ベトナム	4		
		ラオス	1		
		ブラジル	2		
		ウクライナ	2		
		カザフスタン	1		
		チェコ	1		
		ハンガリー	2		
		ブルガリア	1		
		ベラルーシ	2		
		ポーランド	1		
		ルーマニア	1		
		イラン	1		
		サウジアラビア	1		
		シリア	1		
		エジプト	2		
		ケニア	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (7) 日本語学習者訪日研修 (高校生) (関西国際センター)

海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を約2週間招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供する。

合計額 9,518,663 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度日本語学習者訪日研修 (高校生)	中国	3	2010.06.30 ~ 2010.07.14	海外の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を2週間招へいして、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供 (11カ国29名)
		モンゴル	3		
		インドネシア	2		
		タイ	3		
		フィリピン	1		
		ベトナム	3		
		マレーシア	2		
		インド	3		
		スリランカ	3		
		ブラジル	3		
		ロシア	3		

1. 研修事業費 / (8) 李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修

韓国の高等学校で日本語を学習し、優秀な成績を修めている者を約2週間日本へ招へいし、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供

合計額 5,607,686 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	韓国	30	2011.03.01 ~ 2011.03.11	韓国で日本語を学習し、日本の社会・文化に関心を持つ高校生を日本に招へいし、日本語及び日本の文化、社会及び日本語への理解を深めるとともに、日本の同世代の青少年との交流を行う。本研修は、去る平成13(2001)年に、東京JR新大久保駅で線路に落ちた乗客を助けるため、事故死した韓国人留学生、李秀賢 (イ・スヒョン) の勇気ある行動を顕彰するために実施しているもので、平成22年度で9回目 (1カ国30名)

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (9) アジア・ユースフェロースhip高等教育奨学金訪日研修

アジア各国の文化振興支援の一環として、アジア域内の将来を担う人材育成を支援するため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を対象に大学院留学前予備教育事業を行う。

合計額 37,152,636 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度アジア・ユース・フェロースhip高等教育奨学金訪日研修 (AYF研修)	インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア ミャンマー ラオス バングラデシュ	1 2 1 2 1 1 2 2 2 2 2	2010.07.20 ~ 2011.02.22	アジア各国の将来を担う人材の育成支援のため、日本の大学院へ留学するアジア11カ国の大学卒業者を招へいし、日本での日常生活及び大学院での研究生活に必要な日本語運用能力と、専門分野における発表能力の基礎及び日本文化・社会への理解を深めることを目的とした、長期集中研修を実施（11カ国18名）

1. 研修事業費 / (10) 地域交流研修（関西国際センター）

地域貢献の一環として、地方自治体等の機関が実施する事業のうち、主に日本語学習研修について協力・共同実施する。

合計額 703,833 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度インドネシア人介護福祉士候補者フォローアップ研修	インドネシア	36	2011.02.25 ~ 2011.02.27	平成20年度に外務省から受託したインドネシア人介護福祉士候補者日本語研修修了者に対するフォローアップ研修を実施（1カ国36名）

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度大阪府JET来日時研修	オーストラリア カナダ 米国 英国	1 4 7 1	2010.08.23 ~ 2010.08.25	語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により来日し、大阪府下の小・中・高等学校で語学指導に従事する外国語指導助手(ALT)に対し日本語研修を実施することにより、語学教育の充実と地域レベルの国際化の進展を図り、日本語及び日本の文化・社会への理解を深める一助とする（4カ国13名）
3	平成22年度大阪府クィーンズランド州日本語教師研修	オーストラリア	5	2011.01.04 ~ 2011.01.22	大阪府に協力し、同府の姉妹提携先であるオーストラリア・クィーンズランド州の日本語教師に対し日本語授業及び文化体験の研修を実施（1カ国5名）

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (11) 在日外交官日本語研修

在日外国公館のうち、独自で日本語学習環境を設けることが困難な公館に勤務する外交官を対象に、在日外交官の日本での生活、職場に必要な日本語の習得及び日本語能力の向上のための研修を実施する。

合計額 2,395,710 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度在日外交官日本語研修	モンゴル	1	2010.05.08 ~ 2010.11.06	在日外国公館のうち、独自で日本語学習環境を設けることが困難な公館に勤務する外交官を対象に日本語研修を実施。社団法人国際日本語普及協会に業務委託して実施（18カ国25名）
		フィリピン	1		
		ラオス	2		
		スリランカ	1		
		モルディブ	1		
		エクアドル	2		
		コロンビア	1		
		ジャマイカ	1		
		ドミニカ共和国	2		
		アゼルバイジャン	1		
		アルバニア	2		
		キルギス	3		
		ブルガリア	2		
		ルーマニア	1		
		チュニジア	1		
		スーダン	1		
		セネガル	1		
		南アフリカ	1		

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (12) 受託研修 (関西国際センター)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し、実施する。

合計額 8,376,154 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成22年度韓国国際交流財団職員研修	韓国	1	2010.06.23 ~ 2010.08.18	韓国国際交流財団の委託を受けて、同財団職員を対象とした日本語研修を関西国際センターの平成22年度文化・学術専門家日本語研修(2カ月コース)と合同で実施
2	平成22年度韓国慶尚南道日本語教員訪日研修	韓国	20	2010.07.21 ~ 2010.08.09	韓国・慶尚南道教育庁及び山口県教育庁の実施する慶尚南道日本語教員国外研修プログラムの一部を受託し、日本語能力の向上、日本語教育リソースの紹介、日本文化紹介等を目的とした日本語研修を実施
3	平成22年度香港中文大学大学生訪日研修	中国	10	2010.06.20 ~ 2010.06.29	香港中文大学の実施する訪日研修を受託し、実用的コミュニケーション能力の養成及び日本文化理解等を目的とした研修を実施
4	平成22年度インドネシア大学生日本語研修	インドネシア	2	2010.10.06 ~ 2010.11.17	大阪ガス国際交流財団の委託を受けて、インドネシアで日本語を専攻している大学生2名に対する訪日研修を、関西国際センターの平成22年度日本語学習者訪日研修(大学生/秋季)と合同で実施
5	平成22年度キャノン・ベトナム日本語学習者訪日研修	ベトナム	1	2010.09.01 ~ 2010.09.15	キャノン・ベトナムからの委託を受けて、ベトナム日本人材協力センターが毎年全国規模で実施している日本語スピーチコンテストの優勝者を2週間日本に招へいし、日本語・日本文化理解促進のための研修を、関西国際センターの平成22年度日本語学習者訪日研修(各国成績優秀者)と併せて実施
6	平成22年度ヴィクトリア州高校生訪日研修	オーストラリア	22	2010.06.30 ~ 2010.07.14	オーストラリア・ヴィクトリア州教育省の委託を受けて、日本語及び日本文化・社会への理解を深め、同世代の日本の若者と交流する機会を提供するための研修を、平成22年度日本語学習者訪日研修(高校生)と併せて実施
7	平成22年度オーストラリア・南オーストラリア州教師研修	オーストラリア	10	2011.01.04 ~ 2011.01.08	南オーストラリア州私学協会および南オーストラリア・カソリック教育協会からの委託に拠り、両協会の日本語教師養成講座に参加する小・中学校教師のための日本語及び日本事情の研修を実施
8	平成22年度ニュージーランド日本語教師日本語研修	ニュージーランド	6	2010.04.04 ~ 2010.04.17	関西ニュージーランド・センター及びアジア・ニュージーランド基金が共同実施するニュージーランド人日本語教師を対象とした2週間の招へい研修を受託し、日本語能力の向上、日本語教育リソースの紹介、現代日本事情紹介等を目的とした研修を実施
9	平成22年度ナポリ大学「オリエンターレ」日本語研修	イタリア	26	2010.04.07 ~ 2011.04.11	ナポリ大学が実施する訪日研修の一部を受託し、日本語授業を実施

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (13) 受託研修 (関西国際センター) [アセアン]

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し、実施する。

合計額 58,028,637 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	21世紀東アジア青少年大交流計画 東アジア日本語移動講座プログラム (カレッジ・イン・ジャパン)	インドネシア	10	2010.04.02 ~ 2010.04.30	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)の一環として、東アジア首脳会議(EAS)加盟諸国の日本語教育の拠点機関等から、日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供(4カ国40名)
		シンガポール	10		
		ベトナム	10		
		マレーシア	10		
2	21世紀東アジア青少年大交流計画: 東アジア日本語学習者研修プログラム (春季コース)	シンガポール	5	2010.05.12 ~ 2010.06.23	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)の一環として、東アジア首脳会議(EAS)加盟諸国の大学から日本語を学習している学生を招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修プログラムと、これまでの日本語学習を振り返り、今後の日本語学習計画を立てる「継続学習支援」プログラムを実施(5カ国20名)
		タイ	3		
		フィリピン	5		
		ミャンマー	1		
		インド	6		
3	21世紀東アジア青少年大交流計画: 東アジア日本語学習者研修プログラム (夏季コース)	シンガポール	5	2010.06.09 ~ 2010.07.21	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)の一環として、東アジア首脳会議(EAS)加盟諸国の大学から日本語を学習している学生を招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修プログラムと、これまでの日本語学習を振り返り、今後の日本語学習計画を立てる「継続学習支援」プログラムを実施(7カ国24名)
		ブルネイ	1		
		ベトナム	3		
		マレーシア	5		
		ミャンマー	2		
		オーストラリア	2		
		ニュージーランド	6		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
4	21世紀東アジア青少年大交流計画 ：東アジア日本語履修大学生研修 プログラム（秋季コース）	インドネシア カンボジア タイ フィリピン ベトナム ラオス インド	5 1 5 5 3 1 5	2010. 10. 20 ～ 2010. 12. 01	21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）の一環として、東アジア首脳会議（EAS）加盟諸国の大学から日本語を学習している学生を招へいし、「体験・交流・発信」を重視した日本語研修プログラムと、これまでの日本語学習を振り返り、今後の日本語学習計画を立てる「継続学習支援」プログラムを実施（7カ国25名）
5	21世紀東アジア青少年大交流計画 ：東アジア日本語移動講座プログラム（カレッジ・イン・ジャパン）〔実施準備〕			2011. 03. 01 ～ 2011. 03. 31	21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）の一環として、東アジア首脳会議（EAS）加盟諸国の日本語教育の拠点機関等から、日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する。平成23年度事業の実施準備

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (14) 受託研修（関西国際センター）〔サーク〕

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本語研修事業を、外部から受託し、実施する。

合計額 20,188,693 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	21世紀東アジア青少年大交流計画 ：南アジア日本語学習者招へいプ ログラム	インド スリランカ ネパール パキスタン バングラデシュ モルディブ	10 9 8 5 4 3	2011.03.02 ~ 2011.03.29	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)の一環として、南アジア地域の日本語教育機関から日本語を履修している青少年を招へいし、日本語の学習及び日本文化・社会への理解を深める機会を提供する研修を実施（6カ国39名）

附属機関関西国際センター事業費

1. 研修事業費 / (15) 国内連携による日本語普及支援 (招へい)

国際交流基金本部事業である「国内連携による日本語普及支援 (派遣・助成)」プログラムにより日本の大学で日本語教育を専攻している日本人学生を日本語教育実習生 (インターン) として受け入れている、海外の大学の学部学生を対象に訪日研修を実施し、海外と日本の大学間の連携強化を支援する。

合計額 49,733,814 円

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
1	平成21年度国内大学連携大学生 訪日研修(4カ月)	韓国	5	2010.02.03 ~ 2010.06.02	「国内連携による日本語普及支援 (派遣・助成)」プログラムにより、日本の大学で日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生 (インターン) として受け入れている、海外の大学の学部学生を対象に訪日研修を実施し、海外と日本の大学間の連携強化を支援 (12カ国20名)
		中国	4		
		インドネシア	1		
		シンガポール	1		
		タイ	1		
		ベトナム	1		
		オーストラリア	2		
		ニュージーランド	1		
		イタリア	1		
		ドイツ	1		
		ハンガリー	1		
		ルーマニア	1		

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
2	平成22年度国内大学連携大学生 訪日研修(6週間・夏季)	韓国 中国 タイ ベトナム マレーシア オーストラリア ニュージーランド イタリア オランダ ドイツ フランス スロベニア ハンガリー ルーマニア	8 15 3 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1	2010.07.28 ~ 2010.09.08	「国内連携による日本語普及支援(派遣・助成)」プログラムにより、日本の大学で日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生(インターン)として受け入れている、海外の大学の学部学生を対象に訪日研修を実施し、海外と日本の大学間の連携強化を支援(14カ国39名)
3	平成22年度国内大学連携大学生 訪日研修(6週間・冬季)	韓国 中国 インドネシア タイ オーストラリア ニュージーランド カナダ スペイン ノルウェー スロベニア	7 1 2 5 5 3 1 1 1 2	2011.01.12 ~ 2011.02.23	「国内連携による日本語普及支援(派遣・助成)」プログラムにより、日本の大学で日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生(インターン)として受け入れている、海外の大学の学部学生を対象に訪日研修を実施し、海外と日本の大学間の連携強化を支援(10カ国28名)

附属機関関西国際センター事業費

	事業名	所属国	人数	期間	事業内容
4	平成22年度国内大学連携大学生 訪日研修(4カ月)	韓国	4	2011. 02. 02 ~ 2011. 06. 01	「国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）」プログラムにより、日本の大学で日本語教育を専攻している学生を日本語教育実習生（インターン）として受け入れている、海外の大学の学部学生を対象に訪日研修を実施し、海外と日本の大学間の連携強化を支援（14カ国23名）
		中国	6		
		インドネシア	1		
		タイ	1		
		ベトナム	1		
		マレーシア	1		
		オーストラリア	2		
		米国	1		
		イタリア	1		
		オランダ	1		
		スウェーデン	1		
		スロベニア	1		
		ハンガリー	1		
		ルーマニア	1		

1. 研修事業費 / (16) Eラーニング開発事業

日本語学習者を幅広くサポートするため、Eラーニング教材の開発を行う。

合計額 25,090,302 円

	事業名	期間	事業内容
1	「日本語でケアナビ」サイトの運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	外国人ケア従事者の日本語教育をサポートするサイト「日本語でケアナビ」の運営。平成22年度は、例文検索機能を追加した
2	「アニメ・マンガの日本語」サイトの運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	2010年2月に公開した、クイズやゲームを通してアニメ・マンガの日本語を楽しく学べるEラーニング・サイト「アニメ・マンガの日本語」の運営。場面別表現や漢字クイズ、用語クイズなど8コンテンツを追加し、計13コンテンツに拡充。うち、5コンテンツのスペイン語、韓国語、中国語版を公開
3	日本語学習ポータルサイト「NIHONGO eな」の運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習に役立つウェブサイトやツールを紹介するポータルサイト「NIHONGO eな」を2010年4月に公開。コンテンツの一部の中国語版・韓国語版を追加した

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（日中交流センター）
- (2) 中国高校生の招へい事業
- (3) ネットワーク整備事業（派遣）
- (4) ネットワーク整備事業（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）
- (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）

4. 調査研究費

- (1) ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 12,219,313 円

	事業名	期間	事業内容
1	コミュニティサイト「心連心ウェブサイト」の運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	財団法人日中友好会館からの受託により、「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として同会館が日本に招へいする中国の高校生、中国に派遣する日本の高校生を対象に、来日を通して形成された人間関係の持続・発展を目的に、日中交流センターが管理運営する「心連心ウェブサイト」の一部を提供し、高校生交流のコミュニティ・ページを運営 URL: http://tanki.chinacenter.jp/

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (2) 中国高校生の招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の一般市民が中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 87,023,958 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	中国高校生長期招へい事業（第4期生）	35	2009.09.01 ～ 2010.07.24	日中両国の青少年の間で、「人と人」の心の繋がりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的に、中国の高校生を11カ月間日本に招へいし、日本の社会と文化を知り、日本人と直接交流する機会を提供。第4期生として計35名を招へい
2	中国高校生長期招へい事業（第5期生）	38	2010.08.31 ～ 2011.07.23	日中両国の青少年の間で、「人と人」の心の繋がりをつくり、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる信頼関係を築くことを目的に、中国の高校生を11カ月間日本に招へいし、日本の社会と文化を知り、日本人と直接交流する機会を提供。第5期生として計38名を招へい
3	中国高校生長期招へい事業 （フォローアップ）	—	2010.04.01 ～ 2011.03.31	中国高校生長期招へい事業で招へいした生徒が帰国した後、対日親近感の維持や卒業生同士のネットワーク拡大のため、交流会等のフォローアップを実施。また、必要に応じて、大学進学時のバックアップなどを実施

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (3) ネットワーク整備事業 (派遣)

中国各地で展開している対日理解促進のためのスペース「ふれあいの場」を中心に、日中の若い世代が主体的に参画することにより双方の友情と信頼関係を築くための派遣事業を行う。

合計額 8,321,634 円

	事業名	人数	受入機関	期間	事業内容
1	大学生交流事業 (広州)	11	中山大学	2011.03.08 ~ 2011.03.13	広州ふれあいの場において、日本の学生が中心となって企画を行なった日中交流事業(日本文化紹介イベント)を実施。日中学生会議を開催するとともに名古屋大学学生計11名が日中学生交流祭を実施
2	大学生交流事業 (南京)	5	金陵図書館	2011.03.10 ~ 2011.03.14	南京ふれあいの場において、日本の学生が中心となって企画を行なった日中交流事業(日本文化紹介イベント)を実施。名古屋大学大学院生5名が日本舞踊を実施
3	高校生「ふれあいの場」訪問事業	18	広島・四川中日友好会館	2011.03.20 ~ 2011.03.25	日中の青少年交流の促進と、ふれあいの場の知名度向上・活性化を目的に、成都ふれあいの場に、日本人高校生18名を派遣

日中交流センター事業費

1. 人物交流事業費 / (4) ネットワーク整備事業 (招へい)

日中の若い世代で双方の友情と信頼関係に基づいたネットワークの形成を促進するための招へい事業を行う。

合計額 1,777,233 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	重慶ふれあいの場関係者招へい	7	2011.02.13 ~ 2011.02.18	平成22年度に新規開設した「重慶ふれあいの場」の担当者及び協力機関の関係者を招へいし、「ふれあいの場」運営のための研修を実施するとともに、日本事情の理解を深めるために視察を実施。 重慶大学、重慶師範大学、四川外語学院、西南大学から7名を招へい。東京、京都を訪問

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (1) 中国「ふれあいの場」事業（共同設置）

現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する

合計額 15,317,773 円

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	成都ふれあいの場	成都	広島・四川中日友好会館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、日本語コーナー、新年会、日本の高校生訪中団受け入れ等の交流イベントに4,193人が参加
2	長春ふれあいの場	長春	長春図書館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国吉林省長春市の長春図書館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、仙台市訪問団、日本語教師研修会等のイベントに1,881名が参加
3	南京ふれあいの場	南京	金陵図書館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国江蘇省南京市の金陵図書館内に日中共同で「ふれあいの場」を設置。日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴のほか、講演会、J-POPコンサート、日本舞踊ワークショップ等のイベントに3,934名が参加
4	ふれあいの場担当者訪日研修			2010.08.23 ~ 2010.08.31	中国の8地方都市に展開中である各「ふれあいの場」から1名ずつ現場の担当者を招へいし、「ふれあいの場」運営に資する機関訪問、相互のネットワーク作りのための研修・視察を実施。8カ所から各1名、合計8名の担当者が参加
5	ふれあいの場巡回公演事業			2011.03.12 ~ 2011.03.21	日本文化と接する機会が限られている中国の地方都市にて、日中の音楽を通じた交流を図り、日本への親近感・関心を高めるために、「ふれあいの場」とも連携しつつJPOP公演を実施。当初、南京、青島、重慶で実施予定であったが、東日本大震災の発生により南京公演のみ実施

日中交流センター事業費

2. 催し等事業費 / (2) 中国「ふれあいの場」事業（助成）

現代日本の最新情報に接する機会が少ない中国の地方都市において、日本情報を発信し、中国の市民、とりわけ青少年層の日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 10,454,411 円

	助成対象機関	都市	期間	事業内容
1	黒龍江大学東語学院	ハルビン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	黒龍江大学東語学院に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語交流会、日本語スピーチコンテスト等のイベントに1,252名が参加
2	延辺大学日本学研究所	延吉	2010.04.01 ~ 2011.03.31	延辺大学日本学研究所に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、運動会等のイベントに2,104名が参加
3	連雲港少年児童図書館	連雲港	2010.04.01 ~ 2011.03.31	連雲港少年児童図書館に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、アニメ映画上映会、姉妹都市（佐賀市）訪問団との交流等のイベントに1,843人が参加
4	青海民族大学	西寧	2010.04.01 ~ 2011.03.31	青海民族大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語コーナー、留学生交流会等のイベントに6,966名が参加
5	重慶師範大学	重慶	2010.04.01 ~ 2011.03.31	重慶師範大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、開設記念の日本文化祭、日本語朗読コンテスト、ジャパンデイ（茶道ワークショップ）等のイベントに3,661名が参加
6	中山大学	広州	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中山大学に対し、日本の書籍、漫画や雑誌の閲覧、音楽の視聴ができる他、日中文化交流イベントを開催するための「ふれあいの場」助成事業による包括的支援を実施。書籍、雑誌の閲覧のほか、日本語作文コンテスト、日中学生交流祭等のイベントに975人が参加

日中交流センター事業費

3. 文化資料事業費 / (1) ネットワーク整備事業 (ウェブサイト構築・運営)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図るため、ウェブサイトを構築・運営。

合計額 20,999,166 円

	事業名	期間	事業内容
1	「心連心ウェブサイト」のサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日中間の交流事業を通じて生まれた友情の輪をつなぎ、広げていくための専用ウェブサイト「心連心ウェブサイト」の運営
2	「心連心ウェブサイト」のコンテンツ管理	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「心連心ウェブサイト」において、日本と中国の若い世代の間で人気の高い、映像、音楽、ファッション、グルメ等の最新情報、日本と中国の現役大学生による大学の紹介、アニメを通じた日本の文化の紹介等の情報を発信
3	「心連心ウェブサイト」のサイト広報	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「心連心ウェブサイト」の周知を図り、閲覧者を増やすために必要な各種広報を実施。平成22年度は日本語・中国語併記の専用チラシを作成

4. 調査研究費 / (1) ネットワーク整備事業 (交流担い手ネットワーク構築)

日中交流促進にかかる環境整備 (中国での日本文化紹介ラジオ番組など)。

合計額 5,170,752 円

	事業名	期間	事業内容
1	上海世界旅遊資源博覧会でのブース出展・広報	2010.05.27 ~ 2010.05.29	上海国際博覧会 (上海万博) 期間中に開催された「上海世界旅遊資源博覧会」(10.05.27~29)にブースを出展。各種展示や動画、配布資料を通して「ふれあいの場」「心連心ウェブサイト」の広報を実施
2	上海国際博覧会で『中国高校生が見た日本』上映	2010.06.07 ~ 2010.06.10	上海国際博覧会 (上海万博) 日本館にて国際交流基金主催邦楽公演と組み合わせて中国高校生長期招へい事業の第3期生・第4期生計4名の留學生活の様子を紹介する映像を上映
3	ラジオ番組制作・放送事業	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本の「流行音楽」と「流行情報」を中国語で紹介するラジオ番組『音楽新幹線』を制作し、中国国内各地域の主要FMラジオ局で放送

日本研究・知的交流事業に必要な経費

米州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔米州〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔米州〕
- (3) 日本研究機関支援〔米州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔米州〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔米州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔米州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔米州〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔米州〕
- (3) 人材育成グラント〔米州〕

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [米州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 8,215,340 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	北米日本研究調査	米国、カナダ	ハワイ大学マノア校	2010.12.01 ~ 2011.03.31	北米における日本研究の実態を把握するための日本研究日本研究機関、研究者等に関する調査の実施

米州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [米州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 7,247,066 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	カナダ日本研究学会	カナダ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	第23回年次大会「太平洋の隣国としての日本」(10.09.30~10.03)の実施に対し助成
2	ラテンアメリカ・アジア・アフリカ学会	メキシコ	2010.05.01 ~ 2011.03.31	コロンビアで開催された第13回ラテンアメリカ・アジア・アフリカ学会(11.03.23~25)の実施に対し助成

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [米州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的かつ中・長期的に行い、当該国の日本研究の基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 67,318,825 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	京都アメリカ大学コンソーシアム (Kyoto Consortium for Japanese Studies)	米国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	歴史文献研究を行う学生・研究者に向けた古文の夏期集中研修、京都上級・古典日本語サマープログラム開催のための助成を実施
2	五大湖周辺私立大学連盟 (Great Lakes colleges Associations : GLCA)	米国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究を専門としない教員に対する日本理解セミナー、訪日プログラムのための助成を実施
3	ハワイ大学マノア校	米国	2010.06.01 ~ 2011.05.31	ハワイ大学沖縄研究センターによる調査研究、図書拡充等に対する助成を実施
4	ケンタッキー大学	米国	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本語、ビジュアル・アーツの担当教員拡充のための給与助成を実施
5	バージニア大学	米国	2010.07.01 ~ 2011.06.30	歴史、メディア研究、人類学の担当教員拡充のための給与助成、図書拡充のための助成を実施
6	フロリダ国際大学 (Florida International University)	米国	2010.07.01 ~ 2011.06.30	社会学の担当助教授マシュー・マー (Dr. MARR, Matthew D.) 拡充のための給与助成を実施
7	イリノイ大学	米国	2010.08.01 ~ 2011.07.31	中西部地域の大学に所属する様々な分野の教員を対象とした中西部日本研究セミナー実施に対し助成。域内の大学が持ち回りでホストとなり、年5回2名の専門家により歴史・文学・宗教・政治などをテーマとしたセミナーを実施
8	コロラド大学ボルダー校	米国	2010.08.01 ~ 2011.07.31	日本研究大学院課程設置に向け、江戸文学・言語学・日本研究司書・歴史の教員ポスト新設、図書館収集資料の拡充に対し助成
9	マサチューセッツ工科大学 (MIT)	米国	2010.08.01 ~ 2011.07.31	MIT内にあるウェブ公開用教育ツール「Visualizing Culture : 画像を通してのアジアの歴史と文化」に日本近代史教育用パートを開発し追加する事業に対し助成を実施

米州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
10	フロリダ大学(Ubiversity of Florida)	米国	2010.08.15 ~ 2011.06.30	近代日本史担当助教授サラ・コブナー(KOVNER, Sarah C.)拡充のための給与助成を実施
11	ワシントン大学	米国	2010.09.15 ~ 2011.09.14	人文分野(建築、芸術史・歴史・演劇・宗教学等)での客員招へいを行い、周辺大学との連携、北西岸の大学における出張講義・セミナー等を行う事業に対して助成を実施
12	カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校	米国	2010.09.20 ~ 2011.09.19	日本近代史担当教員拡充のための給与助成、夏期講座の開講、客員教授の招へいのための助成を実施
13	東西センター(East West center)	米国	2010.11.01 ~ 2011.10.31	人文社会系の学部教員向けに行う日本文化・社会に関する2回の短期集中ワークショップの実施のための助成を実施
14	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	メキシコ	2010.05.01 ~ 2011.03.31	アジアアフリカ研究センター修士課程における「近代日本文学」講義のための専門家を派遣。また、論文執筆のための資料収集等のための訪日研修、寄贈図書受入のための図書情報整理のための助成を実施
15	サンパウロ大学	ブラジル	2010.05.01 ~ 2010.12.31	哲学文学人間科学部における「日本古典文学」講義のための専門家を派遣。また、学日本の大学との協定締結のための準備業務に対する助成を実施

米州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 49,551,815 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HARA, Kimie	ウォータールー大学歴史・政治学部 教授	カナダ	京都大学	2010.09.15 ~ 2011.03.14	サンフランシスコ後：対日講和条約と東アジア地域紛争
2	KNIGHT, Nancy Jane	トロント大学 特任教授	カナダ	早稲田大学	2010.11.23 ~ 2011.03.29	アジアにおける高等教育のリージョナライゼーション～日本の役割
3	QIN, Xiaoli	カナダロイヤルオンタリオ博物館 共同研究員	カナダ	独立行政法人奈良文化財研究所	2010.07.16 ~ 2011.07.15	カナダ・ロイヤルオンタリオ博物館所蔵の八木遺跡出土遺物に関する研究
4	BATES, Peter	ディキンソン大学 助教授	米国	立命館大学	2010.08.16 ~ 2011.07.15	地震の文化：関東大震災と大正時代の日本
5	BENDER, Shawn	ディキンソン大学 助教授	米国	東京大学	2010.08.20 ~ 2011.07.17	テクノユートピアが現実になる：ロボット工学と日本の高齢化社会マネジメント
6	BODIFORD, William Marvin	カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授	米国	東洋大学	2011.02.01 ~ 2011.06.22	徳川時代の知的生活における仏教徒の印刷物及び書籍
7	DENECKE, Wiebke	コロンビア大学バーナードカレッジ 准教授	米国	国際日本文化研究センター	2009.08.11 ~ 2010.05.10	中国・ギリシャの足跡－日本語世界とラテン語世界の作者たちと文学伝統
8	HESSELINK, Reinier H.	北アイオワ州立大学 准教授	米国	東京大学史料編纂所	2009.08.11 ~ 2010.05.10	長崎キリスト協会の盛衰 (1560年～1640年)
9	CONDY, Ian Richard	マサチューセッツ工科大学 助教授	米国	早稲田大学	2010.09.02 ~ 2010.12.02	日米におけるソーシャルメディア：社会的ネットワーク形成、ウィルスの流行、モバイル/デジタル時代における創造性の政治に対する民族学的アプローチ
10	IGARASHI, Yoshikuni	ヴァンダービルト大学 准教授	米国	大阪大学	2010.05.12 ~ 2010.09.11	帰郷：失われた大日本帝国からの遅すぎた帰還
11	KIMBROUGH, Randle Keller	コロラド大学 助教授	米国	南山大学	2009.05.30 ~ 2010.05.29	中世・近世仏教文学（説経節および古浄瑠璃）の翻訳プロジェクト
12	MAEDA, Tamaki	ブリティッシュ・コロンビア大学 講師	米国	東京芸術大学	2010.09.06 ~ 2011.09.05	1910年代～1930年代の日中芸術交流
13	McKELWAY, Matthew Philip	コロンビア大学 准教授	米国	学習院大学	2010.09.16 ~ 2011.08.31	絵のゆらぎ：扇絵の社会的文化的動向
14	O' BRIEN, Suzanne Gail	ボストン大学 助教授	米国	早稲田大学国際教養学術院	2010.05.10 ~ 2010.08.22	煙と鏡：終戦直後の日本におけるタバコ消費と広告を通して見た男らしさの再構成
15	REITAN, Richard	フランクリン大学 助教授	米国	東京大学	2009.08.27 ~ 2010.08.11	ガイストから精神へ： 明治日本における精神の系統

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
16	SANGO, Asuka	カールトン大学 助教授	米国	東京大学	2010.07.13 ~ 2011.07.12	後光：日本仏教儀礼における力と知識
17	SELINGER, Vyjayanthi Ratnam	ボウドイン大学 助教授	米国	国学院大学	2010.03.24 ~ 2010.08.10	14世紀日本の歴史文学における將軍像
18	SKABELUND, Aaron Herald	ブリガム・ヤング大学 助教授	米国	北海道大学	2010.03.23 ~ 2010.08.02	見えない男：戦後の日本の軍隊、1945-2005
19	HERNANDEZ CORRALES, Teresita	アジア博物館 館長	キューバ	東京大学資料編纂所	2010.07.03 ~ 2011.03.01	西洋における日本芸術のプレゼンス、芸術的・文化的特徴
20	BARRON SOTO, Maria Cristina Esperanza	イベロアメリカ大学 教授	メキシコ	京都大学	2010.01.16 ~ 2010.05.15	スペイン帝国時代のメキシコ、フィリピン、日本間の太平洋貿易
21	HIRATA, Helena Sumiko	フランス国立科学研究センター リサーチディレクター	ブラジル	一橋大学	2011.03.01 ~ 2011.07.31	介護に関する理論と実践ーフランス、ブラジル及び日本における高齢者介護労働者の比較研究
22	KUSANO, Darci Yasuco	サンパウロ大学 研究員	ブラジル	立教大学	2010.09.27 ~ 2011.09.26	寺山修司の世界

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェロースhip (論文執筆) [米州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 98,121,445 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	BECK, Jodie Nicole	マックギル大学 博士課程	カナダ	日本大学	2010.09.02 ~ 2011.11.01	フィクションを議論する：日本のフェミニストによる思索的なSF
2	BERTHIN, Michael Edwin	ロンドン大学 博士課程	カナダ	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 知能ロボティクス研究所	2009.05.10 ~ 2010.05.09	日本における社会ロボットの民俗学的検証
3	CALLAGHAN, Sean Koji	トロント大学東アジア学部 博士課程	カナダ	立教大学	2009.08.14 ~ 2010.08.13	衝突する集団性：戦前日本における生命、国家、そして作用
4	CRAIG, Christopher Robin Jamie	コロンビア大学 博士課程	カナダ	早稲田大学	2009.06.02 ~ 2010.06.01	近代中流階級：地方名望家と地方の発展 1890~1930
5	FUJIWARA, Gideon	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	弘前大学	2010.07.10 ~ 2011.07.09	19世紀日本における神霊とアイデンティティーー平田国学と津軽グループ
6	IVANOVA, Gergana Entcheva	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	上智大学	2010.06.01 ~ 2011.07.31	日本近世・近代における平安女性像の考察ー受容と創造の観点からー
7	LEE, Victoria	プリンストン大学 博士課程	カナダ	北里研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	1890~1930年日本の微生物学と産業における科学研究

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
8	OSENTON, Sarah Catharine	トロント大学 博士課程	カナダ	和光大学	2010.05.18 ~ 2011.01.17	パロディ、パラドックス、サイボーグ：現代日本芸術における歴史、身体、及び物語を議論する
9	PETRUCCI, Maria Grazia	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	カナダ	九州大学	2010.06.28 ~ 2011.03.27	引潮に乗って：近世初期（1550～1640）日本の海賊ネットワーク
10	SERVICE, Jonathan Keith Ranta	ハーバード大学 博士課程	カナダ	東京大学	2009.09.16 ~ 2010.09.15	明治日本における音楽の近代化
11	TSENG, Chih-mien (Adrian)	マクマスター大学 博士課程	カナダ	東京農業大学	2010.09.06 ~ 2011.01.05	中世中国の道教における自然と仏教における自然の概念比較
12	ARNOLD, Michael John	ミシガン大学 博士課程	米国	明治学院大学	2009.07.01 ~ 2010.06.30	毎日午後のセックス 日本ピンク映画の形ーボディと映画写真主義の欠如
13	ATHERTON, David Carl	コロンビア大学 博士課程	米国	立教大学	2010.03.13 ~ 2011.03.12	神が人であった時：中世本地物における家族、苦、と異郷
14	BUENO, Alex	プリンストン大学 博士課程	米国	東京大学	2010.09.23 ~ 2011.09.22	デジタル時代の東京：団地、アニメと都市空間
15	CLERICI, Nathen	ブリティッシュ・コロンビア大学 博士課程	米国	北海道大学	2010.09.20 ~ 2011.09.19	「純」でも「大衆」でもない：現代日本文学におけるサブカルチャーのインパクト
16	COOK, Ryan Marshall	イェール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	日本における映画と映画愛好家：戦後から現代に至るまでの芸術と政策
17	DEPIES, Gregory John	カリフォルニア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	日本における国際赤十字
18	DES JARDIN, Molly Catherine	ミシガン大学 博士課程	米国	日本大学	2009.09.14 ~ 2010.09.05	アイデンティティ編集：明治後半の個人全集と「作家」
19	ERDMANN, Mark Karl	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2009.08.09 ~ 2010.08.08	安土を解く：織田信長の城・都・イメージ
20	GOVELLA, Kristi Elaine	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	東京大学	2010.09.30 ~ 2011.09.29	浸透力のある政策決定：多数国間連携と日本における環境分野の協力
21	GUEST, Jeniffer	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.08.26 ~ 2011.08.25	漢文教育と近代以前の日本文学文化の基礎 (900～1250)
22	HAAG, Andre Robert	スタンフォード大学 博士課程	米国	立命館大学	2009.09.02 ~ 2010.09.01	大正文化と文学における不逞鮮人像
23	HEDBERG, William Christopher	ハーバード大学 博士課程	米国	東京大学	2011.01.11 ~ 2011.07.10	徳川時代の日本における白話文学の翻訳と受容
24	HEWITT, Robert Shannon	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.14 ~ 2010.09.13	幕末劇作の教訓癖及び検閲：狂言、馬琴及び歴史小説

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
25	ICREVERZI, Kimberly	カリフォルニア大学アーバイン校 博士課程	米国	明治学院大学	2010. 09. 15 ~ 2011. 09. 14	佐藤政権時代(1964~1972)の政治的映画の行き詰まり：「本当の女性」問題
26	MAYO, Christopher Michael	プリンストン大学 博士課程	米国	関西大学	2010. 08. 30 ~ 2011. 08. 29	絆：戦国時代の大夫氏による贈与と商品取引
27	McCLIMON, Sarah Jane	ハワイ大学 博士課程	米国	東京藝術大学	2009. 05. 16 ~ 2010. 05. 15	戦争と平和の軍歌：音楽、政治と記憶、1930から現代まで
28	MITCHELL, Arthur Moncrieffe	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009. 09. 16 ~ 2010. 08. 24	日本に於けるモダニズム文学、近代性と言語的批評
29	MORISHIMA, Yuki	ピッツバーグ大学 博士課程	米国	東京大学	2010. 09. 03 ~ 2011. 06. 02	天皇の肖像：政治的儀式的慣習
30	NAKAGAWA, Ikuyo	ニューヨーク市立大学 博士課程	米国	世田谷美術館	2009. 09. 14 ~ 2010. 06. 13	「世界のフジタ」論考：藤田嗣治作品におけるナショナリズムとインターナショナリズム
31	NELSON, Linsay Rebecca	南カリフォルニア大学 博士課程	米国	筑波大学	2010. 08. 20 ~ 2011. 07. 19	日本文学及び映画におけるモンスターチルドレン
32	NOONAN, Patrick James	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	明治学院大学	2009. 09. 29 ~ 2010. 09. 28	カウンターパブリックの創造：日本の1960年代における抵抗の美学と政治問題
33	RIO, Aaron Michael	コロンビア大学 博士課程	米国	東京大学	2010. 08. 01 ~ 2011. 07. 31	中世日本の禅画における漢詩と神聖な像
34	SAEKI, Eiko	ラトガース大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010. 09. 09 ~ 2011. 09. 08	曖昧な生命の境界：西洋医学と日本の地方の知識の結合
35	SAILE, Florian	カリフォルニア大学バークレー校 博士課程	米国	龍谷大学	2010. 09. 01 ~ 2011. 08. 31	成仏の可能性に関する議論—中世の法相論議における「五姓各別」の解釈の展開の研究
36	SCHIEDER, Chelsea Szendi	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010. 09. 04 ~ 2011. 09. 03	女性殉教者、革命派と魔性の女達：日本の新左翼におけるジェンダー、コミュニティ、暴力
37	TAKAI, Shiho	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010. 09. 26 ~ 2011. 09. 25	社会的垣根を越えて：江戸時代の人気舞台における犯罪と女性及び法
38	TIEDT, Andrew David	フォーダム大学 博士課程	米国	日本大学	2010. 06. 01 ~ 2010. 12. 31	高齢日本人のうつ病、社会的支援と孤独
39	TILTON, Ellen Cystal Boling	イエール大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010. 08. 05 ~ 2011. 08. 04	4人の戦後日本女性作家作品における家族と文学形式
40	VEKASI, Kristin E	ウィスコンシン大学マディソン校 博士課程	米国	東京大学	2010. 09. 02 ~ 2011. 09. 01	お役所仕事、米ドル紙幣：日中関係における政治紛争と経済論理
41	WALKER, Gavin	コーネル大学 博士課程	米国	一橋大学	2009. 09. 15 ~ 2010. 07. 15	分配経済：地域、時間、そして日本マルクス主義の危機、1922~1973

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
42	YANG, Timothy Ming-Chih	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2009.09.20 ~ 2010.09.19	モダニティの科学：植民地期とポスト植民地期の台湾
43	YI, Christina	コロンビア大学 博士課程	米国	早稲田大学	2010.09.19 ~ 2011.09.18	強制的なコラボレーション：1930年代から80年代にかけての韓国人作家による日本語文学作品制作と受容
44	SILVA, Victor Hugo Martins Kebbe	サンパウロ・サン・カルロス州立大学 博士課程	ブラジル	静岡大学	2010.06.01 ~ 2011.05.31	出稼ぎ労働者の親族関係

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [米州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 18,390,687 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	COATES, Kenneth Stephen	ウォータールー大学文学部 学部長	カナダ		2010.12.11 ~ 2011.01.04	日本のデジタルメディアコンテンツ革命
2	COMMONS, Anne Elisabeth	アルバータ大学 准教授	カナダ		2010.10.19 ~ 2010.12.16	「俊頼髓脳」
3	HOLROYD, Carin Lee	ウォータールー大学 助教授	カナダ		2010.12.02 ~ 2011.01.04	日本におけるナショナル・イノベーションと環境テクノロジー
4	MEYER, Rudiger	ノバ・スコシア芸術工芸大学デザイン学部 助教授	カナダ		2010.06.07 ~ 2010.07.20	包装：文化的側面と環境保護に資するデザイン
5	ADAL, Raja	ハーバード大学 教授	米国		2010.06.30 ~ 2010.08.27	現代的審美感の出番：日本とエジプトの美術教育
6	CLARK, Scott	ローズ ハルマン工科大学 教授	米国		2010.09.09 ~ 2010.11.03	住宅建築の文化的社会的過程
7	GEWERTZ, Deborah	アマーフト大学 教授	米国		2010.08.30 ~ 2010.09.28	麺の歴史物語
8	IWASAKI, Shoichi	カリフォルニア大学ロサンゼルス校アジア言語文化学部 教授	米国		2010.06.21 ~ 2010.08.04	危機に瀕した琉球言語、池間の研究に対するナラティブ・アプローチ
9	KAWANA, Sari	マサチューセッツ大学ボストン校 助教授	米国		2010.05.26 ~ 2010.07.24	どこにでも行ける扉を通して：エデュテイメント、マンガ及び日本のビジュアル文学様式
10	KIETLINSKI, Robin	コロンビア大学 研究員	米国		2010.08.24 ~ 2010.09.23	昭和時代の女性スポーツ
11	LONG, Hoyt	バード大学 助教授	米国		2010.10.05 ~ 2010.11.04	人々を結びつける技術：日本語と文学文化における社会ネットワーク

米州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
12	McDANIEL, Susan A.	レスブリッジ大学 教授	米国		2011.01.01 ~ 2011.01.31	高齢化し変化しつつある日本における厚生資本主義と生産/保護の結びつき
13	OTA, Pauline Ayumi	デポー大学 助教授	米国		2010.06.16 ~ 2010.07.28	有益な交換：丸山応挙と三井家
14	SHIBATANI, Masayoshi	ライス大学 教授	米国		2010.07.01 ~ 2010.08.28	日本の方言文法の論理的解説
15	SUNG, Hou-mei	シンシナティ美術館 キュレーター	米国		2010.05.24 ~ 2010.07.17	三つの分野：シンシナティ美術館の日本絵画
16	TOMONARI Noboru	カールトン大学 准教授	米国		2010.07.22 ~ 2010.09.07	兄弟の絆：在日韓国人監督映画作品における男性らしさとアイデンティティ
17	MARTINEZ RODRIGUEZ, Mauricio	ロスアンデス大学言語社会文化学部 講師	コロンビア		2010.06.30 ~ 2010.07.31	スペイン語版ウェブ百科事典「日本芸能（北海道編）」
18	NINOMIYA, Masato	サンパウロ大学法学部 教授	ブラジル		2010.11.19 ~ 2011.01.16	民事および刑事における日伯間の司法共助について
19	OKANO, Michiko	サンパウロカトリック大学 研究員	ブラジル		2011.02.07 ~ 2011.03.10	多文化共生の街—日本における中国、韓国及びブラジル移民の街
20	TSUKAMOTO, Ruth Youko	ロンドリナ州立大学 准教授	ブラジル		2011.01.08 ~ 2011.02.27	日本における家族経営農家及び農業政策

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 4,020,072 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催・協力機関	期間	事業内容
1	米国アジア研究学会 (AAS) ・アジア日本研究ラウンドテーブル	米国	ホノルル	ハワイ・コンベンション・センター	米国アジア研究学会 (AAS)	2011.03.30 ~ 2011.03.31	米国アジア研究学会 (AAS) の2011年次大会において「グローバルな観点から見たアジアの日本研究の現状と課題：アジアの時代における日本の位置づけ」ラウンドテーブルを実施。寺田貴教授 (早稲田大学アジア研究機構アジア研究所教授) をモデレーターとし、アジアのパネリスト4名 (タイ、フィリピン、ベトナム、インド) より各国事情のプレゼンテーションを実施
2	第2回日亜交流シンポジウム	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	外交官学校	在アルゼンチン大使館	2011.03.29 ~ 2011.03.29	日本とアルゼンチン両国間の関係を学術・文化的視点・テーマから考察、議論するシンポジウムをブエノスアイレスで実施。日亜両国における自然観、日亜両国における現代美術の動向と社会におけるその受けとめ方等のテーマで議論

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [米州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 13,710,033 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本専門家ワークショップ「現代日本の文化・社会へのアクセス」	韓国、オーストラリア、ニュージーランド、米国、スイス、ドイツ、ノルウェー、フランス	国際文化会館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外の日本情報専門家や若手日本研究者が国境や職業の枠を超えて結びつき、多様な面での相乗効果を得られる国際相互理解を通して人的ネットワークを構築することを目的に、現代日本情報の探索、収集技術に関するワークショップを開催
2	研究プロジェクト「子どもの移動と教育ー戦前・戦中期ブラジル日系移民子弟教育と在日ブラジル人児童・生徒の教育の状況比較研究ー」	米国、ブラジル	早稲田大学移民・エスニック文化研究所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	現在の金融危機がマイノリティである在日外国人の子どもたちの教育に負の影響を及ぼしつつある状態が、戦前のブラジル移民の子女教育において多くの言語的・文化的衝突を孕んでいた状態と類似することから、両者の実態を把握して共通点や相違点を見出し、子どもたちの移動と教育における問題点、解決策を模索。その成果を東京での国際会議の場で議論
3	「法と開発」をめぐる日本・ブラジルの対話 ~南米における「法と開発」の経験に関するグローバル・ガバナンスからの再検討~	ブラジル	名古屋大学	2010.05.01 ~ 2011.03.31	南米における「法と開発」の経験に関し、日本とブラジルの法学者がグローバル・ガバナンスの視点から検討する学術シンポジウムを日本で開催。南米を舞台として1960年代前後に行われたが十分な成果を上げなかった「法と開発」運動の再検討、最新の研究動向等を検討
4	カナダ・日本・韓国社会政策研究協力シンポジウム「成功社会に向けての政策イノベーション」	カナダ	トロント大学	2010.09.01 ~ 2010.11.30	カナダ・日本・韓国の3カ国の社会政策の研究者、政策立案者、研究機関や財団関係者などが会し、少子高齢化、人口多様化、家族問題、雇用と労働市場等に関し、カナダにおいてシンポジウム及び専門家によるワークショップを開催
5	リオデジャネイロ国際環境教育フォーラム	ブラジル	日伯文化協会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本及びブラジル国内の環境政策及び環境教育 (特に廃棄物関係) の専門家を招へいし、2016年オリンピック開催に向けてリオ市が解決すべき重要問題の一つである廃棄物問題についてブラジルで国際環境教育フォーラムを開催し、日本の環境教育・政策、社会システムを紹介
6	第8回国際日本研究学会及び第21回全伯日本語・日本文学・日本文化学会	ブラジル	ブラジリア大学	2010.04.01 ~ 2011.03.31	経済危機を踏まえ、アカデミズムの取りうる方法やオルタナティブな対処方法を提示することが問われている中で、日本研究のあり方等をどのように示すかを課題とし、「日本研究: 危機・挑戦・新パラダイム」のテーマの下、ブラジル、日本、米国、カナダの日本研究者が情報交換するとともに、研究成果を内外に向けて発信

米州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成 Grant [米州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 750,000 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本カナダ学術コンソーシアムフォーラム	カナダ	明治大学	2011.02.21 ~ 2011.02.27	「日本カナダ学術コンソーシアム」に属する日加両国大学の学生及び若手研究者が「資源と貿易」をテーマに、ディスカッション、ワークショップ等の共同作業を通して、両国における課題を検証し、解決策を探る。また、学生同士の交流を深め両国社会や文化に触れる機会とし、相互理解を促進

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕
- (2) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (4) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (6) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) 人材育成グラント〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,561,590 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	東アジア日本研究フォーラム	韓国	済州	ホテルロッテ済州	韓国日本学会 (Korea Association of Japanology)	2010.12.04 ~ 2010.12.05	東アジアにおける日本研究のネットワークづくりを目指す韓国日本学会主催の「東アジア日本研究フォーラム」にあたり、記念講演実施のため上垣外(かみがいと)憲一(大手前大学教授)を派遣
2	北京日本学研究中心設立25周年国際シンポジウム	中国	北京	北京外国語大学		2010.09.01 ~ 2010.10.30	「世界の日本学研究の趨勢と協力」をテーマに国際シンポジウムと分科会、複数の論文コンテストを2日間(10.10.16~17)実施。海外における日本研究の内容や役割が大きく変化しつつある中、世界各地の日本研究の抱える様々な課題を討議し、今後の関係者間での連携、ネットワーク形成を促進。中国側から徐永吉(中国教育部国際合作与交流司長)や陳雨露(北京外国語大学学長)等、日本側から丹羽宇一郎(駐中国大使)、青木保(元文化庁長官)等の要人の出席のもとに開催
3	日本研究セミナー	インドネシア タイ	ジャカルタ ジョクジャカルタ バンコク チェンマイ	インドネシア大学文学部講堂 ガジャマダ大学文学部講堂 タマサート大学教養学部 チェンマイ大学人文学部IT教室	インドネシア大学文学部 インドネシア日本研究学会 ガジャマダ大学文学部 タマサート大学教養学部(タープラチャン・キャンパス) チェンマイ大学日本研究センター	2011.01.24 ~ 2011.02.02	平成21年度に、浜口美由紀(国際交流基金関西国際センター図書館専任司書)がインドネシアで日本研究専攻の大学院生を対象に行った「日本研究:大学院生のための基礎文献セミナー:文化・言語・文学編」が好評を得、同様のセミナー開催の要望が強いことから、本年度は、同司書が歴史及び社会科学分野の基本文献を紹介するセミナーを実施。インドネシア、タイの2カ国を巡回

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本研究セミナー (フェロー・フォローアップ・セミナー)	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ	ジャカルタ日本文化センターホール アイルランガ大学人文学部講堂	アイルランガ大学人文学部	2011.02.24 ~ 2011.03.02	平成20年度知的交流フェローシップ(招へい)プログラムで来日した、モフタル・パボットインギ(PABOTTINGI, Mochtar)を招き、日本研究フェローシップ事業のフォローアップの一環として開催する研究成果発表セミナーを開催。日本からも小熊英二(慶応義塾大学教授)を派遣し、「ナショナル・ユニティと民主主義」をテーマに講演を実施
5	日本研究セミナー	シンガポール タイ	シンガポール バンコク バンコク	シンガポール国立大学 タマサート大学 チュラロンコン大学		2011.03.01 ~ 2011.03.06	山脇啓造(明治大学国際日本学部教授)をタイとシンガポールに派遣。チュラロンコン大学、タマサート大学、シンガポール大学の3カ所にて、学生、教員、専門家等を対象に、日本における外国人労働者を巡る諸問題と取り組みに関する講演を実施
6	日本研究セミナー	ベトナム インド	ハノイ フエ ホーチミン ニューデリー	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文社会科学大学 ニューデリー日本文化センター	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文社会科学大学	2011.02.20 ~ 2011.03.01	平成21年度にインドネシアで『日本研究：大学院生のための基礎文献セミナー：文化・言語・文化編』を開催し好評を得た。本年度は同様のセミナー開催のニーズが高いインド、ベトナムの2カ国を栗田淳子(国際交流基金JFICライブラリー主任司書)が巡回し、日本研究分野の大学生に基礎文献を紹介するセミナーを開催
7	日本研究セミナー	マレーシア	クアラルンプール ペナン コタ・キナバル	マラヤ大学 マレーシア科学大学 マレーシア サバ大学		2011.03.13 ~ 2011.03.19	渡邊頼純(慶応義塾大学総合政策学部教授)による、国際政治経済論(FTA/EPA)に関する講義をマラヤ大学(クアラルンプール)、マレーシア科学大学(ペナン)、マレーシア サバ大学(コタ・キナバル)にて実施
8	日本研究セミナー	オーストラリア	キャンベラ シドニー ブリスベン	オーストラリア国立大学 シドニー大学 クイーンズランド大学	オーストラリア国立大学 シドニー大学 クイーンズランド大学	2011.01.01 ~ 2011.03.31	ロジャー・バルバース(劇作家/東京工業大学世界文明センター所長)及びエドワード・リップセット(通訳・翻訳家/株式会社インターカム社長)を派遣、アニメやマンガ、現代アートの分野に比べ、比較的なじみの薄い日本文学に親しみを持ってもらうことを目的として、日本文学の中でも「ファンタジー」(幻想文学、SF、怪奇小説)を取り上げ、その歴史や魅力を紹介。他国の文学と比べながら、そこに「日本的な想像力」というものが見出せるのか、あるとすれば、どのような特徴があるのかなどについて、パネルディスカッションを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本研究セミナー	米国	ホノルル	ホノルル・コンベンション・センター	国立公文書館アジア歴史資料センター	2011.03.31 ~ 2011.04.03	米国アジア研究学会 (The Association for Asian Studies : AAS) の70周年記念総会にて国立公文書館アジア歴史資料センターが実施するパネルセッションに、濱下武志 (東京大学名誉教授)、赤木完爾 (慶應義塾大学法学部教授) 及び小谷賢 (防衛省防衛研究所戦史部主任研究官) の3名を講師として派遣
10	韓国における日本研究調査	韓国	-	-	世宗研究所日本研究センター	2011.02.15 ~ 2011.03.31	韓国における日本研究の現状を把握するため、日本研究機関・日本研究者に関する調査を実施
11	中国における日本研究調査結果の公開・刊行	中国	-	-	中華日本学会 南開大学日本研究院	2010.04.01 ~ 2010.08.30	平成21年度にデータベース化までを完了した中国における日本研究機関及び日本研究者に関する調査結果を、電子版ディレクトリー化してインターネット上で一般公開するとともに、各分野の専門家の執筆によるエッセイを加えた『中国的日本研究 (中国の日本研究)』を印刷・配布 (http://www.jpfbj.cn/Rerearch05.asp)

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 32,217,889 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	竹内 信夫	東京大学名誉教授	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側主任教授として、北京日本学研究中心の教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を基金およびセンターに与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
2	畔上 和子	北京日本学研究中心日本側事務主任	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側事務主任として、日本側主任教授、派遣教授を補佐するとともに、北京日本学研究中心内の日本側事務局の運営事務を担当
3	北村 明久	東北大学附属図書館事務部長	2010.04.19 ~ 2010.07.17 2010.08.27 ~ 2010.12.24 2011.02.21 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館の運営に関する助言等を行う図書館専門家を派遣
4	加藤 弘之	神戸大学 教授	2010.05.10 ~ 2010.06.03	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
5	豊島 正夫	東京外国語大学 教授	2010.05.17 ~ 2010.06.12	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当
6	佐々木 泰子	お茶の水女子大学 教授	2010.06.10 ~ 2010.06.30	北京日本学研究中心において、言語教育学コースの講義・学生指導を担当
7	別所 興一	愛知大学 教授	2010.06.16 ~ 2010.07.09	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
8	田中 公明	(財) 東方研究会 研究員	2010.06.28 ~ 2010.07.03	「日中文化比較」の講義の一部を担当
9	川島 真	東京大学大学院 総合文化研究科	2010.08.31 ~ 2010.09.24	北京日本学研究中心において、社会コースの講義・学生指導を担当
10	小出 慶一	埼玉大学教養学部 教授	2010.09.12 ~ 2010.10.01	北京日本学研究中心において、言語教育学コースの講義・学生指導を担当
11	吉田 忠	東北大学 名誉教授	2010.10.12 ~ 2010.11.09	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
12	川村 湊	法政大学国際文化学部教授	2010.11.01 ~ 2010.11.30	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当
13	花崗 誠	名古屋大学経済学研究科 准教授	2010.12.06 ~ 2010.12.30	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
14	定延 利之	神戸大学大学院国際協力研究科 教授	2010.12.08 ~ 2011.01.06	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
15	稲田 篤信	首都大学東京大学院人文科学研究科 教授	2011.03.03 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心において、日本文学コースの講義・学生指導を担当

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,986,843 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側主任教授として、日本側主任教授として、現代日本研究センターのコース運営等を担当
2	神長 善次	宇都宮大学国際学部 客員教授	2010.04.14 ~ 2010.04.17	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本文明とその国際比較」科目の講義
3	小林 三郎	一橋大学大学院国際企業戦略研究科 客員教授	2010.04.17 ~ 2010.04.21	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「未来価値創造論 (ホンダDNA: 挑戦・独創・革新の文化~本質的熟慮のススメ)」科目の講義及び講演「創造的な技術を生み出すホンダの企業文化」の実施
4	富本 幾文	政策研究大学院大学 特任教授	2010.04.25 ~ 2010.04.27	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本の政府開発援助 (ODA) と中国への期待」科目の講義
5	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2010.04.27 ~ 2010.04.29	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本の防災政策」科目の講義
6	原 洋之介	政策研究大学院大学 政策研究科 教授	2010.11.15 ~ 2010.11.18	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「農業と経済発展 日本の経験」科目の講義
7	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2010.12.06 ~ 2010.12.09	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「災害リスク・マネジメント」科目の講義
8	吉野 直行	慶應義塾大学 経済学部 教授	2010.12.29 ~ 2010.12.31	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「財政金融政策 (日本と中国との比較)」科目の講義
9	鈴木 賢	北海道大学 法学研究科 教授	2011.03.06 ~ 2011.03.09	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の法制度—日中比較の観点から」科目の講義
10	道下 徳成	政策研究大学院大学 准教授	2011.03.10 ~ 2011.03.12	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の外交・安全保障政策」科目での講義
11	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2011.03.14 ~ 2011.03.17	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本における国・地方関係と地方自治」科目の講義
12	樋原 伸彦	立命館大学経営学部 准教授	2011.03.22 ~ 2011.03.26	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「ベンチャー企業経営とベンチャーのためのEco-System 創出」科目の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 26,019,087 円

	事業名	氏名	現職	人数	受入機関	期間	事業内容
1	フェローシップ (博士9期)	王 雪 (WANG, Xue)	北京日本学研究中心 博士課程	1	東京大学 大学院 総合文化研究科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
2	フェローシップ (博士9期)	黄 毅燕 (HUANG, Yiyen)	北京日本学研究中心 博士課程	1	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
3	訪日研究 (修士24期生) 招へい	—	北京日本学研究中心 修士課程	20		2010.03.30 ~ 2010.08.03	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導
4	訪日研究 (修士25期生) 招へい	—	北京日本学研究中心 修士課程	20		2011.03.30 ~ 2011.08.02	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 10,250,438 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	博士第5期訪日研修招へい	23	2010.05.13 ~ 2010.05.27	北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第5期博士課程20名、その他随行3名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	博士第6期訪日研修（招へい準備）			北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第6期博士課程20名、その他随行3名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 13,192,645 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費 (教育・研究)	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心が実施する紀要「日本学研究」ほか日本研究図書の出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援
2	教材等購送	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送
3	文献複写	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援
4	図書館システム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システムにかかるソフトウェア保守費を支援
5	ネットワーク支援	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心設立25周年記念国際シンポジウム「世界における日本研究の趨勢と連携一次世代研究者への継承」(10.10.16~17)に関する実施経費の一部を負担

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

北京大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 345,644 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京大学現代日本研究センターに対し講義用教材、図書館資料を購送

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 89,427,118 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	高麗大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	研究・会議助成。日本研究の分野における日中韓3カ国の専門家や若手研究者を集め、東アジア国家間の交流と各国間の相互認識について多角的に議論する公開討論(2010.05)。東アジア共同体における日本研究の学問的な客観性を確保し、各国の文化ナショナリズムを警戒しつつアカデミズムによる東アジアの未来関係の構築を目指す
2	国民大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充支援として、政治学・政治史学分野を中心に近現代の日本に関する基礎資料を購送。図書出版助成として、各大学への教材としての導入を期待する基本図書「日本国内政治基本書」シリーズの第2弾(『日本の市民社会』『日本と東アジア』)を刊行
3	全南大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	研究・会議助成として、国際シンポジウム「他者から見た日韓関係」を開催(2010.10)。図書拡充支援として、明治～大正期の朝日新聞の復刻版セット等を購送
4	ソウル大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、日本専門家招へいセミナー(日本関連の学者、言論人、文化人などを招へいし、日本理解を深めるセミナー)、大学院生現地資料調査(大学院生の訪日調査研修事業)、教授引率日本現地研修の3種の事業を実施。図書拡充支援により、サブカルチャー関連の書籍、社会学、文学に関する単行本及び全集と、雑誌などを寄贈
5	翰林大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充支援により、日本学データベース及び近代日本思想史関連の図書を中心に基礎資料を寄贈
6	四川外語学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、講習会「日本学の方法論とその実践～日本研究の視点と姿勢を中心に～」を実施。図書拡充支援により、黄瀛とその交友関係、『銅鑼』同人の関係資料及び日中交流史、日本外交史、日本学研究に関する本、また一部の作家論など計37冊を寄贈。出版助成により、『詩人黄瀛～詩歌編・研究編』、『宮沢賢治と中国』、『「中国西南地域から考える日本～中国西南地域と日本学の可能性～」国際シンポジウム論文集』を出版
7	浙江工商大学日本語言文化学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	シンポジウム「漢字文化遡源-文字から書籍へ」及び「奈良時代と隋唐文明」に対する支援及び学術書2件の出版を支援。さらに、中国社会科学院日本研究所との共催で、若手研究者向けの「日本歴史文化」高級研修班事業にも協力
8	天津社会科学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	故・渡辺健(元・外務省職員)遺族より託された寄付金の運用益を活用し、日本研究関連図書を寄贈(渡辺健基金事業)
9	東北師範大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	学術誌『外国問題研究』及び学術書2件の出版を支援するとともに、教員、大学院生の訪日研修を実施
10	南開大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授2名を派遣するとともに、シンポジウム「日米欧文化外交」「『東アジアモデル』と地域発展」の開催を支援。図書拡充支援を行うとともに、機関誌、学術書の出版と研修事業への支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
11	復旦大学日本研究センター	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、伊藤正直（東京大学教授）が国際金融危機の歴史的位相をテーマに集中講義を実施。会議助成により、復旦大学日本研究センター設立20周年記念国際シンポジウム「東アジア共同体の構築における中日の競争と協力」を実施。図書拡充支援により、経済・政治に関連する図書300冊相当を寄贈。出版助成により、「復旦大学日本研究センター設立20周年記念文集」を出版
12	遼寧大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充として、日本研究関係の基本図書・研究文献を送付
13	国立政治大学	台湾	2011.03.01 ~ 2011.03.31	図書拡充として、日本研究関係の基本図書・研究文献を送付
14	インドネシア大学大学院日本地域研究科	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究客員教授派遣（直接派遣）、日本研究客員教授派遣（経費助成）、日文研・インドネシア大学大学院日本地域研究科国際シンポジウム（日本研究リサーチ・会議（助成））、修士課程運営支援、により包括的に支援を実施
15	シンガポール国立大学	シンガポール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	現代の東南アジア諸国における日本文化の役割について講義を実施するために日本から専門家を派遣するほか、同テーマによる日本文献研究、訪日プロジェクト、大学院生研究を支援
16	タマサート大学	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	修士課程の学生6名を対象とした約2週間の訪日研修事業、日本研究科の学生を対象とした講義の講師謝金、図書寄贈を支援
17	チュラロンコン大学文学部	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣、タイを中心にアジア各国から15名の発表者が参加し、日本語、日本文化、日本文学の3つの分科会からなる国際日本研究会議、修士課程の学生3名を対象とした約2週間の訪日研修の3プログラムを支援
18	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際会議「食と日本の現在」と図書寄贈を支援
19	デ・ラサール大学国際研究学科	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際研究学科日本研究プログラムの学部・修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣と、国際会議「民主党政権下の日本：政権交代と東アジアに与える影響」への助成を実施
20	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン	2010.10.01 ~ 2011.03.31	政治、経済、社会、芸術分野の書籍を中心に図書を寄贈
21	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学-東洋学部日本学科	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、日本の近現代及び記憶という観点から日本社会を考えるというテーマのもと「日本学集中講座」を実施。出版助成により、平成21年度から支援の日本研究論文集シリーズ第2巻『法制史』を編集・出版
22	貿易大学	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、高橋由明（経営学：中央大学教授）を約3週間派遣。「企業経営の国際化」をテーマに日本の企業経営・経営学の発展についての集中講義と講演を実施。ハノイとホーチミンの貿易大学での講義・講演を行うほか、中部の経済中心都市ダナンでも講演
23	ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、島善高（早稲田大学教授）が日本近代史、法制史をテーマに集中講義を実施。会議助成により、日本とメコン川流域の歴史的関係、新政策、日本の果たす役割を分析・展望するシンポジウム「日本とメコン川地域－歴史的かかわり」を実施。図書拡充支援により、日本関連図書、特に歴史・国際関係・経済・文学・日本ベトナム関係などの分野に関する図書を寄贈

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
24	マラヤ大学人文社会学部東アジア研究 学科日本研究プログラム	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	石井由香（立命館アジア太平洋大学教授）を客員教授として派遣（10.07.01～09.28） したほか、4件の研究・会議に対して助成
25	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北條賢三（大正大学名誉教授）を客員教授として派遣（11.01.11～03.04）した他、 英文の日本研究図書を寄贈
26	デリー大学東アジア研究科	インド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	伊勢崎賢治（東京外国語大学教授）を客員教授として派遣（10.08.01～10.03）した ほか、図書拡充支援を実施
27	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	大学院生・学生向けのワークショップ「アジア・パシフィックウィーク2011」への支 援、日本研究に関する電子出版支援、日本研究者のディレクター調査支援を通じた 包括的な支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 23,672,017 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	韓国日本文化学会 (The Japanese Culture Association of Korea)	韓国	2010.04.01 ~ 2010.07.03	韓国の主要な日本研究学術団体が年1回共催する国際学術大会。平成22年度は、「日韓関係100年、過去・現在・未来」というテーマで南ソウル大学校で開催
2	韓国日本学会 (Korea Association of Japanology)	韓国	2010.12.04 ~ 2010.12.05	東アジア共同体形成のための共通価値や理念について日・中・韓の研究者が討論する国際フォーラム。済州島で開催
3	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	1990年に設立された同学会は、インドネシアにおける唯一の日本研究学会であり、国際シンポジウムの開催や地方での一般向けレクチャー実施、ウェブサイト運営、ジャーナル発行に係る活動経費の一部を支援
4	タイ国日本研究ネットワーク	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	タイの主要大学の若手・中堅の日本研究者が中心となり2007年5月に設立された全国的ネットワークが実施する事業。年次総会 (学会併催) をチェンマイ大学で開催 (2010.10) したほか、日本に関する研究発表の場を提供すべく、22年度より新たにアカデミック・ジャーナルの企画を開始。また、タイ学術研究基金 (TRF) との協力で、メコン諸国から日本研究者を年次総会に招へいた
5	《元日本留学生会》 インドネシア元留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するインドネシアの元日本留学生協会の活動を支援
6	《元日本留学生会》 カンボジア元日本留学生同窓会 (JAC)	カンボジア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するカンボジアの元日本留学生協会の活動を支援
7	《元日本留学生会》 シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するシンガポールの元日本留学生協会の活動を支援
8	《元日本留学生会》 タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するタイの元日本留学生協会の活動を支援
9	《元日本留学生会》 元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するフィリピンの元日本留学生協会の活動を支援
10	《元日本留学生会》 ベトナム元日本留学生会 (JAV)	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するベトナムの元日本留学生協会の活動を支援
11	《元日本留学生会》 東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	マレーシアの「東方政策」により日本へ留学した後、帰国した元留学生が組織する同窓会の活動を支援
12	《元日本留学生会》 マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するマレーシアの元日本留学生協会の活動を支援

アジア・大洋州交流事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
13	《元日本留学生会》 ミャンマー日本留学者協会 (MAJA)	ミャンマー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するミャンマーの元日本留学生協会の活動を支援

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

日本研究・知的交流分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 65,461,952 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ G	CHA, Boyoung YAN, Mingdan SAPUTRO, Muhammad Endy SIM, Satta KAN, Shuyi SRISUPAN, Pinwadee BANAAG, Leoncio Anilao MARALI, Ak Fairol Rezal Malek Faesal Pg Hj JAKA, Inra HO, Sheau Fung	Intangible Cultural Heritage Centre for Asia & the Pacific Department of Cr- eative Industry, Zhengdon Group Graduate School, Gadjah Mada University Ministry of Culture and Fine Arts Asian Civilisa- tions Museum, National Heritage Board Ubon Ratchathani University National Commis- sion for Culture and the Arts Brunei Press Association of Anthropology in Hochiminh City Cham subbranch Programme Officer, Penang Heritage Trust (Local NGO)	韓国 中国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア	2010. 04. 01 ~ 2010. 04. 13	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表 (15カ国、15名を招へい。日本人参加者2名)。テーマは「文化の多様性の再認識：アジア・オセアニア地域の可能性」。2011年1月に英文報告書 <i>Re-Acknowledging Cultural Diversity: Roles and Possibilities in the Asia and Oceania Region</i> を発行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		EI, Min Tun	National University of Arts and Culture	ミャンマー		
		KINGSADA, Somkiethtisack	Ministry of Information and Culture	ラオス		
		PRUTHI, Kanika	Jawaharlal Nehru University	インド		
		BENNETTS-KNEEBONE, Laura Jane	Research Officer, Department of Families, Housing, Community Services and Indigenous Affairs	オーストラリア		
		WAITI, Jordan Aramoana	Research Centre for Maori Health and Development	ニュージーランド		
2	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ H	KIM, Young-Bin	大韓赤十字社京畿 道支社 幹事	韓国	2010.06.21 ~ 2010.07.02	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。（14カ国、19名を招へい。日本人参加者1名）テーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」。2011年1月に英文報告書 <i>Disaster Prevention and People: Working Towards the Creation of a Strong Society</i> を発行
		PARK, Sang-Hyun	韓国国立防災研究所 工業研究士	韓国		
		ZAO, Xu	Shining Stone Community Action	中国		
		AMRI, Avianto	プラン・インターナショナル・インドネシア 緊急対策マネージャー	インドネシア		
		ANSHARYANI, Ida	サマワ大学 講師	インドネシア		
		YIN, Sopheaktra Bun	カンボジア赤十字災害リスク軽減マネージャー	カンボジア		
		SANLEE, Dawan	アンダマン救済ネットワーク基金 (SAN)	タイ		
		ABON, Catherine Cristobal	フィリピン大学 国立地学研究所	フィリピン		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	ABUDUL SAMAT, Mas Diana Binti	サイディナオスマン学校	ブルネイ		
	PG HAJIA MUHAMMAD, DK Siti Ummikalthum	ブルネイ教育省	ブルネイ		
	NGUYEN, Ninh Trong	プラン・インターナショナルベトナム事務局	ベトナム		
	LIM, Choun Sian	東南アジア災害防止研究所	マレーシア		
	MOE MYINT, Tay Zar	国連開発計画	ミャンマー		
	DOUANGPHACHONE, Khounkham	Own Village Association	ラオス		
	PRASAD, Manish	地域経済・発展相談センター	インド		
	SHARMA, Prerna	地域経済・発展相談センター	インド		
	BRACEY, Heath Owen	タスマニア消防庁	オーストラリア		
	CLANCY, Jennifer Kate	オーストラリア国際開発局	オーストラリア		
	COSTLEY, Nichola Ann	ニュージーランドウエストコースト地区区役所	ニュージーランド		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
3	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ I	RENDRA, Kurnia Hasan	環境省	インドネシア	2010. 09. 12 ~ 2010. 09. 18	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。（8カ国、14名を招へい。日本人参加者1名）テーマは「アジアの気候変動対策：日常生活や社会・経済構造の見直し」。2011年3月に英文報告書 <i>Climate Change Measure in Asia: A Review of Daily Life and Social/Economic Structure</i> を発行
		SABITAH, Irwani	環境省	インドネシア		
		CHANTHEARITH, Ou	環境省気候変動局	カンボジア		
		LEANG, Sophal	環境省気候変動局	カンボジア		
		YEO, Daryl	貿易産業省	シンガポール		
		KANANURAK, Jakkanit	タイ温室ガス対策 団体	タイ		
		SAIYASITPANICH, Phirun	天然資源環境政策 局	タイ		
		SALUDO, Jonas Paolo Magsino	フィリピン大統領 官邸気候変動委員 会	フィリピン		
		DANG, Phuong Loan	資源・環境省国際 協力部	ベトナム		
		DO, Hoang Viet	資源・環境省国際 協力部	ベトナム		
		MAUNG, Hlaing Min	森林省国土環境委 員会	ミャンマー		
		SHWE Cin Mya Htun	外務省経済局国際 機関経済課	ミャンマー		
		BUIHAVONG, Thounheuang	水資源環境行政局	ラオス		
		SOMBATHDOUANG, Vilayphone	水資源環境行政局	ラオス		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
4	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ J	JEON, Inseung AGEUNG, Ivan Valentina HOUT, Huy LEONG, Chua Swee SUPITAX, Kanokphun MEDINA, Ilagan Karol Anne VILLANUEVA, Charmaine Quintua AMPUAN HAJI RAZID, Ampuan Noorirawati MOHD SARIF, Hassan TUN, Zaw Lin WIN, Aye Nandar XAIYASARN, Ketsana	韓国消防防災庁 インドネシア防災 協会 防災に関する 法律と政策マ ネージャー カンボジア・ミン チェイ地区行政事 務所 総務財務局 チーフ シンガポール市民 協会 NGO RRAFA財団 プ ログラム・オフィ サー (Foundation for Reclaiming Rural Agriculture and Food Sovereignty Action) フィリピン調査報 道センター (PCIJ) フィリピン科学技 術省 ブルネイ・テンブ ロン地区行政事務 所 総合統括行政 官 マレーシア国家安 全会議 ミャンマー社会福 祉救済復興省救済 復興局 ミャンマー社会福 祉救済復興省救済 復興局 ラオス水資源環境 庁	韓国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン フィリピン ブルネイ マレーシア ミャンマー ミャンマー ラオス	2011.01.20 ~ 2011.01.31	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。(13カ国、16名を招へい。日本人参加者1名) テーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」。2011年7月に英文報告書 <i>Disaster Prevention and People: Working Toward the Creation of a Strong Society</i> を発行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		VYAS, Nikhilkumar Rameshchandra	クルタ (CRUTA) 財団 (Foundation for Conservation and Research of Urban Traditional Architecture)	インド		
		FITZGERALD, Kate	オーストラリア司 法省 アシスタ ント・ディレクター	オーストラリア		
		SCHELL, Patrick Joseph	オーストラリア・ ニューサウス ウェールズ州地方 消防局	オーストラリア		
		WILSON, Thomas McDonald	カンタベリー大学	ニュージーランド		
5	JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へ いプログラム (第3 年次)	HESTI, Nurhayati	インドネシア大学 大学院日本地域研 究科	インドネシア	2010. 07. 21 ~ 2010. 09. 03	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジア首脳会議 (EAS) 参加国地域で日本研究 (東アジア研究を含む) を専攻中で、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供 (9カ国、14名)
		SAFITRI, Meinard Maya	インドネシア大学 大学院日本地域研 究科	インドネシア		
		MODERN, Chem	王立ブノンペン大 学大学院	カンボジア		
		HEEBKAEW, Saowalak	タマサート大学大 学院日本研究科	タイ		
		MORENO, Luna Carla	デ・ラ・サール大 学日本研究プログ ラム大学院	フィリピン		
		NGO, Tra Mi	ホーチミン国家大 学人文社会科学大 学大学院	ベトナム		
		VU, Luan Duong	ハノイ国家大学ベ トナム研究開発科 学研究所大学院	ベトナム		
		HUSSIN, Mohd Tramizi	マレーシア科学大 学 助手/博士課 程	マレーシア		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Hnin Nwe Nwe Aung	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		Hnin Shwe Yi	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		TIN, Moe Hlaing	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		RAY, Sudeshna	デリー大学東アジア研究科修士課程	インド		
		THAMBI, Simi	デリー大学東アジア研究科修士課程	インド		
		VINK, Thomas Luke	ビクトリア大学ウェリントン校大学院	ニュージーランド		
6	JENESYS Programme 次世代リーダー事業 フォローアップ・プログラム	INOUE, Naomi KANEKO, Yukiko TAKAHASHI, Akiko YOSHIMASU, Miho ARSUKA, Nirwan Suprianto SENG, Hun LIM, Joe SUKPONG, Petchrung ALIPPIO, Arthur Joseph Paul FONBUENA, Carmela JOSE, Jerry LIOSAS, Racquel MANGANSAKAN, Teng		日本 日本 日本 日本 インドネシア インドネシア カンボジア シンガポール シンガポール フィリピン フィリピン フィリピン フィリピン フィリピン	2010.06.12 ~ 2010.06.17	JENESYS次世代リーダー招へい事業の総括として、各国の次世代リーダーの連携を通じた東アジアコミュニティの強化を目的に、フィリピン・マニラ首都圏において、フォローアップ事業『JENESYS新しい始まり：東アジアコミュニティの推進—共通の未来を構築する若手リーダーの役割』を実施。過去の次世代リーダー招へい事業の参加者有志がフィリピンに集まり、事業参加によって得た経験の活用方法について情報を共有。またリーダーシップスキルを向上するためのワークショップやスタディーツアーへの参加を通じて、「アジアの強固な連携」を構築するための相互理解や連携の促進を目指した。プローブメディア財団(Probe Media Foundation, Inc)と共催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		RAYMUNDO, Sarah Jane		フィリピン		
		RIMANDO Minette		フィリピン		
		TANG, Yasmin		フィリピン		
		ZAPANTA-BABATE, Maria Silvana		フィリピン		
		ABDUL RAHMAN, Umi A' Zuhrah		マレーシア		
		JOHARI, Sofia		マレーシア		
		SAIMY, Intan Sazrina		マレーシア		
		KYAW, Thiha		ミャンマー		
		NANDI, Htwe Tra		ミャンマー		
		TUN, Maw Maw		ミャンマー		
		BOUAHOM, Bounthanom		ラオス		
		MAKAN, Shikha		インド		
		SURI, Simar		インド		
7	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループF (報告書 作成等)				2010. 04. 01 ~ 2010. 07. 31	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として、平成21年度に実施した、JENESYS Programme次世代リーダー招へいプログラム・グループF (テーマ「アジア・オセアニア地域の青年が担う包括的平和構築：文化、教育の可能性」：2010. 03. 02～15) の実施及び英文報告書 <i>Comprehensive Peacebuilding Initiatives of young leaders in Asia and Oceania: The Potentials of Culture and Education</i> の作成・配布にかかる経費
8	JENESYS次世代リー ダー招へいプログ ラム グループK (実施準備)				2010. 11. 01 ~ 2011. 03. 31	2011年5月に実施予定のJENESYS Programme次世代リーダー招へいプログラム・グループK (テーマ「エネルギー安全保障」) の参加者招へい準備

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 132,725,765 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	崔 祐溶 (CHOI, Woo Yong)	東亜大学校 副教授	韓国	九州大学大学院	2010.03.26 ~ 2011.02.28	地方分権の進展下における住民訴訟制度の展開に関する研究
2	全 在晟 (CHUN, Chaesung)	ソウル大学校外交学科 教授	韓国	慶応大学法学部	2010.09.01 ~ 2011.07.31	北東アジアの国際関係の理論化と日韓関係
3	田 英洙 (JEON, Young Soo)	漢陽大学校国際大学院助 教授	韓国	慶応義塾大学経済学部	2010.02.26 ~ 2011.02.25	雇用延長と老人福祉に関する研究：老後所得 を中心に
4	鄭 炳浩 (JUNG, Byeong-Ho)	高麗大学校日語日文学科 副教授	韓国	立命館大学文学部	2011.02.26 ~ 2012.02.25	近代初期 (1890~1920) 韓国における日本語 文学の形成過程研究—韓国居留日本人社会の 日本語新聞・雑誌を通して
5	康 根亨 (KANG, Kun-Hyung)	国立済州大学校政治外交 学科 教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2010.08.30 ~ 2011.08.29	鳩山由紀夫政権の対外政策と米日関係
6	金 基正 (KIM, Ki-Jung)	延世大学校 教授	韓国	慶応義塾大学法学部政治 学科	2010.09.20 ~ 2011.05.19	韓日文化的対話の東北亜地域秩序形成におけ る意味
7	金 相助 (KIM, Sang Jo)	国立済州大学校 教授	韓国	天理大学国際文化学部	2009.09.02 ~ 2010.09.01	朝鮮通信使と日本接待使の相手に対する理解 の比較研究
8	金 裕殷 (KIM, Youen)	漢陽大学校国際大学院 准 教授	韓国	早稲田大学アジア太平洋 研究センター	2009.08.05 ~ 2010.08.04	北東アジアにおける多国間安全保障組織設立 のための日韓協力について
9	金 永鍾 (KIM, Young Jong)	慶星大学校社会福祉学科 教授	韓国	日本福祉大学社会福祉学 部	2010.07.09 ~ 2011.01.08	日本と韓国における地域福祉推進の運営体系 に関する比較研究
10	具 度完 (KU, Do Wan)	環境社会研究所 所長	韓国	東北大学大学院文学研究 科	2010.05.10 ~ 2011.05.09	日本と韓国の環境運動比較研究：気候変動問 題を中心に
11	李 啓煌 (LEE, Gye-Whang)	仁荷大学校 教授	韓国	京都大学文学部	2010.07.12 ~ 2011.02.11	日本近世史における主なテーマに関する学 説・研究史
12	李 明姫 (LEE, Myung Hee)	新羅大学校 教授	韓国	学習院大学文学部日本語 日本文学科	2010.02.17 ~ 2011.02.16	日本語レベル別読解技術指導に関する研究
13	李 昇柱 (LEE, Seungjoo)	韓国中央大学校政治外交 学科 副教授	韓国	慶応義塾大学法学部政治 学科	2011.02.01 ~ 2012.01.31	断片化した東アジア地域主義の国内起源：日 本と韓国の比較研究
14	閔 炳杰 (MIN, Byung-Geol)	ソウル女子大学デザイン 学部 助教授	韓国	武蔵野美術大学	2009.07.15 ~ 2010.07.14	浮世絵の伝統を継承した日本のグラフィック デザインに関する考察

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	朴 天秀 (Park, Cheun Soo)	慶北大学校人文大学考古 人類学科教授	韓国	大阪大学大学院 文学研 究科	2011.03.01 ~ 2012.02.29	考古学から見た新羅と倭の 関係に新たな照明を当てる
16	庾喆仁 (Yoo, Chul-In)	済州大学校 教授	韓国	東北大学大学院教育学研 究学科	2010.08.31 ~ 2011.08.30	日本の東北地方における 外国人配偶者
17	白 智立 (BAI, Zhi Li)	北京大学政府管理学院 副 教授/副院長	中国	京都大学大学院法学研 究科	2010.09.29 ~ 2011.03.28	国家統治における日本の 政治的官僚の行動とその 法制化問題の研究—比較 行政論的アプローチから
18	陳 喜儒 (CHEN, Xiru)	中国作家協会作家、翻 訳家	中国	慶応大学	2009.10.11 ~ 2010.04.10	野間宏研究
19	陳 秀武 (CHEN, Xiuwu)	東北師範大学日本研 究所 助教授	中国		2009.10.11 ~ 2010.04.10	坂本龍馬の国家意識 について
20	淳干 淼洽 (CHUNYU, Miaoling)	西南政法大学政治と公 共事務学院 教授	中国	日本政治総合研 究所	2009.09.03 ~ 2010.09.02	日本における公共サー ビス改革についての研 究とその中国への示唆
21	杜 穎 (DU, Ying)	黒龍江省社会科学院 副 研究員/副主任	中国	北海道大学大学院文学 研究科	2010.09.27 ~ 2011.09.26	黒龍江省における残留 日本人孤児と養父母関 係問題研究について— 帰国後の肉親関係を中 心に
22	郭 冬梅 (GUO, Dongmei)	東北師範大学日本研 究所 助教授	中国	慶應義塾大学総合政策 学部	2009.07.05 ~ 2010.07.04	モッセの日本地方自治 観
23	郭 美松 (GUO, Mei Song)	西南政法大学 副教授	中国	京都大学	2010.09.22 ~ 2011.09.21	人事訴訟手続における 比較研究
24	金 香海 (JIN, Xianghai)	延辺大学人文社会科学 学院 教授	中国	大阪産業大学経済学 部	2010.09.01 ~ 2011.08.31	中朝経済関係の進展に 対する日本の政策研究
25	井 志忠 (JING, Zhizong)	東北師範大学日本研 究所	中国	日本大学	2010.07.04 ~ 2011.07.03	日本のエネルギー戦略 と中日合作
26	林 永強 (LAM, Wing Keung)	香港教育学院 准教授	中国	京都大学大学院文学研 究科	2010.01.16 ~ 2010.07.15	歴史を再考する—西田 幾多郎と新儒教
27	李 濟滄 (LI, Jicang)	南京師範大学六朝歴史 文化研究中心 副主任	中国	龍谷大学文学部	2010.08.31 ~ 2011.08.30	近代日本における中国 史研究—宮崎市定を中 心に
28	李 晶 (LI, Jing)	広東海洋大学外国語 学院 日本語学科 主任/ 教授	中国	東北大学大学院文学研 究科	2011.02.23 ~ 2011.08.22	現代日本における農家 と社会—秋保町馬場村 の調査を中心に
29	李 宇玲 (LI, Yuling)	中国同済大学外国語 学院 日語系 副教授	中国	東京大学大学院人文 社会系研究科	2010.02.11 ~ 2011.02.10	古代日本文化の形成 過程における唐代宮 廷文化の受容と変容
30	魯 義 (Lu, Yi)	国際関係学院 教授	中国	関西学院大学法学部	2010.08.20 ~ 2010.11.19	日本の公務員汚職防 止対策に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	沈 海濤 (SHEN, Haitao)	吉林大学東北アジア研究 院 所長	中国	東京財団	2010. 11. 07 ~ 2011. 02. 06	民主党政権下「日中戦略的互惠関係」の現状 及び行方に関する研究
32	史 桂芳 (SHI, Guifang)	首都師範大学 教授	中国	大阪大学大学院	2010. 10. 11 ~ 2010. 12. 10	日本の台湾植民地における文化統制政策
33	王 霞 (WANG, Xia)	中国人事社会保障部労働 賃金研究所 副研究員	中国	政策研究大学院大学	2010. 06. 30 ~ 2010. 09. 29	日本国の賃金調査システム
34	王 益鳴 (WANG, Yi Ming)	華南師範大学 助教授	中国	東京大学	2010. 09. 30 ~ 2011. 09. 29	平安朝密教文献整理研究
35	魏 志江 (WEI, Zhijiang)	中山大學 准教授	中国	東京大学大学院総合文化 研究科	2009. 09. 01 ~ 2010. 06. 30	中日韓三国の安全保障とアジア東北部におけ る安全保障機構の構築
36	武 向平 (WU, Xiangping)	中国吉林省社会科学院満 鉄資料センター 研究員	中国	新潟大学	2009. 06. 29 ~ 2010. 04. 20	中日満鉄研究の現状と比較
37	楊 偉 (YANG, Wei)	四川外語学院日本学研究 所 所長	中国	法政大学 国際日本学研 究所	2011. 02. 16 ~ 2012. 02. 15	多文化間アイデンティティの課題と可能性 —国境を越えた詩友黄瀛、草野心平、宮沢賢 治などを例に—
38	尹 曉亮 (YIN, Xiaoliang)	南開大学日本研究院 教 師	中国	早稲田大学	2011. 01. 15 ~ 2011. 07. 14	日本における省エネルギー政策及び中国への 示唆
39	張 伯玉 (Zhang, Boyu)	中国社会科学院日本研究 所 副研究員	中国	慶応義塾大学法学部	2010. 09. 30 ~ 2011. 03. 29	1950年代における中国の対日戦略と中日関係
40	支 菲娜 (ZHI, Feina)	北京電影学院 講師	中国	東京大学大学院	2009. 07. 11 ~ 2010. 07. 10	新世紀の裂変と多岐—中日両国青年監督の映 画作品の中における社会訴求比較研究
41	TSED, Batchuluun	モンゴル国立馬頭琴交響 楽団 指揮者/芸術監督	モンゴル	大阪大学	2010. 05. 22 ~ 2011. 03. 27	日本とモンゴルの伝統音楽の比較研究
42	SUWANRADA, Attaya	チュラロンコン大学文学 部 講師	タイ	大阪大学	2009. 11. 01 ~ 2010. 05. 31	平安文学における五行の象徴とその機能
43	HOLMES, Ronald Everette David	デ・ラサール大学政治学科 教授	フィリピン	茨城大学人文学部	2010. 09. 01 ~ 2011. 03. 15	中央政府と地方自治体の関係に関する日比比 較研究
44	TIONGSON, Nicanor G.	フィリピン大学フィル ム・インスティテュート 教授	フィリピン	京都大学東南アジア研究 センター	2010. 03. 25 ~ 2010. 10. 31	ネイション・ビルディングにおける統合の要 素としての文化の役割
45	LE, Tam Thi Thanh	ホーチミン市国家大学人 文社会科学大学言語学部 講師	ベトナム	東京外国語大学	2010. 09. 10 ~ 2011. 09. 09	禅の俳句とベトナムの古典詩への影響

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
46	PHAM, Huong Quynh	ベトナム社会科学学院社会学研究院 上席研究員	ベトナム	東京大学医学部健康科学・看護学科	2010.08.01 ~ 2010.12.23	日本とベトナムにおける性教育と性に関する文化が若者の性行動に及ぼす影響に関する研究
47	SOE, Shwe	認定NPO法人「難民を助ける会」プロジェクト・アシスタント	ミャンマー	東北大学大学院	2010.08.02 ~ 2011.06.01	環境評価と心理的健康に関する楽観性と悲観性の関係についての環境心理学的研究
48	TANKHA, Brij Mohan	デリー大学中国日本研究学科 教授	インド	一橋大学	2009.11.02 ~ 2010.10.31	明治期日本における宗教と近代化に向けた課題
49	ATHAMBAWA, Azeez Abdul	コロンボ大学経営学部 上級講師	スリランカ	早稲田大学	2010.03.11 ~ 2011.02.28	スリランカにおける日本の外国直接投資：アメリカと日本の外国直接投資の影響の比較
50	ESHAM, Mohamed	サバラガムワ大学	スリランカ	鳥取大学	2011.03.11 ~ 2012.03.10	日本の農協とスリランカの農民企業の比較
51	RATNAYAKE, Mudiyansele Patrick Ferdinands	ケラニア大学	スリランカ	日本大学	2010.07.31 ~ 2011.06.30	現代映画に反映される文化的価値と革新：日本とスリランカ映画の比較
52	POKHAREL, Madhav Prasad Sharma	国立トリブバン大学 教授	ネパール	神戸大学	2009.05.14 ~ 2010.05.13	ネパール語、日本語間の、分類詞を通じた対象物の抽象化における認識的類似点
53	THAPA, Ganga Bahadur	トリブバン大学 教授	ネパール	東京大学	2011.01.11 ~ 2012.01.10	公の監視のもとに：日本における議会の透明性
54	MALIK, Ahmad Rashid	イスラマバード政策研究所	パキスタン	尚美学園大学	2010.05.14 ~ 2011.03.18	恒久的自由作戦—海運断絶作戦：日本、米国と関連地域との関係
55	RAHMAN, Ataur Md	ダッカ大学 教授	バングラデシュ	名古屋大学大学院国際開発研究科	2009.08.31 ~ 2010.08.30	選挙制度と政治改革に関する日本の視点
56	MORRIS-SUZUKI, Teresa Irene Jessica	オーストラリア国立大学 教授	オーストラリア	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	2009.12.16 ~ 2010.04.15	草の根からのアジア地域統合の試み：地方都市における市民グループの活動が、日本とアジア近隣諸国の関係構築に果たす役割について
57	BAFFELLI, Erica	オタゴ大学 講師	ニュージーランド	東京大学大学院人文社会科学系研究科宗教学・宗教史学研究室	2010.11.01 ~ 2011.01.31	日本におけるメディア、宗教と文化：1995年以降の日本の「新宗教」の研究

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [アジア・大洋州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 84,536,965 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	崔 子明 (CHOI, Jamyung)	ペンシルバニア大学史学 科 博士課程	韓国	東京大学法学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	東京帝国大学と近代日本中間階級社会の成立
2	金 度亨 (KIM, Do Hyung)	成均館大学校 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化 研究科	2009.10.05 ~ 2010.10.04	韓国近代啓蒙期における日本啓蒙思想の転移 と変容に関する研究
3	金 喜敬 (KIM, Hee-kyoung)	ソウル大学校 博士課程	韓国	東京大学	2010.06.06 ~ 2011.06.05	現代日本の地域社会における老年の社会文化 構成に関する研究：長野県佐久市を中心に
4	李 相佰 (LEE, Sangbaik)	カリフォルニア大学バー クレー校 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化 研究科	2010.08.01 ~ 2011.07.31	資源依存と日本政治経済：20世紀の石炭・石 油産業の事例を通じて
5	林 恩廷 (LIM, Eunjung)	ジョンズ・ホプキンス大 学高等国際問題研究大学 院 博士課程	韓国	財団法人日本エネルギー 経済研究所	2010.09.29 ~ 2011.01.28	分裂する国家、合致する国家：エネルギー政 策から見た日韓比較政治経済
6	石 楯 (SEOK, Hyang)	東西大学校日本語学科 非 常勤講師	韓国	立命館大学文学部	2010.05.10 ~ 2011.05.09	現代日本社会の変容と「ジェンダー・バック ラッシュ」についての考察
7	宋 京淑 (SONG, Kyung Sook)	成均館大学校大学院政治 外交学科 博士課程	韓国	法政大学大原社会問題研 究所	2009.09.01 ~ 2010.08.31	1980年代以後の日本における労資関係の変化 と国家一労働規制緩和の政治を中心に
8	艾 菁 (AI, Jing)	復旦大学国際関係公共政 策学院 博士課程	中国	京都大学人文科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	冷戦後の日本におけるナショナリズムの研究
9	白 如純 (BAI, Ruchun)	中国社会科学院日本研究 所 講師	中国	日本貿易振興機構アジア 経済研究所地域研究セン ター	2009.09.17 ~ 2010.08.16	日本の東アジア地域協力政策の研究—中国の 関連政策との比較及び日中関係の視点から
10	陳 霜麗 (CHEN, Shuangli)	香港大学 博士課程	中国	京都大学大学院教育学研 究科	2009.11.09 ~ 2010.07.31	女子身分を構築し、近代性を再解釈する：明 治期 (1868~1912) におけるキリスト教女子 教育
11	方 勇男 (FANG, Yongnan)	吉林大学 博士課程	中国	学習院大学	2010.10.03 ~ 2011.10.02	中国における成年監護(後見) 制度の将来像
12	馮 慧 (FENG, Hui)	南京大学 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2010.08.29 ~ 2011.08.28	正倉院宝物を中心とした東西文化交流の研究
13	李 含 (LI, Han)	中国社会科学院大学院 博 士課程	中国	同志社大学法学部	2009.08.01 ~ 2010.07.31	近代日本における平和思想の軌跡
14	梁 宝衛 (LIANG, Baowei)	復旦大学 博士課程	中国	東京大学東洋文化研究所	2009.09.10 ~ 2010.09.09	戦後日本のシベリアン・コントロール

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	梁 明霞 (LIANG, Mingxia)	北京大学外国語学院 博士課程	中国	国際日本文化研究センター	2009.09.26 ~ 2010.09.25	近代日本仏教の形成と発展の研究—政教関係を中心に—
16	陸 旭 (LU, Xu)	ペンシルバニア大学 博士課程	中国	同志社大学社会学部	2010.07.15 ~ 2011.06.30	帝国の「特使」：日本プロテスタント海外伝道者と太平洋兩岸の日本移民社会、1890-1941
17	饶 建華 (RAO, Jian Hua)	西南大学 博士課程	中国	立命館大学アート・リサーチセンター	2010.06.20 ~ 2010.10.19	東山魁夷の絵画における美学思想研究
18	孫 紹紅 (SUN, Shaohong)	清華大学 博士課程	中国	早稲田大学アジア太平洋研究科	2010.11.11 ~ 2011.11.10	北東アジア安全協力に対する日本の発想、政策及び役割について
19	田 雪梅 (TIAN, Xuemei)	復旦大学 博士課程	中国	慶応義塾大学法学部	2009.09.20 ~ 2010.09.19	近・現代日本における「国民」の鑄造—明治維新から第二次世界大戦まで
20	王 璟 (WANG, Jing)	トロント大学 博士課程	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2010.08.26 ~ 2011.08.25	植民地近代性（コロニアル・モダニティ）をめぐる都市空間と日本近代文学
21	謝 志海 (XIE, Zhihai)	北京大学国際関係学院 博士課程	中国	日本大学国際関係学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	GHQの対日宣教政策と占領期日本におけるクリスチャンブーム（1945～1951）
22	徐 鵬 (XU, Peng)	吉林大学 博士課程	中国	早稲田大学法学学術院	2009.08.30 ~ 2010.08.29	日本における民法典システムの研究
23	楊 向峰 (YANG, Xiangfeng)	南カルフォルニア大学 博士課程	中国	早稲田大学政治経済学部	2010.07.01 ~ 2011.06.30	政治思想、国家の実力と日本の価値外交
24	姚 永竜 (YAO, Yonglong)	中国社会科学院 准教授	中国	北海道大学	2010.07.21 ~ 2011.01.20	農業規模化経営推進の関連政策に関する日中の比較研究
25	ASHGAI, Delgermaa	モンゴル文化教育大学日本語学科 日本語教師	モンゴル	筑波大学大学院人文社会科学学術研究科	2010.05.10 ~ 2010.11.09	日本語・モンゴル語の慣用句の比較対照研究（日モ語の翻訳を事例に）
26	DASHDULAM, Dashdeleg	モンゴル国立大学 講師	モンゴル	大東文化大学国際関係学部	2009.09.28 ~ 2010.09.27	1930年から1945年までの日露関係におけるモンゴル
27	CHSURI, Asadayuth	チュラロンコン大学文学部東洋言語学科日本語・日本文学科 専任講師	タイ	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.05.10 ~ 2011.07.09	タイ人日本語学習者の独話における助詞「ネ」の機能の研究
28	JAMORNSURIYA, Winai	ナコーンラーチャシーマー・ラーチャパット大学 講師	タイ	野上記念法政大学能楽研究所	2010.06.01 ~ 2011.05.31	謡曲における恋の苦しみ
29	LEAOKITTIKUL, Rungruedee	シラバコーン大学 講師	タイ	麗澤大学外国語学部外国語学科	2009.06.07 ~ 2010.06.06	日本語における複合動詞とその複合動詞の前項動詞としての単純動詞との意味的な関係
30	HOANG, Minh Hang	ベトナム社会科学院付属東北アジア研究所日本研究センター 講師	ベトナム	国際日本文化研究センター	2010.05.22 ~ 2010.11.21	1970年代の福田ドクトリンと東南アジアにおける日本の政治的台頭

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	NGUYEN, Anh Thi Ngoc	国民経済大学 講師	ベトナム	京都大学経済研究所	2010.06.16 ~ 2010.12.15	日越企業文化比較研究—組織の移植と適応
32	BASU, Titli	ジャワハルラル・ネルー大学 博士課程	インド	東京大学社会科学研究所	2010.11.01 ~ 2011.10.31	気候変動に対する企業の反応：日本の展望
33	FAISAL, Mohd	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	早稲田大学	2009.09.16 ~ 2010.09.01	日本の海外直接投資：1991年から2006年の製造業ケーススタディ
34	TENNETI, Vijay Suryakant	国立英語外国語大学 准教授	インド	国際日本文化研究センター	2011.01.15 ~ 2012.01.14	社会文化的理解と異文化交渉
35	KING, Emerald Louise	タスマニア大学 博士課程	オーストラリア	お茶の水女子大学	2009.09.15 ~ 2010.08.14	日本の女性文学における享楽主義的モチーフの系譜：河野多恵子から渡辺やよいまで
36	LOVELL, Stefan James	ラトロープ大学社会学部 博士課程	オーストラリア	神戸大学発達科学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	日本におけるマイノリティ共同体：多言語ラジオFMわいわい
37	SAITO, Kaori	オーストラリア国立大学 アジア太平洋研究科博士課程在籍	オーストラリア	早稲田大学、アジア太平洋研究科	2010.12.20 ~ 2011.08.19	日本の開発援助政策決定におけるアイデアとインスティテューションの役割

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 13,931,738 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	鄭 麟夏 (JUNG, Inha)	漢陽大学校建築学部 教授	韓国		2010.07.03 ~ 2010.08.29	日本建築の傳統論と東アジア近代建築の解釈への適用可能性探究
2	姜 仁旭 (KANG, In Uk)	釜慶大学校 助教授	韓国		2011.01.10 ~ 2011.02.22	東北アジア青銅器文化の観点から見た弥生時代の新認識
3	金 相準 (KIM, Sangjoon)	延世大学校政治外交学科 副教授	韓国		2010.06.10 ~ 2010.08.07	日本の政治移行と改革：政治家と官僚
4	蔡 亮 (CAI, Liang)	上海師範大学人文与伝播学院 ポスト・ドクター	中国		2010.06.26 ~ 2010.08.23	日本の上海へのODAについての研究
5	鍾 健平 (CHUNG, Chien-Peng)	嶺南大学校 准教授	中国		2010.03.01 ~ 2010.04.04	中国主導のアジア・太平洋地域機構における日本の役割
6	葛 涛 (GE, Tao)	上海社会科学院歴史研究所 副研究員	中国		2010.07.01 ~ 2010.08.28	日本語文献に映る近代上海
7	韓 釗 (HAN, Zhao)	陝西省文物交流中心 主任 / 研究員	中国		2010.08.01 ~ 2010.09.28	中日古代墓誌の比較研究
8	胡 樹 (HU, Shu)	内モンゴ大学外国語学院 院長 / 主任教授	中国		2010.07.10 ~ 2010.08.26	日本の村づくりとそれを支える都市と農村の交流活動に関する研究
9	李 国慶 (LI, Guo Qing)	中国社会科学院都市発展・環境研究所 教授	中国		2011.01.06 ~ 2011.03.05	テキスト『日本の社会』の改訂に伴う「日本の農村社会学」と「日本の環境社会学」2章の資料収集・執筆
10	張 維良 (TEO, Ee-Leong Victor)	香港大学日本研究学科 研究助教授	中国		2010.06.10 ~ 2010.08.04	日本と露・印の結び付き・中国という要素
11	張 維薇 (ZHANG, Wei Wei)	広東外語外貿大学 東方語言文化学院 博士課程	中国		2010.06.30 ~ 2010.08.26	親鸞における「信」についての思想史的考察
12	BOONTHARM, Davisi	シンガポール大学デザイン・環境学部建築科 准教授	シンガポール		2010.11.29 ~ 2011.01.09	流行と街：東京の持続的な発展と流行の役割
13	YONG, Chen Chen	マラヤ大学中国研究所 上級講師	マレーシア		2010.09.02 ~ 2010.10.30	日系多国籍企業の業績分析のための指標構築
14	MACNAUGHTAN, Chelle	RMIT大学デザイン・建築学部 博士課程	オーストラリア	東アジア都市学研究所	2010.10.23 ~ 2010.12.20	日本の枯山水庭園と建築における空間の聴覚的認識

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	OGURO, Susan Gail Johns	シドニー工科大学 芸術・社会学部 講師	オーストラリア	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.09.23 ~ 2010.10.26	継承言語としての日本語：日系豪州人の学習ニーズとカリキュラムについて

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,746,773 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NGUYEN, Anh Thi Ngoc	国民経済大学 講師	ベトナム	京都大学経済研究所	2010.06.16 ~ 2010.12.15	日越企業文化比較研究—組織の移植と適応

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 17,391,131 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	安 秉玉 (AHN, Byungok) 郭 志远 (GUO, Zhiyuan) RITHDEE, Kong PERERA, Sasanka SAEED, Fouzia 関 薫子	気候変動活動研究所 代表 安徽大学 教授 コロンボ大学 教授 バンコクポスト コラムニスト NGOメヘルガル 所長 国際連合事務局 人道問題調整室 政策担当官	韓国 中国 タイ スリランカ パキスタン 日本	2010. 09. 13 ~ 2011. 11. 12	日本を含むアジア諸国において社会的影響力の大きい知識人6名を選抜、フェローとして2カ月間日本に滞在する機会を提供する。フェローは、 <i>Asia in Dialogue: Visions and Action for a Humane Society</i> という共通テーマの下での共同作業、個々のフェローの関心に基づく研究活動を通してネットワーク形成を図ることにより、当該地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成する。さらに、それら問題の解決に取組むための知的基盤作りを促進する

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 57,390,317 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	「ポスト2010年」の日韓「ニュー・センテニアル」に向けた2010年の検証—「現代史」の試み	韓国	現代日本学会	2010.04.01 ~ 2010.11.30	韓国併合100年の節目にあたり、日韓両国で企画される多数のイベントを政治・経済・社会・文化・歴史の3部門に分類して記録すると同時に、その企画意図や内容を国際シンポジウムで検証する日韓の共同事業。シンポジウムは仁荷大学にて実施 (2010.11.26~27)
2	日韓次世代学術フォーラム 第7回国際学術大会 (光州大会)	韓国	東西大学校	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際学術会議 (分科会発表及び特別講演及び討論)。細分化して実社会と乖離してしまったきらいのある日韓両国に中国を加えた東アジアの人文・社会科学分野において、学際的・学融合的な研究のできる若手研究者を育成するため、修士・博士課程の大学生に討論の場を与える学術会議。光州市の全南大学にて実施 (2010.06.25~28)
3	辺境・島嶼からみる北東アジア	韓国 中国 ロシア	東北アジア文化研究所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	シンポジウムと国際学術会議。東北アジア文化研究所は東北アジアを「海」を媒介して結びつく地域と捉え、同地域の文化の多様性と相互関連性を明らかにする研究を活動の柱とする。今次シンポジウムのテーマは「辺境・島嶼からみる北東アジア」。国際学術会議では、シンポジウムよりもテーマの幅を広げ、文学、語学、社会、歴史、政治・経済などの分科会に分かれて研究発表を行う。申請機関にて実施 (2010.10.15~17)
4	日韓中の地球温暖化と域内協力量案	韓国	韓日未来フォーラム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	各国の利害関係にとらわれ共同対策が進みにくい地球温暖化問題について、その解決に向けて日中韓が検討すべき共同協力への道筋を議論するため、3国の専門家、ジャーナリスト、政策担当者が参加する国際会議。ソウル・プレスセンターで実施
5	アジアの女性と工芸	韓国	梨花女子大学校アジア女性センター	2010.05.01 ~ 2010.10.30	女性学の知見を活用しつつ、工芸を切り口としてアジアの多様性と共通性を見出すとともに、日韓関係史を考察する専門家ワークショップ及び国際会議を開催。日韓の工芸家、理論家、活動家、政策担当者等が参集し、申請機関にて実施 (2010.05-10)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
6	コミュニティデザイナー養成と持続可能な地域づくりのための韓日コミュニティ知的交流事業	韓国	希望製作所	2010.06.01 ~ 2010.10.30	「まちづくり」で長い歴史と基盤を有する日本が蓄積してきた市民参加型の社会変革の取り組みやノウハウを参考とし、韓国社会に応用するために韓国内でのセミナー及び国際ワークショップを実施。平成21年度からの継続事業。日本から自治体、地域市民社会、地域住民、専門家を招へいし、ソウル他韓国の3地域で実施（2010.09.30-10.02）
7	東アジア共同研究構築と日中両国の役割に関するセミナー	中国	吉林大学東北アジア研究院	2010.04.01 ~ 2010.12.31	鳩山由紀夫民主党政権の登場を機に再び活性化している東アジアの地域統合や地域協力について、民主党の政策の行方を展望し、日中両国の役割や戦略的互惠関係の枠組み等について議論する専門家会議。日中の大学・研究の関係者が50-70名集まり、吉林大学東北アジア研究院にて実施（2010.07.10~12）
8	働く女性のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた中日研究比較	中国	中華女子学院	2010.04.01 ~ 2011.03.31	仕事と生活の調査（ワーク・ライフ・バランス）について日中間で経験と知見のシェアを行い、政府への提言等を通して、よりよい社会作りに役立てるための国際シンポジウム。北京で実施（2010.10.26~28）
9	近・現代日中文化交流から見られる現代性とアイデンティティーの模索	中国（香港）	香港中文大学日本研究学科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	明治時代から現代にかけて、日中両国の知識層が捉えた現代性やアイデンティティーの問題について、日中の文化交流史から探る国際会議。日、中、米、カナダから11名の研究者が参加し、同大学日本研究学科にて実施（2010.11.13~14）
10	中日米関係及び東アジア共同体	中国	上海交通大学日本研究センター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日、中、米それぞれが展開する東アジア共同体構想の相違点やその要因、可能な妥協点と協調のあり方等について各国の研究者、ジャーナリスト、政府関係者が議論し、均衡のとれた三国関係への道を模索する専門家会議。上海にて実施（2010.07.18~21）
11	日中二大国の勃興と将来の東アジアの秩序	中国（香港）	嶺南大学	2010.05.01 ~ 2011.03.31	将来の東アジアの秩序と平和的発展を視野に、東アジアにおける日本と中国の関係、また日中と東アジアの他の国々、米国との権力関係について議論する国際会議。日、中、韓、豪、米、英から専門家が参加し、申請機関にて実施（2010.10.15）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
12	世界の日本学研究フォーラム in 北京	中国	中国人民大学教育研究所	2010.05.03 ~ 2011.02.20	世界各国・地域より日本研究者を北京に招き、日本学研究の最新動向と展望を語る国際シンポジウム。2010年7月に設立された申請機関付属日本政策研究センターの設立記念事業。中国人民大学逸夫会議センターにて実施(2010.11.04~06)。欧米、アジア地域から16名(中国からは政策立案者、メディア関係者、高等学校校長)が参加
13	日中青年作家会議2010	中国	中国社会科学院外国文学研究所	2010.09.06 ~ 2010.09.10	現在、一線で活躍している若手を中心に日中の作家、研究者を北京に集め、創作活動や相互の文化状況に関する報告及び議論を行なう国際会議。中国社会科学院外国文学研究所にて実施(2010.09.06~10)。日中若手作家間のネットワーク形成、相互理解の深化に寄与
14	東アジア共同体の可能性と日中米関係	中国	清華大学日本研究センター	2010.12.01 ~ 2011.03.31	鳩山由紀夫政権が積極的に提唱したことで再び注目を集めている東アジア共同体構想について、中国、日本、韓国、アメリカ、東南アジアなど多様な国際的視点から検討する国際共同研究シンポジウム。清華大学にて実施(2010.09.25~26)。日本、中国、韓国、台湾から20名ほどの研究者の参加があり、東アジア共同体研究を深化
15	カルチュラル・タイフーン2010:映像で結ぶ公共圏とアジア	日本	カルチュラル・タイフーン運営委員会	2010.04.01 ~ 2010.10.31	アジア各地から映像文化の最先端を担う研究者とクリエイターが、「映像」という科学技術と社会・文化との関係について検証する国際会議。「映像で結ぶ公共圏とアジア」をテーマに、アジアと日本の歴史的関係を検証するほか、消費文化のなかで創出され続けてきた多様な「映像」が構成する現代アジアの社会文化状況について分析する。駒沢大学旧三越迎賓館シルバーパビリオンにて開催(2010.07.02~04)
16	シンポジウム「ヒマラヤから現代社会を問う—世界の矛盾とヒマラヤ文化の役割と可能性」	日本	特定非営利活動法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン	2010.04.01 ~ 2010.11.20	ヒマラヤ映画祭 Tokyo 2010 関連企画としてのシンポジウム。ヒマラヤ地域が抱える諸問題の紹介及び多文化社会としての同地域と日本との相互交流イベントも実施。会議開催日は2010.11.20
17	第5回東アジア環境市民会議	日本	東アジア環境情報発信所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	韓国光州にて、地球温暖化問題、特に「低炭素社会の実現」に関して、日中韓の参加者約150名が集う国際会議を開催(2010.10.16~20)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
18	日中韓・東アジア文学フォーラム2010 in 北九州	日本	東アジア文学フォーラム日本委員会	2010.04.01 ～ 2011.03.31	2008年に韓国で実施した東アジア文学フォーラムの第2回目。「21世紀文学の海へ！今東アジアをどう書くか」を総合テーマに、貧富と欲望、場所の想像力、恋愛と文学などについて日中韓の文学者が議論する国際会議。近代化の過程で生じた遺恨を抱える3国が文学を通して他者を理解しあうと同時に、将来は東アジア地域の文学者のネットワーク構築を目指す。北九州市にて一般公開のもと実施（2010.12.03～07）
19	融合、共生、インタラクション —第2回中日文化比較研究国際シンポジウム	日本	東北大学中日文化比較研究所	2010.04.01 ～ 2011.03.31	日中両国から、文学及び科学技術分野の研究者が100名ほど集まり、両分野を横断的に相互融合させながら、情報社会化や支援環境の破壊、世界経済の一体化やブロック化などの問題に対する学際的、多次元的な対応を検討する国際会議。同研究所にて実施（2010.09.09～12）
20	気候変動に対処するための青少年教育 促進に関する会議	日本	東南アジア教育省連合・考古学・芸術 センター	2010.04.01 ～ 2011.03.31	気候変動の緩和に向けて、アセアンと日本のNGO・国際機関で働く若手スタッフが、ネットワークを構築し、次世代を担う若手としてその解決に向けて必要な協力や活動のあり方について議論する。若手の発表とワークショップからなる公開会議で、アセアン及び日本から若手が約40名が参加し、200-250名の聴衆を集める。バンコクで実施（2011.01.14-16）
21	世界海垣サミット in しらほ	日本	財団法人世界自然保護基金（WWF） ジャパン	2010.04.01 ～ 2011.03.31	伝統的な漁具「海垣」をテーマに、伝統的漁業（知恵）の再認識、生物多様性の保護、持続可能な社会の形成等について話し合う国際シンポジウムを開催（2010.10.30～31）
22	第11回東アジア国際シンポジウム	日本	東アジア総合研究所	2010.08.23 ～ 2010.08.26	鳩山由紀夫民主党政権による東アジア共同体構想を受け、それを具体化する方途としての日中韓3国の経済協力事業を議論する国際会議。具体的には、環日本海フェリー、日韓中3国海底トンネル構想、北東アジアガスパイプライン構想の現状と課題、展望について討議。3国の研究者38名が参加し、韓国の仁川にて実施（2010.08.24）
23	第3回ウランバートル国際シンポジウム「日本・モンゴルの過去と現在—20世紀を中心に」	モンゴル	モンゴル科学アカデミー国際研究所	2010.04.01 ～ 2010.11.30	20世紀中の日・モ関係（特にノモンハン事件～日・モ国交回復）を焦点として、北東アジア地域の複雑な歴史状況を視野に入れつつ、研究者が様々な文献資料の分析、事件・戦争体験者の聴き取り調査等に基づく最新の研究成果を持ち寄り、シンポジウムを行う。ウランバートル市で実施（2010.09.10）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
24	第3回「日本から学ぶ」国際シンポジウム	インドネシア	インドネシア大学大学院警察学科	2010.05.01～2010.12.31	都市問題について考える「日本から学ぶ」国際シンポジウム・シリーズの第3回目。今回のテーマは「日本の都市の安全とセキュリティ」を取り上げる。同大学において、プレ・シンポジウム(06.24)、シンポジウム(10.14)を実施。主な対象者は行政関係者や警察関係者、研究者、マスコミ関係者等で、成果を政策提言にまとめた
25	第3回フィリピン日本NGOパートナーシップ会議—専門性と経験の交換	フィリピン	開発NGOネットワーク協会	2010.04.01～2010.10.21	両国NGOのパートナーシップ強化を目指し、災害リスクマネジメント、貧困、平和構築、人口変化と文化、ODAの効率性等について議論する国際会議。日本とフィリピンの研究者、NGO、政府関係者、メディア、金融機関から約110名が参加し、ダバオで実施(2010.08.25～27)
26	世界経済及び環境の危機におけるコミュニティ・ディベロプメント教育の振興に関する第2回アジア地域会議	フィリピン	シカイ・キロス開発協会	2010.04.01～2011.03.31	環境問題、貧困、経済危機等の社会問題に対する地域開発学の有効性を検証し、高等教育機関向けのカリキュラム改訂や標準化に向けた研究や教材開発につなげるための国際会議。アセアン各国、日本の研究機関やNGOから教育関係者196名が参加し、ロスバニョスのフィリピン大学にて実施(2010.10.20～22)
27	東南アジアのイスラム、子供、平和の文化構築	フィリピン	サイコソシアル・サポートと子供の人權リソースセンター	2010.05.01～2010.10.31	東南アジアのムスリム児童の幼児期の経験や環境に注目し、人間形成に与える影響を人間の安全保障の視点から検証する専門家会議(平和構築事業)。日本、インドネシア、タイ、フィリピン、モルディブから政府関係者、研究者、市民社会団体、宗教関係者など179名が参加し、ケゾン市のフィリピン大学にて実施(2010.09.29～30)
28	近代アジア文学の検証～西欧文学理論的アプローチ	ベトナム	ベトナム社会科学院文学研究院	2010.04.01～2010.11.30	日・中・韓・米から文学の専門家を招へいし、前近代及び現代の東アジアの文学作品について、西欧の理論との比較の観点から議論する国際会議。2010年11月の2日間、ハノイにて実施
29	日本の中小企業から学ぶ成功への道(第2回)	ベトナム	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学	2010.04.25～2010.11.25	第1回目のシンポジウム(2009年6月)のフォローアップとして、アジア各国の経済専門家を召集し、日本の中小企業の動向や現状を分析。ベトナムをはじめとするアジア諸国の経済発展に向け適切な指標を探る国際会議。ホーチミンにて実施(2010.10.14～15)
30	第24回アジア太平洋ラウンドテーブル「アジア太平洋の相互協力的安全保障強化」	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2010.04.01～2010.08.31	アジア太平洋地域の相互協力的安全保障の強化をテーマに、同地域に存在する各論的問題について話し合う国際会議(2010.06.07～10)を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
31	南アジアのセキュリティー・セクターの改革：日本の事例に学ぶ	バングラデシュ	バングラデシュ国際戦略研究機関	2010.04.01 ～ 2011.03.31	南アジアの総合的な安全保障としてのセキュリティー・セクターの改革（SSR）について考える国際会議。南アジアのセキュリティー・セクターの現状について分析するとともに、モデル・ケースとして日本のセキュリティー・セクターの紹介も実施。会議実施時期は2010.12.07～08
32	大逆事件百年を顧みて	オーストラリア	ボンド大学	2010.04.01 ～ 2011.02.28	大逆事件から100周年を記念し、国際会議を開催。同事件はそれに続く思想統制と合わせて、大戦に至る日本の歴史において、政治、法律、社会、文化等の諸側面で多大の影響を与えた。日本、オーストラリア、ニュージーランド、欧州等から専門家を招き、同大学を会場として実施（2010.08.21～22）
33	Women's Voices—芸術表現を通じた主張と変化	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.04.01 ～ 2011.03.31	アジアにおける女性の地位に関する主張と社会の変化を、特に詩を中心とした芸術表現に焦点を当てて考察する。学者、詩人、ジャーナリストなど分野横断的な参加者を集め、インターネット上のフォーラム、講演会、詩の朗読会、シンポジウムなどを複合的に、同大学等で実施（2010.09.29～10.01）。同時期に当該大学で行われる第10回アジア国際女性会議の関連事業として実施
34	アジア大洋州における食糧問題：食料の安全保障に関する地域枠組の検討	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.05.01 ～ 2011.03.31	「食料の安全保障」をテーマに、2008年の食料危機を事例として、アジア大洋州における食料の安全保障に関する地域的枠組と、実際の取り組みを分析し、政策提言にまとめる。シンガポール大学の非伝統的安全保障研究所や大阪大学を中心とする日本の「人間の安全保障研究教育コンソーシアム」が協力。オーストラリア国立大学で実施（2010.10.06～08）
35	日本研究者を対象とした日本古文・旧字体日本語の読解講習	オーストラリア	マードック大学	2010.06.01 ～ 2011.02.28	日本研究者・大学院生を対象に、日本の古文・旧字体で書かれた文章の読解に関する集中講座を実施。講師は日本とオーストラリアの大学の専門家で、受講者は、オーストラリア、ニュージーランド、東南アジアの12大学から計〇名が参加。マードック大学で実施（2010.06.29～07.03）
36	三菱現代日本セミナー	オーストラリア	モナシュ大学日本研究センター	2011.03.18 ～ 2011.03.31	日本の経済と科学技術の現状と課題について、日本、中国、インドネシアより研究者を招くと共に、オーストラリアの研究者、ビジネス関係者を交えたセミナーを開催。日本からは、高橋豊治（中央大学教授）、永野博（総合政策大学院大学教授）を招へい

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
37	国際ワークショップ「アセアンと日本からみた大学の社会的役割及びその持続性—より良いコミュニケーションづくりにむけて」	東南アジア地域区分困難	アセアン大学ネットワーク	2010.09.13 ~ 2010.09.15	知識型社会の構築に向けて大学が果たす社会的責任について、高等教育機関の使命やコミュニティの発展、大学内ガバナンスの視点から検討する専門家ワークショップ。各国の事例を共有しながら、アセアンとして掲げる大学の社会的責任のコンセプトや具体的な活動等に関して議論する。3カ年計画事業の1年目。アセアン諸国のメンバー大学関係者や日本人講師35名が参加し、タイ・チョンブリのプラパー大学にて実施（2010.10.20～22）
38	アジアの文化産業：インド、日本、韓国の比較研究		一般財団法人社会文化研究センター	2010.12.21 ~ 2010.12.22	日本、インド、韓国の文化産業に関する比較研究。インドにおける日本及び韓国からの輸入及び同国への輸出について調査を行い、3カ国間の文化産業の流通について総合的に議論する会議

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 57,149,337 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	社会的企業をめぐる日韓会議	韓国	希望製作所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成20年度、21年度に国際交流基金主催・希望製作所共催で実施した社会的企業をめぐる日韓交流事業「社会的企業が拓く日韓の新たな出会い」により得られた日韓の社会的企業研究者・実践者の相互理解とネットワークを活用して、社会的企業家を目指す日韓青年交流プログラム (ヤング・チャレンジ) 及び同プログラムの成果を踏まえ、日韓を含むアジア全体の社会的企業セクターの発展を視野に入れた専門家会議を実施
2	東アジアの平和・ガバナンス・発展についてのEAIフェロープログラム	韓国	(East Asia Institute:EAI)	2010.07.01 ~ 2011.03.31	非アジア圏に居住する研究者5名を対象とするフェローシップ事業。フェローは、日本・慶應義塾大学をはじめとする東アジアの大学において研究・論文執筆を行うと同時に、セミナーや講義を実施。日本に関係する研究を行っているフェローについて助成
3	日・中・韓芸術家交流展覧会シンポジウム	韓国 中国	日中韓芸術家交流実行委員会	2010.11.15 ~ 2010.11.18	奈良県薬師寺にて、日・中・韓それぞれの国を代表する芸術大学の有識者が一堂に会し、3カ国の「美」の特徴や関わりについて比較考察するとともに、ヨーロッパが東アジアの芸術文化をどのように捉えてきたのか、その歴史的変遷を明らかにし、日・中・韓3カ国の文化共同体運動の指針、方途を検討するシンポジウムを実施 (2010.11.15~18)
4	東アジア共同体に向けてー日本と朝鮮半島	韓国	東北アジア研究会	2011.03.01 ~ 2011.03.31	東アジア共同体の形成にむけてアメリカ、韓国、北朝鮮、日本が果たす役割と課題について政治、安全保障、経済、外交など多様な側面から議論する国際シンポジウム。朝鮮半島や東アジア共同体に関する研究者や実務家を招へいすることで、各地域からの専門家交流を促進させて東アジア共同体の土台となる「知の共同体」の形成をはかるもので、若手研究者や大学院生を積極的に参画させ、東アジア共同体の形成・発展に関する議論を継承する次世代の育成も目的のひとつとする

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
5	第6回東京－北京フォーラム	中国	特定非営利活動法人言論NPO	2010.04.01～2011.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することをめざす継続対話事業。常設である「メディア」「政治」「経済」「地方」対話を実施するほか、今回は「安全保障」「文化交流」「環境」の3分科会を設置。東京にて実施（2010.08.30～31）
6	日韓共同研究会議	日本	慶應義塾大学東アジア研究所	2010.04.01～2011.03.31	北東アジアの地域安全保障、国内社会福祉問題等の日韓両国の共通課題につき、日韓の若手研究者が共同研究を行い、その成果を日韓双方で開く学術会議で発表
7	日中韓における日本研究－伝統、範囲、方法	日本	日本研究サーベイ実行委員会	2010.04.01～2011.03.31	日中韓国における日本研究を論じられ、理解が変容してきたかを両国の有力な研究者の視点で分析・発表してもらい、日本側研究者と共に議論することにより、理解を深める。また、日・中、日・韓という二国間関係にとどまらない東アジア圏あるいはグローバル社会の中での日本のあり方につき議論。前年度は政治学と国際関係論をテーマに、発表・討議したが、本年度は、社会学と歴史学について扱った
8	「文化による平和構築」セミナー	日本	国際文化会館	2010.04.01～2011.03.31	文化・芸術を通じて平和構築に貢献している各界の活動家が、それぞれの活動への思いや、文化や芸術が、世界の様々な地域や国でどのような対話の場を生み、平和に貢献しているかを語り、その可能性や課題について考える連続講座。国際文化会館（東京）にて実施（2011.02.07～03.02）
9	福岡国際文化シンポジウム2010	日本	一般財団法人福岡ユネスコ協会	2010.08.01～2011.03.31	四方田犬彦（明治学院大学教授）、香港のメアリー・ウォン（嶺南大学講師／文学・映画研究）、タイのプラブダー・ユン（作家／脚本家）、後小路雅弘（九州大学教授／現代美術）、李鳳宇（映画プロデューサー）による、アジアにおける現代文化の交流に関するシンポジウムを開催
10	尖閣諸島問題と日中の世論悪化を考える有識者緊急会議	日本	特定非営利活動法人言論NPO	2011.03.31～2011.04.03	2010年9月に発生した尖閣諸島海域での衝突事件にともない、日中関係が悪化し、双方の国民の感情も悪化している。こうした対立の原因や改善方法について、日本の有識者が訪中し、中国側関係者と会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
11	国際的対話による経済パラダイムの再考	日本	特定非営利活動法人懐かしい未来	2011.03.01 ~ 2012.03.31	一国の経済や国民の生活に多様な影響を及ぼし、さらに南北格差を促進した経済に焦点をあて、協働を基盤とした新しい社会づくりに向けて、従来とは異なる新たな経済パラダイムのあり方や可能性を探究する連続会議事業。アジア太平洋地域を軸に「経済のローカル化」を議論する会議を開催。豪州バイロン・ベイにて準備会議（2010.03.29～30）を実施、本会議（2012.03.23～25）は米国パークレイにて実施
12	中国・ベトナム知識人の対話と日本	日本	早稲田大学	2011.03.07 ~ 2012.03.31	中国、ベトナム両国の知識層とパイプのある日本人有識者および在留のベトナム・中国人研究者が第三者として参画することで、より客観的な立場から中越間の知識人対話を促進し、中長期的には韓国や東南アジアの知識人を含めた地域知識人フォーラムの設立を目指す会議事業。2011年3月実施予定であったが、東日本大震災のため翌年度に延期（2011.05.28に実施）
13	アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ2010	インドネシア	コムニタス・ティカール・パンダン (Kommunitas Tikar Pandan)	2010.12.05 ~ 2010.12.12	インドネシアのアチェにおいて30年に亘って続いてきた紛争の終結後に、地域の復興と住民同士の信頼感の醸成を目的として平成19年度から実施している事業の最終年度。21年度に実施予定であったが、アチェ地域における外国人襲撃事件の発生により実施が延期されていたもの。次世代を担う子どものエンパワーメントに主眼を置いたワークショップ実施にあたり、現地での実施経費を助成
14	平和の光：ヴィジョンからアクションへ、紛争から平和へ	フィリピン	イスラム民主主義フィリピンセンター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ミンダナオにおける紛争解決には女性による草の根レベルでの貢献とネットワークの構築が必須であるという認識から、アジアの関係国から女性ムスリム指導者や平和構築分野の専門家が参加し、女性ムスリムの能力開発・指導者育成を行う事業の第2年目。ザンボアンガにて実施（2011.02）
15	ミンダナオの青少年による平和構築のための映画製作事業	フィリピン	ブループ・メディア財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ミンダナオ各地の青少年(高校生)を対象に実施する、日本とフィリピンによる平和構築事業。ミンダナオ各地のムスリム地域、クリスチャン地域、先住民地域の13～17歳の青少年を対象にジャーナリストや映像関係者が映像製作を指導し、平和に関する3分間の映像を製作。作品を一堂に集めて上映会とセミナーを開催。2010年7月から12月の間にミンダナオで製作

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
16	東南アジア研究地域交流プログラム (SEASREP)	東南アジア地域区分困難	SEASREP財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	今後の東南アジアの経済発展及び人口移動の観点から、3カ年計画の国際共同研究「現代の東南アジアにおける中国移民：ベトナム、マレーシアにおける事例研究と日本への中国移民」の第1年目として、マレーシア、ベトナム、日本における華僑に関する事例研究を通年で実施。また東南アジア諸国における人文・社会科学分野の研究者間の相互理解促進とネットワーク構築を促進することにより、同地域における東南アジア研究を促進するプログラム (SEASREP) の運営に対して助成
17	大規模自然災害に関する語り継ぎ文化	フィリピン	フィリピン大学国際研究センター	2011.02.25 ~ 2011.02.28	2010年2月に実施した国際会議「大規模災害回避・軽減のための経験と教育：日本と東南アジア防災文化」の継続事業。過去の災害体験や教訓を伝承し、災害時の避難行動や普段の備えに生かす「防災文化」をコンセプトに、東南アジア、南太平洋、米国、欧州から専門家が参加し、特に日・比における歴史的な火山噴火に関する語り継ぎと、防災・減災害教育についての経験を共有
18	国際共同研究：アジア地域における「人間の安全保障」への新しいアプローチ	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.04.01 ~ 2011.03.31	アジア・大洋州地域において、「人間の安全保障」政策に対する「狭義」及び「広義」のアプローチがいかに調整され、地域的な特性をもって実施されているかを検討する国際共同研究・会議。2009年から開始された事業の2年目。2010年は日・豪・中より7大学が参加し、研究プロジェクトを推進するとともに、9月にはプロジェクト参加者の他、関係専門家や政策関係者を招へいし、会議を行った
19	アジア文学シンポジウム：作家と味わい、考えるアジア文学の豊饒	中国 モンゴル	アジア文学シンポジウム実行委員会	2011.01.01 ~ 2011.05.31	2011年3月12日、日本財団ホールにて、5年間にわたってアジア10カ国の作家を訪ね、交流してきた高樹のぶ子（作家）の活動の総まとめとして開催された国際シンポジウム。同氏のほか、作家の辻原登、楊逸、モンゴルから児童文学者のジャンビーン・ダシドンドグを招いて、「アジア各国の作家たちはなぜ書くのか」「我々はアジアの文学を通じてどんな滋養を受け取ることができるのか」を討論

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 43,283,625 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2010	韓国 中国	韓国国際交流財団 中華全国青年連合会	2010.07.29 ~ 2010.08.08	日中韓3カ国の各界（政・官・学・財・ジャーナリズム・NPOの6分野）の次世代リーダー同士が、互いに信頼感を醸成し、長期的なネットワークを構築するために、共通の課題について対話を行う機会をつくることを目的に、3カ国を巡る合宿形式のプログラムを実施。本年度は、韓国（済州）、日本（沖縄）、中国（上海・寧波）を訪問
2	日韓多文化共生都市セミナー	韓国	韓国多文化共生学会	2011.08.19	日本や韓国では、外国人住民の多い自治体を中心に、国籍や民族等の異なる住民が共に生きていく地域づくりを進めるために「多民族共生」や「多分化社会」という観点から様々な政策が進められているが、欧州では、新しい都市政策として「インターカルチュラル・シティ」の考え方が注目されている。 本セミナーは、特に地域住民の多文化理解、住民と外国人との間の異文化交流への努力をどのように維持していくのかについて、欧州の「インターカルチュラル・シティ」に基づく取組みを参考に、日本や韓国の都市のあるべき姿を探ることを目的としたもの。 当初2011年3月に実施予定であったが、東日本大震災の発生により延期。内容を一部拡大した上、平成23年度に「日韓欧多文化共生都市セミナー」として2011年8月19日にソウルにて開催
3	中国知識人・研究者個人招へい	中国	財団法人農林中金総合研究所 慶應義塾大学総合政策学部 東京大学大学院情報学環 東京大学東洋文化研究所 日中市民社会ネットワーク 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 日本莫邦富事務所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本に滞在した経験の少ない中国の若手・中堅の知識人及び研究者8名を日本に招へい。 董郁玉（光明日報論説委員）、趙静（南方都市報コラムニスト）、梁書民（中国農業科学院農業経済発展研究所副研究員）、呉曉佳（中国農業部農村経済体制・経営管理士主任科員）、江迅（亜洲週刊シニア特派員）、張巳瑛（愛自然教育コンサルティングセンターセンター長）、張玫（上海国際問題研究院研究員）、葉彤（生活・読書・新知三聯書店編集者）。 日本社会・文化などに触れる機会を提供することで日本についての理解を促進するとともに、日本人研究者、専門家等との交流・対話などを通じて個人的な関係を築くことにより将来的な日中間の知的ネットワークを形成

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
4	中国知識人・研究者グループ招へい	中国		2011.02.16 ～ 2011.02.28	日本研究を専門としないが対日理解・関心を促すことに長期的な効果が期待される研究者、有識者8名を中国から招へい。国務院台湾事務弁公室グループ（4名）（2011.02.16～21）及び共産党中央対外連絡部グループ（4名）（2011.02.21～28）が、それぞれ訪日、同分野の日本人研究者・専門機関とのネットワーク形成を促進
5	第6回日中韓文化交流フォーラム	中国 韓国	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	2010.11.15 ～ 2010.11.18	北東アジアにおける民間主導の文化交流を積極的に推進し、同地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的に、日中韓3カ国の委員19名が一堂に会し薬師寺で開催。テーマは「東アジア共同体形成における文化の役割—過去・現在・未来—」
6	東南アジア若手イスラム知識人グループ招へい	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア		2010.11.10 ～ 2010.11.19	東南アジア諸国の若手イスラム知識人を日本に招へいし、日本が歩んだ近代化の過程を紹介しながら意見交換を行い、ネットワーク構築をはかる事業。インドネシア5名、マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポールから各1名の計9名を招へい
7	アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ 2010	インドネシア	コムニタス・ティカル・パンダン (Kommunitas Tikar Pandan)	2010.12.05 ～ 2010.12.12	インドネシアのアチェにおいて30年に亘って続いてきた紛争の終結後に、地域の復興と住民同士の信頼感の醸成を目的として平成19年度から実施している事業の最終年度。21年度に実施予定であったが、アチェ地域における外国人襲撃事件の発生により実施が延期されていたもの。 花崎 攝（はなさき・せつ：教育演劇専門家）、すずきこーた（教育演劇専門家）を派遣し、次世代を担う子どものエンパワーメントに主眼を置いたワークショップを実施。 別途知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕プログラムにより、現地の共催団体に対し現地での実施経費を助成
8	南上座部仏教関係者招へい事業	ミャンマー スリランカ	ルフナ大学 ペラデニア大学 国際マビダルマ大学	2010.07.15 ～ 2010.10.31	アジア諸国から宗教学・宗教文化の専門家を講師として招へいし、宗教倫理、哲学、人類学などの学際的な視点から仏教とヒンドゥー教がもたらした精神文化を問い直し、アジアがともに手を取り合って建設的な未来を創造していくための基底文化である宗教とその役割について、宗教・宗派を超えた対話を行う知的交流事業を実施
9	「社会的企業をめぐる日韓会議」報告書作成	韓国	希望製作所	2010.04.01 ～ 2011.03.31	平成20、21年度に韓国希望製作所との共催で実施した2回の社会的企業をめぐる日韓会議「社会的企業が拓く日韓の新たな出会い」の成果をまとめ、報告書『社会的企業の自立は可能なのか』を作成
10	スリランカ文化人グループ招へい（事前調査）	スリランカ		2010.04.01 ～ 2011.03.31	今後の招へい実施のために、現地に足羽與志子（一橋大学教授）、佐藤万帆（笹川平和財団研究員）を派遣し、事前調査を実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 8,280,143 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	東アジアの百年を考える日韓ユースキャンプ	韓国	在日コリアン連合 (KEY) 東京	2010.08.02 ~ 2010.08.09	日韓両国で生活する多様な青年が、「東アジア」という視野の下で、両国の歴史・平和・人権問題について、フィールドワーク等を通じて共同で学び考えるプログラムを両国で連続開催することにより、両国の青年間の相互理解と対話関係を深めるとともに、今後の日韓青年交流事業の担い手を育成する
2	第25回日韓学生会議東京大会	韓国	日韓学生会議	2010.08.05 ~ 2010.08.19	日韓学生会議に所属する18名と韓日学生会議に所属する18名が通訳6名を交え、2週間にわたる共同生活を行いつつ、ボランティアやフィールドワーク調査などを通じて新たな日韓友好の方策を探索する
3	第1回日中韓模擬国連会議日本開催事業	日本	公益財団法人日本国際連合協会	2010.09.12 ~ 2010.09.16	日本、中国、韓国の若者を招へいし、模擬国連会議を実施する。また、各国の若者には日本文化に直接触れてもらうため、文化施設訪問を通じた国際交流を図る。最後には有識者を招き、日中韓それぞれの若者の意見を交換し、相互理解に努める
4	LEAFフォーラム2010 日本セッション	日本	Linking East Asian Future (LEAF) 日本実行委員会	2010.09.26 ~ 2010.10.02	日中韓の大学・大学院より約20名ずつ選ばれた計60数名の参加者が、日本において7日間の共同生活とフィールドワークを通じてリーダーシップを学び、東アジア地域の課題に対する解決策を提示し、東アジア地域の課題を解決するためのパートナーとなるような、生涯続く強い絆の獲得を目指す
5	北東アジア学生ラウンドテーブル	日本	北東アジア学生ラウンドテーブル	2011.01.12 ~ 2011.01.16	韓国及びモンゴルから大学生各5名を招き、共通の課題について忌憚のない意見交換と議論を深めると共に、これらを正式な国際会議の形式と手続きにて実施することにより、学生が将来、真の国際人となる実践の機会とするための国際会議、及び関連の交流活動を行う
6	第29回日中学生会議中国開催	日本 中国	第29期日中学生会議実行委員会	2010.08.06 ~ 2010.08.26	日中の学生が中国を舞台に、分科会での討論、文化交流、フィールドワークなどさまざまな活動を3週間にわたって行う中で、相互理解と友情を醸成し、学生からの日中友好を推進する。中国での本会議活動の前には、東京で2日間の事前合宿を行う。本会議での成果は、報告会などを通して社会へ発信する
7	日本の公益経済学習交流プロジェクト	日本	特定非営利活動法人日本エコツアーリズムセンター	2010.08.10 ~ 2010.09.13	上海で民間公益組織 (NGO) の設立と育成を行うNPI公益組織発展センターと協力し、上海万博期間中にソーシャル・イノベーション展示・交流施設The Nestで、中国国内外の社会的企業、NGOが集まる活動展示・交流プロジェクトに参加し、日中の公益経済分野の交流と相互理解、ネットワーク形成を図る
8	STeLA Leadership Forum 2010	日本	STeLA (Science and Rechnology Leadership Association) 日本支部	2010.08.15 ~ 2010.08.22	米国・フランス・中国・日本より計40名の学生を集め、中国・北京で、持続可能な科学技術発展のあり方をテーマとした講演・議論・共同作業などを通じて国際的リーダーの育成を行う

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	京論壇 2010	日本	京論壇東京大学実行委員会	2010.09.15 ～ 2010.10.03	東京大学、北京大学の学部生・院生による日中の大学生間の討論・交流プログラム。北京セッション（9.15～21）、東京セッション（9.26～10.3）で構成。2週間寝食を共にしながら日中間の課題を話し合い、相互理解及び信頼醸成を目指すほか、報告会・報告書出版を通じて社会発信を行う
10	国際ワークショップ「歴史都市・京都における都市居住の現代的課題」	日本	NPO法人西山卯三記念 すま い・まちづくり文庫	2010.08.15 ～ 2010.08.20	日本の都市居住のあり方やそれに関する政策の現代的課題を学ぶためのワークショップを京都で開催。日本の住まい・町づくりの実態、研究上の課題、実践上の課題について学生が討議
11	第4回日本ベトナム学生会議 本会議	日本	日本ベトナム学生会議	2010.08.05 ～ 2010.08.22	学生という立場から日越友好に貢献するという理念のもと、将来を担う両国学生が率直な討論や交流活動を通じて、相互理解並びに友好を増進させる
12	第14期日本インド学生会議 本会議	日本	日本インド学生会議	2010.08.15 ～ 2010.09.11	日印間の相互理解を促進させるための草の根交流を目指す。日本とインドの両国の学生を主体とする国際学生会議の分科会、文化交流会、企業訪問などからなる本会議を日本側委員会として運営
13	災害に関するアジア諸国共同 トレーニング	日本	国際医学生連盟（IFMSA） 日本支部	2010.08.23 ～ 2010.08.24	近年アジアで多発する災害に対し、医療系学生の意識を高め、有事の際に中心となって災害医療に携わることのできる人材を育成

日本研究・知的交流事業に必要な経費

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究機関支援〔欧州・中東・アフリカ〕

2. 人物交流事業費

- (1) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (4) 知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (2) 知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕
- (3) 人材育成グラント〔欧州・中東・アフリカ〕

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 2,482,380 円

	事業名	対象国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	日本研究巡回セミナー	ウズベキスタン ロシア	タシケント モスクワ	ウズベキスタン日本人材開発センター タシケント国立繊維・軽工業大学 モスクワ国立繊維大学		2010.10.09 ~ 2010.10.13	当該国における幅広い対日関心の喚起と、日本研究の活性化のために、織田晃（杉野服飾大学教授）と澤柳直志（デザイナー）を派遣し、「ユニバーサル・ファッション」をテーマに講演会を実施。日本のグローバルな知的貢献の事例として、日本社会における弱者や環境への眼差し、また、もの作りの伝統を紹介

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 21,373,472 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	英国日本研究協会(BAJS)	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	英国日本研究協会の年次総会(ロンドン)について、日本からの基調講演者として参加する上野俊哉(和光大学教授)の旅費を支援(10.09.09~10)
2	北欧アジア研究研究所(NIAS)図書情報センター	デンマーク	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニアスリンク(NIAS Link: 北欧5カ国の大学・研究機関連合の図書館部門)への日本関連データベース購入費用の支援
3	ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)	欧州地域区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ヨーロッパ日本研究協会事務局運営及びウェブサイト・データベース作成・更新費を一部支援
4	フランス日本研究学会	フランス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「愛」をテーマにフランス日本研究学会第9回国際大会をパリにて開催(10.12.16~18)。大会開催費用として、交通費、滞在費等を支援
5	ロシア日本研究者協会	ロシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	学生論文コンクール、事務局経費、ウェブマガジン(Meet Japan)、教科書・紀要等出版助成
6	ハイファ大学	イスラエル	2010.04.01 ~ 2011.03.31	第9回イスラエル・アジア研究年次学会をハイファにて開催(10.04.26~27)
7	トルコ日本研究学会	トルコ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「2010年トルコにおける日本年」事業の一環として、1993年に発足し、現在約100名の会員がいるトルコ日本研究学会の「トルコ日本研究会議」(イスタンブール)開催を支援

欧州・中東・アフリカ交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 日本研究機関支援 [欧州・中東・アフリカ]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的かつ中・長期的に行い、当該国の日本研究の基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 59,157,261 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	国立アイスランド大学	アイスランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
2	アイルランド国立大学ヨーク校	アイルランド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
3	ヴェネチア大学 (カ・フォスカリ大学)	イタリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	イタリア最大の同大学日本研究学部専属図書館の充実、「近代と現代日本における死と欲望」をテーマとする国際会議、「日本の近・現代宗教運動」に関する集中講義のため、島藺進 (東京大学教授) の客員教授派遣及び日本語・日本文学等の講義を担当する教員の雇用経費助成
4	エディンバラ大学	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「現代日本社会」「日本語」等の講義を担当する教員の雇用経費助成
5	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)	英国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本経済分野の研究者を専任教員として雇用する経費を助成
6	バルセロナ自治大学通訳・翻訳学部	スペイン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「日本語」「日本文学」「日本のポップカルチャー」等の講義を担当する教員の雇用経費助成
7	ケルン大学	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
8	ハイデルベルク大学	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	世界で初めて設置された日独語の通訳養成修士課程に対する支援の2年目。実践的な講義を担当する教員の雇用経費助成
9	ボン大学人文学部	ドイツ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	馬場章 (東京大学大学院学際情報学府教授) を客員教授として派遣。「コンテンツビジネスと東アジア共同体」をテーマにした国際会議への支援をしたほか、日本研究分野の図書寄贈及びボン大学の研究者7名の訪日研修を支援
10	オスロ大学	ノルウェー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	巽孝之 (慶応義塾大学教授) を日本から派遣し、集中講義及び国際会議を実施。また日本研究分野の図書も寄贈
11	パリ国立政治学財団	フランス	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本講座 (ジャパン・チェア) への支援。前期 (10~2月) に駒田泰士 (上智大学准教授) が、後期 (2~6月) に吉田徹 (北海道大学准教授) が集中講義を実施
12	ルーヴァン・カトリック大学 (EAJRS)	ベルギー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
13	タシケント国立東洋学大学	ウズベキスタン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授として下斗米伸夫 (法政大学教授)、青木三郎 (筑波大学教授) を派遣。国際関係論及び文化と言語についての講義を実施。
14	ザグレブ大学哲学部	クロアチア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
15	コメニウス大学	スロバキア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究分野の図書を寄贈
16	エオトヴェシ・ロラーンド大学	ハンガリー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語・日本文学関連の講義を担当する教員の雇用経費の助成

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
17	ヴィタウタス・マグヌス大学	リトアニア	2010.04.01～2011.03.31	池上嘉彦（昭和女子大学教授）を客員教授として派遣。シンポジウム「ヨーロッパ・メディアにおいて表象された日本—その分析方法論と理論」及びその成果出版を助成。日本研究分野の図書を寄贈
18	ロシア極東国立総合大学付属東洋学大学	ロシア	2010.04.01～2011.03.31	ホワンチュク（同大学准教授）のモスクワにおける国内研修及び研究成果である『日本とロシア沿海州：相互理解への道』の出版助成
19	エルサレム・ヘブライ大学	イスラエル	2010.04.01～2011.03.31	堀田江理（日本近現代史研究者）を客員教授として派遣し、学部及び大学院生に対する政治学・歴史学に関する講義を実施
20	バグダッド大学文学部歴史学科	イラク	2010.04.01～2011.03.31	イラクにおける日本研究の維持・向上のため、イラク（エルビル市）にて日本—イラク間学術交流を行う会議を実施
21	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2009.09.01～2010.06.30	テヘラン大学日本語学科において翻訳論、日本思想論を担当する研究者の雇用経費助成
22	テヘラン大学外国語・外国文学部	イラン	2010.04.01～2011.03.31	五十嵐小優粒（大阪産業大学非常勤講師）及び近藤正憲（愛媛女子短期大学非常勤講師）を客員教授として直接派遣し、日本文化交流史及び日本語教授法等に関する集中講義を実施
23	テヘラン大学世界研究学部	イラン	2010.04.01～2011.03.31	モハマト・ナギザデ（Mohammed Naghizadeh：明治学院大学教授）を客員教授として直接派遣し、日本経済の講義を実施
24	ダマスカス大学	シリア	2010.04.01～2011.03.31	松尾昌樹（宇都宮大学国際学部准教授）を客員教授として直接派遣し、学部学生へ現代日本社会事情の講義及び研究論文の執筆指導を実施
25	バフチェシェヒル大学	トルコ	2010.04.01～2011.03.31	日本の建築、庭、デザイン等を中心とした図書を寄贈
26	アインシャムス大学外国語学部	エジプト	2010.04.01～2011.03.31	大学院生等に対して、今井雅晴（筑波大学教授）による文学批評論に関する講義及び遠隔論文指導を実施
27	カイロ大学政治経済学部アジア研究センター	エジプト	2010.04.01～2011.03.31	日本の政治経済に関わる導入的講義と専門性の高い講義を提供する日本研究集中講義を支援
28	プレトリア大学ゴードン経営学研究所	南アフリカ	2010.04.01～2011.03.31	新設される日本研究センターに、ビジネス関連書籍及びDVDを中心に図書寄贈を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 日本研究フェロシップ (学者・研究者 長期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 61,105,360 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	CENTONZE, Katja	カラブリア大学 非常勤講師	イタリア	早稲田大学演劇博物館	2009.06.13 ~ 2010.05.11	身体論と技術：舞台芸術から土方巽の舞踏へ。パフォーマンスとテキストにおける身体とメディアをめぐって
2	BRUCE, David Simon	ロンドンメトロポリタン大学 上級講師	英国	京都大学経済学部	2009.10.01 ~ 2010.09.30	グローバリズムと日本経済に関する図書執筆
3	GARDINER, Michael	ウォーリック大学 助教授	英国	青山学院大学	2009.12.14 ~ 2010.06.12	欧米の文学論における世界文学論と1920~1970年日本文学におけるモダニズム
4	GERMER, Andrea	ニューキャッスル大学 日本学 講師	英国	広島市立大学	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本とドイツの戦時ビジュアル・プロパガンダ：文化、民族、ジェンダーに関する比較
5	GERSTLE, Andrew	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 教授	英国	立命館大学	2009.09.11 ~ 2010.09.10	十八世紀の女性向け教訓書とその春本パロディ
6	HANSEN, Paul Simon	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 研究員	英国	国立民族学博物館	2009.06.14 ~ 2010.06.13	日本の都市生活におけるペットと家族の結びつき
7	PATESSIO, Mara	マンチェスター大学言語学部 講師	英国	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター	2010.07.01 ~ 2010.09.12	長谷川時雨と近代日本女性史
8	STEGEWERNS, Dick	オスロ大学文化研究・東洋言語学部 准教授	オランダ	京都大学人文科学研究所	2011.01.15 ~ 2011.12.14	戦争の再演：戦後日本映画における自己と他者の表現
9	KAVALLARIS, Faidros	作曲家	キプロス	東京藝術大学	2010.12.01 ~ 2011.11.30	松風とオイディプス王・能と古代ギリシャ劇の歌詞、音楽及び構成
10	BORGGREEN, Gunhild	コペンハーゲン大学芸術・文化研究科 助教授	デンマーク	東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科	2011.02.01 ~ 2011.07.31	芸術と技術：日本のロボットの視覚文化
11	SCHOLZ, Stanca Emilia	トリア大学日本学科教授、日本学科長	ドイツ	早稲田大学演劇博物館	2010.10.01 ~ 2011.02.28	社会批判と現代日本における政治演劇の声
12	MIDFORD, Paul	ノルウェー科学技術大学 社会・政治学科 助教授	ノルウェー	同志社大学法学部	2010.07.20 ~ 2011.07.19	東アジアにおける多国間の安全保障協力—安心感を高める論理と日本のリーダーシップ
13	PEETERS, Bruno Henri Albert	セント・ルーカス大学 教授	ベルギー	東京大学大学院新領域創成科学研究科	2010.02.01 ~ 2011.01.28	高齢化、縮小化する社会状況における日本の都市計画の潜在性、転換の可能性及び再評価
14	PYANOVA, Elena Viktorovna	タシケント国立東洋学大学歴史学部 講師	ウズベキスタン	早稲田大学	2010.10.01 ~ 2011.07.30	近代日本研究：久米邦武の経験に学ぶ宗教、教育と進歩について

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	TUYCHIEV, Muchiddin	タシケント国立東洋学大学 研究員	ウズベキスタン	法政大学	2010.06.10 ~ 2011.05.31	日本と上海協力機構から考える、アフガニスタンの安全保障と安定への道
16	BEKES, Andrej	リュブリャナ大学 正教授	スロベニア	東京工業大学	2010.02.01 ~ 2010.09.30	南不二男による文の階層構造モデルの話し手・聞き手の確立論的言語能力モデルとしての再解釈：日本語会話における統語的共起のコーパス研究
17	SATO, Noriko	ブタペスト商科大学 准教授	ハンガリー	立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科	2010.05.23 ~ 2010.10.02	ハンガリーの日系企業における通訳者の役割－企業内通訳(者)の役割に対する期待と通訳者の職業意識－に関する研究
18	BATOR-LUKASIEWICZ, Joanna Maria	ポーランド科学アカデミー 上級准教授	ポーランド	東京工業大学大学院社会理工学研究科	2010.10.01 ~ 2011.09.30	おたく文化とそのジレンマ
19	MAJEWICZ, Alfred Franciszek	アダム・ミツケヴィチ大学東洋研究所日文学科 正教授	ポーランド	埼玉大学教養学部	2011.01.10 ~ 2011.11.09	B.ピウスツキとW.シェロシェフスキの観た明治期の日本（百年後遠景）
20	STARECKA, Katarzyna Violetta	ワルシャワ大学 助教授	ポーランド	東京大学文学部・大学院人文社会系研究科	2010.02.17 ~ 2011.02.16	近・現代日本における愛国心教育の問題点
21	KOVALCHUK, Marina Konstantinovna	極東国立総合大学東洋学大学 助教授	ロシア	大阪大学大学院言語文化研究科	2009.07.05 ~ 2010.06.30	日清戦争期の日本の新聞に見るロシアとイギリス『国民新聞』と『時事新報』の見解・比較的分析
22	STONOGINA, Yulia Borisovna	国際ビジネス・コミュニケーション協会ロシア支部 国際関係担当副会長	ロシア	新潟経営大学	2010.09.01 ~ 2011.03.15	日露ビジネスにおける現代社会・文化のアスペクト
23	BEJARANO, Shalmit	ピッツバーグ大学 美術・建築史学科	イスラエル	神奈川大学	2010.09.28 ~ 2011.09.27	伝承とカノン：近代画譜における耕作モチーフの検討
24	PASHAEI, Nastaran	ファララバン出版 翻訳者	イラン	北海道大学	2010.06.10 ~ 2010.12.09	『法華経』に関する芸術と曼荼羅及びその日本芸術・文化における位置づけに関する研究
25	SALEH, Adel Amin Mahmoud	カイロ大学日本語日本文学科 専任講師	エジプト	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	世界における日本型の国語形成の位置づけ：欧米諸言語とアラビア語の対比において

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [欧州・中東・アフリカ]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 77,842,564 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	WALSH, Dermott	ライデン大学 博士課程	アイルランド	京都大学	2011.01.15 ~ 2012.03.14	「空」の問題と近代日本哲学の倫理
2	CLOSE, Natalie Frances	オーストラリア国立大学 博士課程	英国	上智大学	2010.06.13 ~ 2011.09.12	日本の都市の共同体による祭のアイデンティティと役割
3	SEIDL, Bernhard	ウィーン大学東アジア研究所 非常勤講師	オーストリア	東京国際大学	2009.08.17 ~ 2010.08.16	日本語は「回帰」するのか：日本のポップス曲歌詞に見る外来語使用の変化とその社会的意義について
4	SEIGER, Fiona-Katharina	シンガポール国立大学 博士課程	オーストリア	龍谷大学	2010.09.15 ~ 2011.01.14	日本とフィリピンにおける日系フィリピン人青年：移住の軌跡によるアイデンティティ構築と再構築
5	DOGLIA, Arnaud	ジュネーブ大学東洋学部 教員 助手/博士課程	スイス	東京外国語大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	現代日本における過去の構築と脱構築：日本の戦争残虐の集合的記憶の形成
6	HUTTER, Roland Ryu	チューリッヒ大学文学部 美術史学科東洋美術史研究室 博士課程	スイス	国立歴史民族博物館	2010.06.30 ~ 2011.08.30	輪島漆器が「日本一」と呼ばれる理由について
7	GUSTAFSSON, Karl Anders	ストックホルム大学 博士課程	スウェーデン	東京大学	2009.05.15 ~ 2010.07.11	日中関係の記憶とアイデンティティ：平和・戦争記念館の事例から
8	LOPEZ-VIDAL, Lluç	ボンペウ・ファブラ大学 講師	スペイン	慶応義塾大学	2009.05.17 ~ 2010.04.03	冷戦後の日中関係における安全政策、ヘッジへの戦略？
9	MORENO, Nieves	マドリッド自治大学 博士課程	スペイン	早稲田大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本映画における活弁の思考と定着 (1908-1915)
10	FERSTL, Katja	ミュンヘン大学 博士課程	ドイツ	東京大学	2009.06.13 ~ 2010.06.12	現代日本の消費行動における私的写真の役割：年齢・ジェンダーを特定した比較
11	LANGE, Julia Janine	ボッフム大学東アジア研究部 日本史学科 専任講師	ドイツ	一橋大学	2010.05.10 ~ 2011.05.09	移民、文化、統合：東京のラテンアメリカ人
12	MELZER, Juergen	プリンストン大学東アジア研究学部 博士課程	ドイツ	東京大学 大学院総合文化研究科	2010.09.01 ~ 2011.08.31	戦間期における日本の航空開発とドイツ
13	SCHMIDT, Jan	ボッフム大学東アジア研究部 日本史学科 専任講師	ドイツ	一橋大学	2009.10.06 ~ 2010.04.05	いわゆる「欧州大戦」—1914年から1938年まで日本における第一次世界大戦と列国戦時下の動員体制の受容と解釈

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
14	CASTEL, Coralie Yolande	ナンテール大学 博士課程	フランス	多摩美術大学	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本における自己表現—社会的な視点からの「プリクラ」研究
15	TAJAN, Nicolas	トゥルーズ第二大学 博士課程	フランス	京都大学	2011.03.15 ~ 2011.05.14	日仏ひきこもり比較研究
16	MOSKALYOV, Dmitriy Petrovich	ウクライナ国立科学アカデミー付属東洋学研究所大学院生	ウクライナ	北海道大学スラブ研究センター	2010.06.01 ~ 2010.06.30	現代日本語におけるモダリティの文末の複合表現
17	NAGORNA, Valentyna	交通経済工業国立大学 助手	ウクライナ	天理大学国際文化学部	2010.06.01 ~ 2011.05.31	多義語・同音異義語・オノマトペ語から見た日本語の構造と特性（対照的な分析視点から）
18	KAVEDZIJA, Iza	ザグレブ大学 研究助手	クロアチア	大阪大学	2009.09.17 ~ 2010.11.16	よき生活、理想の家—現代日本において変化している「グッド・ライフ」についての考え
19	MATOSEC, Matjaz	ユトレヒト大学人文学部 博士課程	スロベニア	立命館大学	2011.01.20 ~ 2011.07.19	オペラのカストラートと歌舞伎の女形の比較—声に着目して
20	PLSEK, Ivo	カリフォルニア大学 博士課程	チェコ	東京大学社会科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	日本のエリートと戦後和解：1920年代から80年代にかけての政治の連続性
21	VASZKUN, Balazs	コルヴィヌス大学 博士課程	ハンガリー	早稲田大学	2009.10.01 ~ 2010.08.31	ネットワーク経済の構造と特徴：限界と利益
22	TODOROVA, Albena	ソフィア大学 非常勤講師	ブルガリア	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部現代文芸論研究室	2010.08.01 ~ 2011.09.30	『アンナ・カレーニナ』と『或る女』における女性像の比較研究
23	GLUCH, Dariusz	ワルシャワ大学東洋学研究所 博士課程	ポーランド	東京大学大学院人文社会系研究科	2010.11.01 ~ 2011.12.31	テキストによる言語間的コミュニケーションの実用論。日本語における和文と対照した漢文の問題
24	RUTKOWSKA, Iga Katarzyna	ワルシャワ大学東洋学部 博士課程	ポーランド	東京大学文学部・大学院人文社会系研究科	2009.09.30 ~ 2010.06.29	地芝居と中央歌舞伎比較研究。田舎における町人演劇
25	SONNENBERG, Katarzyna Anna	ヤギエロン大学 博士課程	ポーランド	お茶の水女子大学	2009.09.28 ~ 2010.11.27	樋口一葉の日記・作品における女性のイメージ
26	RUSU, Renata Maria	バベシュボヨイ大学 博士課程	ルーマニア	浜松学院大学	2009.07.05 ~ 2010.09.04	日本の神話や祭事における世界軸
27	KOROLEVA, Maria	モスクワ大学 博士課程	ロシア	早稲田大学法学学術院	2010.05.10 ~ 2011.02.09	現代日本における過去の構築と脱構築：日本の戦争残虐の集合的記憶の形成
28	LEBEDEVA, Ekaterina	ロシア極東国立人文大学 専任講師	ロシア	大阪大学大学院・言語文化研究科	2010.07.01 ~ 2011.08.31	日本語における慣用表現の発生と発達（通時的研究）—6～8世紀の歴史的記録と文学作品を焦点に—

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
29	TYZHINOVA, Natalia Alexandrovna	バイカル国立経済法科大学 博士課程	ロシア	京都大学大学院経営管理研究部	2009.08.28 ~ 2010.08.27	日本における生命保険
30	DOTAN, Oshrat	テルアビブ大学 博士課程	イスラエル	多摩美術大学	2009.09.05 ~ 2010.09.04	見えない世界へ：もの派における視覚と知覚の様相、1968～1971
31	ZWIGENBERG, Ran	ニューヨーク市立大学大学院センター 博士課程	イスラエル	広島市立大学国際学部	2009.06.26 ~ 2010.06.25	沈黙の記憶：広島平和祈念館
32	ATAY, Aysegul	アンカラ大学文学部日本語日本文学科 助手	トルコ	国立国語研究所	2009.05.31 ~ 2010.05.30	日本語のタ形とトルコ語の過去形
33	SAHIN, Esra-Gokce	ハーバード大学文学部社会人類学部 博士課程	トルコ	東京大学総合文化研究科	2010.09.01 ~ 2011.10.31	ユーモアの観点から見る社会事情
34	YAVUZ, Nilgun	アンカラ大学社会科学研究所言語学科外国語教育科 博士課程	トルコ	東京外国語大学	2010.08.15 ~ 2011.02.14	第二言語としての日本語及びトルコ語におけるスクランブル性習得の比較研究
35	EBEID, Ehab Ahmed	カイロ大学文学部日本語日本文学科 准講師	エジプト	京都大学大学院文学研究科	2009.07.17 ~ 2010.09.16	日本語とアラビア語の「トコロ性」
36	ELNOBY, Mohamed Hassan Mohamed	芸術アカデミー演劇高等研究所演劇批評学部 講師	エジプト	九州大学	2009.10.02 ~ 2010.12.01	1960年代の日本とエジプト演劇の比較研究：別役実とアルフレッド・ファッラーク
37	NOUR, Safaa Mahmoud Mohamed	カイロ大学文学部日本語日本文学科 助講師	エジプト	東京大学	2010.10.01 ~ 2011.11.30	日本とエジプトにおけるフェミニズム
38	SIALI, Nabila	モハメド5世大学法学部社会科学学科 博士課程	モロッコ	札幌学院大学	2010.06.08 ~ 2010.12.07	日本開発モデルにおける文化的様相

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェロシップ(学者・研究者 短期) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 13,072,341 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NEGRI, Carolina	ナポリ大学「オリエンターレ」	イタリア		2011.01.27 ~ 2011.03.12	紫式部日記の翻訳と研究
2	LLOYD, Fran	キングストン大学 教授	英国		2010.09.01 ~ 2010.10.01	ダムタイプ：介入の芸術
3	MAUDE-ROXBY, Alice	キングストン大学写真学科 コースディレクター	英国		2010.06.22 ~ 2010.07.15	美学校－1969年以降の日本の前衛芸術教育の影響に関する調査

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
4	FERNANDEZ ENGUITA, Mariano	サラマンカ大学	スペイン		2010.06.16 ~ 2010.07.15	変化する社会の教育システム：日本とスペインのケース比較
5	SHIRAISHI, Minoru	バルセロナ自治大学	スペイン		2010.07.01 ~ 2010.08.28	日本美術における東アジア美術の影響
6	DIETCH, Marcel	オックスフォード大学政治・国際関係学部 博士課程	ドイツ		2010.09.20 ~ 2010.10.24	天然ガス製造協力の政治経済：カルテル化と市場力
7	SCHULZ, Evelyn	ミュンヘン大学日本センター 教授	ドイツ		2011.03.01 ~ 2011.04.27	現代日本における都市論—スローシティとコンパクトシティの発想を中心に
8	GALAN, Christian	トゥールーズ・ル・ミライユ大学	フランス		2010.09.08 ~ 2010.10.08	日本における学区制と教育改革
9	MARQUET, Christophe	国立東洋言語文化学院 (INALCO) 日本語・日本文化学部 学部長	フランス		2010.07.13 ~ 2010.09.09	大岡春卜（おのおか・しゅんぼく）の草稿本と肉筆絵画の研究
10	KITSNIK, Lauri	タリン大学	エストニア		2010.10.19 ~ 2010.12.12	日本文学の映画化
11	HANOVA, Marketa	プラハ国立美術館アジア館 学芸員	チェコ		2010.07.03 ~ 2010.07.25	チェコにおける浮世絵の見立について
12	MATOUSEK, Roman	ロンドンメトロポリタン大学 主任講師	チェコ	横浜国立大学経営学部	2010.07.18 ~ 2010.08.27	日本の銀行の効率性と金融政策態度について
13	GUREVICH, Tatiana Mikhailovna	モスクワ国立国際関係大学 主任教授/日本語学科長	ロシア		2010.10.28 ~ 2010.12.25	日本語で表す世界
14	DALIOT-BUL, Michal	ハイファ大学 准教授	イスラエル		2010.08.01 ~ 2010.09.28	トライバル・メディア、高まった現実性、観桜と親密：携帯小説のケース
15	ESENBEL, Selcuk	ボガジチ大学 教授	トルコ		2010.06.15 ~ 2010.08.12	山田寅次郎の研究

欧州・中東・アフリカ交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 知的リーダー交流 (招へい) [欧州・中東・アフリカ]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 20,487,057 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ・事業内容
1	TRYPOLSKA, Galyna	ウクライナ国立科学アカデミー付属経済予測研究所 研究員	ウクライナ	京都大学大学院農学研究科	2010.05.31 ~ 2011.03.31	日本の農業セクターの潜在的エネルギーの利用：ウクライナ、バイオマス産業政策への教訓
2	RAKHIMOV, Mirzokhid	ウズベキスタ科学アカデミー歴史学研究所現代史・国際関係部 部長	ウズベキスタン	北海道大学スラブ研究センター	2010.03.03 ~ 2010.04.28	日本と中央アジア～多国間協力の現状と展望
3	SAIDKHODJAEVA, Malika Anvarovna	ウズベキスタン共和国科学アカデミー経済研究所投資・革新部 博士課程	ウズベキスタン	財団法人貿易研修センター	2010.07.15 ~ 2010.08.27	ウズベキスタンにおける省エネ戦略のマクロ経済的アспект (日本の省エネ戦略の調査：現行プログラムの発展と計画の経験)
4	BAKYTZHANOVA, Zhuldyz Mukhtarovna	教育科学省経済研究所 研究者	カザフスタン	中央アジア・コーカサス研究所	2010.07.31 ~ 2010.08.30	カザフスタンと日本の協力関係：グローバルな経済統合のもとでの発展の方法
5	JAVAKHISHVILI, Nino	トビリシ国立大学社会政治学科 心理学教授	グルジア	早稲田大学文学学術院	2010.09.25 ~ 2010.11.24	日本とグルジアの若者民族・宗教・政治姿勢に関する異文化比較
6	VISTOROPSKI, Nika	デロ出版社 記者	スロベニア	朝日新聞社	2010.10.16 ~ 2010.12.15	日本における女性の日常
7	MITROVIC, Dragana	ベオグラード大学政治学部 教授	セルビア	同志社大学	2010.06.11 ~ 2010.07.22	現代日本の政治経済
8	KRUDY, Tamas Geza	『ELLE HUNGARY』 編集者	ハンガリー	名古屋大学大学院教育発達科学研究科	2010.05.27 ~ 2011.07.18	現代日本社会における家族の役割—家庭と社会における女性の役割に焦点をあてて
9	TARROSY, Istvan	ペーチ大学アフリカ研究センター 准教授	ハンガリー	籠谷大学法学部	2010.11.07 ~ 2010.12.14	21世紀における国際的秩序の変化とアフリカ・アジアの協力を踏まえた日本とアフリカの関係
10	DUL, Robert Andrzej	ワルシャワ民族博物館 シニアキュレーター	ポーランド	国立文化財機構 東京文化財研究所	2010.09.21 ~ 2010.11.16	日本の現代文化、文化教育政策における無形文化遺産の役割
11	NAZARKO, Lukasz	ビャウイストック工科大学 研究・教育助手	ポーランド	東京大学生産技術研究所	2010.08.15 ~ 2010.09.30	イノベーションにおける科学技術予測法のインパクト
12	AHMETOVIC, Emina	エコボット トゥズラプロジェクトアシスタント兼コーディネーター	ボスニア・ヘルツェゴビナ	神戸大学大学院経済学研究科	2010.07.05 ~ 2010.08.29	日本の環境政策とその経済発展への影響
13	SPRUDS, Andris	リガ・ストラディン大学 ヨーロッパ学部 准教授	ラトビア	財団法人日本エネルギー経済研究所	2010.10.02 ~ 2010.11.14	ロシアのエネルギー政策の比較評価：ヨーロッパとアジアのベクトルから
14	PANZARU, Ioan	ブカレスト大学 学長	ルーマニア		2011.01.01 ~ 2011.03.31	日本の文化・教育機関の訪問、関係者との意見交換を実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ・事業内容
15	POPA, Viorel	ルーマニア国立地震災害 軽減センター 所長	ルーマニア	日本建築防災協会	2010.07.06 ~ 2010.08.16	日本における地震災害予防
16	ZAHID, Hidayatullah	大統領府 官房長顧問	アフガニスタン	財団法人日本エネルギー 経済研究所中東研究セン ター	2011.02.14 ~ 2011.02.25	日本の議会と行政システムの研究
17	SWIDAN, Rajaa	ナジャーハ大学 助教授	イスラエル	北海道大学大学院教育学 研究科	2010.10.24 ~ 2010.12.09	日本の人材開発：初等、中等、高等教育を統合 することで生じる影響について
18	AL-MANSHI, Hayder Mohammed Abdul-Hameed	バグダッド大学 講師	イラク	広島大学大学院国際協力 研究科開発科学専攻	2010.06.25 ~ 2010.08.24	環境状況・基準・態度の改善と整備に対する日 本の経験と実践的手順
19	POUR ROSTAMI, Nahid	テヘラン大学世界研究部 日本研究科 教授	イラン	拓殖大学国際学部	2010.07.15 ~ 2010.08.12	制度改革に伴う日本の経済分野における挑戦。 第二次世界大戦後の日本経済レビュー
20	ALJABER, Khalid Jamal	文化・芸術省青年総合課 付属文化・創造センター 理事	カタール	一橋大学	2010.09.14 ~ 2010.10.14	日本の文化と教育システム
21	HILMI, Hind Abbas	ハルツーム大学 准教授	スーダン	神戸大学大学院国際協力 研究科	2010.06.15 ~ 2010.07.15	南北包括和平合意（CPA）後のスーダンにおけ るメディアパフォーマンス
22	CORNELISSEN, Scarlett	ステレンボッシュ大学 准教授	南アフリカ	一橋大学大学院社会学研 究科	2010.07.19 ~ 2010.09.06	21世紀における日本の対南アフリカ経済政治協 力：動きと展望

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (主催) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議、セミナー、ワークショップ等) を開催する。

合計額 29,186,157 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	シンポジウム「新しいMuseology—文化遺産と現代文化の融合を求めて」	英国	セインズベリー 日本芸術研究所	2010.09.13	マンガを活用して効果的に文化遺産を紹介した大英博物館の「縄文土偶展」や文化遺産を活用した「まちおこし」を進める青森県立美術館の事例を紹介するシンポジウム「新しいMuseology—文化遺産と現代文化の融合を求めて」を東京にて開催。美術館・博物館における展示手法のイノベーション、文化遺産と現代文化の融合、そして美術館・博物館の社会的に果たすべき役割やMuseology (美術館・博物館学) の新たな方向性について議論
2	ブリティッシュ・カウンシルとの社会起業に関する共同事業	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2010.11.15 ~ 2010.11.17	「社会起業家支援『東アジア地域国際シンポジウム』(於:バンコク)への参加者派遣事業」として、ブリティッシュ・カウンシルとの共催で、日本の若手社会起業家15名をバンコクに派遣
3	国際シンポジウム「女性のエンパワーメント」	スペイン	セルバンテス文化センター東京 在日オランダ大使館 在日ノルウェー大使館	2010.06.12	女性のエンパワーメントについて、英国(1名)、オランダ(2名)、スペイン(3名)、ドイツ(1名)、ノルウェー(2名)から識者が集まり、日本側参加者(6名)と、経験と意見を交換するシンポジウムを実施
4	デザインの地方力	ドイツ	ベルリン日独センター ヴィトラ・デザイン美術館	2010.05.22	日本とドイツにおける近・現代工業デザインにおける「地方」の力に注目し、首都/地方、ハイテク/ローテク、工業/工芸といった一見対立するものの調和を考え、地方の底力について今後の可能性を模索する会議を、ドイツ、ヴァイル・アム・ラインにあるヴィトラ・デザイン美術館の協力を得て開催
5	外交の再考:新たな方法論と挑戦	ドイツ	コンラート・アデナウアー財団	2010.08.31	ドイツのコンラート・アデナウアー財団と共催し、東京にて非公開討論および公開シンポジウム「外交の再考:新たな方法論と挑戦」を開催。韓国、中国、シンガポール、タイ、ドイツから各1名、日本から3名の専門家が参加
6	国際会議「異文化交流の視点から見た人間とロボットのインターフェース」	ドイツ	ベルリン日独センター	2010.12.07 ~ 2010.12.08	少子高齢化が進む日本とドイツにおいて、ロボットを生かした介護、看護に注目し、ロボット工学の可能性を検証。機械と人間のインターフェース、ロボットが高齢化問題に果たしうる役割の可能性、日常生活におけるロボット受容の成功例などを、日独比較の視点から議論する会議「異文化交流の視点から見た人間とロボットのインターフェース」を、ベルリンで開催。工学系の学者、研究者をはじめ、行政、社会科学系の学者、牧師など、ドイツから12名、日本から8名の参加者が討議

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
7	平和のための文化イニシアティブの役割	西欧地域区分困難	ゲーテ・インスティトゥート	2010.05.28 ～ 2010.05.29	平和構築のために文化及び文化関連事業が果たしうる役割について、国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートの事例を持ち寄り戦略的な対話を開催。国際交流基金による事例研究をもとに、双方の事業の紹介などを海外拠点職員やアーティストを交えて実施。2011年5月にゲーテ・インスティトゥートのサラエボ事務所開設10周年記念行事の一環としてサラエボにて開催
8	アルザス日欧知的交流事業／明治セミナーII	西欧地域区分困難	アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)	2010.09.24 ～ 2010.09.25	欧州域内若手日本研究者による合宿形式のセミナー。アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)との共催事業。欧州内の若手日本研究者のネットワーク構築と当該テーマにおける汎領域的研究の深化を目指す事業。広範な分野、専門性を持った有識者が参加しうるテーマとして前年に引き続き「明治」を設定し、御厨貴(東京大学教授)を講師として派遣
9	ソーシャル・ファーム／欧州関係者招へい及びシンポジウム	西欧地域区分困難		2011.01.30	欧州よりソーシャル・ファーム(社会的企業の一つであり、障害者など就業に不利のある人々の雇用を目的としながらも、一般の市場で活動する企業)関係者を招へいし、地方都市を視察後、東京にてシンポジウム「ソーシャル・ファームを中心とした日本と欧州の連携」を開催。英国(2名)、スウェーデン(1名)、デンマーク(1名)、フィンランド(1名)、セルビア(1名)及び日本から4名のパネリストが参加した。 欧州におけるソーシャル・ファームを国内に紹介するとともに、今後の連携の可能性を探る事業として実施
10	「多文化共生都市」セミナー	西欧地域区分困難		2011.01.19	2010年10月に実施されたスイスとイタリアの「インターカルチュラル・シティ(多文化共生都市)」視察の報告を行い、インターカルチュラル・シティの取り組みを参考に、東京における自治体の多文化共生の取り組みの現状と今後の課題を探るセミナーを実施。西川太一郎(荒川区長)、中山弘子(新宿区長)等が登壇
11	インターカルチュラル・シティと多文化共生	西欧地域区分困難	欧州評議会	2010.04.01 ～ 2011.03.31	平成21年度に実施した事業「インターカルチュラル・シティと多文化共生」のフォローアップとして、報告書『インターカルチュラル・シティと多文化共生』の増刷及び報告会を実施
12	講演会「後藤新平と日露関係のイメージ」	ロシア		2010.07.21	ワシーリー・モロジャコフ(MOLODIKOV, Vasiliĭ: 拓殖大学教授)を講師に招き、日露協調推進者としての後藤新平の知られざる業績と、日露関係のイメージ形成における貢献について講演会を実施
13	ロシア若手日本研究者短期グループ招へい	ロシア		2011.03.06 ～ 2011.03.13	ロシア国内の20～30代の日本研究者、日本でキャリアを積むロシア人研究者及び、日本人の若手研究者の三者による研究交流を行う目的で、ロシア国内の若手日本研究者計10名を招へい。訪日研修を実施。日本研究を将来の道として考えるロシアの若手研究者支援
14	マグレブ知的交流巡回セミナー	モロッコ、フランス		2011.01.31 ～ 2011.02.07	深川由起子(早稲田大学教授)、園部哲史(政策研究大学院大学)をモロッコ、フランスに派遣し、人材育成協力における日本のモデルについて両国でセミナーを実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
15	公開シンポジウム「中東の今と日本： 私たちに何ができるか」	中東地域区分困難	東京外国語大学	2010. 11. 23	日本人ジャーナリストの拘束事件も起きた混迷が続くアフガニスタン、協議が再び始まった中東和平交渉、エネルギー及び環境分野で日本と交流ある湾岸諸国との関係をテーマに研究者・実務者計11名による公開シンポジウムを開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (助成) [欧州・中東・アフリカ]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 58,232,371 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第20回日本語・韓国言語学会議	英国	オックスフォード大学	2010.04.01 ~ 2011.03.31	毎年行われている日本語・韓国言語学会議の第20回目を英国・オックスフォード大学にて開催。これまで米国で行われてきたが、今回初めて欧州にて実施
2	国際会議「日本—国際的な役割の増加」	英国	ウィルトン・パーク	2010.06.01 ~ 2010.11.30	英国外務省の外郭団体であるウィルトンパークの主催にて、国際会議「日本—国際的な役割の増加」を英国のウェスト・サセックスにて実施。日本の新政権の外交政策をテーマにした会議
3	英国「ビッグソサエティ」にみる社会イノベーションのアライアンス先端事例とは？～英国の実例から社会イノベーションを加速する社会的仕組みを構想する 英国視察ミッション～	英国	ブリティッシュ・カウンシル	2011.03.15 ~ 2011.03.23	社会イノベーションを目指す日本の企業・NPO・行政関係者等が英国の関係機関を視察訪問し、今後の協働に向けてコミュニケーションのプラットフォームを形成すべく、プレゼンテーションや意見交換等を実施
4	第10回記念災害危機管理会議～異なる文化環境の経験から	オーストリア	ウィーン農業科学大学水文・水力工学研究所	2010.04.01 ~ 2010.12.31	例年ウィーン農業科学大学と国際応用システム分析研究所が開催する災害リスクマネジメントに関する会議に、京都大学防災研究所が参画し、大規模国際会議をウィーンにて開催
5	グローバルヴィレッジのグローバル都市：都市、国家及び国際システム	オーストリア	オーストリア国際問題研究所	2010.08.02 ~ 2010.12.31	グローバル化に伴う都市の役割について、国際関係、安全保障、政治等、多角的に検証。都市が国際関係のアクターとして勃興する現在、新たな「中世都市国家」への回帰か否かを検証する会議をウィーンにて開（2010.10）
6	21世紀のアジアの安全保障の未来	オーストリア	ザルツブルク・グローバル・セミナー	2010.11.28 ~ 2010.12.03	国際交流基金が積極的に企画参画型助成をしているセミナーの平成22年度セッション。アジアの安全保障を広い分野（国境紛争、災害、伝染病等）から捉える会議をザルツブルクにて開催
7	東アジア国際社会における統治権と人道的介入—歴史的遺産と新しいダイナミクス	オランダ	ライデン大学現代東アジア研究センター	2010.05.01 ~ 2010.09.12	欧州最古の日本学の伝統を持つ大学において、日本と中国圏を中心に扱う東アジアセンター（2006年設立）が当該地域の歴史と現在を扱うセミナーをハーグにて開催
8	国際ワークショップ「文化としての翻訳」	スウェーデン	ヨーテボリ大学文学部言語文学学科日本語科	2010.04.01 ~ 2010.12.31	日・独・北欧から10名の研究者をヨーテボリ大学に招へいし、2日間のワークショップを実施。比較文化、比較文学、翻訳の諸視点から文化・文学・翻訳部門の研究を発表

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	エコ（ロジカル）	スペイン	アジア・ヨーロッパ財団大学卒業生ネットワーク (ASEFUAN AISBL)	2010. 04. 01 ～ 2010. 09. 30	エコロジーと持続可能性に焦点を当てながら、アジアと欧州の共通関心問題について議論する会議を東京にて開催
10	2つの海の出会うところ—多元的な中東理解を求めて	スペイン 中東地域区分困難	日本中東学会	2010. 04. 15 ～ 2010. 12. 15	2010年7月にスペインにて行われる第3回中東研究世界大会へ、富田広士（慶應義塾大学教授）、ムハンマド・マグラーウィー（ムハンマド5世大学教授/モロッコ）、マルク・トゥタン（社会科学研究院研究員/フランス）ら日本・中東・欧米を含む中東研究者11名を派遣し、「スペインから北アフリカにまたがる世界の統一性と多様性」「日本における中東現代文学の受容」等、4パネルからなる総合部会にて研究成果を発信
11	インターカルチュラル・クロスオーバー、トランスカルチュラル・フロー：漫画	ドイツ	ケルン大学	2010. 04. 01 ～ 2011. 01. 31	日本研究の一環として日本の漫画を取り上げた会議。ケルン大学、京都精華大学が中心となり、NARUTOワークショップ、Ph.Dワークショップなど特定の関心層をターゲットとした企画も実施
12	MISHIMA! 三島由紀夫の知的ルーツと国際的インパクト	ドイツ	ベルリン自由大学	2010. 11. 01 ～ 2011. 01. 31	前年に支援した国際会議の記録集である『MISHIMA! 三島由紀夫の知的ルーツと国際的インパクト』の購入
13	国際会議「東アジアにおけるグローバリゼーション、アイデンティティと地域統合、1861～2011年：グローバル化の影響の再評価と東アジアの将来」	ドイツ	ハイデルベルク大学日本研究学科	2011. 01. 01 ～ 2011. 03. 31	日本・韓国・中国・米国・オーストリア・ベルギー・ドイツから研究者が集い、東アジアにおけるグローバリゼーション・アイデンティティと地域統合について議論する国際会議を開催
14	国際シンポジウム「高技能労働者の日本・ドイツへの国際移住、その現状と将来」	ドイツ	ハンブルク大学アジアアフリカ研究所	2011. 01. 01 ～ 2011. 03. 31	日独両国が高齢化社会を迎え人口減少や労働力不足に直面する中、海外からの高技能労働者受入のモデル・政策・法的枠組み、またその課題や将来について国際シンポジウムにて議論
15	ドイツ日本研究者会議—成果と展望	ドイツ	社団法人ドイツ東洋文化研究協会 (OAG)	2011. 03. 18 ～ 2011. 03. 20	日独修好150周年にあたる2010年にドイツ語圏日本研究者会議を明治大学において開催し、日独双方の学者がこれまでのドイツ語圏における日本研究の批判的総括を実施
16	村上春樹フェスティバル	ノルウェー	文学の家	2010. 06. 01 ～ 2010. 10. 01	村上春樹(作家)を日本から招へいし同氏自身による講演を行った他、村上作品に影響を受けた北欧の作家・アーティストによるレクチャー、映画上映、ステージトーク等のイベントからなるフェスティバルを実施

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
17	「異文化間都市：多様性ある将来」に関する会議	フランス	欧州評議会	2010.01.01～2010.12.31	2008年から始まった「異文化間都市」プログラム（異なる文化的背景を持つ住民の社会統合を目指す試み）の中間報告でもある参加都市の会議と視察を2010.10.20-10.23にイタリア、スイスにて実施。西川太一郎（荒川区長）山脇啓三（明治大学教授）ら、日本からは多文化共生に関わる7名の研究者・実務家が参加
18	森と景観	フランス	地方と景観文化協会	2010.04.01～2010.12.30	日本における森林と映画（黒沢清・河瀬直美・宮崎駿）の関係を分析することにより、その森林のイメージがひとびと、特に森林保護政策にどのような影響を与えてきたかを日仏の研究者とともに検討し、日仏の環境科学について議論する会議を2010.08.10-08.14にかけて実施
19	第2回日仏自治体交流会議	フランス	第2回日仏自治体交流会議実務準備委員会	2010.04.01～2011.03.31	姉妹・友好都市となっている日本とフランスの地方自治体が一堂に会し、「地方ガバナンスと持続可能な発展」をテーマとする会議を開催
20	「映画と写真連携の凍りついた枠」シンポジウム	フランス	文化人類学及び映像研究センター（PHANIE）	2010.04.01～2011.03.31	2010.04.09-04.10の2日間に渡り、パリのケ・ブランリー民族学博物館にて実施。社会学と文化人類学の研究において、いかに写真と映画が取り扱われるべきかについて議論
21	危機に面する若者一日欧比較	フランス	フランス国立社会科学高等研究院（EHESS）日仏財団	2011.03.14～2011.03.19	日・仏・欧の若者が置かれている雇用環境などの現状比較をテーマとするシンポジウム、ワークショップ等の実施。日本からは講師として、玄田有史（東京大学教授）や荻谷剛彦（オックスフォード大学教授）など社会学系の第一線で活躍する研究者が参加
22	川俣正 東京トークシリーズ「東京を考える、語るII」	西欧地域区分困難	一般社団法人 CIAN (Center for Interlocal Art Network)	2011.02.13～2011.03.31	東京という都市の有り様について、国内・海外からイーデン・コーキル（ライター）など専門家を招き、計3回にわたる対談を実施
23	国際シンポジウム「支援対象国の自主性を尊重した法整備支援の経験と展望：ウズベキスタンに対する日本の法整備支援を素材に一」	ウズベキスタン	タシケント国立法科大学	2010.05.01～2011.03.31	日本ウズベキスタン両国で法整備支援に携わってきた研究者・実務家が集まり、日本による法整備支援の目的、手法、成果と課題についての議論をタシケントにて実施
24	日本文学からの批評理論—記憶・想起・亡霊	エストニア	タリン大学	2010.06.01～2010.12.01	日本文学をフィールドとして、日本文学発の批評理論を発進する事業。2007年8月ハーバード大学イエンチン研究所における国際会議「日本文学からの批評理論」の継続企画
25	第6回ECPD国際会議「バルカン半島における国民和解、民族的・宗教的寛容と人間の安全保障」	セルビア	国連平和大学欧州平和発展研究所（The European Center for Peace and Development : ECPD）	2010.01.01～2010.12.31	2005年より開催されている国連平和大学欧州平和発展研究所（ECPD）主催の国際会議の第6回目

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
26	日本研究に関する国際会議 ー日本21世紀の新しい挑戦ー	ポーランド	アダム・ミツキェヴィチ大学	2010.05.01 ～ 2011.03.31	ポーランドの日本研究者を中心とする会議。人文から社会科学まで多岐にわたるテーマの研究成果を発表
27	日本の言語的及び文化的アイデンティティ	ルーマニア	ブカレスト大学日本研究センター	2011.01.01 ～ 2011.03.31	2010年に開設されたブカレスト大学日本研究センターにて国際会議「日本の言語的及び文化的アイデンティティ」を開催
28	21世紀日ロ学長国際フォーラム	ロシア	特定非営利活動法人日本・ロシア協会	2010.06.20 ～ 2011.03.31	日本およびロシアを代表する大学の学長が集い、知のグローバル化時代における教育・研究面での協力関係構築と、相互理解の促進を目的に意見交換を実施。ロシア側21世紀委員会との共催により、モスクワにて開催。ロシア側はヴィクトル・A・サドーフニチ（モスクワ国立大学総長）が基調報告を行った他、計24機関が参加、日本側は濱口道成（名古屋大学総長）が基調報告を行った他、計25機関から参加があった
29	第2回日露セミナー「ロシアにおける資源開発、人口、環境：日本との関係における現在と未来」	ロシア	ロシア科学アカデミー地理学研究所	2010.07.01 ～ 2010.09.15	資源開発と環境、社会、経済との関連に関する新しい戦略に関する共同研究
30	レフ・トルストイ没後百年記念国際会議及びフォーラム	ロシア	日本ロシア文学会	2010.10.01 ～ 2011.03.31	レフ・トルストイ没後100周年を記念して、「クロスボーダーのトルストイ」をテーマに国際シンポジウムを世田谷区にて、市民フォーラムを熊本市にて実施(2010.11.6～10)。アメリカ・ロシア及び国内から気鋭の若手研究者を招き、研究者間の国際交流を図る一方、市民フォーラムは一般読者を対象に、演奏・朗読・映像なども交えた
31	ユーラシア回廊における都市成長と歴史性をめぐる国際政策フォーラム	トルコ	イスタンブール歴史都市会議実行委員会	2010.05.20 ～ 2010.05.23	日本建築学会が過去7年間にわたり実施してきた「東中アジア歴史都市会議」の成果を踏まえ、「ユーラシア回廊」における都市発展と持続性、歴史性と環境保全に関する国際会議をイスタンブールにて開催(2010.05)。日本・トルコを軸に、周辺国も交えた多国間会議。トルコ側協力者はイスタンブール市首都圏計画局。「2010年トルコにおける日本年」参加事業
32	第一回アフリカ日本研究学会	アフリカ地域区分困難	モロッコアジア研究協会	2010.04.01 ～ 2010.12.31	モロッコにて日本研究学会を開催。日本とモロッコ、日本と中東・アフリカの関係を、文化的、歴史的、経済的、技術的な側面から論じた

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
33	アフリカ×日本×世界～暴力を平和に変える空間～	アフリカ地域区分困難	金沢工業大学未来デザイン研究所	2010.05.01 ～ 2010.12.10	モザンビークの元文化相で建築家のジョゼ・フォルジャズ、ザンビア共和国の作家職人ムビータ・ムビータを招へいし、「暴力を平和化する新しい空間」をテーマにワークショップを実施。両氏は2010.10.31から2010.11.15にかけて京都・石見銀山・広島・兵庫を訪問し、各地で視察やワークショップを実施し、地元住民ら合計約300名が参加
34	第76回国際ペン東京大会2010記念・文学フォーラム・セミナー「環境と文学ーいま、何を書くか」	全世界区分困難	社団法人日本ペンクラブ	2010.09.30 ～ 2010.11.30	マーガレット・アトウッド (Margaret Atwood /カナダ) など世界各地より著名な作家が東京で一同に介し、「環境と文学」をテーマに、講演及びパネルディスカッションを実施。申請者は国際ペンの日本支部であり、本会議は国際ペンが毎年各国で行う会議の76回目
35	国際シンポジウム「都市の世紀を拓く」	全世界区分困難	大阪市立大学 (都市研究プラザ)	2010.11.01 ～ 2011.02.28	アートによる包摂型都市マネジメントに関する国際シンポジウム。基調講演はシャロン・ズーキン (ニューヨーク市立大学教授)、リリー・コン (シンガポール国立大学副学長/教授)、町村敬志 (一橋大学教授)

3. 催し等事業費 / (3) 人材育成グラント [欧州・中東・アフリカ]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 3,828,823 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	カカオ産業における児童労働撤廃に向けた意見交換	オランダ ガーナ	特定非営利活動法人ACE (Action against Child exploitaion)	2010.05.18 ～ 2010.05.29	児童労働の撤廃を目指すACEのスタッフ2名が、世界カカオ財団のパートナーシップ・ミーティングに参加。併せて、カカオ生産地ガーナに赴き、ガーナの児童労働の現状を確認するほか、児童労働国際会議にも参加
2	手で見る絵画	フランス	視覚障害者芸術活動推進委員会	2010.07.31 ～ 2010.08.04	フランスより、視覚障害者のための絵画鑑賞教育に従事し先駆的な開発を続けている研究者アニタ・デル・ヴィット (Anita Del Vitto) 女史を招へいし、現代美術を含め鑑賞がもっとも難しいとされている絵画を視覚障害者が手で鑑賞する方法とフランス・ボンビドーセンターで実践しているワークショップなどについて講演会を開催

欧州・中東・アフリカ交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
3	アルザス盛岡文化交流事業「鉄文化セミナー」	フランス	盛岡アルザス交流委員会	2010.12.02 ～ 2010.12.07	アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）と盛岡地域の市民団体が協力し、日仏それぞれの地方中核都市である盛岡市、ストラスブール市、コルマル市とそれを取り巻く地域固有の風土と文化について、若い世代を中心とした研究成果の発表と意見交換を行うセミナーを開催
4	第8回 日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議	イスラエル パレスチナ	日本・イスラエル・パレスチナ学生会議	2010.08.08 ～ 2010.08.23	現地では交流の機会を持つことが難しいイスラエル・パレスチナ人学生を日本に招へいし、合宿形式による会議を開催。共同生活の中で、イスラエル・パレスチナの問題や日本国内の問題を議論することにより、三者間の相互理解を深め、「平和構築に貢献できる人材」の育成を目指す事業
5	大谷光瑞とブルサの交流―日土友好の一齣―	トルコ	特定非営利活動法人日本トルコ交流協会	2010.09.14 ～ 2010.09.19	「2010年トルコにおける日本年」の一環として、オスマン帝国の最初の首都ブルサにおいて、西本願寺の宗主であり、アジアとの友好関係にも尽力した大谷光瑞が絹工場を建設し産業協力を行った事績について、市民向けのシンポジウム・講演会・展示会を実施
6	日本・トルコ学生FORUM	トルコ	フォーラム・フォー・ザ・フューチャー	2010.09.20 ～ 2010.09.25	「2010年トルコにおける日本年」を機に、日本とトルコの学生が多岐分野にわたる交流プログラムを通じて相互理解を深め、今後同様のフォーラムを定期的で開催することも見据えて、両国の長期的な関係発展の基礎となる青少年間の信頼関係を築く事業
7	日本ルワンダ学生会議 第5回本会議 日本開催	ルワンダ	日本ルワンダ学生会議	2010.12.22 ～ 2011.01.06	日本の経済発展の歴史、現在の産業、文化、人々に関する会議を実施するとともに、技術先進国日本の経済を支える自動車・IT企業等を訪問。広島では平和都市として、都市再建に成功した歴史を紹介

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費
 - (1) 知的交流小規模助成
 - (2) 教育アウトリーチ支援小規模助成
 - (3) 地域・草の根交流小規模助成
 - (4) 日米協会支援

日米センター運営管理費

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (1) 知的交流小規模助成

米国内の新たなニーズに対応した先駆的事业や、米国内の大学・シンクタンク・政府・財団関係のアジェンダ・セッティングやネットワーク会合などに機動的に対応し、通常の助成事業の企画開発へとつなげていくために小規模の助成を実施。

合計額 9,679,303 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	グローバル・レジリエンス・イニシアティブ・イン・アジア：流行性インフルエンザをケース・スタディとして	東西センター	2010.07.01 ~ 2010.10.31	鳥インフルエンザをケース・スタディとしつつ、あらゆる災害リスクに適用可能な「事前の」リスクマネジメントの在り方についてレジリエンス（抵抗力）の考え方を基本に据えつつ検証。2日間（2010.08.11-12）、ハワイの東西センターにて清水美香（東西センター客員研究員）及びCLARK, Allen（同主席研究員）によるワークショップを実施
2	全米アジア研究プログラム：西海岸シンポジウム	全米アジア研究所	2010.09.01 ~ 2010.11.30	アジア関係政策研究の重要性の再確認、及び学术界と政策コミュニティの相互作用を高めることを目的とする向こう3年間の事業「NARP（National Asia Research Program）」の一環として西海岸での会議（2010.10）を実施
3	アジア各都市における都市環境一東・東南アジア各国における気候変動緩和のための都市建築政策	コーネル大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。急速に都市化が進むアジア地域において、政治経済学的見地から気候変動等環境問題をいかにして軽減しうるかにつき議論
4	日本における、経済危機への対応と改革の政治学	コロンビア大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。2008年の世界経済危機が、バブル崩壊後の長期低迷に喘ぐ日本の政策にどのような変化をもたらし、それが他国の政策にどのような示唆を与えるかを検証
5	アジアにおける教育革新—民間セクターの成長、政府の改革とベスト・プラクティスの伸張	デュポール大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。アジア各国の教育政策と実行における革新的アプローチについての政策対話
6	日本の対高齢化政策—社会・国民に対するインパクト	ノースカロライナ農業技術州立大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。世界に類を見ない速さで進む高齢化社会を抱える日本の、対高齢化政策について検証
7	荒廃からの復興：アジア地域における災害後の復興について	パーデュー大学	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。世界各地で大規模な災害が発生する中、災害後の復興をより効率的・効果的に行う方法について社会科学的見地から議論
8	現代日本の社会的・人口動態的变化とそれへの政策対応	バード・カレッジ	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。社会経済的・人口動態的に変化の時代を迎えている日本について、少子・高齢化問題、ホームレスの問題などに対する政策の有効性を検証
9	移行期の日本政治	バルーク・カレッジ	2010.11.01 ~ 2011.05.31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。2009年の民主党の勝利が日本政治にもたらした地殻変動と、歴史的背景を検証

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
10	東アジア地域における安全保障と地域構造の制度化について	南カリフォルニア大学	2010. 11. 01 ~ 2011. 05. 31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。中国の台頭に伴う東アジアのパワーバランス・地域構造の変化と今後について、ASEAN、日米同盟、ロシアの役割等に注目しつつ議論
11	不景気の時代における市民権の確立ー日本における市民、国家、経済危機	ジョンズホプキンス大学	2010. 12. 01 ~ 2011. 05. 31	ハワイで実施された全米アジア研究学会の70周年記念年次総会（2011.03）におけるパネル会議の一つとして実施。不景気の中で、いかに市民権、市民としての意識が確立・再確立されていくかについて日本を例として検証
12	徒歩通学：日米における政策の相違点	バージニア大学	2011. 01. 01 ~ 2011. 05. 31	子供の通学方法に関し、昨今日米で逆の現象（日本：徒歩通学から「通学バス」へ／米国：家族による送迎から徒歩・自転車での通学へ）が起こりつつあることに着目し、双方が過去の経験から学び合い、よりよい政策に結び付けるための意見交換を、日本で実施

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (2) 教育アウトリーチ支援小規模助成

米国内で開催される日本理解に資する教育アウトリーチ事業（日本講座や教育向けセミナー等）に対し、小規模の助成を実施。

合計額 8,541,216 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日本の映画音楽とアニメ主題曲の紹介	オーケストラ・インソニカ	2010. 05. 01 ~ 2010. 05. 31	米国で活躍する日本人指揮者の久保田昌一が、米国の高校生によるオーケストラで日本の映画音楽とアニメ主題曲の演奏会を開催する事業。プロジェクトを通じて、米国の高校生は日本の文化や社会についても併せて学習
2	シェア・ザ・ワールド・イン・ニューヨーク	ジャパNDER	2010. 05. 01 ~ 2010. 06. 30	日本を代表するジャズ奏者である渡辺貞夫が、ジャパNDERでニューヨーク周辺の児童合唱団や児童演奏団とセッションを行うプロジェクト。同氏とのセッションを通じて、参加した子供たちが日本のジャズに触れるとともに日本文化理解を深める企画
3	侍と着物：日本文化サマーキャンプ	文化人類学博物館	2010. 06. 01 ~ 2010. 07. 31	ウェイク・フォレスト大学附属文化人類学博物館が、侍と着物をテーマに周辺の児童・生徒を対象に日本文化を紹介する3週間のサマーキャンプを実地。子供達は、サマーキャンプ期間中、着付け、剣道、折り紙などを体験し、また日本の文化・社会に関する講義を受講
4	クリエイティブ・リソース上での日本美術公開プロジェクト	デンバー美術館	2010. 06. 01 ~ 2011. 05. 31	同美術館が運営するクリエイティビティ・リソース・ウェブサイト上で、所蔵する日本美術作品（仏像や茶器、硯箱など）12点を紹介するプロジェクト。単に日本の美術作品を紹介するのみならず、この作品を通じて、児童・生徒が日本の文化や社会を理解できるように教材・カリキュラムを開発する。また、周辺地域200名の教師を対象とした教授法ワークショップも開催
5	ミドルトン・コミュニティ折り紙壁画プロジェクト	ミドルトン公立図書館友の会	2010. 07. 01 ~ 2011. 01. 31	折り紙専門家、ミドルトン公立図書館において、児童・生徒・一般を対象に、20回に渡る折紙ワークショップを実地。最終的には、ワークショップを通じて制作された折り紙作品を利用し、ミドルトン公立図書館に折り紙の壁画を設置するプロジェクト

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
6	ユース・プログラム	一戸小枝子ダンス・カンパニー	2010.08.01 ~ 2010.08.31	一戸小枝子ダンス・カンパニーが、ニューヨークのNGOユナイテッド・ネイバーフッド・ハウスの協力を得て、ニューヨーク周辺の6つの公立学校や青少年団体で、ダンス公演と日本文化に関するワークショップを開催。併せて日本の伝統舞踊や日本の遊びについてもワークショップを実施
7	ジャパン・イン・ザ・クラスルーム：セント・ルイス教師研修プロジェクト	国際教育推進協議会コンソーシアム	2010.08.01 ~ 2011.05.31	セント・ルイスの教師を対象に、日本に関する教授法トレーニング・ワークショップを4回に分けて開催。約100名の教師が参加したワークショップでは、それぞれ日本映画、日本の漫画・アニメ、現代日本人のライフ・スタイルなどのテーマが取り上げられ、参加教師が生徒の関心をひきつけながら親しみやすく日本についての授業を行なう工夫を紹介
8	祝日本：スクール・デイとファミリー・フェスティバル	メンフィス熱帯植物園	2010.09.01 ~ 2010.09.30	メンフィス熱帯植物園において、日本フェスティバルを開催（2010.09.10-11）し、それにあわせて児童・生徒向けのイベントやファミリー・フェスティバルを行うプロジェクト。生花インターナショナルバンブー支部開設50周年にあわせて日本庭園に生花インスタレーションを行なった他、日本の伝統芸能公演、茶道、折り紙や紙芝居のデモンストレーション、日本食の試食なども実施
9	日本フェスティバル	サギノー日本文化センター	2010.09.01 ~ 2010.10.31	サギノー日本文化センターの茶室及び日本庭園を使って、半日間の日本フェスティバルを開催（2010.09.19）。フェスティバルでは、和太鼓、邦楽、日本舞踊、剣道などのパフォーマンスを行うと共に、茶道のデモンストレーションや折り紙、書道、生花などのワークショップを実施
10	日本の口承芸能：落語と活弁	フィンドレー大学	2010.09.01 ~ 2010.10.31	ウェスト・ミシガン及びオハイオの大学や高校において、日本の口承芸能を紹介するため、落語と活弁のレクチャー・デモンストレーションを実施（2010.09.26）。参加者は、落語と活弁の観覧他、ワークショップ参加を通じて実際に体験
11	アジア探求：今日のアートと日本—奈良美智と漫画に関する教育プログラム	アジアソサエティー	2010.09.01 ~ 2011.01.31	アジア・ソサエティにおいて、奈良美智の展覧会を開催するのに併せて、ニューヨーク周辺の学校児童を対象に教育ワークショップを開催する。また、同時期に開催されるニューヨーク子供映画祭の日本アニメ上映会で漫画ワークショップを開催
12	ピッツバーグ太鼓	ペンシルベニア日米協会	2010.10.01 ~ 2011.03.31	ピッツバーグ太鼓が現地の学校で、児童・生徒向けにワークショップ及び公演を行なうプロジェクト。ワークショップでは、プラスチック製のバケツなど日用品を使った太鼓作りからはじめ、本格的な太鼓演奏技法を伝えることで、各校が持続的に和太鼓サークルを運営できるようにサポート
13	日本の文化・芸術教育プロジェクト	マーキース・スタジオ	2010.12.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークのスタッテン島の学校を対象に、日本理解のためのワークショップを10回シリーズで開催する。プログラムは、和太鼓演奏の理論と実践を中心とし、折り紙や文楽、日本語なども加える。プロジェクトの最後には、生徒達による和太鼓セッションと折り紙作品の展示会を開催

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	わら紙による照明インスタレーション	ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン	2010.12.01 ~ 2011.03.31	日本人建築家アキ・イシダが、ロードアイランド・スクール・オブ・デザインの学生と共に、わら紙を使った照明家具を設計・製作するプロジェクト。プロジェクトを通じて、学生達は、わら紙の特性のみならず、日本的な照明や空間設計についても学ぶ。プロジェクトの成果は、ジャパン・ソサエティが開催するJ-cationというイベントの際にインスタレーション作品として展示
15	日本の肖像：教師トレーニング・プログラム	ワールド・アフェアーズ・カウンセラー・オブ・ダラス/フォートワース	2011.01.01 ~ 2011.01.31	ダラス・フォートワース周辺の学校で日本についての理解教育を行っている50名の教師を対象としたトレーニング・プログラムを開催。特に、恵まれない地域の学校を優先。プログラムでは、日本の歴史と文化に対する理解を深めるため、8時間にわたるレクチャーを実施
16	アクセス・トゥ・ジャパン	テキサス大学サンアントニオ校東アジア研究所	2011.01.01 ~ 2011.02.28	テキサス文化インスティテュートで「世界遺産写真展」が開催されるのに併せて、現地の児童・生徒を対象に、総合的な日本文化紹介イベントを開催。プロジェクトは、禅に関する講演会と、半日間のファミリーデーからなり、ファミリーデーでは、周辺の学校の児童・生徒・父兄を対象に、日本語入門、書道、茶道、和紙人形の制作、墨絵、童謡、ポップカルチャーなどの多様な日本文化に触れる機会を提供
17	パシフィック・ハーモニー	ホノルル・フェスティバル財団	2011.01.01 ~ 2011.04.30	第17回ホノルルフェスティバルに、日本のアイヌ、アラスカのネイティブ・アメリカン、オーストラリアのアボリジニーを招き、ハワイ先住民との交流事業を開催。それぞれ伝統芸能・工芸・アートなどの共有を通じて相互理解を深める事業
18	オレゴン州農村地域におけるレジデンス・プログラム	ポートランド太鼓	2011.01.01 ~ 2011.12.31	米国を代表する和太鼓グループの一つであるポートランド太鼓が、日本文化に触れる機会の少ないオレゴン州の農村コミュニティを4つ選び、各地で、滞在型のワークショップを開催する。ワークショップでは、和太鼓の演奏技法のみならず、日本の文化社会についても総合的に紹介
19	記憶・収集：ロジャー下村と日系人収容所	ローレンス芸術センター	2011.02.01 ~ 2011.03.31	日系人アーティストであるロジャー下村の展覧会を同センターで開催するのに併せて、日系人収容キャンプでの生活やアメリカにおける日系移民の歴史についてのレクチャーを行う。関連企画として、8週間にわたる日本の木版画コースを開設し、さらに、日本映画の上映会も開催して総合的な日本理解を促進
20	文楽を通じた日本理解	ウェイク・フォレスト大学東アジア言語文化学部	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ウェイク・フォレスト大学が、コミュニティ・レベルでのアジア理解促進を目的にアジア春祭りを開催するのに併せて、米国在住のグループである文楽ベイを招待し、一般向けの公演を行うと共に、近隣の児童・生徒を対象に、レクチャー・デモンストレーションを実施する事業
21	実践漫画教室	ウェスタン・ミシガン大学	2011.03.01 ~ 2011.03.31	日本のデジタル漫画制作ユニット木ノ花さくやをウェスト・ミシガンに招き、ウェスト・ミシガン大学や現地のコミュニティで1週間にわたり漫画制作ワークショップを開催。ワークショップは、大学のみならず、現地の小学校や公立図書館、アート・インスティテュートなどの会場で開催され、児童・生徒からシニア世代に至るまでコミュニティの幅広い層が対象

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	折り紙を通じた日本文化・社会の理解	エロン大学	2011.03.01 ~ 2011.03.31	K-12のチャータースクールにて、25名の先生を対象に、折り紙を通じて、日本の文化と歴史を教える教授法のワークショップを開催。教授法を学んだ教師達は、父兄・生徒との交流日に、ワークショップで学んだ教授法を使って折り紙ワークショップを開催
23	春祭り	北東部日本語教師会	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークの国連インターナショナル・スクールを会場に、北東部日本語教師会主催により、春祭りを開催する。春祭りには、周辺の学校で日本語を学んでいる児童・生徒約450名が参加し、日本の伝統芸能や武道のデモンストレーションを鑑賞すると共に、書道、生花、着物着付け、和食などの日本文化を総合的に体験
24	日本へのパスポート	ワン・トゥ・ワールド	2011.03.01 ~ 2011.03.31	ニューヨークの日本人留学生をボランティアとして、ニューヨーク周辺の恵まれない地域の学校に派遣し、日本の文化、歴史、地理について教える機会を設けるプロジェクト
25	玉川大学太鼓&ダンス・ツアー	フィラデルフィア日米協会	2011.03.01 ~ 2011.06.30	フィラデルフィア日米協会が主催するスバル桜祭りの開催に合わせて玉川大学太鼓&ダンス・グループを招き、ワークショップと公演を行う事業。グループは、桜祭りで公演すると共に、周辺の大学・高校でワークショップを開催し、現地の生徒・学生と交流

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (3) 地域・草の根交流小規模助成

米国内で開催される日米間の地域・草の根レベルでの交流事業に対し、小規模の助成を実施。

合計額 2,701,793 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	日米両国における海洋環境保護促進	ハーバード・メディカル・スクール保健・地球環境センター	2010.04.01 ~ 2011.09.30	ハーバード・メディカル・スクール保健・地球環境センターが、海洋環境保護をテーマに、日米両国の高校生を対象としたワークショップを開催し、最終的にその成果を映像作品化しようというプロジェクト。日本の地球映像ネットワークが協力
2	「生存者の叡智」会議	ニューヨーク市立大学ジョン・ジェイ・カレッジ テロリズム・センター	2010.05.01 ~ 2010.05.31	ニューヨーク市立大学テロリズム・センターが、国連で核不拡散条約定期レビュー会合の開催に合わせて会議を開催。会議では、広島・長崎の被爆者と9.11同時多発テロの生存者が出席し、それぞれの体験を共有し、原爆やテロの悲惨さをいかに次世代に継承していくかについて議論
3	威臨丸シンポジウム：日米関係の将来	北カリフォルニア日本協会	2010.05.01 ~ 2010.12.31	威臨丸来航150周年事業の一環として、日米関係の将来をテーマにしたシンポジウムを開催。シンポジウムでは、日米両国における社会企業や社会的投資をテーマとして取り上げ、日本からパネリストとしてソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京代表の井上英之が参加し、日本の現状を紹介

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
4	革新的フィランソロピー教育モデルの共有：コモン・センツ設立者を招いた日本ラウンドテーブル	日本国際交流センター（米国）	2011.03.15 ～ 2011.04.30	ペニー・ハーベストという児童向けのフィランソロピー活動教育・促進プログラムを立ち上げた、米国NGOコモン・センツ代表ティディ・グロス(Teddy Gross)を日本に招き、関係団体との対話・交流を行なうことにより、日本における同プログラム推進の可能性を検討するプロジェクト。日本フィランソロピー協会が受入団体

1. ニューヨーク日米センター事業費 / (4) 日米協会支援

日米における日米協会のネットワーク化とキャパシティ・ビルディングを図り、日米間の地域・草の根交流の担い手としての日米協会を育成するために支援を実施。

合計額 8,429,775 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	2010 CGP・NAJAS日米協会支援ワークショップ	全米日米協会連合（NAJAS）	2010.05.01 ～ 2010.09.30	全米日米協会連合の年次総会開催時（2010.08）に日米協会関係者が集う機会を利用して、常勤職員が2名に満たない程度の小規模の日米協会を対象に、組織基盤強化（マネジメント・スキル、ファンドレージング等）のための研修会を開催
2	事業開発ディレクター確保を通じたキャパシティ・ビルディング（3年事業の2年目）	ジョージア日米協会	2010.07.01 ～ 2011.06.30	事業開発ディレクターを新規に採用することで、キャパシティ・ビルディングの強化を図るプロジェクト。同協会が位置するアトランタ市以外のジョージア州広域に事業を展開し、会員と収入の拡大を目指して活動
3	地域アウトリーチ及び活動センター設立を通じたキャパシティ・ビルディング（3年間事業の3年目）	テネシー日米協会	2010.07.01 ～ 2011.06.30	テネシー日米協会の活動を広域化するため、協会本部のあるナッシュビル以外の都市に、新たに活動拠点を設立するプロジェクト。3年目は、メンフィス支部の活動を安定化させると共に、ナッシュビル本部の基盤強化を実施
4	キャパシティ・ビルディング（2年事業の2年目）	ウェスト・ミシガン日米協会	2010.09.01 ～ 2011.08.31	非常勤事務局長を常勤化して経営基盤の安定を図るプロジェクト。プログラム対象地域を広域化すると共に、文化・教育・娯楽・ビジネス向けのそれぞれのプログラムの拡充を実施
5	会員拡大及びマーケティングキャンペーン（2年事業の2年目）	ダラス・フォートワース日米協会（テキサス州）	2010.09.01 ～ 2011.08.31	アシスタント・ディレクター1名の体制から、常勤のプログラム・ディレクターと非常勤の事務アシスタントを雇用して会員拡大やマーケティングキャンペーンを実施するプロジェクト。2年目は、会員拡大に向けたプログラム開発を実施
6	TRIAJE：日本語教育アウトリーチ・イニシアティブ（3年事業の3年目）	ペンシルバニア日米協会	2010.09.01 ～ 2011.08.31	日本語弁論大会やジャパン・イン・スクール・プログラムなどのプログラムを強化するための専属コーディネーターを雇用し、活動する事業。3年目は、サステナビリティの確保を目指すと共に、メンバーシップ拡大に向けて重点的に活動

日米センター運営管理費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
7	ケンタロウがワシントン州へ行く（2年事業の2年目）	ワシントン州日米協会	2010. 10. 01 ～ 2011. 09. 30	「ケンタロウ」、「ハナコ」などの親しみやすいキャラクターを用い、日本の子供たちの日常生活を米国の学校で紹介する教育プログラム「ジャパン・イン・スクール」を通じて、アウトリーチ活動の強化とキャパシティ・ビルディングを目指すプロジェクト。常勤プログラム・コーディネーターを雇用し、2年目は、特に州南部でのプログラム展開を強化

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日米交流推進費

1. 人物交流事業費

- (1) 安倍フェローシップ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣／JOI）

2. 催し等事業費

- (1) 日米交流支援（助成）
- (2) 日米交流支援（主催）

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (1) 安倍フェローシップ

社会科学・人文科学の分野における質の高い政策研究を促進し、日米の専門家間の新しい協働関係とネットワーク形成を推進するため、学術研究者、各分野の専門家に対しフェローシップを供与する。

合計額 148,731,649 円

	氏名	現職	研究テーマ
■安倍フェロー（12名）			
1	芦澤 久仁子	オックスフォード・ブルックス大学国際関係学 上級講師	アフガニスタンにおける平和構築：日米欧の比較研究
2	池上 英子	ニュースクール大学社会学 教授	バーチャル・コミュニティと市民社会：日米におけるソーシャルネットワーキング・メディアとコミュニティ形成のエスノロジー
3	池上 雅子	ストックホルム大学政治学部 教授	日米同盟核戦略再考：増大する核の脅威と国際的核軍縮機運のパラドックスにいかに対処するか
4	岡田 亜弥	名古屋大学大学院国際開発研究科 教授	グローバリゼーションとスキル・ディベロップメントの変化—アメリカ、中国、インドの比較研究
5	粕谷 祐子	慶応義塾大学法学部政治学科 助教授	『開かれた政府』のグローバル化：情報公開法の政治学
6	川端 英二	ミネソタ州立大学マンケイト校政治学 准教授	日本、オーストラリア及び韓国におけるプライバシーの政治：アジア太平洋における複雑な政策収束
7	塩路 悦朗	一橋大学経済学部 教授	2008～2009年の世界的貿易・生産急減：日本の経験に基づく国際比較
8	KEHL, Jenny Rebecca	ラットガース・ニュージャージー州立大学政治学・国際開発学部 助教授	水不足と食料安全保障
9	ROBERTSON, Jennifer	ミシガン大学人類学 教授	安全、安全保障と利便性：日本のサービスロボットの政治経済
10	CARMIN, JoAnn	マサチューセッツ工科大学環境政策・計画学 准教授	都市の気候変動適応計画の比較評価
11	根本 宮美子	西ケンタッキー大学社会学 助教授	日本、米国、中国における日系グローバル企業の雇用均等構造の比較
12	BLUSTEIN, Paul	ブルッキングス研究所 客員研究員	オフ・バランス：国際機関と世界金融危機
■安倍ジャーナリスト・フェロー（4名）			
1	GREEN, Elizabeth	GOTHAM SCHOOLSエディター	学び方を教える：アメリカは日本における公立学校教育のアプローチから何が学べるか
2	NARANG, Sonia	フリーランス・ビデオ・ジャーナリスト	沖縄：軍事基地政治と女性主導の活動家グループ
3	竹内 幸史	フリーランス・ジャーナリスト	米印原子力協力と世界の核不拡散体制への影響（パキスタン、中国、日本への影響を中心に）
4	PENDERGRAST, Mark	フリーランス・ライター	日本のエコ・モデル都市：そこから何が学べるか

日米交流推進費

1. 人物交流事業費 / (2) 市民交流支援 (日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI)

日本との交流の機会が比較的少ない米国南部・中西部地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアの草の根交流コーディネーターを派遣する。コーディネーターは、主に日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 33,457,434 円

	氏名	派遣先機関	期間
1	第7期：荻島 光男	南フロリダ大学国際センター	2008.08.01 ~ 2010.07.31
2	第7期：服部 聖	ジョージア大学アジア研究センター	2008.08.01 ~ 2010.07.31
3	第7期：福崎 恵子	ケンタッキー大学アジアセンター	2008.08.01 ~ 2010.07.31
4	第8期：青木 真子	ウェイク・フォレスト大学東アジア言語文化学部	2009.08.01 ~ 2011.07.31
5	第8期：木幡 陽子	アーカンソー大学フォート・スミス校	2009.08.01 ~ 2011.07.31
6	第8期：森下 佳南	ウェブスター大学	2009.08.01 ~ 2011.07.31
7	第8期：吉本 道子	ウェスタンミシガン大学曾我日本センター	2009.08.01 ~ 2011.07.31
8	第8期：米倉 夏江	フィンドレー大学	2009.08.01 ~ 2011.07.31

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (1) 日米交流支援 (助成)

公募助成においては(1)平和で安定的かつ公正な国際秩序の形成に向けた、多様な利害関係者による対話の促進、および(2)グローバル化が世界各地のコミュニティにもたらす様々な影響を克服するための、多様な境界を越えた連携の促進、を募集対象とする。このほか、日米間の連携・パートナーシップ構築の推進、日米間の基盤強化や知日層の育成・拡大を目的とする事業を企画参画助成にて支援する。

合計額 360,215,949 円

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
1	中国・広東省の持続可能な発展に向けた教育 (3年計画事業の3年目)	インスティテュート・フォー・サステイナブル・コミュニティーズ	2009.12.01 ~ 2010.11.30	中国における持続可能な発展に向けた教育 (Education for Sustainable Development) の開発・普及を目的とする3年間プロジェクト。日米のNPOが主体となり、相互訪問・相互学習を通じて日米中のネットワークを形成し、広東省に適したカリキュラムを開発・試行し実践モデルを提案する協働事業
2	グローバル経済の開放性と日米間のパートナーシップ (2年計画事業の2年目)	ランド研究所	2010.03.01 ~ 2011.11.30	地球規模の信用収縮に直面する世界経済において、特に多角的開放性 (multilateral openness) という観点から、開かれた貿易・投資政策を構築する為の日米の環境整備や、ワールドワイドにも有益な両国の協力体制につき研究提言を行なう事業
3	第20回日米草の根交流サミット2010・サンフランシスコ/ベイエリア大会 記念シンポジウム	財団法人ジョン万次郎ホイツフィールド記念 国際草の根交流センター	2010.04.01 ~ 2010.10.31	節目の第20回を迎える「日米草の根交流サミット大会」では数百人規模のシンポジウムを開催し、併せて臨海丸のサンフランシスコ湾到着150周年のイベントと絡め、地域・草の根レベルでの交流や日米相互理解の促進を一層進めることを目指す事業
4	ビジネスと社会セクターの融合による社会的価値創造の可能性	一般社団法人 DSIA	2010.04.01 ~ 2011.03.30	ビジネスセクターと社会セクターの役割を改めて問い、双方のアイデア、リソース、マネジメントの融合によってもたらされる解決手法の可能性を探ること、及び、それによって企業自体と社会に創出される価値について明らかにすることを目的に実施
5	アフリカにおける保健医療従事者の育成と定着に関する日本と米国の役割：日本と米国の市民社会からの提言	特定非営利活動法人アフリカ日本協議会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本政府の「アフリカにおける10万人の保健医療専門家及びコミュニティ・ヘルス・ワーカーの育成」誓約、米国政府の「14万人の保健医療従事者育成」誓約それぞれについて包括的かつ現地のニーズに即した形で実施されるように、文献調査及び現地調査を通じて政策提言を作成し、国際円卓会議やアウトリーチ活動を通じて政策決定者に対する働きかけを実施
6	中国における日米浄水ネットワーク構築 (2年事業の2年目)	ウッドロー・ウィルソン国際学術センター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国の水質汚染の改善に向け、日米中の企業、NGO、調査機関、政府のネットワークを構築するプロジェクト。中国における水質汚染防止機関の設立を支援し、他の発展途上国にも有用な日米水質改善協力モデルを促進する計画
7	クリーン・エネルギー市場の拡大に向けた日米中3カ国協力の可能性	財団法人環日本海経済研究所 (ERINA)	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本と米国が中国のエネルギー・環境問題の解決について政策提言をまとめる。世界3大エネルギー消費国 (日米中) による政策協定の達成のための専門家対話を促進。世界最高水準の省エネルギー技術やエネルギーのクリーン利用技術を有する日本が国際社会において主導的役割を果たす方向性を明示

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
8	日米ジャーナリスト交流（2年間事業の2年目）	東西センター	2010.04.01 ～ 2011.03.31	日米のジャーナリストがそれぞれ相手国を訪れ、市民社会や地域コミュニティとの対話の機会をもった後、ホノルルで意見交換会を実施。日米関連情報のメディアでの取り上げの強化と両国の市民社会同士の新しいパートナーシップの可能性を探る事業
9	アジアをつなぐ：アジアにおける協調的フレームワークのための米日戦略（3年計画事業の3年目）	米国戦略国際問題研究所（CSIS）	2010.04.01 ～ 2011.03.31	アジア太平洋諸国の地域秩序と日米関係について分析、政策提言を目指す。広範なコンセンサスや将来の組織的枠組み議論の推進、地域枠組み及びモデルを提案。日・印・米3カ国戦略対話のアイデアを紹介し、アジア政治の安定、経済開放、民主主義、法の支配、グッド・ガバナンス、アジアにおける民主主義の機能形成の鍵となる行動指針を提案
10	日米“ヒロシマ”プロジェクト：失われた文化の疑似体験による伝承に関する共同研究と和平提言	早稲田大学理工学術院総合研究所 早稲田大学ユネスコ世界遺産研究所	2010.04.01 ～ 2011.03.31	原爆投下1週間前に空撮されていた広島の写真や、当時の様子を知る数少ない証言者の情報を手がかりに、先進的技術により、原爆投下前の当時の町並みを高画質3次元CG映像として復元する事業を進め、ヴァーチャル・リアリティ技術を駆使した、より「体験的な」形で歴史を伝承する方法を研究する。国連NPT再検討会議で映像展示をし、日米有識者会議を開催
11	グローバル・ヘルス&グローバルエイジングと移民問題	グローバル政策イニシアティブ	2010.04.01 ～ 2011.05.31	日米両国のパートナーシップによる取り組みが期待される最優先課題の一角を占めるグローバルヘルス（公衆衛生）及びグローバルエイジング（高齢化問題）の二つの政策課題において、両政策課題に共通する優先的政策課題である複雑な移民問題に焦点を当てながら、日米両国で実施するワーキングセミナーを通して現状と課題を明らかにし、具体的な政策の道筋作りと政策実施モデルについて提言
12	新時代の難民保護～米国における難民の定住から学ぶ～	特定非営利活動法人難民支援協会	2010.04.01 ～ 2011.05.31	日本政府が2010年から試験的に「第三国定住」制度を導入する現状を踏まえ、様々なステークホルダーが参画し、先立って「第三国定住」制度を実施している米国の難民支援プログラムを学び、日本において適した難民支援プログラムが実施できるよう、ワークショップやシンポジウムの実施や難民定住支援の施策を検討する事業
13	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター・運営強化事業	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	2010.04.01 ～ 2013.03.31	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの事業運営強化に必要な経費支援を行う3年事業の第1年目。主な支援内容は学生奨学金
14	グローバルショックウェーブ：アジアの不況と金融危機後の分断	ノース・カロライナ大学チャペル・ヒル校	2010.05.01 ～ 2012.02.29	アジアにおける不況と金融危機をテーマに、 <i>Global Shock Wave</i> と <i>Two Asias: The Emerging Postcrisis Divide</i> の2つの著作を刊行することを目的として、公開シンポジウムを開催
15	平成22年度安全保障研究奨学プログラム	財団法人平和・安全保障研究所	2010.05.20 ～ 2010.08.08	国際関係論の重要領域である安全保障研究がまだまだ発展の途上にある日本の現状を踏まえ、若手の安全保障専門家の育成を目的として実施するプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	サステイナブルコミュニティーツーリズムの創出とネットワーク形成へ	新宮市姉妹都市親善協会	2010.06.01 ~ 2011.03.31	各国・各地域が直面する状況は多様だが、根底にある一つの共通現象として地域コミュニティの存在意義の変質と崩壊という顕著な兆候が見られ、これを解決する為の手段として新しい訪問形態、旅行概念である「サステイナブルコミュニティーツーリズム」の手法を探る事業。和歌山県新宮市で国際フォーラムを開催(2010.08)
17	排出量取引が国際競争力と温暖化国際交渉に与える影響(3カ年事業の2年目)	上智大学	2010.06.01 ~ 2011.05.31	温室効果ガスのリーケージ問題(排出源を他国・地域に移動させることで地球規模での削減が進まないこと)と国境税(新興国からの輸入に課し温暖化対策を促す税金)が日本、新興国及び国際関係に与える影響を、欧米での聞き取り調査や経済理論を用いて分析する3年間のプロジェクト
18	中央アジア、アフガニスタンにおける日米協力	センター・フォー・ナショナル・インタレスト	2010.06.01 ~ 2011.05.31	日米両国の中央アジア地域に対する外交政策や開発戦略の協力の可能性を探求し、またこれらの戦略がアフガニスタンや中央アジアや南アジア全域の安全保障と安定化への貢献策を提案することを目指すプロジェクト
19	21世紀の日米韓中関係	パシフィックフォーラム(Pacific Forum CSIS)	2010.06.01 ~ 2011.05.31	アメリカ、日本、韓国、中国の四カ国の協調関係を巡る実用的な提言とアプローチの探求を目指し、2010年秋に上海で4カ国による対話を行い、その成果を2011年の冬にかけてソウル、北京、東京でそれぞれ小規模の会合を実施する。人材育成を兼ねて「ヤングリーダー」の若手研究者も参加
20	アジアの統合化:理論・実践・政治	ワシントン大学	2010.06.01 ~ 2011.05.31	アジアにおける統合の足並みが揃ってきたにも関わらず、アジア地域全体を巻き込んだ制度設計がフォーカスされないままである。このプロジェクトは貿易、金融、投資、安全保障、エネルギー、保健、環境、人権等の様々な分野においてアジア統合の理論的方法を明示し、書籍を出版することが目的
21	移民は必要か?—日米労働市場政策と戦略の観点から—	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2010.06.01 ~ 2011.09.30	日米を含めた先進国が労働市場を補うために移民を必要としているのかを調査し、また、移民受入に対する政策変化の可能性を調査することで労働力としての移民の方向性を提示する。日米専門家とアジア移民を集め、労働市場の役割を互いに理解するための会議開催と研究成果をまとめた書籍の出版が目的
22	アジア太平洋地域における4カ国協調の推進	全米外交政策委員会(NCAFP)	2010.06.01 ~ 2012.01.31	アメリカ・日本・中国・韓国の4カ国が地域的及び全世界的な課題への対話の促進と戦略的展望の発展を目指すプロジェクト。テロ対策、気候変動と環境問題、経済問題、北朝鮮の平和的非核化などのいくつかの主要な課題を取り上げて、ワシントンD.C.、東京、北京、ソウル各都市で会議を開催
23	日米同盟の使命としての平和構築—相補的なWhole-of-Allianceアプローチの推進	外交政策分析研究所(IFPA)	2010.06.01 ~ 2012.05.31	日米がアフガニスタンやソマリア地域における平和構築への貢献に向けた新たな方策を検討する時機において、平和構築分野における日米協働のアジェンダを模索する研究プロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
24	日本・米国で活躍する非営利団体業界のパイオニアによる講演会	ばれっと	2010.06.20 ~ 2010.12.20	米国より日野紀子 (NY deVolunteer) と Paul Golin (Jewish Outreach Institute) を招いて、ボランティア人材の活用方法や、ステークホルダーとの関係構築をテーマとしたシンポジウムを東京、大阪、茨城で8月下旬から9月上旬にかけて開催した。さらに、企業経営者等を対象に、戦略的な社会貢献マーケティングの手法に関する講演会を東京 (2010.09.03) で開催
25	通商・伝統的安全保障及び人間の安全保障の関係性：欧米の教訓とアジアへの示唆	カリフォルニア大学バークレイ校	2010.07.01 ~ 2011.06.30	アジアや欧米において、伝統的安全保障ならびに「人間の安全保障」がそれぞれ二国間あるいはグローバルな通商政策及び通商協定への相互の影響や効果を研究するプロジェクト
26	日米加3極会議 (3年間事業の2年目)	ジョンズ・ホプキンス大学	2010.07.01 ~ 2011.06.30	日本、米国、カナダの国際問題専門家が共同で世界が直面する平和安全保障について研究及び会議を行う3年プロジェクト。テーマは地球温暖化、エネルギー安全保障、アジア太平洋地域の平和構築等。今年度は東京で会合を実施 (2010.08)
27	エネルギー安全保障イニシアチブ (3年計画事業の3年目)	ブルッキングス研究所	2010.07.01 ~ 2011.06.30	G-Cubedという8千本の方程式で構成される経済計量モデルを用いて、日米共同で主要国のエネルギー利用による温室効果ガスの排出に伴う気候変動を分析。年1回 (3年間) 日本でワークショップ開催。中国の急速な経済成長に焦点を当て、エネルギー資源の確保と温室効果ガス排出抑制のために中国が果たすべき役割と政策を提言
28	NPOの素晴らしさの基準日本版作成	社団法人まちづくり国際交流センター	2010.07.01 ~ 2012.02.29	米国のMaryland Association of Nonprofit Organization (MANO)、メリーランド政府、メリーランドボランティアセンター等を訪問し、Standard for Excellence (SFX)の導入の状況や課題について知識を深める。また、MANOからSFXの担当者を招へいして (2011.02)、日本のNPOの状況を理解してもらい、日本版SFXを作成するほか、講演会を奈良で開催 (2011.03.19)
29	名古屋アメリカ研究夏期セミナー	南山大学	2010.07.24 ~ 2010.07.27	グローバル化が急速に進展する今日的な問題の共有と解決の共同作業、また来るべきグローバル社会で真に共有されるべき倫理構築の共同作業の必要性に鑑み、日米を機軸に好ましい国際関係を築き得る人材育成を急務と捉え、米国、アジア・オセアニア諸国の研究者及び大学院生による討論、発表会を通じ米国研究の国際化と将来の指導的人材の国際的ネットワークを構築
30	市民社会の財政基盤強化のための日米対話促進事業	社会福祉法人中央共同募金会	2010.08.01 ~ 2011.03.31	NPOと企業のパートナーシップによるファンドレイジングの展開に関係する専門家3名を、米国のNPO団体United Way Worldwideを通して日本に招聘し、専門家、NPO、企業との対話を実施する事業
31	ワークショップ：島嶼地域の産業エコロジーと持続可能性	エール大学	2010.08.01 ~ 2011.07.31	閉鎖系の島嶼地域をモデルケースとして、産業生態学の研究を行うプロジェクト。日米に加えアジアやヨーロッパの研究者による分野横断的なテーマで大陸部を含めた地域への応用可能性を探索するワークショップをハワイで実施する。成果や研究者による記事を『Journal of Industrial Ecology』誌に掲載
32	イリノイ日本舞台芸術ネットワーク (IJAPAN)	イリノイ大学東アジア言語文化学部	2010.08.01 ~ 2013.07.31	イリノイ大学東アジア言語文化部が中心となりNYのジャパンソサエティ、慶応大学と協力して舞台芸術関係者間のネットワークを図る3年事業の第1年目

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	日本グローバルスカラー事業	オレゴン大学	2010.08.01 ~ 2013.07.31	学部を卒業するまで一環した日本語イマージョン教育を行うコースを新設し高度な日本語能力を有する専門家育成を目指す3カ年事業の第1年目
34	比較・グローバル保健医療研究への日本の融合	ユタ大学	2010.08.01 ~ 2013.07.31	日本の保健医療政策の比較研究を扱う教員のポストを新設するとともに調査・コース・資料拡充等の関連事業を行う3年事業の1年目
35	平成22年度RIPS日米パートナーシッププログラム	財団法人平和・安全保障研究所	2010.08.09 ~ 2012.08.08	日本と米国との協力関係の維持・発展に学問的、実務的な面から携わり、将来的にリーダーシップを發揮することが期待される人材を集中的に育成することを目的として、通年で各種のセミナーやフィールドトリップ、論文作成のための指導を行なう。2年間のプログラム終了時に、各フェローは論文を提出するとともに、プログラムの一環として公開セミナーを開催し、広く一般に知見を普及
36	日米青年政治指導者交流プログラム(訪日プログラム)	財団法人日本国際交流センター	2010.09.01 ~ 2010.12.31	「日米青年政治指導者交流プログラム」は、日米両国の若手政治家、政策秘書、政党スタッフ等、両国関係の将来に影響を有する人材を対象に、超党派訪問団を組織して相互交流を行い、政策形成過程と密接な関わりを持つ政界関係者の対話と理解を促進することにより、長期的観点で両国の関係基盤を整備することを目的とした事業
37	地域経済成長のための推進力(2カ年間事業の2年目)	ペンシルバニア州立大学	2010.09.01 ~ 2010.12.31	APEC等によって進められている「地域標準化戦略」のプロセスと成果を認知させることを目指す。標準化戦略の本質、日本の役割、APEC内での日米相互利益を通じた日米関係の強化等を探り、実施可能な政策提言を実施
38	デザインの力：地球的課題への取り組み	ジャパン・ソサエティ	2010.09.01 ~ 2011.03.31	デザイナーズ・アコード、コモングラウンド・コミュニティ等との共同により、ソーシャルデザイナーや社会企業家らを日米及びインドネシア、タイからニューヨークに招き、地球的課題への取り組みにおけるデザインの価値について対話を行う事業。ブルックリン区のブラウンズビル地区への視察、公開フォーラム、対話を通じて、同地区の中長期的な社会変革にむけたデザインの有用性について議論
39	経済危機がアジア及び米国市民社会とフィランソロピーに与える影響	ジョンズホプキンス大学国際第3セクター研究会	2010.09.01 ~ 2011.08.31	アジア及び米国において経済危機が市民社会とフィランソロピー活動に与える影響をテーマに日米中を中心に調査研究を行うプロジェクト。調査報告書や論文の執筆を英語・日本語・中国語で行った。東京でシンポジウムを実施(2011.05)
40	米国ジャーナリズム大学院生招へい事業	エマーソン・カレッジ	2010.10.01 ~ 2011.03.31	将来ジャーナリストとして活躍が期待される米国のジャーナリズムを専攻するコロンビア大学、ニューヨーク大学、メリーランド大学、エマーソン大学の大学院生6名を招へいし、10日間滞日する間、日本の大学院生との交流、メディア関係者、学者、研究者、政治家、財界人、文化人との懇談、関係機関視察を実施

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
41	紛争後の安全保障と外交の強化：日米の平和構築戦略における資源管理・インフラ再整備（3カ年計画事業の3年目）	エンバイロメンタル・ロー・インスティテュート	2010.10.01 ～ 2011.09.30	紛争収拾後の、関係当事者間による天然資源マネジメント及びインフラ整備事業を融合させることで平和構築プロセスにどのように効果的に寄与するか、ケーススタディに基づき共同研究・政策提言を行う3年間のプロジェクト。ニューヨークと東京で研究成果や提言をテーマにした国際シンポジウムを開催
42	NPOなどの社会的成果に関する測定方法の開発及び普及啓発プロジェクト	特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター	2010.10.01 ～ 2011.09.30	NPO等が行う事業の社会的成果の測定方法の開発を目的とし、欧米の先進的な手法に学びながら日本型の測定方法を開発し、同手法の普及活動を行う事業
43	USJIセミナー・ウィーク	U.S.-Japan Research Institute (USJI)	2010.11.01 ～ 2011.03.31	米国、日本、中国、韓国等から専門家を招へいしてワシントンDCにて連続セミナーを開催する事業（2011.02.07-11）。主なテーマは「東アジアの安全保障と日米同盟の将来」「新グローバル知識基盤社会における高等教育の役割の改革」「エネルギーと食糧安全保障の軋轢の防止に向けた気候変動の代替政策の役割」「Yesと言える日本：米国等における日本のプレゼンスの維持」「世界金融危機の現状と、米国、日本、アジア太平洋地域に与える影響」等
44	グローバル化する世界のCSR：効果的なグローバルCSRに向けて（2カ年事業の2年目）	ミシガン大学	2010.12.01 ～ 2011.11.30	グローバル企業活動のネガティブ・インパクト（環境汚染や人権侵害等）の改善策やグローバルなCSRフレームワークでの解決策について、日、米、シンガポール、タイ等の企業の社会貢献活動（CSR）を促進する「グローバル・フレームワーク」への参加パターンを分析する事業
45	日・米・韓対話：東アジアにおける軍事抑止と安全保障	センター・フォー・ザ・ナショナル・インタレスト（旧ニクソン・センター）	2010.12.01 ～ 2012.11.30	日・米・韓3国の安全保障及び外交分野の専門家らによる対話事業。中国や北朝鮮に対する外交政策などをテーマに安保分野における3国同盟の重要性についての相互理解を深めることを目的とし、ワシントンと東京で半年ごとの対話セッションを交互に開催
46	APECと未来に向けたアジア太平洋地域の協力について	東西センター	2010.12.15 ～ 2011.05.31	日米がそれぞれAPEC議長国を務める2010～11年、域内経済貿易パートナーシップを巡る議論が注目を浴びている中、多くのアジア研究者が集う全米アジア学会において、日米、中国、韓国、インドネシアの研究者がラウンドテーブル形式のパネルで、未来に向けたアジア太平洋地域の協力関係構築について討議
47	日米の持続可能性に関する対話	ビジネス・フォー・ソーシャル・レスポンスイビリティ（BSR）	2011.01.01 ～ 2011.03.31	日米両国において、企業の社会的責任（CSR）に従事する実務者、研究者、関連団体のネットワーク構築を目的に、日米間の対話事業、CSR分野における日米共同事業の企画開発等を検討するプロジェクト
48	理想と現実の架け橋	ヘンリー・スティムソン・センター	2011.01.01 ～ 2011.12.31	拓殖大学海外事情研究所と共同で小規模なワーキング・グループを形成し、北朝鮮やイランの核問題などを背景に、日米両国が、軍事的抑止力を損なうことなく核軍縮や核不拡散を実現する方法について検証し、研究論文を執筆する事業。日米の政府関係者なども招いて、ワークショップやパネルディスカッションを実施

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
49	日本伝統芸能インフォメーション・ディレクター	ファイブ・カレッジ東アジア研究センター	2011.01.01 ~ 2012.12.31	米国在住の日本伝統芸能アーティストの名鑑を作成し、これをウェブサイト上で公開することにより、米国の地域・草の根レベルでの日本文化紹介活動を促進しようというプロジェクト。2011年に名鑑を作成し、マサチューセッツ大学アムハースト校において、ディレクターの紹介及び教育分野での利用方法に関する会議・ワークショップを開催（2012.10）し、名鑑を普及
50	国際教育リーダーシップ&交流プログラム	アイダホ人権教育センター	2011.01.01 ~ 2013.12.31	アイダホ、ユタ、ワイオミングの山間部の諸州と日本との交流を促進するため、米国の教育関係者の訪日研修・ワークショップ及び日米両国の学生交流を行う。教育関係者の交流にあたっては、中等教育での日本理解のためのレッスン・プランの開発を目標とする。また、学生交流では、特にリーダーシップ育成、市民教育、市民参加、文化財保護、異文化交流などのテーマについて学習
51	日米社会イノベーションフォーラム	アイリープ(iLeap)	2011.01.15 ~ 2012.01.14	「日米社会イノベーションフォーラム」は、当該分野における日米交流の深化を目的として、日米双方が抱える社会的課題の解決に向けて創造的に取り組むビジネス、NPOセクターの関係者を、日米7名ずつの合計14名選抜し、日本側関係者のシアトル訪問、米側関係者の東京（首都圏）訪問（各10日間）の2度の交流機会を提供し、サイトビジットや座学、グループ討論などを行なうプロジェクト
52	新・下田会議：激動する国際社会と日米戦略的パートナーシップの再構築	財団法人日本国際交流センター	2011.02.01 ~ 2011.03.31	アジア太平洋地域は劇的な変化を遂げつつあり、この地域と世界が直面する喫緊の課題に対応するためにも、確固たる日米関係を築く必要があるという認識が高まっている。新・下田会議は、日米両国社会の変遷に着目し、発展するアジアにおいて日米関係の在り方を再定義するための手立てを見出し、アプローチの仕方を検討するとともに、日米パートナーシップの再活性化と深化の方策を探ることを目的とする
53	日米姉妹都市交流ネットワーク	シスター・シティーズ・インターナショナル	2011.02.01 ~ 2011.11.30	日米姉妹都市交流の再活性化を目的に、ジャパン・リサーチ・フェローを採用し、ベスト・プラクティスを調査して、ブックレットを作成する。また、公募で米国内の姉妹都市交流を募り、20名を日本に派遣するためのコーディネートをを行う。年次総会や地域大会で報告会を開催し、姉妹都市モデルを通じた持続可能性や経済的イニシアティブに関してディスカッションを行う。特に若者の参加を奨励
54	幹細胞研究における知的所有権の諸課題：アジアでのコンテキストにおける科学革新とグローバルな法正義	ジョンズ・ホプキンス大学	2011.02.01 ~ 2012.01.31	幹細胞研究における知的所有権の諸課題について、特にアジア（日本・中国）におけるコンテキストでの評価・分析を実施。具体的には日米中の幹細胞研究、法律、経済学、生命倫理学等の分野から専門家が参加する会議を実施、幅広い分野の専門家が参加して総会及び分科会での議論を重ね、さらにその後複数の小規模なミーティングを継続的に実施することで課題の共有と具体的な政策提言への進化を目的

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	国際環境ガバナンスにおける多様な行為主体の効果的参加のための制度設計	国際環境ガバナンス制度設計研究実行委員会	2011.03.01 ~ 2013.03.31	グローバルな取組みが必要とされている国際環境ガバナンスについて、議論や知見を収斂することを通じて科学的コンセンサスの範囲を導き、効果的制度の方向性を示す2年間計画事業。1年目は日米で計2度の国際ワークショップ開催を通じて政策担当者、NGO、企業・経済団体等の多様なステークホルダーとの対話・議論を実施。2年目には2012年5月の「持続可能な発展に関する国連会議（Rio+20）」に成果を反映させるための提案を行い、出版物を刊行
56	ジャパン・コネクション（2カ年事業の1年目）	全米舞台芸術ネットワーク（NPN）	2011.03.01 ~ 2013.06.30	日本コンテンポラリー・ダンス・ネットワークと共同で、日米間の幅広い舞台芸術関係者の交流促進のために、相互訪問・視察・意見交換を行うと共に、ウェブサイトやメールマガジンなどの多様な媒体を通じて日米間での情報共有を図る事業
57	北米日本庭園ネットワーク	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校アール・バーンズ・ミラー日本庭園	2011.03.01 ~ 2013.12.31	北米日本庭園連合（NPO）を設立して北米地域の約200の日本庭園のネットワーク化及び日本庭園の活動やベストプラクティス等を共有することを目的とする事業。カリフォルニア州立大学アール・バーンズ・ミラー日本庭園がポートランド日本庭園と共同で、(1)ネットワーク形成のための全国・地域会議の開催(2)日本庭園に関する調査(3)ウェブサイト上での日本庭園情報の共有等の活動を実施
58	東アジアの国際関係を左右する国内情勢	エール大学	2011.03.01 ~ 2014.02.28	東アジア諸国（特に日本、韓国、台湾）における政権交代等の国内政治事情が、各国の外交政策や国際関係に与える影響を比較研究するプロジェクト。研究者、政府関係者及び一般を対象とした公開シンポジウムを行なうほか、複数言語による報告書を出版
59	日米協会ネットワーク支援事業	全米日米協会連合（NAJAS）	2011.03.01 ~ 2014.02.28	特に中小規模の日米協会の支援及び日米協会全体の経営基盤の安定と活動の促進を目的として、各事務局長を対象としたトレーニング・ワークショップ、新任事務局長へのオリエンテーション、理事会メンバーへのサポート等を実施
60	良質な日本の情報リソースへのグローバルなアクセスへの保証	北米日本研究資料調整評議会（NCC）	2011.03.01 ~ 2014.02.28	(1) 日本研究が実施されていながら、日本研究専門の司書が不在な大学を対象に、教授と司書のペアによるトレーニングを目的とするワークショップを開催する。(2) 横浜での図書館総合展（2012.11）にあわせた国際会議“Global Access to Japan”に参加し、日本関連資料のデジタル化などをテーマに話し合う。(3) NCCのウェブサイトの改修を通じた、クリアリング・ハウスとしての役割を強化
61	青少年オンライン国際交流プロジェクト	ジャパン・ソサエティ	2011.03.01 ~ 2014.03.01	ソーシャル・ネットワークを通じた新たな青少年交流モデルを確立するため、日本、米国、パキスタンの3カ国の高校生を対象とした交流を実施する事業。プロジェクトを通じて蓄積されたカリキュラムや教材は、ジャパン・ソサエティのウェブサイトを通じて広く共有
62	ボランティア・リーダーズ・スクエアプログラム（3カ年事業の1年目）	ユナイテッド・プラネット	2011.03.01 ~ 2014.03.30	将来のNPOリーダーや社会企業家の育成につながるよう、日本とのボランティア交流プログラムを新たに立ち上げ、米国からのボランティア派遣と日本から米国へのボランティア受入を行うプロジェクト

日米交流推進費

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
63	日本を身近に：教育関係者に対するオンラインを活用したリソース提供プロジェクト	プライマリー・ソース	2011.03.01 ～ 2014.03.31	K-12レベル（幼稚園から高等学校を卒業するまで）で日本に関する授業を行なう教師を対象としたオンライン・カリキュラムを開発し、2012年よりネット上の教育コースを開講する。また、授業で日本について教える際の基本資料をオンライン上で提供する他、日米両国から10名ずつの教師が日米間の教育を通じた相互理解についてネット上のフォーラムを開催
64	J-Center：中西部地域における日米関係強化事業	米国市民外交センター	2011.03.01 ～ 2014.03.31	米国中西部地域10州と日本の市民レベルでの交流を強化するため、申請機関内に「日本センター」を設置し、日米交流ディレクター作成及び関係団体のネットワーク化、日米交流プログラムの調査及びベスト・プラクティスの共有、アドバイザー・カウンシルの設立とアドバイザーの訪日及び日米両国における会議開催、などを実施
65	東アジアにおける多角的安全保障とガバナンス一次の半世紀に向けて	2011年5大学連合国際共同研究準備委員会	2011.03.15 ～ 2012.03.31	本プロジェクトは、アジア太平洋を主導する五大学の第一級の研究者と実務家を集め、その連携によって次の半世紀における東アジア国際政治の課題を明らかにするとともに、今後半世紀の間に実現すべき具体的かつ建設的な提案を、実務家との協議を踏まえつつ展開。既に過去2年にわたり予備的な共同作業が進められており、また本申請が網羅する2011年度以後も、2013年度まで合計三年間のプロジェクトを予定
66	『京の町屋ウェブサイト』プロジェクト	ボストン子供博物館	2011.03.15 ～ 2014.06.30	K-12レベルを中心に、広く日本理解を深めるため、同博物館が保存・展示する「京の町屋」に関する資料をカタログ化、またこれに関する映像資料やドキュメンタリー映画等の素材を活用し、これをウェブサイト上で日本理解のためのリソースとして公開するプロジェクト。ウェブサイトを通じてバーチャルに京の町屋を体験して日本理解を深めることができ、教師はウェブ上のリソースを授業に活用となる。プロジェクトの成果は学会等を通じて広く教育関係者に共有

日米交流推進費

2. 催し等事業費 / (2) 日米交流支援 (主催)

日米間の知的交流を推進するために、セミナー・シンポジウム等を開催する。

合計額 33,822,753 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク事業	マンスフィールド財団	2009.04.01 ~ 2012.03.31	将来、米国の政策・世論形成に関与することが期待される中堅・若手の日本研究者、実務家に、日米グローバル・パートナーシップの多様なアジェンダについて幅広い理解を得、また彼らが相互に緊密なネットワークを形成することを目的として3か年にわたって継続中の事業
2	米国国際関係専攻大学院生招へいプログラム	国際関係大学院協会 (APSIA)	2010.08.15 ~ 2010.08.24	米国の国際関係論を専攻する大学院生15名を招へいし、日本の学者、研究者、政治家、財界人、NPO、文化人との懇談、関係機関への視察を通じて、日本の外交や社会政策の背景にある文化的・歴史的経緯にも触れる機会を供することで、参加者の日本理解を促進し、より強固で多角的な日米関係の発展に寄与することを目指す事業。2010年度は東京、広島、京都を訪問
3	日本一日系人交流促進プロジェクト		2010.04.01 ~ 2011.03.31	多様な分野で活躍する日系米国人 (主として3世・4世) を日本に招へいし、各界との対話、公開シンポジウム、報告書等出版を通じて、日米相互理解の深化と米国日系人コミュニティとの長期的関係を強化する事業
4	米国CSR調査：報告書作成		2010.04.01 ~ 2011.03.31	これまで中国・インド・フランス等各国で実施・分析・報告・発刊し、好評を得てきたCSR調査に関し、平成20年度から米国でも調査を開始。結果報告・分析及びその他加筆も完了し、報告書が完成した。前例同様、米国版も報告書を製本化し、現地及び日本国内に配布

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 広報（情報センター）
- (2) 年次報告
- (3) ウェブサイト・メールマガジン
- (4) JFサポーターズクラブ

3. 調査研究費

- (1) JFIC事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

4. その他

- (1) 後援名義の付与

情報センター事業費

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際交流活動の振興と国際交流団体のネットワーク化を目的としたセミナー等を開催する。

合計額 5,850,869 円

	事業名	共催・協力機関	期間	事業内容
1	フェスティバル参加	グローバルフェスタ Japan2010 実行委員会 ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会 ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会 ナマステ・インディア実行委員会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	全国各地で開催される国際交流フェスティバルへのブース出展、セミナー等を実施。東京（グローバルフェスタ2010）、名古屋（ワールド・コラボ・フェスタ）、大阪（ワン・ワールド・フェスティバル）にて実施。東京（ナマステ・インディア）でのイベント実施に協力
2	ウェブサイト「AIR-J」の機能及びコンテンツ増補改訂		2010.04.01 ~ 2011.03.31	全国各地で実施されるアーティスト・イン・レジデンス事業を支援し、国内外の関係者や訪日を希望する海外のアーティスト等に情報を提供するため、日本国内のアーティスト・イン・レジデンス情報（和文・英文）をウェブサイトに掲載 URL: http://air-j.info/

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 広報 (情報センター)

イベント・スペース (JFIC : ジェイフィック) の利用促進と国際交流基金の情報発信を目的としたイベント・シリーズを実施する。

合計額 16,066,094 円

	事業名	期間	事業内容
1	JFICイベント	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>イベント・スペース (JFIC) の利用促進と国際交流基金の情報発信を目的としたイベント・シリーズ。2010年はパイロット事業として、外部団体と連携して実施</p> <p>第1回 「AIR_J」ウェブサイトリニューアル記念ミニフォーラム アーティスト・イン・レジデンスと都市の創造拠点 ―フィンランド、ノルウェー、北海道の事例から― 共催：フィンランドセンター (2010.06.14)</p> <p>第2回 「カルチュラル・ミーティング・ポイント サマーセミナー ～日本の文化政策とアートシーンの現在～」 (2010.07.16)</p> <p>第3回 「カナダ5都市公演帰国報告会 「ギタリストが見る／見た世界」大萩康司+荘村清志 トークセッション&ミニライブ」 (2011.01.29)</p> <p>第4回 「AIR!AIR!AIR!―海外でステップアップを目指せ―新進～中堅アーティスト・キュレーターのための新しいミーティングシリーズ」 (3回シリーズ) 共催：トーキョーワンダーサイト、Arts and Law) (2011.01.18、02.05) ※但し、第3回目は東日本大震災の影響により中止</p> <p>第5回 「国際交流基金招へい・制作 現代演劇作品記録上映シリーズ 記録映像で見るアジア現代演劇 ―1990年代から2000年代へ」は、東日本大震災の影響により平成23年度へ実施延期</p>

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

国際交流基金の活動について年度ごとに総括・報告する年報を発行する。

合計額 8,916,107 円

	事業名	事業内容
1	和文年報 2009 及び英文年報 2009	国際交流基金の平成21年度（2009年度）事業に関する年報の作成及び送付。 和文2,500冊、英文1,500冊を作成

2. 文化資料事業費 / (3) ウェブサイト・メールマガジン

ウェブサイト、eメールマガジンの配信を通じて、プログラムガイドライン等も含めた国際交流基金の各種事業や、国際文化交流に資する情報提供を行う。

合計額 25,727,052 円

	事業名	事業内容
1	Webサイト運営	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内、申請書類、その他の情報をインターネット上で提供 URL: http://www.jpfi.go.jp/
2	ウェブマガジン	2010年8月より、読み物ポータルとしてウェブ版『をちこちMagazine』をスタート。毎月1日発行。平成22年度は、8～3月（但し12・1月号は合併号）の7回発行。各号ごとにテーマを設定して特集を組み、国際交流基金事業をベースに対談や寄稿、報告等を掲載。平成22年度の特集テーマは、「これからの国際文化交流」（2010年8月）、「越境する文学」（9月）、「音楽が紡ぐ出会い 日本×アフリカ」（10月）、「表現としてのマンガ」（11月）、「今を生きる文化遺産」（12月・1月）、「日本映画に魅せられた世界の映画人」（2011年2月）、「世界がであうBUTOH」（3月）。 また、平成21年末までで休止となった国際文化交流専門誌『をちこち』記事をデータベース化して、過去の記事を電子データとして検索・講読可能とした
3	メールマガジン	国際交流基金の事業予定その他の情報を、メールマガジンとして配信 配信回数（年間）：日本語版 48回（毎週発行）、英語版 24回（隔週発行）
4	ソーシャルメディア	国際交流基金の事業に関する告知や報告をソーシャルメディアで発信 ブログ「地球を、開けよう。」年間更新回数：52回 URL: http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation/ Twitter ツイート数：622件 URL: https://twitter.com/Japanfoundation
5	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した催し物等の映像ファイルを公開

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (4) JFサポーターズクラブ

年間一定額の寄附金を会費として支払った個人に対し、基金に関する情報を提供する。

合計額 1,284,251 円

	事業名	事業内容
1	JFサポーターズクラブの運営及びイベントの実施	国際交流基金への支援者に国際文化交流に参加してもらうことを目的として運営してきたJFサポーターズクラブの会員及び一般参加者を対象に、メールマガジンやニュースレターの発行を行うとともに、年間で5回のイベント（ワークショップ・対談他）を実施。2010年1月をもって新規会員募集を止め、会員資格の最終有効期限となった2011年1月をもって本事業を終了

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際文化交流に関する情報提供のため、ライブラリーとイベントスペースをそなえるJFIC（ジェイフィック）を運営する。

合計額 32,661,684 円

	事業名	事業内容
1	JFICライブラリーの運営	国際交流基金の実施事業に関する出版物や映像資料、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本紹介図書・映像資料などを所蔵。研究者や国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報を提供 ①所蔵資料合計（視聴覚資料を含む）： 38,703点 （内訳：図書 36,223冊、視聴覚資料 684点、マイクロ資料 1,796点） 雑誌 420冊、オンラインジャーナル 21点、新聞 8紙 ②利用者数（年間）： 20,053名 ③貸出点数（年間）： 3,179点 ④レファレンス件数（年間）： 921件

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業 (基金賞)

学問、芸術その他の文化活動を通じて、国際文化交流に特に顕著な貢献があった個人・団体等に対し、その功績を顕彰する。

合計額 26,239,552 円

	種別	受賞者	現職	授賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	佐藤 忠男 SATO, Tadao	映画評論家	日本を代表する映画評論家であり、アジア映画研究の先駆者として映画分野における国際交流に積極的に取り組み、特に従来紹介されることの少なかったアジア諸国の優れた作品に光を当て、日本のみならず世界の観客にアジア映画への関心を高める上で大きく貢献した
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	サヴィトリ・ヴィシュ ワナタン VISHWANATHAN, Savitri	デリー大学 前教授	デリー大学において日本語・日本史・日本政治の講義を長年担当し、インドにおける日本研究及びその基礎となる日本語教育をインドで根付かせ、後進の育成に大きく貢献した
3	国際交流基金賞 (日本研究・知的交流部門)	ベン=アミー・シロニー SHILLONY, Ben-Ami	ヘブライ大学 名誉教授	ヘブライ大学において日本研究の第一人者として日本の歴史研究分野で優れた功績を挙げると共に、世界各地で日本文化理解や学术交流の促進・日本研究の推進に大きく貢献した

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業 (地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体・個人を顕彰する。

合計額 14,333,131 円

	受賞者	都市	授賞理由
1	特定非営利活動法人アクション	東京都武蔵野市	東京とフィリピン国内3カ所に事務所を設け、子どもたちが自力で夢に向かってチャレンジできる環境作りを目指して活動。また、民間企業と提携し菓子袋を再利用したエコブランド「エコミスモ」を立ち上げ、現地女性の雇用創出や自立支援につなげている
2	多文化まちづくり工房	神奈川県横浜市	外国籍住民が約3割を占める神奈川県営いちょう団地にて、多文化共生のまちづくり、人づくりを目指して活動。自分たちのまちは自分たちで守ろうと地域防災リーダー“TRYangels(トライエンジェルス)”を立ち上げる等、地域の防災活動にも積極的に携わっている
3	特定非営利活動法人ダンスボックス	兵庫県神戸市	阪神大震災において被害の大きかった新長田を拠点に、つくるダンス、みせるダンス、交換するダンスなど、地域に密着し、先鋭的なコンテンポラリーダンスを神戸から世界に発信する活動を行っている

情報センター事業費

4. その他 / (1) 後援名義の付与

一定の要件を満たす国際文化交流事業に対して、国際交流基金の後援名義の使用を承認し、当該事業の実施を支援する。

合計額 0 円

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
1	もう一つのシルクロード —半島から—	韓国	民俗工房	2010.06.08 ~ 2010.06.09	シルクロードをテーマにした、創作音楽劇を公演。シルクロードの歴史を背景に、人類の平和史観を問い掛けた。国立国楽院（ソウル）にて平和へのメッセージを日韓アーティスト（WOOダンスカンパニー、吉原圭子その他）が舞台で表現・発信し、新たなアジア文化を共有、親善交流を深めた
2	第3回日韓若手音楽家交流コンサート from Switzerland	韓国 日本	日韓若手音楽家交流委員会	2010.09.02 ~ 2010.09.12	スイスの音楽学校、バーゼル・スコラ・カントルムの卒業生、もしくは在学中の日本人、韓国人の若手音楽家グループがソウル（10.09.02）と日本国内（東京10.09.04、館林09.06、仙台09.10、秋田県仁賀保市09.12）でコンサートを行い、日韓両国間の親睦を深めた
3	2010 昌原 JAPAN WEEK	韓国	在釜山総領事館	2010.10.01 ~ 2010.10.09	1998年の日韓首脳会談で、地方における文化交流促進の重要性が認識されたのを契機に、以来毎年、韓国の地方都市で日本文化を紹介するJAPAN WEEKを開催。本年度は、慶尚南道・昌原市にて講演会、展示会、芸術公演、ワークショップ等さまざまなイベントを実施し、一般市民の日本に対する理解及び関心の一層の向上を図った
4	劇団態変 韓国公演	韓国	劇団態変	2011.03.21 ~ 2011.03.25	劇団態変は身体障害者の身体の形状や動きの不自由さを表現力に転化させ、新たな美を生み出す挑戦を継続している。本企画では、実在の人物、黄態度を主人公とした『ファン・ウンドー一代記』を同氏の祖国、韓国・ソウルと故郷固城（コソン）で上演。韓国の障害者エキストラや黒子スタッフを養成し、日韓のメンバーが共に作り上げる舞台公演を実施
5	第5回全中国選抜中国日本語スピーチコンテスト	中国 日本	日本経済新聞社	2010.04.01 ~ 2010.07.26	中国全土の大学生を対象に、北京、上海、広州、保定、大連、武漢、蘭州、成都の8都市で予選会を行い優秀者16名を選出し、日本に招へいして本選を開くと共に、彼らに日本の政界、経済界の人物や大学生たちと交流する機会を設ける。中国大学生の日本語学習意欲向上と、日本や日本人に接する機会を提供することで、対日理解の促進・深化を図ることを目的とした事業。中国教育国際交流協会、日本華人教授会議、日本経済新聞社の3者による共催事業
6	第6回香港中高生日本語スピーチコンテスト	中国	香港日本語教育研究会	2010.04.18	香港の中・高校生の日本語学習を奨励するために開催する日本語スピーチコンテスト。論題が自由な「スピーチの部」に加え、初・中級学習者の参加を促すために課題詩「暗誦の部」を設けて実施。2009年度の優勝者 Ms. Wong Hayley Hai Ning(王凱寧)及び本年度の優勝者 Mr. Yeung Wan Lung(楊雲龍)が「第15回海外高校生による日本語スピーチコンテスト」(No.23参照)へ派遣された

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
7	日中青少年交流事業	中国	茨城県日中友好協会	2010.08.08	2010年上海万国博覧会場アジア広場において、日本と中国の高校生がロック音楽のバンド演奏を通じて交流を図る <i>TEEN'S ROCK IN SHANGHAI</i> を開催。日本からは、 <i>TEEN'S ROCK IN HITACHI-NAKA'09</i> の優秀な評価を得たバンド5組が参加し、中国のバンド5組とともに演奏を披露。イベント運営には日中両国の高校生約50名がボランティアスタッフとして参加
8	第7回日本語教育セミナー in 西安：第17回陝西省大学生日本語弁論大会	中国	社団法人全国日本学会	2010.12.11 ~ 2010.12.12	中国陝西省における日本語教育分野の国際的な事業として、教育及び文化の国際的な振興を推進することを目的に開催。12月11日の日本語教育セミナーでは、中道真木男（名古屋外国語大学教授日本語学科長）、森本順子（京都外国語大学日本語学科教授）、由井紀久子（京都外国語大学日本語学科教授）、阿部新（名古屋外国語大学日本語学科講師）が作文の添削、受身表現の学習等をテーマに、現地の日本語教育研究者及び従事者（日本人・中国人教師を含む）を対象にしたセミナーを開催。12月12日には、陝西省の各大学選抜学生による日本語弁論大会を開催
9	第20回日中友好の声日本語中国語弁論大会 第6回 日中友好の声日本語弁論グランドチャンピオン大会	中国	日中友好の声日本語・中国語弁論大会実行委員会	2011.03.26 ~ 2011.03.27	日中両国の若者達が互いの国の言葉を理解することで日中交流を促進する事業。第20回日本語中国語弁論大会(11.03.26)、第6回日本語弁論大会全国大会(11.03.27)を天津外国語大学で開催。3月27日第6回全国大会では、「原発事故に思うこれからのエネルギー問題」をテーマにスピーチを行う。最優秀賞は楊樂穎（天津外国語大学）が獲得。本弁論大会は、中国で最も長い伝統を誇る日本語弁論大会であり、この20年間で参加した弁士の数は500名を超えた
10	第11回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2010.04.01 ~ 2010.10.11	世界平和と相互理解に貢献するため、関西から芸術、文化を発信すると共に、世界に羽ばたく若い音楽家を見出すことを目的とした音楽コンクール。ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽部門のそれぞれについて予選、地区本選、ファイナルがあり、ファイナルでは世界の音楽界に通用する逸材を発掘、顕彰し、演奏発表の場を提供。第1位の者にはグランドファイナル＝ガラコンサートで演奏の機会を提供。更にアマチュア部門も併設し、より多くの人々に門戸を開放している
11	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2010～ショパンの宇宙～	日本	株式会社東京国際フォーラム	2010.04.28 ~ 2010.05.04	クラシック音楽愛好者の裾野を広げ、その素晴らしさを老若男女あらゆる人々で分かちあい、特に子供達に、クラシック音楽の素晴らしさと感動を伝え、21世紀を担う彼らの健全な育成を図る。第6回目は「ショパンの宇宙」をテーマに設定、世界各地で活躍する音楽家達の交流を通じ、国・地域を越えて諸外国と日本との文化交流を促進する。地域の魅力ある街づくりに貢献し、その魅力を世界に向けて発信する
12	黒澤明生誕100年記念エキシビジョン&シネマ「スリー・ステージズ・キャラバン」	日本、米国、ブラジル、イタリア、フランス、トルコ	財団法人黒澤明文化振興財団	2010.05.01 ~ 2010.08.31	黒澤明（映画監督）の生誕100年を記念し、その生涯と仕事を回顧する展覧会と彼の代表作のレトロスペクティブ上映及び映画の現在を示す新作映画の上映という3つのステージで構成。世界の6都市（東京、ニューヨーク、サンパウロ、ヴェネチア、パリ、イスタンブール）を巡回

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
13	文化遺産国際協力コンソーシアム・シンポジウム「文化遺産保護は平和の礎をつくる」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2010.05.25	本年度のシンポジウムは平山郁夫の足跡を辿り直し平和構築への共感と協同を広く世界に求めることを目的に実施。国連大学にて「文化遺産と平和への祈り—平山郁夫の足跡」と題し、ジャック・ジエス（フランス独立行政法人ギメ東洋美術館館長）、樊錦詩（中国敦煌研究院院長）、宮田亮平（東京藝術大学学長）が講演、続いて「文化遺産保護と平和構築」をテーマに石澤良昭（上智大学学長）、前田耕作（和光大学名誉教授）、星野俊也（大阪大学大学院教授）、大石芳野（写真家・日本大学客員教授）が登壇
14	Shizuoka 春の芸術祭2010 ～未完成な世界（ハーモニー）～	日本	静岡県舞台芸術センター（SPAC）	2010.06.05 ～ 2010.07.04	静岡県舞台芸術センター（SPAC）では、独自の舞台芸術作品の創造と並行して、世界の優れた舞台作品を上演する「Shizuoka 春の芸術祭」を2000年以来毎年春に開催。「劇場は世界をのぞく窓」と捉え、世界各地の作品を上演し、多様な文化・芸術が交会う機会を提供。2010年は、12カ国の13作品を上演
15	第15回日本・インドネシア美術文化交流展（東京展）	日本	インドネシア美術研究会	2010.06.17 ～ 2010.06.24	相互の研鑽と交流を通じてインドネシアと日本の相互理解を深めることを目的に、インドネシア人作家と日本人作家による交流展を東京（国際機関日本アセアンセンター・ホール）で開催。油彩画、日本画、水彩画、パステル画、アクリル画、写真、造形などの美術作品約100点を展示
16	渋沢栄一賞	日本	埼玉県	2010.07.01 ～ 2011.03.31	多くの企業の設立や育成に携わると同時に、福祉や教育等の社会事業にも尽力した渋沢栄一の業績をたたえ、その精神を今に受け継ぎ、健全な企業活動を営むとともに国際交流・協力分野を含む社会貢献活動が顕著な全国の企業経営者に渋沢栄一賞を授与
17	Kids' ISO14000 プログラムの普及と国際交流	日本 フランス	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	2010.07.01 ～ 2011.03.31	環境をテーマに、「現状分析、目標設定、実行、結果の振り返り（PDCA）」というプロセスを体験させることにより、子供達に問題解決能力をつけさせ、同時にプログラムを実施した海外の子供達とのネットワークを構築することで、子供同士が国際理解を深める機会を提供
18	日本、アジア・太平洋の音楽 韓国の名匠 黄秉冀 伽耶琴の真髄	日本	財団法人新日鐵文化財団	2010.07.02 ～ 2010.07.03	日本とアジアの伝統音楽が、どのように相互に影響し発展してきたかを探るシリーズ。韓国を代表する伽耶琴（カヤグム）演奏家・黄秉冀（ファン・ビョンギ）の紀尾井ホールにおける10年ぶりの公演。夜公演「韓国伝統音楽の彩り」では・黄秉冀の伽耶琴独奏に加え、女唱歌曲、宮中舞踊、器楽独道で多彩な韓国音楽を演奏。昼公演「伽耶琴散調 完全版」では、韓国の演奏会でも滅多に演奏されることのない大作で世界的にも注目されている黄秉冀伽耶琴散調の完全演奏を実施
19	創立25周年記念 女声合唱団 「黎明」第8回演奏会	日本	日中友好・女声合唱団「黎明」	2010.07.04	音楽による日中友好交流活動を続けてきた女声合唱団「黎明」の創立25周年記念事業。これまでの成果として演奏会を行い、また中国人音楽家を招へいして一部ジョイントのステージを持ち、中国の音楽を紹介する演奏会を開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
20	2010金沢工業大学／米国図書館・情報振興財団 図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	学校法人金沢工業大学	2010.07.08 ～ 2010.07.09	現在急速に発展し続ける新しい情報技術による「eラーニング」が教育・研究に及ぼしている影響をテーマに、ジャニス・R・ラチャンス(米国専門図書館協議会代表)、ジェームズ・G・ニール(コロンビア大学情報担当副学長／図書館長)、スティーブン・G・ニコルズ(ジョンズ・ホプキンス大学教授)、ジュデット・C・ラッセル(フロリダ大学ジョージ・A・スマザーズ図書館長)、ジョン・P・ウィルキン(ミシガン大学図書館情報技術担当准館長／ハーティトラスト常務理事)を招へいし、先端的な事例紹介や実例をもとに討論する国際会議を開催
21	中央アジア地域の留学生受入強化と教育・研究充実に向けた国際シンポジウム	日本	国立大学法人筑波大学	2010.07.15 ～ 2010.07.16	中央アジア地域の言語(言語学・日本語教育)、教育、社会、理系分野に関する研究者及び大学院生の交流の場として、知的交流を図ることを目的として国際シンポジウムを実施。筑波大学に在籍する中央アジア地域からの留学生の研究発表、講演会「中央アジア地域に対するJICAの取り組み」、カザフ国立大学、タシケント国立東洋大学の紹介、渡日前教育のあり方について中央アジア地域の教育担当者や国内の関係者と討議を実施
22	日本コソボ国交樹立記念文化交流特別演奏会	日本	日本コソボ国交樹立記念文化交流特別演奏会実行委員会	2010.07.17 ～ 2010.07.25	2000年コソボ紛争当時難民であった13名の弦楽器奏者がコソボフィルを設立。2007年には日本人指揮者柳澤寿男を首席指揮者に迎え、戦後復興の中、多くの名演を残した。コソボ独立宣言(2008.02.17)を受け、日本政府も国家承認と共に国交を樹立。交流の機会が無かったコソボと日本のオーケストラの間に初めて交流が生まれることとなった。演奏会には、バルトン・ベチリ(作曲家／コソボ文化大臣)が来日し、同氏の作品も演奏された
23	「第15回海外高校生による日本語スピーチコンテスト」及び異文化交流プログラム	日本	特定非営利活動法人エデュケーション・ガーディアンシップ・グループ	2010.07.23 ～ 2010.08.01	海外12カ国(国と地域)で日本語を学習している高校生が出場する、日本語のスピーチコンテスト国際大会。コンテスト出場者は、日本滞在中に、日本の青少年との交流活動を通じて、それぞれの国や文化、お互いのことを理解し合い、友情を育む「異文化交流プログラム」や、コンテスト出場者と日本の青少年が日本語を用いながら、現代社会の様々な問題を青少年の立場から意見交換する「日本語イマージョンプログラム」にも参加
24	第31回霧島国際音楽祭	日本	財団法人ジェスク音楽文化振興会	2010.07.25 ～ 2010.08.08	地元鹿児島はもとより、日本及びアジアのクラシック音楽文化の発展に資することを目的に、日本国内及びアジアの音楽家を目指す学生たちを対象に、世界一流のアーティストを講師に招いてマスター・クラスと演奏会を開催
25	第9回夏期教員ワークショップ	日本	公益財団法人武蔵野市国際交流協会	2010.07.29 ～ 2010.07.30	「学校と地域をつくる国際理解教育」をテーマに、地域に暮らす外国人やNGOとの協働での授業づくりを推進することを目的に、国際理解教育の理念・理論及び参加型学習の手法や実践事例を紹介しながら、教員が授業実践のヒントを獲得できる場を提供

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
26	第13回広島国際アニメーションフェスティバル	日本	広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会	2010.08.07 ~ 2010.08.11	国境や言語を越えて人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じて「愛と平和」の精神のもとに開催する、国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA) 公認の映画祭。グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、観客賞などが選ばれるコンペティションの他、特別プログラム、ワークショップ等多彩なプログラムを実施
27	Study Trip in Japan 2010	日本	The Asian Law Students' Association Japan (ALSA Japan)	2010.08.12 ~ 2010.08.19	相互理解を通じた友情を草の根から育み、アジアの地域的協調に基づく平和で公平なより良い社会を実現するために、未来を担うアジアの法学生が日本に1週間滞在し、日本国内の受入機関を交え、学術交流（国際的不正コピー商品の蔓延、東アジア地域人権規約の可能性、東アジアにおける移民の人権レジーム構築等）や文化体験（社会見学やスポーツ大会）などの交流事業を実施、計102名が参加
28	第9回東京国際和太鼓コンテスト	日本	東京新聞事務局	2010.08.14 ~ 2010.08.15	近年飛躍的發展を遂げている和太鼓の、国際的に通用する奏者の育成を目的としたコンテスト。「組太鼓青少年の部」に10組（10.08.14）、「大太鼓の部」10名、「組太鼓一般の部」10組（10.08.15）が競演。各部ごとに最優秀賞、優秀賞、敢闘賞を選出
29	第23回 JAPAN TENT－世界留学生交流・いしかわ2010－	日本	JAPAN TENT開催委員会	2010.08.19 ~ 2010.08.25	日本各地で学ぶ世界各国からの留学生を石川県に招き、県内各地の特色を生かした交流事業を通じて日本の歴史や文化を学ぶ機会を提供。参加留学生は、県内滞在中全期間を一般家庭でホームステイし、石川県民と参加留学生が国籍や言語、文化の違いを乗り越え交流し、真の相互理解と国際親善に寄与することを目指した。本年度は、76カ国から300名の留学生が参加
30	第47回全国国際教育研究大会茨城大会	日本	全国国際教育研究協議会	2010.08.20 ~ 2010.08.21	「国際社会を主体的に生きる人間の向上を目指して」を大会のテーマに、基調講演「国際社会を主体的に生きる」及び「私も高校に入りたい～日本語を母語としない生徒たちの実態」「教師再生の国際協力」等6つのテーマで分科会を開催。加えて第30回高校生英語弁論大会、第10回留学生日本語弁論大会を実施
31	高校生小論文コンテスト	日本	城西国際大学国際人文学部国際文化学科	2010.08.23 ~ 2010.11.06	大学入学前の若い世代に異文化理解や国際交流に関心を抱かせることを目的に、「私の異文化体験」をテーマにした小論文コンテストを行い、優秀作品を表彰
32	第6回ルーマニア国際音楽コンクール	日本	日本ルーマニア音楽協会	2010.08.25 ~ 2010.08.28	音楽を通じて日本とルーマニアの文化交流を深め、日本を中心に広くアジアにルーマニアを紹介する目的で設立された日本ルーマニア音楽協会が、2005年以来毎年夏に開催しているクラシック音楽コンクール。最優秀賞受賞者は、ルーマニアで開催される音楽祭に出演し、海外デビューの機会が与えられる。本年度は、弦楽器部門に出場した会田莉凡（ヴァイオリン）が最優秀賞を受賞。ルーマニアからの招へいを受け、ポバシリ・エネスチーネ音楽祭に出演

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
33	<知り合う、学びあう>遙かなる時を受け継いできた太陽のオリエンタルダンス	日本	株式会社ナカツボ	2010.08.29 ~ 2010.09.22	エジプトを拠点に、民族舞踊オリエンタルダンサーとして活躍している木村カスミが日本へ一時帰国する機会に、神秘的なアラブ音楽と情熱的なベリーダンス公演（群馬県玉村町、富山市、東京都）を実施
34	スペイン×日本クリエイターの対話	日本	セルバンテス文化センター東京	2010.09.01	「ともに育む文化」をテーマに、建築、コミック・マンガ、文学に関する講演会を開催。建築：隈研吾（建築家）、マヌエル・ブランコ（BLANCO, Manuel：マドリッド建築工科大学教授）、コミック・マンガ：里中満智子（漫画家）、パコ・ロカ（ROCA, Paco：マルチクリエイター）、文学：大江健三郎（作家）、ハビエル・サルカス（CERCAS, Javier：ジローナ大学）による対談を実施
35	吉左衛門X LOUBIGNACの空の下で 楽吉左衛門フランスでの作陶ーアンドッシュ・ブローデルとともに	日本	公益財団法人佐川美術館	2010.09.04 ~ 2011.03.21	2007年以降、4年間にわたり楽吉左衛門がフランスで作陶した作品の中から茶碗を中心に、同氏の友人であるアンドッシュ・ブローデル（PRAUDEL, Andoche：陶芸家）の作品と共に展覧
36	全国日本語学校対抗「日本検定クイズ大会」	日本	日本検定クイズ大会実行委員会	2010.09.10	外国人留学生の日本文化理解を深める目的で、日本の文化や社会に関する知識を「日本検定」というクイズ形式にして競い合う催し。本年度は全国の日本語学校32校で学ぶ64名が会場、来場者数は680名。国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催
37	あーすフェスタかながわ 2010	日本	あーすフェスタかながわ 2010 実行委員会	2010.09.11 ~ 2010.09.12	地域社会と在住外国籍県民がより交流を深め、相互の協力関係を作り上げていく機会として、在住外国籍県民やNGO等が企画・協力して公演やワークショップ等を行い、参加者が「多文化共生」や「国際理解」について共に考え、語り、楽しむ催しを開催
38	「作家歴50周年記念」豊田豊展 「ブラジルの大地と不可視の世界」	日本	天童市美術館	2010.09.11 ~ 2010.10.11	山形県天童市出身、ブラジル在住豊田豊（造形アーティスト／環境美術家）の作品展。1958年に渡航して以来、ブラジルの広い大地に魅せられその空間を表現しようとし続けている彼の作品を通じて、彼が50年間追求してきた不可視の世界をふるさと天童市で紹介
39	第32回ぎふアジア映画祭・グットシアター2010	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2010.09.11 ~ 2010.12.26	「ぎふアジア映画祭」は、アジア各国の映画を上映し、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジアの文化に対する理解を深める場とすることを目的としたもの。また「グットシアター2010」は、アジア以外の様々な国の優れた作品を上映し幅広い年齢層に対して鑑賞の機会を提供する催し
40	SWISS WEEK — ショパン生誕200年記念公演	日本	若手音楽家育成アヤマメ基金	2010.09.18 ~ 2010.10.02	バーゼル音楽院の卒業生、在學生を中心に広く世界から若い音楽家を発掘し、育成するための支援活動。また日本、スイス、その他の国の若手音楽家が共演する機会を提供することを通じて関係国の文化交流促進に寄与する。本年度は、ショパン生誕200周年を記念し、二宮町、名古屋市、川崎市、長崎市、宝塚市、広島市、京都、富山市でコンサートを開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
41	「中秋月・中秋楽」交流会	日本	東京大学中国留学生学友会	2010.09.19	在日留学生と日本人学生との交流と親睦を深めるため、中秋節をテーマに立食パーティ他、演芸などを行う交流会を実施
42	丹波の森国際音楽祭 シューベルティアードたんば 2010	日本	丹波の森国際音楽祭シューベル ティアードたんば実行委員会	2010.09.25 ～ 2010.11.13	国境を越えた視野と草の根の視点から、シューベルトの音楽を通じた地域交流・国際交流の一層の推進を図るため、文化施設を始め市内各所でコンサートを行う音楽祭を開催。 本年度は、「丹波の森の音あそび」をテーマに、スウェーデンとの友好を深め、また地域おこしに取り組む兵庫県内の他市町との交流を深める音楽企画を実施
43	第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)	日本、アジア 地域区分困 難、米国、フ ランス	特定非営利活動法人アジア太平 洋子ども会議・イン福岡	2010.10.01 ～ 2011.09.30	アジア太平洋諸国・地域の子供たちが交流体験を通してお互いの国や地域、文化について考える機会を提供し、相互理解を促進、異文化体験を通じて、国際感覚あふれる青少年を育成する事業。 【派遣事業】では春休み期間中に、日本の子供たちを海外（モンゴル、インドネシア、シンガポール、スリランカ、モルディブ、ハワイ、ニューカレドニア）に派遣し、現地でのホームステイや学校訪問などを通じて生活文化を直に体験させ 【招へい事業】は、夏休み期間中に、アジア太平洋地域から「子ども大使」を招へいし、福岡でホームステイや交流キャンプ等を行うことで、海外の子供たちに日本に対する理解を深めてもらうと同時に、未来を担う子供たちにアジア太平洋の文化の多様性と異文化理解の大切さを実感させることを目的として実施
44	第34回福澤杯争奪全日本学生 英語弁論大会	日本	慶應義塾大学英語會第34回福澤 杯実行委員会	2010.10.09	大学生の将来的な国際社会での活躍を視野に入れ、英語によるコミュニケーション能力の向上を目的に開催する、大学生を対象とした全国規模の英語弁論大会。事前に考えてきたテーマで行う7分間のスピーチと、その場で与えられたテーマについて4分間で行うスピーチの2種類の結果により優勝者を決定
45	第97回日本エスペラント大会	日本	財団法人日本エスペラント学会	2010.10.09 ～ 2010.10.11	一つの言葉による対等な国際（民族）交流を目指し、国際共通語エスペラントの実践者である日本のエスペランティストが年に一度集まり、過去、現在、未来の活動について討論し、交流・親睦を深める催し。また在住外国人を含む国内・外からの外国人の参加者も交え、国際交流、地域との交流に努めた。参加者191名（海外5カ国から9名の外国人が参加）
46	第22回留学生秋のスポーツ フェア	日本	特定非営利活動法人留学生 スポーツ交流協会	2010.10.11 ～ 2010.11.28	日本に滞在中の外国人留学生と日本人青年・学生が一堂に会しスポーツ等を通して交流することで、国際理解を深め、留学生の日本滞在を支援することを目的として実施
47	南砺の前衛書家7人展	日本	イセ文化基金	2010.10.18 ～ 2010.11.01	富山県南砺市の現代書家グループ「玄土社」所属の女流作家7名（時女信子、板橋輝美、大塚智子、上林三千代、嶋俣子、常川あさ子、高桑昌子）による作品約40点を展示。中国の書のスタイルを日本の美意識で洗練させ、前衛美術として表現

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
48	宇部市制施行90周年・野外彫刻展50周年記念 第24回UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）応募作品展	日本	宇部市	2010.10.18 ～ 2010.11.07	UBEビエンナーレは、宇部市で1961年から行われている野外彫刻展。現代彫刻家の登竜門として全国の彫刻家にも認知され、新進・新鋭彫刻家の発掘に大きく寄与している。現在では海外作家の応募も多数を占め、芸術における国際交流の役割も果たしている。海外38カ国からの応募も含め、本年度の応募作品総数は363件。「応募作品展」では、入選作品40点を含めて、一次審査に応募があった全ての模型作品を展覧会形式で展示し、県民・市民に対して広く彫刻鑑賞の機会を提供
49	FISB第24回世界スピードボール選手権 2010 日本大会	日本	特定非営利活動法人日本スピードボール協会	2010.10.19 ～ 2010.10.22	国際的な普及が進むラケットスポーツ競技「スピードボール」の24回目の世界選手権大会及び世界ジュニア選手権大会を通じた市民・青少年の国際交流。本年は日本で開催。選手、日本人ボランティア、在日外国人ボランティア、地域住民との交流を推進し、生涯スポーツとしての普及を通じて様々な人々の健康増進に寄与
50	第51回海外日系人大会	日本	財団法人海外日系人協会	2010.10.20 ～ 2010.10.22	海外在住日系人が母国で一堂に会して居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図る。「日系人の生きる道—海外日系社会のさらなる発展を目指して」を総合テーマに、「日本語教育と日本文化」「在日日系人」「日系ユース」「重国籍、在外選挙、年金」の4つの分科会に分かれて討議。本年度は、24カ国から163名が参加
51	日独国際シンポジウム「ライフコース選択の臨界点：生き方はどこまで自由に選べるのか？」	日本	ドイツ日本研究所	2010.10.22 ～ 2010.10.23	戦後「標準化」した一定のライフコースの近年における変化について、日本とドイツ両国民の生き方の変化に着目し、国際的な視点を交えて多角的に考察する日独国際シンポジウム。明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンターとの共催事業。日・独・米・香港を拠点に活動する研究者が集い、日独社会における個人の生き方の変容を、願望、社会規範、現在の社会状況等との関連から検討
52	ワールド・コラボ・フェスタ 2010	日本	ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会	2010.10.23 ～ 2010.10.24	持続可能な社会の実現に向け、中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げるために、市民、NGO、NPO、企業、行政が協力し「学び、考え、行動する場」を設けることを目的に、世界各国の歌や踊り、トークイベントや異文化理解・多文化共生などに関するブースの出展などを行う。本年度は特に、持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議が名古屋で開催されるため、環境・貧困・人権・平和などの課題について学ぶきっかけ作りを意図とする。政府関係機関、地方自治体、企業、国際協力・交流団体など延べ104団体が参加。来場者数は、約93,000名
53	第11回NHKアジア・フィルム・フェスティバル	日本	日本放送協会	2010.10.23 ～ 2010.10.27	アジア各国の新進気鋭の監督による最新映画から、優れた作品を精選し、視聴者が各国の文化や歴史について理解を深められるよう識者の解説も交えつつ上映。アジアの映像文化の振興に寄与することを目的とした映画祭

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
54	第23回東京国際映画祭	日本	公益財団法人ユニジャパン	2010.10.23 ~ 2010.10.31	国際映画製作者連盟 (Fédération Internationale des Associations de Producteurs de Films : FIAPF) 公認のアジア地区最大規模の国際映画祭。映像コンテンツ分野における国際交流の促進や次代の映画祭を担う才能の発掘と育成及び日本の映画・映像産業の振興と世界市場へ向けてのプレゼンスの発信等々を目的として、毎年度開催。「コンペティション」部門、「アジアの風」部門、「日本映画・ある視点」部門、「特別招待作品」部門等の上映企画に加えて、会期中には経済産業省主催の映像コンテンツ・マーケットが併設され、また映画・映像に関連したセミナーやシンポジウムも実施
55	第8回大垣国際招待ポスター展	日本	日本国際ポスター美術館	2010.10.23 ~ 2010.12.22	日本国際ポスター美術館は1985年よりアメリカ・フランス・ポーランドをはじめ旧ソ連や中国等のポスター展を開催してきた。また、隔年で世界で活躍中のアーティストに近年の出品を依頼し、一挙展示し、ポスター芸術を通じて世界の今を紹介してきた。本年は、世界19カ国から66名の招待者及び236点の作品を展示
56	平成22年度日本語教育能力検定試験	日本	財団法人日本国際教育支援協会	2010.10.24	日本語教員となるために学習している者、日本語教師として教育に携わっている者等を対象に、その知識及び能力が日本語教育の専門家として必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定
57	「障害者週間」東欧音楽家支援国際親善交流特別演奏会	日本	日本音楽文化交流協会	2010.10.25 ~ 2011.03.30	毎年世界各国の演奏家を日本に招へいし、国際親善交流を目指し、お互いの文化の発展向上を目標に演奏会を開催。また、文化の振興を図り、社会貢献の一環として、日頃、演奏会を楽しむ機会の少ない視覚障害者や身体障害者、ボランティア団体・母子家庭・養護施設の子供たち、高齢者を招待し、健常者と共に一流の音楽を堪能してもらう機会を提供
58	第12回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2010.10.26	日本語の普及、日本語学校卒業後の進路紹介、国際交流及び日本理解の場を提供することを目的とし、大学・専門学校紹介のブース・企業ブース・各国文化紹介のブース等を設営し、国際交流の集いを開催
59	クロスロード2010	日本	クロスロード・プロジェクト	2010.10.30	林光 (作曲家) の作品『パリ1923』(ギター、フルート、歌)を中心に、大杉栄を初め1920年代前後のフランスと日本で活躍した人々の言葉と音楽を重ね、当時を浮かび上がらせることによって、現代を見つめ、未来へつなげるコンサートを実施
60	第9回全養協フォーラム「日本語教師の多様化と求められる専門性・資格」	日本	一般社団法人全国日本語教師養成協議会	2010.10.30	日本語学習者の多様化に伴い、日本語教師には、更なる柔軟性が求められている。今回のフォーラムでは、ビジネス日本語教育・年少者教育・進学予備教育・生活者への日本語教育支援、また技能実習生への日本語教育といった現場では、どのような教師が求められているのか、期待されている専門性は何か、そして日本語教師の資格はどうあるべきかをテーマとして、掘り下げる場とした

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
61	日英交流の絆	日本	日英博覧会100年記念実行委員会	2010. 10. 30	日英博覧会100年記念行事の一環として、ロンドンで記念シンポジウム、セミナー、写真展、日英博覧会日本庭園の修復、祭典等を実施。併せて、東京においても公開シンポジウムを開催し、日英博覧会の経験とその意味について考える機会を提供。都築忠七（一橋大学名誉教授）が基調講演「100年前の日本と英国：その時代的背景」を行った他、以下の6名の専門家が講演 イアン・ニッシュ（ロンドン大学名誉教授）「日英博覧会与通商関係」、堀田綾子（歴史家）「外交目的としての日英博覧会」、杉山伸也（慶應義塾大学）「日英博覧会の経済的背景」、ピーター・オコーノ（武蔵野大学）「日英博覧会 とメディア」、渡辺俊夫（ロンドン芸術大学）「1910年における日英美術と日英博覧会」、林みちこ（ポーラ美術館）「日本側の古美術品、近代美術（絵画）」
62	第12回京都東山文化振興会「蓮如の里文化公演」	日本	財団法人本願寺維持財団	2010. 10. 30	蓮如上人によって育まれた伝統文化が受け継がれてきたあわら市において、参加者を広く全国から募り、地元を題材にした狂言とその解説講座、邦楽コンサートを実施。北陸の文化を全国に発信し、また日本文化の発展にも資することを目的とする近隣の企業、宿泊施設等で就業する外国人従業者、研修生等（中国人、日系ブラジル人を中心に250名が就業中）に本公演を周知し、日本の伝統文化の海外への紹介・発信を図った
63	第17回大阪ヨーロッパ映画祭	日本	大阪ヨーロッパ映画祭実行委員会	2010. 10. 30 ～ 2010. 11. 23	日本とヨーロッパの相互理解促進及び地域の国際文化交流発展へ寄与することを目的に開催、日本においてヨーロッパ映画を紹介する重要な場としての地位を築くことを目指す。本年度のメインイベントは、11月18日（木）～23日（火・祝）の6日間に亘って開催されるヨーロッパ最新映画の初上映、日本・ポルトガル修好150周年記念ポルトガル映画特集、「甘い生活」特別企画特集、キンダーフィルム特集
64	韓国伝統音楽・舞踊「サルプリ」公演	日本	韓国伝統音楽・舞踊「サルプリ」公演実行委員会	2010. 11. 05	日韓両国の相互理解を深めることを願い、韓国の伝統音楽・舞踊公演「サルプリ」を実施。韓国より金清満（準人間文化財）を含む6名の演奏家を招き、在日の舞踊家、演奏家を交えて公演
65	第36回全国語学教育学会年次国際大会	日本	特定非営利活動法人全国語学教育学会	2010. 11. 19 ～ 2010. 11. 22	第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践を様々な角度から大会参加者と共に考える。語学教育専門家を招へいし、大会テーマ「Creativity — Think Outside the Box—創造力：既成概念に捉われずに考える」に沿った基調講演、500を超える講演、研究発表やパネルディスカッションが行われた。参加者数1,788名（国内1,676名、国外112名）
66	第27回全国中学高校教員による英語弁論大会	日本	財団法人国際教育振興会	2010. 11. 21	近年、日本の国際化の推進及び英語教育方法の再検討が求められ、小学校での英語教育導入、高校での英語授業に英語を使用するなどの新方針が確定されている。このような状況下、指導力の増強が更に求められる現職英語教員に、英語で発信する公開の場を提供し、教育現場での英語教育実技向上に資することを目的に実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
67	第6回 JUCTe国際教育シンポジウム	日本	日本国際教育大学連合 (Japanese University Consortium for Transnational-education :JUCTe)	2010. 11. 23	マレーシア高等教育借款事業 (HELP) の歴史を振り返り、その意義を評価し、産学の連携が更に重要になる今後10年の高等教育を展望する国際シンポジウムを開催
68	第13回京都国際学生映画祭 (KISFVF 2010)	日本	公益財団法人大学コンソーシアム京都	2010. 11. 27 ~ 2010. 12. 04	京都国際学生映画祭は、京都周辺の学生が主体となって行う日本最大の国際学生映画祭。国内外の学生映画を募集・審査し、入選作品を上映。また、国内外から入選した学生監督や、プロとして活躍している専門家を招き、国際的な映画製作の交流の場を提供。最終審査員は相内啓司 (映像・造形作家/京都精華大学教授)、安藤モモ子 (映画監督/脚本家)。コンペティション (11.27~12.03)、特別企画・連携企画 (12.04) 授賞式を実施
69	第5回中国語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2010. 11. 28	中国語教育の促進、中国語文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会として開催。参加者は、日本全国の中国語教育を行っている高等学校・大学や一般から広く募集し、高校生の部、大学生を含む一般の部の二部構成で実施。それぞれの部門で最優秀賞、優秀賞などを表彰
70	中国語作文コンクール	日本	特定非営利活動法人立命館孔子学院	2010. 11. 28	立命館孔子学院創設5周年を記念した「中国語作文コンクール」。中国語教育の促進、中国文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会として開催。これにより中国語学習者の持続的な努力を励まし、中国語運用能力の一層の向上を期待
71	文学賞「第六回親鸞賞」第2部記念行事	日本	財団法人本願寺維持財団	2010. 12. 06	日本の精神文化・伝統文化を宗教、文学、思想、哲学、芸術などの面から多角的に論じて、その興隆を期すとともに、混迷の世界情勢にこそ求められる日本の文化を、宗教・芸術・文化の「首都」である京都から世界へ伝えるべく、関西在住の外国人研究者等を招待し、シンポジウムを実施
72	日本 - インドネシア服飾交流展	日本	日本 - インドネシア服飾文化協会	2010. 12. 13 ~ 2010. 12. 18	日本とインドネシアの伝統服飾の展示による紹介及び両国民の友好親善を増進。服飾の展示、講演、ファッションショー、舞踏等を実施
73	「平和を願って」植えられたボスニア・ヘルツェゴビナの桜	日本	イピル・イピルの会	2010. 12. 21 ~ 2011. 01. 09	三民族の平和的な共存を願い「平和のシンボル」として寄贈した桜の様子、イピル・イピルの会派遣の専門家による育成管理の指導の様子、現地の人達との交流の様子を写真を通して伝える。また、ボスニア・ヘルツェゴビナの物品の展示、駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ大使の講演などを実施
74	Study Trip from Singapore to Japan 2010	日本	The Asian Law Students' Association Japan	2010. 12. 22 ~ 2010. 12. 28	The Asian Law Students' Association Japanは地域的協調にもとづく平和で公平な社会の実現という理念の下、アジア各国の法学生同士の交流を実施。今回は日本とシンガポール両国で法を学ぶ若者たちが、共通する問題 (少子高齢化、臓器移植法、移民) に対してテーブル・ディスカッションと模擬裁判 (中央大学法科大学院模擬法廷を使い、日本vs. シンガポールで模擬裁判) 見学 (都内のクリスマスイルミネーションを廻り、日本のクリスマスの様子を紹介) 等を実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
75	第32回国際学生シンポジウム	日本	第32回国際学生シンポジウム運営委員会	2010. 12. 25 ～ 2010. 12. 27	全国から集まった約260名の学生(運営委員を含む)が、2泊3日の間、6つの分科会に分かれてディスカッションを行い、最終日に各分科会ごとに成果を報告 日本経済：AMBITIOUS JAPAN～「失われた20年」から「これからの20年」へ～、教育：～社会の道を作るもの～、日本社会：～これからの『労働』の話しよう～、開発：～What do we must think about?～、日本政治：government of the people, by the people, for the people、安全保障：～“State flagged actors”～自明性をreflexiveに問い直す～の5つのテーマを扱う
76	兵庫県国際交流協会設立20周年記念シンポジウム	日本	公益財団法人兵庫県交際交流協会	2011. 02. 15	協会設立20周年を記念し、有識者による基調講演、パネルディスカッションを通じて、県民とともに兵庫・神戸の地を、アジアに生きる地球市民の視点から見つめ、新しい時代の社会デザインについて考察を深めるとともに、多文化共生社会への道筋を模索 [基調講演] 「地球市民社会に生きるとは」姜尚中（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授） [パネルディスカッション] 「兵庫・神戸からアジアの多文化共生社会を考える～アジア多文化共生社会への道筋(ロードマップ)～」 コーディネーター：竹沢泰子（京都大学人文科学研究所教授） パネリスト：姜尚中（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）、ネルケ無方（曹洞宗安泰寺住職/ドイツ人僧侶）、エドワード須本（ミックスルーツ関西代表）
77	第7回日本語学校合同スピーチ大会	日本	第7回日本語学校合同スピーチ大会実行委員会	2011. 02. 18	「日本語」を学ぶ外国人留学生在が主体となり、スピーチ大会を実施。本年は、都内の日本語学校7校の代表13名が出場。「日本語」に関心のある人々や広く一般の人々にも新たな魅力を伝え、日本語ブーム再到来の機会となることを期待すると共に日本語学校が合同でイベントを実施することにより、学校側の交流と連帯意識を促進し、更に国際人として留学生の活躍を囑望する各方面へのアプローチを図る
78	日本×カナダ 共同制作公演 Susuriwka ～ willow bridge ～	日本	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団	2011. 02. 19 ～ 2011. 02. 20	ダンスカンパニー「カハーウィ・ダンスシアター」を率い、先住民族の精神性を舞台芸術で表現するカナダ先住民出身の振付家サンティー・スミス(SMITH, Santee: 演出・振付)とアイヌ民族出身の音楽家で、樺太アイヌに伝わる弦楽器・トンコリを中心とした斬新なサウンド作りで世界を驚かせたOKI(音楽監督・作曲)が新しいコンテンポラリーダンスを創作、初演
79	第26回北方圏国際シンポジウム 「オホーツク海と流氷」	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2011. 02. 20 ～ 2011. 02. 25	流氷と氷海に関わりを持つ、全ての分野の研究技術情報の交換や、海洋環境の保全を目的とした研究発表、オホーツク海に接する北方民族文化に焦点をあて、オホーツク海文化圏域における豊かで個性的な生活・文化の構築を目指す

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
80	第10回国際文化交流シンポジウム	日本	財団法人国際文化交流事業財団(JICEF)	2011.02.27	国際文化交流の推進、世界平和の実現を目指す国際文化交流シンポジウムを開催。 フルブライト奨学金で来日中のTimothy Unverzagt Goddardが、国際文化交流シンポジウムに参加。第10回目は「文化交流による平和世界の建設」というタイトルのもと、米国、中国、ロシアの留学生と共に「明るい未来を創るために私たちが出来ること」というテーマでディスカッションを実施
81	アース・ビジョン 第19回地球環境映像祭	日本	アース・ビジョン組織委員会	2011.03.04 ~ 2011.03.06	1992年にアジアで初めての国際環境映像祭「アース・ビジョン第1回地球環境映像祭」を開催。以来、環境映像の普及と制作者たちの作品発表の場の提供、交流・支援を目的として、アジア・オセアニア・ポリネシア地域の作品を公募し上映。第14回映像祭より、新たに「子どものための環境映像部門」を設け全世界に門戸を広げ作品を募集し、優れた作品を紹介。新しい部門の設立は、環境映像を通して、次世代を担う子ども、若者が、地球環境、世界各地の社会、文化に触れ、視野を広げることを狙ったもの
82	国際シンポジウム「日本研究における内外の視点」	日本	西尾市岩瀬文庫（西尾市教育委員会文化振興課）	2011.03.04 ~ 2011.03.06	海外に存在する日本に関する文化資源（美術品、文化資料、芸能など）を対象とする国際研究、もしくは「日本」を対象として行う海外の研究者との共同研究の成果を、一般に向けて広くわかりやすく紹介する市民講座を開催。 【03.04 名古屋大学 全学教育棟北棟406】フランス国立図書館写本室蔵『酒飯論絵巻』について／ヴェロニク・ベランジェ（フランス国立図書館）他【03.05 西尾市岩瀬文庫 地階研修ホール】書き直された古典～『枕草子』を中心に～／ゲルガナ・イワノワ（ブリティッシュ・コロンビア大学）他、 【03.06 西尾市岩瀬文庫 地階研修ホール】阿仏尼の人生と作品から読み取られる中世女性の姿／クリスティーナ・ラフィン（ブリティッシュ・コロンビア大学）他
83	第3回SWISS WEEK—チェンバロ2台とバロックチェロのコンサート	日本	若手音楽家育成アヤマ基金	2011.03.19 ~ 2011.03.27	バーゼル音楽院の卒業生3名のTrio Adrianoが、2台のチェンバロとバロックチェロを使用し、J.S.バッハ、ハイドン、ヴィヴァルディ等の作品を演奏。また、若手音楽家と公演を支えるボランティアが進行を担当することにより、国際交流の場をつくることに努め、同時にコンサートの活性化を図った
84	特別展「池田理代子 ベルサイユのバラ原画展」	日本	京都精華大学	2011.03.19 ~ 2011.05.08	国際観光都市・京都にあって、とりわけ海外からの入館者の多いマンガミュージアムを舞台に、マンガ原画を鑑賞する貴重な機会を提供するとともに、日本マンガの展覧会を通してマンガ文化をより多くの外国人に理解してもらう機会を創出。前年度、ルーブル美術館との共同主催の「バンド・デシネ」展覧会開催に続き、フランス革命を舞台にした『ベルサイユのばら』原画展（前期：03.19～04.12「薔薇の運命（さだめ）」約150点、後期：04.14～05.08「革命の嵐の中で」約150点）を開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
85	第7回クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま	日本	クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま実行委員会	2011.03.21 ~ 2011.03.30	本アカデミーは、フランス有数のリゾート地クールシュヴェールで毎年開催される世界各国有数の音楽家による「クールシュヴェール夏季音楽アカデミー」のカリキュラムに従って日本でマスタークラスを開催、国際的に活躍する音楽家の育成を目指すもの。ピアノとヴァイオリンの2つのマスタークラスを開設。受講生達は、世界でもトップクラスの講師陣からレッスンを受け、国際コンクールで優勝する等、輝かしい成果を収めている。期間中、レッスンの公開、アカデミー講師によるコンサート、市内外の音楽愛好家による「街角ふれあいコンサート」等を通じて、市民が音楽と触れ合うイベントも実施
86	ジャパンカルチャーセミナー in Vietnam HANOI	ベトナム	学校法人石川学園横浜デザイン学院	2011.03.27	日本文化に興味を持つハノイの若者に対して日本文化の情報（日本文化、漫画のベトナムでの浸透、各教育機関との連携、日本語教育の普及と体験）を提供。セミナーでは、漫画の描き方ワークショップ、J-POPや日本留学についての紹介等も実施
87	第7回エコプロダクツ国際展	インド	国際機関 アジア生産性機構 (Asian Productivity Organization:APO)	2011.02.10 ~ 2011.02.12	日本及びアジアにおける環境配慮型社会の形成を目指して、アジア各国企業の製品・サービスの循環配慮型への積極的な転換を求め、同時に消費者の意識改革に取り組むため、アジア域内の企業、NGO、一般市民の参加を得て、エコプロダクツ普及のための展示会や国際会議を開催。インド最大の機械・技術関連の統合見本市「国際エンジニアリング・技術フェア2011 (IETF2011)」との同時開催で、日本からは経済産業省・資源エネルギー庁再生エネルギー分野に特化したジャパンパビリオン（運営：ジェトロ）への出展を含め計41団体が出展、3日間で約2万5千人が来場
88	ジャパンフェスティバルージャパン・エヌ・ワイ・シー (Japan NYC)	米国	カーネギーホール	2010.12.14 ~ 2011.04.06	小澤征爾の監督により、ニューヨークで演奏される機会が少ない作曲家の作品の演奏を行い、その本質を聴衆に広く伝える。また、ホール外のイベントとして、日本の伝統文化（太鼓・禅画）と共に、村上隆・奈良美智（等）の最新文化を紹介
89	現代伊万里焼の昇華・プラチナ彩 山本一洋 作陶展	スペイン	株式会社セラ・ジャパン	2010.05.01 ~ 2010.07.31	山本一洋（陶芸家）の、純プラチナを用いた独特の伊万里焼をスペイン・バレンシア国立陶磁美術館に展示し、ジャポニズムの再現を目指す
90	ヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ2010	フランス	ヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ	2010.11.12	若手ヴァイオリニストに、舞台出演経験を積ませることを目的としてスタート。フランス・パリの名ホール、サル・ガポーのディレクター、マダム・フルニエからの開催要望に基づき、日本とフランスの若手ヴァイオリニスト達が競演することになった。郷古廉、滝千春、寺内詩織やフランスで活躍するスヴェトリン・ルセヴ（パリ国立高等音楽院教授）らが出演
91	第35回ジャパンウィーク 2010年 ボルトガル・ボルト	ポルトガル	財団法人国際親善協会	2010.11.20 ~ 2010.11.25	市民・地域レベルでの文化・スポーツをはじめ、多岐にわたる交流を通して日本と開催国間の友好親善、相互理解を促進し、更には両国の地域社会づくりに貢献することを目指し日本文化紹介事業を実施。日本全国及び現地から総勢48団体・920名が参加。「双方向の交流」をテーマに、オープニング・フェスティバル、劇場公演、展示・実演、交流プログラムを6日間にわたり開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
92	第24回国際交流祭 in ワルシャワ	ポーランド	株式会社NHK文化センター	2010.11.18 ~ 2010.11.22	国際相互理解と友好親善を目的に、民間による草の根の国際交流を図る。日本文化を紹介する展示・実演、音楽、舞踏などの舞台公演を開催し、さらに今回は「ショパンYear」を記念し、音楽関係者の講師・受講生とワルシャワ市民と音楽祭を開催し、友好の促進を図る
93	日本現代書トルコ・アンカラ展	トルコ	東洋書人連合	2010.10.11 ~ 2010.10.14	「日本の現代書を世界の芸術に」との理由で、会場などで席書揮毫のデモンストレーションや講演会を開き、国際文化交流と親善に努める。本年度は、トルコ・国立アンカラ大学にて開催
94	日本語教育 Eラーニングセミナー	ケニア	ケニア日本語教師会 (Japanese Language Teachers' Association-Kenya: JALTAK)	2010.11.29	ケニア在住の日本語教師（邦人・現地人教師）に対し、リソース・ツールとして、授業に利用してもらうために、自然会話、語用論を軸に、Eラーニングの様々な側面を紹介

調査研究及び情報提供事業等に必要経費

企画・評価費

1. 調査研究費

- (1) 調査研究
- (2) 事業評価 (企画評価)

企画・評価費

1. 調査研究費 / (1) 調査研究

国際交流の促進に資する各種調査研究を行い、成果を広く内外に公開する。

合計額 8,758,021 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	評価調査	韓国 タイ メキシコ イタリア	2010.04.12 ~ 2011.03.31	事業実施による成果を把握する評価手法開発のため、外部専門家の協力を得て社会調査等の手法を用いた調査を実施
2	理事長と有識者との対談	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本の文化交流のあり方、担い手、国際交流基金の役割等について、国際交流基金理事長が、国内の有識者にインタビューし、その内容を国際交流基金のウェブサイトで公開

企画・評価費

1. 調査研究費 / (2) 事業評価 (企画評価)

国際交流基金の業務及び事業について、評価を実施する。

合計額 1,317,078 円

	事業名	期間	事業内容
1	専門評価	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成21年度業務実績報告書の客観性と信頼性を高め、改善事項を把握するため、事業プログラムごとに外部専門家による評価を実施
2	評価に関する有識者委員会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際交流基金の業務について、各年度終了後に行う自己評価の妥当性、評価方針、方法ならびに評価結果を踏まえた基金の業務の改善について、有識者に諮るための委員会を開催

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費

文化事情調査費

1. 調査研究費

(1) 文化事情調査

文化事情調査費

1. 調査研究費 / (1) 文化事情調査

国際交流基金の総合的企画立案機能強化の一環として、相手国別に文化事情を調査し、また、当該国と日本との文化交流において基金が果たすべき役割等につき、方針を策定する。

合計額 4,624,236 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	日韓文化交流新5カ年計画策定についての懇談会	韓国	2010.10.13	日韓文化交流の中長期的な基本計画を策定するにあたり、有識者から専門的な意見を聴取するための会合を開催
2	中長期的ドイツ向け戦略のための懇談会	ドイツ	2010.11.30	中長期的なドイツ向け事業戦略を検討するにあたり、ドイツ事情に詳しい有識者からの専門的意見やアドバイスを聴取するための会合を開催

調査研究及び情報提供事業等に必要経費

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費
 - (1) 機関連携事業
 - (2) 調査研究

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (1) 機関連携事業

大学等の外部機関と連携して行う国際文化交流講座等の事業。

合計額 506,017 円

	事業名	共催機関	期間	事業内容
1	大学連携国際文化交流講座	上智大学	2010.04.13 ~ 2010.07.06	上智大学と連携して、同大学の春期公開講座のひとつとして国際文化交流講座「国際文化交流と現場からの発信—インターカルチュラル理解を求めて—」を開講（全12講義）。国際文化交流や国際協力が相互理解、異文化理解につながっていく事例を紹介し、それを理論的・实际的に精査することにより、新しいパラダイム「国際文化交流」の実践の道標を構築していく試みを紹介

国際文化交流研究センター事業費

1. 調査研究費 / (2) 調査研究

「平和のための文化イニシアティブ」、「国際文化交流機関の比較研究」等のテーマによる研究プロジェクト及び紀要の発行等。

合計額 12,212,787 円

	事業名	期間	事業内容
1	国際交流共同研究センター事業	2010.04.01 ~ 2011.03.31	青山学院大学と連携・協力して運営する「国際交流共同研究センター」において、「平和のための文化イニシアティブ」及び「国際文化交流機関の比較研究」をテーマに、シンポジウム、ランチタイム・セミナー等を開催。また、同センターの研究紀要 <i>Peace and Culture</i> 第3巻第1号を発行
2	国際文化交流政策情報収集	2010.04.01 ~ 2011.03.31	諸外国の広報・文化外交に関する報告書、文化関係機関の年報、政府や文化関係者による記者発表等を翻訳・情報収集し、国際文化交流の動向を調査。また、前年度にマドリード日本文化センターが設置されたスペインについて、スペイン在住の有識者に委託し『スペインのパブリック・ディプロマシー』に関する報告書を作成

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費

事業開発戦略室事業費

1. 催し等事業費

(1) 事業開発 (催し)

2. 文化資料事業費

(1) 事業開発 (文化資料)

事業開発戦略室事業費

1. 催し等事業費 / (1) 事業開発 (催し)

企業等と連携した新規事業及び従来の枠組みや発想にとらわれない部門横断型事業の開発と実施。

合計額 18,853,363 円

	事業名	実施国	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日韓学生パッケージデザイン交流	韓国 日本	ソウル 東京	日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト実行委員会 株式会社ロツテ 大日本印刷株式会社 社団法人日本パッケージデザイン協会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	企業とのマッチングファンド形式の開発型事業として、株式会社ロツテ、大日本印刷株式会社、日本パッケージデザイン協会の協力により「日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト」を日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト実行委員会と共催。コンテスト、デザインフォーラム、学生向けの研修を実施。またデザイン展「日韓学生パッケージデザインコンテスト優秀作品展」を東京(10.12.11~12.19)及びソウル(11.01.18~02.11)の2都市で開催。ソウルにおける同展の開催は、主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト(日韓新時代:未来へのコラボレーション)事業の一環として実施
2	商品開発事業	韓国 インドネシア シンガポール ベトナム オーストラリア カナダ 米国 ブラジル ドイツ ロシア トルコ	ソウル ジャカルタ シンガポール ハノイ シドニー トロント ニューヨーク サンパウロ ケルン モスクワ アンカラ		2010.04.01 ~ 2011.03.31	海外及び日本の学生応募作品による「JFオリジナルふるしき」デザイン展の開催。 ①「2010年トルコにおける日本年」記念事業の一環として「トルコ・日本の学生によるふるしきデザインコンテスト」を開催、優勝者の授賞式を実施したほか、 ②「第2回学生のための国際ふるしきデザインコンテスト」の開催、授賞式を実施
3	CSR連携事業	中国 ベトナム	北京 ハノイ	特定非営利活動法人パブリックリソースセンター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国、ベトナムにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査を実施
4	新宿区との連携事業(先駆的創造的事業)	日本	東京	みんなのおうち	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「大久保アートプロジェクト」の一部として佐藤博昭を講師に招き、新宿区在住の中・高校生を対象に映像制作ワークショップを実施

事業開発戦略室事業費

	事業名	実施国	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
5	中東欧における日本の伝統演劇講座(先駆的創造的事業)	ルーマニア	ブカレスト	公益社団法人国際演劇協会 (UNESCO-ITI) ポーランド・コカコーラ ポーランド文化省 ルーマニア文化会館 桐朋学園短期大学 在ルーマニア大使館	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	日本から善竹十郎(能・狂言・重要無形文化財総合指定保持者)、加賀谷早苗(現代舞踊)及び藤間藤三郎(日本舞踊・歌舞伎)などの講師を派遣し42日間計230時間にわたりルーマニア及びポーランドの若手・実力派俳優・演劇人等を対象に日本の能・狂言、現代舞踊、歌舞伎の3分野について集中研修を実施。最終日には受講生によるデモンストレーションも実施
6	日本のマンガ教室(実施準備)	—		京都国際マンガミュージアム	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	平成23年度事業として実施予定の「日本のマンガ教室」事業の実施準備。 世界各国で人気を博している日本のマンガを題材に1)マンガ家の指導による描き方教室、2)専門家による日本のマンガに関する講演会、3)マンガを利用した日本語教室の3種類の事業を通じて紹介することにより、海外における日本のマンガへの理解、ひいては日本理解を促進

事業開発戦略室事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 事業開発 (文化資料)

国際交流基金広報グッズの開発及び調査報告書等出版物の制作。

合計額 12,605,807 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	CSR連携事業	アジア地域区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	中国、ベトナムにおける日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書を作成。中国分については、『中国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書 [第3回調査]』(日本語版)として刊行
2	食文化紹介事業	欧州地域区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際文化会館との共催により2年間(2007.01~2009.01)に亘って実施した講演会シリーズ「料理でめぐるフランス文学散歩」を『名作から創るフランス料理』(2010.07.17発行:かまくら春秋社)として出版したほか、次年度実施予定の食文化紹介事業の準備を行った
3	商品開発事業	全世界区分困難	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「日本文化と海外文化を融合する発想のデザイン」をコンセプトに、日本及び海外公募によるデザインを基に、国際交流基金オリジナル広報グッズを作成し、各種事業の広報活動に利用した

在外事業に必要な経費

支部

1. 京都支部

海外拠点

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. マニラ日本文化センター
9. クアラルンプール日本文化センター
10. ニューデリー日本文化センター
11. シドニー日本文化センター
12. トロント日本文化センター
13. ニューヨーク日本文化センター
14. ロサンゼルス日本文化センター
15. メキシコ日本文化センター
16. サンパウロ日本文化センター
17. ロンドン日本文化センター
18. マドリード日本文化センター
19. ブダペスト日本文化センター
20. モスクワ日本文化センター
21. カイロ日本文化センター
22. ベトナム日本文化交流センター

京都支部

京都支部

合計額 13,177,048 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	トラディショナル・シアター・トレーニング 2010	京都市	大江能楽堂	京都芸術センター	2010.08.10	日本の伝統芸能を象徴する能、狂言、日本舞踊の習得を志して京都を訪れる海外の演劇専門家、日本研究者や学生を対象に、京都芸術センターが毎年夏に行う日本の伝統芸能集中講座。3週間の集中的な稽古・指導を受けた参加者たちが成果を市民に披露する発表会を、国際交流基金京都支部が同センターと共催
2	国際交流のタベ — 能と狂言の会	京都市	京都観世会館	国際交流基金 関西国際センター	2010.12.14	京都を始めとする関西地域に滞在中の外国人（国際交流基金フェロー、関西国際センター研修生、海外からの留学生、各国総領事館員等）に日本の伝統文化にふれる機会を提供し、日本研究と日本文化理解の深化を図ることを目的として毎年開催。1974年から実施し、平成22年度で37回目。演目は、狂言／茂山千五郎（大蔵流）『素袍落』、能／片山清司（観世流：2011.01.01片山九郎右衛門襲名）『船弁慶』。財団法人片山家能楽・京舞保存財団、社団法人京都観世会の協力を得た

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	国際交流基金フェローによる講演会（第1回）	京都市	立命館大学明学館	立命館大学 国際関係学部	2010.06.15	関西地域に在住し、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローによる講演会を開催。立命館大学との連携事業。同大学国際関係学部の授業に組み込む形でフェローのマリーナ・コバルチュク (KOVALCHUK, Marina Konstantinovna：ロシア／平成21年度フェロー／極東総合国立大学東洋学大学日本学部准教授)の研究成果を発表。講演テーマ「日清戦争期のロシアの新聞における日本観の特徴」
4	国際交流基金フェローによる講演会（第2回）	京都市	立命館大学 心館	立命館大学 国際平和ミュージアム	2010.06.16	立命館大学国際平和ミュージアム主催、立命館大学法学部及び国際交流基金京都支部共催で、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローのラン・ツウィゲンバーグ (ZWIGENBERG, Ran：イスラエル／平成21年度フェロー／ニューヨーク市立大学大学院博士課程)の公開講座を開催。講演テーマ「記憶と戦争：イスラエルと日本における戦後史比較」

京都支部

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	国際交流基金フェローによる講演会 (第3回)	京都市	立命館大学明 学館	立命館大学国 際関係学部	2010. 06. 22	主に関西地域に在住し、国際交流基金京都支部が受入れを担当する日本研究・知的交流フェローによる講演会を開催。立命館大学との連携事業。立命館大学国際関係学部の授業に組込む形でフェローの C. アンドリュウ・ガーストル(GERSTLE, C. Andrew : 英国/平成21年度フェロー/ロンドン大学教授)の研究成果を発表。講演テーマ「海外で『日本文化』を研究すること」

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	日本映画上映会	京都市	京都市国際交 流会館イベン トホール	財団法人京都 市国際交流協 会	2010. 08. 26 ~ 2010. 11. 12	国際交流基金フェロー等外国人の研究者や留学生を対象に、日本文化紹介映画、日本劇映画、アニメを計9回にわたって上映。参加者の日本文化理解を深め、ひいては、彼らの自国における日本研究、日本語教育等の振興に寄与することを目的として実施。京都国際マンガミュージアムの広報協力を得た 文化映画： 『利休の茶』『和菓子：その美と心』（10. 08. 26） 『京都御所』『桂離宮』『修学院離宮』（10. 10. 21） 『絵巻』『鳥獣戯画』（10. 11. 10） 劇映画： 『日本の黒い夏－冤罪－』（10. 08. 27） 『東京物語』（10. 10. 22） アニメ： 『おこんじょうるり』（10. 08. 28） 『太陽の王子ホルスの大冒険』（10. 10. 23） 『おんぼろフィルム』『ジャンピング』『展覧会の絵』（10. 11. 11） 『火の鳥2772・愛のコスモゾーン』（10. 11. 12）
7	英語字幕付き日本劇映画上映会	京都市	京都府国際セ ンター会議室	財団法人京都 府国際セン ター	2010. 09. 11 ~ 2010. 11. 26	国際交流基金フェロー及び京都在住の外国人留学生を対象に英語字幕付きの日本映画の上映会を開催。日本文化理解の深化を図ることを目的に、『羅生門』（10. 09. 11）、『宗方姉妹』（10. 10. 08）、『古都』（10. 11. 26）の計3回実施
8	外国語字幕付き日本劇映画上映会	大阪市	大阪国際交流 センター	財団法人大阪 国際交流セン ター	2011. 01. 01 ~ 2011. 03. 31	大阪市との連携事業。大阪在住の外国人留学生や在大阪各国総領事館の外交官、外国籍市民等を対象に、日本文化理解の促進を目的に日本の劇映画を外国語字幕付きで上映。『菊次郎の夏』（11. 01. 21）、『ピリケン』（11. 02. 18）、『めがね』（11. 03. 18）を上映

京都支部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	『国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部ニュースレター』の発行	2010.04.01 ～ 2011.03.31	京都支部の主要事業を紹介することを目的に、年4回発行。第4号（春）、第5号（夏）、第6号（秋）、第7号（冬）の各号を刊行

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本文化体験プログラム	京都市	龍村織物工房、京都市国際交流会館、有職菓子御調進所老松、月桂冠大倉記念館		2010.06.24 ～ 2010.10.27	国際交流基金フェロー等日本研究に取り組んでいる外国人が、日本文化を肌で感じることができる体験型プログラム。錦織物の工房訪問（龍村織物工房 8名：10.06.24）、和太鼓のレクチャーデモンストレーション（京都市国際交流会館イベントホール 27名：10.07.16）、和菓子の手作り体験（有職菓子御調進所老松 12名：10.10.14）や酒造りの工程見学（月桂冠大倉記念館 13名：10.10.27）など、京都ならではの伝統文化を実体験する機会を提供。龍村織物工房、株式会社太鼓センター、財団法人京都市国際交流協会、有職菓子御調進所老松、月桂冠大倉記念館の協力を得て実施
11	フェローの集い	京都市	京都市国際交流会館特別会議室	財団法人京都市国際交流協会	2011.03.04	京都をはじめ、関西、西日本地域で研究を行っている国際交流基金フェローが家族も含めて交流し、ネットワークを築く場を提供するための茶話会形式の懇談会を開催。フェローに限定せず、指導教官、フェロー受入れ機関等の関係者の参加も得て、交流の輪を広げることにもめざした事業

（2）助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
12	国際児童版画交流展2010・ポーランドと日本	版画京都展実行委員会	2010.06.08 ～ 2010.06.13	2000年発足の版画京都展実行委員会主催による、ポーランドと日本の児童の版画交流展に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。版画芸術への社会的理解をさらに広げると共に、作家のみならず、児童をも加えた国際親善を目的に実施。両国の児童（4～18才）の版画作品100点を京都市国際交流会館2階展示室にて展示
13	リン・デリック「パラレル・パースペクティヴ」	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2010.07.16 ～ 2010.07.31	「神戸ビエンナーレ2009」の参加作家であるリン・デリック（DERRICK, Lyn：アーティスト／オーストラリア）日本初の個展。立体作品及び平面作品20点を展示。オーストラリア東海岸の環境と作家の現地での生活を表現した作品を紹介する展覧会に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援

京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
14	Younger Artist 10th	特定非営利活動法人京都藝文化交流協会	2010. 08. 03 ～ 2010. 08. 29	関西に在る芸術系及び芸術コースを有する大学に在籍する、芸術創作活動を自己の生きる志にしようと望む学生たち9名（ヤンガーアーティスト）が自主的に企画実行する連合展に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。参加大学は京都市立芸術大学等4大学。2010年が第10回目の開催
15	第62回毎日書道展関西展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2010. 08. 07	日本を代表する書家の作品や関西の入賞・入選作品2,200点を展示する第62回毎日書道展関西展（10. 08. 04～08. 08京都市美術館で開催）において、8月7日に外国人を対象に、日本の伝統文化の一つである「書」を理解してもらうことを目的に作品解説及びワークショップを実施。同事業に対して国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
16	平成22年度NPO等との協働事業「クロアチア理解講座」	財団法人京都府国際センター	2010. 10. 10	近年旅行先として注目され始めたクロアチアについて、現状同国について日本では情報が少ないことから、文化人類学的視点から日本社会を調査研究しているイザ・カヴェジヤ（KAVEDZIJA, Iza：クロアチア／平成21年度国際交流基金フェロー／大阪大学博士課程）を講師に招き、クロアチアの現状を知り、より国際理解を深めるための講演会（講演テーマ「クロアチアの暮らし・日本の印象」）に対して、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
17	舞鶴国際芸術祭2011プレイベント	舞鶴国際芸術祭実行委員会	2010. 10. 10 ～ 2010. 10. 24	舞鶴北吸地区の国の重要文化財、赤煉瓦倉庫郡一帯、市内各地の景勝地などにアート展示会場を設置して、日本の作家に加え北東アジアの沿岸諸国出身作家等が参加する世界的芸術祭、舞鶴国際芸術祭2011のプレイベント。国際親善交流の促進と芸術文化の振興発展に寄与することを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
18	平成22年度京都国際文化協会エッセーコンテスト 《私の見た日本》	財団法人京都国際文化協会	2010. 11. 06	日本在住の日本語を母語としない人々から、日本やその文化、社会、習慣、人々との交流などについて、自らの文化との対比、あるいは経験に基づいたエッセーを、国際交流団体や大学、専門学校を通じて全国より募集。日本語の部18人、英語の部25人の応募あり。優秀作品の作者6名を京都に招き登壇発表とフォーラムを行って表彰し、一般参加者との交流を深めることを目的に実施。同事業に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援。入賞者は、ANTONELLI, Paola(イタリア)、LEE, Suji(韓国)、WANG, Jing(中国)
19	国際情勢講演会「日本の外交政策におけるロシアの意義」	財団法人京都府国際センター	2010. 11. 20	地域の国際化を巡る諸課題や海外事情、海外文化を知る機会が十分でない京都府北部において、世界情勢や国際関係についての講演会を開催することで、地域の国際化の促進と次代の国際社会を担う人材の育成を図ることを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 講師：谷内正太郎（元外務事務次官） 対談：木村汎（北海道大学名誉教授／国際日本文化センター名誉教授） コーディネーター：須藤真志（京都産業大学名誉教授）

京都支部

	事業名	主催機関	期間	事業内容
20	第26回毎日現代書関西代表作家展「国際交流デー」	財団法人毎日書道会関西支部	2011.01.13 ～ 2011.01.18	1986年創設、今回で第26回目の展示会。関西における書芸術の創造の場として、また新春を飾る書道展として発展。国内で最大規模を誇る「毎日書道展」で活躍する関西の代表的な書作家の力作294点と、毎日書道会顧問等の賛助作品24点を展示、書道振興に資する。開催期間中の1月15日を「国際交流デー」とし、外国人を対象に作品の解説を行い、また書道体験を通して国際交流を図ることを目的に実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援
21	書と非書の際展 Part : 8	特定非営利活動法人京都藝際交流協会	2011.02.04 ～ 2011.02.13	現代の書芸術を「書とは何なのか」「書と文字はどう関わるのか」「書家と画家の線・点はどう違うのか」等々、展覧会・シンポジウムを通して検証することを目的に2003年から企画開催。「書」と「非書」の際を探る中に新しい芸術誕生のヒントがひそんでいるのではないかと趣旨のもと、日本、中国、アイルランド、英国、フランスと東洋、西洋の視点から作家による検証・ワークショップを実施する事業に対し国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 11.01.15から01.30にまいづる知恵蔵（舞鶴市）にて開催された展覧会の巡回展
22	国際理解講座「魅惑のフランス」	財団法人京都府国際センター	2011.02.12 ～ 2011.03.05	国際化に関する分野の第一線で活躍している研究者や専門家などを招き、最新の世界情勢や地域の国際化等に関わる問題について分かり易く解説することを目的に実施する講演会に対し、国際交流基金京都支部の後援名義を付与して支援 ①「＜外交と文化＞日本の将来をになうソフトパワー」 (11.02.12) 講師：渡邊啓貴（東京外国語大学大学院教授） ②「フランスにおける日本・京都の魅力」(11.02.19) 講師：ジャン＝マリ・ブイソー（BOUISSOU, Jean-Marie : パリ政治学院国際関係研究センター研究ディレクター） ③「京都の伝統産業はフランスに受け入れられるのか？」 (11.02.26) 講師：村山裕三（同志社大学大学院教授） ④「ミシュランガイドの目指すもの」(11.03.05) 講師：森田哲史（日本ミシュランタイヤ社長室長） ⑤「フランスにおける日本料理の普及」(11.03.05) 講師：高橋拓児（日本料理アカデミー海外事業委員会副委員長）

海外拠点

ローマ日本文化会館

合計額 93,419,059 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	陶器・ガラス展	ローマ	ローマ日本文化会館	伊日財団	2010.03.15 ~ 2010.04.17	イタリア在住の日本人アーティスト2人展。ローマにて絵付け教室を運営する齋イコ (ITSUKI, Iko) の陶器作品と、ミラノを基点に数々の展覧会を開催している大木泉 (ガラス作家) の作品を展示
2	杭谷一東展	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ市	2010.05.25 ~ 2010.05.29	ローマ市が主催するイベント <i>Roma - The Road to Contemporary Art</i> にて、同時開催される、各国アカデミー・文化機関によるローマ現代美術展 <i>Accademie in Festa</i> への参加。フェスティバルの一会場として、ローマ日本文化会館で杭谷一東の大理石彫刻2作品を展示
3	ヴェネチア・ビエンナーレ建築関連展 <i>Uno Sguardo al Padiglione Giapponese</i>	ローマ	ローマ日本文化会館		2010.11.22 ~ 2010.12.28	第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館の展示を、主に展示風景を写した写真パネル及び展示の際に用いた映像等により再現した展覧会を開催
4	GIAPPONE900 第一部(版画)	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.01.21 ~ 2011.02.23	ローマ日本文化会館所蔵作品展を2部に分けて実施。第一部では棟方志功や草間弥生、李禹煥 (Lee U-Fan) などの版画作品26点を展示し、日本美術史において重要な役割を演じてきた作家の作品を紹介
	GIAPPONE900 第二部(陶器・絵画・その他)	ローマ	ローマ日本文化会館		2011.03.14 ~ 2011.05.02	ローマ日本文化会館所蔵作品展を2部に分けて実施。第二部では前田青邨や山口蓬春の日本画の大作から、加藤土師萌の陶芸の小品に至るまで、洋画、日本画、工芸の別を問わず日本美術史において重要な役割を演じてきた作家の作品を紹介

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	上妻宏光・塩谷哲AGA-SHIOコンサート	ローマ	ローマ日本文化会館		2010.05.31	日本を代表する若手三味線奏者の上妻宏光と実力派のピアニスト塩谷哲によるユニットAGA-SHIOのコンサートを開催。国際交流基金本部「公演(助成・海外公演[舞台芸術])」プログラムによる欧州巡回公演の一環として実施
6	牧野由依コンサート	ローマ	ライブハウス スタツィオーネ・ビッラ (Stazione Birra)	ROMICS	2010.06.19	アニメ界で声優、歌手として活躍する牧野由依のコンサートを開催。国際交流基金本部「公演(助成・海外公演[舞台芸術])」プログラムによりパリ日本文化会館と共同でアーティストを招へい。ローマでのコンサートはローマのアニメ・マンガイベント団体であるROMICSと共同で開催

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	サルガヴォ(Salle Gaveau)公演	ローマ	カーザ・デル・ジャズ (Casa del Jazz)	ローマ音楽財団 ローマ市	2010. 10. 05	プログレやジャズ、タンゴなど幅広い音楽を紡ぎ出すサルガヴォ(Salle Gaveau)は、リーダーである鬼怒無月(ギター)を筆頭に、喜多直毅(ヴァイオリン)、林正樹(ピアノ)、佐藤芳明(アコーディオン)、鳥越啓介(ベース)で構成されるクインテット。2008年夏にCasa del Jazzにて公演を行なった彼らが、ヨーロッパツアーで再びローマで公演(国際交流基金本部「公演(助成・海外公演〔舞台芸術〕)」プログラムによる事業)
8	琵琶公演	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 10. 12	中村鶴城(琵琶演奏家)による公演。古典のみならず作詞・作曲も積極的に行い、悲劇語りに偏向してきた弾き語りの世界に新しい題材を求める同氏の今回の公演では、古典曲『壇の浦』及び自らが作詞・作曲した『アッシジの聖フランチェスコ』を演奏。また会場で琵琶の解説と質疑応答を実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	アドリアーナ・ボスカロ教授退官記念出版シンポジウム	ヴェネチア ローマ	ヴェネチア大学「カ・フォスカリ」 Università “Ca’ Foscari” di Venezia ローマ大学「サピエンツァ」 “Sapienza” Università di Roma	ヴェネチア大学「カ・フォスカリ」 Università “Ca’ Foscari” di Venezia ローマ大学「サピエンツァ」 “Sapienza” Università di Roma	2010. 05. 13 2010. 06. 17	イタリアにおける日本研究の第一人者、アドリアーナ・ボスカロ(BOSCARO, Adriana:元ヴェネチア大学教授)の退官記念として出版された2冊の本の記念シンポジウム。 『日出る国、日本に関する論文(Un’isola in levante. Saggi sul Giappone in onore di Adriana Boscaro)』 『偉大なる老人と偉大なる伝統-谷崎潤一郎に関するエッセイ(The Grand Old Man and the Great Tradition. Essays on Tanizaki Jun’ichiro in Honor of Adriana Boscaro)』 ヴェネチアとローマの2都市で実施
10	歌舞伎レクチャー・デモンストレーション	ローマ	ローマ日本文化会館	松竹株式会社	2010. 06. 17	松竹大歌舞伎ローマ公演(10. 06. 21~22)で女形を演じる中村芝雀による歌舞伎に関する講演を、公演に先立ち実施。歌舞伎全般の解説に加え、鳴物・長唄の実演、同氏の門人による腰元への変化過程のデモンストレーション(化粧・着付け・髪付け)を披露
11	近代日本工芸 1900~1930	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 11. 19	松原龍一(京都国立近代美術館主任研究員)を講師に迎え、欧州美術界の潮流の影響を大きく受けつつ発展した20世紀初頭の日本工芸の諸相を紹介する講演会を実施。パリ日本文化会館の展示並びにシンポジウムの関連事業
12	妹島和世建築講演会	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 11. 22	第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展に日本人として、また女性初の総合ディレクターに就任した妹島和世(SANAA)を講師に迎え、同氏のプロジェクトを豊富な写真を交えながら紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	ビデオアート講演会	ローマ	ローマ日本文化会館	現代美術国際センター “Sala 1”	2010. 12. 06	ローマの現代美術国際センターSala 1が開催するビデオアート展VIDEOZOOM: JAPANの関連講演会。展覧会キュレーターである近藤健一（森美術館アシエイト・キュレーター）が、日本のビデオアートシーンを解説

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	新着映画上映会	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 04. 13 ~ 2010. 05. 11	ローマ・フィルムライブラリーに平成21年度購入分として購送された3作品『ALWAYS 続・三丁目の夕日』『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』『河童のクゥと夏休み』及び既存の所蔵作品『ALWAYS 三丁目の夕日』の計4作品を上映
15	「イゾラ・デル・ジャッポーネ」映画上映会	ローマ	ローマ市内ティベリーナ島特設会場	イゾラ・デル・チネマ ローマ市 在イタリア大使館 日本食レストラン海外普及推進機構 (JRO)	2010. 07. 06 ~ 2010. 07. 07	在イタリア大使館、イゾラ・デル・チネマ、ローマ市、ローマ日本文化会館ほかの共催により、ローマ市内中心部のティベリーナ島で日本紹介イベント「イゾラ・デル・ジャッポーネ」を実施。2日間にわたり、夏木マリ率いるバンド「ジビエ・ドゥ・マリ」コンサート、鹿児島伝統舞踊、オペラ『夕鶴』コンサート、映画上映等を実施。ローマ日本文化会館は映画を担当し、『ディア・ドクター』、『サマーウォーズ』の2作品を上映
16	「Nihon Eiga - 日本映画史 1970～2010」開幕上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	国境なき映画 (Cinema Senza Frontiere)	2010. 10. 14	映画愛好者団体「国境なき映画」(Cinema Senza Frontiere)による日本映画回顧企画の開幕上映会をローマ日本文化会館で実施。今村昌平(映画監督)の2作品を上映。『につぼん戦後史 マダムおんぼろの生活』(イタリア国営テレビ提供)、『ええじゃないか』(ローマ日本文化会館フィルムライブラリー所蔵)。全体の上映企画は2010年10月から2011年6月まで、24作品をローマ市内シネクラブにて上映
17	シネマ歌舞伎上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	ローマ国際映画祭 一般社団法人 ジャパン・イメージ・カウンセシル	2010. 11. 03 ~ 2010. 11. 04	ローマ国際映画祭の一環として、松竹株式会社製作のシネマ歌舞伎作品より、『京鹿子娘二人道成寺』『連獅子』の2作品をローマ日本文化会館にて上映。上映前には、ボナヴェントゥーラ・ルペルティ (RUPERTI, Bonaventura: ヴェネチア大学教授)による作品解説も実施
18	『おくりびと』上映会	ローマ	ローマ日本文化会館	トーキョーエヴィチーナ (Tokyoèvicina)	2011. 02. 15	2009年アカデミー賞外国映画部門賞、同年ウディネ・フェアーイースト映画祭観客賞受賞の『おくりびと』(滝田洋二郎)を上映。ローマを拠点に日伊文化交流促進を目的として発足した文化団体「トーキョーエヴィチーナ(Tokyoèvicina)」の創設記念プロジェクト

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
19	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>イタリアの日本研究図書館及びインフォメーション・センターとしての役割を担う。日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実を目指した。インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指した</p> <p>①蔵書資料合計： 35,767点 (内訳：日本語20,534冊、外国語13,498冊、視聴覚資料1,735点)</p> <p>②利用者数(年間)： 4,546名 ③貸出点数(年間)： 2,673点 ④レファレンス件数(年間)： 717件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
20	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>ローマ日本文化会館のウェブサイトを運営</p> <p>URL: http://www.jfroma.it/ アクセス件数(年間)：92,470件</p>
21	事業案内	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>ローマ日本文化会館の事業紹介リーフレット(事業案内)を年3回発行 発行部数：約3,800部</p>
22	年報出版	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>平成21年度のローマ日本文化会館事業を総括する年報 <i>Notiziario 2010</i> を作成 発行部数：800部</p>

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	くまもとアートポリス展	ローマ	ローマ日本文化会館		2010.05.18 ~ 2010.07.02	<p>1988年から現在に至るまで、新しい建築のコンセプトによる街づくり「くまもとアートポリス」事業を行ってきた熊本県。本展ではその代表作品を紹介すると共に、文化・建築による地域活性化、地域開発等の観点からも事業を紹介。 (国際交流基金本部「海外展(巡回展)」プログラムによる事業)</p>

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	キャラクター大国、ニッポン展	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 09. 27 ~ 2010. 11. 06	近年、世界規模で注目を集めている日本のアニメやマンガを中心としたサブカルチャーをとりあげ、「日本人とキャラクター」をテーマに、これまで日本社会でブームを引き起こした国民的キャラクターを画像やパネルで展示。それらキャラクターが日本社会に与えた影響を検証するとともに、キャラクターの世界を幅広く紹介。(国際交流基金本部「海外展(巡回展)」プログラムによる事業)
25	木村威夫関連映画特集	ローマ	ローマ日本文化会館		2010. 10. 19 ~ 2010. 12. 07	2010年3月に逝去した木村威夫(映画監督/美術監督)が携わった映画のうち、『雁』、『ツイゴイネルワイゼン』など8作品を回顧上映し、日本の映画美術を支えた第一人者の業績を紹介。(国際交流基金本部「海外日本映画祭(主催)」プログラムによる事業)
26	増村保造監督特集	ローマ	ローマ日本文化会館		2011. 01. 18 ~ 2011. 03. 10	ユニークな作風により戦後日本映画に独自の軌跡を残した増村保造(映画監督)の作品を計14作品上映。当初18作品上映予定のところ、東日本大震災の発生を受け切上げて終了。(国際交流基金本部「海外日本映画祭(主催)」プログラムによる事業)

(2) 助成・協力事業

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
27	写真展「瑞巖寺 禅僧の生活」	ローマ国立東洋美術館 (Museo Nazionale d'Arte Orientale "G. Tucci" di Roma)	2010. 04. 11 ~ 2010. 05. 09	ファビオ・マッシモ・フィオラヴァンティ (FIORAVANTI, Fabio Massimo: 写真家) による国宝瑞巖寺(宮城松島)の写真展をローマ国立東洋美術館で開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
28	コンサート「春の調べ」	文化協会「御飯」(Gohan)	2010. 04. 16 ~ 2010. 04. 17	日本とイタリアの合唱団によるジョイントコンサートを北部2都市(ティエーネ、ヴィチエンツァ)で開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
29	小寺真知子作品展	ヴェナンツォ・クロチェッティ財団 (Fondazione Venanzo Crocetti)	2010. 04. 22 ~ 2010. 05. 23	小寺真知子(彫刻家)の作品展をローマで開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
30	味覚の美学 和の芸術	伊日財団 (Fondazione Italia-Giappone)	2010. 04. 24 ~ 2010. 05. 02	写真や見本展示等を通じて日本の食文化を紹介する展覧会に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
31	山中千尋トリオ公演	MBマネージメント、フリーフロムジャズ・プロダクション (MB Management, FreefromJazz Production)	2010. 04. 29	山中千尋(ジャズピアニスト)率いるトリオのローマ公演に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
32	東海メールクワイアー公演	東海メールクワイアー (Tokai Male Choir)	2010. 05. 02	東海メールクワイアーによる合唱公演を聖チェチリア音楽院ホール (Conservatorio di Santa Cecilia) で実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与

海外拠点

	事業名	主催機関	期間	事業内容
33	日本のアーティスト3日間	チマミュージック・アルテドゥ カツィオーネ (CIMAMUSIC ARTEUCAZIONE)	2010.05.14 ~ 2010.05.16	日本のアーティストによる展示、公演のほか、盆栽、折り紙、居合等のデモンストレーションをカステルヌオーヴォ・ディ・ポルトにて実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
34	野点	文化協会 Ars Sculptoris、 文化協会「泉」	2010.05.23	カッラーラにおいて野点を実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
35	『AOI』公演	演劇学校「ペルミ・ドゥ・コン デュイール (Permis de Conduire)」	2010.05.25 ~ 2010.05.30	川村毅 (劇作家、演出家) による戯曲『AOI』の公演をローマで実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
36	『海辺のカフカ』公演	アルセナーレ劇場 (Teatro Arsenale)	2010.06.15 ~ 2010.06.27	村上春樹の小説『海辺のカフカ』の舞台化公演 (井田邦明演出) を文化協会アルセナーレ劇場 (Teatro Arsenale) がミラノの同名劇場で実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
37	第14回「生きている彫刻」国際シンポジウム	文化芸術協会アルトラルテ (altrArte)	2010.06.19 ~ 2010.06.26	サン・ベネデット・デル・トロントで開催される国際彫刻シンポジウムに秋山信茂など日本の彫刻家5名が参加する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
38	松竹大歌舞伎ローマ公演	松竹株式会社	2010.06.21 ~ 2010.06.22	十一代目市川海老蔵主演の『義経千本桜』公演をローマで実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
39	写真展「瑞巖寺 禅僧の生活」	キオッソーネ東洋美術館 (Museo d'Arte Orientale "Edoardo Chiossone")	2010.06.23 ~ 2010.10.31	ファビオ・マッシモ・フィオラヴァンティ (FIORAVANTI, Fabio Massio: 写真家) による瑞巖寺の写真展をジェノヴァで開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
40	吾妻兼治郎展	文化団体「ラ・スカレッタ」 (La Scaletta)	2010.06.26 ~ 2010.10.02	イタリアを拠点に長年活動を続ける吾妻兼治郎 (彫刻家) の作品展をマテーラで開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
41	ジャパン・フェスティバル	サン・ベネデット・デル・トロ ント市 (Comune di San Benedetto del Tronto)	2010.07.07	サン・ベネデット・デル・トロント市において日本祭りを実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
42	第3回国際盆栽会議	ゲンメ市 (Comune di Ghemme)	2010.09.03 ~ 2010.09.05	ゲンメ市において「第3回国際盆栽会議」を開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
43	第9回盆栽・水石国際大会	クレスピ・ボンサイ (Crespi Bonsai)	2010.09.10 ~ 2010.09.19	パラビアゴ市において、椎野健太郎 (盆栽作家) など日本からの専門家も招へいし盆栽及び水石の国際会合を開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与

海外拠点

	事業名	主催機関	期間	事業内容
44	森山大道 世界のヴィジョン	モデナ貯蓄銀行財団 (Fondazione Cassa di Risparmio di Modena)	2010. 09. 17 ~ 2010. 11. 14	森山大道 (写真家) の作品展をモデナにて開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
45	邦楽合奏団「華組」公演	文化協会「御飯」 (Gohan)	2010. 09. 18	ヴィチエンツァの市立劇場において、箏や尺八、三味線等で編成される邦楽合奏団が日本の伝統音楽を紹介するコンサートを開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
46	<i>Aetas Aurea</i> — 神話と舞踊	ナポリ国立考古学博物館 (Museo Archeologico Nazionale di Napoli)	2010. 09. 25 ~ 2010. 09. 26	笠井叡 (舞踏家) によるダンスパフォーマンスをナポリ国立考古学博物館にて実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
47	十月日本祭	イタリア・アフリカ東洋研究所 エミリア・ロマーニャ支部 (Istituto Italiano per l'Africa e l'Oriente - Sezione Emilia Romagna)	2010. 09. 25 ~ 2010. 11. 05	ラヴェンナ及びサンマリノにおいて、映画上映、展示、日本食紹介、武道デモンストレーション等の日本祭りを実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
48	<i>Nihon Eiga</i> — 日本映画史 1970~2010	文化協会「国境なき映画」 (Cinema Senza Frontiere)	2010. 10. 14 ~ 2011. 06. 22	70年代から近年までの日本映画25本を特集上映。オープニング上映会をローマ日本文化会館にて実施したほか、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
49	三遊亭竜楽 落語口演	ミラノ国立大学言語文化センター (Polo di mediazione linguistica e culturale dell'Università di Milano) 文化協会「いろは」 (Iroha)	2010. 10. 25 ~ 2010. 10. 27	三遊亭竜楽による落語口演をミラノ及びフィレンツェで開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
50	日本映画への招待	ローマ大学「サピエンツァ」東 洋学部 (Facoltà di Studi Orientali della "Sapienza" Università di Roma)	2010. 10. 29 ~ 2010. 10. 30	ローマ国際映画祭の関連事業として、「日本映画への招待」と題した会議を開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
51	「 <i>Ningyo</i> 日本人形」展	楊心流	2010. 11. 13 ~ 2010. 12. 19	トリノにおいて伝統日本人形展を実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
52	奈良時代研究会議	ミラノ・ピッコカ大学 (Università degli Studi di Milano - Bicocca)	2010. 11. 26	奈良遷都1300年を記念し、奈良時代をテーマとした学術会議を開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
53	第4回シチリア日本祭	シチリア・ジャッポーネ文化協会 (Associazione Culturale Sicilia Giappone)	2010. 11. 26 ~ 2010. 11. 28	生け花、書道、茶道、着付け等のデモンストレーションを含む日本祭りを開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与

海外拠点

	事業名	主催機関	期間	事業内容
54	合気道の教育プロセス：メカニズムと可能性	イタリア合気会 (Aikikai d' Italia)	2010. 11. 27 ~ 2010. 11. 28	児童を対象とする合気道指導者の養成に関する会議をローマにて開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
55	精神と記号：宗教と倫理の極東書道	文化協会「書道プリント」 (Shodo. it)	2010. 11. 30 ~ 2010. 12. 06	書道に関する展示、デモンストレーション、講演等をランプニャーノにて実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
56	レヴィ=ストロース日本講演集(Lezioni giapponesi) 出版発表	モリーゼ大学 (Università degli Studi di Molise)	2010. 12. 14	クロード・レヴィ=ストロース(社会人類学者、民族学者)が日本で行った講演集のイタリア語版出版発表会をカンボパツにて実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
57	クリスマス 歌の魔法	文化協会「イル・コッレ・イン・カンタート」 (Il colle incantato)	2010. 12. 18	日本とイタリアの伝統的な唱歌の公演に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
58	レヴィ=ストロース日本講演集(Lezioni giapponesi) 出版発表	モリーゼ大学 (Università degli Studi di Molise)	2011. 02. 25	クロード・レヴィ=ストロース(社会人類学者、民俗学者)が日本で行った講演集のイタリア語版出版発表会をローマにて実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
59	君こそ日本 雛祭り2011	文化協会「いろは」 (Iroha)	2011. 03. 03 ~ 2011. 03. 06	日本舞踊等のデモンストレーション、ワークショップ、日本の伝統家屋に関する講演などを雛祭りにちなみフィレンツェで開催する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
60	春の風 ヴィチェンツァの日本	文化協会「御飯」 (Gohan)	2011. 03. 18 ~ 2011. 03. 27	展示、公演、日本食紹介などの日本祭りをヴィチェンツァで実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
61	イタリアー日本 友情のコンサート	エムセック・インターナショナル (MCEC International)	2011. 03. 21	全日本選抜吹奏楽団「水のいのち」合唱団の公演をローマで実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与
62	日本とメディア報道	ミラノ国立大学現代言語文化学部 (Dipartimento di Lingue e Culture Contemporanee dell' Università degli Studi di Milano)	2011. 03. 31	東日本大震災に見舞われた日本の状況について、コラード・モルテーニ (MOLTENI, Corrado: ミラノ大学教授) など日伊計8名の研究者らによる講演・発表を実施する事業に対し、ローマ日本文化会館の後援名義を付与

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
63	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会 (Associazione Amici dell' Haiku) エンピリア出版 (Edizioni Empiria)	2010. 05. 28	イタリア俳句友の会 (Associazione Italiana Amici dell' Haiku) による第24回俳句賞授賞式に会場提供して協力。小・中学校からの団体表彰と個人表彰の2部構成。株式会社日本航空 (JAL) 協賛

海外拠点

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
64	フィルムフェスティバル <i>Identità</i>	非営利団体Learn To Be Free	2010. 07. 08	ベルチエート、パルマ、ローマで開催されるフィルムフェスティバル <i>Identità</i> において、ローマ日本文化会館所蔵の歌舞伎ドキュメンタリー作品を上映
65	第3千年紀の舞踊	アルテミス・ダンス (Artemis Danza)	2010. 12. 03 ~ 2010. 12. 11	「ありがとう！日本」と題し、ダンスパフォーマンスを中心に写真展、ビデオ上映などをパルマで開催。ローマ日本文化会館所蔵写真セット「大和の大仏」を展示

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	伊日研究学会 (AISTUGIA) 年次総会への協力	伊日研究学会 (Associazione Italiana per gli Studi Giapponesi : AISTUGIA)	2010. 09. 16 ~ 2010. 09. 18	イタリア唯一の日本研究学会である伊日研究学会 (AISTUGIA) の年次総会に対して、ローマ日本文化会館は学会開催経費の一部を負担して協力。真銅政宏 (近代日本文学：同志社大学文学部教授) が基調講演を、イタリアの主要日本研究者が発表を行った

海外拠点

ケルン日本文化会館

合計額 96,252,602 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	細江英公写真展「記憶の劇場」	ケルン	ケルン日本文化会館	エプソン・ドイツ (Epson Deutschland) エプソン・ヨーロッパ (Epson Europe) スタジオ・エキス (Studio Equis)	2010.03.19 ~ 2010.05.22	戦後の日本写真界を代表する写真家、細江英公の作品のうち「舞踏」に焦点を当てた3つのシリーズ、「鎌鼬 (かまいたち)」「胡蝶の夢」「春本・浮世絵うつし」をドイツで初めてまとめて紹介。日系企業との連携事業として、エプソン社のデジタル技術を活用したニュープリントを制作
2	水野克比古写真展「京都の庭園 — 四季のうつろい」1	パート・デュルクハイム	カトワール文化センター (Kulturzentrum Haus Catoir)	パート・デュルクハイム市 (Stadt Bad Duerkheim) ライン・ネッカー独日協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft Rhein-Neckar)	2010.04.11 ~ 2010.04.30	ケルン日本文化会館所蔵写真パネル『京都の庭園』の展覧会を開催。ラインラント・プファルツ州の小都市において開かれた「日本週間」事業の中心的事業のひとつとして実施
3	水野克比古写真展「京都の庭園 — 四季のうつろい」2	ザンクト・アウグスティン	ボン・ライン・ジーク高等専門学校 (Fachhochschule Bonn-Rhein-Sieg)	ジークブルク独日協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft Siegburg)	2010.05.18 ~ 2010.06.19	ケルン日本文化会館所蔵写真パネル『京都の庭園』の展覧会を開催。日本文化が紹介される機会が少ないラインラントの小都市において、日本の魅力を紹介
4	日独美術対話展「アンドレア・ヴェーバーと斉藤麗 — Somewhere déjà in Ponutschland」	ケルン	ケルン日本文化会館		2010.06.18 ~ 2010.07.30	日独の対話の促進を目指し、公募によって選ばれた両国の若手アーティストが共通のテーマで二人展を年2回開催。第1回目として、アンドレア・ヴェーバー (WEBER, Andrea: フランス在住ドイツ人作家) と斉藤麗 (オランダ在住日本人作家) の写真とインスタレーションを展示。どこかにありそうで存在しない不思議な場所を表現
5	水野克比古写真展「京都の庭園 — 四季のうつろい」3	ノルデン	ノルデン茶博物館 (TeeMuseum Norden)		2010.07.06 ~ 2010.10.15	ケルン日本文化会館所蔵写真パネル『京都の庭園』の展覧会を開催。四季折々の伝統的な日本の美を紹介する写真が多く、観客に好評を得た

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	水野克比古写真展「京都の庭園 — 四季のうつろい」4	バート・ゼツキング	ヴィラ・ベルベリッヒ文化館 (Kulturhaus Villa Berberich)	長井バートゼツキング友人協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft Freundeskreis Nagai-Bad Saeckingen)	2010. 10. 22 ~ 2010. 11. 14	ケルン日本文化会館所蔵写真パネル『京都の庭園』の展覧会を開催。開催期間中に桑野由紀(ヴァイオリン)、吉川久子(ピアノ)のコンサート、ペーター・アミ・ケメラー (KAEMMERER, Peter Ami : バーデン・ヴュルテンベルク州名誉日本総領事) による日独交流についての講演会、ウルリヒ・ハース (HAAS, Ulrich : 裏千家) による茶の湯レクチャーなども実施
7	日独美術対話展「range — 安藤由佳子とヴォルフガング・リュトゲンス」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン市文化局 (Kulturamt der Stadt Koeln)	2010. 12. 03 ~ 2011. 01. 28	日独の対話の促進を目指し、公募によって選ばれた両国の若手アーティストが共通のテーマで二人展を年2回開催。第2回目として、安藤由佳子(デュッセルドルフ在住日本人作家) とヴォルフガング・リュトゲンス (LUETTGENS, Wolfgang : ケルン在住ドイツ人作家) の作品を展示。日独交流150周年事業として実施
8	現代日本ブックデザイン展	ライプツィヒ	ライプツィヒ印刷美術博物館 (Museum fuer Druckkunst Leipzig)	ライプツィヒ印刷美術博物館 (Museum fuer Druckkunst Leipzig)	2011. 02. 03 ~ 2011. 04. 03	様々な出版分野から厳選された110冊の本を展示し、過去20年の日本のブックデザインの歩みと印刷・製本技術を紹介する特別展。寺本美奈子(印刷博物館) 監修。会期中は仮名書道レクチャー・デモンストレーション等の関連企画も実施。エディトリアル財団 (Stiftung Buchkunst)、ライプツィヒ日独協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft Leipzig in Sachsen)、印刷博物館(東京)、在ドイツ大使館が協力。日独交流150周年事業として実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	上妻宏光・塩谷哲 AGA-SHIOコンサート	ケルン	ケルン日本文化会館	株式会社日本航空 (JAL) トヨタ (Toyota Deutschland GmbH)	2010. 05. 28 ~ 2010. 05. 29	上妻宏光(三味線奏者)と塩谷哲(ピアニスト)によるユニットAGA-SHIOのヨーロッパツアー最初のコンサートを実施。日本の伝統楽器である津軽三味線と洋楽器ピアノの融合をテーマとしたこのユニットは共演をきっかけにスタート、新しい現代的なスタイルによる演奏を披露。デュッセルドルフの「日本デー」(10. 05. 29) にも出演
10	菊池奈緒子とカリン・レヴァインのコンサート	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会 (Koelner Gesellschaft fuer Neue Musik)	2010. 12. 10	フランクフルト在住の現代箏演奏家で、アンサンブル・モデルンで研修を受講中の菊池奈緒子と北ドイツ在住のカリン・レヴァイン (LEVINE, Carin : フルート奏者) のデュオによるコンサートを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	佐藤卓史ピアノコンサート	ダマスカス (シリア)	ダール・アル・アサド文化芸術劇場内ドラマ・シアター (Dar al-Assad for Culture and Arts, Drama Theater)	在シリア大使館 シリア文化省 (The Ministry of Culture, Syrian Arab Republic) ダール・アル・アサド文化芸術劇場 (Dar al-Assad for Culture and Arts)	2011. 3. 17	若手日本人ピアニスト、佐藤卓史をシリアへ派遣し、ピアノコンサートを開催。ピアノ用に編曲したアラブ人歌手フェイルーズ、日本人作曲家の楽曲等を演奏
12	日本のクラリネット—現代音楽作曲家の新作	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会 (Koelner Gesellschaft fuer Neue Musik) ドイツ放送 (Deutschlandfunk)	2011. 01. 21	ベアテ・ツェリンズキー (ZELINSKY, Beate) とデイヴィッド・スマイヤース (SMEYERS, David) のクラリネット・デュオによるコンサートを実施。エリオット・カーター (CARTER, Elliott)、湯浅譲二他、日米の現代音楽作曲家の新作を中心に紹介。日独交流150周年事業として実施
13	溝口健二『瀧の白糸』と望月京の現代音楽	ケルン ベルリン	ケルン日本文化会館 キノ・バビロン (Kino Babylon)	メルツムジーク (MaerzMusik) 在ドイツ・オランダ大使館 在ドイツ大使館 東京国立近代美術館フィルムセンター	2011. 03. 19 ~ 2011. 03. 22	無声映画『瀧の白糸』(溝口健二)と望月京(パリ在住作曲家)の現代音楽を組み合わせたコンサートをベルリンとケルンで実施。演奏はアムステルダムに本拠を置くニュー・アンサンブル。作曲家自身もコンサートに出席し、岡部真一郎(音楽評論家/明治学院大学教授)との対談を実施。日独交流150周年事業として実施

海外拠点

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	シンポジウム「日本の産業デザインの新展開」	ケルン	ケルン日本文化会館	ヴィトラ・デザイン美術館 (Vitra Design Museum) ベルリン日独センター (Japanisches-Deutsches Zentrum Berlin)	2010. 05. 20	柏木博 (武蔵野美術大学教授)、小泉誠 (デザイナー)、佐藤卓 (デザイナー)、フィリップ・ハイデカンブ (HEIDKAMP, Philipp: ケルン国際デザイン大学教授) が日本の産業デザインにおける伝統技術、地場産業とデザインの結びつきによる新しい潮流を紹介するシンポジウムを開催
15	フロレンティーネ・ザック建築講演会「オープン・ハウス」	ケルン	ケルン日本文化会館		2010. 09. 24	海外巡回展『くまもとアートポリス』のオープニングに際し、フロレンティーネ・ザック (SACK, Florentine: 建築家) による講演会を開催
16	日独比較パネルディスカッション「大学教育と学生の就職 — 日独比較」	ケルン	ケルン日本文化会館	ケルン大学職業教育国際比較研究所 (German Research Center for Comparative Vocational Education and Training)	2010. 09. 28	ケルン大学職業教育国際比較研究所の設立を記念して、同研究所との共催によりパネルディスカッションを開催。登壇者は、エスヴァイン三貴子 (ESWEIN, Mikiko: カイザースラウテルン大学教授)、伊藤敏子 (三重大大学教授) 及びマティアス・ピルツ (PILZ, Matthias: ケルン大学経済・社会教育学科)。ケルン日本文化会館が平成20年度以来実施している日独共通の社会問題に関するシンポジウムの第3弾
17	都築響一巡回講演会	ケルン デュッセルドルフ フランクフルト ベルリン	ケルン日本文化会館 デュッセルドルフ芸術家協会 (Kuenstlerverein Malkasten) フランクフルト大学日本学科 (Japanologie der Universitaet Frankfurt am Main) ベルリンpro qm書店 (Buchhandlung pro qm)	在デュッセルドルフ総領事館 在フランクフルト総領事館 在ドイツ大使館	2010. 10. 19 ~ 2010. 10. 25	都築響一は編集者、写真家、ライター、さらにはアーティストとして活動を展開、日本の中でも存在が忘れられ、あるいはその存在価値を否定されているモノや現象を一貫して追い続けてきた。それらの存在を通じて日本の現代社会を見つめてきた同氏が、「デコトラ」「ラブホテル」「秘宝館」「暴走族」など日本固有のサブカルチャー的表象を取り上げ、日本社会の「今」を紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
18	エーファ・マリア・マイヤー講演会 「京都の四季探訪」	ケルン	ケルン日本文化 会館	ケルン市 (Stadt Koeln) ケルン独日協会 (Deutsch- Japanische Gesellschaft e. V. Koeln)	2011. 01. 17	ケルン市及びケルン独日協会との共催により、ケルンと姉妹都市関係にある京都の歴史と文化を紹介するプログラム。エーファ・マリア・マイヤー(MEYER, Eva-Maria : テュービンゲン大学日本研究学科上級学術顧問)を講演者に迎え、ティル・シェール(SCHEEL, Till : 写真家)の作品とともに京都の魅力を紹介。日独交流150周年事業として実施
19	1860/61年オイレンブルク日本遠征隊：講演と遠征隊収集資料特別展示会	ベルリン	在ドイツ大使館	ベルリン国立図書館 プロシヤ文化財財団国立図書館 (Staatsbibliothek Berlin, Preussischer Kulturbesitz) 在ドイツ大使館	2011. 02. 03	ベルリン国立図書館東アジア部門の企画により実施。ゲアハルト・クレプス (KREBS, Gerhard : ベルリン自由大学教授) によるオイレンブルク遠征隊に関する講演の後、ウルズラ・フラッヘ (FLACHE, Ursula : ベルリン国立図書館東アジア部副部長) により、会場に展示された遠征隊の日本収集資料を解題。日独交流150周年事業として実施
20	羽根光講演会	ケルン	ケルン日本文化 会館		2011. 02. 15	海外巡回展 <i>Struggling Cities</i> のオープニングに際し、日本の現代建築をテーマとして、羽根光 (建築家) による講演会を開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	新着映画上映会	ケルン	ケルン日本文化 会館		2010. 04. 01 ~ 2010. 04. 26	藤原智子 (映画監督) よりケルン日本文化会館へ寄贈された『シロタ家の20世紀 (The Shirota Family and the 20th Century)』(2008) を含む『河童のクゥと夏休み』(原恵一、2007)、『サッドヴァケーション』(青山真治、2007)、『めがね』(荻上直子、2007) の4作品を各2回上映
22	大野一雄追悼ドキュメンタリー映 上映会	ケルン	ケルン日本文化 会館		2010. 07. 07 ~ 2010. 07. 09	2010年6月に逝去した日本を代表する舞踏家、大野一雄を追悼し、大野をフィーチャーしたドキュメンタリー映画 <i>Just Visiting This Planet</i> の上映とペーター・ゼンペル (SEMPEL, Peter : 映画監督) によるトークを開催。また、大野が自身の活動を1960年代から2000年まで記録した映像集『美と力』を上映
23	小津安二郎監督特集上映会	ケルン	ケルン日本文化 会館	ウィーン映画博 物館 (Oesterreich- isches Film- museum in Wien)	2011. 01. 10 ~ 2011. 03. 31	日本を代表する映画監督、小津安二郎が1929年から1969年の間に撮った『東京暮色』(1957)、『秋刀魚の味』(1962) 他7作品を回顧上映。日独交流150周年事業として実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	デュッセルドルフ日本映画週間『河童のクゥと夏休み』上映会	デュッセルドルフ	デュッセルドルフ映画博物館	デュッセルドルフ映画博物館 (Filmmuseum Duesseldorf) 在デュッセルドルフ総領事館	2011. 02. 05 ～ 2011. 02. 12	日本の新作映画を一挙に紹介する毎年恒例の日本映画週間において、ケルン日本文化会館フィルムライブラリー所蔵作品『河童のクゥと夏休み』（原恵一、2007）を上映。日独交流150周年事業として実施
25	ノルトライン・ヴェストファーレン州学校映画週間『菊次郎の夏』上映会	ケルン	ケルン日本文化会館	ノルトライン・ヴェストファーレン州映画学校 (FILM SCHULE NRW) 映画・メディア・コンペテンシー・ネットワーク (VISION KINO)	2011. 02. 07	ノルトライン・ヴェストファーレン州学校映画週間において北野武（映画監督）『菊次郎の夏』が上映作品の一つとして選ばれ、同州内各地で上映されるに当たり、作品解説冊子の印刷経費を支援。またケルンでの上映に際して会場とフィルムを提供。日独交流150周年事業として実施

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	図書館運営				2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	ケルン日本文化会館図書館では日本に興味のある人々すべてに日本に関する情報を提供している。その主目的は、ドイツ語圏における日本文化の理解及び日本語学習者や日本学研究者の拡大と支援であり、日本の伝統文化から現代社会事情まで日本全般に亘る資料（主に日本語、ドイツ語、英語）を収集し、利用に供すること ①所蔵資料合計： 28,924点 （内訳：図書資料数21,404冊、視聴覚資料数7,520点） 雑誌タイトル数：239タイトル ②利用者数（年間）： 3,327名 ③貸出点数（年間）： 3,704点 ④レファレンス件数（年間）： 391件
27	NACSIS目録講習会及びベルリン国立図書館稀観書展示会	ベルリン	ベルリン国立図書館	ベルリン国立図書館 プロシヤ文化財財団 (Staatsbibliothek Berlin, Preussischer Kulturbesitz) 国立情報学研究所 (NII)	2011. 02. 03 ～ 2011. 02. 04	在欧日本関係図書館のうち、NACSIS-CATで書誌データを共有している図書館担当者に対し、日本から講師3名を招き、講習会を開催。講習会のレベルは初級から上級まで。ドイツ・スイスの他、イタリア・英国・フランスからも参加があった。2日目には、日本関係資料に対する見識を深めるために、ウルズラ・フラッヘ (FLACHE, Ulsura:ベルリン国立図書館東アジア部副部長) による所蔵稀観書の紹介と展示・見学を実施。日独交流150周年事業として実施

海外拠点

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	ウェブサイト運営				2010.04.01 ~ 2011.03.31	ケルン日本文化会館の概要、事業内容を対外的に広報するとともに、広く日本文化・芸術に関する情報発信のため、公式ウェブサイトを運営 URL: http://www.jki.de/ アクセス件数(年間) : 415,248件 メールマガジン配信数(年間) : 62,217件
29	北杜夫『楡家の人びと』ドイツ語訳紹介	ケルン	ケルン日本文化会館	be. bra 出版社 (be. bra Verlag GmbH) ケルン市文化局 (Kulturamt der Stadt Koeln) ケルン独日協会 (Deutsch-Japanische Gesellschaft e. V. Koeln)	2010.05.18	北杜夫の長編小説『楡家の人びと』の初めてのドイツ語訳が、平成21年度国際交流基金日本理解促進出版・翻訳プログラムによる助成を受けてbe. bra 出版社から出版されるのを機に、この新刊を紹介。刊行を企画したエドゥアルド・クロプフェンシュタイン(KLOPFENSTEIN, Eduard : チューリッヒ大学名誉教授)が北杜夫(作家)と同書の内容を紹介、続いてプロの朗読者が独訳を朗読。ケルン市、ケルン独日協会との共催事業

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日独翻訳者賞				2010.04.01 ~ 2011.03.31	ケルン日本文化会館では、1999年からドイツ語圏で翻訳出版された優れた日本の図書、特に文学作品や人文・社会科学分野の著作の中から、優れた翻訳を行った人物に対し「日独翻訳者賞」を授賞。今回は、日独両国の審査委員により、2007年から2009年末までにドイツ語で翻訳出版された日本の図書の中から、吉本ばなな『ハゴロモ』と青野聡『母よ』を翻訳したトーマス・エッゲンベルグ(EGGENBERG, Thomas : 静岡大学国際交流センター准教授)に授賞
31	ケルン子供大学		ケルン日本文化会館	ケルン大学 (Universitaet zu Koeln)	2010.04.23	ケルン大学が主催する「ケルン子供大学」の一環として、同大学日本研究学科と協力し、8歳から12歳の児童・生徒を対象に「日本まるごと体験講座」を提供。日独交流150周年事業として実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	ケルン市美術館の長い夜	ケルン	ケルン日本文化会館	無声映画 dj (stummfilm:dj) アミヨリ (Amiyori) ケルン市 (Stadt Koeln) シュタットレビュー誌 (StadtRevue) チョーヤ梅酒株式会社	2010. 11. 06 ~ 2010. 11. 07	ケルン市の美術館・博物館を中心とする文化施設が19時から深夜3時まで開館し、一般市民に特別プログラムを提供する一夜かぎりのフェスティバル。ケルン日本文化会館では、ドイツ人DJ、ミヒャエル・ヤノヴィッツ (JANOWICZ, Michael M.) の音楽に乗せ、無声映画『逆流』(二川文太郎、1924)を3回上演したほか、国際交流基金本部巡回展「くまもとアートポリス」を展示

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	「手のひらの中の世界」展	ドレスデン市立現代美術館 (Kunsthau Dresden)	2010. 03. 20 ~ 2010. 05. 23	携帯電話の普及により情報伝達の方法が急速に変わった現代において、これらの情報を取り入れたアート、影響を受けているアートを紹介する展覧会。吉田美弥によるキュレーション。ケルン日本文化会館は展覧会に係る謝金を助成
34	光を投げる女 (<i>Die Scheinwerferin</i>)	パクト・ツォルフエアアイン (PACT Zollverein)	2010. 04. 10	ドイツ西部のコンテンポラリーダンスの拠点のひとつであるPACT (エッセン) が毎年実施している、 <i>Atelier Special</i> において、PACTのスタジオ助成を受けた田中奈緒子の初の単独作品 <i>Die Scheinwerferin</i> の制作・発表に対して、ケルン日本文化会館は旅費、謝金、印刷費を助成
35	「日の出る国日本の浮世絵—ブレーメン美術館コレクション」展	ビーティヒハイム・ビッシンゲン市立美術館 (Staedtische Galerie Bietigheim-Bissingen)	2010. 04. 24 ~ 2010. 07. 11	ブレーメン美術館 (Kunsthalle Bremen) 所蔵浮世絵コレクションを紹介する展覧会。約150点の版画作品をはじめ、北斎、広重による「東海道五十三次」を展示。ケルン日本文化会館は旅費、謝金、印刷費を助成
36	「イリュージョン／リアリティ」展	エマーソン・ギャラリー (Emerson Gallery Berlin)	2010. 07. 31 ~ 2010. 09. 04	日独の若手アーティストによる交流展。日本から市原研太郎 (美術評論家) が来独し、現代美術についての講演会を開催したほか、様々なパフォーマンスやコンサートも実施。ケルン日本文化会館は講演謝金、広報・印刷費を助成
37	「岩崎貴宏—ノン・ロカリティー」展	ナッサウ美術協会 (Nassauischer Kunstverein Wiesbaden)	2011. 01. 23 ~ 2011. 03. 06	日本の若手現代美術作家、岩崎貴宏がヴィースバーデンのナッサウ美術協会を拠点にレジデンシーを行い、個展を開催。地元の学生や美術作家、美術愛好家と交流を行った。ケルン日本文化会館は広報・印刷費を助成

海外拠点

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
38	ケルン国際童話フェスティバル	IGNISヨーロッパ文化センター (Kulturzentrum IGNIS e.V.) ケルン国際文化週間 (Interkulturelle Woche Koeln)	2010. 09. 25	様々な国の童話を紹介するフェスティバル。日本の童話の朗読に参加
39	国際会議「異文化交流と文化横断的な流れ：マンガ／コミック」	ケルン大学超域文化研究センター (The Center for Intercultural and Trans-cultural Studies, University of Cologne) 京都精華大学国際マンガ研究センター	2010. 09. 30 ～ 2010. 10. 02	ジャクリーヌ・ベルント (BERNDT, Jaqueline : 京都精華大学教授)、フランツィスカ・エームケ (EHMCKE, Franziska : ケルン大学教授) などドイツ人研究者が中心となり、3日間にわたる講演や『NARUTO』をはじめ実際の作品を例にとったワークショップなどが行われ、文学論、メディア論及び文化論の観点から、日本のマンガが各方面に与えた影響についてディスカッションを実施
40	日独学術文化関係促進財団賞 (JaDe賞) 授賞式	日独学術文化関係促進財団 (Stiftung zur Foerderung japanisch-deutscher Wissenschafts- und Kulturbeziehungen [JaDe-Stiftung])	2011. 02. 12	田中角栄首相が1973年10月西ドイツ (当時) を訪問した際に日独交流発展のために寄贈した基金 (通称「田中基金」) をもとに、1974年ケルンに設置された日独学術文化関係促進財団 (JaDe-Stiftung) が毎年提供するJaDe賞の授賞式を開催。本年は、北杜夫『楡家の人々』を翻訳したオットー・プッツ (PUTZ, Otto : テュービンゲン大学日本研究学科) とケルン大学音楽学部でケルン雅楽会 (Koelner Gagaku Ensemble) を主宰する志水美郎が受賞。日独交流150周年事業として実施

海外拠点

パリ日本文化会館

合計額 437,641,034 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「ドゥブル・リュミエール (Doubles Lumières) : 宮永愛子 & 関根直子」展	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.14 ~ 2010.06.26	現代美術作家の宮永愛子と関根直子を招へいし、約2カ月のレジデンス期間中に制作された作品を中心に、計19作品を展示。宮永は、滞在中に集めた小物や家具をナフタリンでかたどったインスタレーション作品を展示。関根は滞在中の心象を鉛筆と消しゴムだけで作品制作。両氏にとって本展がフランスにおける初めての本格的な展覧会となった
2	全国高等学校版画選手権大会 (はなが甲子園) 作品展	パリ	パリ日本文化会館	全国高等学校版画選手権大会実行委員会	2010.05.18 ~ 2010.05.29	2001年に佐渡でスタートした「全国高等学校版画選手権大会 (はなが甲子園)」の10年目を記念して、同地にゆかりの版画作品、過去の受賞作品及び第10回展の応募作品等の中から選ばれた版画作品等、計30点を展示
3	近代日本工芸 1900~1930 — 伝統と変革のはざまに	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.13 ~ 2010.12.23	京都国立近代美術館の協力により、1900年から1930年の間に制作された、陶芸、染織、漆工を中心とした工芸作品75点を紹介。これまでまとまって紹介されることなかった時代の優れた工芸品が、欧州で初めて本格的に紹介される貴重な機会となった
4	染めの世界 時をこえて — 万葉花を染める	パリ	パリ日本文化会館	染色運営実行委員会	2010.11.16 ~ 2010.11.27	『万葉集』に歌われた花々をテーマに、日本古来の伝統技術 (花押・ろうけつ) を駆使しながら独自の作風を展開する山本喜代子の作品を展示
5	大野初子 芸術人形展	パリ	パリ日本文化会館	大野初子創作人形展実行委員会	2011.01.25 ~ 2011.01.29	大野初子 (1915~1982) は、創作人形の制作を通してその時代の人形の美と芸術性を表現。作品の多くは、主に大正時代の子供の思い出にインスピレーションを得たもの。海外では稀な現代創作人形紹介の機会となった

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	ミニコンサート taca	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.28	taca (タカ:在仏アコーディオン奏者) を中心とした、カルテットによるジャズを中心としたコンサート。日仏のミュージシャンによる共演
7	レ・フレール コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2010.05.05 ~ 2010.05.07	斎藤守也と斎藤圭土兄弟によるピアノ・デュオ「レ・フレール」によるコンサート。独自のキャトルマンスタイルという演奏法で、ブギウギ、バラード、ジャズなど幅広いジャンルの曲を披露。ヤマハ(Yamaha Music Europe - France)が協力

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	ミニコンサート 谷辺昌央	パリ	パリ日本文化会館		2010. 05. 19	数々のコンクールに入賞してきた谷辺昌央（たにべ・まさお：クラシック・ギタリスト）が、ピアソラ、ヒナステラなどの曲と、日本の武満徹の作品を演奏し、西洋と和の要素を対比させたコンサートを実施
9	演劇『病気』	パリ	パリ日本文化会館		2010. 05. 28 ～ 2010. 05. 29	「健康」をめぐるの珍妙無類のやりとりに始まり、自己責任を巧妙に回避する人々の姿を、乾いた喜劇として描いた別役実の作品を三谷昇、吉野悠我らが演じた
10	AGA-SHIO（上妻宏光×塩谷哲）コンサート	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 10 ～ 2010. 06. 11	AGA-SHIOは、民謡というジャンルを飛び越え津軽三味線の可能性を開拓する上妻宏光、ジャズ、ポップス、クラシックと多様なジャンルにおいて卓越した演奏、プロデュースを行う塩谷哲によるユニット。既存のジャンルにとらわれない独自の楽曲を演奏
11	コンサート 牧野由依	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 21	声優としても活躍するマルチ・アーティスト牧野由依による「音楽の日」の無料コンサート。街中のあらゆる場所で無料コンサートを開催する「音楽の日フェスティバル（Fête de la musique）」が運営に協力
12	ミニコンサート 吉田誠	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 30	パリ国立高等音楽院に留学中のクラリネット奏者、吉田誠によるコンサート
13	コンサート 天地人	パリ	パリ日本文化会館	パリ外国文化施設フォーラム(FICEP)	2010. 10. 02	天地人は、和太鼓、津軽三味線、ドラムという異色の組み合わせによる音楽ユニット。ジャズ、ロック、民謡を融合させた独自の躍動感あふれる演奏。パリ外国文化施設フォーラム(Forum des Instituts Culturels Étrangers à Paris: FICEP)主催の外国文化週間の催しのひとつとして実施。ヤマハ(Yamaha Music Europe - France)が協賛
14	水曜日のミニコンサート 長谷川きよし	パリ	パリ日本文化会館		2010. 10. 20	「別れのサンバ」で一世を風靡した長谷川きよし（シンガーソングライター）によるコンサート。シャンソン歌手として日本でも有名であり、自身のオリジナル曲の他、フランス語シャンソンも披露。東芝国際交流財団が協賛
15	コンサート 山中千尋	パリ	パリ日本文化会館		2010. 10. 23	ニューヨークを拠点に、日本及び欧州で演奏活動を行っている山中千尋によるコンサート。同氏は内外で様々なジャズの賞を受賞している気鋭のピアニスト。ヤマハ(Yamaha Music Europe - France)が協力
16	コンサート 戸室玄とベルギー国立オーケストラ・アンサンブル	パリ	パリ日本文化会館	ベルギー国立オーケストラ	2010. 10. 29	戸室玄は、パリ日本文化会館の「日本の若き才能」コンサートにも出演したことがある若手ピアニスト。今回はベルギー国立オーケストラ・アンサンブルとの共演で、シュニトケやブラームスを演奏。ヤマハ(Yamaha Music Europe-France)、Loterie Nationaleが協力

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	水曜日のミニコンサート 福本しのぶ&安島瑤山	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 11. 03	福本しのぶと安島瑤山は、「和と洋の融合」をテーマにハーブと尺八という西洋と東洋の楽器のコラボレーション活動を続けている。今回、福本の生まれ故郷のフランスで、恩師のハーブ奏者フランシス・ピエール (PIERRE, Francis) もゲストに迎えてコンサートを実施。東芝国際交流財団が協賛
18	コンテンポラリーダンス 梅田宏明	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 11. 12 ~ 2010. 11. 13	振付家・ダンサーとして欧州でも非常に人気の高い梅田宏明の公演。前半は振付家として、日本人ダンサーとフィンランド人ダンサーに振り付けた作品 <i>L. centrifugal</i> 、後半は自身のソロ作品 <i>Haptic</i> を披露。EU JAPAN FEST、在仏フィンランド大使館が協力
19	コンサート <i>Jazzycolors 2010</i>	パリ	パリ日本文化 会館 オランダ文化 センター	Association Jazzy Colors	2010. 11. 17 ~ 2010. 11. 24	パリ所在の各国文化機関との共同開催により、それぞれ自国のアーティストを別の機関に派遣する企画。パリ日本文化会館はハンガリーの女性シンガー・グループを受入れる一方、日本人ピアニストをオランダ文化センターに派遣
20	コンテンポラリーダンス <i>Noism 1</i>	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 12. 02 ~ 2010. 12. 04	新潟市民芸術文化会館「りゅーとびあ」の芸術監督を務める金森穰が率いる <i>Noism</i> による『 <i>Nina</i> —物質化する生け贄』公演。同氏は振付家として芸術選奨文部科学大臣賞を受賞するなど、現在、日本のコンテンポラリーダンス界で最も注目されている振付家の一人。東京倶楽部が協賛
21	ミニコンサート 千田悦子	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 12. 08	千田悦子（山田流箏奏者）による唄と箏のコンサート
22	日本舞踊 — 花柳寿美「曙会」	パリ	パリ日本文化 会館	曙会実行委員 会	2011. 01. 21 ~ 2011. 01. 22	前半後半の2部構成で、前半は伝統的な日本舞踊『保名』、後半はテネシー・ウィリアムス原作のミュージカル『欲望という名の電車』仕立ての創作舞踊を披露。ピアノ伴奏は宮川彬良（作曲家）が行った
23	ミニコンサート 宮田まゆみ	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 02. 23	宮田まゆみは国際的に著名な笙の奏者。ジョン・ケージなど現代音楽の作曲家などが同氏のために楽曲を提供している。古典曲からジョン・ケージまで幅広いジャンルの曲を演奏。パリ日本文化会館としては初の笙による単独コンサート
24	ジャズ・イン・ジャパン2011	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 03. 03 ~ 2011. 03. 05	日本のジャズを紹介する、3夜連続のコンサート。初日は、前年好評を博した寺井尚子（ヴァイオリン）とリシャール・ガリアーノ（GALLIANO, Richard: アコーデオンの組み合わせ。2日目は日本人としては唯一、マイルス・デイビスのグループに所属したケイ赤城トリオ（ピアノ）。3日目は18歳という若さながら既に山下洋輔、渡辺貞夫などと共演し、また東京JAZZのような大舞台に立つ寺久保エレナ（サクソフォン）のカルテット。寺井尚子のオリジナル曲 <i>Bella Notte</i> などを演奏

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	コンサート 日本の若き才能	パリ	パリ日本文化会館	ヤマハ(Yamaha Music Europe - France)	2011.02.04 ~ 2011.02.05	将来有望な若手日本人クラシック演奏家に活躍の機会を与えることを目的に、ヤマハとの共催により実施したコンサート企画。本田早美花(ヴァイオリン)、福間洸太郎(ピアノ)、森岡有裕子(フルート)、赤坂智子(ヴィオラ)が出演

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	ワークショップ「鉛筆で探る隠れた形と線」	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.07 ~ 2010.04.14	展覧会「ドゥーブル・リュミエール(Doubles Lumières)」展の参加作家、関根直子(現代美術作家)を講師に、10歳以上の青少年を対象に「鉛筆で探る隠れた形と線」をテーマとしたワークショップを計2回実施
27	食文化デモンストレーション・シリーズ「四季の味わい」	パリ	パリ日本文化会館	味の素ヨーロッパ株式会社(Ajinomoto Europe, Ltd.)	2010.04.03 ~ 2011.01.29	「四季の味わい」をテーマに、年間計4回(第1回10.04.03、第2回10.06.26、第3回10.10.23、第4回11.01.29)、春夏秋冬の献立をめぐるセミナー・デモンストレーションを毎回各2回実施。春季は筍をつかった料理など、季節感あふれる料理を紹介
28	講演会「テレビが日本料理を変えた! ? -メディアの食文化への影響力」	パリ	パリ日本文化会館	日本料理アカデミー	2010.04.08	エンターテイメントとしての食に焦点を当て、大森いさみ(日本料理アカデミー・アドバイザー)が、食とメディアの関係について講演
29	郷土料理セミナー「秋田の伝統食・きりたんぼ」	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.10	日本の伝統料理の中から秋田の伝統食を紹介。秋田に関する紹介、きりたんぼの説明及び講師によるきりたんぼづくりのデモンストレーション、きりたんぼ鍋の試食。地方産の日本酒試飲も実施
30	親子うま味ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.17 ~ 2010.06.12	大森いさみ(日本料理アカデミー・アドバイザー)とパリ在住の食文化ジャーナリスト相原由美子が、親子を対象にしたうま味発見ワークショップを開催。4・5・6月の毎月1回土曜日、1日2セッション実施。出汁をベースに、素材のうまみを学習し、ホットプレート等を用いた参加者全員で楽しめる日本の料理を体験・試食。第1回お好み焼き(10.04.17)、第2回焼きうどん(10.05.15)、第3回茶碗蒸し(10.06.12)
31	講演会「2つの地域統合と日本 - EU・東アジア共同体」	パリ	パリ日本文化会館	パリ政治学院	2010.05.11	2010年1月にリスボン条約が発効し、EUは新たに「EU大統領」と「EU外相」を迎え、世界でのプレゼンスを確立しようとしており、日本では2009年9月に誕生した鳩山由紀夫政権が「東アジア共同体」構想を提唱し、新たな外交政策を模索している。ヨーロッパとアジアで、二つの異なる地域統合が進みつつある中で、今後日本がたどるべき道を国際政治学的な視座から細谷雄一(国際政治学)らが講演

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	講演会「中国、日本、アジアのリーダーは誰か？」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 05. 26	実業界での経験を持ち、日本経済専門家として研究を行っているクロード・メイユ (MEYER, Claude) による講演会。 2010年2月に出版された同氏の著書 “ <i>Chine ou Japon: quel leader pour l'Asie?</i> ” <i>Presses de Science Po</i> の内容を中心に、アジアのリーダーシップについて討議。アジア覇権を獲得するために各国が講じている策を評価し、今後20年にわたる地勢図の発展のシナリオを議論。コメンテーターは、クリスティアン・ソテー (SAUTTER, Christian: パリ市助役)
33	講演会「1980年代以降の日本現代演劇について」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 05. 29	扇田明彦 (演劇評論家) による日本の現代演劇に関する講演会。平田オリザの登場による新たな演劇のムーブメントなどを解説
34	講演会「コペンハーゲン以後の状況と日本の対応」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 02	山口光恒 (東京大学先端科学技術センター特任教授) が日欧の環境問題をめぐる現状及び今後日本のとるべき環境政策について解説
35	講演会「日本人、20歳、その生活、望み、将来とは？」	パリ	パリ日本文化会館	読売新聞社 日仏会館 財団法人渋沢栄一記念財団	2010. 06. 18	日仏各々相手国の文化に関する優れた研究成果に対して贈られる渋沢クロード賞のフランス側受賞者講演会。2009年受賞者カリン・プペー (POUPEE, Karyn: AFP通信記者) が、受賞作品『日本人』に基づき、不安定な社会経済状況に置かれている日本の若者像を描く。同氏の観察を通して得られた日本の若者の生態、夢、自国のイメージや若者のもつ日本の将来像について発表。Editions Tallandierが実施に協力
36	食文化デモンストレーション 「体験！和のおやつ」	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 19 ~ 2011. 03. 12	相原由美子 (食文化ジャーナリスト) が中心となり「和のおやつ」をめぐり、デモンストレーションとワークショップを年間5回実施 第1回「葛粉と寒天」 (10. 06. 19) 第2回「胡麻を使ったおやつ」 (10. 10. 16) 第3回「地方のおやつ」 (10. 11. 19) 第4回「ゆずを使ったおやつ」 (10. 11. 20) 第5回「どら焼き」 (11. 03. 12) 各回2セッション実施
37	日本酒セミナー	パリ	パリ日本文化会館		2010. 06. 23	日本の蔵元が集い、日本酒を紹介・試飲する毎年恒例のセミナー
38	武術レクチャー・デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	レオ・タマキ	2010. 05. 12	黒田鉄山 (振武館宗家) による「伝統文化としての武術一型と理論」をタイトルとして、武術的身体、伝統武術における身体の操作法などをレクチャー及びデモンストレーションにて解説

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	武術レクチャー・ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館	レオ・タマキ	2010.06.24 ~ 2010.06.25	前年度に続き著名な武術家である甲野善紀がパリに来訪する折に「近代化によって変化した武道家の身体操作」について平易に解説。またワークショップにより実際に甲野流の身体操法を学ぶ機会を提供
40	講演会「日本に政党政治は根付くのか？」	パリ	パリ日本文化会館		2010.09.22	御厨貴（日本近・現代政治：東京大学先端科学技術研究センター教授）による講演会。エリック・セズレ（SEIZELET, Eric：パリ第7大学教授）がコメンテーターとして参加
41	剣の道ワークショップ	パリ	パリ日本文化会館		2010.09.29 ~ 2010.12.10	パリ在住の松浦真人による剣術ワークショップ。約3カ月の間に、各月1回ずつ実施
42	講演会「日本発 化粧品技術の最前線」	パリ	パリ日本文化会館	Shiseido Europe	2010.09.30 ~ 2011.02.10	「日本の化粧品技術の最前線」と題し、レクチャー及び実際のメーキャップ・デモンストレーションを行う。秋季2回実施（「バカンスあとのお肌の手入れ 紫外線と美しい肌の関係」「美しいメーキャップを支えるもの」）及び冬季1回実施（「日本人と化粧水」）
43	夢枕獏講演会	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.01	夢枕獏（作家）が、平安時代に遡る「陰陽師」の世界をレクチャー
44	講演会「源氏物語とその背景 — 伊勢物語から源氏物語へ」	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.09	今西祐一郎（国文学研究資料館館長）の、仮名による文学作品誕生の経緯、源氏物語成立前の日本の文学・社会状況を基に、史料及び注釈の分析を通じて『源氏物語』を解釈
45	「近代日本工芸 1900~1930 展」関連講演会	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.13	松原龍一（「近代日本工芸 1900~1930 — 伝統と変革のはざまに」展コミッショナー）による、展覧会の解題及び展示作品の解説
46	はじめての尺八講座	パリ	パリ日本文化会館		2010.11.04	水曜日のミニコンサート（10.11.03）にも登場した安島遥山が、尺八の奏法を教授
47	食文化体験シリーズ「誰でも絶対作れる！ 調理体験ワークショップ」	パリ	パリ日本文化会館		2010.11.13 ~ 2011.02.17	相原由美子（食文化ジャーナリスト）が中心となり、調理体験ワークショップを開催 第1回「巻き寿司」（10.11.13） 第2回「お好み焼き」（11.02.17） 各回2セッション実施
48	講演会「日本人の食事における米と麺類」	パリ	パリ日本文化会館		2010.11.16	日本人の食物の柱となる米と麺類の受容と変遷の歴史について、石毛直道（元・国立民族学博物館館長）が講演。食生活の未来への展望についても解説

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
49	「近代日本工芸 1900～1930 展」 関連シンポジウム	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 11. 18	山野英嗣（京都国立近代美術館学芸課長）が司会を務め、尾崎正明（京都国立近代美術館長）、稲賀繁美（国際日本文化研究センター研究部教授）、加藤哲弘（関西学院大学文学部教授）、出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館館長）、松原龍一（京都国立近代美術館主任研究員）、クリストフ・マルケ（MARQUET, Christoph：フランス国立東洋言語文化研究所（INALCO）教授）が「東西文化の磁場」を総合テーマに討論
50	京菓子への誘い	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 12. 02	裏千家の行事に合わせて渡仏する京都の老舗・末富による伝統菓子のデモンストレーションを実施。厨房で実演を行い、レセプションホールで参加者自身も簡単な和菓子作りを体験
51	俳句ときもの講演会	パリ	パリ日本文化 会館		2010. 12. 04	原間久美子（源氏物語千年紀委員会）と、文化庁文化交流使としてフランスに滞在中の黛まどか（俳人）による、季節と型を共通テーマとした俳句ときものをめぐる対談
52	講演会「心をつなぐー心がつながる、日本における他者との関係構築」	パリ	パリ日本文化 会館	フランス日本 学研究学会	2010. 12. 16	フランス日本学研究学会主催のシンポジウム「心をつなぐー心がつながる、日本における他者との関係構築」の実施
53	シンポジウム「世界遺産を目指す縄文」	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 01. 18	ユネスコ世界遺産暫定リストに登録されている「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の研究者が集い、同地の紹介や関連研究の成果を発表
54	池田理代子講演会	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 02. 02	『ベルサイユのばら』で著名な少女漫画家の池田理代子が、自身の創作や半生について語る。パスカル・オリ（ORY, Pascal：パリ第1大学教授／歴史学者）が聞き手として登壇
55	和菓子の世界 ― 作る楽しさ	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 02. 03 ～ 2011. 02. 04	2010年の和菓子技術コンクール優勝者が講師として来仏。厨房でデモンストレーションの後、レセプションホールで参加者が体験、試食を行う
56	シンポジウム「新幹線とTGVが存在しなかったら…高速鉄道がもたらす経済効果と社会的影響」	パリ	パリ日本文化 会館	フランス国鉄、 JR東日本	2011. 02. 09	ギョーム・ペピ（PEPY, Guillaume：フランス国鉄（SNCF）総裁）、石田義雄（JR東日本副社長）、高階秀爾（大原美術館館長）、アラン・ブロー（BULLOT, Alain：SNCFマテリアル・ディレクター）、イブ・クロゼ（CROZET, Yves：リヨン大学教授）をパネリストに、高速鉄道がもたらす経済効果と社会的影響について討論
57	能・俳句 ― 省略の極みに生まれるもの	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 02. 12	能と俳句の共通点について、安田登（下掛宝生流ワキ方能楽師）、槻宅聡（能楽森田流笛方）、黛まどか（俳人）が鼎談。能楽と俳句が舞台上で共演
58	食文化講演会「ピエール・トロワグロが語る日仏のフランス料理」	パリ	パリ日本文化 会館		2011. 02. 19	日仏のフランス料理を知り尽くしているピエール・トロワグロ（TROIGROS, Pierre）が、日本滞在経験を踏まえ日仏のフランス料理の現状と未来を語る。司会をマリアンヌ・コモッリ（COMOLLI, Marianne：料理研究家）が務める

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
59	シンポジウムおよび講演会シリーズ「こころー日本文化の力」	パリ	パリ日本文化会館		2011.02.22～2011.02.25	シンポジウム(11.02.22)及び連続講演会(11.02.24～25)により構成。シンポジウムでは、黛まどか(俳人)のほか、田中陽子(株式会社ゆずりは代表)が東北地方の手仕事を紹介、徳山誠(勇心酒造取締役)が酒造の観点から東北文化を解説、挾土秀平(左官職人)が左官の魅力を発表。連続講演会の司会は田中陽子が務め、工芸、織物と分野別に解説。講演会の際、東北地方の工芸品の小展示も実施
60	フランス俳諧における歴史と今	パリ	パリ日本文化会館		2011.02.26	ドミニク・シポー(CHIPOT, Dominique: フランス俳句振興協会代表)と黛まどか(俳人)の対談。日仏両言語の観点から、俳句という形式や作法などの文化比較を展開
61	郷土料理セミナー「金沢ー加賀料理」	パリ	パリ日本文化会館	料亭・つば甚	2011.03.05	国際交流基金「日本文化紹介派遣(主催)」プログラムにより来仏した派遣専門家による、日本の郷土料理を紹介するシリーズ企画。今回は、創業1752年という由緒ある料亭「つば甚」の料理長・川村浩司が、金沢の郷土料理を実際に調理しながら解説
62	講演会「現代に生きる狂言ー古典の技術を現代に生かすー」	パリ	パリ日本文化会館		2011.03.10	野村萬斎が狂言に関し日々考えていることについて講演

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
63	ドキュメンタリー映画上映会 <i>Cinéma-rencontre</i>	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.10～2010.07.10	『ご縁玉』『日本についての思考 心的イメージの詩』『選挙』『北海道から沖縄まで』『美輪明宏』(ドキュメンタリー制作助成対象事業)『チーズとうじ虫』『空とコムローイ』『刺青師 初代彫俊』『精神』『田名網敬一の肖像』『北辰斜めにさすところ(劇映画)』の11作品を上映。監督・プロデューサー等関係者が出演してトークショー等を計15回実施
64	映画試写会『アジアの漆』	パリ	パリ日本文化会館		2010.05.27	ドキュメンタリー映画『アジアの漆』(瀬戸桃子, 2010)の上映
65	助成映画試写会『レディ・サラシナ (<i>Lady Sarashina</i>)』	パリ	パリ日本文化会館		2010.06.01	日本の古典文学『更級日記』と、それを前衛的なタッチでオペラ風に劇作化したペーテル・エトヴェシュ(EÖTVÖS, Peter: 作曲家、指揮者)を追ったドキュメンタリー映画 <i>Lady Sarashina-PAYSAGE D'UNE FEMME</i> を試写会上映(本年度「日本理解促進映像制作(助成)」対象事業)
66	パリ・シネマ共催 山中貞雄作品 小特集	パリ	パリ日本文化会館	パリ・シネマ (Paris Cinéma)	2010.07.07～2010.07.09	パリ・シネマは、パリ市役所文化部直轄のパリ国際映画祭。2010年は日本をゲスト国とし、若い日本映画監督を一堂に集めて紹介した。パリ日本文化会館では連携企画として、山中貞雄(映画監督)の現存3作品、『丹下左膳余話 百万両の壺』(1935)、『河内山宗俊』(1936)、『人情紙風船』(1937)を小特集上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
67	小栗康平監督特集	パリ	パリ日本文化会館		2010.09.09 ~ 2010.09.18	小栗康平(映画監督)は、フランスにおいて『泥の河』(1980)及び『死の棘』(1990)の両作品により高く評価されたが、その後の同監督の活動についてはあまり知られていない状況に鑑み、パリ日本文化会館で全7作品を上映すると共に同監督を招へいし、各上映会の際、監督自身によるトーク・セッションを設けて彼の作風と芸術性をより広く紹介。またアントワーズ・パロー(BARRAUD, Antoine:映画監督)が撮った、小栗康平に関するインタビュー・ドキュメンタリー『夢の森(The Forest In Between)』(本年度「日本理解促進映像制作(助成)」対象事業)を併せて上映し、9月11日には両監督の対談を実施
68	FICEP外国文化週間上映会	パリ	パリ日本文化会館	パリ外国文化施設フォーラム(FICEP)	2010.09.24 ~ 2010.10.02	パリ外国文化施設フォーラム(Forum des Instituts Culturels Étrangers à Paris: FICEP)主催の外国文化週間を機会に、「日本の伝統文化・芸能」をテーマに、『宮古上布』『文楽への誘い』『狂言・野村萬蔵一技』など、パリ日本文化会館が所蔵する文化映画の中から30本を選定して上映
69	島津保次郎監督特集(知られざる監督シリーズ10)	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.06 ~ 2010.10.16	「知られざる監督シリーズ」の第10弾として、フランスでは初めてとなる島津保次郎(映画監督)の7作品を特集上映
70	国際交流基金助成映画『島々が出会うとき』試写会	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.22	国際交流基金の助成により完成した、日本とコルシカの音楽の出会いを描いたドキュメンタリー映画『島々が出会うとき(Quand les îles se rencontrent)』の試写上映を実施
71	現代映画特集 2000~2010	パリ	パリ日本文化会館		2010.10.27 ~ 2011.02.05	上映作品は、『北辰斜めにさすところ』『ブルー』『神童』『GO』『害虫』『カフカ 田舎医者』『めがね』『サッドヴァケーション』『ウォーターボーイズ』『マインド・ゲーム』『リンダ リンダ リンダ』『死者の書』『空中庭園』『明日の記憶』『14歳』『松ヶ根乱射事件』『運命じゃない人』『バッテリー』『カナリア』『ジャーマン+雨』『それでもボクはやってない』『ガラスのうさぎ』『21世紀の王さま』『蕨野行』『夢のままに』『東京タワー』
72	第5回KINOTAYO映画祭	パリ	パリ日本文化会館	KINOTAYO映画祭事務局	2010.11.20 ~ 2010.12.10	直近の1~2年のうちに制作された、最新の日本映画を紹介する映画祭。『BOX袴田事件 命とは』『谷中暮色』など20作品を上映
73	美術監督木村威夫追悼特集	パリ	パリ日本文化会館		2011.01.06 ~ 2011.01.20	『雁』(豊田四郎)『自分の穴の中で』(内田吐夢)『悪太郎』(鈴木清順)『花と怒涛』(鈴木清順)『春婦伝』(鈴木清順)『東京流れ者』(鈴木清順)『ツイゴイネルワイゼン』(鈴木清順)『夢のままに』(木村威夫)等、計16作品を上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
74	日本映画史を創った大手会社シリーズ 4：東宝の歴史	パリ	パリ日本文化会館		2011.02.08 ～ 2011.03.10	東宝作品計47本を上映。『人情紙風船』及び『怪談』の上映時には、専門家等によるプレゼンテーションを実施。『人情紙風船』については、藤田(龍谷大学助教授：11.02.08)が、『怪談』についてはブランドー(国立東洋言語文化研究所助教授：Institut national des langues et civilisations orientales：INALCO)がプレゼンテーション(11.02.11)を実施。 東日本大震災の発生(11.03.11)により、実施期間を短縮

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
75	図書館運営	2010.04.01 ～ 2011.03.31	現代日本の様相を知ると同時にその形成過程等を理解するために不可欠な資料(主に人文・社会科学及び芸術分野)を収集し、提供する図書館を運営 ①所蔵資料合計： 27,244点(視聴覚資料数を含む) ②利用者数(年間)： 14,716名 ③貸出点数(年間)： 3,727点 ④レファレンス件数(年間)： 3,351件 ⑤「図書館便り」作成部数： 4,500部(第33号から35号までの3号を発行)

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
76	ウェブサイト運営	2010.04.01 ～ 2011.03.31	パリ日本文化会館の施設案内、事業紹介、イベント告知、実施報告等を掲載 URL： http://www.mc.jp.fr/ アクセス件数(年間)： 208,777件 メールマガジン配信数(年間)： 6,934件

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
77	書道教室	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.01 ～ 2011.03.10	漢字を基本とした指導を行い、書を通して日本文化に触れる機会を提供。毎週木曜日に実施
78	茶道デモンストレーション	パリ	パリ日本文化会館	裏千家本部、裏千家パリ駐在所	2010.04.07 ～ 2011.03.09	日本文化の代表の一つである茶道・お茶席の一部を見学した後、参加者に、抹茶とお茶菓子を実際に味わう機会を提供。毎週水曜日に実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
79	囲碁教室	パリ	パリ日本文化会館	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、財団法人日本棋院	2010.04.10 ~ 2011.03.12	フランス囲碁連盟、イル・ド・フランス囲碁リーグ、日本棋院の協力のもとに継続している囲碁教室。子供・青少年が中心。毎週土曜日に実施
80	折り紙教室	パリ	パリ日本文化会館		2010.04.21 ~ 2011.02.23	子供を対象とした折り紙教室を実施
81	生花教室	パリ	パリ日本文化会館	イケバナ・インターナショナル	2010.05.04 ~ 2011.03.09	小原・草月・池坊の各流派から講師を迎え、生花を通じた日本文化を体験する。毎期始めに館内で展示会・デモンストレーションを開催。展示会では広く一般に生花を鑑賞して貰い、デモンストレーションではそれぞれの流派の特徴を理解し、流派選択の一助とする。毎週火・木曜日開講。各流派とも各期6回実施
82	俳句入門講座	パリ	パリ日本文化会館		2010.05.04 ~ 2011.03.23	文化庁・文化交流使としてフランスに滞在中の黛まどか（俳人）による俳句の入門講座。春季は講座8回（日本語）、秋季は句会4回（日本語）及びレクチャー7回（仏語逐次通訳付）、冬季は句会3回（日本語）及びレクチャー3回（仏語逐次通訳付）をそれぞれ実施
83	茶道教室	パリ	パリ日本文化会館	裏千家パリ駐在所	2010.05.05 ~ 2011.03.09	茶道の基本となる立ち居振る舞い、道具の扱いを学びつつ、茶道の精神に触れ、実際にお点前を学ぶ。毎期2カ月、2コース開講
84	漫画入門集中講座	パリ	パリ日本文化会館		2010.07.06 ~ 2010.07.10	漫画入門講座。14歳から受講可。本年度から夏季休校期間を利用した1週間集中講座のみ提供。2時間の授業を全5回。講師は、JMケン・ニイムラ（日系スペイン人アーティスト）他。イラストの描き方やストーリーボードの作り方など、漫画の基礎を学習する講座。対象者の若年化を図る事業のひとつ

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
85	JAPAN EXPO への参加	パリ	パリ・ノール・ヴィルパント見本市会場	在フランス大使館	2010.07.01 ~ 2010.07.04	JAPAN EXPO は、1999年にフランス人青年達が始めた漫画や伝統及び現代の日本文化を紹介するイベント。ヨーロッパ最大級の日本文化とエンターテインメントの祭典。パリ日本文化会館は、会場内にブースを出展。日本語学習サイト紹介、日本語学習・文化事業全般の情報提供等を行った。また在フランス大使館による「日本総合紹介ステージ」の一環としてステージにも参加。和太鼓演奏、日本語学習奨励プレゼンテーションを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
86	「トリオ・ミヤザキ」箏・アコーディオン・ヴァイオリンコンサート <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	チャナッカレ (トルコ) アンカラ (トルコ)	チャナッカレ 大学 アンカラ芸術 高校	在イスタン ブール総領事 館 在トルコ大使 館	2010. 09. 27 ~ 2010. 09. 29	箏曲演奏家でボルドーを拠点に活動するミヤザキ・エミコ が、1990年代から協演しているモリス・ブルーノ (BRUNO, Maurice: アコーディオン)、マニュエル・ソラン (SOLANS, Manuel: ヴァイオリン) と共に、日・仏・トルコ民謡やオリ ジナル曲によるコンサートを実施。アンカラ芸術高校では、 ワークショップも行う。2010年トルコにおける日本関連 事業のひとつとして実施
87	谷口光代・箏コンサート <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	アルジェ (アルジェリ ア)	アルジェ・フ ランス文化セ ンター	在アルジェリ ア大使館	2010. 11. 13 ~ 2010. 11. 16	フランス在住の箏演奏家・谷口光代をアルジェリアに派遣し て、コンサート (10. 11. 14) を実施
88	居合道レクチャー・デモンストレーション <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	バーレーン (バーレーン) クウェート (クウェート) アブダビ (アラブ首長国 連邦)	文化ホール ガルフ大学 講堂 アブダビ・レ スリング・柔 道・柔術連盟 道場	在バーレーン 大使館 在クウェート 大使館 在アラブ首長 国連邦大使館	2011. 02. 11 ~ 2011. 02. 17	居合道の専門家、松浦真人、ブルーモ・マラン (MARIN, Brumo) の2名を中東3カ国に派遣し、デモンストレーション (11. 02. 12バーレーン、11. 02. 13クウェート、11. 02. 16ア ブダビ) 及びワークショップ (11. 02. 13~14クウェート) を実 施。日本・クウェート国交樹立50周年記念事業のひとつとし て実施

(2) 助成・協力事業

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
89	講演会「日本文学のフランス語訳における現状と 未来」	JETプログラム同窓会(JETAA)	2010. 05. 21	JETプログラム参加者の同窓会 (JET Alumni Association: JETAA) が企画した講演会「日本文学のフランス語訳におけ る現状と未来」に対し、パリ日本文化会館小ホールの施設を 提供
90	HEC日本酒セミナー	HEC経営大学院 (Ecole des hautes études du commerciales)	2010. 06. 22	HEC経営大学院から要望のあった日本酒セミナー開催のため、 パリ日本文化会館施設を提供
91	JETプログラム オリエンテーション・壮行会	在フランス大使館	2010. 07. 06	平成22年度語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラ ム) で日本に派遣される参加者に対するオリエンテーション 及び過去の参加者・関係者との壮行会を実施するに際し、パ リ日本文化会館レセプションホール施設を提供
92	講演会「ル・コルビュジェの屋上庭園—その影響を 受けた日本の現代建築」	Réseau JAPARCHI	2010. 10. 05 ~ 2010. 10. 06	Japarchiが主催する千代章一郎 (広島大学准教授) の講演会 (10. 10. 05) 及び勉強会 (10. 10. 06) に対し、パリ日本文化 会館レセプションホール施設を提供

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
93	シンポジウム「京都 ― 二つの顔」	京都工芸繊維大学	2010. 11. 02	京都工芸繊維大学主催「京都 ― 二つの顔」シンポジウムに対し、パリ日本文化会館小ホール施設を提供
94	野村生涯教育国際フォーラム・レセプション	野村生涯教育センター	2010. 11. 09	ユネスコ（UNESCO）本部で行われる生涯教育国際フォーラム2日目のレセプション部分をパリ日本文化会館にて実施
95	留学生説明会	在フランス大使館	2011. 03. 09	大使館主催の文部科学省国費留学希望者のための説明会に、パリ日本文化会館大ホールを施設提供

海外拠点

ソウル日本文化センター

合計額 145,646,144 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	ソンパ子ども図書館 いわさきちひろ展	ソウル	ソンパ子ども 図書館	ソンパ子ども 図書館 いわさきちひろ 記念事業団	2010.03.17 ~ 2010.04.07	いわさきちひろ記念事業団及びソンパ子ども図書館との共催により、いわさきちひろの作品を展示し、日本の絵本の芸術性・魅力を紹介する機会を提供。いわさきちひろが残した、子供や少女を描いた作品、絵本に使われた作品など代表作30点を、最先端のデジタル技術で複製されたピエゾグラフで紹介
2	霊岩（ヨンアム）王仁文化祝祭 — 世界文化遺産写真展	霊岩（ヨンアム）郡	王仁博士遺跡 地内ヨンウォ ル館	霊岩（ヨンアム）郡庁	2010.04.03 ~ 2010.04.06	1600年前に日本に渡り、日本に初めて『論語』と漢字を伝えたとされる王仁博士に関する霊岩（ヨンアム）郡庁主催の祭典にて、韓国と日本の世界文化遺産写真パネルを展示
3	インターナショナル・フェスティバル — 浮世絵展	水原	京畿水原外国人学校図書館	京畿水原外国人学校	2010.05.11 ~ 2010.05.21	ソウル日本文化センターの所蔵作品である浮世絵を展示し、京畿水原外国人学校に通う韓国人師弟を含む小・中・高校生に日本文化を紹介
4	安養いわさきちひろ展	安養	安養ロッテデパート・ギャラリー	安養ロッテデパート・ギャラリー いわさきちひろ記念事業団	2010.07.15 ~ 2010.08.02	いわさきちひろ記念事業団及び安養ロッテデパート・ギャラリーとの共催により、いわさきちひろの作品を展示し、日本の絵本の芸術性・魅力を紹介する機会を提供。いわさきちひろが残した、子供や少女を描いた作品、絵本に使われた作品など代表作40点を、最先端のデジタル技術で複製されたピエゾグラフで紹介
5	大田いわさきちひろ展	大田	大田ロッテデパート・ギャラリー	いわさきちひろ記念事業団 大田ロッテデパート・ギャラリー	2010.08.05 ~ 2010.08.18	いわさきちひろ記念事業団及び大田ロッテデパート・ギャラリーとの共催により、いわさきちひろの作品を展示し、日本の絵本の芸術性・魅力を紹介する機会を提供。いわさきちひろが残した、子供や少女を描いた作品、絵本に使われた作品など代表作40点を、最先端のデジタル技術で複製されたピエゾグラフで紹介
6	安養ロッテギャラリー永井一正展	安養	安養ロッテデパート・ギャラリー	安養ロッテデパート・ギャラリー	2010.09.10 ~ 2010.09.27	生命尊重の思想に基づいた、永井一正（グラフィックデザイナー）の作品100点を安養で紹介。平成20年度にソウル日本文化センターが企画展示した「永井一正展」を、韓国国内に巡回
7	昌原 JAPAN WEEK — いわさきちひろ展	昌原	ソンサンアートホール	在釜山総領事館 いわさきちひろ記念事業団	2010.10.01 ~ 2010.10.09	昌原 JAPAN WEEK の一環として、「世界中の子供みんなに平和と幸せを」という言葉を残した、いわさきちひろの代表作40点を、最先端のデジタル技術で複製したピエゾグラフで紹介
8	昌原 JAPAN WEEK — 浮世絵展	昌原	ソンサンアートホール	在釜山総領事館	2010.10.01 ~ 2010.10.09	昌原 JAPAN WEEK の一環として、ソウル日本文化センター所蔵の複製版浮世絵を展示。浮世絵を通じて日本の風景を韓国市民に紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	ART EDITION 2010 ― 浮世絵展	釜山	BEXCO	韓国版画写真振興協会 釜山日報	2010. 10. 06 ～ 2010. 10. 10	15年の歴史を持つ韓国版画写真振興協会が実施するアートフェアに、ソウル日本文化センター所蔵の浮世絵複製版を展示。同フェアには、13カ国、58の関連機関（国内44・海外14）、350名の作家が参加
10	清涼里ロッテギャラリーいわさきちひろ展	ソウル	清涼里ロッテデパート・ギャラリー	いわさきちひろ記念事業団 清涼里ロッテデパート・ギャラリー	2010. 10. 19 ～ 2010. 11. 01	いわさきちひろ記念事業団及び清涼里ロッテデパート・ギャラリーとの共催により、いわさきちひろの作品を展示し、日本の絵本の芸術性・魅力を紹介する機会を提供。いわさきちひろが残した、子供や少女を描いた作品、絵本に使われた作品など代表作40点を、最先端のデジタル技術で複製されたピエゾグラフで紹介
11	「ソウル・北京・東京：3都市の原形と保存」展 ― 浮世絵展	ソウル	ソウル歴史博物館	ソウル歴史博物館 東京都江戸東京博物館 北京首都博物館	2010. 11. 03 ～ 2010. 12. 10	ソウル・北京・東京の3都市について、形成と構造、都市の原形、歴史的な変遷過程、破壊の過程、最近の歴史文化保存のための政策と主要事例などを相互比較する展示会。ソウル日本文化センター所蔵の複製版浮世絵も併せて展示
12	いわさきちひろ美術館コレクション展	大邱	慶北大学校美術館	慶北大学校美術館 いわさきちひろ記念事業団	2010. 11. 08 ～ 2010. 12. 10	いわさきちひろ記念事業団及び慶北大学校美術館との共催により、いわさきちひろの作品を展示し、日本の絵本の芸術性・魅力を紹介する機会を提供。いわさきちひろが残した、子供や少女を描いた作品、絵本に使われた作品など代表作40点を、最先端のデジタル技術で複製されたピエゾグラフで紹介。「日本の絵本の歴史」展も同時開催
13	ソウルスクウェア・メディアキャンバス・J-Kコラボレーション・プロジェクト	ソウル	ソウルスクウェア	ガナアートセンター 在韓国大使館	2011. 02. 08 ～ 2011. 03. 31	日韓のメディア・アーティスト、赤松正行とヤン・ミナ、真鍋大度とミウン（MIOON）が2つのグループに分かれ、それぞれが共同制作したメディアアート作品をソウル駅前のビル「ソウルスクウェア」の壁面に掲出。高さ78m、幅99mの巨大キャンバスに42,000個のLEDを使用して放映される作品をソウル市民に披露。「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」事業のひとつとして実施
14	水原 JAPAN DAY ― 日韓世界遺産写真展	水原	水原華城博物館	在韓国大使館 水原華城博物館	2011. 03. 10 ～ 2011. 04. 03	水原 JAPAN DAYの一環としてソウル日本文化センター所蔵の日韓世界遺産写真パネルを用い、日本文化に接する機会の少ない地方都市である水原で展示会を開催。「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」事業のひとつとして実施

海外拠点

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	第3回日韓若手音楽家交流コンサート <i>From SWITZERLAND</i>	ソウル	セラミック・パレスホール	若手音楽家育成アヤメ基金 日韓若手音楽家交流演奏会委員会	2010. 09. 02	スイスで学ぶ日韓の才能溢れる若手演奏者たちの交流演奏会をそれぞれの母国である韓国と日本で開催。音楽を通じた日韓の若い世代の交流を促進。ソウル日本文化センターは韓国での公演を共催
16	日韓伝統音楽交流演奏会「和」	ソウル	在韓国大使館	在韓国大使館	2011. 01. 25	「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業の一環として、日本側から富元清英（琴）、吉岡龍見（尺八）、韓国側からイ・セファン（カヤグム）、ソ・チョンゴン（チャング）らが参加し、それぞれの特徴を活かして日韓の伝統楽器で協演
17	ティコボ (<i>Ticobo</i>) 韓国巡回 <i>Eco</i> コンサート	ソウル 大邱 釜山 光州 済州	ソウル松田小学校、九老アートバレー 大邱教育大学校付属小学校 釜山新世界センタムシティ ノンソン小学校、光州障害者総合福祉館 ソルムンデ女性文化センター	ノリダン、九老文化財団、在韓国大使館 在釜山総領事館 在釜山総領事館、釜山新世界センタムシティ 光州障害者総連合会、在韓国大使館 在済州総領事館	2011. 02. 05 ～ 2011. 02. 17	「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業の一環として、日本で廃品打楽器集団として活躍するティコボを韓国に招へいし、同じく韓国で廃品打楽器集団として活動しているノリダンとソウルで協演。小学校訪問を中心として、大邱、釜山、光州、済州にも巡回公演を行うことで、韓国市民、子供たちに日本の廃品リサイクル文化活動を紹介し、日本理解を促進
18	『焼肉ドラゴン』公演	ソウル	芸術の殿堂 土月劇場	芸術の殿堂 財団法人新国立劇場運営財団	2011. 03. 09 ～ 2011. 03. 20	「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業の一環として、財団法人新国立劇場運営財団、芸術の殿堂との共催で、鄭義信脚本・演出の『焼肉ドラゴン』を再演。在日コリアンの家族愛をテーマとした日韓の共同制作作品を、日本と韓国で上演することにより両国の交流を強化

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	三橋貴風尺八ワークショップ 1	ソウル	ソウル日本文化センター		2010. 05. 26	元・文化庁文化交流使の三橋貴風（尺八）がソウル日本文化センターの日本語講座受講生を対象として、尺八の吹き方を日本語で教えるワークショップを開催

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	三橋貴風尺八ワークショップ 2	ソウル	ソウル日本文化センター		2010. 09. 15	元・文化庁文化交流使の三橋貴風（尺八）がソウル日本文化センターの日本語講座受講生を対象として、尺八の吹き方を日本語で教えるワークショップを開催
21	2010国立現代美術館国際企画展 Made in Popland 国際学術シンポジウム	果川	国立現代美術館	国立現代美術館	2011. 01. 27	国際企画展 <i>Made in Popland</i> は、日中韓の代表的作家によるポップアート展（会期：2010. 11. 08～2011. 02. 20）。ソウル日本文化センターは、1月開催の国際シンポジウムを共催し、建昌哲（京都市立芸術大学学長）を招へい
22	2011日本音楽情報センター（JMIC）シンポジウム	ソウル	在韓国大使館 公報文化院	在韓国大使館 音楽産業・文化振興財団	2011. 02. 24	「日韓新時代：未来へのコラボレーション」事業の一環として、「日韓アイドル・グループの成功戦略の診断と展望」と題して、石原真（NHKプロデューサー）やシン・ジョンス（MBC文化放送プロデューサー）、チョン・チャンファン（SMエンターテインメント理事）などが参加するシンポジウムを開催

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	『折り梅』無料上映会	ソウル、水原、城南、木浦、光州など全国11都市	松坡老人総合福祉館、城南市ホスピスセンター、光州楓岩洞聖堂など全国33カ所	韓国痴呆家族協会	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	高齢化社会に対する認知度や映像による日本文化への理解の深化をはかるため、韓国痴呆家族協会の全国ネットワークと連携し、認知症をテーマとしたソウル日本文化センター所蔵の映画『折り梅』を上映
24	ソウルアートシネマ日本映画傑作定期無料上映会	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2010. 04. 12 ～ 2011. 03. 11	韓国シネマテーク協議会との共催でソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーを活用し、ソウルアートシネマにて無料上映会を開催。事業実施3年目を迎え、1960年代から80年代の日本映画黄金期の作品を中心に月1回上映
25	日本映画の黄金期への旅	坡洲（パジュ）	芸術専用映画館シーナスイチェ	シーナスAT9	2010. 04. 26 ～ 2011. 03. 07	シーナスAT9との共催でソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーを活用し、坡洲（パジュ）にて無料上映会を開催。『檀山節考』『コミック雑誌なんかいない』『ゆきゆきて、神軍』『伝説の舞姫 崔承喜』『ALWAYS 三丁目の夕日』などの作品を上映
26	訪ねていく日本映画無料上映会 1	済州	済州島内各地	済州特別自治道海女博物館	2010. 05. 01 ～ 2010. 05. 24	済州道出身の在日コリアン海女の姿を描いたドキュメンタリー映画『海女のリャンさん』を済州道内各地で上映
27	黒澤明生誕100周年特別映画祭	ソウル ソウル 釜山	韓国映像資料院 フィルム・フォーラム シネマテーク釜山	韓国映像資料院 フィルム・フォーラム シネマテーク釜山	2010. 07. 01 ～ 2010. 08. 29	国際交流基金が所蔵する黒澤明（映画監督）の20作品を韓国映像資料院、フィルム・フォーラム、シネマテーク釜山と共催で巡回上映（ソウルでは共催機関が用意した3作品を追加上映）。仲代達矢、野上照代、林海象など、同監督と縁の深い映画人を招へいし、韓国の映画人や観客との対話事業を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	第11回障害者映画祭	ソウル	放送会馆2階ブロードホール	韓国聾啞人協会	2010. 10. 18 ~ 2010. 10. 22	身体の不自由な人をテーマに、韓国映画を主に紹介する映画祭。2010年からは海外映画の紹介を始めたため、ソウル日本文化センター所蔵の『アイ・ラブ・ユー』『アイ・ラブ・フレンズ』を上映
29	訪ねていく日本映画無料上映会 2	済州	済州島内各地	済州特別自治道海女博物館	2010. 11. 04 ~ 2010. 12. 08	済州道出身の在日コリアン海女の姿を描いたドキュメンタリー映画『海女のリャンさん』を済州道内各地で上映
30	我らの時代のアジア映画特別展	ソウル	ソウルアートシネマ	韓国シネマテーク協議会	2010. 11. 10 ~ 2010. 11. 28	1990年以降に制作されたアジア映画（日本、中国、タイ、カンボジア、マレーシアなど）のうち、韓国国内であまり知られていない優れた映画20本を紹介。ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーから河瀬直美（映画監督）の『につつまれて』（1992）『かたつもり』（1997）を上映
31	第7回メガボックス日本映画祭	ソウル	メガボックス新村	メガボックス ジャパン・イメージ・カウ ンシル 文化庁	2010. 11. 17 ~ 2010. 11. 21	メガボックス、ジャパン・イメージカウンスル、文化庁との共催により日本映画特集上映会を実施。日本のアニメーションの多様性を紹介する長短編16プログラム、全75作品の上映に加え、日韓アニメーション専門家による「日本アニメーション-多様性の秘密」と題したシンポジウムを開催
32	ジャパンファウンデーション映画祭	ソウル	アートハウスMOMO		2010. 12. 16 ~ 2010. 12. 23	映画社白頭大幹とシネカノン・コリアの協力を得て、国際交流基金本部フィルムライブラリー、ソウル日本文化センター所蔵フィルム、シネカノン・コリアが上映権を持つフィルム計47本を上映。黒澤明監督特集、阪本順治監督特集のほか、オープニング作品として『歓喜の歌』（松岡錠司、2007）を韓国初上映
33	韓国国際交流財団日本映画特別上映会	ソウル	韓国国際交流財団文化センター映像室	韓国国際交流財団	2011. 02. 07 ~ 2011. 03. 30	「WA：現代日本のデザインと調和の精神」展と併せて、ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から、『選挙』『森の学校』などDVD作品23本を2カ月間、週3回無料で上映。本上映会も「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」事業の一環として実施
34	ジャパニメーション無料上映会	富川（プチョン）	韓国漫画映像振興院ミュージアム奎章閣デジタル劇場	韓国漫画映像振興院	2011. 02. 13 ~ 2011. 02. 20	ソウル日本文化センターが所蔵するアニメーション映画『NITABOH』『ピアノの森』『雲のむこう、約束の場所』『秒速5センチメートル』の上映を通じて日本のアニメーション文化を富川市民に紹介

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
35	図書館（文化情報室）運営	2010.04.01 ～ 2011.03.31	<p>ソウル日本文化センターの文化情報室は、日本文化紹介のための図書館として、日本の社会・歴史、文化芸術、日本語教育、日韓交流を中心とした書籍や雑誌、新聞、視聴覚資料（ビデオ/DVD/CD等）を収集・提供。ソウル日本文化センターが2009年11月にソウル市内の官庁街から若者で賑わう新村（シンチョン）へ移転したことに伴い、若者向け資料の充実など、機能拡充を開始</p> <p>①所蔵資料合計： 21,920点 （内訳：書籍15,578冊、雑誌62種1,733冊、その他751点、視聴覚資料3,858点）</p> <p>②利用者数（年間）： 15,671名 ③貸出点数（年間）： 16,283点 ④レファレンス件数（年間）： 1,242件 ⑤図書館用リーフレット作成： 韓国語版1万部、日本語版5千部を作成</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
36	ウェブサイトの運営・ニューズレターの発行	2011.04.01 ～ 2012.03.31	<p>ソウル日本文化センター及び国際交流基金事業を紹介するウェブサイトの管理やメールマガジンを毎月配信。メールマガジン配信時には日本語学習者向けの『カチの声』も同時に発行</p> <p>URL: http://www.jpff.or.kr/ アクセス件数(年間)：2,393,863件 メールマガジン配信数(年間)：204,611件 ニューズレター発行部数(年間)：204,611部(年12回)</p>

【その他】

	事業名	期間	事業内容
37	国際交流基金日本研究フェロー・フォローアップ事業「JFとともに」（フェロー追跡調査）を連載	2010.10.01 ～ 2011.03.31	<p>国際交流基金の日本研究フェローに対するフォローアップとその後の研究状況の追跡調査を兼ねて、ソウル日本文化センターのウェブサイト連載企画である「JFとともに」の執筆を韓国人元フェローに依頼し年間5回掲載</p>

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
38	人人人シリーズフォーラム	トゥサンアートセンター	2010. 04. 20	日中韓の演劇をシリーズで上演し、それぞれの原作者を招へい、日中韓3カ国の現代演劇の変化と社会との関係を考察するフォーラムを開催。日本からは平田オリザ（劇作家）が招へいされ、『眠れない夜なんてない』を上演。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
39	第26回檀国大学校日本研究所学術シンポジウム 「韓日大衆文化と戦争表象」	檀国大学校日本研究所	2010. 04. 23	世界共通の課題である戦争問題に焦点を当て、日韓の両国民は戦争をどう把握していたかを、近代戦争を中心に大衆の視点から検討する学術会議。ソウル日本文化センターは上野元（筑波大学教授）の招へい費を助成
40	第11回全州国際映画祭	全州国際映画祭組織委員会	2010. 04. 29 ～ 2010. 05. 07	2010年で11回目を迎える全州映画祭において、モントリオール国際映画祭の最優秀監督賞を受賞した『ヴィヨンの妻』や国内外で高い評価を集める『イエローキッド』など長編12本、短編1本を上映。根岸吉太郎（映画監督）など8名の映画関係者が訪韓。ソウル日本文化センターは根岸吉太郎ほか計4名の招へい費を助成
41	劇団態変 体験ワークショップ	劇団態変	2010. 05. 03 ～ 2010. 05. 06	身体障害者自身による演劇発表を目指したワークショップ。劇団態変のメンバーが訪韓、韓国側スタッフと協力しながら身体障害者に対する4日間のワークショップを開催、最終日には小作品を発表。ソウル日本文化センターは劇団員6名の招へい費を助成
42	歌の旅人 故・呉鉉明1周忌追悼音楽会 ― 再び歌いたい歌	故・呉鉉明1周忌追悼音楽会運営委員会	2010. 06. 13	韓国の声楽に大きな発展をもたらした故・呉鉉明の1周忌を迎えて、日韓の声楽界の弟子たちによる追悼音楽会を開催。ソウル日本文化センターは戸田志香ほか日本人参加者5名の招へい費を助成
43	2010国際家具デザインワークショップ	弘益大学校美術大学木造形家具学科	2010. 06. 15 ～ 2010. 06. 19	家具デザイン分野で有名な弘益大学校美術大学木造形家具学科が毎年実施しているワークショップ。2010年には欧州で活躍する細江勲（プロダクトデザイナー）を招へい。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
44	韓国日語日文学会2010年度夏期国際学術大会	韓国日語日文学会	2010. 06. 19	小峰和明（立教大学教授）による「竜宮と冥界：『志度寺縁起』を中心に」と題する基調講演と、日本語、日本語教育、日本文学、日本学の各分科会での個別学術発表からなる学会を開催。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
45	韓国パッケージデザイン協会サマーキャンプ	韓国パッケージデザイン協会	2010. 06. 26 ～ 2010. 06. 28	韓国パッケージデザイン協会主催で毎年実施されるデザイン関連学科の学生を対象としたサマーキャンプで、キム・サンユル（ブランド開発会社代表）の講義やワークショップを開催。ソウル日本文化センターは、施設利用料を助成し、キャンプ参加者に対し日韓パッケージデザインコンテストの案内及び広報を実施

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
46	国際交流セミナー 2「劇作家ワークショップ」	釜山市立劇団	2010.07.05 ～ 2010.07.06	日本を代表する劇作家である坂手洋二、畑澤聖悟を招き、創作活動と劇作家の育成、釜山での創作活動についてのワークショップを開催。ソウル日本文化センターは畑澤の招へい費及び通訳費を助成
47	第12回ソウル国際青少年映画祭	ソウル国際青少年映画祭組織委員会	2010.07.08 ～ 2010.07.14	世界39カ国の134作品を上映。日本からは諏訪敦彦、けんもち聡の2名の映画監督が来韓。ソウル日本文化センターは2名の招へい費を助成
48	全国地域児童センター青少年連合トンアリ・フェスティバル	ブスロギサランナム会	2010.08.17 ～ 2010.08.19	韓国全土の地域児童センターや日本児童健全育成推進財団から実務者及び青少年が参加し、両国の児童センターブース運営、ワークショップなどを通して、青少年事業への理解の深化を図るプロジェクトを開催。ソウル日本文化センターは依田秀任（児童健全育成推進財団事務局長）ほか3名の招へい費を助成
49	第4回シネマデジタルソウル映画祭	シネマデジタルソウル組織委員会	2010.08.18 ～ 2010.08.24	アジア新人監督のデジタル映画中心のコンペ映画祭。日本からは9作品が出品され、稲葉祐介、坪田義史の2名の映画監督、勝田友巳（『毎日新聞』記者）が審査委員として訪韓。ソウル日本文化センターは稲葉と勝田の招へい費を助成
50	第25回韓日経済経営国際学術大会	韓日経商学会	2010.08.18 ～ 2011.08.20	日韓両国にとって課題となっている、日韓経済協力のあり方について学術的また実務的側面から討議する学術大会を開催。ソウル日本文化センターは小玉敏彦（千葉商科大学教授）、笠井信幸（アジア経済文化研究所理事）、伊東和久（県立広島大学教授）ほか計7名の招へい費を助成
51	The Birth of a Tale展	Gallery FACTORY	2010.09.07 ～ 2010.10.03	日本と韓国の現代美術ギャラリーの共同企画。日本で注目を集める3名のアーティスト、さとうりさ、梶井照陰、青木陵子が参加。自然環境に対する敬意を作品化する日本人の作品制作姿勢を韓国に紹介。ソウル日本文化センターは3名分の招へい費を助成
52	ONODERA Yuki 写真展	ハンミ写真美術館	2010.09.11 ～ 2010.12.04	世界的に有名な写真作家オノデラ・ユキの作品展とアーティスト・トークを実施。青田由美（美術評論家）による講演会「日本現代写真の理解」も同時開催。ソウル日本文化センターは2名の招へい費を助成
53	第13回富川国際マンガフェスティバル&第11回国際漫画家大会	韓国マンガ映像振興院	2010.09.15 ～ 2010.09.19	日中韓3カ国の『三国志』の漫画家と、富川マンガ賞、海外作家賞を受賞した3カ国の漫画家を紹介。ソウル日本文化センターは日本から参加した里中満智子（漫画家）、樹林伸（漫画原作者）ほか漫画家、編集者計4名の招へい費を助成
54	延世日本学プロジェクト	延世大学校国際学大学院	2010.09.16 ～ 2011.03.29	延世大学校の日本学専攻学生を主たる対象にした特別講演シリーズを開催。日本及びアメリカから、宮島喬（法政大学教授）、竹沢泰子（京都大学教授）、エドワード・マック（ワシントン大学教授）ほかの日本研究者を招へいし、特別講演を実施。ソウル日本文化センターは3名の招へい費を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	ローカルフード料理ワークショップ — 2010ソウル青少年創意サミット	オーガニゼーション料理	2010. 10. 06 ~ 2010. 10. 09	ハジャセンター（ソウル市立青少年職業体験センター）主催の2010青少年創意サミットのプログラムのひとつとして社会的企業「オーガニゼーション料理」が日本から中原一歩（東京ローカルレストラン・プロジェクトリーダー／ノンフィクションライター）を招へいし、ワークショップを開催。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
56	<i>Swift Sweets</i> 滞在制作&公演	LIG文化財団	2010. 10. 07 ~ 2010. 10. 08	劇団パパ・タラフマラが、日本、インドネシア、韓国で共同制作を行うスウィフト・プロジェクトの第3弾として日韓の俳優による共同制作を行い、ソウル国際ダンスフェスティバルの招へい作品として上演。ソウル日本文化センターは小池博史などパパ・タラフマラの劇団員3名の招へい費を助成
57	「バロックと20世紀のハーブシコード音楽」公演	漢陽大学音楽研究所	2010. 10. 12	バロック音楽と20世紀のチェンバロ音楽を中心とした公演。ソウル日本文化センターは、桐山建志（ヴァイオリン）、前田りり子（フルート）、櫻井茂（ヴィオラ）の招へい費を助成
58	国連統一売買法施行30周年記念学術学会	全南大学校法学研究所	2010. 10. 26 ~ 2010. 10. 27	グローバル経済が拡大する中で、東アジア域内における経済活動の活性化に重要な意義を持つ「東アジア契約法」を巡り、国連統一売買法（CISG）に関し、韓国、日本、中国、台湾、オランダから研究者が参加し討論。ソウル日本文化センターは松岡久和（慶應義塾大学教授）、北居功（慶應義塾大学教授）、鹿野菜穂子（慶應義塾大学教授）、中田邦博（龍谷大学教授）の招へい費を助成
59	第5回国際大学生平和映画祭	江原文化財団	2010. 10. 27 ~ 2010. 10. 31	江原道唯一の映画祭として韓国内外の学生が制作した優れた作品を紹介。ソウル日本文化センターは、地方における日韓交流を促進するため、松永大司（映画監督）と在日コリアン、パク・ヨンイ（映画監督）の招へい費を助成
60	第4回ソウル国際家族映像祭	ソウル国際家族映像祭組織委員会	2010. 10. 27 ~ 2010. 11. 02	「愛すれば家族です」をキャッチフレーズに、世界30カ国120本の優れた家族向け映画を紹介。ソウル日本文化センターは『8月のシンフォニー』の西澤昭男、『カラフル』の原恵一、『食堂かたつむり』の富永まい、3名の映画監督の招へい費を助成
61	G20映画祭	韓国多様性映画発展協議会	2010. 10. 28 ~ 2010. 11. 03	G20首脳会合が、韓国で開催されるのを記念して行なわれた映画祭。ソウル日本文化センターは『パーマメント野ばら』の吉田大八（映画監督）の招へい費を助成し、広報に協力
62	第12回富川国際学生アニメーションフェスティバル	富川国際学生アニメーションフェスティバル組織委員会	2010. 11. 05 ~ 2010. 11. 09	韓国内のアニメーション関係学科が中心となる学生専門のアニメーション映画祭。ソウル日本文化センターは、開幕作品 <i>REDLINE</i> の木村大輔プロデューサー、コンペ審査委員の赤井孝美プロデューサー、水江未来（映画監督）の招へい費を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
63	2010 秋季学術シンポジウム	韓国日本近代文学会	2010. 11. 06	「大江健三郎と日本近代文学」を主題として日本から招へいた柴田勝二（東京外国語大学教授）の基調講演「大江健三郎と民主主義」及び韓国の専門家の研究発表、日韓の研究者間の総合討論を実施。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
64	第216次外交通商政策研究イベント「最近の東北亜情勢と韓日関係展望」	亜太政策研究院	2010. 11. 18	武藤正敏（在韓国大使）及び政界、官界、学界、財界、マスコミ、在韓外交団など14カ国から専門家が参加し、日韓協力関係の増進と北東アジアの平和のための討論を実施。ソウル日本文化センターは資料作成費、通訳費を助成
65	キム・ソヨン帰国リサイタル	聖潔大学校	2011. 01. 13	第1回日韓若手音楽家交流コンサートに出演したキム・ソヨン（パイプオルガン奏者）がスイスから帰国したことを記念するリサイタル。2名の日本人コルネット奏者、濱田芳道と細川大輔との共演でバロック音楽を演奏。ソウル日本文化センターは2名の招へい費を助成
66	第4回『雪国』文化紀行	大山文化財団	2011. 01. 19 ～ 2011. 01. 29	教保文庫会員など日本文学に関心を持つ韓国人25名が川端康成の『雪国』ゆかりの地を訪問し、日本の作家との対話を通して日本理解を深める機会を提供。ソウル日本文化センターは講演者である片山恭一（作家）の日本国内旅費を助成
67	B-boyスクリーニング及びB-boyパフォーマンス	オバン色プロジェクト	2011. 01. 25	B-boy文化へのオマージュとして作られたドキュメンタリー映画『プラネットB-boy』（監督：ベンソン・リー）の上映後、実際に出演した日本、韓国、フランス、アメリカのB-boyチームによるバトル公演を開催。ソウル日本文化センターは土屋祐輔を始めとする日本チーム2名分の招へい費を助成
68	日韓文化交流講演会「俳句ライブ」	ソウル俳句会	2011. 03. 05	夏井いつき（俳人）が講演を行い、日本語を学ぶ学生、社会人と共に日韓合同「俳句ライブ」を実施。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
69	Takagi Masakatsu YMENE Tour in Seoul	ギャラリーPost Poetics	2011. 03. 08 ～ 2011. 03. 20	美術と音楽の両方から人間の感性に訴える高木正勝の「YMENEツアー」。ピアノ独奏とともに映像を上映し、メディアアートの新しい試みを韓国市民に紹介。ソウル日本文化センターは同氏の招へい費を助成
70	チェルフィッチュ Hot Pepper, Air Conditioner and the Farewell Speech 公演	フェスティバルBOM	2011. 03. 24 ～ 2011. 03. 26	演劇カンパニー、チェルフィッチュを主宰する岡田利規がフェスティバルBOMと国立劇団の招へいを受け、新しく開館したペクソンヒ・ジャンミンホ劇場にて海外劇団として初めてフェスティバル開幕作を上演。ソウル日本文化センターは同氏ほか劇団員の招へい費を助成

海外拠点

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
71	Sweet Bossanova Naomi & Goro 公演	ストップミュージック、麻浦文化財団	2010. 04. 30	ボサノヴァ・デュオ・ユニットNaomi & Goroの韓国初単独コンサート。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与
72	日本渋谷系ミュージシャン・キャプテンファンク 来韓公演	JMCエンタテインメント	2010. 06. 05	日本渋谷系音楽の革命児である、キャプテンファンクの初アルバムリリースに伴う公演。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与
73	紀尾井シンフォニエッタ東京来韓公演	新日鐵文化財団	2010. 07. 15	日本の代表的な室内オーケストラ、紀尾井シンフォニエッタの韓国初公演。日韓クラシック音楽界の若手ホープである川瀬賢太郎とキム・テヒョンが共演。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与
74	アジアトップギャラリー・ホテルアートフェア	アジアトップギャラリー・ホテルアートフェア委員会	2010. 08. 27 ~ 2010. 08. 29	アジアの優秀なギャラリーが70余り集まり、アジアの主要コレクターを招へいして開く展示会。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与
75	Long Live Drawing! II — Exploring the Spatiality	大田広域市立美術館	2010. 09. 01 ~ 2010. 11. 21	2008年の「Long Live Drawing! I — デジタル時代のドローイング」に続き、2次元平面から離れ、3次元の空間に拡張していくドローイングの一傾向を紹介することで、進化・発展するドローイングの将来を提示。日本からは、丹羽陽太郎が参加。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与
76	空中キャンプ presents 「すばらしくてNICE CHOICE vol.10 in Korea - Fishmans and More Feelings Festival」	空中キャンプ	2010. 10. 13 ~ 2010. 10. 14	日韓のインディーズバンドの交流を目的に毎年開催されているインディーズコンサート。日本からは、フィッシュマンズ、OTOUTA、ヒックスヴィルが来韓。ソウル日本文化センターは、同事業に対して後援名義を付与

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
77	アジア・パシフィック・インターナショナルスクール学生ソウル日本文化センター訪問	アジア・パシフィック・インターナショナルスクール	2010. 04. 13	アジア・パシフィック・インターナショナルスクールの学生20名がソウル日本文化センターを訪問。文化情報室(図書館)や国際交流基金の活動を紹介
78	群山大学校日本語科学生向け講演会	群山大学校日本語科	2010. 04. 27	群山大学校日本語科の学生100余名に対しソウル日本文化センター所長が講演
79	延世大学校カントリーフェア	延世大学校 国際観光振興機構 (JNTO) ソウル事務所	2010. 05. 11 ~ 2010. 05. 12	延世大学校が主催する学園祭の一部であるカントリーフェアの中で、国際観光振興機構と共同で日本文化紹介ブースを設置し、浴衣着付け体験、風呂敷包み方体験講座を運営するとともに、ソウル日本文化センターの広報を実施
80	聖公会大学校日本語科学生ソウル日本文化センター訪問	聖公会大学校	2010. 06. 10	聖公会大学校日本語科の学生及び教養日本語を履修している学生26名がソウル日本文化センターを訪問。文化情報室(図書館)や国際交流基金の活動を紹介

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
81	春川農工高等学校学生ソウル日本文化センター訪問	春川農工高等学校	2010. 07. 30	春川農工高等学校の学生16名がソウル日本文化センターを訪問。文化情報室（図書館）や国際交流基金の活動を紹介
82	武庫川女子大学学生ソウル日本文化センター訪問	武庫川女子大学	2010. 08. 20	武庫川女子大学の学生8名がソウル日本文化センターを訪問。所長が講演
83	慶応大学スタディツアー	慶応大学	2010. 09. 07	慶応大学スタディツアーに参加する学生33名がソウル日本文化センターを訪問。所長が講演
84	山陽学園大学学生ソウル日本文化センター訪問	山陽学園大学	2010. 09. 07	山陽学園大学の学生12名がソウル日本文化センターを訪問。ソウル日本文化センター職員が講演
85	祥明大学校日語教育学科学生向け講演会	祥明大学校日語教育学科	2010. 11. 01	祥明大学校日語教育学科の学生を対象に、国際交流基金の日本語事業についてソウル日本文化センター職員が講演
86	円光大学校日本語科学生向け講演会	円光大学校	2010. 11. 05	円光大学校の学生40余名に対しソウル日本文化センター所長が講演
87	日本大学生代表団ソウル日本文化センター訪問	韓国国際交流財団 日韓文化交流基金	2010. 11. 10	韓国国際交流財団大学生招へいプログラムにより来韓した、日本の大学生30名がソウル日本文化センターを訪問。所長が講演
88	又石大学校学生向け講演会	又石大学校	2010. 11. 15	又石大学校の学生400余名に対しソウル日本文化センター所長が講演
89	2010ソウル芸術支援博覧会	ソウル文化財団	2010. 11. 19 ~ 2010. 11. 20	ソウル市主催で2009年から開催されている芸術支援博覧会。2010年は43団体が参加し多様な支援情報を芸術団体や芸術家に提供。ソウル日本文化センターも国際交流基金事業を紹介
90	高麗大学校学生向け講演会	高麗大学校	2010. 11. 25	高麗大学校の学生40余名に対しソウル日本文化センター所長が講演
91	全北大学校特別講座	全北大学校	2010. 11. 30	全北大学校の特別講座受講生30名及び日本関連学科学生40余名を対象とした講演会。「日韓文化交流」をテーマにソウル日本文化センター所長が講演

海外拠点

北京日本文化センター

合計額 85,780,718 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	いわさきちひろと日本の絵本展	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	財団法人いわさきちひろ記念事業団	2010.10.29 ~ 2010.11.20	財団法人いわさきちひろ記念事業団との共催により、日本の絵本の歴史を紹介する展示と、画家いわさきちひろの作品から成る展覧会を実施。開幕イベントとして、日本の絵本に関する講演会と、絵本の読み聞かせ、いわさきちひろの滲み絵画法の体験ワークショップも実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	J-pop in China 2011	北京	星光現場 (スターライブ)	在中国大使館 日本音楽情報センター (JAMIC)	2011.01.22	JAY' ED(J-popアーティスト)及び彩音(アニメソング歌手)によるライブと、観客とアーティストの交流会を実施
3	ふれあいの場「心連心」巡回コンサート	南京	南京大学	南京市政府 外事弁公室 金陵図書館 在上海総領事館	2011.03.13	日・中の歌手、巫慧敏(amin)、河口恭吾、城南海によるジョイントコンサートを実施。当初は、南京、重慶、長春、青島、北京に巡回を計画。しかし直前に発生した東日本大震災の影響で、南京以外の巡回は中止

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	小林三郎講演会「挑戦・独創・革新の企業文化～本質的熟慮のススメ」	北京	SK大厦40階 SUPEX Hall		2010.04.18	小林三郎(中央大学大学院経営戦略研究科客員教授/元本田技術研究所首席研究員、元本田技研工業(株)経営企画部長)による講演会。経験を通して学び取ったイノベーションの本質と、それを生み出すために必要な企業文化や個々人の仕事の取り組み方について、実践的かつ理論的な分析を提供
5	「アジアのポートレート」北野謙講演会	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2010.07.12	北野謙(写真家)作品の制作背景やポートレート文化に関する講演会を実施。写真の制作技術及びその技術による表現の相違点、また写真に対する探求心や創作への道を語り、石田留美子(東京都写真美術館学芸員)が北野作品の芸術界における意義などについてコメント

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	都道府県紹介シリーズ（第1回） 日本神話の郷—島根	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	財団法人自治体国際化協会（CLAIR） 独立行政法人 日本政府観光局（JNTO）	2010. 07. 22	中司弓彦（自治体国際化協会北京事務所職員／松江市職員）による出雲大社や宍道湖の夕日、地元の人しか知らない温泉、恋占いでも有名な八重垣神社など、魅力的な観光スポットの紹介。島根の伝統芸能、安来節を披露し、会場の希望者にも踊りを指導
7	都道府県紹介シリーズ（第2回） 日本美人の郷—新潟	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	財団法人新潟インダストリアルプロモーションセンター北京事務所 独立行政法人 日本政府観光局（JNTO）	2010. 07. 29	佐藤清隆（新潟市北京事務所副所長／新潟市職員）が新潟の四季折々の風景や食文化、新潟出身の漫画家や俳優、モデルを紹介。佐渡島出身で、世界で活躍する和太鼓チーム「鼓童」の映像を上映
8	都道府県紹介シリーズ（第3回） 美食王国北海道～おいしい北海道 おしゃれな札幌市	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	財団法人日中経済協会北京事務所札幌経済交流室 独立行政法人 日本政府観光局（JNTO） 北海道庁	2010. 08. 18	早田武志（北海道庁経済部商業経済交流課職員）、角田貴美、中島康成（財団法人日中経済協会北京事務所札幌経済交流室職員）が、「北海道遺産」「スープカレー」「ラベンダー」などキーワードによる北海道の特色、更に札幌発の洗練されたデザインブランド「札幌スタイル」や、「札幌シティJAZZ」、「北大（北海道大学）」など札幌の多彩な魅力を紹介
9	毛丹青講演会	長春 瀋陽	長春市図書館 瀋陽総領事館	在瀋陽総領事館	2010. 12. 25 ～ 2010. 12. 28	毛丹青（作家／神戸国際大学教授）を招き、日本の写真を使い「中国人から見た日本」について講演会を実施。また長春在住の田原洋之（写真家）が撮影した長春の町並みと自然風景43点の写真も併せて展示
10	都道府県紹介シリーズ（第4回） 美酒とおもてなしの高知！	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	高知県上海事務所 独立行政法人 日本政府観光局（JNTO）	2011. 01. 13	西川恭史（高知県上海事務所首席代表／高知県職員）による講演会。ビデオ上映、独特の文化や歴史に関する解説や、来場者も参加して高知県の座興杯である「べく杯」での酒宴風景の実演、クイズなどにより、高知県の魅力を紹介
11	都道府県紹介シリーズ（第5回） 福島に来ると福が来る！	北京	北京日本文化センター 多目的ホール	福島県上海事務所 独立行政法人 日本政府観光局（JNTO）	2011. 01. 26	渡部憲夫（福島県上海事務所副所長／福島県職員）による講演会。福島県は歴史的な施設・文化が数多く残っていることから、県の概要と観光地を紹介。また戊辰戦争の歴史や常磐炭鉱閉山後の温泉利用による産業振興についても紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	日本映画講演会「日本映画通史」	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2011. 02. 19	王衆一(『人民中国』総編集長)が、100年以上の歴史をもつ日本映画について、その歴史を顧みながら、海外、特にアジア・中国での受容、その影響について解説
13	日本音楽講演会「J-POP in China」	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2011. 02. 21	長年中国で日本の流行音楽普及活動を行ってきた朱根全(日本音楽情報センター長)による、映画・ドラマ・アニメ・ゲームのテーマソングやカラオケ音楽、中国で開催された日本人歌手のコンサート、中国における日本音楽の普及とその将来、著作権問題等に関する講演を実施
14	日本アニメ講演会 「日本アニメー宮崎駿を中心に」	北京	北京日本文化センター 多目的ホール		2011. 02. 22	秦剛(北京日本学研究中心助教授)による宮崎駿論。『崖の上のポニョ』(宮崎駿、2008)を中心に、彼がこの作品で描こうとした文化的深層について分析して解説することにより、日本アニメの表現手法と、それによって表現される世界観を紹介
15	茶道レクチャー・デモンストレーション <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ウランバートル(モンゴル)	モンゴル国立大学 モンゴル日本センター	在モンゴル大使館	2011. 03. 08 ~ 2011. 03. 10	坂井晴美(裏千家天津出張所講師)ほか計4名をウランバートル(モンゴル)に派遣し、日本語を学ぶ学生や一般市民を対象に、茶道のデモンストレーションを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本映画上映会	北京	北京日本文化センター		2010. 04. 01 ~ 2010. 08. 07	四半期に1回を目安に、「春の上映会」(10. 04. 23~24)、「夏の上映会」(10. 08. 06~07)を実施。「山田洋次特集」は2011年3月に実施予定であったが、東日本大震災の発生により中止
17	巡回展「手仕事のかたち」開幕イベント 映画『めぐる』の上映会とトークセッション	北京	SKビルSUPEXホール		2010. 12. 11	国際交流基金本部「海外展(巡回展)」プログラムによる「手仕事のかたち-伝統と手わざ」展(10. 12. 11~11. 01. 08)の北京日本文化センターでの開催に際し、日本最古の染色技法「木版染め」の職人を追ったドキュメンタリー映画『めぐる』の上映及び石井かほり(映画監督)のトークセッションを実施

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
18	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本文化、日本語教育関係書籍・資料、視聴覚資料を備えた図書館の運営 ①所蔵資料合計： 16,370点 (内訳：日本語図書 12,014冊、 中国語、英語図書 3,251冊、 DVD 133点、CD 604点、ビデオ 368本) ②利用者数(年間)： 14,410名 ③貸出点数(年間)： 11,748点 ④レファレンス件数(年間)： 4件 ⑤図書館用リーフレット作成： 4,000部

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
19	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本文化センターの事業紹介、イベント告知、実施報告等を画像と共に掲載 URL: http://www.jpfbj.cn/ アクセス件数(年間)：268,605件
20	ニューズレター『てふてふ』発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本文化センター事業の広報や報告、日本語教育情報等を掲載するニューズレターを年3回(8月、11月、3月)各3,000部作成・配布

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	留華ネット第17回ミーティング	北京	北京日本文化センター会議室		2010.05.22 ~ 2010.05.23	中国各地の日本人留学生のネットワークである留華ネットの各都市代表メンバーたちが、それぞれの地方での日中交流事業に関する情報を報告しあい、意見交換を行った後、次回のミーティング企画等について話し合いを実施
22	折り紙教室	北京	北京日本文化センター多目的ホール		2010.07.17	北京在住の折り紙愛好家三瓶つやこを講師に招き、2部構成で実施。参加者は合計80名。第一部はコマ、第二部はバラを制作
23	第19回留華ネットミーティング	北京	北京日本文化センター会議室		2010.12.18 ~ 2010.12.19	中国各地の日本人留学生のネットワークである留華ネットの各都市代表メンバーたちが、それぞれの地方での日中交流事業に関する情報を報告しあい、意見交換を行った後、次回のミーティング企画等について話し合いを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	折り紙教室	北京	北京日本文化センター会議室		2010. 12. 22 ～ 2010. 12. 23	北京在住の折り紙愛好家三瓶つやこを講師に招き、2日間に分け、クリスマスツリーとサンタクロースを制作。参加者合計40名
25	日本研究・知的交流フェロー等懇談会	北京	北京市亮馬河大廈3階紫金ホールB		2011. 03. 12	国際交流基金の日本研究フェローや北京日本学術センター、北京大学現代日本研究コース、知的交流事業被招へい者、21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme: Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths）による被招へい者等北京日本文化センター経由の招へいプログラム経験者を集め、意見交換やネットワーク拡大の機会を提供

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
26	草場地 春の写真祭 2010	三影堂撮影芸術中心	2010. 04. 15 ～ 2010. 06. 30	アルル国際写真フェスティバル(フランス)に縁のある写真家の個展、日中仏等の写真評論家による「写真芸術の方向性」シンポジウム、ポートフォリオ・レビュー（若手写真家と国際的な評論家の交流の場を提供）等、草場地芸術区と798芸術区のアート・エリアで計32の展覧会と8つのイベントを実施。北京日本文化センターは、飯沢耕太郎(写真評論家)、笠原美智子(東京写真美術館学芸員)など専門家がシンポジウムに参加し講演を行うための旅費の一部を助成
27	原一男映画回顧展	草場地工作駅	2010. 04. 27 ～ 2010. 05. 05	原一男(映画監督)を北京に招へいし、北京2カ所(草場地工作駅、イベリア現代芸術センター)で計4本の作品上映と観客との交流会、日本のドキュメンタリー映画研究者を交えたフォーラム、中国の映画関係者との交流会を実施。また、上海でも3つの大学(復旦大学、上海戯劇学院、同済大学)にて上映会・交流会を開催。北京日本文化センターは、同監督の招へい旅費、謝金を助成
28	2010年上海和の美日本文化祭	KIM中日文化交流会	2010. 05. 01 ～ 2010. 05. 10	上海の豫城時尚噴水広場にステージを設け、和太鼓、沖縄エイサー、剣道、着物、茶道、華道などのパフォーマンスを実施。また、その周辺に設けられた体験コーナーでは、日本の伝統的ゲーム(カルタ、剣玉、羽子板)や折り紙、浴衣試着などを実施。北京日本文化センターは、出演者に対する謝金を助成
29	Asia 山水 Art Project	Asia山水Art Project実行委員会	2010. 05. 08 ～ 2010. 05. 30	日中韓の若手山水画アーティストによる展覧会を中心に、李零(北京大学教授)による「山水/環境/考古学」、五十嵐太郎(建築史家/東北大学大学院教授)による「景観/設計/建築」と題する講演会、パズルで山水画を学ぶ子供向けワークショップなどから成るプロジェクトを実施。山水画という日中韓の共通文化を機軸に、自然と人間の共生というメッセージを発信。北京日本文化センターは、講師の旅費、滞在費、施設使用料の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
30	MATSURI 2010・大連	大連留学生社団 (Dalian International Students Association: D. I. S. A.)	2010. 06. 26	大連中山区青泥洼橋小学校のグラウンドにて、ステージイベント、縁日、盆踊り、屋台や日本語コーナーを実施。北京日本文化センターは、施設借料、会場設置費、資料印刷費の一部を助成
31	『環境経営の分析』中国語版の翻訳・出版	北京中国政法大学出版社	2010. 08. 01 ~ 2011. 03. 31	金原達夫・金子慎治著『環境経営の分析』（白桃書房、2005年）の翻訳。日本企業の環境保全に関する経営戦略と方針、組織体制構築や強化、生産の推進及び環境マーケティングといった日本の学術研究と実践理念を中国の読者に紹介。北京日本文化センターは、本書中国語版の印刷・出版経費の一部を助成
32	国際学術シンポジウム 「東アジア地方政府改革比較」	山西大学政治与公共管理学院	2010. 08. 24 ~ 2010. 08. 25	北京大学日本研究センターと山西大学政治公共管理学院が、「東アジア地方政府改革比較」をテーマに共催した国際シンポジウム。東アジア国家と地域における地方自治、地方行政の改革、中央政府と地方政府との関係、行政文化が地方行政改革へ与える影響について研究発表。北京日本文化センターは、シンポジウムに出席した専門家の旅費・滞在費及び謝金の一部を助成
33	国際学術会議 「中国30年日本文学研究の成果と方法」	清華大学外国語学部	2010. 08. 28	北京大学出版社と清華大学外国語学部が「中国30年日本文学研究の成果と方法」をテーマに学術会議を共催。川本皓嗣（元国際比較文学協会主席／日本大手前大学元学長）、藤原克己（東京大学文学部教授）、嚴安生（北京日本学研究中心元中国側主任）、嚴紹盪（北京大学比較文学文化研究所教授）による基調講演のほか、外国文学研究や比較文学研究、翻訳研究で著名な楊慧林（中国比較文学学会副会長／中国人民大学副学長）、孟華（北京大学フランス研究センター主任）、謝天振（上海外国語大学高級翻訳学院翻訳研究所所長）による個別セッションを実施。北京日本文化センターは、専門家の旅費、滞在費、施設使用料の一部を助成
34	北京大学・京都大学 異文化学生交流プログラム	北京大学中日交流協会	2010. 09. 03 ~ 2010. 09. 11	伝統文化保護、環境問題、農業の現代化の3つをテーマに、北京大学と京都大学の学生約40名ずつが3チームに分かれて討論、北京市内の関連施設の参観を行い、最終的な成果・提案をプレゼンテーション。北京日本文化センターは、参加学生の宿泊費、会場使用料、資料印刷費の一部を助成
35	第5回渥美国際交流奨学財団関口グローバル研究会 (SGRA) チャイナ・フォーラム in フフホト	内蒙古大学蒙古学研究センター	2010. 09. 13	内モンゴルの環境問題とその解決のための日中協力の可能性について、山西省と内モンゴルに共通する「地下資源開発」をテーマに検討し、環境問題を克服した日本の経験及び地下資源枯渇防止対策について、ネメフジャルガル（内蒙古大学蒙古学研究センター研究員）、高見邦雄（緑の地球ネットワーク事務局長）、ブレンサイン（滋賀県立大学人間文化学部准教授）によるパネルディスカッション形式で討議。北京日本文化センターは、専門家の宿舎費、通訳謝金、会場使用料の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
36	『日本農業150年—1850～2000年』中国語版の翻訳・出版	南京農業大学	2010.10.01～2011.3.31	胡浩（南京農業大学教授）、周応恒（南京農業大学教授）、張玉林（南京大学教授）が、暉峻衆三著『日本の農業150年』（有斐閣）を中国語に翻訳し2011年4月に出版。本書は明治維新から一世紀半にわたる日本農業の問題を系統的に取り上げ、戦後の日本農業政策の変革を重点に紹介。北京日本文化センターは、印刷・製本経費の一部を助成
37	「海大日本研究」（創刊号）出版	中国海洋大学	2010.10.01～2011.03.31	2010年5月に新設された中国海洋大学日本研究所の活動を支援するため、北京日本文化センターは学術紀要（年刊：発行部数1,000部）の出版経費の一部を助成
38	国際学術シンポジウム「神道と日本文化」	中国社会科学院日本研究所	2010.11.11～2010.11.12	藪田稔（国際神道学会会長／京都大学名誉教授）、王守華（中国日本哲学会名誉会長／浙江大学教授）など日中の神道と日本文化の専門家約40名が参加し、神道の本質、神道と日本人の宗教心、日本人の自然観、倫理観、死生観、美意識、日本文化の性格、天皇制、日本社会、及び神道思想の現代的意義などについて議論。北京日本文化センターは、専門家の宿泊費、謝金、会場使用料、資料印刷費の一部を助成
39	「孫中山と梅屋庄吉展」及び関連シンポジウム	武漢大学	2010.12.11～2010.12.19	孫中山（孫文）と梅屋庄吉の交流に関する史料の展示及び「辛亥革命と日本」をテーマとしたシンポジウムを実施。北京日本文化センターは、西原春夫（特定非営利活動法人アジア平和貢献センター理事長）の旅費、施設使用料の一部を助成
40	国際シンポジウム「日中文化交流2000年：回顧と展望」	北京市中日文化交流史研究会	2010.12.17～2010.12.19	奥村哲（首都大学東京教授）、依田熹家（早稲田大学名誉教授）、王敏（法政大学教授）などが参加し、中国の学者と古代から中世・現代にわたる文化思想、政治、経済、社会、文学、芸術、科学技術、教育、宗教など幅広い分野における日中文化交流史を回顧。北京日本文化センターは、専門家の旅費、会場借料、通訳者謝金の一部を助成
41	『日本少年事件関連制度研究』の出版	北京中国政法大学出版社	2011.01.01～2011.03.31	呉海航（北京師範大学法学院教授）著書を中国政法大学出版社より2011年4月刊行。日本における少年の権利保護制度の歴史、少年犯罪者の権利保護に関する法律体系の構造、少年事件の処理、少年犯罪の予防と矯正制度、矯正施設の構造、少年事件の社会的影響と総合理論対策について述べる。中国の事情との比較を通して、少年教育への有効な方法を模索。北京日本文化センターは、本書刊行のための印刷・製本経費の一部を助成
42	学術会議「日本マルクス主義研究の成果と現状」	中国社会科学院哲学研究所	2011.03.12	中国社会科学院哲学研究所と清華大学が共同で、「日本マルクス主義研究の成果と現状」に関する学術会議を開催。当該分野の研究者である内田弘（専修大学名誉教授）を招へいし、韓立新（清華大学教授）とともに、「『経済学批判要綱』は哲学史上の如何なる問題を解決したか」と題する基調講演を実施。日本のマルクス主義研究の性格、特徴及び日中マルクス主義研究の異同について分析、検討。北京日本文化センターは、基調講演者の旅費、謝金、資料作成費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
43	アニメ講演会	南京市人民政府対外友好協会	2011. 03. 12	『City Hunter』、『北斗の拳』、『キン肉マン』に出演し中国の青少年の間で人気の高い神谷明（アニメ声優）による現代日本アニメ文化に関する講演会。南京ジャパンウィークの一環として実施。北京日本文化センターは、講演者の旅費、宿泊費、謝金を助成
44	コスプレコンテスト	南京市人民政府対外友好協会	2011. 03. 12	南京師範大学動漫社、南京モンスターハンター、東方プロジェクトなど南京市内のコスプレ同好会メンバーが出演し、コスプレコンテストを実施。南京ジャパンウィークの一環として実施。北京日本文化センターは、日本からの出演者の派遣及びイベント実施に係る経費の一部を助成
45	東京カワイイコレクション	南京市人民政府対外友好協会	2011. 03. 12	日本の若者の間で流行している「ロリータファッション」をファッションショー形式で紹介。ロリータファンの間でも人気の高い青木美沙子（外務省「カワイイ大使」/元モーニング娘）も参加。南京ジャパンウィークの一環として実施。北京日本文化センターは、会場設営費、出演者手配業務委託費の一部を助成

海外拠点

ジャカルタ日本文化センター

合計額 101,512,506 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	いけばなインターナショナル展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部	2010.04.21 ~ 2010.04.22	いけばなインターナショナル・ジャカルタ支部と共催で、いけばな展を開催。池坊、一葉式、小原流、桂古流、草月、未生流、松風花道会の所属全7派の作品70点を展示。会期中、ふろしきと手毬のワークショップを実施
2	アルベルト・ヨナタン・スティアワン Liminal Being 展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010.05.05 ~ 2010.05.19	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)東アジア・クリエイター招へいプログラム第2期の被招へい者、アルベルト・ヨナタン・スティアワン (Albert Yonathan Setyawan) が「滋賀県立陶芸の森」滞在中に制作した作品を集めた陶芸作品展を開催。オープニング・イベントとして、帰国報告会を兼ねたアーティスト・トークを実施
3	「京都」写真展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー		2010.05.17 ~ 2010.06.02	ジャカルタ日本文化センターが所蔵する『京都写真展』展示パネルセットを利用し、「京都」写真展を開催。1993年から始まったJR東海キャンペーン『そうだ 京都、行こう。』の広告で使用された作品を中心に26点を展示したほか、京都に関するDVD上映とともに、国際観光振興機構(JNTO)提供の京都観光資料を配布
4	ふろしき展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー及び多目的室		2010.06.07 ~ 2010.06.25	ふろしき(伝統的文様ふろしき6点、国際交流基金JFオリジナルふろしき6点)、ふろしきを用いた包装例(20点程度)、JFオリジナルふろしきポストカードを展示するとともに、展示期間中に、ふろしきの包み方の入門ワークショップを計3回実施。ワークショップの講師はセンター職員が務め、各回1時間。参加者は延べ72名。30名がオブザーバー参加
5	NEOPionシリーズ 芸術系4大学合同展 <i>FOUR PLAY</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター・ホール及びミニギャラリー	ジャカルタ芸術大学 バンドン工科大学美術学部 インドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校 インドネシア国立芸術大学ソロ校	2010.07.09 ~ 2010.07.22	インドネシア国内の主要芸術系大学4校(ジャカルタ芸術大学、バンドン工科大学美術学部、インドネシア国立芸術大学ジョグジャカルタ校、同大学ソロ校)の在校生、同窓生、講師約40名の作品60点(絵画、彫刻、陶芸、インスタレーションなど)を展示。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、インドネシアと日本との芸術交流を担う若い世代のインドネシア人芸術家に、展示・演劇・映画上映会等の開催を支援するプログラム、「ネオ・ピオン(NEOPion)」事業の一環として実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	日本の伝統手芸「手毬」展とワークショップ	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	インドネシア手毬協会	2010.08.06 ~ 2010.08.26	ジャカルタ在住の日伊手毬愛好家(インドネシアてまり協会会員や主婦)との共催で、日本の伝統手芸「手毬」をインドネシアで初めて紹介。インドネシア人の色彩感覚で作られた色鮮やか且つ斬新なデザインの手毬を展示(手毬を利用したオブジェ作品22点、手毬個別展示31点)したほか、手毬制作ワークショップ(1回2時間、定員30名×2回)を実施
7	写真展「素晴らしきインドネシア・日本」	ジャカルタ	ホテル日航ジャカルタ 独立記念塔前広場	エプソン・インドネシア ジャカルタ日本祭り実行委員会 パナソニック ホテル日航ジャカルタ	2010.09.25 ~ 2010.10.03	インドネシアの風景・人物を撮影したインドネシア在留邦人の写真、日本の風景・人物を撮影したインドネシア人の写真などを展示する写真展。当地の邦字紙「じゃかるた新聞」が「第2回ジャカルタ日本祭り」事業として主催する事業に、ジャカルタ日本文化センターは共催者として、備品の貸与及び広報を担当
8	「小原流」華道教室修了展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター多目的室及びミニギャラリー	小原流インドネシア支部	2010.09.30 ~ 2010.10.02	2010年05月から09月まで、ジャカルタ日本文化センターで行われた「小原流」華道教室の受講生に修了証書を授与するとともに、受講修了展として、講師と受講生25名によるいけばな展を開催。約30点を展示
9	NEOPionシリーズ 写真展 <i>Jepang Hoi-Hoi</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010.10.15 ~ 2010.10.25	ビデオ・アーティストやイラストレーターとして活躍中のレイ・ナヨアン(Ray Nayoan)、ソロモン・シホンビン(Solomon Sihombing)、ユリアン・アルディ(Yulian Ardhi)の若手アーティスト3名が、日本を旅してカメラに収めた「日本」の姿を、写真だけでなく、ビデオやインスタレーションなどマルチメディアを駆使して展示する合同展を開催。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、インドネシアと日本との芸術交流を担う若い世代のインドネシア人芸術家に、展示・演劇・映画上映会等の開催を支援するプログラム「ネオ・ピオン(NEOPion)」事業の一環として実施
10	アエンドラ・メディタ写真展「フォトグラフィコンー広告ではなく」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010.11.09 ~ 2010.11.19	インドネシア社会に広く普及している日本製品(特に四輪車、二輪車)のロゴを、日本文化のアイコンとして写真で表現した美術展。アエンドラ・メディタ(Aendra Medita:写真家)が撮影した写真(25作品)を、ウィチャクソノ・アディ(Wicaksono Adi)のキュレーションで展示

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	フィルマン・ウィディアスマラ作品展「チリ君の誕生」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	MOXIE Indonesia	2010. 11. 15 ～ 2010. 11. 29	21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)東アジア・クリエーター招へいプログラム第3期の被招へい者、フィルマン・ウィディアスマラ(Firman Widyasmara:アニメーション作家)の帰国報告として、同氏が大阪電気通信大学における研修で制作したキャラクターを紹介する「チリ君の誕生」展、日本のアニメーション事情などについてのアーティスト・トークやストップ・モーション・アニメーションのワークショップを開催
12	池坊インドネシア支部設立30周年記念いけばな展	ジャカルタ	ホテル日航ジャカルタ	池坊インドネシア支部	2010. 11. 26 ～ 2010. 11. 28	池坊インドネシア支部によるいけばな展。池坊専永(池坊家元)のインドネシア訪問記念式典の他、インドネシア支部教諭・生徒らによる作品を展示
13	第15回日本インドネシア児童画展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ・ジャパンクラブ(JJC) ジャカルタ日本人学校(JJS)	2010. 12. 15 ～ 2010. 12. 22	「未来の世界」をテーマに、日本とインドネシア児童画展を開催。各学校より推薦されたインドネシア人児童の絵画405点を審査し、うち110点を展示、各学年別(幼稚園、小学低学年、小学高学年、中学)の優秀作品16点を表彰。日本人学校(JJS)より選抜された日本人児童の作品82点、インドネシアの特別支援学校生の作品31点も同時に展示
14	浮世絵展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー		2011. 01. 06 ～ 2011. 03. 25	ジャカルタ日本文化センター所蔵の「浮世絵」展示セットによる浮世絵展。期間中、美人画・歌舞伎画、風景画、花鳥風月など3つのテーマで展示替え
15	NEOPionシリーズ <i>Medium X</i> 展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	アーティスト集団ポックジャジャムバトゥ(POKJAJAMBUBATU)	2011. 01. 27 ～ 2011. 02. 11	イスロル・トリオノ(Isrol triono)、アリフ・ヒダヤトゥッラー(Arif Hidayatullah)、アリウォウォン(Ariwowon)等が所属する若手アーティスト集団「POKJAJAMBUBATU」による作品展 <i>Medium X</i> を開催。絵画、ドローイング、インスタレーション、グラフィック、アート・ビデオ、コミック、クレイ・アートなど様々な形態のコンテンポラリー作品を展示し、クレイ・アートのワークショップを開催。ジャカルタ日本文化センターが進めている、将来、インドネシアと日本の芸術交流を担う若い世代のインドネシア人芸術家に、展示・演劇・映画上映会等の開催を支援するプログラム、「ネオ・ピオン(NEOPion)」事業の一環として実施
16	日本人形展	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2011. 03. 24 ～ 2011. 04. 08	ジャカルタ在住の日本人形収集家アントン・ノフィアント(Anton Nofianto)の所蔵品から、雛人形と五月人形を中心に40点程を展示

海外拠点

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	トワイライト・ユース・オーケストラ公演 <i>Kemenangan</i>	ジャカルタ	ウスマル・イスマイル・ホール	トワイライト・ユース・オーケストラ	2010.05.08 ~ 2010.05.09	インドネシアの青少年オーケストラ「トワイライト・ユース・オーケストラ」が、日本人の若手演奏家3名(群馬ジュニア・オーケストラ所属)を招きコンサートを開催。トリスジ・カマル(Trisuji Kamal:インドネシア人作曲家)による <i>Kemenangan</i> (勝利)、シベリウス『フィンランディア』、ボロディン『交響曲第2番』を協演。日本とインドネシアの若手によるクラシック音楽交流事業。ジャカルタ日本文化センターは、主に事業広報を担当
18	日本・インドネシア共同制作 劇団ハボン・シアター <i>OBASUTE</i> (姥捨)公演	ジャカルタ	ジャカルタ・コミュニケーションクラブ ジャカルタ芸術大学内テアトル・ルウェス	インドネシアふるさと創生財団 ジャカルタ・コミュニケーションクラブ ジャカルタ芸術大学 劇団ハボン・シアター	2010.07.24 ~ 2010.07.26	名古屋を中心に活動する劇団「ハボン・シアター」の演劇作品『姥捨』を元に、ジャカルタ芸術大学舞台芸術学部との共同制作による新作 <i>OBASUTE</i> を上演。計3回の公演に加え、ジャカルタ芸術大学と学生劇団En塾との演劇ワークショップ、音楽を担当した大脇薫、知久寿焼もそれぞれコンサートを実施。ジャカルタ日本文化センターは、日本とインドネシアの関係団体の仲介・調整及び広報に協力
19	インドネシア・ドラマティック・リーディング・フェスティバル	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	インドネシアドラマティック・リーディング・フェスティバル実行委員会 ロンタール財団	2010.11.24 ~ 2010.11.26	「インドネシアのリアリズム演劇を見直す」をテーマに、3日間で6本の戯曲をインドネシアを代表する劇団の俳優らがリーディング上演。「アジア劇作家会議09」でも上演された坂手洋二『屋根裏』、鄭義信『杏仁豆腐のココロ』、ラエタ・プリゾン・ブコイ(フィリピン)『ドクター・レスレクション: 町を治療します』の3作品を初めてインドネシア語で上演したほか、インドネシアの戯曲(古典2本、新作1本)も上演。インドネシアの演劇関係者が一堂に会する機会に、ディスカッションも併せて開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	JENESYS帰国報告会(グループF)「地域が担う平和構築」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	ANBTI(多様性の中の統一国家同盟) ARTI(アクション研究・トレーニング研究所) Kontras(暴力被害者及び行方不明者支援委員会)	2010.06.09	平成21年度「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」東アジア次世代リーダー招へいプログラム・グループF(テーマ:「アジア・オセアニア地域の青年が担う包括的平和構築:文化、教育の可能性」)参加者Harla Sara OCTARRA(アクション研究・トレーニング研究所(ARTI)エグゼクティブ・ディレクター)による帰国報告会を開催。日本で得た知見をインドネシア人関係者に還元するだけでなく、インドネシアで平和構築に取り組んでいる外国人関係者も招いて、当地におけるさまざまな取組みも紹介。平和構築について議論し、理解を深める機会を提供

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	稲積君将アニメーション・セミナー	ジャカルタ ジョクジャカルタ バンドン	ジャカルタ日本文化センターホール タマン・ブダヤ・ジョグジャカルタ タマン・ブダヤ・バンドン	セット財団 株式会社ナイス・デー	2010.07.25 ~ 2010.08.01	ストップ・モーション・アニメーション(静止物体を1コマ毎に少しずつ動かしかメラで撮影し、連続して動いているように見せる撮影技術、いわゆる「コマ撮り」)を専門とする若手アニメーション作家・稲積君将を招き、ジャカルタにてワークショップ、バンドン及びジョグジャカルタでセミナーを実施。地方で開催したセミナーは、ガリン・ヌグロホ(映画監督)が主宰するセット財団と共催。同財団が主催する若手向け映画セミナーINDIE MOVIE 2010の一環として実施
22	JENESYS帰国報告会(ESDグループ) 「持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development)と環境教育」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010.07.30	平成22年度「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」東アジア次世代リーダープログラム(市民交流招へい)・ESDグループ(テーマ:「自然と文化による豊かな環境づくり:持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development:ESD)と環境教育」)参加者による帰国報告会を開催。日本における環境問題や環境への取組み、地元学といった地域振興策について、水俣市の例を取り上げて紹介。日本で得た知見をもとに、インドネシアの環境保全や開発にどのように活かしていけるのかについて意見を交換
23	日本料理セミナー「日本とインドネシアの食文化を探る」	ジャカルタ	日本料理レストランbasara	特定非営利活動法人日本料理文化交流協会 レストランbasara	2010.09.28	「ジャカルタ日本祭り2010」の一環として、小山裕久(特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長)を迎え、日本料理セミナーを開催。焼き鳥とサテ(インドネシア風焼き鳥)を例に取り、それぞれの歴史的背景、調理法の相違点等を講義、デモンストレーションを実施。ジャカルタ日本文化センターは共催者として、広報、参加申込受付、機材貸与などを担当
24	日本映画に関するパブリックレクチャー「最近の日本映画」	ジョクジャカルタ	ガジャマダ大学文学部講堂	ガジャマダ大学文学部日本語学科	2010.10.08	ジョグジャカルタのガジャマダ大学文学部日本語学科と共催で、平野共余子(国際日本文化研究センター特別客員教授)による最近の日本映画に関する公開講演会及び映画『百万円と苦虫女』(タナダユキ、2008)上映会を開催。講演では、最近の日本映画の公開本数や興行成績などの基礎データや国内外で話題になった映画を、映像を交えながら紹介
25	JENESYS帰国報告会(グループG) 「伝統文化の多様性の保存」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010.11.30	平成22年度「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」東アジア次世代リーダー招へいプログラム・グループG(テーマ:「文化の多様性の再認識:アジア・オセアニア地域の可能性」)参加者Seputro Muhammad Endy(ガジャマダ大学大学院)による帰国報告会を開催。日本における伝統文化保護の取組みを紹介し理解を深めると同時に、日本で学んだことがインドネシアにおいて、どのように生かせるのかについても議論

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	アートマネジメント及び舞台マネジメントセミナー	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	クロラ財団	2010. 12. 08 ~ 2010. 12. 09	インドネシアの若手アーティスト、舞台関係者14名を対象にアート・マネジメント(主に舞台芸術分野と舞台マネジメント)に関する2日間の集中講義を実施。講師はサリ・マジッド(Sari Madjid: 劇団「デアトル・コマ」プロデューサー)とジョハン・ディディック(Johan Didik: 舞台監督)が務めた
27	JENESYS帰国報告会 (Community Designグループ) 「文化を通じたまちづくり」	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2011. 01. 10	平成22年度「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme)」東アジア次世代リーダープログラム(市民交流招へい)・まちづくりグループ(テーマ:「自然と文化による豊かな環境づくり:文化による環境を活かしたまちづくり-文化財の創造的継承の取り組み」)参加者による帰国報告会を開催
28	セミナー <i>The State of the Nation and Democracy in Japan</i> (日本の国家と民主主義)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2011. 02. 25	単一民族国家であるといわれてきた日本の国家の実相や、近・現代日本における国家と民主主義の相関関係を検証することにより、近代日本の国家の歴史やそのあり方を考察するセミナーを開催
29	パブリック・レクチャー <i>Nasionalisme dan Demokrasi di Jepang</i> (日本のナショナリズムとデモクラシー)	スラバヤ	アイルランガ大学人文学部講堂	アイルランガ大学人文学部	2011. 02. 28	単一民族国家であるといわれてきた日本の国家の実相や、近・現代日本における国家と民主主義の相関関係を検証することにより、近代日本の国家の歴史やそのあり方を考察するセミナーを開催
30	セミナー「都市化の課題を考えるーアジアのムスリムの視点」			国立イスラーム大学ジャカルタ校大学院	2011. 03. 22	平成21年度から開始した、東南アジア若手ムスリム知識人グループ招へいプログラムのフォローアップ事業として、都市化の課題をテーマに、同事業の参加者が日本での体験を踏まえて発表。また、ムスリム知識人と日本の知識人とのネットワークの強化を図るべく、見市建(岩手県立大学総合政策学部准教授)を基調講演者として招き、日本とインドネシアを比較しながら都市化の課題について講演

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
31	日本映画上映 1 ジャカルタ日本文化センター定期上映会 (第1四半期)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 04. 01 ~ 2010. 06. 30	国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)をセンターホールで上映。第1四半期は、『ガメラ 大怪獣空中決戦』(金子修介、1995)や『回路』(黒澤清、2001)等、サムライ、沖縄、特撮・ホラーのテーマで特集上映(計14本を21回上映)を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	日本映画上映 2 「シネマ・キャラバン」 (第1四半期)	ジャカルタ バンドン バンドン ブカシ	M. H. タムリン国立高校 カイゼン・ラブズ・スクール 中等部 セント・アンジェラ高校 セトゥ第1国立高校	M. H. タムリン国立高校 カイゼン・ラブズ・スクール 中等部 セント・アンジェラ高校 セトゥ第1国立高校	2010. 04. 01 ~ 2010. 06. 30	「シネマ・キャラバン」の事業名称で、国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)を利用して、年間を通じ映画上映会をジャカルタ日本文化センター外で実施。また上映会の前後に、短い日本文化紹介セッションや折り紙やふろしきなど簡単な日本文化体験ワークショップを加えて総合的な日本文化紹介事業とした。第1四半期は、ジャカルタ首都圏の中学・高校の計4校で『スウィング・ガールズ』(矢口史靖、2004)を上映
33	日本映画上映 3 各種映画祭 (第1四半期)	ジャカルタ	キネフォーラム プラザ・インドネシア	キネフォーラム グラリ児童映画祭事務局	2010. 04. 01 ~ 2010. 06. 30	インドネシアで映画上映を専門に行う非営利団体と共催して日本映画を上映。第1四半期には、キネフォーラムの特集上映会及びグラリ児童映画祭にて、国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)『遙かなる甲子園』(大澤豊、1990)『千羽鶴』(吉村公三郎、1953)計3本を、それぞれ7回上映
34	インドネシア国際児童映画祭	ジャカルタ	ブリッツ・メガプレックス	カルヤナ・シラ財団	2010. 04. 16 ~ 2010. 04. 25	聾の少女が健常者のダンス仲間と友情を深めながら踊りに取り組む青春映画『あぜみちジャンピン!!』(西川文恵、2009)を2回上映。同監督のポスト・トークも実施。同映画は、本映画祭で審査員特別賞を受賞
35	インドネシア女性映画祭	ジャカルタ	サリハラ劇場	カルヤナ・シラ財団 コミュニタス・サリハラ ジャーナル・プルンプアン誌	2010. 04. 21 ~ 2010. 04. 27	インドネシアの代表的な女性映画祭において、戦後の日本女性の地位向上と男女平等社会の実現のために、様々な活動を行ったベアテ・シロタ・ゴードンの生涯を描いたドキュメンタリー映画『ベアテの贈り物』(藤原智子、2004)を上映。ジャカルタ日本文化センターは共催者としてフィルム提供及び広報を実施
36	ドキュメンタリー映画『マス・エンダン』上映会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ・ジャパン・ネットワーク (J2Net)	2010. 08. 03	宮崎県で日本人中学生2名を救助中に命を落としたインドネシア人漁業研修生、エンダン・アリピンの足跡をたどるドキュメンタリー映画『マス・エンダン』(企画・制作: 井上実由紀・村沢崇宏、2008)の上映会を2回実施。上映はさんで、映画制作にあたった井上実由紀によるトークやJ2netの活動説明も実施
37	日本映画上映 1 ジャカルタ日本文化センター定期上映会 (第2四半期)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2010. 08. 18 ~ 2010. 08. 27	国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)をセンターホールで上映。第2四半期は、「子供時代」をテーマに特集上映を実施。『少年時代』(篠田正浩、1990)『二十四の瞳』(浅間義隆、1987)『次郎物語』(森川時久、1987)など計7本を7回上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	日本アニメ映画祭	ジャカルタ	Blitzmegaplex Grand Indonesia	ジャカルタ日本祭り実行委員会 在インドネシア大使館	2010. 09. 25 ～ 2010. 10. 03	第2回「ジャカルタ日本祭り」にあわせ、在インドネシア大使館及びジャカルタ日本文化センター等が共催でアニメ映画を上映。ジャカルタ日本文化センターからは、ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品『雲の向こう、約束の場所』（新海誠、2004）『秒速5センチメートル』（新海誠、2007）を提供。また大使館からは『ドラえもん のび太の恐竜2006』（渡辺歩）が提供され、計3本の映画を延べ24回上映。「ジャカルタ日本祭り」は、2008年の日本・インドネシア国交樹立50周年を機に深まった日伊友好交流を継続して促進する目的で2009年に開始された。ジャカルタ日本祭り実行委員会が運営、ジャカルタ州政府の協力も得て開催されている
39	Q! フィルムフェスティバル	ジャカルタ	エラスムス・ハウス キネフォーラム ゲーテ・インスティトゥート フランス文化センター	Q!映画祭実行委員会	2010. 09. 27 ～ 2010. 10. 02	同性愛者等マイノリティの権利向上などを目的とした映画祭。ゲーテ・インスティトゥート、エラスムス・ハウス、フランス文化センター等、欧州の各文化交流機関とともに会場提供及び映画フィルムの出品に協力
40	日本映画上映 2 「シネマ・キャラバン」 （第3四半期）	ジャカルタ	ウスマ・ブキット・インダー	ブキット・インダー文化祭実行委員会	2010. 10. 01 ～ 2010. 12. 31	「シネマ・キャラバン」の事業名称で、国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム）を利用して、ジャカルタ日本文化センター外での映画上映会を実施。上映会の前後に、短い日本文化紹介セッションや折り紙やふるしきなど簡単な日本文化体験ワークショップを加えて総合的な日本文化紹介事業とした。第3四半期は、ジャカルタ郊外の日系工業団地で、工場勤務者と周辺小学校の児童を対象に『みんなの家』（三谷幸喜、2001）『待ってました転校生』（藤井克彦、1985）などを上映
41	日本映画上映 3 各種映画祭 （第3四半期）	ジャカルタ	キネフォーラム	キネフォーラム	2010. 10. 12 ～ 2010. 10. 31	インドネシアで海外の映画作品の上映を目的とする非営利団体、キネフォーラムと共催して、国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品（16mmフィルム）『彼岸花』（小津安二郎、1958）、『まあだだよ』（黒澤明、1993）を各4回、延べ8回上映
42	ドキュメンタリー映画上映討論会 及びワークショップ <i>Documentary Days 2010</i>	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター ホール	インドネシア大学経済学部 学生団体 Badan Otonom Economica	2010. 12. 01 ～ 2010. 12. 02	IGPウィラヌガラ（IGP Wiranegara：ドキュメンタリー映画監督）、フィットリア・ナピズ（Fitria Napiz：映画監督）を講師に迎え、社会正義、平等、人権等をテーマにしたドキュメンタリー映画の上映及び討論会、映画制作ワークショップを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	日本映画上映 2 「シネマ・キャラバン」 (第4四半期)	バンテン ジャンビ ジャンビ	南タンゲラン国立第3高校 ジャンビ国立第5高校 ジャンビ日本文化祭	南タンゲラン第3高校 ジャンビ州高校日本語教師会 ジャンビ日本文化祭	2011.01.01 ~ 2011.03.31	「シネマ・キャラバン」の事業名称で、国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)を利用して、地方での映画上映会を実施。また上映会の前後に、短い日本文化紹介セッションや折り紙やふるしきなど簡単な日本文化体験ワークショップを加えて総合的な日本文化紹介事業としている。第4四半期は、バンテン州及びジャンビ州の高校などで『スウィング・ガールズ』(矢口史靖、2004)『シコふんじゃった。』(周防正行、1992)などを上映
44	映画『火と水 カブールの手品師 Dream for Kabul』上映及びディスカッション	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	在インドネシア・カナダ大使館	2011.02.17	2001年の同時多発テロによる世界貿易センタービル崩壊で息子を失った白鳥晴弘が、アフガニスタンを訪れ、現地の子どもたちを支援するプロジェクトを立ち上げる姿を描いたカナダ映画 <i>Dream for Kabul</i> の上映及びディスカッション。ディスカッションにはモデレーターにディナ・アフリアンティ(Dina Afrianty: 国立イスラーム大学ジャカルタ校講師)、スピーカーにアリ・ムンハニフ(Ali Muhannif: 国立イスラーム大学ジャカルタ校研究員)を招き、平和構築について議論
45	映画『Mengejar Impian 夢を追いかけて』上映及びポスト・トーク	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	カルヤナ・シラ財団 プトラ・サンプルナ財団	2011.02.18	ドキュメンタリー映画『夢を追いかけて』の上映。同映画は経済的理由により教育機会を奪われた青少年に対して支援を行う、プトラ・サンプルナ財団が運営するサンプルナ・アカデミーへの入学試験プロセスを追ったドキュメンタリー。インドネシアを代表する女性映画監督で本作品の監督でもあるニア・ディナタ(Nia Dinata)によるポストトークも実施
46	日本映画上映 1 ジャカルタ日本文化センター定期上映会 (第4四半期)	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール		2011.02.21 ~ 2011.03.08	国際交流基金ジャカルタ・フィルムライブラリー所蔵作品(16mmフィルム)をセンターホールで上映。第4四半期は、『百万円と苦虫女』(タナダユキ、2008)や『母べえ』(山田洋二、2008)等を計6本を18回上映

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
47	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語学習者や日本の文化や社会に関心を持つ市民に対して日本語教育(日本語・インドネシア語)・日本研究(日本語・英語・インドネシア語)図書を中心にした図書・資料を提供する専門図書館。日本関連の蔵書を一定数所蔵し、且つ一般利用が可能な図書館としては、インドネシア国内で最大規模 ①所蔵資料合計： 26,905点(視聴覚資料数を含む) ②利用者数(年間)： 12,904名 ③貸出点数(年間)： 10,292点 ④レファレンス件数(年間)： 100件

海外拠点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
48	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ジャカルタ日本文化センターの事業広報のためウェブサイト を運営。事業案内及び報告を中心に掲載。使用言語はインド ネシア語及び英語 URL: http://www.jpfr.or.id/ アクセス件数(年間) : 390,776件 メールマガジン配信数(年間) : 778,800件
49	ニューズレター <i>NUANSA</i>	2010.04.01 ~ 2011.03.31	一般広報及び各事業広報のため、ジャカルタ日本文化セン ターの広報誌 <i>NUANSA</i> (インドネシア語)を発行(年4回発行、 カラー/28ページ) 発行部数: 6500部、うちインドネシアの文化機関・要人等へ 4,000部を送付
50	ニューズレター <i>EGAO</i>	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本語教育関係者向けに、日本語教育関連催事の広報及び教 材情報等を掲載したニューズレター <i>EGAO</i> (インドネシア語、 一部日本語併記)を発行(年4回発行、2色刷り/12ページ) 発行部数: 2,600部、すべて日本語教育機関へ送付

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
51	学校訪問受入(第1四半期)	ジャカルタ	ジャカルタ日本 文化センター		2010.04.01 ~ 2010.06.30	教育機関より教師引率による訪問グループを受け入れ、職員 による説明、日本紹介ビデオ視聴、折紙やふろしき体験など で半日程度のプログラム内容にて、国際交流基金事業及び日 本文化紹介・体験を行った。第1四半期の受入実績は、中学 校、高校、専門学校、大学、警察学校や財務省研修所など計 9校から延べ652名
52	囲碁教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本 文化センター多 目的教室	インドネシア囲 碁協会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	インドネシア人を対象とした囲碁教室を実施。毎週金曜日・ 18:30~20:30(2時間)、インドネシア囲碁協会のメンバーが 常駐し、自由対局にて、技能向上を目指した
53	茶道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本 文化センター多 目的教室	裏千家淡交会 ジャカルタ支部	2010.04.27 ~ 2010.08.03	裏千家淡交会ジャカルタ支部より教諭5名を招き、インドネ シア人を対象に茶道教室を実施(平成20年度から開始、今回 で3年目。毎週火曜日・13:30~15:30(2時間)、全15回)
54	華道教室	ジャカルタ	ジャカルタ日本 文化センター多 目的教室	小原流ジャカル タ支部	2010.05.21 ~ 2010.09.30	華道・小原流ジャカルタ支部より、教諭 W. トニ・スロノ(W. Toni Surono: 小原流ジャカルタ支部長)を招き、インドネシ ア人を対象に華道教室を実施(毎週金曜日・14:00~16:00 (2時間)、全16回)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
55	学校訪問受入（第2四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター多目的教室		2010.07.01～2010.09.30	教育機関より教師引率による訪問グループを受け入れ、職員による説明、日本紹介ビデオ視聴、折紙やふろしき体験などで半日程度のプログラム内容にて、国際交流基金事業及び日本文化紹介・体験を行った。第2四半期の受入実績は、高校1校から50名)
56	茶道修了生による月例稽古会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター多目的教室	裏千家淡交会 ジャカルタ支部	2010.09.21～2011.03.22	既存の茶道教室の修了生を対象に、受講内容維持のための月1回の定例稽古会を実施。裏千家淡交会ジャカルタ支部より教諭5名を招き、第2または第3火曜日・13:30～15:30(2時間)に実施。本事業は本年度初めて試みたもので、期間中に全7回実施、参加者は18名
57	学校訪問受入（第4四半期）	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター多目的教室		2011.01.01～2011.03.31	教育機関より教師引率による訪問グループを受け入れ、職員による説明、日本紹介ビデオ視聴、折紙やふろしき体験などで半日程度のプログラム内容にて、国際交流基金事業及び日本文化紹介・体験を行った。第4四半期の受入実績は、小学校、高校、日本語学校など計5校から延べ295名

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
58	文化による平和構築の案件発掘調査				2010.04.01～2011.03.31	文化による平和構築の案件発掘調査のため、カウンターパートとなる可能性のあるNGOや教育機関等にコンサルテーションを行い、インドネシアにおける紛争や対立の現状やニーズを把握するための調査と可能な案件形成を検討
59	第7回フレンドシップカップ囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センターホール	ジャカルタ囲碁将棋クラブ	2010.08.08	ジャカルタ囲碁将棋クラブと共催で、フレンドシップ囲碁大会を開催。級と段のレベルを基準に、3つのクラスに分けて個人トーナメントを行う。自由対局コーナーも設けるとともに、観戦自由として、参加者の裾野を広げた。69名が参加
60	第8回国際親善囲碁大会	ジャカルタ	ジャカルタ日本文化センター	インドネシア囲碁協会 ジャカルタ囲碁将棋クラブ じゃかるた新聞 デンソーインドネシア社 韓国囲碁協会 日本棋院	2010.11.28	インドネシア人、在留邦人・韓国人・中国人の囲碁愛好家が一堂に集まり、囲碁の国別対抗団体戦、個人トーナメント戦を実施。67名が参加。インドネシア人参加者が上位に食い込んだ

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
61	インドネシア日本研究学会 (ASJI) シンポジウム及び年次総会 (サイトビジット)			インドネシア日本研究学会 (ASJI)	2011.03.24 ~ 2011.03.25	本部事業助成案件であるインドネシア日本研究学会 (ASJI) の日本研究シンポジウム『カリキュラムから見たインドネシアにおける日本研究の発展』と年次総会を視察し、同学会の活動状況や日本研究の発展状況を視察すると共に、日本研究者とのネットワーク強化を図った。シンポジウムには約200名が参加

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
62	黒澤明生誕100周年記念上映	ジャカルタ ジャカルタ デポック バンドン バンドン バンドン	ジャカルタ芸術大学 ダルマプルサダ大学 インドネシア大学 インドネシア芸術大学バンドン校 ウィディアタマ大学 バンドン工科大学	ジャカルタ芸術大学 ダルマプルサダ大学 インドネシア大学 インドネシア芸術大学バンドン校 ウィディアタマ大学 バンドン工科大学	2010.10.28 ~ 2010.11.12	平成22年度「海外日本映画祭 (主催)」事業：黒澤明 (映画監督) の生誕100周年に当たり、国際交流基金本部が購入した35mmプリント21作品のうち、『酔いどれ天使』(1948)や『生きる』(1952)等10作品をジャカルタ、デポック、バンドンの3都市・6会場にて延べ27回上映し、延べ2,091名が来場
63	現代日本デザイン100選	ジャカルタ	インドネシア・ナショナル・ギャラリー	インドネシア・ナショナル・ギャラリー	2011.01.18 ~ 2011.02.06	平成22年度「海外展 (巡回展)」事業：当地では、日本のデザインへの関心は高く、2,390名が来場

(2) 助成・協力事業

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
64	文化備品貸出 (第1四半期)	在メダン総領事館	2010.04.01 ~ 2010.06.30	インドネシア国内の総領事館や日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、『時をかける少女』(細田守、2006)等ジャカルタ・フィルムライブラリーの所蔵映画、『京都』等の写真パネル等を貸出し
65	文化備品貸出 (第2四半期)	在スラバヤ総領事館	2010.07.01 ~ 2010.09.30	インドネシア国内の総領事館や日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、ジャカルタ・フィルムライブラリーの所蔵映画『シコふんじゃった。』(周防正幸、1992)、『京都』等の写真パネル等を貸出し

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	文化備品貸出（第3四半期）	国立北スマトラ大学 在メダン総領事館	2010. 10. 01 ～ 2010. 12. 31	インドネシア国内の総領事館や日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、『シコふんじゃった。』（周防正幸、1992）等ジャカルタ・フィルムライブラリーの所蔵映画、『京都』等の写真パネル等を貸出し
67	文化備品貸出（第4四半期）	在スラバヤ総領事館 在メダン総領事館	2011. 01. 01 ～ 2011. 03. 31	インドネシア国内の総領事館や日本語教育機関等が実施する日本文化紹介事業のために、『リンダ・リンダ・リンダ』（山下敦弘、2005）ジャカルタ・フィルムライブラリーの所蔵映画、『世界遺産』等の写真パネル等を貸出し

海外拠点

バンコク日本文化センター

合計額 74,919,647 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	現代日本文化発信スペース展示	バンコク	バンコク日本文化センター		2010.04.01 ~ 2011.03.31	バンコク日本文化センター現代日本文化発信スペース(*)において、効果的に日本文化を発信していくことを目的とした展示(定期的入替え)を年に4回程度実施。若手アーティストなどに作品発表の場を提供。平成22年度は桜や夏の日本の家の中の風景を作り出して、ふろしきなどの「JFオリジナルグッズ」を展示したほか、在タイアーティストの発表の場としても活用 (*)平成21年度のバンコク日本文化センターのオフィス改装に際し、図書館入り口の一角に設置された、小さな展示スペース
2	チェンマイ日本図書展	チェンマイ	スリウォン書店 チェンマイ大学中央図書館	スリウォン書店 チェンマイ大学日本研究センター	2010.11.17 ~ 2010.11.28 2010.11.29 ~ 2010.12.03	平成21年度「国際図書展参加」プログラムの一環として、第8回バンコク国際図書展(10.03.26~10.04.06)に出展された展示図書を活用し、チェンマイ市内の書店及びチェンマイ大学中央図書館において、日本関係の書籍や雑誌等の展示会を開催
3	サクラ・イベント	バンコク	伊勢丹バンコク店	伊勢丹バンコク店	2011.03.24 ~ 2011.04.03	日本の桜開花の時期に合わせ、タイ人向けに広く「日本人のお花見文化」を紹介。阿部恭子(バンコク在住画家)を中心とするアーティストによるお花見シーンの演出(インスタレーション)、パネル展示、クイズラリー、ワークショップ(11日間、計18回)を実施。東日本大震災発生後のチャリティ・イベントとして実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	いちご座人形劇公演	バンコク	バンコク日本文化センター	いちご座人形劇団	2010.09.18	神奈川県を拠点に活動するアマチュア人形劇団「いちご座」の子供向け公演をバンコク日本文化センターで実施。演目は『ぐりとぐら』『金のオノ、銀のオノ』『はらぺこ あおむし』。公演は日本語、司会進行はタイ語。同劇団は、パタヤでも孤児院の子供向けに公演を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本パントマイム公演	ヤンゴン (ミャンマー)	チャトリアムホテル内ボールルーム	在ミャンマー大使館	2010. 10. 07 ~ 2010. 10. 10	在ミャンマー大使館との共催により、矢野かずき（バンコク在住パントマイム俳優）による公演を、同国首都ヤンゴンにて実施。日本語学習者及び一般向けに1回、子供向けに3回の計4回、日本のストーリーを含む作品を上演し、（子供を舞台上げて体験させるなど）観客との交流も実施
6	高嶺格 <i>MeLody♡Cup</i> 公演	バンコク	パトラワディー・シアター・ガーデン	パトラワディーシアター 高嶺格公演団	2010. 10. 26 ~ 2010. 11. 08	高嶺格（現代美術作家）が、2009年にタイと日本の若手アーティストと製作した作品 <i>MeLody♡Cup</i> （兵庫県、アイホール）のタイ公演。タイ・バンコクでのレジデンス（10. 26から10日間）、再クリエーションを行い、11月05日及び06日に計2回上演。アーティスト・トークも実施
7	チェルフィッチュ「三月の5日間」公演	バンコク	パトラワディー・シアター	チェルフィッチュ チュラロンコン大学演劇学科 パトラワディーシアター	2010. 11. 11 ~ 2010. 11. 12	世界20カ国以上で上演され好評を博したチェルフィッチュの『三月の5日間』のタイ公演。パトラワディーシアターにて2公演を実施。またチュラロンコン大学にて、タイの演劇・舞台関係者11名を対象に、岡田利規によるワークショップ（11. 12）を実施。タイ側コーディネーターはパーウィット・マハサリナンド(MAHASARINAND, Pawit : チュラロンコン大学演劇学科教授)
8	生け花デモンstrーション <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ビエンチャン (ラオス)	ラオス日本人材開発センター	在ラオス大使館	2011. 02. 03 ~ 2011. 02. 06	在タイ華道家(池坊)徳江由紀子、川端佳代子をラオスの首都ビエンチャンに派遣し、在ラオス大使館との共催で生け花紹介事業を実施。ラオスの政府高官を招いてのデモンstrーション及び日本語学習者や教育者を対象とした参加型ワークショップを実施。在ラオス大使館主催の茶道・染色ワークショップと同時開催
9	生け花デモンstrーション <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	プノンペン (カンボジア)	カンボジア日本人材開発センター(CJCC)	在カンボジア大使館	2011. 02. 18 ~ 2011. 02. 23	在タイ華道家(草月流)円谷みつよ、吉田直美をカンボジアの首都プノンペンに派遣し、在カンボジア大使館との共催で生け花紹介事業を実施。カンボジア日本人材開発センター(CJCC)が実施する「CJCC祭り」での一般人を対象としたレクチャーデモンstrーションと、生け花愛好家や国会議員・政府高官婦人などを対象とした日本大使館でのレクチャー・デモンstrーション及び参加型ワークショップを実施

海外拠点

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本文化紹介キャラバン	バンコク バンコク ハジャイ ナコンパトム ウボンラチャタニー ナコンシータマラート	インターナショナル・スクール (Lycee Francaise) 国立行政開発研究所 (NIDA) プリンスオブソクラー大学 マヒドン大学 ウボンラチャタニー大学 ナコンシータマラート県庁	インターナショナル・スクール (Lycee Francaise) 国立行政開発研究所 (NIDA) プリンスオブソクラー大学 日本学生支援機構 (JASSO) 在タイ大使館 マヒドン大学 ウボンラチャタニー大学 ナコンシータマラート県庁	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	バンコク及び地方都市において、各地の受入機関と協議の上、現地のニーズに合った日本文化紹介事業を実施（折り紙・浴衣着付・風呂敷包みなどのワークショップ等）。平成22年度中に計6回実施し、うちハジャイとナコンパトムでは在タイ大使館や日本学生支援機構 (JASSO) 主催の留学説明会と同時に共催して実施
11	ウティット・ヘーمامーン帰国講演会	バンコク	シリキット国際会議場	The Publishers & Booksellers Association of Thailand (PUBAT)	2010. 04. 03	平成21年度の「開高健記念アジア作家招へい」プログラムにより訪日 (10. 03. 16~03. 29) した、2009年東南アジア文学賞受賞者、ウティット・ヘーمامーン (HAEMAMOON, Uthis) による帰国講演会。「ミステリアスな日本」をテーマに「バンコク国際図書展2010」の会場で関連イベントとして実施
12	日本文化紹介ワークショップ・シリーズ <i>Japanese Arts and Culture Workshop Series</i>	バンコク	バンコク日本文化センター		2010. 07. 01 ~ 2010. 09. 30	一般のタイ人・タイ在住の外国人向けに、バンコク日本文化センター内で、2010年07月~09月の第1・3木曜日に計5回のワークショップを実施。内容は以下 「七夕祭と折り紙」 (10. 07. 01) 「浴衣着付と夏祭り (盆踊り)」 (10. 07. 15) 「合気道デモンストレーション」 (10. 08. 05) 「風呂敷の包み方」 (10. 08. 19) 「日本の歌」 (10. 09. 02)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	文化交流使事業「いけばなデモン ストレーション&ワークショップ」	バンコク チェンマイ バンコク バンコク	在タイ大使館多 目的ホール チェンマイ大学 伊勢丹バンコク 店 バンコク日本文 化センター	在タイ大使館 在チェンマイ総 領事館 伊勢丹バンコク 店 池坊華道会 ノックユン池坊 生け花バンコク 支部	2010.09.23 ~ 2010.10.02	日本の文化庁から文化交流使として任命を受けた華道家、佐々木康人(池坊家元特派講師)による生け花文化紹介事業。バンコク日本文化センターにて一般向け参加型ワークショップ(10.09.23)、チェンマイ大学にてワークショップ(10.09.26)、在タイ大使館にて要人・文化人向け実演・講演会(10.09.30)、伊勢丹バンコク店にて実演及び展示(10.10.02)の計4回実施
14	バンコク国際タイポグラフィー・シ ンポジウム	バンコク	アリアンス・フ ランセーズ内 オーディトリア ム	カドソン・デン マク(Cadson Demac) アリアンス・フ ランセーズ ゲーテ・インス ティトゥート	2010.10.30 ~ 2010.10.31	タイで初めて行われた、文字のフォントデザイン・タイボグラフィーに関する2日間の国際シンポジウム。タイの文字デザイン団体、カドソン・デンマク主催、アリアンス・フランセーズ、ゲーテ・インスティトゥート、バンコク日本文化センター共催。日本からは古平正義(商業デザイナー)が参加。各国の招へいデザイナーによる、タイ人専門家向けのワークショップも実施
15	地元学セミナー	バンコク チェンマイ チェンマイ	タイ天然資源環 境省 カンラヤーニ・ ワタナ郡集会所 チェンマイ大学	タイ天然資源環 境省 カンラヤーニ・ ワタナ郡ワット ジャン村 チェンマイ大学	2011.01.17 2011.1.19 2011.01.20	バンコクではタイ天然資源環境省と共催でセミナーを開催。さらにチェンマイ県の地方コミュニティを訪問し、地元民との交流プログラムも実施。さらにチェンマイ大学において、コミュニティ活性化を目的としたタイでの具体的な取り組みに関しタイ側専門家と討議・意見交換を実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	JFシアター	バンコク	バンコク日本文 化センターホー ル		2010.04.01 ~ 2011.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日及び第1・第3土曜日の夕方、定期的開催する日本映画の上映会。原則としてタイ語字幕付きで上映

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
17	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>日本に興味関心を有する一般タイ人のためのライブラリー。日本文化全般に関する資料を広く収集提供。特に日本語教材や日本語教育に関する図書資料のコレクションが充実</p> <p>①所蔵資料合計： 24,979点 (内訳：和書13,579冊、英語5,020冊、タイ語3,680冊、視聴覚資料数2,700点)</p> <p>②利用者数(年間)： 70,471名 ③貸出点数(年間)： 13,399点 ④レファレンス件数(年間)： 92件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
18	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>バンコク日本文化センターの事業広報のため、各事業の内容詳細を掲載するオフィシャルサイト</p> <p>URL: http://www.jfbkk.or.th/index.php アクセス件数(年間)：31,556件</p>
19	季刊広報誌 <i>Japan Letter</i> 発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>バンコク日本文化センターの文化芸術交流事業の告知、活動報告及び日・タイ文化交流に関する寄稿記事を掲載する季刊の広報誌。英語・タイ語。平成22年度は年4回(4月、7月、10月、1月)計4,800部を発行</p>

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	タイ子供俳句絵画コンテスト	バンコク		日本航空(JAL)	2010.04.01 ~ 2011.03.31	<p>株式会社日本航空(JAL)との共催による、子供の俳句コンテスト。本年度のテーマは「学校」。全国62の中等学校から延べ429点の応募があったが、厳正な審査によって選ばれた入賞作品50点を、本人が描いた絵と共にバンコク日本文化センター季刊広報紙<i>Japan Letter</i>に掲載。入賞者には賞金と賞状を授与</p>

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	現代日本の工芸展	チェンマイ バンコク	チェンマイ大学 アートセンター バンコク芸術文化センター	チェンマイ大学 アートセンター バンコク芸術文化センター	2010.11.16 ~ 2011.02.13	<p>国際交流基金本部所蔵の巡回展コレクションのひとつ。陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて製作された日本の工芸作品を、「華」「侘び」「鋭」「歪み」「精緻」「花鳥」の6つのテーマに分類し、人間国宝の故・江里佐代子の作品を含む64点で構成</p>

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	日本映画祭2011「黒澤明生誕100周年記念映画祭」	バンコク	SF World Cinema	SF World Cinema	2011.01.06 ~ 2011.01.19	黒澤明生誕100周年の機会に、『羅生門』(1950)『生きる』(1952)『七人の侍』(1954)を含む計25本のフィルムを上映。タイ、韓国、フィリピン、インドネシア、マレーシアにも巡回

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	Sa Ta Nee SHIBUYA - Sri Pra Ya STATION (渋谷駅-スリプラヤ駅)	i-Thaiporary Crew	2010.06.01 ~ 2010.09.12	助成対象機関のi-THAIPORARY CREWは、「フェスティバル・トーキョー」(2009.03)で(井手茂太振付作品)KOKASHITAに参加した6名のタイ人若手ダンサーが、日本での経験を元にタイの演劇界に新たな視点を持ち込みたいと考えて立ち上げた演劇グループ。『ハチ公』などの日本の5つのストーリーをもとに、大都市東京の喧騒と、そのなかで感じる孤独感を表現したコンテンポラリー・パフォーマンス。2010年08月01日~18日の間に計16回公演。バンコク日本文化センターは、会場費及び広報費を助成
24	アコ画廊20周年記念展「20/20 (Twenty/Twenty)」	アコ画廊 (Akko Art Gallery)	2010.08.01 ~ 2010.12.31	日本、タイ、ベトナムのアーティストによる共同展示を行い、日本とアジアの芸術家間のより深いネットワーク作りのきっかけを作るとともに、広くタイ国民に現代日本のアートを紹介。バンコク日本文化センターは、アーティストの旅費の一部を助成
25	マヒドン大学主催「第1回東南アジア人権会議」	マヒドン大学人権社会開発センター (Center for Human Rights Studies and Social Development, Mahidol University)	2010.10.14 ~ 2010.10.15	東南アジアにおける人権研究についての学術交流や研究促進さらには人権関係機関のネットワーク形成を目的に開催。バンコク日本文化センターは、日本から講師として参加した新垣修 (関西外国語大学外国語学部教授) の旅費の一部を助成
26	Welcome to Haunted House	Welcome to Haunted Houseプロジェクト・チーム	2010.10.30 ~ 2010.10.31	タイで活躍する阿部恭子等日本人アーティストと、アピチャイ・リアムートン (LEAMTONG, Apichai) 等タイ人アーティストのコラボレーションによる、ハロウィーンにちなんだ「お化け屋敷」をテーマにした音楽・絵画・ダンスのライブ・パフォーマンス。バンコク日本文化センターは、会場費とピアノ賃料を助成
27	競技かるた2011年アジア大会出場者選考会	クルンテープかるた会	2010.12.06	2011年福岡で行われた競技カルタ・アジア大会への出場者を決定するためのタイ国内選考会。バンコク日本文化センターは、実技のデモ及び指導のため参加した競技かるた専門家渡辺令恵 (永世クイーン/横浜集会)、廣本幸紀 (読手/広島県かるた協会)、富田多紀雄 (読手/東京東会) の旅費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	ASEAN・東アジア研究促進プロジェクト	タマサート大学政治科学部	2010.12.10 ~ 2010.12.13	タマサート大学はASEAN+日中韓の13カ国のアジア学専門家の協力を得て(各国2大学)、ASEAN及び東アジア学の専攻コースのカリキュラムを策定。バンコク日本文化センターは、講師として参加した勝間靖(早稲田大学大学院アジア太平洋研究学科教授)及び須藤季夫(南山大学総合政策学部総合政策学科教授)の旅費の一部を助成
29	<i>The Sound Language of Alukomarai</i>	Alukomarai	2010.12.18 ~ 2010.12.19	北部タイの聾啞学校や難民保護施設の障害を持った子供達を対象とした音楽ワークショップ及びデモンストレーション。申請者は、日本人の木村宏基をリーダーとして、タイ人のパラドン・ポナムヌアイ(PHONAMNUAI, Pharadon)ほか国際色豊かな5名から成るジャズバンド。文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちに、音楽を通じた「会話」やゲームを通じて自己を表現する機会を与えること、日本・タイを中心とする草の根の国際交流を促進することを目的とする。バンコク日本文化センターは、機材リース代、謝金、車両手配費を助成
30	<i>A Ripe Volcano</i>	A Kassagi Krinckle Collective	2011.02.24 ~ 2011.04.01	タイキ・サップシット(SAKPISIT, Taiki:日系タイ人アーティスト)と森永ヤスヒロ(日本人サウンドアーティスト)のコラボレーションにより、「葛飾北斎」の作品を元にしたビデオ・インスタレーションを制作、展示。日本文化専門家チャイヨッシュ・イサボラパン(ISABORAPANT, Chaiyosh:ランシット大学教授)による北斎・日本絵画についてのセミナーを同時開催。北斎の作品の奥に流れる日本の精神・自然と、タイ文化との共通点を見出し、それらをビデオインスタレーションにより再現・展示する試み。バンコク日本文化センターは、森永ヤスヒロの謝金を助成
31	社会科教員ワークショップ講義録の作成	チュラロンコン大学アジア研究所	2011.02.01 ~ 2011.03.06	社会科教員を対象とした本ワークショップは日本研究者を講師に招いて毎年開催(但し本年度はタイ中南部を襲った洪水のためワークショップ自体は中止となった)。主催機関のチュラロンコン大学アジア研究所は政治・経済・社会など日本事情を簡潔にまとめた講義録(<i>Books on Japanese Studies</i>)を500部作成し、日本研究の基礎文献としてタイ各地の日本語教育・日本研究機関等に広く配布。バンコク日本文化センターは同研究所に対し、執筆謝金及び印刷経費を助成
32	<i>Wanto-Space 0 Dizzy</i>	B-Floor	2011.02.07 ~ 2011.02.11	タイの代表的なコンテンポラリー演劇団「B-Floor」と日本の劇団「妄人文明」のコラボレーションによる舞台 <i>Wanto-Space 0 Dizzy</i> 。バンコク及びホアヒンのパトラワディー・シアターにおいて、約1週間のレジデンスと共同制作を経てバンコクで2回(11.02.16~2.17)、ホアヒンで1回(11.02.19)上演。ホアヒンでは「フリンジ・フェスティバル2011」の一環として上演された。バンコク日本文化センターは、舞台制作費、広報費、アーティストの謝金の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	Tanuki Kabuki	Kabukimonotachi	2011.03.01 ~ 2011.03.31	舞台・絵画・アニメなど、様々な分野における日本とタイのアーティストが参加して、インスタレーション及びワークショップを実施。ワークショップには学生・アーティストを含む一般のタイ人が参加。バンコク日本文化センターは機材レンタル費、広報費、アーティストの謝金等の一部を助成
34	SPRITUTAINMENT	100トンソン・ギャラリー	2011.03.24 ~ 2011.05.15	100トンソン・ギャラリーが主催し、プラーブダー・ユン(YOON, Prabda)がキュレーターを務める日本、タイのアーティストによる展示・トーク。「宗教の中に見られるエンターテインメント性」という斬新なテーマを扱い、アートと宗教の観点から、日・タイの社会・文化に対する洞察を深める。日本からは、名和晃平とミヤケマイが参加。タイからはウィット・ピムカーンチャナポン(PIMKANCHANAPON, Wit)、クリット・ガンソム(NGAMSON, Krit)などが参加。バンコク日本文化センターは日本人アーティストの旅費、制作費の一部を助成

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
35	文化備品貸出	バンコク市内の高校等(34校)	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本文化紹介や日・タイ交流促進を目的とした非営利の事業に対し、事業主催者からの要望に基づき、バンコク日本文化センター所蔵の文化備品(浴衣など)の貸出事業を実施

海外拠点

マニラ日本文化センター

合計額 35,310,376 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	海外巡回展 <i>Out of ordinary/ extraordinary</i>	マニラ	メトロポリタン美術館	メトロポリタン美術館 Manila Bulletin 在フィリピン大使館	2010.06.30 ~ 2010.10.16	7月の日比友好月間事業の一環として、在フィリピン大使館等と共催で、メトロポリタン美術館にて海外巡回展 <i>out of ordinary/extraordinary</i> を展示し、8,171名が来場。また、当地の写真家グループを招いたワークショップ <i>Reaction Shots</i> を計3回実施
2	移動マンガ図書館	マニラ	SMXコンベンションセンター	プライム・トレード・アジア	2010.09.19	アニメ・マンガ愛好団体が主催するイベントに、マニラ日本文化センター図書館で所蔵するアニメ、マンガ関連図書及び什器を持ち込み、移動式のマンガ図書館を出展。21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) 若手日本語教師等の協力を得て、折り紙ワークショップやカタカナで名前を書くコーナーなども設置

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	ヴァージン・ラブフェスト 6	マニラ	フィリピン文化センター	ライターズ・ブロック フィリピン文化センター 在フィリピン大使館	2010.06.24 ~ 2010.07.04	未発表、未上演の作品を集めた演劇祭において、日・比経済連携協定 (EPA) によって日本に渡ったフィリピン人看護師・介護士の生活を描く、内田春菊の新作『エバーさんにつづけ! (<i>Sandan natin ni Ever-san!</i>)』を吉田智久の演出で上演し、1,000名が来場。日比の演劇関係者が共同で創作した作品であり、創作・上演の過程を通じ、両国演劇関係者の相互理解促進に貢献

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	和太鼓「倭 (Yamato)」フィリピン公演	マニラ	SMモール・オブ・アジア ミュージックホール SMシティ・ノースエドサ スカイドーム SMモール・オブ・アジア センター ステージ	SMスーパー モールズ SMシティ・ ノースエドサ SMモール・オ ブ・アジア ClickTheCity. com Manila Bulletin セブ・パシ フィック航空 吉野家フィリ ピン 在フィリピン 大使館	2010. 07. 08 ～ 2010. 07. 10	7月の日比友好月間の記念事業として、和太鼓グループ「倭 (YAMATO)」がマニラ首都圏の3会場において公演し、特に若者層を中心に3,900名が来場。対日関心の向上に寄与
5	ガレオン船貿易フェスティバル「ディア・デル・ガレオン」	マニラ	フィリピン教育演劇協会劇場 ナショナル・ミュージアム フィリピン国家芸術委員会 オーデトリウム		2010. 09. 22 ～ 2010. 09. 27	フィリピン国家文化芸術委員会が主催するガレオン船貿易を記念した国際文化芸術祭「ディア・デル・ガレオン」に、西尾純（ダンサー）を派遣。身体表現に関するワークショップや公演を実施。計3回の公演とワークショップには、470名が参加

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	桂歌蔵・英語落語公演	マニラ ダバオ	アサンプシ ョン大学ブ ラックボク クス デ・ラ・サ ール大学ウ ィリアム・ ショーシ アター ミンダナオ 国際大学	キャノン・ フィリピン デ・ラ・サ ール大学 在フィリ ピン大 使館 ミンダナ オ国際 大学 ダバオ出 張駐在 官事務 所	2010.10.11 ~ 2010.10.13	桂歌蔵(落語家)による英語落語公演で、『頭山』『時そば』を上演。学生や文化人などを対象に、マニラ2公演、ダバオ1公演の計3公演を実施し、830名が参加
7	第2回フィリピン国際カートゥーン・コミック・アニメーション (PICCA) フェスティバル参加	マニラ	SMシティ・ ノースエド サ アテネオ・ デ・マニラ 大学	フィリピン 国際カ ートウ ーン・ コミッ ク・ア ニメー ション ・フェ スティ バル SMシティ ・ノー ース エド サ アテネ オ・ デ・ マニ ラ大 学	2010.10.22 ~ 2010.10.25	フィリピンにおけるカートゥーン、コミック、アニメーションに関する総合イベントの一環として、アニメーション制作集団「ROBOT CAGE」の野村辰寿と松本絵美による、日本のアニメーション制作をテーマにした講演を実施。350名が参加し、日本・フィリピンのアニメーター交流促進に寄与
8	チェルフィッチュ・マニラ公演	マニラ	フィリピン 教育演 劇協会 劇場	フィリピン 教育演 劇協会 劇場 文化庁(日本)	2010.11.05 ~ 2010.11.06	現代日本を代表する演劇カンパニー・チェルフィッチュの東南アジア公演。岸田国士戯曲賞を受賞した『三月の5日間』をフィリピン教育演劇協会劇場で上演し、600名が参加。文化庁助成案件
9	上原ひろみジャズコンサート「ギフト・オブ・ジャズ：ヒロミ」	マニラ	ソフィ テル・ フィリ ピン・ プラ ザ ハ ーバ ーガ ーデ ン	フィリ ピン 国際 ジャ ズ・ アート フェ ス ティ バル 財団 デル タ航 空	2010.12.17	上原ひろみ(ジャズ・ピアニスト)を招へいし、フィリピン国際ジャズ・アートフェスティバル財団等と共催で、クリスマス・コンサートを実施。800名が来場

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	セ三味ストリート・マニラ公演	マニラ	シャングリラ プラザモール	シャングリラ プラザモール デルタ航空 在フィリピン 大使館	2011. 02. 26	日本語スピーチコンテストを目玉とする複合的の日本文化紹介事業「日本語フィエスタ2011」の一環として、日本から津軽三味線デュオのセ三味ストリートを招いて公演を実施。400名が来場し、エンターテイメント性に富んだパフォーマンスに、観客から高い評価を得た
11	フィリピン国際ジャズフェスティバル	マニラ	アヤラ美術館	株式会社 ヤマハ アヤラ美術館 フィリピン 国際ジャズ・ アートフェス ティバル財団 デルタ航空	2011. 02. 28	津軽三味線を使った大道芸デュオの、セ三味ストリートを招へいし、フィリピン国際ジャズフェスティバルのインターナショナル・ナイトにおいて公演を実施。500名が来場。日本のほか、フィリピン、韓国、米国のミュージシャンが参加。各国大使や協賛企業の関係者などのVIPが多数来場し、世論形成力のある層に対する対日理解の促進に貢献

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	若手キュレーター育成ワークショップ	マニラ	フィリピン大 学ヴァルガス ミュージアム	フィリピン大 学ヴァルガス ミュージアム	2011. 01. 27 ~ 2011. 01. 28	フィリピンにおける若手キュレーターの育成を目的に、フィリピン大学ヴァルガス・ミュージアムと共催でワークショップを実施。また展示事業に関する企画コンペを実施し、優秀者(CALUBAYAN, Buen: フィリピン国立博物館学芸員)を第4期東アジアクリエイター招へい事業の候補者として推薦
13	折り紙飛行機ワークショップ	マニラ	シャングリラ プラザモール	シャングリラ プラザモール 在フィリピン 大使館	2011. 02. 24 ~ 2011. 02. 27	「日本語フィエスタ2011」の一環として、西原良典(折り紙ヒコーキ協会会員)による、折り紙飛行機のワークショップを子供や学生等を対象に計2回実施。また日本語フィエスタの前々日にはマニラ日本文化センター図書館にて、日本語学習者を対象にしたワークショップも1回実施。計2回のワークショップに124名が参加

海外拠点

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	日本映画祭 <i>Eigasai 2010</i> (在外事業費支出分)	マニラ セブ ダバオ	シャングリラ プラザモール フィリピン大 学フィルムセ ンター	シャングリラ プラザモール フィリピン大 学フィルムセ ンター Manila Bulletin 在フィリピン 大使館 在セブ出張駐 在官事務所 ダバオ出張駐 在官事務所	2010. 07. 01 ~ 2010. 08. 21	日比友好の日(07.23)を記念する一連の文化行事である日比友好月間のオープニング事業として、日本映画祭をマニラ首都圏、ダバオ、セブの3都市4会場で開催。『ALWAYS 続・三丁目の夕日』など国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵作品10作品を上映
15	第4回国際サイレント映画祭	マニラ	シャングリラ プラザモール	在フィリピン・イタリア大使館 インスティテュート・セルバンテス ゲーテ・インスティトゥート 在フィリピン大使館 シャングリラ・プラザモール	2010. 08. 28 ~ 2010. 08. 29	日本、イタリア、スペイン、ドイツの文化交流機関4団体等との共催による国際サイレント映画祭。各国のサイレント映画に、フィリピンのバンドによる生演奏をつけて上映。日本は『子宝騒動』（斎藤寅次郎、1935）をラディオ・アクティブ・サゴ・プロジェクトの演奏とともに上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	黒澤明生誕100周年記念映画祭	マニラ	フィリピン大学フィルム・インスティテュート フィリピン文化センター	フィリピン大学フィルム・インスティテュート フィリピン文化センター 在フィリピン大使館	2010.09.14 ~ 2010.09.30	黒澤明（映画監督）の生誕100周年を記念し、『蜘蛛巣城』（1957）、『隠し砦の三悪人』（1958）等、同監督の21作品を上映。また、黒澤映画のポスター展も実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
17	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	フィリピン最大の日本語教育及び日本文化に関するリソースセンターとしての役割を果たすため、日本語教材に加え、特に昨今関心の高いアニメ関連の雑誌・書籍や漫画といった日本の現代文化に関する蔵書を拡充 ①所蔵資料合計： 4,145点 ②利用者数（年間）：3,925名 ③貸出点数（年間）： 840点 ④レファレンス件数（年間）： 3,161件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
18	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	マニラ日本文化センターのイベント、公募事業等を紹介するサイトを運営 URL: http://www.jfmo.org.ph/index.php アクセス件数(年間) : 34,070件
19	ニューズレター SUKI 発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	マニラ日本文化センターの文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。平成22年度は7月、11月、2月の3回発行 発行部数（年間）：9,000部（各3,000部×3回）

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	Wifi Body 5 コンテンポラリーダンスフェスティバル	マニラ	グリーンベルト5 フィリピン文化センター	フィリピン国家芸術委員会 フィリピン文化センター 世界ダンス連盟マニラ支部	2010.06.25 ~ 2010.07.04	世界ダンス連盟マニラ支部、フィリピン文化センターが主催するフィリピン最大のコンテンポラリーダンス・フェスティバルに協力。若手コンテンポラリー・ダンサーを対象としたコンペティションにマニラ日本文化センター所長が審査員として参加。広報費等の事業経費の一部も支援
21	Jポップ・アニメ歌唱コンテスト	マニラ	SMシティ・ノースエドサイバーゾーン	ヒーロー・チャンネル 在フィリピン大使館 SMシティ・ノースエドサ	2010.07.24	日本のアニメソングやJポップ歌曲を日本語で歌うコンテストを実施。マニラ、セブ、ダバオから予選を勝ち抜いた10組のアマチュアバンドが出場。約1,000名の観客が来場し、マニラ出身のHimitsuが優勝

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	第3回バガスバスビーチ国際エコアートフェスティバル	Our Lady of Lourdes College Foundation	2010.05.30 ~ 2010.06.06	ビコール地方カマリネス・ノルテ州都のダエト市で開催される国際アートフェスティバル。フィリピンの他、フランス、香港、ノルウェー、イスラエル、クロアチアのアーティストが滞在制作するインスタレーション部門と、日本の飯村隆彦やフィリピン他海外作家によるビデオ部門からなる。アーティストの滞在費等の一部を助成
23	コスプレ・スナップ写真コンテスト	Cosplay.ph	2010.10.02 ~ 2010.10.03	Cosplay.phという、フィリピンのコスプレ愛好者団体が主催するコスプレイベント <i>Cosplay Mania X</i> 中のコスプレ写真コンテストの開催経費の一部を助成
24	シンポジウム <i>Building and Upholding Indigenous Knowledge</i>	Heritage and Arts Academies of the Philippines, Inc.	2010.11.12 ~ 2010.11.14	フィリピンの伝統文化の継承者を集め継承者間のネットワークの構築・強化や伝統文化の若者への伝承を目的に、3日間にわたりシンポジウムやワークショップを実施。2008年にはイロイロにおいて伝統文化の保護に関する国際会議を実施(日本からは姫田忠義が参加)しており、本事業はそのフォローアップの位置づけにある
25	2010年フィリピン・ペンクラブ国際文学会議	フィリピン・ペン・クラブ	2010.12.04 ~ 2010.12.05	フィリピン・ペン・クラブが主催する「国境を越えた文学の結束」をテーマとした国際会議。中上紀(作家)の招へい旅費を助成

海外拠点

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
26	照明機材の貸出	シナーグ・アーツ財団	2010.04.01 ～ 2011.03.31	日本人の照明家が中心となってフィリピンの照明技術者の育成を行うシナーグ・アーツ財団に舞台芸術用照明機材を貸出

海外拠点

クアラルンプール日本文化センター

合計額 60,714,947 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	シャロン・チン個展 <i>All Together Now</i>	クアラルンプール	Bangsar Village	Bangsar Village	2010.05.14 ~ 2010.05.30	平成21年度東アジアクリエイター招へいプログラム(第2期)で、札幌にあるアーティスト・イン・レジデンス、S-AIR(エスエア)にてレジデンス活動を行ったシャロン・チン(CHIN, Sharon)の個展を開催。コミュニケーションをテーマにしたインタラクティブな内容となったため、ショッピングモールにて実施
2	こけし展(ジャパン・フェスティバル・ペナン)	ジトウラ(クダ州)	マレーシア北大学	マレーシア北大学 在ペナン総領事館	2010.10.05	マレーシア北大学(クダ州)で開催された「ジャパン・フェスティバル」の会場において、クアラルンプール日本文化センターが所蔵する巡回展セット「こけしの世界」から、27作品を展示
3	時広真吾舞台衣装展 <i>Dream of Time</i>	クアラルンプール	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	The Actors Studio	2011.02.19 ~ 2011.03.13	「和」の美しさを前面に打ち出した衣装を製作しつつ、シェイクスピア劇、室内楽、コンテンポラリー・ダンスなど幅広いジャンルで活躍する時広真吾(衣装デザイナー)の舞台衣装展覧会、ワークショップ及びパフォーマンスを実施。株式会社日本航空(JAL)、マレーシア博物館局(国立博物館)から協賛・協力を得た

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本・マレーシアジャズ交流公演・教育ワークショップ	クアラルンプール	マレーシア国立芸術文化遺産大学(ASWARA) No Black Tie	No Black Tie	2010.05.11 ~ 2010.05.16	日本より布川俊樹(ジャズギタリスト)を招へいし、マレーシアジャズ界を代表するピアニスト、マイケル・ヴィーラバン(VEERAPEN, Michael)、その他シンガポール、インドネシアのミュージシャンとの公演を実施(3回公演)。マレーシア国立芸術文化遺産大学(ASWARA)でワークショップも実施
5	和太鼓「倭(Yamato)」公演	クアラルンプール	One Utama クアラルンプール市営ホール(DBKLホール)	One Utama 在マレーシア大使館	2010.07.12 ~ 2010.07.15	和太鼓「倭」による初のマレーシア公演(2回公演)。12日はOne Utamaショッピングモール・コンコース・エリア、13日はDBKLホールにて、マレーシア政府主催 <i>Kuala Lumpur Festival 2010</i> 認定事業の一つとして実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	落語 by 桂歌蔵 (クアラルンプール & ペナン)	クアラルンプール クアラルンプール ペナン ペナン	クアラルンプール日本文化センター マレーシア・ツーリズム・センター ペナン日本人学校 マレーシア科学大学	在ペナン総領事館 在マレーシア大使館 ペナン日本人学校 マレーシア科学大学	2010. 10. 14 ~ 2010. 10. 18	桂歌蔵 (落語家) による日本語古典落語・英語落語のマレーシア公演。ペナンではペナン日本人学校及びマレーシア科学大学にて、クアラルンプールではクアラルンプール日本文化センター及びマレーシア・ツーリズム・センターにて公演を実施
7	吉田兄弟ライブ in クアラルンプール	クアラルンプール	The Actors Studio @ Lot 10	The Actors Studio	2011. 01. 21 ~ 2011. 01. 23	日本だけでなく欧米各国で人気を博する三味線デュオ・吉田兄弟による東南アジア初公演。The Actors Studioとの共催により、3公演を実施。全公演完売となり、メディア掲載は49件。伊勢丹クアラルンプール、Vistana Hotel、JT International Berhadから協賛。在マレーシア大使館が協力

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	<i>The Strategy of the Zero Generation—After the Impact of Superflat by Takashi Ishizaki</i>	クアラルンプール	The Annexe Gallery	Rumah Air Panas	2010. 09. 08	平成20年度東アジアクリエイター招へい (第1期) フォローアップ事業。2008年に訪日したアーティスト、ヤップ・ソービン (YAP, Sau Bin) が来日時に会った、石崎尚 (目黒区美術館学芸員) を招待する形で講演を実施。Super flat以降の東京現代アートシーンを、注目すべきアーティストの作品画像や映像と合わせて紹介

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	定期日本映画上映会	クアラルンプール	マレーシアフィルム開発公社 (FINAS)	マレーシアフィルム開発公社 (FINAS) 在マレーシア大使館	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	東アジア・フィルムライブラリーの16mmフィルム上映。平成22年度上半期は4回上映 (『仁太坊—津軽三味線始祖外聞』 (西澤昭男、2004)、『虹をつかむ男』 (山田洋次、1996)、『東京物語』 (小津安二郎、1953)、『嵐を呼ぶ男』 (井上梅次、1983))。平成22年度下半期は2回上映 (『二人日和』 (野村恵一、2005)、『犬猫』 (井口奈己、2004))

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	日本映画祭 2010	クアラルン プール クアラルン プール ペナン	Golden Screen Cinema Mid- Valley Golden Screen Cinema One Utama Golden Screen Cinema Gurney Plaza	Golden Screen Cinema (GSC)	2010.06.15 ~ 2010.06.27	日本で近年公開された比較的新しい作品の特集上映。会場であるGolden Screen Cinema (GSC)との共催で、以下の8本の映画を上映。『ディア・ドクター』（西川美和、2009）、『劔岳 点の記』（木村大作、2009）、『のんちゃんのり弁』（緒方明、2009）、『サイドカーに犬』（根岸吉太郎、2007）、『山桜』（篠原哲雄、2007）、『100万円と苦虫女』（タナダユキ、2008）、『秒速5センチメートル』（新海誠、2007）、『風が強く吹いている』（大森寿美男、2009）

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
11	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本文化・日本語に関する情報提供を目的とした図書館を運営 ①所蔵資料合計： 18,636点 （内訳：日本語書籍9,885冊、外国語書籍6,150冊 映像・音声資料2,601点） ②利用者数（年間）： 7,641名 ③貸出点数（年間）： 18,775点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
12	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	クアラルンプール日本文化センター事業を紹介するサイト URL: http://www.jfkl.org.my/ アクセス件数（年間）：98,132件 メールマガジン配信数（年間）：135,772件
13	広報誌 <i>TEMAN BARU</i> 発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	クアラルンプール日本文化センターのニュースレターを隔月で発行 発行部数：12,500部

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
14	学校訪問受け入れ	クアラルン プール	クアラルン プール日本 文化センター		2010.04.01 ~ 2011.03.31	通年にわたり、主に学校等教育機関を受け入れ、クアラルンプール日本文化センタースタッフによる各種ワークショップなどの日本文化紹介プログラムを実施。年間実施件数：6件

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	和の小物作りワークショップ（4月）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010.04.10	和風の生地を使用した小物作り手芸ワークショップ。2010年3月実施の際、定員を超えた申込者があったことから、4月にアンコール実施。今回は、置物にもなる香袋を作成
16	端午の節句お茶会	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010.05.08	日本の季節の行事に合わせて開催しているクアラルンプール日本文化センターの裏千家のお茶会。今回は端午の節句に合わせて開催
17	日本・マレーシアビデオアート交流事業（MALAYSIA-JAPAN VIDEO ART EXCHANGE : MJVAX）	イポー クアラルンプール ペナン	マラ工科大学ペラ校 マレーシア国立美術館 マレーシア科学大学	マレーシア科学大学 マレーシア国立美術館	2010.07.21 ~ 2010.08.09	平成21年度に「市民青少年交流（助成）[生活文化]」プログラムによる助成を受けマレーシア人アーティスト5名が来日した「日馬ビデオ交流展2009」のフォローアップ事業。日本人アーティスト7名が2週間強に亘りマレーシアに滞在。滞在期間を含め、20日間以上に渡って展覧会、ビデオスクリーニング、ワークショップ、トークなど様々なイベントを開催。日本からは、佐藤博昭、服部かつゆき、田中廣太郎、中村明子、中沢あき、瀧健太郎、大江直哉が、マレーシアからはマスヌール・ラムリー・マフムード(Masnoor Ramli Mahmud)、シャロン・チン(CHIN, Sharon)、シュウワイ・コク(KOK, Siew-wai)、ヌル・ハニム・カイルディン(Nurhanim Khairuddin)、カマル・サブラン(Kamal Sabran)が参加
18	和の小物作りワークショップ（12月）	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター		2010.12.18	和風の生地を使用した小物作り手芸ワークショップ。今回は、携帯電話入れを作成

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	「現代日本デザイン100選」展	ペナン	マレーシア科学大学	マレーシア科学大学 在ペナン総領事館	2010.04.19 ~ 2010.05.14	国際交流基金本部「海外展（巡回展）」プログラムによる巡回展セットの展示。日本の製品がデザインの美しさと機能の両方を兼ね備えているという点をより強調するべく、コクヨからカドケシ（消しゴム）の提供を受け、来場者が触って試せるコーナーを設置。また、フィギュア・ファンの動員を促すべく、マジンガーZの最新版の大型バージョンを、バンダイ及びそのマレーシア代理店パッションマーケティングより借用の上、展示。株式会社バンダイ、パッションマーケティング、コクヨ株式会社から協賛、協力を得た

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	「現代日本の工芸展」	コタ・キナバル	Sabah Art Gallery	Sabah Art Gallery Sabah Cultural Board 在コタ・キナバル総領事館	2010.07.12 ～ 2010.07.30	国際交流基金本部「海外展（巡回展）」プログラムによる巡回展セット「現代日本の工芸」展の展示。陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された工芸作品を、華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類し、人間国宝の故・江里佐代子の作品を含む64点の構成で紹介
21	折り紙ワークショップ	イポー クアラルンプール	ペラ州立図書館 クアラルンプール日本文化センター	ペラ州立図書館	2010.10.07 ～ 2010.10.09	国際交流基金本部「日本文化紹介派遣（主催）」プログラムにより日本から派遣された山口真（日本折紙学会事務局長）ら折り紙作家3名による折り紙ワークショップ。イポーでは子供から大人まで幅広い層を対象に、直接体験してもらう参加型プログラムを実施
22	西川箕乃助日本舞踊レクチャーデモンストレーション <i>Nihon Buyo--Traditional Japanese Dance, Lecture and Demonstration by Minosuke Nishikawa</i>	クアラルンプール	Malaysia Tourism Centre	在マレーシア大使館	2010.11.01 ～ 2010.11.03	西川箕乃助（日本舞踊）、花柳せいら（日本舞踊）、松永忠一郎（長唄）、堅田新十郎（囃子方）による日本舞踊レクチャー・デモンストレーション。シンガポールJapan Creative Centre (JCC)との連携事業として実施。Concorde Hotel、株式会社日本航空（JAL）、伊勢丹クアラルンプールの協賛・協力を得た
23	「未来への回路－日本の新世代アーティスト」展	シャー・アラム ペナン	Galeri Shah Alam Bangunan No. 57, Macalister Road	Galeri Shah Alam Penang State Gallery 在マレーシア大使館 在ペナン総領事館	2010.12.08 ～ 2011.01.23	国際交流基金本部「海外展（巡回展）」プログラムによる巡回展セットの展示。1990年代中盤以降、大きな注目を集めている11名の日本人若手作家の現代美術展。モノづくりへの丹念な取り組みという視点から、福井篤、廣瀬智央、明和電機等11名の作家の絵画、彫刻、インスタレーション、写真、ビデオ作品を紹介。視覚的インパクトに富み、モノづくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点の作品を紹介。Muzium & Galeri Tuanku Fauziah, USMの協力を得た
24	「現代日本デザイン100選」展	クアラルンプール	マレーシア国立美術館	マレーシア国立美術館	2011.03.08 ～ 2011.04.11	国際交流基金本部「海外展（巡回展）」プログラムによる巡回展セットの展示。 日本の製品がデザインの美しさと機能の両方を兼ね備えているという点をより強調するべく、コクヨからカドケシ（消しゴム）の提供を受け来場者が触って試せるコーナーを設置。また、フィギュア・ファンの動員を促すべく、マジンガーZの最新版の大型バージョンを、バンダイ及びそのマレーシア代理店パッションマーケティングより借用の上、展示。株式会社バンダイ、パッションマーケティング、コクヨ株式会社の協賛・協力を得た

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	黒澤明映画祭 (Akira Kurosawa Film Festival - Centennial Retrospective)	クアラルンプール	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	マレーシア国立芸術文化遺産大学 (ASWARA)	2011.03.10 ~ 2011.03.20	黒澤明生誕100周年を記念した特別上映会。マレーシア一般人及び映画関係者を対象とし、フィルムは国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵の35mm作品を使用。11日間の会期中に、計25本、全28回上映。入場者は1,400名以上。マレーシアフィルム開発公社 (FINAS)、SONYの協力・協賛を得た
26	日本研究巡回セミナー	クアラルンプール コタ・キナバル ペナン	マラヤ大学 (University of Malaya) マレーシア・サバ大学 (University of Malaysia, Sabah) マレーシア科学大学 (Universiti Sains Malaysia)	University of Malaya University of Malaysia, Sabah Universiti Sains Malaysia Malaysia Association of Japan Studies (MAJAS)	2011.03.14 ~ 2011.03.18	渡邊頼純 (慶応大学教授) による巡回セミナー。テーマは、 <i>The Possibility of FTA in North East Asia and Implications for ASEAN</i> 。クアラルンプール、コタ・キナバル、ペナンで開催

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
27	Johor Bahru Arts Festival	The Johor Society for the Performing Arts	2010.07.13 ~ 2010.07.14	シンガポール在住の上野宏秀山 (尺八) 一団をジョホールバル・アーツ・フェスティバルに派遣し公演を実施。クアラルンプール日本文化センターは同氏らの渡航費・謝金・宿泊費を助成
28	nyoba Kan Butoh Festival 2010	nyoba Kan Dance Theatre	2010.08.05 ~ 2010.08.15	マレーシアで唯一の舞踏グループnyoba Kanによる舞踏フェスティバル。日本、ブラジルの舞踏家によるワークショップ、公演、展示会等により構成。日本からは和栗由起夫が招へいされ、ワークショップ及びnyoba Kanとの共同制作作品 <i>Rashomon</i> 公演を実施。クアラルンプール日本文化センターは同氏の国際航空賃、宿泊費、謝金を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	<i>International Conference on International Studies (ICIS) 2010, Media & Culture: Global Homogeneity vs. Local Identity</i>	マレーシア科学大学 (Universiti Sains Malaysia :USM)	2010. 10. 28 ~ 2010. 10. 30	マレーシア科学大学(USM)における日本研究・知的交流会議。日本よりローランド・ケルツ(KELTS, Roland:東京大学教授)を招へい。クアラルンプール日本文化センターは同教授の渡航費・謝金・宿泊費を助成
30	<i>ムラカ・アートフェスティバル 2010 (Melaka Art Performance Festival (MAP Fest) 2010)</i>	E-plus Entertainment Productions Sdn. Bhd.	2010. 11. 26 ~ 2010. 11. 28	世界遺産都市マラッカで開催されるアートフェスティバル。日本からは、コンテンポラリーダンサーの鈴木一虎とYumi Umiumareが招へいされ、ワークショップ及びパフォーマンスを実施。クアラルンプール日本文化センターは、2名の国際航空賃、謝金を助成
31	<i>Switch On Mini Fest: Damo Suzuki's Network Live in Kuala Lumpur</i>	Herbal Project	2010. 11. 27	日本からダモ鈴木(実験音楽家)が招へいされ、公演(2セッション)を実施。クアラルンプール日本文化センターは、同氏の国際航空賃、宿泊費、謝金、会場借料(一部)、広報費(一部)を助成
32	<i>International Conference on International Studies (ICIS) 2010, A new Asian Country: Dynamics & Implications</i>	Universiti Utara Malaysia (UUM)	2010. 12. 01 ~ 2010. 12. 02	マレーシア北大学(Universiti Utara Malaysia)における日本研究・知的交流会議。日本より添谷芳秀(慶応大学教授)を招へい。クアラルンプール日本文化センターは同教授の渡航費・謝金・宿泊費を助成
33	<i>M1 Singapore Fringe Festival 2011</i>	The Necessary Stage Ltd	2011. 01. 05 ~ 2011. 01. 16	「M1(エムワン)」は、シンガポールで開催されるアートフェスティバル。日本からは上田麻希(美術家)、佐々木香奈子(美術家)が招へいされ、展覧会及びパフォーマンスを実施。クアラルンプール日本文化センターは2名の国際航空賃、謝金、機材借料、作品材料費を助成
34	<i>National Sudoku Seminar & Workshop</i>	Malaysia Sudoku Society	2011. 03. 19	既に世界的に有名・人気となった数独の開発者、鍛冶真起を日本より招へいし、セミナー及びワークショップを実施。クアラルンプール日本文化センターは同氏の渡航費・謝金・宿泊費を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
35	生け花デモンストレーションとワークショップ	池坊クアラルンプール・スタ ディ・グループ (Ikenobo Kuala Lumpur Study Group)	2010. 10. 26 ~ 2010. 10. 27	平成22年度文化庁・文化交流使としてマレーシアに滞在中の佐々木康人(華道家)による生け花デモンストレーション及びワークショップの実施に対し、後援名義を付与して支援

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
36	茶道練習のための和室提供	裏千家茶道同好会	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	「端午の節句お茶会(2010. 05)」等、クアラルンプール日本文化センター事業実施時に講師・運営協力を依頼している裏千家茶道講師・生徒による茶道練習会。平成22年度は、年間を通して計24回、クアラルンプール日本文化センターの和室を提供

海外拠点

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
37	文化備品貸出	Multimedia University, Cyberjaya, Selangor	2010.03.19 ~ 2010.04.09	<i>Carnival of Japan 2010</i> への浴衣等の貸出
38	文化備品貸出	Yayasan Ilmuwan, Kuala Lumpur	2010.04.06 ~ 2010.05.07	<i>Japanese Education Fair</i> への浴衣等の貸出
39	文化備品貸出	Institute of Teacher Education Malaysia, Kuala Lumpur	2010.04.12 ~ 2010.04.23	<i>International Languages Week</i> への浴衣等の貸出
40	文化備品貸出	Kuala Lumpur Infrastructure University College (KLIUC)	2010.05.12 ~ 2010.05.26	<i>Japanese Culture</i> イベントへの浴衣等の貸出
41	文化備品貸出	Genting Inti International College, Pahang	2010.06.03 ~ 2010.06.16	<i>Memoirs of a Geisha-Japanese Secret 2010</i> への浴衣等の貸出
42	文化備品貸出	Cyberjaya University College of Medical Sciences, Selangor	2010.06.11 ~ 2010.06.18	<i>Cultural Night Presentation</i> への浴衣等の貸出
43	文化備品貸出	日本貿易振興機構 (JETRO) クアラルンプール事務所	2010.06.21 ~ 2010.06.27	JETRO イベントへの和食サンプルの貸出
44	文化備品貸出	Institut Bahasa Teikyo, Kuala Lumpur	2010.07.15 ~ 2010.07.27	<i>Japanese Education Fair</i> への浴衣等の貸出
45	文化備品貸出	The Japanese Language Society of Malaysia	2010.07.22 ~ 2010.08.09	<i>The 3rd Japanese Language Festival</i> への浴衣等の貸出
46	文化備品貸出	Sekolah Seri Puteri, Kuala Lumpur	2010.07.26 ~ 2010.08.06	<i>Japanese Algorithm Dance</i> への浴衣等の貸出
47	文化備品貸出	Cancerlink Foundation, Kuala Lumpur	2010.07.28 ~ 2010.09.01	<i>Japanese Cultural Delight</i> への浴衣等の貸出
48	文化備品貸出	Evershine Dance & Creative Academy, Melaka	2010.08.13 ~ 2010.09.06	<i>Japan Cultural Festival</i> への浴衣等の貸出
49	文化備品貸出	テイラーズ・ユニバーシティ・カレッジ、レイクサイドキャンパス (Taylor's University College, Lake side Campus, Selangor)	2010.08.26 ~ 2010.09.15	<i>Taylor's Asaban Festival 2010</i> への浴衣等の貸出

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
50	文化備品貸出	マレーシア国民大学 (Universiti Kebangsaan Malaysia(UKM), Kuala Lumpur)	2010. 09. 15 ~ 2010. 10. 06	<i>Pesta Tanglung UKM</i> への浴衣等の貸出
51	文化備品貸出	在マレーシア大使館	2010. 09. 21 ~ 2010. 09. 23	裏千家茶会への茶道具等の貸出
52	文化備品貸出	サンウェイ・ユニバーシティ・ カレッジ (Sunway University College, Selangor)	2010. 09. 21 ~ 2010. 10. 11	<i>Internation Fashion Show</i> への浴衣等の貸出
53	文化備品貸出	サンウェイ・ユニバーシティ・ カレッジ (Sunway University College, Selangor)	2010. 10. 12 ~ 2010. 10. 26	<i>Class Project on Japanese Studies</i> への浴衣等の貸出
54	文化備品貸出	伊勢丹クアラルンプール	2010. 10. 12 ~ 2010. 12. 20	歌舞伎衣装展への浴衣等の貸出
55	文化備品貸出	Success Together Group, Kuala Lumpur	2010. 10. 13 ~ 2010. 10. 28	<i>National Costume Convention 2010</i> への浴衣等の貸出
56	文化備品貸出	Universiti Teknologi Petonas (UTP), Perak	2010. 10. 13 ~ 2010. 11. 12	<i>Convofair 2010</i> への浴衣等の貸出
57	文化備品貸出	Universiti Pendidikan Sultan Idris (UPSI), Perak	2010. 10. 20 ~ 2010. 10. 25	<i>Japanese Fiesta 2010</i> への浴衣等の貸出
58	文化備品貸出	Confucian Private Secondary School, Kuala Lumpur	2010. 10. 27 ~ 2010. 11. 15	<i>Japanese Culture Exhibition 2010</i> への浴衣等の貸出
59	文化備品貸出	Dusun Tropika Sdn. Bhd., Selangor	2010. 10. 29 ~ 2010. 12. 09	<i>Japanese Culture at D'Paradise Malacca</i> への浴衣等の 貸出
60	文化備品貸出	MultiMedia University, Cyberjaya, Selangor	2010. 11. 02 ~ 2010. 11. 11	<i>Yukata Workshop</i> への浴衣等の貸出
61	文化備品貸出	May Bank	2010. 11. 15 ~ 2010. 11. 22	<i>Japanese Culture Day</i> への浴衣等の貸出
62	文化備品貸出	在マレーシア大使館	2010. 11. 19 ~ 2010. 11. 22	<i>Japanese Furoshiki Event</i> への風呂敷等の貸出
63	文化備品貸出	MultiMedia University, Cyberjaya, Selangor	2010. 11. 24 ~ 2010. 12. 13	<i>Carnival of Japan</i> への浴衣等の貸出
64	文化備品貸出	Tunku Abdul Rahman College (TARC), Kuala Lumpur	2010. 11. 29 ~ 2011. 01. 12	<i>Japan Booth at TARC Cultural Fair</i> への浴衣等の貸出
65	文化備品貸出	Universiti Putra Malaysia (UPM), Selangor	2010. 12. 13 ~ 2010. 12. 28	<i>Global Village Presentation</i> への浴衣等の貸出

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
66	文化備品貸出	在マレーシア大使館	2011.02.25 ~ 2011.03.01	裏千家茶会への茶道具等の貸出
67	文化備品貸出	Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR), Kuala Lumpur	2011.02.25 ~ 2011.03.09	UTAR Festival 2011 "Colours of Culture" への浴衣等の貸出
68	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM), Kuala Lumpur	2011.03.04 ~ 2011.03.16	International Language Festival 2011 への浴衣等の貸出
69	文化備品貸出	MultiMedia University, Melaka Campus, Melaka	2011.03.10 ~ 2011.03.24	8th Japanese Cultural Week への浴衣等の貸出
70	文化備品貸出	TAR College, Penang	2011.03.11 ~ 2011.03.18	School Visit への浴衣等の貸出
71	文化備品貸出	The University of Nottingham Malaysia Campus, Selangor	2011.03.17 ~ 2011.04.01	Bunkasai Event への浴衣等の貸出

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
72	コタ・キナバル国際映画祭	コタ・キナバル国際映画祭	2010.06.04 ~ 2010.06.09	本部フィルムライブラリー所蔵映画『かもめ食堂』と『時をかける少女』の各1回上映。上映作品の検閲手続きなどの手続きノウハウ等について協力
73	Short Short Film Festival & Asia in Malaysia	マレーシアフィルム開発公社 (FINAS) Short Short Film Festival & Asia (SSFF)	2010.10.01 ~ 2010.10.03	2010年に東京で開催されたShort Shorts Film Festival & Asiaにおける優秀作品とマレーシアの短編作品の特集上映。開催期間中は、作品上映のみならず、セミナーやトークも開催。広報などに協力
74	歌舞伎衣装展 (Kabuki's Kimono Exhibition) への協力	伊勢丹クアラルンプール	2010.10.27 ~ 2010.11.04	伊勢丹クアラルンプールが開業20周年を記念し、三越が所蔵する明治～昭和時代の貴重な歌舞伎衣装20数点による展覧会を実施。クアラルンプール日本文化センターは浴衣を貸与した(文化備品貸出し)ほか、クアラルンプール日本文化センターが同時期に開催する主催事業「日本舞踊レクチャーデモンストレーション(西川箕乃助)」との相互広報を行う形で協力

海外拠点

ニューデリー日本文化センター

合計額 105,869,390 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	「原爆の日」 <i>Quest for Peace</i> ポスターコンテスト	デリー	ニューデリー日本文化センター	National Integrated Forum of Artists & Activists	2010.08.09	デリーの中学・高校生による、平和をテーマとしたポスター制作及びコンテスト。長崎に原爆が落とされた8月9日にちなみ実施。200名が参加
2	折り紙展覧会	ニューデリー	ニューデリー日本文化センター	Origami Oritai, India	2010.11.11 ~ 2011.11.23	毎年1回開催される当地の折り紙クラブによる作品展を開催
3	第7回エコプロダクツ国際展へのブース出展	デリー	プラガティマイダン	アジア生産性機構 (Asian Productivity Organization: APO)	2011.02.10 ~ 2011.02.12	アジア生産性機構 (APO) が中心となって毎年アジア各国を巡回して実施しているエコプロダクツをテーマにした展示会。今年は初めてインドで開催され、日本企業を中心に、100社以上の企業や団体が参加。商品プロモーションが中心の展示会であったが、ニューデリー日本文化センターからは折り紙のワークショップ、国際交流基金オリジナル風呂敷や手ぬぐいの展示を実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	ソプラノ・テノール歌曲コンサート	デリー	トリベニ・カラ・サンガム劇場	ヤマハ・インド	2010.05.08	在留邦人、菊池貴代 (ソプラノ歌手) と、本邦から訪印した湯川晃 (テノール歌手) の2名による歌曲コンサート。日本歌曲メドレーのほか、プッチーニ等の西洋歌曲、アリアを紹介
5	ちんどん喜助公演	デリー	ニューデリー日本文化センター	在インド大使館	2010.11.20 ~ 2010.11.23	在インド大使館が主催する、ちんどん喜助によるちんどん屋公演を共催。ニューデリー日本文化センターや日本人学校等を巡回
6	沖縄舞踊公演	カルナル デリー	シュリフオート・オーディトリウム、 Kamani Auditorium	National Integrated Forum of Artists & Activists Delhi International Arts Festival (DIAF)	2010.12.06 2010.12.09	特定非営利活動法人沖縄文化民間交流協会による沖縄舞踊公演をカルナル及びデリーにて実施。総勢20名の公演団が、伝統舞踊から現在でも親しまれている民謡まで幅広い演目を上演。デリーでは <i>Delhi International Arts Festival (DIAF: デリー州政府及びプリティヴィ財団主宰)</i> の中のプログラムとして実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	青柳晋 ピアノコンサート	デリー	Teen Murti Bhawan	ヤマハ・インディア	2010. 12. 30	ヤマハとの共催で青柳晋のピアノコンサートを開催
8	劇団「花傳」による「雨月物語」公演・ワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	国立演劇大学 (National School of Drama)	2011. 01. 02 ~ 2011. 01. 12	国立演劇大学が毎年開催するフェスティバル <i>Bharat Rang Mahotsav</i> のコンペティション部門を通過した劇団「花傳」の来印にあわせ、ニューデリー日本文化センターで演劇ワークショップを開催(11. 01. 08)。当日は岡田圓(演出家/俳優)を中心に、日本文化の伝統的な美意識を取り込んださまざまな動きや演出効果を説明し、その後観客が実際に動きを体験
9	高橋アキ+田中泯 公演	デリー	ニューデリー日本文化センター	国立演劇大学 (National School of Drama)	2011. 01. 21 ~ 2011. 01. 24	国立演劇大学が毎年開催するフェスティバル <i>Bharat Rang Mahotsav</i> に田中泯(舞踏家)と高橋アキ(ピアニスト)が招へいされたことを受け、同大学及びニューデリー日本文化センターでのパフォーマンスを実施
10	徳丸十盟 (邦楽) インド公演	デリー ハイデラバード バンガロール バンガロール コルカタ チェンナイ	ニューデリー日本文化センター 英語外国語大学講堂 ヤヴァニカホール バンガロール大学講堂 印日福祉文化協会ホール アジア文化会館AOTS同窓会	国立英語外国語大学 IJCCI (Indo-Japanese Chamber of Commerce & Industry, Karnataka) ジャパンハッパ実行委員会 印日福祉文化協会 アジア文化会館AOTS同窓会	2011. 02. 16 2011. 02. 16 2011. 02. 19 2011. 02. 20 2011. 02. 23 2011. 03. 02	徳丸十盟 (尺八演奏家) 及び4名の邦楽器奏者 (尺八、琴) による、デリー、ハイデラバード、バンガロール、コルカタ、チェンナイのインド国内5都市巡回公演を実施。バンガロールではジャパン・ハッパ (日本祭) で上演し、現地音楽家と共演した

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	折り紙ワークショップ	デリー	ニューデリー日本文化センター	Origami Oritai, India	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	当地折り紙クラブの講師による定期ワークショップの実施。毎週水曜日及び土曜日に開催
12	日本文学講演会	デリー	ニューデリー日本文化センター	インド日本文学文化協会	2010. 09. 23	芳賀明夫 (遠藤周作『深い河』編集者) による講演会。『深い河』執筆当時の裏話や、遠藤作品全般に関する解説、また編集者として作家遠藤周作との交流を語る

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	伊勢崎賢治 講演会	デリー	ニューデリー 日本文化センター	開発協力ひろば	2010. 09. 26	国際交流基金日本研究機関支援[アジア・大洋州]プログラムにてデリー大学へ派遣中の伊勢崎賢治（東京外国語大学大学院総合国際学研究科教授）による講演会。タイトルは、「対テロ戦の展望：アフガニスタンからパキスタン、インドを見る」。アフガニスタンにおける国連活動（武装解除、復員、民主的選挙の実施等）で著名な同教授がアフガニスタン及びパキスタンの政治状況について説明し、インドに対する紛争の可能性またはテロリズムの脅威について講演
14	詩集出版記念会	デリー	ニューデリー 日本文化センター	インド日本文学文化協会	2010. 11. 12	ウニタ・サチダナンダ（SACHIDANAND, Unita：デリー大学助教授）により編集出版された詩集『ウルドゥー詩の花束』（ウルドゥー原文、ヒンディー翻字、日本語訳の3言語併記）の披露
15	日本文学シンポジウム	デリー	ニューデリー 日本文化センター	インド日本文学文化協会	2010. 11. 26 ～ 2010. 11. 27	松尾芭蕉、石垣りんをテーマに、濱川勝彦（元・奈良女子大学教授）、ウニタ・サチダナンダ（SACHIDANAND, Unita：デリー大学助教授）をはじめ日印の5名の研究者による発表
16	第6回日本文学の会	デリー	ニューデリー 日本文化センター	国文学研究資料館	2011. 02. 20	日本側研究者として今西祐一郎（国文学研究資料館長）、伊藤鉄也（同資料館教授）、インド側研究者として日本文学研究に携わるウニタ・サチダナンダ（SACHIDANAND, Unita：デリー大学助教授）、アニタ・カンナ（KANNA, Anita：ジャワハルラル・ネルー大学教授）が、『源氏物語』の翻訳について研究成果を発表。参加者はデリー大学、ジャワハルラル・ネルー大学の教授、学生約50名
17	ジャパン・ハッパ	バンガロール		ジャパン・ハッパ実行委員会	2011. 02. 20	南インドの中心都市であるバンガロールにおける日本祭り「ジャパン・ハッパ」を共催
18	Wall Art Festival 2011	デリー	ニューデリー 日本文化センター	Wall Art Festival事務局	2011. 02. 24	インド最貧州の1つであるビハール州ブッダガヤのスジャータ村を舞台に2010年より開催されている現代美術フェスティバルの報告会を、ニューデリー日本文化センターで開催。世界で活躍する現代美術作家が参加した貧困地域の社会開発プログラムという側面もあり、報告会では、現代美術フェスティバルとしての側面のみならず、社会開発へのアプローチ手法としての側面も紹介
19	サヴィトリ・元デリー大学教授 国際交流基金賞受賞記念講演会	デリー	ニューデリー 日本文化センター		2011. 02. 25	平成22年度国際交流基金賞（日本語部門）を受賞したサヴィトリ・ビシュワナタン（Dr. VISHWANATHAN, Savitri）の受賞記念講演「インドー日本：変化する認識」を実施
20	俳句レクチャー・ワークショップ	デリー	ニューデリー 日本文化センター	インド日本文学文化協会	2011. 03. 03	宮下恵美子（俳人）による俳句の作り方の紹介。日本の俳句とインドの詩の競演朗読会も実施
21	日印口承文学セミナー	デリー	ジャワハルラル・ネルー大学	ジャワハルラル・ネルー大学	2011. 03. 25	インド側研究者6名及び日本側3名の発表。インド側のテーマは、インド古典文学、日本文学に見るインドの影響やアイヌ文学について研究発表。日本側は、酒井京子、中平順子、永瀬比奈による紙芝居の紹介を実施

海外拠点

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	日本映画上映会	デリー	ニューデリー 日本文化センター		2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	日本映画の定期映画上映会をニューデリー日本文化センター内オーディトリウムで月2回程度実施
23	第二次世界大戦映画祭	デリー	Shri Fort Auditorium	インド情報放送省	2010. 09. 05	米国、英国、ドイツ、フランス、ロシア、日本の6カ国の戦争に関する映画祭。国際交流基金からは『ビルマの堅琴』（市川崑、1956）を提供し、上映
24	ノイダ映画祭 <i>Global Film Festival</i>	ノイダ	マルワスタジオ	Global Film Festival事務局	2010. 11. 12	ノイダ市で開催された映画祭 <i>Global Film Festival</i> に、ニューデリー日本文化センター所蔵のアニメーションDVD <i>Nitabo</i> を貸出し上映
25	<i>DENKIKAN</i> 屋外フィルム上映会	デリー	ニューデリー 日本文化センター	シネ・ダバー (Cine Darbaar)	2011. 02. 26	タイトルのDENKIKANは日本で最初にできた映画専門の劇場「電気館」から引用し、ニューデリー日本文化センター前のスペースに特設のテント小屋を設置、内部で16mm映写機による上映会を実施。外の光がうっすらと漏れ入る半屋外空間のレトロな雰囲気の中で16時から22時まで日本映画を6時間ノンストップ上映。フィルムは在インド大使館所蔵の西アジアフィルム・ライブラリーより『たそがれ清兵衛』『リンダ リンダ リンダ』『回路』の3作品を借用して上映

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
26	図書館運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	日本語学習者向けの教材や日本研究者向けの和英資料の充実を図りつつ、同時に現代日本を紹介するための関連資料（図書、参考書籍、視聴覚資料）を配架する専門図書館を運営 ①所蔵資料合計： 約11,000点 （内訳：日本語6,500冊、英語及びヒンディー語3,500冊 視聴覚資料数約1,000点） ③利用者数（年間）： 6,729名 ④貸出点数（年間）： 2,618点 ⑤レファレンス件数（年間）： 649件 ⑥図書館用リーフレット作成： 有り

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
27	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ニューデリー日本文化センターの紹介、主催・共催事業等の案内、公募事業の案内、日本文化に関する情報発信を実施 URL: http://www.jfindia.org.in/ アクセス件数（年間）： 22,642件 メールマガジン配信数（年間）： 808件

海外拠点

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
28	中等教育現職日本語教師研修	デリー	ニューデリー 日本文化センター	中央政府中等 教育委員会 (CBSE)	2010.07.01 ~ 2011.01.31	日本語運用能力及び教授能力の向上を目的に、デリー近郊の初・中等教育機関に属する現職日本語教師を対象に、教科書による指導方法や文化紹介の手法等の講義を実施（毎月第1・3金曜日のコース、または第2・4金曜日のコース）。研修修了者18名に対し、ニューデリー日本文化センター並びに中等教育委員会の連名による修了証書を授与
29	中等教育現職日本語教師研修 (11年生教師向け)	デリー	ニューデリー 日本文化センター		2011.03.01 ~ 2011.03.31	11年生を教える教師向けに、インド政府指定教材『みんなの日本語』の使い方について研修。週2回×4週間

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	ハミルプル日本文化祭	ハミルプル	ヒム・アカデ ミースクール	ヒム・アカデ ミースクール	2010.11.15	平成21年度中学高校教員交流(招へい)プログラムに副校長が参加したことをきっかけに日本に関心を持ち、日本に関する展示、日本語での挨拶の仕方、ラジオ体操の体験等を含む日本文化祭を実施
31	自治体国際化協会 デリー交流	デリー	ニューデリー 日本文化センター	自治体国際化 協会(CLAIR)	2010.11.30	自治体国際化協会(CLAIR)との共催で、日本人の地方公共団体職員と日本語を学ぶインド人との交流会を実施
32	デリー福岡フェア	デリー	オパロイホテル	福岡県	2011.03.15	福岡県の実施する国際フェアに対し、主に広報面で協力。内容は福岡の文化紹介及び留学相談コーナーの設置等

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
33	日本映画上映会	シネ・ダバー (Cine Darbaar)	2010.04.23 ~ 2010.08.06	映画テレビ・アジアスクール(04.23~24)及びアミティ・コミュニケーションスクール(08.05~06)の2つのカレッジで、各2日間の日本映画上映会及びワークショップを実施する事業に対して助成
34	アニメ映画祭 <i>Anime Cinema Experience, 2010</i>	シネ・ダバー (Cine Darbaar)	2010.08.20 ~ 2010.08.22	西アジア・フィルムライブラリー所蔵作品『時をかける少女』や共催団体が上映権を持つアニメーション作品（『ほしのこえ』『秒速5センチメートル』『雲のむこう・約束の場所』）の上映、ニューデリー日本文化センター所蔵の漫画本の貸出提供、インド人のアニメ専門家キーティズ・アナンド (ANAND, Khitiz) による日本アニメ・ワークショップを実施する事業に対して助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	折り紙セミナー	Origami Oritai, India	2010.10.17 ~ 2010.10.24	ニューデリー日本文化センターを拠点に活動をしている Origami Oritai, India と共催で、日本より鈴木恵美子（折り紙専門家）を招へいし、ワークショップを実施する事業に対して助成
36	剣道ワークショップ	バハーラッタ・シアター (Bharatha Theatre)	2010.10.25 ~ 2010.10.31	日本から剣道の専門家を招へいし、日印のマーシャルアーツに関するワークショップ及びデモンストレーションを実施する事業に対して助成
37	博士論文執筆調査	ニヴェディタ・クマリ (KUMARI, Nivedita)	2010.11.07 ~ 2010.12.12	日本語とヒンディー語の比較言語研究に関する調査。ニューデリー日本文化センターは、日本・インド間の渡航費の一部を助成
38	学校巡回日本アニメーション・ワークショップ	シネ・ダバー (Cine Darbaar)	2010.12.01 ~ 2011.03.31	日本のアニメーション及び漫画を題材に、ニューデリー市内及び近郊の中等教育機関を巡回し、ワークショップを実施する事業に対して助成
39	バンガロール・カラオケ・コンテスト	バンガロール日本語教師会 (Bangalore Nihongo Kyoshikai)	2010.12.12	バンガロール市内及び周辺地域の日本語学習者による日本語カラオケ・コンテストに対しニューデリー日本文化センターは、賞品購入費を助成
40	折り紙ワークショップ	バル・バワン (Bal Bhawan)	2010.12.19 ~ 2010.12.23	当地在住の折り紙専門家による中等教育機関向け折り紙ワークショップを開催する事業に対して助成
41	いけばなインターナショナル定期大会（グルガオン）	いけばなインターナショナル・グルガオン	2011.01.29	いけばなインターナショナル・グルガオン支部による定期大会。ニューデリー日本文化センターは会場借料を助成
42	ジャワハルラル・ネルー大学セミナー報告書作成	ジャワハルラル・ネルー大学	2011.03.01 ~ 2011.03.31	2010年3月ジャワハルラル・ネルー大学主催セミナー「言語教育は言語と文化を結ぶ」の報告書を作成。ニューデリー日本文化センターは、編集費の一部を助成

海外拠点

シドニー日本文化センター

合計額 189,808,577 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	展覧会 <i>Akira Automne/ Hiver 2010</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.06.03 ~ 2010.06.25	日本出身でオーストラリアを代表するファッション・デザイナーとなった五十川明を招き、最新コレクション(2010 秋・冬)及び、その元となったデッサン画など50点を展示。関連行事として、展示作品の制作過程等についてのアーティスト・トークを6月3日に実施
2	展覧会 <i>facetnate!</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.07.08 ~ 2010.09.30	シドニー日本文化センターが平成20年度に開始した、若手新人アーティスト育成のための企画展 <i>Facetnate!</i> の第3年度。「日本」に影響を受けているアーティストを公募し、17件の応募者の中から入選者3名を選定。それぞれがシドニー日本文化センターギャラリーで、以下の展覧会を実施。 1) <i>AMA</i> サビーナ・マセリ (MASELLI, Sabina) 2) <i>days end</i> エイミー・クレイグ (CRAIG, Amy) 3) <i>Grove</i> キャス・フリース (FRIES, Kath) 最優秀のキャス・フリースに <i>Japan Foundation New Artist</i> 賞 (副賞日本往復航空券) を授与。本展覧会は、第17回シドニー・ビエンナーレの関連事業としても位置付けられ、入選作家はビエンナーレの公式イベント「ペチャクチャ・ナイト (<i>PechaKucha nights at SuperDeluxe@Artspace</i>)」にも出演

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	<i>In Repose</i> 展	シドニー	シドニー日本文化センター		2010.04.01 ~ 2010.05.14	日本とオーストラリアのアーティスト4名による、写真、映像、音楽、ダンスを組み合わせた複合アートプロジェクト。参加アーティストは、金森マユ (写真家)、小田村さつき (箏)、浅野和歌子 (ダンサー)、ビック・マキューアン (MCEWAN, Vic: 作曲家)。豪州北部の各地に残る日本人墓地进行を訪ね、現地の人々と交流しながら追悼のためのセレモニーを行った記録を、展示とパフォーマンスにより再現。来場者数は663名
4	和太鼓・尺八公演・ワークショップ <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	スバ (フィジー)	南太平洋大学 Holiday Inn	在フィジー大使館	2010.07.11 ~ 2010.07.15	ROYCE-HAMPTON, Tom(和太鼓)とJOBST, David Joseph(尺八)をフィジーに派遣し、コンサート及び南太平洋大学の学生を対象としたワークショップを開催
5	琴・フルート・コンサート <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ウェリントン (ニュージーランド)	Massey University, Concert Hall Wellington Town Hall	在ニュージーランド大使館	2010.09.03 ~ 2010.09.06	小田村さつき(箏)とDRAEGER, Christine (フルート/尺八)をウェリントンに派遣。コンサート及びウェリントン・ジャパンフェスティバル(<i>Japan Festival of Wellington</i> : 隔年開催)にて演奏を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	キャンベラ・奈良・キャンドル・フェスティバル	キャンベラ	キャンベラ・奈良平和公園		2010. 09. 18	奈良市とキャンベラの姉妹都市交流を記念してオーストラリア首都特別地域政府主催で行われるキャンベラ・ナラ・キャンドル・フェスティバルに、シドニー在住の、れん(書家)を派遣して2回の書道パフォーマンスを行うと共に、大使館ブースの中で国際交流基金事業を紹介
7	日本舞踊公演 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	オークランド (ニュージーランド)	Logan Cambell Center	オークランド・ニュージーランド日本協会、在オークランド総領事館	2010. 09. 24 ~ 2010. 09. 26	オークランド・ニュージーランド日本協会が主催する <i>Taste of Japan</i> ・フェスティバルに、日本舞踊専門家 YOKE, Chin Khamを派遣
8	箏・三味線公演 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ヌクアロファ (トンガ)	クィーンサロテメモリアルホール 迎賓館	在トンガ大使館	2010. 11. 01 ~ 2011. 11. 04	日本・トンガ外交関係樹立40周年を記念する事業として、小田村さつき(箏)、黒澤仁美(箏)及び蔭山智美(三味線)をトンガに派遣して公演を実施。国王トゥポウ5世と王族・政府関係者、音楽関係者を招待した公演及び一般向けコンサートの計2回を実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	レクチャーシリーズ <i>Living Histories</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 05. 07 ~ 2010. 07. 02	日豪交流の歴史において、これまであまり知られていないが草の根のレベルで重要な役割を果たしてきた人々を取り上げ、19世紀後半から現在までの交流を振り返る6回シリーズの講演会。 講演者及びテーマは、MCARTHUR, Ian (シドニー大学名誉研究員)による「日豪交流概観」、HAMILTON, Walter (元ABCテレビ東京特派員)による「呉の子供達」、ECCLES, Graham (元 <i>The Herald and Weekly Times</i> 紙編集長)による「羊毛貿易」、OLIVER, Palm (モナシュ大学研究員)による「オーストラリア襲撃」、PULVERS, Roger (作家/劇作家/演出家)による「日本とオーストラリアの間で」、山内由里子(シドニー工科大学研究員)による「日本人移民とアボリジニ」。来場者数は380名
10	アーティスト・トーク・シリーズ <i>Wherefore ART thou?</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 05. 26 ~ 2010. 08. 25	日本とオーストラリアの若手現代アーティストを毎回1名ずつ招き、初心者・一般にもわかりやすく、自身の作品内容を紹介・解説する現代アートへの入門トークシリーズを全4回開講。参加アーティストは、進藤詩子、ROBINSON, Kiron, CARR, Hamish, BAKKER, Jermy。一部作品展示も実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	レクチャー&映画上映シリーズ <i>Glimpses of Japan</i>	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 10. 06 ~ 2010. 10. 27	大洋州フィルムライブラリーに所蔵されている約30年前の日本文化・社会を紹介するためのドキュメンタリー映画を上映し、専門家がその時代背景やその後の変化、現代に与えた影響について解説を行う4回シリーズの講演会。 上映映画及び解説者は、第1回：Salary Man (1975) KARLSSON, Mats (シドニー大学講師)、第2回：Voices of Young Japan (1979) HAYES, Carol (オーストラリア国立大学上級講師)、第3回：The Hanawa Family (1980) MACKIE, Vera (ウーロンゴン大学教授)、第4回：Manga: The Cartoon in Contemporary Japanese Life (1982) SUTER, Rebecca (シドニー大学講師)
12	日本伝統工芸講座	シドニー	シドニー日本文化センター		2011. 03. 21 ~ 2011. 03. 31	日本の伝統工芸の技術・技法を継承する講座の第1弾として「筒描き友禅染め」の第一人者である、小林秀明を講師として迎え、デザイン・美術の専門家17名を対象に、実質9日間に亘る友禅染めの一連の工程を伝授するワークショップを開講（引続き2011年4月にはオーストラリア・デザイン・アカデミーとの共催でメルボルンで実施）

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	大洋州フィルムライブラリー運営			在オーストラリア大使館 在メルボルン総領事館 在ニュージーランド大使館 在オークランド総領事館	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	大洋州各地において、在外公館との共催により日本映画上映会を開催。平成22年度は計32回の上映会を実施
14	水曜映画会 (<i>Japanese Cinema</i>)	シドニー	シドニー日本文化センター		2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	大洋州フィルムライブラリーの映画を使って、シドニー日本文化センター多目的ルームで上映会を開催。平成22年度は、計11回実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	第14回日本映画祭	パース ブリスベン キャンベラ シドニー メルボルン ホバート	State Library of Western Australia Tribal Theatre National Film and Sound Archive Event Cinemas Australian Centre for Moving Images Village Cinema	在パース総領事館 在ブリスベン総領事館 在オーストラリア大使館 National Film and Sound Archive 在メルボルン総領事館 ホバート豪日協会 スマッシュ (SMASH!)	2010. 10. 18 ~ 2010. 12. 07	本年度は6都市で日本映画祭を開催。シドニー(22作品上映)とメルボルン(15作品上映)で約12,000名を動員したほか、パース、ブリスベン、キャンベラ、ホバートでも実施し、全6都市合計で過去最大の約14,000名を動員。シドニーでは『京都太秦物語』の阿部勉(監督)、佐藤忠男(映画評論家)を招へいし、11月23日にフォーラムを開催するとともに、塩谷直義(監督)を招へい。上映映画は、『おとうと』『告白』など。シドニー及びメルボルンでは、同映画祭の一部として、アニメ祭組織・スマッシュ (SMASH!) との共催で4本のアニメ作品を上映する「アニメ祭」を実施。株式会社日本航空 (JAL)、CUBE IT、SBS等、計25機関から協賛・協力を得た

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
16	図書館運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	一般市民、日本語教師、日本研究者を対象に、英語による日本についての図書、劇映画・アニメDVD、日本語教材を多く備え、月曜から金曜まで毎日開館。3週に1度、土曜日も開館。図書貸出、レファレンスサービス、Web-OPACなどのサービスを提供 ①所蔵資料合計： 18,856点 (内訳：蔵書16,384冊、視聴覚資料：2,472点) ②利用者数(年間)： 16,114名 ③貸出点数(年間)： 11,468点 ④レファレンス件数(年間)： 97件

海外拠点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
17	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	シドニー日本文化センターを紹介するウェブサイトを運営。組織紹介、事業案内、特集記事、事業アーカイブ等から成る URL: http://www.jpfc.org.au/ アクセス件数(年間) : 419,373件 メールマガジン配信数(年間) : 99,000件
18	メールマガジンの発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	Eメールによるニューズレター <i>OMUSUBI</i> を発行。一般向け、日本語教師向けの定期版(月1回発行。HTML版)及び新着情報がある都度、随時発信する臨時版(テキスト版)を組み合わせ、年間計33本を発信。登録者数は約3,000名(2011年3月末現在)
19	学術ジャーナル <i>New Voices</i> の刊行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	若手・次世代研究者の育成・支援を目的として2006年に発刊した <i>New Voices</i> 第4号を刊行。オーストラリア、ニュージーランドの優等学士(Honours)及び修士(Masters)の学位論文の中から優れたものを公募し、査読を経て選ばれた論文を印刷媒体で5本、ウェブジャーナルで9本発行。掲載論文は、 <i>Raising subjects: The representation of children and childhood in Meiji Japan</i> 等

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
20	第4回井上靖賞授賞式	シドニー	シドニー日本文化センター	シドニー大学 井上靖記念文化財団	2010.06.07	オーストラリアで発表された日本文学研究に関する優れた業績を顕彰する「井上靖賞」の授賞式を開催すると共に、関連イベントを実施。受賞者マツ・カールソン(KARLSSON, Mats:シドニー大学講師)による記念講演、黒田佳子(井上靖の次女)によるスピーチ及びシドニー日本文化センター・フィルムライブラリーから井上靖の小説が原作の映画『千利休・本覚坊遺文』を上映
21	アニメイベント <i>SMASH!</i> 及び <i>ANIMANIA</i> への参加	シドニー	Sydney Town Hall Australian Technology Park		2010.08.07 ~ 2010.09.12	オーストラリアでも人気の高いアニメやマンガのファン・イベントである <i>SMASH!</i> 及び <i>ANIMANIA</i> にブースを出展し、国際交流基金事業やシドニー日本文化センター日本語講座の紹介を行うとともに、アニメ・マンガ関係者とのネットワークを構築

海外拠点

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	文化芸術交流ローカルグラント <i>Silent Film Festival</i>	Silent Film Festival 事務局	2010.09.11 ~ 2010.09.25	日本、オーストラリア、米国、ドイツ、フランス、ロシア各国のサイレント映画12本を上映するサイレント映画祭にて、小津安二郎の『出来心』を尺八のライブ公演付きで上映。シドニー日本文化センターは、広告費及び映画上映費の一部を助成
23	日本研究・知的交流ローカルグラント <i>Australia-Japan Annual Dialogue</i>	グリフィス大学アジア研究所	2010.10.27	グリフィス大学アジア研究所が開催する <i>Australia-Japan Annual Dialogue</i> に対する助成。日本とオーストラリアからそれぞれ1名ずつ著名な人物を招き、日豪関係の現状と将来の展望につき議論を行う公開講演会を実施。3年計画事業の1年目である本年度の講演者は、アレクサンダー・ダウン（DOWNER, Alexander: 元オーストラリア外務大臣）と佐藤重和（在オーストラリア大使）。シドニー日本文化センターは、講演者の旅費及び広報費を助成
24	日本研究・知的交流ローカルグラント <i>International Conference on Human Rights Education</i>	西シドニー大学	2010.11.04 ~ 2010.11.06	西シドニー大学が開催する人権教育に関する国際会議に対する助成。国連が採択した人権教育のための世界プログラムに関する決議に関連して、人権教育の推進施策についてオーストラリア内外から有識者を招き会議を開催。シドニー日本文化センターは、日本から招へいた阿久澤麻理子（兵庫大学准教授）、阿部浩己（横浜市立大学教授）の参加旅費を助成
25	日本研究・知的交流トラベルグラント <i>Metabolism: The City as Space of Destruction and Survival</i>		2010.11.11 ~ 2010.11.20	マルコ・ポンピリ（POMPILI, Marco: 建築家）が日本で研究を行うための旅費の一部を助成。日本で1950年代に黒川紀章（建築家）らによって提唱された建築運動「メタボリズム」を、単なる建築様式としてだけではなく、都市のインフラや都市デザイン全体から位置づけなおす研究
26	文化芸術交流ローカルグラント <i>Ocean White Project</i>	Ocean White Project事務局	2010.11.19 ~ 2011.11.19	メルボルン在住の太田奈緒美（ビジュアルアーティスト）、ティム・ハンフリー（HUMPHREY, Tim: 作曲家）、スー・ユン・ユン（YOU, Soo Yeun: ダンサー）、日本在住の岩村原太（照明家）などの日本とオーストラリアのアーティストによるサウンド、ライティング・インスタレーション及びダンスのコラボ・パフォーマンス。シドニー日本文化センターは、会場費や機材借料等の一部を助成
27	日本研究・知的交流トラベルグラント <i>The Cosmopolitan Impact of Contemporary Japanese Fashion in Australia</i>		2010.12.09 ~ 2010.12.16	KIMURA, Tetsuroh（アデレード大学博士課程）がメディア研究の博士論文執筆のため、日本で資料収集等を行う際の旅費の一部を助成。日本のポップカルチャーのうち、特にストリート・ファッションに焦点を当て、それがオーストラリア国内にどのように受容されているかを研究

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	文化芸術交流ローカルグラント Performance Concert for the Shakuhachi Chamber Music Composition Competition 2010	Shakuhachi Flutes	2010. 12. 11	国際コンペで選ばれた尺八奏者及び作曲家がメルボルン大学メルバホールで合同コンサートを開催。参加した音楽家は日本から入江要介(尺八)、オーストラリアからアンドリュウ・マグレガー(MACGREGOR, Andrew: 尺八)など。シドニー日本文化センターは、コンサートの広報費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
29	後援名義の付与	シドニー日本クラブ Language Discovery	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	シドニー日本クラブ主催による日野原重明の日豪健康交流講演会及びLanguage Discovery・プロジェクトに対して後援名義を付与(合計2件)

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
30	会場提供事業	ニューサウスウェールズ州日本語教師会 Peace Boat事務局 JETプログラム同窓会(JETAA) 裏千家淡交会シドニー協会	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ニューサウスウェールズ州日本語教師会の会議(10. 05. 29及び11. 03. 12)に、Peace Boatのインフォメーションセッション(10. 06. 10)に、(10. 06. 19及び10. 10. 22)JETプログラム同窓会(JET Alumni Association: JETAA)の交流会(10. 06. 26)に裏千家の会合に会場を提供(合計6件)

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
31	文化備品貸出	シドニー豪日協会 裏千家	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	主に学校を対象とした、さまざまなグッズの詰まった『日本概要』『学校生活』『伝統的な日本』『日本食』の4つの文化備品キットの貸出しを7件、茶道具等の文化備品の貸出しを9件、計16件の貸出しを実施

トロント日本文化センター

合計額 122,880,954 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	横尾忠則ポスター展	シカゴ (米国)	シカゴ大学 ジョゼフ・ レーゲンシュ タイン図書館	シカゴ大学東 アジア研究セ ンター内日本 研究コミッ ティー	2010.03.29 ~ 2010.06.19	横尾忠則の1997年から2005年までのポスター30点を、シカゴ大学東アジア研究センター内日本研究コミッティーに貸し出し、ジョゼフ・レーゲンシュタイン図書館にて展示
2	藤間流日本舞踊公演における国立劇場ポスター展	バンクーバー	Frederic Wood Theatre (プリ ティッシュ・ コロンビア大 学内)	Frederic Wood Theatre 在バンクー バー総領事館	2010.04.09 ~ 2010.04.10	国際交流基金本部「公演(助成)」を受けバンクーバーで開催された藤間流日本舞踊公演の会場において、国立劇場ポスター展を実施。トロント日本文化センター所蔵の国立劇場ポスターの中から、視覚的にインパクトのある、文楽、歌舞伎、能、狂言など複数の伝統芸能のポスター全15枚を選定して会場の廊下に展示することにより、公演事業を盛り上げ、日本の伝統芸能を広く紹介
3	手ぬぐいデザイン展 (<i>Tenugui Towels: Design Excellence in Japanese Daily Life</i>)	トロント	トロント日本 文化センター	株式会社かま わぬ	2010.05.26 ~ 2010.07.30	日本で古くから愛され、市民の日常生活の中でさまざまな形で用いられてきた手ぬぐいに焦点を当て、210本を越える手ぬぐいを展示したほか、手ぬぐいの染色・製造工程や歌舞伎・浮世絵の中に見る手ぬぐいの用法などを紹介。日本手ぬぐい製造・販売会社「かまわぬ」との共催
4	写真展「日本の庭園：四季の京都の庭」	ケベック	ケベック市庁 舎内ホール ケベック文明 博物館	ケベック市役 所 ケベック文明 博物館 在モントリ オール総領事 館	2010.11.02 ~ 2010.11.21	在モントリオール総領事館開設50周年記念事業として、トロント日本文化センター所蔵の写真展『日本の庭園：四季の京都の庭』をケベック市の2会場(ケベック市庁舎内ホールとケベック文明博物館)において開催。オープニング式典には、国際関係大臣(ケベック州政府代表)、ケベック市長をはじめ市議会議員などケベック州政府及び同市役所の要人が多数参加し写真展を鑑賞
5	浮世絵展 <i>Live Long & Prosper- Images of Longevity in Japanese Ukiyo-e</i>	トロント	トロント日本 文化センター	ステュアート ・ジャクソン ・ギャラリー	2010.11.15 ~ 2011.03.05	トロント市内の民間アートギャラリー「ステュアート・ジャクソン・ギャラリー」との共催により、同ギャラリーのオーナーが個人所蔵する浮世絵約70点を展示。長寿のイメージがコレクションの主軸となり、鶴や亀、寿、七福神など、華やかでおめでたい伝統的なイメージを紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	写真展「日本の庭園：四季の京都の庭」	モントリオール	モントリオール市庁舎内ホール	モントリオール市役所 在モントリオール総領事館	2010.12.02～2010.12.11	在モントリオール総領事館開設50周年記念事業として、トロント日本文化センター所蔵の写真展『日本の庭園：四季の京都の庭』をモントリオール市役所において開催し、同市関係者や一般市民に対し、広く日本庭園文化の美しさを紹介。市庁舎内ホールにて開催した写真展オープニング式典には、市議会議員をはじめとする政府関係者や文化人が多く参加し写真展を鑑賞
7	写真展「日本の庭園：四季の京都の庭」	レジャイナ	レジャイナ大学リデルセンター	レジャイナ大学国際言語学部日本語学科	2011.02.07～2011.02.25	レジャイナ大学国際言語学部日本語学科と共催で、写真展「日本の庭園：四季の京都の庭」を開催
8	中野晴生・伊勢神宮写真展	トロント	トロント日本文化センター	伊勢神宮 滋賀県立琵琶湖博物館 中野フォトスタジオ	2011.03.15～2011.07.30	中野晴生(写真家)及び滋賀県立琵琶湖博物館より作品約50点の無償貸与を受け、写真展を開催。また、日本政府観光局(JNTO)トロント事務所の協力により、三重県や日本への観光促進パンフレットをあわせて来館者に配布。写真は伊勢和紙にプリントされ、神宮の宮城林の木材で作られた額で展示。写真作品を中心に、神宮司庁の協力によるDVDも常時上映して、伊勢神宮をめぐる自然や文化を総合的に紹介

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	邦楽演奏と俳句朗読会	オタワ	在カナダ大使館講堂	在カナダ大使館	2010.11.19	カナダ人奏者による尺八及び三味線の演奏会を行い、併せてオタワ俳句協会と連携して、英語俳句の朗読など、俳句の紹介を実施
10	語りストーリーテリング：英語による昔話と民話	トロント	トロント日本文化センター	語りの会 トロント・ストーリーテリング・フェスティバル	2011.03.26	日・加の市民グループ「語りの会」による、日本の昔話、民話、落語、創作物語などを英語で語り聞かせるイベント。トロント・ストーリーテリング・フェスティバルのイベントの一つとして、トロント日本文化センターイベントホールで開催

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	講演会「日本手ぬぐいのデザインと利用法」	トロント	トロント日本文化センター	株式会社かまわぬ	2010.06.03	トロント日本文化センターで開催中の手ぬぐいデザイン展にあわせ、共催者である手ぬぐい製造・販売会社「かまわぬ」の加藤一宏(同社専務)により、日本手ぬぐいの伝統的デザイン、製造工程、利用法、日本人の生活文化などを紹介する講演会を実施。スライドや映像、実物を利用しつつ、日本手ぬぐいを多様な観点から紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	日本語教師情報交換会シリーズ2～5「日本語学習を継続させる」	トロント	トロント日本文化センター 在トロント総領事館広報文化センター	カナダ日本語教育振興会 (CAJLE) オンタリオ部会	2010.06.11 ～ 2011.02.13	カナダ日本語教育振興会との共催で、トロント近郊で中等教育、高等教育、継承語としての日本語教育など、異なる教育段階に携わる日本語教育関係者の連携を目的とした、「日本語教師情報交換会シリーズ」の第2～5回(計4回)を開催。現職日本語教師を対象に、実際の授業で使用しているシラバスと教材をもとに、授業の進め方の発表と質疑(Q&A)
13	<i>Found in Translation Festival</i> への参加と関口涼子講演会	トロント	トロント日本文化センター ハーバーフロントセンター	トロント作家祭事務局 イタリア文化センター スペイン文化センター アリアンス・フランセーズ 在トロントフランス総領事館	2010.06.17 ～ 2010.06.19	フランス語で作品を発表している非フランス人作家によるフェスティバル、 <i>Found in Translation Festival</i> の一環として、パリ在住の日本人作家関口涼子を招へいし、詩の朗読会及びトロント日本文化センターでの講演会(2010.06.18)を実施。母語・国境を越えて作品を発表する作家たち9名がトロントに集まり、講演、朗読、ディスカッションを行うユニークなフェスティバルを、トロント国際作家祭やイタリア・スペイン・フランスなど各国の文化交流機関と協力して企画・開催
14	講演及びビデオ上映「歌舞伎の中の手ぬぐい」	トロント	トロント日本文化センター	株式会社かまわぬ	2010.07.15	トロント日本文化センターで開催中の手ぬぐいデザイン展にあわせ、トロント日本文化センター・プログラムオフィサーによる、歌舞伎の舞台で使われる手ぬぐいに焦点を当てた講演とビデオ上映を実施。歌舞伎舞台上での手ぬぐいの様々な使われ方を紹介することにより、日本手ぬぐいと日本人の生活文化、そして、歌舞伎についての理解を促進
15	有賀ヒトシ講演会	トロント	トロント日本文化センター	ベガーリング(マンガ・アニメ書店) UDONエンターテインメント(UDON Entertainment)	2010.08.26	トロントのマンガ書店他との共催で、トロントで行われるアニメフェア(「ファン・エキスポ・カナダ」)に参加した有賀ヒトシ(ゲームクリエイター)のトーク及びファンとの交流イベントを開催。北米ではメガマン(日本名はロックマン)というゲーム及びマンガで知られ、カナダでも若者に人気の同氏を招き、トロント日本文化センターを会場として、直接ファンが触れ合う場を提供
16	大須賀関雄講演会「チェコにおけるオペラ『夕鶴』公演について」	トロント	トロント日本文化センター	カナダ・ジャパン・ソサエティ(CJS)	2010.10.15	チェコにおいて日本語でオペラ『夕鶴』を演出した大須賀関雄(おおすか・ときお:オペラ演出家/物理学者)の講演会。チェコのオペラ歌手による日本語でのオペラ公演の背景、演出の難しさ、日本のオペラの魅力や芸術を通じた共同作業・文化交流の可能性を紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	田中功起 アーティスト・トークと作品映像上映	トロント	トロント日本文化センター		2010. 11. 02	トロント日本文化センターで開催中の「ウィンターガーデン」展（10. 08. 06～11. 06）の参加アーティストの1人である田中功起による、作品上映とアーティスト・トークを実施
18	石山雄三ビデオ上映及びトーク	トロント	トロント日本文化センター		2010. 11. 23	モンリオールで開催される芸術見本市に公式招待され参加する石山雄三（パフォーマンスアーティスト/マルチメディアアーティスト）の作品 <i>QWERTY</i> を映像で紹介。同氏自身が作品の背景や考え方について講演し、聴衆と対話
19	日本研究講演会「リコンストラクティング神戸～阪神淡路大震災後の都市復興から学ぶ」	トロント	トロント日本文化センター	カナディアン・アーバン・インスティテュート (CUI)	2010. 11. 26	デイビッド・エジントン (EDGINGTON, David: プリティッシュ・コロンビア大学地理学教授) による、阪神淡路大震災後の神戸の都市復興に関する研究についての講演会、カナダの一般市民を対象とした
20	山村浩二講演会及び上映会	オタワ	在カナダ大使館講堂	在カナダ大使館	2010. 12. 07	文化庁文化交流使としてモンリオールに滞在中の山村浩二（アニメ作家）をオタワに招き、在カナダ大使館と共催で、アニメに関する講演会及び同氏の作品の上映会を実施
21	河野勝早大教授講演会 <i>East Asia and International Relation's Theory: Current Debate and Beyond</i>	トロント	トロント大学 MUNK スクール	トロント大学 アジアインスティテュート	2011. 03. 02	河野勝（早稲田大学政治経済学部教授：政治学・国際関係論）の講演会をトロント大学と共催し、同大学の日本研究者や大学院生、一般カナダ市民を対象に、日本の政治学者に発信の機会を設け、日本研究の振興と、両国の研究者の対話と交流を図る。Joseph Wong（トロント大学教授）がモデレーターとして参加
22	河野勝早大教授講演会 <i>Don't Think Twice about Japanese Politics, It's Allright</i>	トロント	トロント日本文化センター		2011. 03. 03	一般カナダ市民を対象に、河野勝（早稲田大学政治経済学部教授：政治学・国際関係論）の講演会をトロント日本文化センターで開催。日本の政治学者に発信の機会を設け、日本の現代政治状況について理解の増進を図るとともに、当地において日本研究を行う研究者・若手大学院生との交流を実施
23	村越直子講演会 <i>Introduction to Japanese Contemporary Dance and Dancers</i>	トロント	トロント日本文化センター	グリーンティアー	2011. 03. 09	村越直子（神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻非常勤講師／元トロント・ダンス・シアター団員）が、日系ダンサーの公演「ダイドンデン」参加のためトロントを訪問したのを機に、同氏による、日本のコンテンポラリー・ダンスに関する講演を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	トロント大学シンポジウム「少子高齢化時代における介護・移民の再考」	トロント	トロント大学 MUNKスクール	トロント大学 MUNKスクール トロント大学 アジアインス ティテュート トロント大学 公共政策ス クール	2011. 03. 09 ~ 2011. 03. 10	2010年10月にバンクーバーで開催された「少子高齢化時代における介護、移民等についての日韓加社会政策シンポジウム」(主催：トロント大学他)のフォローアップとして、日韓加の研究者をトロントに招き、ワークショップ及び公開シンポジウムを開催。先進国が共通に直面する少子高齢化・介護・移民等の課題について、書籍出版に向けての専門家による対話の促進と、大学院生・市民への発信を行う
25	知的交流シンポジウム「2011東日本大震災—現実と復興への視点」	トロント	トロント日本 文化センター		2011. 03. 22	当初、添谷芳秀、田所昌幸(両氏とも慶應義塾大学教授)、木村昌人(渋沢栄一記念財団)、David Welch (ウオータールー大学教授)の4名による日本の国際関係に関するシンポジウムを計画していたが、東日本大震災の発生により、急遽予定を変更。カナダ市民の震災への関心、被災者支援の気持ちに配慮し、テーマを震災の現実と復興に関するものにして日本・カナダの知識人の対話の機会とした。各氏がそれぞれの立場から震災の体験、今後の課題、復興への視点などに関して発表を行い、フロア参加者とも議論を行った

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	トロント国際映画祭 アジアン・フィルム・ナイト	トロント	トロント日本 文化センター	財団法人ユニ ジャパン (UNI JAPAN) 韓国映画振興 委員会 (KOFIC)	2010. 09. 13	トロント国際映画祭の期間中に、日本・韓国を中心とするアジアの映画監督、プロデューサー、配給関係者、俳優等を中心に紹介するイベントをトロント日本文化センターにて開催。日韓などアジアの映画関係者のほか、各国の映画祭関係者、カナダの映画関係者やジャーナリストなど300人が参加
27	映像作品 <i>Sayonara Hashima</i> 上映会 及びアーティストトーク	トロント	トロント日本 文化センター	OCAD大学 ゲーテ・イン スティトゥー ト・トロント	2010. 10. 01	日本の「軍艦島」をテーマにした作品 <i>Sayonara Hashima</i> を制作したドイツ人アーティストニーナ・フィッシャー (FISCHER, Nina) 及びMaroan el Saniを、ゲーテ・インスティトゥート・トロントが招へいするのを機に、同映像作品の上映会とアーティストトークを実施
28	シネマ歌舞伎トロント 2011	トロント	スコシャバン ク・シアター ・トロント	シネプレック ス マーティ・グ ロス・フィル ム 在トロント総 領事館 松竹株式会社	2011. 02. 05 ~ 2011. 02. 06	日本の代表的な伝統的舞臺芸術を最新のテクノロジーを使い「劇場の臨場感」で再現し、また英語字幕付で外国人にもわかりやすく紹介するプロジェクト。シネマ歌舞伎上映の3回目。玉三郎主演『鶯娘』を海外初公開(上映2回)したほか、新演目として『らくだ』を追加。また前回好評であった『連獅子』を再上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	シネマ歌舞伎バンクーバー2011	バンクーバー	シネプレックス・オデオ ン・インター ナショナル・ ビレッジ・シ ネマズ	サイモン・フ レイザー大学 シネプレク ス トモエアーツ マーティ・グ ロス・フィル ム 在バンクー バー総領事館 松竹株式会社	2011. 02. 08 ~ 2011. 02. 09	日本の代表的な伝統的舞台芸術を最新のテクノロジーを使い「劇場の臨場感」で再現し、また英語字幕付で外国人にもわかりやすく紹介するシネマ歌舞伎上映プロジェクト。トロントでの経験をベースに、初めてトロント以外の都市で開催。上映前にサイモン・フレイザー大学で、Cody Poulton（ヴィクトリア大学教授）とColleen Lanki（トモエアーツ主宰者）による歌舞伎についての講演を実施
30	トロント日本短編映画祭2011・監督 トークイベント	トロント	トロント日本 文化センター	トロント日本 短編映画祭事 務局(Toronto Japanese Short Film Festival)	2011. 03. 17	第8回トロント日本短編映画祭(11. 03. 17~03. 20)のため日本から来訪した今泉力哉(映画監督)と、Christopher Donaldson(映画監督)らカナダの短編映画監督3名によるトークイベント。各監督の短編作品を上映後、パネルディスカッション及び観客との質疑応答、交流会を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
31	図書館運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	日本語教材、日本文学や日本文化についての英語書籍など、カナダ市民のニーズに合わせた蔵書を収集提供するほか、ポップカルチャー・コーナーを設置しマンガやアニメ、J-POP、映画などの紹介を行う日本関係の専門図書館を運営。また、トロント市のイベント、 <i>Doors Open Toronto</i> や <i>Nuit Blanche</i> などに参加し、新規利用者の開拓を促進。また本年度は、初の試みとして筑波大学情報学部インターン受入れを行い、国際的感覚を有する司書の育成を支援 ①所蔵資料合計： 21,730点 （内訳：和英書籍等14,875冊 視聴覚資料数DVD等3,686点 雑誌3,169点） ②利用者数（年間）： 28,255名 ③貸出点数（年間）： 29,262点 ④レファレンス件数（年間）： 1,186件 ⑤図書館用リーフレット作成： ガイド3,500部(年1回)及びブックマーク 4,500部(年3回)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
32	トロント日本文化センター ブックツリー プロジェクト	トロント	トロント日本文化センター 図書館	株式会社日本航空 (JAL) 日本政府観光局 (JNTO)	2010. 05. 21 ~ 2010. 09. 07	本やマンガを一定数以上借り出した図書館利用者に抽選券を渡し、読んだ本のタイトル、連絡先を書いてもらい、抽選で民間企業等からの記念品や賞品を贈るイベント。同時に、読んだ本やマンガの感想を葉形の用紙に書き、図書館壁面に貼り付けて「ブックツリー」を作り、図書館利用者への書籍の紹介も実施
33	図書館浴衣デー	トロント	トロント日本文化センター 図書館		2010. 08. 16 ~ 2010. 08. 21	8月16日、19日、21日の3日間、図書館スタッフ3名が浴衣を着てカウンター業務を行い、利用者に浴衣や日本の夏祭りなどのイベントについて適宜説明を実施
34	筑波大学情報学群知識情報・図書館学類学生インターン受入	トロント	トロント日本文化センター 図書館	筑波大学情報学群知識情報・図書館学類	2010. 09. 27 ~ 2010. 10. 08	筑波大学で図書館学を専攻している学生1名をトロント日本文化センター図書館でインターンとして受入れ、図書館現場での研修を行い、またトロントの大学図書館や公共図書館の訪問を通じて、国際的感覚を有する司書の育成を支援

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
35	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	国際交流基金の事業内容、トロント日本文化センターの事業紹介、イベント告知などの最新情報、助成金申請情報などの情報を、ホームページ上で発信。更新は随時。メールマガジンは発行せず、イベント毎に、メーリングリスト登録者に情報メールを随時発信 URL: http://www.jftor.org/ アクセス件数 (年間) : 110,769件 メールマガジン配信数 (年間) : 171,500件

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
36	マーカム市公共図書館ユニオンビル分館への協力：アジアンヘリテージ月間着物着付けイベント	マーカム	マーカム市公共図書館ユニオンビル分館	マーカム市公共図書館ユニオンビル分館	2010. 05. 08	トロント北東に隣接するマーカム市公共図書館では、5月のアジアンヘリテージ月間のプログラムとして、子供たちを対象に着付けイベントを実施。トロント日本文化センター図書館では、「着付け」を含む日本紹介プログラムを行う団体 Association for Japanese Culture (AJC) への紹介や、図書館所蔵の着物関連DVDや書籍の貸出し、図書館広報のためのパンフレットやしおりを配布

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	ビショップ・ホワイト委員会グループ・ツアー	トロント	トロント日本文化センター	ロイヤル・オンタリオ博物館 ビショップ・ホワイト委員会 スチュワート・ジャクソン・ギャラリー	2010.05.13 ～ 2011.02.23	カナダ・ロイヤル・オンタリオ博物館の東洋コレクション収集及び関連学術活動の支援団体であるビショップ・ホワイト委員会の委員をトロント日本文化センターに招き、国際交流基金事業の紹介を行うと共に、スチュワート・ジャクソン・ギャラリーのキュレーターによる浮世絵展ギャラリーツアーを実施(10.05.13)。そのほかにもイベントのツアー(10.11.18、11.02.23)を2回実施
38	「アジア・サウンドスケープ」コンサート会場における和食紹介イベント	オタワ	クライストチャーチ・カテドラル	オタワカンタータ合唱団 在カナダ大使館	2010.05.16	オタワカンタータ合唱団がクライストチャーチ・カテドラル(オタワ)で開催するコンサートにおいて、日本の合唱曲3曲を含むアジア各国の音楽を紹介。コンサート終了後に会場において、在カナダ大使館と協力して、寿司などの和食を紹介するとともに、日本関連ポスターの掲示や広報資料の配布を行い日本文化を紹介
39	ドアーズ・オープン・トロント(Doors Open Toronto)への参加	トロント	トロント市 トロント日本文化センター	トロント市	2010.05.29 ～ 2010.05.30	市内の博物館・美術館など文化施設が、週末の2日間、一般市民に施設を無料で公開するトロント市主催の文化イベントに、トロント日本文化センターも参加。開催中の「手ぬぐい展」と図書館を特別公開し、2日間で695名が来場
40	菅直人首相夫人と日系カナダ人・日本人夫人交流会及び茶道デモンストラーション	トロント	トロント日本文化センター	在トロント総領事館	2010.06.26	20カ国・地域首脳会合(G20首脳会合)参加のためトロントを訪問中の菅直人首相夫人がトロント日本文化センターを訪問。開催中の「手ぬぐい展」や図書館を視察し、茶道普及に努める日系カナダ人の茶道デモンストラーション(立礼)に参加。当地で文化交流に携わる日系カナダ人や在留邦人夫人との交流を実施
41	トロント市現代アート・フェスティバル <i>Nuit Blanche</i> への参加	トロント	トロント日本文化センター	NUIT BLANCHE 実行委員会 トロント市	2010.10.02 ～ 2010.10.03	トロント市役所主催によりトロント市内全域で夜を徹して開催される現代アートの祭典 <i>Nuit Blanche</i> に参加し、トロント日本文化センター・イベントホールにおける展覧会「ウィンターガーデン」や図書館の特別開館を行い、1晩で4,000名以上の一般市民に日本文化を紹介
42	アステラス米国財団「継承語系日本語教育機関助成」への支援事業	カルガリー、レスブリッジ、マニトバ、オタワ、トロント、ロンドン(オンタリオサ)、レジャイナの計7都市		アステラス米国財団	2011.01.01 ～ 2011.03.31	平成21年度に続き、トロント日本文化センターが仲介して、アステラス米国財団(Astellas USA Foundation)より、カナダ各地の継承語系日本語教育機関10機関(カルガリー日本語学校、レスブリッジ日本語学校、マニトバ日系文化会館日本語学校、日加学園、日本語学校日修学院、オタワ日本語学校、トロント日本語学校、トロント国語教室、ロンドン森の町日本語学校、レジャイナ日本語学校)に対して、教材・機材購入経費等の助成を実施。トロント日本文化センターは、各機関との連絡、申請・報告の受付、アステラス米国財団との連絡などを行う

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
43	ジョージ・S・ヘンリー高校グループツアー	トロント	トロント日本文化センター	ジョージ・S・ヘンリー高校	2011.03.25	トロント市内の公立高校で日本語コースを設置している、ジョージ・S・ヘンリー高校と共催で、同校で日本語を履修中の高校生及び担当教員をトロント日本文化センターに招いて、国際交流基金、トロント日本文化センター及び図書館の事業を紹介。開催中の「中野晴生伊勢神宮写真展」鑑賞の機会も提供

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	クールドラミング 澤井一恵・加藤邦子コンサート	サウンドストリーム (Soundstreams Canada)	2010.04.27 ~ 2010.04.29	トロント市内で開催される、打楽器を中心とした音楽フェスティバル2010 Cool Drumming Festivalに、澤井一恵(箏)、加藤邦子(マリンバ)が参加。トロント日本文化センターは参加経費の一部を助成。4月27日、28日、各1回のコンサートを開催
45	ヨーク大学難民法国際会議・新垣修教授参加	ヨーク大学(York University)	2010.05.17 ~ 2010.05.20	ヨーク大学が開催した難民法に関する国際会議 <i>Forced Displacement, Protection Standards, and the Supervision of the 1951 Convention</i> に新垣修(志学館大学教授/元関西外国語大学教授)が参加。トロント日本文化センターは、同氏の参加経費の一部を助成
46	野宮真貴コンサート・イン・ダンドラスクエア	ルミナート (LUMINATO)	2010.06.16	トロントの総合芸術祭 LUMINATO (ルミナート) のメインイベントのひとつとして、若者の集まるトロント・ダウンタウンの中心広場ダンドラスクエアで開催される野外コンサートに、日本のポップアーティスト野宮真貴のグループが参加。トロント日本文化センターは、同氏の参加経費の一部を助成
47	トロント大学東アジア研究学部大学院論文集『東亜論壇 East Asian Forum』出版助成	トロント大学東アジア研究学部	2010.07.29 ~ 2010.11.05	トロント大学東アジア研究学部大学院の論文集『東亜論壇 East Asian Forum』の出版を支援。同論文集は今回で13冊目になる伝統ある論文集で、日本を含むアジア研究の応募論文の中から審査により収録論文を決定。若手研究者の研究業績発表の場として研究者育成機能を有しており、またカナダ社会への発信機能を有することから、トロント日本文化センターは、出版経費の一部を助成
48	トロント国際映画祭	トロント国際映画祭事務局 (Toronto International Film Festival)	2010.09.09 ~ 2010.09.19	トロント国際映画祭に参加する日本映画関係者、トラン・アン・ユン、園田恵理子、園子温の3監督の渡航経費の一部をトロント日本文化センターが助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
49	トロント国際映画祭 HEAVENHELL インスタレーション	トロント国際映画祭事務局 (Toronto International Film Festival)	2010. 09. 10 ~ 2010. 09. 19	トロント国際映画祭に際して、映像インスタレーション HEAVENHELL に参加する作家の渡航経費の一部をトロント日本文化センターが助成
50	舞踏24時間公演イベント	FADO Performanceart	2010. 11. 12 ~ 2010. 11. 13	トロントを中心に、日本の舞踏をベースとした現代ダンスに取り組む約25名の舞踏家が市内のシアターで一堂に会し、長時間の舞踏公演を実施。トロント日本文化センターは、会場借料の一部を助成
51	「ケベック日本文化の日」における和太鼓グループ「嵐太鼓」演奏	和太鼓グループ「嵐太鼓」	2010. 11. 14	在モンリオール総領事館開設50周年記念事業としてケベック市の文明博物館で開催された「ケベック日本文化の日 LE JAPON AU MUSEE DE LA CIVILISATION」において、モンリオールの和太鼓グループ「嵐太鼓」がオープニング演奏を行うための参加費用をトロント日本文化センターが助成。同イベントでは、茶道、墨絵デモンストレーション等の多種多様な日本文化紹介活動やトロント日本文化センター所蔵の写真展「日本の庭園：四季の京都の庭園」も行われ、約700名のカナダ市民が来場
52	トロント大学東アジア研究大学院生国際会議 SPECTACLE	トロント大学東アジア研究学部	2011. 03. 05	トロント大学の東アジア研究学部が主催し、北米各地から東アジア研究を行う大学院生を招いて行うセミナー。北米各地の主要大学から、日本研究、韓国研究、中国研究などを行う博士課程学生等約100名が集まり、研究発表や討論を実施。トロント日本文化センターは、キーノートスピーカー、Jung-Bong Choi (Tisch School of the Arts助教授)の招へい経費の一部を助成
53	ブリティッシュコロンビア大学ローマン・シプリウスキー テンプル大学教授講演会	ブリティッシュコロンビア大学地理学部 (University of British Columbia, Department of Geography)	2011. 03. 05	ブリティッシュコロンビア大学が米国から日本研究者ローマン・シプリウスキー (CYBRIWSKY, Roman: テンプル大学教授: 都市論、地理学) を招き、東京、特に六本木地区の都市の変容についての講演会を開催。トロント日本文化センターは、同教授が日本研究センター及び地理学部での2回の講演を実施するために必要な参加経費の一部を助成
54	矢野顕子+スコープ・オン・サムバディコンサート	トロント日系文化会館 (Japanese Canadian Cultural Centre [JCCC])	2011. 03. 12	トロント日系文化会館 (JCCC) が開催する「矢野顕子+スコープ・オン・サムバディコンサート」の開催経費の一部をトロント日本文化センターが助成し、トロント市民に日本のポップミュージックを紹介
55	日本研究企画開発型助成・ウォータールー大学日本センター設立準備ミーティング	ウォータールー大学 (University of Waterloo)	2011. 03. 23	ウォータールー大学は、2011年秋に日本センターの開設を計画中。同センターは、現代的な課題について、日・加の専門家が、プロジェクトベースで共同研究を行うセンターとして構想されているが、今回の会議では、David Welch (ウォータールー大学教授) や木村昌人 (渋沢栄一記念財団) ほか日加の研究者や財団関係者等21名が集まり、同センターの方向性について議論を実施。トロント日本文化センターは、同会議関係経費の一部を助成

海外拠点

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
56	トロント折紙ソサエティ月例ワークショップ	トロント折紙ソサエティ	2010.04.05 ~ 2011.03.31	トロント折紙ソサエティに対して、月例ワークショップの会場を提供。毎回テーマの異なる折り紙ワークショップに30名程度のトロント市民が参加し、日本の折り紙に親しみながら交流を促進
57	カナダ・ジャパン・ソサエティ主催セミナー「サバイビング・イン・カナダ」	カナダ・ジャパン・ソサエティ (CJS)	2010.04.28	民間交流団体カナダ・ジャパン・ソサエティ (CJS) が主催する、ワーキングホリデー等でカナダに滞在中の邦人に対して、生活・安全・就職等訪加した邦人が直面する課題などについて、専門家が情報提供を行うセミナー。同セミナーに対し、トロント日本文化センターは会場提供により協力
58	リールエイジアン・フィルムフェスティバル (Reel Asian Film Festival) プレスローンチ	リールエイジアン・フィルムフェスティバル事務局	2010.10.12	アジアの映画作家に焦点を当てた、リールエイジアン・フィルムフェスティバルが、本年度のフェスティバルプログラムを記者発表する会場として、トロント日本文化センターのイベントホールを提供。映画関係者、ジャーナリスト等約200名が参加
59	JETリエントリー・セミナー	JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association: JETAA) 及び在トロント総領事館	2010.10.23	トロントJETプログラム同窓会と在トロント総領事館が行うJET帰国者のためのセミナーの開催に、トロント日本文化センターが会場や人員を提供して協力。カナダ社会での就職活動、逆カルチャーショック対応、JET経験の活かし方などのセミナーを実施
60	JETAAセミナー「JET経験をどのようにしてキャリア形成に活かすか」 (JETAA: JET Alumni Association)	JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association: JETAA) 及び在トロント総領事館	2011.01.16	JETプログラムに参加し帰国した青年達によるボランティア団体、JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association: JETAA) が主催し、国際ボランティア雑誌のジャーナリストによる講演を行うセミナー「JET経験をどのようにしてキャリア形成に活かすか」に対してトロント日本文化センターが会場及び人員を提供。JET帰国者がカナダ社会にスムーズに定着することを支援することを通じて草の根レベルの日加交流人材の育成を図りつつ、トロント日本文化センターの利用者を拡大することを目指す

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
61	トロント大学生涯学習プログラム：連続ワークショップ「20世紀の日本の小説」への協力	トロント大学	2010.05.15 ~ 2011.01.26	12回に亘るワークショップシリーズ「20世紀の日本の小説」のコースアウトライン作成にあたり、取り上げる作品や作家の選定について、トロント日本文化センターDVDがアドバイザー。関連の小説、DVDなどの貸し出しも実施。1月26日には、ワークショップの一環としてトロント日本文化センターへのツアーを受け入れ。国際交流基金及びトロント日本文化センターの事業活動を紹介し、「茶道」に関するDVDを上映、略式の茶道デモンストレーションを実施。日本文学セクションの蔵書も紹介

海外拠点

	事業名	対象機関	期間	事業内容
62	キャサリン・ゴヴィエ ブック トーク&スライド 上映への協力	トロント日系文化会館 (Japanese Canadian Cultural Centre : JCCC)	2010. 06. 03	カナダの人気作家キャサリン・ゴヴィエ (GOVIE, Katherine) が、葛飾北斎とその娘を扱った歴史小説を出版し た際、同書及び江戸時代の浮世絵、庶民の生活文化などにつ いての講演を実施。トロント日本文化センターは、これまで 同氏に、北斎関連の資料取り寄せや浮世絵に関する情報提供 など協力を続けてきたことから、同氏が日系文化会館でブック トーク&スライド上映を行なうにあたり、トロント日本文 化センター図書館内での本のディスプレイ、ピラの設定や メールによるイベントの広報などに協力
63	柿右衛門磁器展「プライベート・プレジャーズ」に 関するジャパン・ソサエティ主催の講演・レセプ ションイベントへの協力	ガーディナー博物館	2010. 06. 10	国際交流基金が「海外展(助成)」事業で支援している、ガー ディナー博物館 柿右衛門磁器コレクション展「プライベート プレジャーズ」の開催に際し、同展示の中核をなすマクド ナルド・コレクションの寄贈者であるアンマリー・マクドナ ルドによる講演会・内覧会及びオープニングレセプションを 開催。トロント日本文化センターでは、当地文化人、ジャー ナリストを招待することにより、広報に協力
64	JETプログラム出発前オリエンテーションへの協力	JETプログラム同窓会 (JET Alumni Association : JETAA) 及び在トロント総領事館	2010. 07. 10 ~ 2010. 07. 11	JETプログラム同窓会(JETAA)とトロント総領事館が行うJET プログラム参加者のための出発前オリエンテーションの開催 に、トロント日本文化センターは、会場や人員の提供により 協力。同オリエンテーションでは、日本での生活、カル チャーショックへの対応、JETの業務、メンタルヘルスなど JETプログラム参加者が日本で体験するさまざまな側面につ いてのレクチャー・ワークショップなどが行われた
65	関西学院シンポジウム「変わり行く世界における 日加関係」への協力	トロント大学、関西学院大学、 及び在トロント総領事館	2010. 08. 20	関西学院大学が、海外協定校のひとつであるトロント大学と の提携を記念し、同大学において「変わり行く世界における 日加関係」をテーマに、シンポジウムを開催。トロント日本 文化センターは、カナダ側での広報等に協力。 同シンポジウムでは、ジョセフ・キャロン(CARON, Joseph : 前駐日カナダ大使)による基調講演、日本、カナダ双方のパ ネリストによる対話が行われた。
66	第3回カナダ書道公募展	SHODO CANADA	2010. 11. 14 ~ 2010. 11. 27	カナダでの書道普及団体SHODO CANADAが主催する第3回書道 公募展の実施に協力。カナダ全国から、5歳から90歳代まで 幅広い年齢層、及び多様なバックグラウンドのカナダ人140 名が参加。参加作品は額装され、日系文化会館の現代ギャラ リーにて展示

海外拠点

ニューヨーク日本文化センター

合計額 64,054,211 円

(1) 主催・共催事業

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	邦楽公演 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	サンホセ (コスタリカ) テグシガルパ (ホンジュラス) ポートオブス ペイン (トリニダー ド・トバゴ) パナマ(パナ マ)	コスタリカ国 立劇場 National Aca- demy for the Performing Arts Center マヌエル・ボ ニージャ国立 劇場 パナマ国立劇 場	在コスタリカ 大使館 在ホンジュラ ス大使館 在トリニダー ドトバゴ大使 館 在パナマ大使 館	2010.09.07 ~ 2010.09.17	渡辺薫(笛・太鼓奏者)と黒澤有美(二十弦箏奏者)を中米に派遣、邦楽の『さくらさくら』や『武田の子守唄』等からアーティスト自身が作曲した現代的な即興曲まで幅広く演奏するとともに、箏、太鼓、笛のレクチャー・デモンストレーションを行い、日本の音楽と楽器を紹介
2	ピアノコンサート「東洋と西洋の出会い〜ピアノで巡る世界の旅」 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ハバナ (キューバ) サンサルバドル (エルサルバ ドル) サンタアナ (エルサルバ ドル) メキシコ・シ ティ (メキシコ) プエブラ (メキシコ)	サンフランシ スコ・デ・ア シス教会 ハバナ・モー ツァルト学校 サンサルバドル 国立劇場 サンタアナ国 立劇場 オリン・ジョ リストゥリ文 化センター ラス・アメリ カス大学プエ ブラ校	在キューバ大 使館 在エルサルバ ドル大使館 メキシコ日本 文化センター	2010.09.19 ~ 2010.10.02	上野淳子・ギャレット(ピアニスト)を中米に派遣、「東洋と西洋の出会い〜ピアノで巡る世界の旅」と題して、山田耕作、中田喜直等の日本の音楽とヘンデル、ラフマニノフ等の西洋の音楽を交えた演奏会を行い、日本の音楽を西洋の音楽と比較しながら紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	フュージョン・ジャズ・コンサート <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	キングストン (ジャマイカ)	西インド諸島 大学チャペル Mico University College	在ジャマイカ 大使館	2010. 11. 27 ~ 2010. 12. 01	YUKARI (フルート奏者/作曲家)と山本恵理 (ジャズ・ピアニスト) をジャマイカに派遣し、ジャズにアレンジした日本の音楽からアーティスト自身が作曲した現代的な即興曲まで披露。現地アーティストとの共演、ワークショップを通じて交流を実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日系アメリカ人ジャーナリスト講演会 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	サンパウロ (ブラジル) ベレン (ブラジル) トメアス (ブラジル) ブラジリア (ブラジル)	サンパウロ総 合大学日本文 化研究所 汎アマゾン 日伯協会会議 室 トメアス文化 農業振興協会 講堂 ブラジリア大 学FINATEC講堂	サンパウロ 日本文化セン ター 在ベレン総領 事館 在ベレン総領 事館 在ブラジル大 使館	2010. 08. 18 ~ 2010. 08. 28	日系米国人、ロリ・マツカワ (MATSUKAWA, Lori : シアトル・キングテレビ・アンカー) をブラジルに派遣。在米日系人社会がいかに100年の歴史・経験を後世に伝え、自らのアイデンティティを保持しながら、将来に向かって日系社会を継承しようとしているかをテーマに、在米日系社会の存在と歴史について同氏自らの経験を含め講演。現地の日系社会との交流を実施

海外拠点

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	南部大学巡回日本映画上映会	オックスフォード シャーロット ヴィル ノーマン レキシントン ニューヨーク	Oxford Malco Cinemas ヴァージニア 大学 (University of Virginia) オクラホマ大 学 (University of Oklahoma) Kentucky Theater	ミシシッピ大 学 ヴァージニア 大学 (University of Virginia) オクラホマ大 学 (University of Oklahoma) ケンタッキー 大学 (University of Kentucky)	2010.09.16 ~ 2010.12.10	<i>Japanese Films of the 1960's</i> と題し、1960年代を代表する日本映画5作品『乱れる』(成瀬巳喜男、1964)、『怪談』(小林正樹、1964)、『他人の顔』(勅使河原宏、1966)、『殺人狂時代』(岡本喜八、1967)、『五人の賞金稼ぎ』(工藤栄一、1969)を取り上げ、米国南部地域にある4大学で上映会を実施。また、アジア・ソサエティと共催上映会を実施し、『乱れる』『殺人狂時代』『五人の賞金稼ぎ』の3作品を上映
6	SABU レトロスペクティブ <i>Run, Salaryman, Run!</i>	ニューヨーク	ジャパン・ソ サエティ (Japan Socie- ty)	ジャパン・ソ サエティ (Japan Socie- ty)	2011.01.26 ~ 2011.02.05	ジャパン・ソサエティ (ニューヨーク市) と共催でSABU (映画監督) のデビュー作から最新作までの全6作品 (『弾丸ランナー』『ポストマン・ブルース』『MONDAY』『DRIVE』『幸福の鐘』『トラブルマン』) を上映

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
7	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	米国向けに国際交流基金及びニューヨーク日本文化センターの活動を紹介するため、ウェブサイト運営 URL : http://www.jfny.org/ アクセス件数 (年間) : 281,635件 ニューズレター配信数 (年間) : 50,565件 (年13回配信)

海外拠点

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
8	『羅生門』公演	ダンマリ (Danmari Ltd.)	2010. 04. 01	箱島安 (Yass Hakoshima Movement Theater) が芥川龍之介『羅生門』をダンスとマイムを用いて舞台化。公演に先立ちニュージャージー州のMontclair高校にて、歌舞伎や能など日本の舞台芸術に特有の動作についてデモンストレーション。日本と西洋の身体表現の違い、16世紀の日本の衣装の紹介などの教育プログラムも実施
9	日本民謡と『あまんじゃくとうりこ姫』のオペラ公演	ハーモニア・オペラ (Harmonia Opera Company, Inc.)	2010. 04. 10	ケネディーセンター (ワシントンD.C.) にて、桜祭りのジョイントイベントとして行われたハーモニア・オペラ (代表: 飯沼恵美子。平成20年度外務大臣賞受賞) 主催による日本文化紹介のためのオペラ公演。約1,000名の一般の観客で満席の中、日本民謡、子供の遊び歌、『あまんじゃくとうりこ姫』オペラ公演を実施
10	ミシガン大学日本美術コレクション展	ミシガン大学附属美術館 (University of Michigan, Museum of Arts)	2010. 05. 01 ~ 2010. 08. 22	ミシガン大学附属美術館にて、着物と陶芸作品の展示を約4カ月にわたり開催。同大学のコレクションに焦点をあてつつ、着物のファッションショー、着付けのデモンストレーション、神山清子 (信楽陶芸家) の招へい、同氏による陶芸制作デモンストレーション、現地専門家、陶芸家とのトークセッション、濱田庄司 (陶芸家) の半生を描いた映画の上映、石州流茶道の専門家2名を日本から招へいし茶の湯を披露する等、様々な教育プログラムを展開。充実した日本文化の紹介となった
11	『三月の5日間』公演	ラ・ママ実験劇場 (La MaMa Experimental Theater Club)	2010. 05. 06 ~ 2010. 05. 23	岡田利規 (演劇ユニット「チェルフィッチュ」主宰) の戯曲『三月の5日間』の英語版プロダクション。演出・振付は、Dan Safer (Witness Relocation主宰)。3週間にわたり12回の公演が行われ、全公演を通して約700名の観客が足を運んだ。またラ・ママ実験劇場のインターネットを利用した教育プログラム Culturehub 用によりハーサル風景及びSaferが『三月の5日間』について語ったインタビューの撮影を実施。ウェブ上に公開後、500人を超えるユーザーが視聴
12	日本語言語学の形式手法に関する会議	カリフォルニア大学サンタクルズ校 (University of California, Santa Cruz: UCSC)	2010. 05. 07 ~ 2010. 05. 09	5回目となる日本語言語学の会議に、日本から21名を始め、北米、シンガポール、欧州の計36大学から合計67名の研究者が参加し、日本語言語学に関する研究発表やパネルセッションを実施
13	アンサンブルN-JPによる日米コラボレーション実験音楽	ニューミュージックコレクティブ (New Music Collective)	2010. 05. 21 ~ 2010. 05. 23	ジーン・コールマン及び中村としまるの楽曲、TOMBO, Namazu等の演奏を、サウス・カロライナ州のコロンビア (701CCA) およびチャールストン (Halsey Institute) 等において実施。レクチャーとワークショップを通じて日本の要素を取り入れた音楽を一般の観客に紹介

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
14	ピース・シャドウ・プロジェクト	ホイットニー美術館 (Whitney Museum of American Arts, Independent Studies Program)	2010. 05. 21 ~ 2010. 05. 23	宮島達男（現代美術家）を中心に長嶋りかこ等日本の若手クリエイター達が行う観客参加型のPeace Shadowプロジェクトを開催。同プロジェクトは、6人の人物の影をプリントしたそれぞれの紙を展示。一般ユーザーも、ワークショップの現場またはオンライン上で自分の影をプリントした写真を公開し、非核への願いを表す企画。会場のザ・キッチンギャラリー（The Kitchen）には3週間にわたり750人以上が来場
15	サムライ・ウィーク	ワシントン日米協会 (The Japan-America Society of Washington, D.C.)	2010. 05. 22 ~ 2010. 05. 28	ワシントンD.C. で遣米使節団150周年記念事業の一環として1週間にわたる「サムライ・ウィーク」を実施。入江昭（ハーバード大学教授）及びロナルド・トビ（TOBY, Ronald P. : イリノイ大学教授）による遣米使節団に関する講演会、1860年当時に遣米使節団が滞在したウィラードホテルでの殺陣のパフォーマンス、黒澤明（映画監督）の『用心棒』、『隠し砦の三悪人』等の映画上映、琴演奏、お茶会等のイベントを実施
16	「日本の長い19世紀」学際的ワークショップと演習	ミシガン大学 (University of Michigan)	2010. 06. 07 ~ 2010. 06. 12	「日本の長い19世紀」をテーマに、ダニエル・ボツマン（ノースカロライナ大学チャペルヒル校教授）を始めとした5名の教授と19名の学生による6日間に渡るワークショップを開催。ドイツ・メキシコを含む18大学から参加があり、参加者間のネットワークも構築
17	「サムライ in New York 展」に関するレクチャー：「1860年の最初の遣米使節団」	ニューヨーク市立博物館 (Museum of the City of New York)	2010. 06. 15	ニューヨーク市立博物館にて開催する「サムライ in New York 展」のプレイベントとして、阿川尚之（慶応義塾大学教授）による遣米使節団150周年を記念した講演会「ニューヨークを訪問した最初の遣米使節団」を開催。65名が参加
18	メイキング：日本の書芸と陶芸	Woodstock Guild of Craftsmen, Inc.	2010. 06. 19 ~ 2010. 08. 01	ウッドストックにて書芸と陶芸の展示並びにワークショップを開催。地元のジェフ・シャピロ（SHAPIRO, Jeff : 陶芸家）を中心に、日本伝統芸術に焦点を当て、カナダからキュレーターと前田のりこ（書道家）を招へい。開催中には400名以上が展覧会に来場
19	『演歌をする』	ニュー・ヘリテージ・シアター・グループ (New Heritage Theater Group)	2010. 06. 25	ニューヨークを拠点に活動する小田裕一郎（作曲家／ギタリスト）が日本の演歌をジャズやブルースにアレンジし、地元ニューヨークのアーティストらとセッションを実施
20	第9回ダラス・アジア映画祭	ダラス・アジア映画祭 (Asian Film Foundation of Dallas)	2010. 07. 23 ~ 2010. 07. 29	本年度で9回目となるダラス・アジア映画祭で、7日間の映画祭期間中に、約35本のアジア映画のうち、日本映画7本を上映。上映作品はすべて最近の作品で『ロボゲイシャ』（井口昇、2009）『しんぼる』（松本人志、2009）『なくもんか』（水田伸生、2009）『カムイ外伝』（崔洋一、2009）『ガマの油』（役所広司、2009）『ウルルの森の物語』（長沼誠、2009）『サマーウォーズ』（細田守、2009）。普段日本文化へ触れる機会の少ない南部地域において、日本の映画を紹介

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
21	サンアントニオ日本映画祭	サンアントニオ美術館 (San Antonio Museum of Art)	2010. 08. 08 ~ 2010. 08. 24	2009年の宮崎駿シリーズに引続き、サンアントニオ美術館で日本映画祭を開催。本年は徳川時代後期をテーマにした『歌麿をめぐる五人の女』『雄呂血』『暗殺』の3作品を上映。SIEGENTHALER, Peter (テキサス州立大学博士) を招き「Twilight of the Shoguns : 映画に見る幕末」と題し、徳川後期に関する歴史的・文化的な背景を紹介するレクチャーも実施
22	コロキア「日本の文化、産業、ITへの理解を深める」	ミシシッピ州立大学 (Mississippi State University)	2010. 08. 19	松井美樹(横浜国立大学教授)を招へいし、日本の風土、ビジネス慣習から経済・科学技術、社会問題まで幅広く日本を紹介。70名以上の関係者が参加
23	インターナショナル・コンテンポラリー・アンサンブル	シカゴ現代美術館 (Museum of Contemporary Art, Chicago)	2010. 09. 09 ~ 2010. 09. 12	数々の受賞歴を持ち、欧州を中心に各地で演奏され注目を集めている藤倉大(作曲家)が、現代音楽の演奏を専門とするインターナショナル・コンテンポラリー・アンサンブルのために作曲した作品のコンサートをシカゴ現代美術館にて実施。同氏を招へいし、オープン・リハーサルやポスト・パフォーマンス・トークも実施
24	篠田正浩映画特集	リンカーン・センター (Film Society of Lincoln Center)	2010. 09. 25 ~ 2010. 10. 10	毎年リンカーン・センターで開催されるニューヨーク・フィルム・フェスティバルの一環として、本年は篠田正浩(映画監督)を特集。同監督作品12本を上映。同監督も招へいされ、質疑応答やインタビューにも対応
25	書芸精神	ジョージア州立大学 (Georgia State University)	2010. 10. 07 ~ 2010. 11. 19	ジョージア州立大学が、同大学のアジア文化週間の一部として、東アジアの書芸に関するプロジェクト(展示、シンポジウム、デモンストレーション、アーティスト参加授業)を実施。日本、韓国、中国、米国内から書道家だけでなく、伝統音楽家を招いて書と音楽とのコラボレーションを実施。日本からは、平野壮弦(書道家)と浜崎みち子を招へいしデモンストレーションや講演を実施。展覧会期間中7,000人以上もの来場者があり、有意義な日本文化紹介の機会を提供
26	シカゴ国際子供映画祭	シカゴ国際子供映画祭 (Chicago International Children's Film Festival)	2010. 10. 22 ~ 2010. 10. 31	世界40カ国の約250作品が上映される大規模なシカゴ国際子供映画祭で、アニメ『川の光』が上映されるにあたり、平川哲生(映画監督)を招へい。同氏はPeggy Notebaert Nature Museumでの作品上映のディスカッション、ワークショップなどに参加。『川の光』は子供審査部門と大人審査部門の両部門で「長編アニメ作品賞」を受賞
27	切り絵画家・久保修のアーティスト・イン・レジデンス	ドレクセル大学 (Drexel University)	2010. 10. 28 ~ 2010. 11. 05	文化庁文化交流使としてニューヨークに滞在したこともある久保修(切り絵画家)をアーティスト・イン・レジデンスとしてドレクセル大学に招へいし、展示会その他ワークショップや講演を実施。展示期間中、大学関係者のみならず、フィラデルフィア全域から一般の参加もあり、約1,500名が来場

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	『着物の形成：日本のアールデコとモダニズム』	テューレーン大学 (Tulane University)	2010. 11. 03 ～ 2011. 01. 10	テューレーン大学内ギャラリーで、20世紀初頭の着物の展覧会を実施。着物がまだ普段着であった大正時代から、次第に礼服となっていた様子を辿った。本展覧会はスイスのモンゴメリー家のコレクションで、その後全米各地を巡回。ニューオーリンズでは、同地の日本祭り <i>Japan Fest 2010</i> の一環として開催された
29	白坂道子朗読会	ニューヨーク日系人会 (Japanese American Association of New York)	2010. 11. 09 ～ 2010. 11. 13	日本から白坂道子（声優／朗読家）を招いて、ニューヨークとフィラデルフィアにおいて計6回、720名の観客に対して朗読会を実施。『源氏物語』、宮沢賢治、谷川俊太郎といった馴染みの深い作品を取り上げ、日本語の美しさを再発見する機会を提供
30	平岡洋子による『平家物語』の琵琶演奏及びレクチャー	フロリダ大学 (University of Florida)	2010. 11. 10	コロラド在住の琵琶奏者で、全米各地の大学で活動を行っている、平岡洋子による『平家物語』の演奏及び平安時代から現在に至るまでの歴史における音楽や琵琶の重要性についてのレクチャーを実施
31	柴田元幸とポール・オースターの対話	アジアソサエティ (Asia Society)	2010. 12. 07	柴田元幸（翻訳家／東京大学教授）を招き、日米における文学の関係性について、同氏が翻訳したベストセラー作家、ポール・オースター（AUSTER, Paul）とともに講演会を実施。ポール・オースターが自作 <i>Oracle Night</i> を朗読後、柴田元幸が自身の同作品の翻訳を朗読。翻訳本が担う役割などについて対話後、Q&Aを実施。観客にとって双方の文学に対し新たな視点を提供
32	『ピーターと狼』公演	グッゲンハイム美術館 (Works & Process at the Guggenheim)	2010. 12. 11 ～ 2010. 12. 19	グッゲンハイム美術館の冬の恒例行事、『ピーターと狼』の公演を、佐藤玲（日本人アーティスト）が制作する、ねぶた祭りにヒントを得た紙と灯りによるインスタレーションと、アイザック・ミズラヒ（MIZRAHI, Isaac：ファッション・デザイナー）によるナレーション、ジュリアード・アンサンブルの演奏にて実施
33	『天の川』公演	Fractured Atlas Productions, Inc.	2010. 12. 17	ビリー・フォックス（作曲家）率いるキツネ・アンサンブルの新作、トミ・ツノダ（TSUNODA, Tomi）演出による『天の川』の公演。公演前に渡辺薫（WATANABE, Kaoru：篠笛、フルート奏者）による篠笛のパフォーマンス等も実施
34	『日本からの5人の友達』展 (<i>Five Friends from Japan</i>)	ヒューストン子供博物館	2011. 01. 29 ～ 2011. 05. 01	ヒューストン子供博物館にて、15週間にわたり日本の家屋の畳部屋、裏庭、また豆腐屋などを再現したモデルを設置し、来場者に日本の文化やライフスタイルを体験してもらう展示会。現地の小学校計173校（生徒・教師22,803名）が参加。低所得コミュニティの学校には入場料1ドルや無料ツアーを提供し、生徒4,914名が参加。展示期間中、計153,974名もの来場者があり、折り紙ワークショップや現地校生徒による太鼓発表会等も実施

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	スプライス・ジャパン (SPLICE JAPAN)	ダンス・ニューアムステルダム (Dance New Amsterdam)	2011.02.24 ~ 2011.02.26	新進気鋭の振付家、川村真奈と田村真樹子が、SPLICE JAPANと銘打った公演にてそれぞれ新作 <i>Pandora</i> 、 <i>Order made -6-</i> のプレミア公演を実施。レジデンシー・プログラムを通して企画された、両氏を特別に取り上げたイベント。319名の観客が会場に足を運び、公演の後にはトークセッション・質疑応答のセッションも設けられた。ニューヨークのコンテンポラリー・ダンス・シーンにユニークな機会を提供
36	ドナルド・キーン日本文化センター設立25周年記念事業	コロンビア大学ドナルド・キーン日本文化センター (Donald Keene Center of Japanese Culture, Columbia University)	2011.03.01 ~ 2011.12.21	ドナルド・キーン日本文化センター設立25周年と同教授の退官を記念したシンポジウム「ドナルド・キーンの思い出」を開催。キャロル・グラック (GLUCK, Carol : コロンビア大学教授) を始め6名の教授が登壇。また、キーン教授が所蔵する三島由紀夫を始めとした著名作家との書簡などの日本研究資料をデジタル化し同大学図書館にて公開
37	ニューヨーク国際子供映画祭	ニューヨーク国際子供映画祭 (New York International Children's Film Festival)	2011.03.04 ~ 2011.03.27	北米最大の子供映画祭。ニューヨーク市内の映画館で1か月近くに亘り、大人も子供も楽しめる良質の作品を上映。本年は日本からは長編アニメ『宇宙ショーへようこそ』『イブの時間』と短編映画 <i>The Gold Bug</i> が参加。全上映売り切れとなり、『宇宙ショーへようこそ』は更に2回上映会を追加
38	Elusive Tea Bowl: 現代茶器の芸術について	ボストン・ジャパン・ソサエティ (Japan Society at Boston)	2011.03.11 ~ 2011.03.14	ボストンのジャパン・ソサエティが、ボストン美術館、ハーバード大学、ラコステギャラリー(メイン州)と協力して茶碗に関するイベントを開催。ボストン美術館所蔵の茶碗の展示、茶の湯のプレゼンテーション、日本から辻村史朗(陶芸家)、鈴木五郎(陶芸家)、竹内順一(財団法人永青文庫館長)を招いてボストン美術館にて茶器に関するシンポジウムを開催、アラン・パーマー (PALMER, Allan : 裏千家の茶道家) による茶道のデモンストレーションも実施。シンポジウムには350名以上が参加。ハーバード大学にて陶芸のワークショップも実施
39	花習塾能公演	ジャパン・ソサエティ (Japan Society)	2011.03.24 ~ 2011.03.26	花習塾(観世流能楽師・片山伸吾主催)の能楽公演を、カーネギーホール「JapanNYC」の一環として実施。ニューヨークでは3回公演の後ポートランド、トーソン、フィラデルフィア、アーバナと全米計5都市に巡回。茂山流狂言師もツアーに参加し、演目は舞囃子『屋島』、狂言『棒縛り』、能『葵上』。全公演の前に、講師エリザベス・オイラー (OYLER, Elizabeth : イリノイ大学准教授) に能解説のレクチャーを実施。また所作と楽器に関する能ワークショップも2回開催

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
40	2011 アジア映画祭と会議	ノートルダム大学 (University of Notre Dame)	2011.03.25 ~ 2011.03.26	インディアナ州ノートルダム大学が7回目となるアジア映画祭を実施。本年は「近年の日本アニメの傾向」をテーマに、近年日本で話題になったアニメーション5作品『千年女優』『パプリカ』『スカイ・クロラ』『カムイ外伝』『サマーウォーズ』を上映。コンファレンスではノートルダム大学の教授や学生、外部から招へいた専門家Melek Ortabasi、Jonathan Abel、Margherita Longによる同テーマのパネルディスカッションも開催
41	JapanNYC ネイバーフッドコンサート	カーネギーホール (Carnegie Hall)	2011.03.26 ~ 2011.03.27	小沢征爾が芸術監督を務めるカーネギーホールの日本特集。JapanNYCの一環として行われたネイバーフッドコンサートにて、日本から、三味線デュオ小山豊×新田昌弘と、ニューヨークをベースとする太鼓グループSoh Daikoの無料公演をロウアー・マンハッタンとブルックリンで実施。既存のカーネギーホール観客の枠を超えてニューヨークの一般市民に日本の音楽を提供
42	Yarn: Remembering the Way Home, A Reading and Conversation with Kyoko Mori.	ウィスコンシン大学マディソン校 (University of Wisconsin, Madison)	2011.03.31	ハワイで開催されたアジア学会において、日本人女流作家キョウコ・モリの自伝Yarn: Remembering the Way Homeを取り上げたパネルを実施し、日系アメリカ人としてのアイデンティティーについて考察

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
43	『花伝説』公演	Multicultural Sonic Evolution, Inc.	2010.04.23 ~ 2010.04.25	日本の宇宙航空研究開発機構(JAXA)が始めた『花伝説～日本のこころ～』に感化され始まったオリジナルのミュージカルシアター・プロジェクト。北村ゆい(作曲家)等が科学や環境、歴史、昔話などをテーマに4つのミュージカルの短編を発表。より多くの人に『花伝説』と日本の文化を伝えることを目的に上演。リンカーンセンター・クラーク小劇場(Lincoln Center:Clark Studio)及びクイーンズ植物園(Queens Botanical Garden)にて実施。同事業に対して後援名義を付与
44	第11回ニューヨーク国際七五三	ジャパン・ソサエティ(Japan Society)	2010.10.23 ~ 2010.10.24	毎年行われている神道国際学会による七五三の儀式・イベントに対して後援名義を付与。計456名(うち七五三対象の子供129名)が参加。希望者には着物のレンタルもあり、約1時間程の儀式を日本語と英語両方で実施。海外でも家族ぐるみで日本文化を楽しむ事と、国際的に育っていく日系の子供たちに、日本の伝統文化を楽しむ機会を提供
45	人間国宝三代徳田八十吉展『煌く技の美』	日本クラブ(Japan Club)	2011.01.26 ~ 2011.02.15	日本クラブ・ギャラリーにおける人間国宝、故・三代目徳田八十吉による九谷焼き25点の展示会に対して後援名義を付与

海外拠点

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
46	ニューヨーク・アニメ・フェスティバル (NYAF) への協力	ニューヨーク・アニメ・フェスティバル (New York Anime Festival)	2010.10.08 ~ 2010.10.10	ニューヨーク・アニメ・フェスティバルにおいて、ポップカルチャー外交の提唱者である櫻井孝昌、福岡俊弘 (週刊アスキー総編集長) 及び初音ミクの生みの親である伊藤博之 (クリプトン・フューチャー・メディア社長) の3名が参加するパネルの設定に協力。日本のポップカルチャーに関する講演、ボーカロイドに関するパネルディスカッション、さらには米国東海岸では初となる初音ミクのフィルム・ライブを実施

海外拠点

ロサンゼルス日本文化センター

合計額 111,113,770 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	歌舞伎写真展	ロサンゼルス	日米文化会館		2010.08.21 ~ 2010.08.22	ロサンゼルス日系コミュニティで著名な写真家、岡田信行が撮影した平成21年度国際交流基金海外公演（主催）事業「歌舞伎レクチャー・デモンストレーション米国中西部公演」の写真27点を、ロサンゼルス最大の日系イベントである「二世ウィーク」会場に展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	歌舞伎ルネッサンス『応挙の幽霊』	レドンドビーチ	レドンドビーチ・パフォーミングアーツ・センター	日本伝統芸能振興会	2010.11.13	国際交流基金本部が公演（助成・海外公演[舞台芸術]）プログラムで支援した、歌舞伎『応挙の幽霊』米国公演（英語字幕付）及びレクチャー・デモンストレーション（衣裳の着付け）の機会に、日本語学習者と日本語教師を無料招待する企画を実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	Fireside Colloquiumシリーズ「日本の扇子文化」	ロサンゼルス	ロサンゼルス日本文化センター		2010.08.04	扇子の専門家、石角完爾による日本の扇子の歴史、作り方についての講演。「扇子」を通して日本文化全般の美しさへの考え方、工芸品制作へのこだわりを紹介

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
4	図書館運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ロサンゼルス日本文化センターに併設されている図書館の運営。全米における日本語教育支援のため、日本語教育専門図書館として教科書・教材を多く所蔵。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵 ①所蔵資料合計： 11,620点 （内訳：書籍 9,541冊 視聴覚資料数 2,079点） ②利用者数（年間）： 511名 ③貸出点数（年間）： 1,550点 ④レファレンス件数（年間）： 166件 ⑤図書館用リーフレット作成： 2,000部

海外拠点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
5	ウェブサイト運営	2009.04.01 ~ 2010.03.31	ロサンゼルス日本文化センターのウェブサイトを運営し、主催・共催事業の広報や報告、助成事業の募集、図書館や日本語教育分野における情報の発信、日本語能力試験の案内・申込受付を行った URL: http://www.jflalc.org/ アクセス件数(年間) : 72,958件 メールマガジン配信数(年間) : 10,056件

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	日本文化紹介	ロサンゼルス	日米文化会館 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 ロイヤル・ティ	日米文化会館 カリフォルニア大学ロサンゼルス校テラス サキ日本文化センター	2011.01.02 ~ 2011.02.06	「伝統(芸能)」と「現代」のアプローチからの日本文化紹介事業。「伝統(芸能)」では、津軽三味線奏者マイク・ペニー(PENNY, Mike)によるパフォーマンス・演奏を実施。「現代」では、映画『武士の一分』『京都太秦物語』上映会と松竹プロデューサー山本一郎を招いたパネルディスカッション、特別講義を開催
7	南カリフォルニア日系企業協会(JBA)創立50周年記念事業	ロサンゼルス	JWマリオットホテル/LAライブ	南カリフォルニア日系企業協会(JBA)	2011.03.03	南カリフォルニア日系企業協会(JBA)の50周年を記念し、同協会が地域のコミュニティへの感謝を伝え、更に交流を促進するために開催した記念事業、日本文化紹介イベント「加古隆ピアノリサイタル」の経費の一部を負担

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
8	茶室レクチャーシリーズ 2010	サンタバーバラ植物園 (Santa Barbara Botanic Garden)	2010.04.10 ~ 2010.05.22	日本文化の紹介と理解促進を目的とした、茶道と日本庭園に関する3人の専門家による講演会。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
9	ベアテ・シロタ・ゴードン講演会と映画上映会	全米日系人博物館 (Japanese American National Museum)	2010.05.16	日本文化を理解し、日本を愛し、戦後日本の復興に貢献したベアテ・シロタ・ゴードン(SHIROTA GORDON, Beate)のドキュメンタリー映画の上映会と同氏を招いた講演会を通じ、海外の人からの目で日本人の生活や文化を紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
10	上妻アンサンブル公演	米日カルチュラル・トレード・ネットワーク(U.S./Japan Cultural Trade Network)	2010.05.19	上妻宏光(あがつま・ひろみつ)の津軽三味線、野崎洋一のピアノ、ようそろ(はせ・みきたと岡田寛行による和太鼓のアンサンブル)公演。サンフランシスコ国際芸術祭のオープニングイベントとして実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
11	第16回大学対抗太鼓大会	爆発太鼓団 (Bakuhatsu Taiko Dan)	2010. 05. 29 ~ 2010. 05. 30	カリフォルニア地区の大学の太鼓クラブ14校が集まり、大学対抗の合同演奏会を開催。一般に開放した演奏会のほか、太鼓ワークショップや勉強会を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
12	舞と朗読『平家物語』	全米大学婦人協会 (American Association of Japanese University Women)	2010. 06. 13	『平家物語』を題材にした総合的文化イベント。琵琶演奏 (川本旭鶴) と平家物語の朗読及び若柳久三、若柳久女、花柳春華の3名による日本舞踊の上演。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
13	フュージョン・フライデー	パシフィックアジア美術館 (Pacific Asia Museum)	2010. 06. 18	金曜の夜にパシフィックアジア美術館を開放し、若者層を対象に文化に触れてもらう交流イベント。6月は、「日本」をテーマに、鎧を着て写真撮影、日本酒のテイスティング、墨絵の展覧とワークショップ、日本食体験等の催しを実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
14	ジャクソン火祭り	ヴィスタ 360° (Vista 360°, Inc)	2010. 06. 18 ~ 2010. 06. 20	ワイオミング州ジャクソン市で開催される「ジャクソン火祭り」に、姉妹都市・富士吉田市出身の切り絵作家、百鬼丸 (山梨県公式文化大使) を招き、子どもたち向けのワークショップや作品の展覧会、手塚治虫作品『村正』の上映会等市民レベルの文化交流イベントを実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
15	第6回サクラメント日本映画祭	ユナイテッド・メソジスト教会 (United Methodist Church)	2010. 07. 09 ~ 2010. 07. 11	サクラメント市庁舎付近の劇場で行われる日本映画上映会。地域コミュニティのために2005年から開始され、サクラメントの日系社会・アジアコミュニティが大きく支援。最近の話題作品から、名作、若手監督作品、アジア系学生による自主制作映画等を幅広く上映。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
16	全米武道祭	シン・コヤマダ財団 (The Shin Koyamada Foundation)	2010. 07. 18	武道の観点からの文化紹介を行うイベント。日本観光促進ブースも設置。日本の伝統的な武道のほか、各国 (中国、韓国、イスラエル、ブラジル、インド) から武道家を招き、武道を通じた国際交流を行った。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
17	レンティキュラティス	南カリフォルニア建築大学 (Southern California Institute of Architecture)	2010. 07. 30 ~ 2010. 09. 12	阿部仁史 (建築家) による建築展覧会。リトル東京の日米文化会館内ノグチ・プラザに張り出し屋根を作るプロジェクトを仮定し、縮尺1/7の建築デザイン作品を展示して、日本の近・現代の建築デザインを紹介。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
18	Oracle & Enigma 公演	ハイウェイズ・パフォーマンス・スペース (Highways Performance Space)	2010. 08. 06 ~ 2010. 08. 21	舞踏家である桂勘のプロデュースによる『オラクル&エニグマ (Oracle & Enigma)』舞踏公演。Descent Performance Laboratory、Vangelina Theatre Dancersが共同で舞踏ダンスパフォーマンスを開催。会期中にワークショップも実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
19	七夕祭り	南加県人会協議会 (Nanka Kenjinkai Kyogikai)	2010. 08. 14 ~ 2010. 08. 22	ロサンゼルス・リトルトーキョーで開催される「二世ウィーク」の一環で、地元コミュニティが製作した200個の七夕飾りを全米日系人博物館前に飾り、仙台の七夕祭りを再現した展示イベント。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
20	ねぶた祭り 2010	二世ウィーク財団 (Nisei Week Foundation)	2010. 08. 15	ロサンゼルス・リトルトーキョーで開催される「二世ウィーク」のパレードに、青森からのねぶた祭りと同様に独自に発展してきたねぶたを組み合わせさせた跳人 (ダンサー) とお囃子 (ミュージック) のパフォーマンスを実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
21	童謡ロサンゼルス・コンサート	日本語学園協同システム (Japanese Language School United System)	2010. 09. 11	日本全国各地でスクールコンサートを開催し、3,000校以上の巡回教育公演を行っている童謡歌手、大庭照子をゲストに迎えたイベント。ロサンゼルスの子供達やコーラスグループと共演した一般市民向けコンサート。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
22	オフサイト・ダンス・プロジェクト	ポートランド・コンテンポラリー・アート研究所 (Portland Institute for Contemporary Art : PICA)	2010. 09. 17 ~ 2010. 09. 18	現代パフォーマンスイベント <i>Time-Based Art Festival</i> に、日本から振付家・ダンサーの鈴木ユキオと山下残の2名を招き、エズラ・ディキンソン (DICKINSON, Ezra : シアトル在住ダンサー) と共演。ポートランド市内数カ所の路上で、ダンスパフォーマンスを披露。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
23	ソノマ・カウンティ太鼓15周年公演	ソノマ・カウンティ太鼓 (Sonoma County Taiko)	2010. 10. 02	北カリフォルニア地域における代表的な太鼓グループ4団体 Ensohza, Taiko Ren, Tenten Taiko, Sonoma County Taiko による共同記念公演。伝統的なものから現代的なアレンジの太鼓パフォーマンスまでを披露。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
24	タイコ・アンリッシュド	ポートランド太鼓 (Portland Taiko)	2010. 10. 02 ~ 2010. 10. 03	北米和太鼓の師と称される田中誠一を招き、ポートランド太鼓との合同公演を実施。あわせて子供向け公演と太鼓の歴史についてのレクチャーを開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
25	写し絵シンポジウムと展覧会	ハワイ日米協会 (Japan-America Society of Hawaii)	2010. 10. 12 ~ 2010. 10. 13	舞台芸能写し絵に関するシンポジウムと展覧会をハワイ大学ジョン・ヤング美術館にて開催。シンポジウムでは、日本美術の紹介、西洋美術との違いや独自性について、意見交換を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
26	古典の日 (歌舞伎レクチャー・デモンストレーション)	アラスカ大学アンカレッジ校 (University of Alaska Anchorage)	2010. 10. 24	初の外国籍松竹歌舞伎役者である中村鷹京と藤間豊宏を招き、歌舞伎の紹介と実演「京人形」を行う文化イベント。アラスカ大学の日本語学部が中心となり、日本語学習者と一般米国人を対象に、日本文化理解促進を目的として実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
27	シンボリック・エンバイロメント	ハワイ大学マノア校 (University of Hawaii Manoa)	2010. 11. 07 ~ 2010. 11. 19	ハワイ大学マノア校に田甫律子（マサチューセッツ工科大学准教授）と保科豊巳（東京藝術大学助教授）を招き、それぞれの作品制作、講演会及び展覧会を実施。同校において毎年実施している、招待芸術家との文化交流プログラム。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
28	インターナショナル・フィルム・フェスティバル	オレゴン州立大学外国語文学部 (Department of Foreign Languages and Literatures, Oregon State University)	2010. 11. 08 ~ 2010. 11. 12	オレゴン州立大学の外国語文学部で教えられている各言語の映画作品を上映し、外国語を学ぶ学生の文化理解の促進及び地元コミュニティへの文化紹介を行なう国際映画祭。対象国は、フランス、ドイツ、スペイン、中国、日本の5カ国。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
29	『UTSUTSU:現』公演	米国阿波踊り連合会 (American Awaodori Dance Association)	2010. 11. 19 ~ 2010. 11. 28	日本人俳優による、時代劇を現代風アレンジした演劇『UTSUTSU:現』公演。日本でも5回公演を行なった作品の英語版。本格的な舞台殺陣演出も含まれた舞台。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
30	『シップ・オブ・ドリーム：咸臨丸』公演	ダンカンダンス メアリー佐野 スタジオ (Mary Sano Studio of Duncan Dancing)	2010. 12. 02 ~ 2010. 12. 05	咸臨丸の来航150周年を記念して創作されたダンスシアター作品『シップ・オブ・ドリーム：咸臨丸』の公演。米国でイサドラ・ダンカン (DUNCAN, Isadora) が確立し、日本舞踊の影響も受けている、ダンカン・ダンスというモダンダンスを用いた作品。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
31	日（茨城）米高校野球親善試合	日米教育サポートセンター (Japanese Educational Resource Center)	2010. 12. 27 ~ 2010. 12. 28	茨城県高校野球連盟から選抜された18人の選手と、米国の高校野球チームの親善試合を通し、高校野球コーチの技術面、精神面での指導技術の交流、選手らの親善交流を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
32	お正月イン・リトル東京	南加日系商工会議所 (Japanese Chamber of Commerce Founda- tion)	2011. 01. 01	リトル東京にて日本の伝統的な新年の雰囲気を再現するイベント。ロサンゼルス市警ヘリコプターの祝賀飛行、鏡開き、獅子舞、餅つき、書初め、着物ショー、折り紙体験、日本食屋台が立ち並び、ステージでは空手演舞や太鼓演奏を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
33	ミュージカル『日本の民話の旅』公演	オデッセイ中学校 (Odyssey Middle School)	2011. 01. 09	サンフランシスコ地区の中学校にて地元コミュニティ向けに開催されたミュージカル公演。台詞の大半は英語だが、一部日本語も交えて上演。演目は日本の民話『舌切り雀』『石切』等。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
34	新年お花祭り	ハワイ・ジャパニーズ・カル チュラル・センター (Japanese Cultural Center of Hawaii)	2011. 01. 09	1993年以来、ハワイ日系コミュニティを中心に開催される、正月イベント。太鼓や踊りなどのパフォーマンスから、フード・ブース、クラフト・ブースまで、多種多様な文化紹介・体験イベントを実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
35	『99年の愛』上映会	日米文化会館 (Japanese American Cultural and Community Center)	2011.01.09 ~ 2011.01.16	TBS開局60周年記念特別テレビドラマ『99年の愛—JAPANESE-AMERICANS』の無料上映会。初日は十二竜也プロデューサーの挨拶と記者会見を実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
36	『ブルーベアー』公演	パーセヴェランス劇場 (Perseverance Theatre)	2011.01.14 ~ 2011.02.06	アラスカの大自然に魅せられ、96年に熊の事故により死去した写真家、星野道夫に関する作品『ブルーベアー』の舞台公演。星野とガイドのリン・スクーラー (SCHOOLER, Lynn) との友情、星野の自然への情熱を描いた作品。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
37	玉井康成独舞『頑固者』	ボディ・ウェザー・ラボラトリー (Body Weather Laboratory)	2011.02.18 ~ 2011.02.20	舞踏グループ「舞塾」のメンバーであり、独舞を中心に公演を行っている舞踏家、玉井康成を招いての公演とワークショップを開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
38	津軽三味線コンサート	ニューメキシコ・ジャパニーズ・アメリカン・シチズンリーグ (New Mexico Japanese American Citizens League)	2011.02.23	マイク・ペニー (PENNY, Mike) とケヴィン・メッツ (METZ, Kevin) の米国人津軽三味線奏者による日本の伝統音楽とコンテンポラリー音楽の津軽三味線コンサート。津軽民謡からベンチャーズまで津軽三味線を使って幅広い音楽を演奏。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
39	スーパー・タイコ・コンサート	曹禅寺 (Sozenji Buddhist Temple)	2011.03.05	元「鼓童」のメンバー、ヒダノ修一を始めとする実力派3名の日本の伝統音楽家を日本から招いて行なう、地元ロサンゼルス太鼓グループとのコラボレーション公演。日米文化会館前のノグチプラザに屋外劇場を設置して開催。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
40	歌舞伎と日本舞踊：歌舞伎の基本を理解する	オーロラ日本語奨学金基金 (Aurora Japanese Language Scholarship Foundation)	2011.03.12	初の外国籍歌舞伎役者である中村鴈京による歌舞伎の歴史や鑑賞の仕方等の基本的な知識のレクチャー及び日本舞踊体験レッスン。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
41	能と狂言デモンストレーションとワークショップ	パシフィック大学 (Pacific University)	2011.03.17	京都(観世流) KashuJukuの片山伸吾と狂言茂山流の狂言師によるパシフィック大学の学生及び地元コミュニティ向けの能と狂言のデモンストレーションとワークショップ。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成
42	日本文化祭	ブライトウォーター・スクール (Bright Water School)	2011.03.25	小・中学校一環教育の私立学校における日本文化祭。コミュニティも参加できる日本文化イベントであり、地元の太鼓グループによる、太鼓コンサート+ワークショップを実施。ロサンゼルス日本文化センターは開催経費の一部を助成

海外拠点

【その他】

	事業名	関連機関	期間	事業内容
43	サンディエゴ日本文化コミュニティー・デイ	在ロサンゼルス総領事館 日本政府観光局（JNTO）ロサンゼルス事務所	2010. 06. 26	海上自衛隊の練習艦隊がサンディエゴ港に寄港する機会を捉え、サンディエゴで行なわれた日米安全保障条約改定50周年記念行事において、伝統文化、武道、食を始め様々な日本文化を総合的に紹介。ロサンゼルス日本文化センターは在ロサンゼルス総領事館、日本政府観光局と合同で、各機関の事業紹介、情報提供を実施
44	アニメ・エキスポ 2010	在ロサンゼルス総領事館 日本貿易振興機構（JETRO）ロサンゼルス事務所 日本政府観光局（JNTO）ロサンゼルス事務所	2010. 07. 01 ～ 2010. 07. 04	2010年で19回目を迎える北米最大規模のアニメをテーマとしたイベント「アニメ・エキスポ」において、ロサンゼルス日本文化センターは、在ロサンゼルス総領事館、日本貿易振興機構、日本政府観光局と合同で、日本を紹介するブースで各機関の事業紹介、情報提供を実施
45	ジャパン・ビジネス・レセプション	在ロサンゼルス総領事館	2010. 11. 17	トランス商工会議所と南カリフォルニア日系企業協会が主催する日米のビジネス関係者の交流イベント。ロサンゼルス日本文化センターは、在ロサンゼルス総領事館ほか日本政府関連機関と合同で、日本を紹介するブースにて各機関の事業紹介、情報提供を実施

海外拠点

メキシコ日本文化センター

合計額 29,239,391 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	写真展「旅」	トルーカ メキシコ・シ ティ ハラッパ	モデロ科学産 業博物館 メキシコ市立 写真アーカイ ブ美術館 ベラクルス州 立大学付属ラ モン・アル バ・デ・ラ・ カナル ギャラ リー	モデロ科学産 業博物館 メキシコ市立 写真アーカイ ブ美術館 ベラクルス州 立大学付属ラ モン・アル バ・デ・ラ・ カナル ギャラ リー 東京都写真美 術館	2010.10.01 ~ 2011.03.27	「日本メキシコ交流400周年」記念事業の一環として東京都写真美術館と国際交流基金により実施した海外企画展。尾仲浩二、百瀬俊哉、石川直樹、さわひらき、百々武、内藤さゆりの6名の写真家による「旅」をテーマにした170点の写真で構成。藤村里美（東京都写真美術館キュレーター）、尾仲、さわによる講演会「日本の旅写真の系譜」（2010.10.02 トルーカ市モデロ科学産業博物館）も併せて実施。来場者数35,248名
2	Kami-Robo展	メキシコ・シ ティ	メキシコ国立 自治大学付属 チョボ美術館	メキシコ国立 自治大学付属 チョボ美術館 メキシコ国立 自治大学	2010.12.08 ~ 2011.03.21	安居智博（造形師／カミロボ作家）の制作したKami-Robo（紙ロボ）の展示。Kami-Roboは、互いに戦わせて遊ぶために作られた身長15cm～20cm程度のロボットファイター。201体展示し、若年層を中心に6,202名が入場。オープニングにはプロレスラーとともに安居も参加し挨拶を行った

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	上野淳子・ギャレット・ピアノ公演	メキシコ・シ ティ プエブラ	オリン・ジョ リストゥリ文 化センター エ ルミロ・ノベ ロ・ホール ラス・アメリ カス大学プエ ブラ校芸術講 堂	オリン・ジョ リストゥリ文 化センター ラス・アメリ カス大学プエ ブラ校	2010.09.29 ~ 2010.09.30	米国在住の日本人ピアニストによるコンサート。「東洋と西洋の出会いーピアノで巡る世界の旅」をタイトルに山田耕作『荒城の月』とG.F.ヘンデル『シャコンヌ・ト長調(G229)』を対比して演奏、他8曲。来場者数合計120名。国際交流基金ニューヨーク日本文化センターの在米日本文化専門家中南米派遣事業の一環としてキューバ、エルサルバドル及びメキシコを巡回

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	寄席公演	メキシコ・シ ティ	日墨協会階上 サロン 日本メキシコ 学院講堂	日墨協会 日本メキシコ 学院	2010. 11. 06 ～ 2010. 11. 07	三笑亭茶楽による落語『船徳』、やなぎ南玉（なんぎょく）による曲独楽、柳家小蝠（こふく）、昔昔亭A太郎・由美子による寄席の踊りと音楽（囃子）を紹介。日系人、日本語を学習している子どもとその両親など来場者250名が大いに笑い楽しむ

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	アニメ・マンガ講演会	ハラッパ メキシコ・シ ティ	ヘスタル・デ ザイン大学 国立芸術セン ター	ヘスタル・デ ザイン大学 国立芸術セン ター	2010. 04. 26 ～ 2010. 05. 09	「日本メキシコ交流400周年」記念事業の一環として正木基（目黒区美術館学芸員）による日本のアニメの歴史、末房志野（首都大学東京准教授）によるイラストレーションから見たマンガに関する講演、さらに小泉真理子（京都精華大学マンガ学部講師）によるビジネス、マーケティング面から見たマンガに関する講演を実施。日本の文化・社会に関する理解を深めてもらう機会を提供
6	日本食レクチャー・デモンストレーション	メキシコ・シ ティ	クラウストゥ ロ・デ・ソー ル・フアナ大 学 駐メキシコ大 使公邸 日墨協会	クラウストゥ ロ・デ・ソー ル・フアナ大 学 在メキシコ大 使館 日墨協会	2010. 09. 24 ～ 2010. 09. 30	「日本メキシコ交流400周年」記念事業の一環として遠藤十士夫（宮内庁御用達萬屋調理師会会長）、遠藤とも子（料理研究所青山クラブ調理師）、葛西恒太（佳遊亭調理師）による日本の食をテーマとした講演「日本の伝統的『食』へのアプローチ」、懐石料理の盛り付けデモンストレーション、聴衆による試食、質疑応答を実施。メキシコで得られる食材を使用し調理した懐石料理を紹介。クラウストゥロ・デ・ソール・フアナ大学では午前と午後2回、駐メキシコ大使公邸、日墨協会では各1回ずつ計4回実施し、200名が参加

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本映画祭「大島渚監督特集」	メキシコ・シ ティ	メキシコ国立 シネマテーク	メキシコ国立 シネマテーク	2011. 03. 11 ～ 2011. 03. 13	大島渚（映画監督）による『愛と希望の街』『青春残酷物語』『太陽の墓場』『儀式』の4作品を上映。東日本大震災の発生により、3日間で中止。3日間で702名が入場

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
8	図書館運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本の文化芸術に対する理解を深めること、日本語学習に役立つこと、日本研究のための基礎的資料を提供することの3つを目的とする図書館を運営 ①所蔵資料合計： 10,510点 （内訳：日本語資料 6,067冊、外国語資料 3,519冊、視聴覚資料 924点） ②利用者数（年間）： 3,339人 ③貸出点数（年間）： 8,149点 ④レファレンス件数（年間）： 1,164件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
9	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	メキシコ日本文化センターを紹介するウェブサイトの運営。各種事業案内、日本のアート等を主にスペイン語で紹介 URL: http://www.fjmex.org/ アクセス件数（年間）：187,255件

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	メキシコ友好国フェア2010 日本文化紹介ワークショップ	メキシコ・シティ	レフォルマ大通り	メキシコ市 在メキシコ大使館	2010.05.14 ~ 2010.05.30	「日本メキシコ交流400周年」記念事業の一環としてメキシコ市の呼びかけに応える形で、各国大使館や文化機関、関係団体がテント参加した文化フェスティバルに参加。メキシコ・シティ最大の目抜き通りであるレフォルマ大通りに参加約50カ国のテントが立ち並んだ。日本からは、大使館、日墨協会などとともに、メキシコ日本文化センターも参加し、5月16日、23日、30日の3日間にわたって、折り紙、書道、ふろしきラッピング、墨絵の4種類のワークショップを全12回実施。560名以上が参加

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
11	室伏鴻 舞踏公演	ガフカ舞踏カンパニー(Gajuca Butoh AC)	2010.05.23 ~ 2010.05.26	室伏鴻（舞踏家）による舞踏公演。同氏のソロ作品 <i>Quick Silver</i> 公演と、同氏とファン・ホセ・オラバリエッタ（OLAVARRIETTA, Juan Jose：舞踏家）の2名によるデュオ作品 <i>MUSICA</i> 公演の2公演。ワークショップ「舞踏のテクニクについて」も併せて開催。メキシコ日本文化センターは、制作費を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
12	路上演劇祭 Japan in 浜松2010 (第3回)	プログラマ・デ・テアトロ・カジェヘロ (Programa de Teatro Callejero I.A.P.)	2010.05.23 ~ 2010.05.26	多文化共生、多様な演劇のありようの提示をテーマとする路上演劇フェスティバル。 1992年、里美のぞみ (マイム・アーティスト) とギジェルモ・ディアス (DIAS Guillermo: メキシコの路上演劇プログラム主宰者) との出会いから18年にわたる交流を経て3回目の開催が実現したもの。演劇公演、ワークショップ、講演を実施。メキシコ日本文化センターは、コレア・ロドリゴ (COREA Rodrigo: 役者・演劇祭公演) の日本・メキシコ間往復航空賃を助成
13	ショート・ショート・フィルム・フェスティバル・メキシコ・2010	ショート・ショート・フィルム・フェスティバル・メヒコ (Short Shorts Film Festival México 2010)	2010.09.02 ~ 2010.09.12	2006年に始まったメキシコにおけるショート・ショート・フィルム・フェスティバルの5回目の開催。今回初めてメキシコ国立シネマテークの協力を得て実施。来場者は2万名。メキシコ日本文化センターは、短編映画上映料の一部を助成
14	舞踏グループ・ガフカ (Gajuca) メキシコ国内ツアー	ガフカ舞踏カンパニー (Gajuca Butoh AC)	2010.09.30 ~ 2010.11.29	「日本とメキシコの結びつき」をテーマに、舞台公演26回、ワークショップ18回、写真展9回を含む舞踏関連複合企画。メキシコ国内8都市で1万2千名が入場。開催都市はメキシコ・シティ、アカプルコ、モレリア、シュカレット、グアナファト、タパチュエラ、サン・クリストバル・デ・ラス・カサス、トクストウラ・グティエレス。メキシコ日本文化センターは、広報資料作成費を助成
15	「ここからここへ」展	ベラクルス州立大学造形美術研究所	2010.11.10 ~ 2010.12.10	矢作隆一 (メキシコ在住アーティスト) によるインスタレーション展示。メキシコ料理に欠かすことのできないトウガラシを用いた波紋状の床面作品とその制作風景を収録した動画上映。ベラクルス州立大学造形美術研究所で実施。メキシコ日本文化センターは、材料費、アーティストの滞在費、交通費を助成
16	「アルファ崩壊」展	ティファナ文化センター (Centro Cultural Tijuana)	2010.11.19 ~ 2011.02.16	竹田信平 (メキシコ在住アーティスト) の企画・制作に基づく原子爆弾のもたらす悲劇をテーマとした展覧会。ガブリエル・マルティネス (MARTINEZ, Gabriel: メキシコ人建築家) との合作による大型インスタレーションを展示。メキシコ日本文化センターは、材料費の一部を助成
17	日本の舞台芸能 (テレビ番組制作)	チャンネル22 (Cana 122)	2010.12.04 ~ 2010.12.11	非営利テレビ局チャンネル22による、日本の舞台芸能 (オペラ、舞踏、ピアノ演奏、琴・尺八とタンブッコの演奏) を取り上げた2番組「魂の鏡、MUSICA」と「モーツァルトのピアノ・コンサート、鶴のたそがれ」の制作。メキシコ日本文化センターは、製作費の一部を助成
18	Bios 2010 400年400のカメ	手工芸発展基金 (Fundación para el Desarrollo de Artesanas)	2010.12.10 ~ 2011.03.10	メキシコ・カメ・センターのリニューアル・オープンを機に開催する、ウミガメの保護と、自然環境の保護に関する教育を目的とした展示事業。自然界でのカメと、人間による影響下でのカメの一生をそれぞれ展示する部屋に、「折り紙のカメ」と「書」を展示。メキシコ日本文化センターは、製作費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
19	「クリスタル・ジャングル」展	メキシコ国立自治大学チョポ美術館(Museo Universitario del Chopo)	2011.02.09 ~ 2011.05.18	メキシコ在住の日本人、日系人アーティストの作品によるグループ展。西沢ルイス(NISHIZAWA, Luis)、高橋清、中谷カルロス(NAKATANI, Carlos)ほか15名の作家による作品展示。メキシコ日本文化センターは、参加アーティストの交通費と滞在費の一部を助成
20	剣道講習会	メキシコ剣道連盟(Federación Mexicana de Kendo A.C.)	2011.02.14 ~ 2011.02.28	メキシコ・シティ及びプエブラ市における剣道講習会。日本から、山中茂樹(埼玉剣道協会範士8段)、小澤博(東京理科大学8段)を講師として招き、技術のみならず日本の世界観をも紹介。メキシコ日本文化センターは、1名分の航空賃を助成
21	日本研究国際シンポジウム「日本メキシコ交流の端緒」	エル・コレヒオ・デ・メヒコ(El Colegio de México)	2011.03.15 ~ 2011.03.20	「日本メキシコ交流400周年」を機に、エル・コレヒオ・デ・メヒコにより企画された国際シンポジウム。「徳川時代におけるメキシコ(ヌエボ・エスパーニャ)と日本の初めての接触」。スペインからアジアにおけるイベリアを専門とする歴史学者フアン・ヒル(GIL, Juan:セビリア大学教授)を招いて開催。メキシコ日本文化センターは、航空賃を助成
22	三上寛公演	メキシコ・シティ歴史地区フェスティバル(Festival de Mexico)	2011.03.18	メキシコ・シティ歴史地区フェスティバルの一環であるフェスティバル・アウラル2011に三上寛(フォークシンガー)を招き、ブルースとノイズのフュージョン音楽の公演を実施。メキシコ日本文化センターは、航空賃を助成

海外拠点

サンパウロ日本文化センター

合計額 191,608,603 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	折り紙によるカーニバル展	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	折紙研究会 (Grupo de Estudos de Origami)	2010.07.27 ~ 2010.08.10	ブラジルのサンバ・カーニバルを全て折り紙で再現した長さ19メートルの作品、金色の大仏及び432羽の連鶴からなる日本とブラジルの国旗(全て折り紙で制作)の展示を行い、折り紙の持つ多様性を紹介
2	文化パネル巡回展示	マリンガ	マリンガ文化体育協会	マリンガ文化体育協会 (Associação Cultural e Esportiva de Maringá)	2011.03.10 ~ 2011.03.15	パラナ州マリンガ市において行われた日本文化祭りにおけるサンパウロ日本文化センター所有の展示パネル『浮世絵展』の巡回展示。展示にあわせ、浮世絵の研究者をサンパウロから派遣し、解説を加えながらの展示案内も実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	尺八公演	ポルト・アレグレ	リオ・グランジ・ド・スル・カソリック大学建築学部	リオ・グランジ・ド・スル・カソリック大学建築学部 (Faculdade de Arquitetura e Urbanismo da PUCRS) 在ポルトアレグレ出張駐在官事務所	2010.04.28	ポルト・アレグレで開催される「パラレルニッポン現代日本建築展」のオープニング式典の機会をとらえ、サンパウロ市在住の尺八奏者を同市に派遣し、地方都市では鑑賞する機会の少ない伝統的な邦楽公演を実施
4	語り手公演「太陽が昇る所からの昔話」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010.05.13	サンパウロで行われた国際語り手フェスティバル「ボカ・ド・セウ」の参加者、日系ベルギー人パスカル・グラン(GUERLAIN, Pascal)による日本昔話の語り公演(ストーリーテリング)を実施
5	「オペラ・ナ・マラ」公演	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010.05.14	世界の童話を紹介するブラジル児童劇グループ「オペラ・ナ・マラ」(「トランク・オペラ(Trancu Opera)」)による『七夕』『浦島太郎』『笠地蔵』など、日本の童話や民話を題材とした児童向けの公演を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	沖縄太鼓公演	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 11. 16	15人編成の沖縄太鼓グループ Ryukyu Koku Matsuri Daiko Brasilによるエイサー・ショーを実施。琉球太鼓の歴史や衣装、楽器、エイサーの由来について、解説を加えながら公演を実施
7	「オペラ・ナ・マラ」紙芝居	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 11. 18	世界の童話を紹介するブラジル児童劇グループ「オペラ・ナ・マラ」(「トランク・オペラ(Trancu Opera)」)による紙芝居。独自のアダプテーションで、ブラジル風にアレンジされた一味違った紙芝居を実演。演目は『たべられたやまんば』
8	マリオ・デ・アンドラーデ図書館邦楽公演 (民衆と音楽)	サンパウロ	サンパウロ市立マリオ・デ・アンドラーデ図書館	サンパウロ市立マリオ・デ・アンドラーデ図書館(Biblioteca Mário de Andrade)	2011. 02. 19	ブラジル第2の蔵書数を誇るサンパウロ市立マリオ・デ・アンドラーデ図書館の大規模リフォーム完成に伴い行われた、サンパウロ市在住移民の子孫と関係のある国々の文化を取り上げた記念事業を共催。日本文化事業として、尺八、箏、ギター、チェロによる邦楽と洋楽のフュージョンによる公演を実施。また日系移民のブラジル社会への貢献をテーマに座談会を実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本映画講座「西欧における日本映画—『羅生門』から『おくりびと』まで」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 05. 26 ~ 2010. 05. 28	マルセラ・カニゾ(CANIZO, Marcela: 日本映画研究者)による3日連続の日本映画講座。西欧の主要国際映画祭で受賞した作品を中心に日本映画史を振り返りつつ、近代から現代までの日本映画を紹介
10	食文化講演会「日本の伝統料理」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 06. 02	日本の伝統料理や郷土料理について複数の本を執筆しているサンパウロ在住のヤスモト・シズコ(YASUMOTO, Shizuko)による講演会。日本の伝統料理をテーマに地域性やレシピについて一般向けに紹介
11	カンボグランデ市日本文化週間における能公演・ワークショップ	カンボグランデ	カンボグランデ日伯文化体育協会	カンボグランデ日伯体育文化協会(Associação Esportiva E Cultural Nipo-Brasileria De Campo Grand) 在サンパウロ総領事館	2010. 06. 19	南マトグロッソ州カンボグランデ市で行われた日本文化週間(10. 06. 16~06. 19)において、日本の伝統芸能、能を紹介するため、サンパウロ市在住の能研究者ナガイ・アンジェラ(NAGAI, Angela: 元国際交流基金フェロー)を派遣し、能の公演及びワークショップを実施
12	文化講座「アマゾン旅行記・食材探求」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 06. 30	小池信也(和食レストラン「藍染」オーナーシェフ)による、アマゾン地域の食材を使用した和風仕立て料理の方法に関する講演会を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	講演会「小津安二郎監督作品」	サンパウロ	ブラジル銀行文化センター	ブラジル銀行文化センター (Centro Cultural Banco do Brasil)	2010. 07. 16	小津安二郎（映画監督）作品に造詣の深いカルロス・アルベルト・カリウ（CARIL, Carlos Alberto : サンパウロ市文化局長）による小津監督作品についての講演会を実施
14	折り紙ワークショップ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 07. 27 ～ 2010. 07. 30	折り紙ワークショップのほか、簡単な色紙の折り方や世界で発表されている作品や出版物、日本の折り紙専門家等について紹介
15	日本食海外普及功労者表彰記念講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	日本貿易振興機構（JETRO）サンパウロ事務所 在サンパウロ総領事館	2010. 08. 12	農林水産省が実施する2010年日本食海外普及功労者表彰を受賞した岩崎透（東山農場社長）による講演会。日本の食文化や食材等の紹介、普及に取り組んできた自身の経験を踏まえた受賞記念講演を実施
16	切り紙、折り紙、生花、マンガのワークショップ	サンパウロ	アニエンビー展示パビリオン	日伯文化連盟（Aliança Cultural Brasil-Japão）	2010. 08. 12 ～ 2010. 08. 22	サンパウロ国際図書ビエンナーレ実施期間（10. 08. 12～10. 08. 22）中、同ビエンナーレに出展した国際交流基金ブース内において、切り紙、折り紙、生花、マンガなど展示図書に関連した日本文化イベント（ワークショップ）を実施
17	日系アメリカ人ジャーナリスト講演会 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	サンパウロ ベレン トメアス ブラジリア	サンパウロ大学日本文化研究所 汎アマゾン日伯協会 トメアス文化農業振興協会 ブラジリア大学	サンパウロ大学（Universidade de São Paulo） 汎アマゾン日伯協会（Associacio Pan-Amazonia Nipo-Brasileira） ブラジリア大学（Universidade de Brasilia）	2010. 08. 19 ～ 2010. 08. 27	シアトル在住の日系アメリカ人ジャーナリスト、ロリ・マツカワ（MATSUKAWA, Lori : シアトル・キングテレビ・アンカー）による講演会をサンパウロ、ベレン、トメアス、ブラジリアで実施。米国における少数派ジャーナリストの歩みとアジア系アメリカ人ジャーナリスト協会の活動を紹介
18	食文化講演会「和菓子」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 08. 31	マキブチ・クリスティーナ（MAKIBUCHI, Cristina : ケーキ職人）による「和菓子」の講演会。和菓子の作成過程を映像で紹介するとともに、講演者が日本で経験した菓子作りに関する講演及び抹茶を使ったケーキの試食会を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	サンパウロ大学客員教授による巡回講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ大学 (Universidade de São Paulo)	2010. 09. 08	国際交流基金が「日本研究機関支援〔米州〕」プログラムによりサンパウロ大学に客員教授として派遣した新美哲彦（ノートルダム清心女子学院大学准教授）による講演会。同教授の専門である『源氏物語』に関する講演を、一般市民向けに実施
20	講演会「陶芸・登り窯」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	クーニャ市陶芸協会 (Instituto Cultural da Cerâmica de Cunha)	2010. 09. 22 ~ 2010. 09. 24	南米で有数の陶芸・登り窯の町として知られるクーニャから招いた日系陶芸家、末永貴美子による連続講演会。登り窯の特徴などを多数のスライドや陶器を用いて紹介。陶芸に関する文化映画も上映
21	講演会「日本とブラジルのパッケージ・デザイン」	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 09. 29	ブラジルと日本のパッケージ・デザインの比較を試みる講演会を実施。講師のナリタ・マリオ (NARITA, Mário) は、日本パッケージデザイン協会主催の研修会に参加経験があり、ブラジルでも「ガラナ」等数々のパッケージデザインを手掛けるパッケージ・デザイナー
22	「日本の熱い血」映画特集講演会	サンパウロ	シネマテカ (Cinematca)	シネマテカ (Cinematca)	2010. 10. 05	ブラジルで著名なカルロス・ヘイシェンバッハ (REICHENBACH, Carlos : 映画監督) による小津安二郎 (映画監督) 作品についての講演会を実施
23	箏ワークショップ・コンサート	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	ブラジル日本研究協会 (Associação Brasil-Japão de Pesquisadores)	2010. 10. 08	西陽子 (箏演奏家) によるワークショップ及びコンサート。ワークショップはサンパウロ在住の箏演奏家を対象に実践的な内容で実施。コンサートは一般市民を対象として実施
24	日本のゲーム産業に関する講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 10. 19	日本のポップカルチャー紹介の一環として、1970年代から現在まで、日本のゲーム文化・産業が西洋文化へ与えてきた影響についての講演会を実施。欧米諸国やブラジルにおける日本ゲームの需要とその歴史的変遷を採る内容。講師はアドリアナ・ケイ・サトウ (SATO, Adriana Kei : アニエンビ・モルンビ (Anhembi Morumbi) 総合大学ゲームデザイン学科教授 / ゲーム・コンテンツ・プロデューサー)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	講演会「和文化・風呂敷の美」	サンパウロ サンパウロ マリンガ リオ・デ・ジャネイロ	サンパウロ日本文化センター ヨーロッパデザインスクール マリンガショッピングセンター	ドウ・クルトゥラウ (Dô Cultural) 在サンパウロ総領事館 マリンガ市役所観光局 (Secretaria de turismo prefeitura de Maringá) マリンガ日本公園 (Maringá Parque do Japao) マリンガ日本文化スポーツ協会 (Associação Cultural e Esportiva de Maringá) 在リオデジャネイロ広報文化センター	2010. 11. 04 ~ 2010. 11. 09	山田悦子（京都和文化研究所「むす美」アートディレクター）による講演会。第2回学生のための国際ふるしきデザインコンテスト応募作品が展示されている中で、「和文化・風呂敷の美」をテーマにした風呂敷の歴史と日本の伝統文化、現代における風呂敷の活用等について講演会を実施
26	日本庭園に関する講演会	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 11. 17	サンパウロ日本文化センターが出版助成を行った『日本庭園 (Jardim Japonês)』(カマレオン出版)の著者、サルキス・カロウスチアン (KALOUSTIAN, Sarkis) 及び日本建築にみられる独特の「間」(空間)について研究している岡野道子(サンパウロ連邦大学助教授)による講演会を実施
27	切り紙ワークショップ	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター		2010. 12. 15 ~ 2010. 12. 17	サンパウロ在住のウエズ・ナオミ (UEZU, Naomi : 切り紙専門家)による、少人数を対象とした切り紙についてのワークショップを3回実施。同時開催中の「パラレルニッポン現代日本建築展」でも展示されている茶谷正洋(折り紙建築専門家)の作品を紹介し、折り紙の奥行きも併せて紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
30	日本映画上映会	サンパウロ	シネマテカ (Cinematca)	シネマテカ (Cinematca)	2011.01.12 ~ 2011.02.06	共催機関であるシネマテカ(Cinematca)より上映希望のあった日本映画5作品を各3回(計15回)上映。上映作品は『煙突が見える場所』(五所平之助、1953)、『神々の深き欲望』(今村昌平、1968)、『地獄門』(衣笠貞之助、1953)、『祇園囃子』(溝口健二、1953)、『あの夏、一番静かな海』(北野武、1991)
31	日本映画上映会	サンパウロ	サンパウロ大学内シアター	サンパウロ大学 (Universidade de São Paulo)	2011.02.14 ~ 2011.02.18	サンパウロ大学内シアターで実施される「家族」をテーマとした映画特集において、同シアターより上映希望のあった作品、『晩春』(小津安二郎、1949)を計3回上映
32	日本映画上映会	サンパウロ	サンパウロ市文化センター	サンパウロ市文化センター (Centro Cultural São Paulo)	2011.02.15 ~ 2011.02.27	サンパウロ市文化センターが企画する「都会」をテーマとした映画特集において、同センターより上映希望のあった日本映画2作品、『ALWAYS 三丁目の夕日』(山崎貴、2005)、『ALWAYS 続・三丁目の夕日』(山崎貴、2007)を上映

【図書館運営】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
33	図書館運営				2010.04.01 ~ 2011.03.31	ブラジルにおいて日本文化を広く普及させるため、図書館における閲覧、貸し出し、各種レファレンスサービスのほか、文化芸術事業など国際交流基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を実施。蔵書としては、日本文化・社会を広く紹介する資料、日本語学習や日本研究活動をサポートするための参考文献を中心に収集 ①所蔵資料合計： 19,784点(視聴覚資料数を含む) ②利用者数(年間)： 11,621名 ③貸出点数(年間)： 21,660点 ④レファレンス件数(年間)： 261件 ⑤図書館用リーフレット作成： 1,000部
34	紙芝居読み聞かせ(上半期)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ日本人学校PTA	2010.05.08 ~ 2010.09.11	紙芝居ボランティア制度を導入し、毎月1回、日本語とポルトガル語による紙芝居の読み聞かせを実施(毎回計4回の読み聞かせを実施) 第1回14:00~(日本語)、第2回14:30~(ポルトガル語) 第3回15:00~(日本語)、第4回15:30~(ポルトガル語)
35	紙芝居読み聞かせ(下半期)	サンパウロ	サンパウロ日本文化センター	サンパウロ日本人学校	2010.10.01 ~ 2011.03.31	毎月1回、日本語とポルトガル語で計4回紙芝居の読み聞かせを実施。また、近隣の小学校や他団体が実施する日本文化イベントでも出張紙芝居を実施。演目は『一寸法師』、『かさ地蔵』、『ねずみのすもう』など、計6作品

海外拠点

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
36	ウェブサイト運営	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ウェブサイトを通じてサンパウロ日本文化センターの事業、図書館ほか各種日本文化関連情報を紹介。ウェブサイト使用言語は、ポルトガル語 URL : http://www.fjsp.org.br/ アクセス件数(年間) : 406,004件

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
37	ボツカツ市日本文化祭「TOMODATI」	ボツカツ	ボツカツ市近代美術館 ボツカツ市立劇場	国際協力機構(JICA) サンパウロ州立大学(Universidade Estadual Paulista)ボツカツ校 ボツカツ市(Prefeitura Municipal de Botucatu) ボツカツ市日本文化協会(Associação Botucatuense de Cultura Japonesa) 在サンパウロ総領事館	2010.05.21 ~ 2010.05.23	ボツカツ市で行われた日本文化祭りのオープニングイベントで、シェン・ヒベイロ(RIBEIRO, Shen : 尺八奏者)及び山本ユカ(日系オペラ歌手)がボツカツ市交響楽団と共演し、日本楽曲を紹介。また、マンガをテーマとした講演会や文化パネルの展示(「京都写真展」及び「浮世絵展」)を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	マリンガ市日本文化週間	マリンガ	マリンガ市 日本文化協会 ほか	カリウ・アダジ 劇場 (Teatro Calil Haddad) マリンガ市 (Prefeitura Municipal de Maringá) マリンガ市 日本文化協会 (Associação Maringá de Cultura Japonesa) 在クリチバ総領 事館	2010.06.16 ~ 2010.06.22	マリンガ市内の日本公園(2008年移民百周年を記念し造成)、マリンガ市日本文化協会、カリウ・アダジ劇場(Teatro Calil Haddad)等各所で、尺八演奏会、生け花、茶道、折り紙の展示・ワークショップ、ミス・コンテスト、武道演武、記念夕食会など多彩な催しが行われた。サンパウロ日本文化センターは、日系ファッション・スタイリストや陶芸専門家、和食専門家をサンパウロから派遣し、ファッションショー、陶芸ワークショップ、日本食講座を実施
39	第13回ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミгранテ ス見本市会場	ブラジル日本 都道府県人会 連合会 (Federação das Associações de Provincias do Japão no Brasil) 在サンパウロ総 領事館	2010.07.16 ~ 2010.07.18	在サンパウロ総領事館と共同で、ジャパン・フェスティバルの敷地内にブースを設置。ファッションをテーマに風呂敷の展示及びバッグやポーチ、スカーフなどのアクセサリーとしての風呂敷の使用方法についてデモンストレーションを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
40	京料理紹介事業	サンパウロ	アニエン ビー・モルン ビー大学ビ ラ・オリンピ アキャンパス	ヤマト商社 (Yamato Comercial Ltda)	2011. 02. 12 ~ 2011. 02. 25	特定非営利活動法人日本料理アカデミーに所属している2名の老舗料亭シェフ、高橋拓児(木乃婦)、高橋義弘(瓢亭)をブラジルに招へいし、料理学校で京料理のレクチャー・デモンストレーションや大使公邸での政府要人を招いた京料理披露、総領事公邸でのマスコミ関係者等を招いた京料理披露を実施
		サンパウロ	サンパウロ日 本文化セン ター	在サンパウロ 総領事館		
		サンパウロ	在サンパウロ 総領事公邸	在ブラジル大使 館		
		ブラジリア	在ブラジル大 使館	ブラジル日本 文化福祉協会 (Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assistência Social)		
41	ベネズエラ日本文化週間	カラカス (ベネズエラ)	コープバンカ 文化センター コンサート ホール	在ベネズエラ大 使館	2011. 02. 15 ~ 2011. 02. 17	シェン・ヒベイロ (RIBEIRO, Shen: 尺八奏者)、北原民江 (箏・三味線奏者)、ガブリエル・レヴィ (LEVY, Gabriel: アコーディオン奏者) によるアンサンブルをベネズエラ、ボリビアに巡回派遣。ベネズエラでは、ベネズエラ日本文化週間に参加。尺八や三味線、箏など、日本の伝統楽器による日本楽曲の演奏やアコーディオンとのコラボレーションを実施
42	サンタクルス・ジャパンデー	サンタクルス (ボリビア)	サンタクルス 市文化会館	在サンタクルス 出張駐在官事務 所	2011. 02. 17 ~ 2011. 02. 20	シェン・ヒベイロ (RIBEIRO, Shen: 尺八奏者)、北原民江 (箏・三味線奏者)、ガブリエル・レヴィ (LEVY, Gabriel: アコーディオン奏者) によるアンサンブルをベネズエラ、ボリビアに巡回派遣。ボリビアでは、サンタクルス・ジャパンデーに参加。尺八や三味線、箏など、日本の伝統楽器による日本楽曲の演奏やアコーディオンとのコラボレーションを実施
43	陶芸家アーティスト・イン・レジデ ンス	サンパウロ	サンパウロ大 学 (Universidade de São Paulo) サンパウロ州 立公園 (Palacio do Horto Florestal)		2011. 03. 07 ~ 2011. 03. 31	日本の陶芸家、請関敏之 (うけせき・としゆき) を招へいし、ブラジルの「陶芸の日」(5月29日)の時期にクーニャ市の美術館で展示するための作品制作の他、同市の陶芸家への指導を実施。サンパウロ大学で開催された国際陶芸シンポジウム(11. 03. 22~03. 25)に唯一の日本人陶芸家として参加。またサンパウロ州文化局が実施した陶芸展・ワークショップ(11. 03. 26~27)にも参加

海外拠点

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
44	ラテンアメリカにおける日本研究アカデミックネットワーク確立・強化プロジェクト支援	ブラジル日本研究学会 (Associação Brasileira de Estudos Japoneses)	2010.04.01 ~ 2010.04.30	ブラジルの日本研究者に、メキシコ、アルゼンチン、チリ、コロンビアから4名の日本研究者を加え、それぞれの研究活動についての情報・意見交換の他、研究者同士のネットワーク構築を目指したプロジェクトに対し、サンパウロ日本文化センターは、参加者の旅費・滞在費の一部を支援
45	『日本の庭園』出版助成	K出版社(K Editora Comércio de papéis Ltda ME)	2010.04.01 ~ 2010.04.30	サルキス・カロウスチアン(KALOUSTIAN, Sarkis: ブラジル人建築家)が文部省留学生時代に研究した京都の庭園を建築家の視点で撮影した400枚にのぼる写真と解説文で紹介する日本庭園に関する書籍の出版経費を助成
46	日本研究図書出版助成	Annablume出版社(Annablume Editora)	2010.07.08 ~ 2011.03.31	身体芸術・記号学が専門のクリスチーネ・グライナー(GREINER, Christine: サンパウロ・カトリック大学東洋研究所所長)が編者となり、日本のイメージを形成する様々な文化的要素を、ブラジル国内の複数の日本研究者と日本の研究者がそれぞれの視点から分析した学術書『日本のイメージ』を刊行。サンパウロ日本文化センターは印刷経費の一部を助成
47	世界コスプレサミット2010 (World Cosplay Summit 2010)	JBC出版社(Editora JBC)	2010.07.17	毎年世界各国からコスプレヤーが集い愛知県で決勝大会が行われる世界コスプレサミットのブラジル大会への運営資金の一部助成。広報協力も行ったほか、サンパウロ日本文化センター所長が審査員として参加
48	サンパウロ大学客員教授による巡回講演	サンパウロ大学日本文化研究所 (Centro de Estudos Japoneses da Universidade de São Paulo)	2010.08.16 ~ 2010.08.30	国際交流基金が「日本研究機関支援〔米州〕」プログラムによりサンパウロ大学に客員教授として派遣した新美哲彦(ノートルダム清心女子学院大学准教授)をパラナ連邦大学、ブラジリア大学、リオデジャネイロ連邦大学に派遣し、「絵で受け継がれる源氏物語」をテーマに講演を実施。サンパウロ日本文化センターは、同氏の旅費及び講演通訳経費の一部を助成
49	フロリアノポリス日本文化週間	ニッポ・カタリネンセ協会 (Associação Nipo-Catarinense)	2010.08.25	サンタカタリーナ州フロリアノポリス市で行われた日本文化週間(10.8.20~10.8.28)において風呂敷デモンストレーション・ワークショップを実施するため、サンパウロ在住のソフィア・カマタニ(KAMATANI, Sofia: 風呂敷専門家)の派遣を支援
50	サンパウロ大学鈴木梯一図書館蔵書目録カタログ化助成	サンパウロ大学 (Universidade de São Paulo)	2010.11.01 ~ 2011.03.31	サンパウロ大学日本文化研究所にある鈴木貞一図書館所蔵の日本研究関連書籍(4万5千冊)を電子カタログ化し、サンパウロ大学中央図書館の検索システムに登録する作業を行うための人件費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
51	サンパウロ大学国際セミナー「社会・グループ・個人による異文化間対話」	サンパウロ大学高等研究院 (Instituto de Estudos Avançados da Universidade de São Paulo)	2010. 11. 26	増大する国際移動・異文化間対話の中で構築される新たな生活世界・アイデンティティについて異なる専門分野の研究者が多角的に討論することを目的として、サンパウロ大学附属高等研究院が主催した国際セミナーの開催経費を一部助成。日本からは丹野准（首都大学東京教授）が参加
52	日系文芸賞(助成)	ブラジル日本文化福祉協会 (Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assistência Social)	2010. 11. 27 ~ 2010. 12. 15	ブラジル日本文化福祉協会が主催する第40回日系文芸賞は、日系コロニアから日本語文学、ポルトガル語文学、マンガの各部門で作品を募り、優秀作品を決定する事業。サンパウロ日本文化センターは、運営経費の一部を助成
53	日本理解ドキュメンタリー作品「ブロードバンド・マンガ」英語版製作	Brasil Video Ltda	2010. 12. 27 ~ 2011. 03. 31	日本のアニメーション・コンテンツの世界への広がり、日本のアニメーション・コンテンツ産業の現状と課題を描いたドキュメンタリー作品 <i>MangáBandaLarga</i> (ブロードバンド・マンガ) (国際交流基金助成映像作品) の英語版製作に対して助成。同作品の英語版はYouTubeで無料公開されるとともに、ハイデルベルク大学(ドイツ)で行われたフルブライト・アカデミー映画祭に出品
54	「マワカ」結成15周年記念公演	Dô Cultural	2011. 01. 15 ~ 2011. 01. 16	民族音楽集団「マワカ」の結成15周年記念コンサートにおいて、北原民江（琴・三味線奏者）、和太鼓グループの木下節夫太鼓団との共演により、『ソーラン節』『安里屋ゆんた』『蛸こい』など和楽器との共演及び日本の楽曲を披露。サンパウロ日本文化センターは、公演謝金、プログラム印刷費の一部を助成
55	コスプレ・イン・リオ・ショー	リオデジャネイロ州立大学 (Universidade do Estado do Rio de Janeiro)	2011. 02. 20	ブラジル全国からコスプレイヤーを募って行われたコスプレコンテスト、「コスプレ・イン・リオ・ショー」に対し、サンパウロ日本文化センターは、サンパウロからの審査員3名の渡航費及び宿泊費に及び、広報費の一部を助成
56	ペルナンブコ連邦大学日本研究講演会	ブラジル日本研究学会 (Associação Brasileira de Estudos Japoneses)	2011. 03. 18	昨今の日本文化や日本語への関心の高まりを背景に、日本研究センターの設置構想が持たれているペルナンブコ連邦大学(レシフェ市)において、同大学の日本語学習者を対象に、「日本の言葉と日本の国際関係」をテーマに、ブラジル文学の日本人像、俳句や、主として石油産業における日伯経済関係に関する学術セミナーを実施。サンパウロ日本文化センターは研究者の旅費の一部を助成。日本研究関連の学術イベントが限られている、地方での日本研究促進に寄与
57	精進料理イベント	ブラジル日本文化福祉協会 和食普及委員会 (Comissão de Divulgação da Gastronomia Japonesa da Sociedade Brasileira de Cultura Japonesa e de Assistência Social)	2011. 03. 20 ~ 2011. 04. 03	棚橋俊夫(精進料理専門家)をブラジルに招き、ベレンにおいて精進料理のワークショップを実施するとともにトメアスにおいてアマゾン野菜と精進料理の交流をテーマに講演会を実施。サンパウロ日本文化センターは専門家の旅費や滞在費の一部を助成

海外拠点

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
58	日韓アーティスト合同展「トロピカルの魅惑」	日本韓国交流美術展実行委員会 (Comitê Executivo da Exposição de Encanto Tropical)	2010. 04. 16 ～ 2010. 05. 07	ブラジルに縁のある日系人、韓国人アーティスト12名の合同展。主催は同展実行委員会、環境・文化研究センター。会期中には現代詩の朗読、煎茶デモンストレーション、文化映画の上映も実施。サンパウロ日本文化センターは会場を提供して支援

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
59	アニメDVD貸出	在サンタクルス出張駐在官事務所（ボリビア）	2010. 08. 25	ボリビア国サンタクルス市で開催された日本週間のためにサンタクルス出張駐在官事務所に対してサンパウロ日本文化センター所蔵のアニメDVD、手塚治虫原作『メトロポリス』『キャプテン翼』『ポケモン3』を貸与。日本週間イベントのひとつとしてアニメDVD上映会実施に協力

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
60	第8回ブラジル日本研究国際学会参加	ブラジリア大学 (Universidade de Brasília)	2010. 04. 01 ～ 2010. 04. 30	ブラジリア大学主催の第8回ブラジル日本研究国際学会及び大使公邸での同大学外務大臣表賞彰式に出席。学会ではサンパウロ日本文化センター作成の「日本研究オンライン」パンフレットも配布。今後の日本研究事業活性化に向けての関係者とのネットワーク構築・意見交換・情報収集
61	「善のすき焼き」プロジェクトへの協力	「善のすき焼き」プロジェクト 実行委員会 (Comissão Executiva do Projeto “Sukiyaki do Bem”)	2010. 06. 26	「善のすき焼き」は、事業発案者であるサンパウロ在住の本間之子(ほんま・ひでこ：陶芸家)らが制作した器に、当地有名シェフによるすき焼きが盛られ提供される、福祉団体への支援を目的としたチャリティ夕食会。同事業の実施に関し広報協力を行ったほか、参加者に対して日本文化への理解を深めてもらうため、和太鼓ショーを実施
62	紙芝居デモンストレーション	ペルス教育センター (Centro de Educação Unificada : CEU)	2010. 08. 27	サンパウロ日本文化センター日本語講師をサンパウロ市ペルス地区の貧しい子供たちへの教育を支援する教育センター (Centro de Educação Unificada : CEU) に派遣し、小学生に対して紙芝居を紹介。紙芝居『たべられたやまんば』をポルトガル語で上演
63	ラテンアメリカ・アジア・アフリカ研究学会 (ALADAA) 日本研究者との意見交換	ラテンアメリカ・アジア・アフリカ研究学会 (ALADAA)	2011. 03. 22 ～ 2011. 03. 25	ラテンアメリカの日本研究を幅広くカバーするラテンアメリカ・アジア・アフリカ研究学会 (Asociación Latinoamericana de Estudios de Asia y Africa : ALADAA) の研究総会にサンパウロ日本文化センター職員が出席し、関係者とのネットワーク構築・意見交換や今後の日本研究事業活性化に向けて情報収集を実施

海外拠点

ロンドン日本文化センター

合計額 135,476,126 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	文化備品セット運営	ロンドン	ウォリントン女子高校 (Wallington High School for Girls)		2010.05.01 ~ 2010.05.19	写真パネルセット『日本の世界遺産』を貸し出し、展覧会を実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	日本の現代戯曲リーディング/ 『Sisters』『ブラインドタッチ』 (<i>Japanese Play Readings: Double Bill: Sisters and Blind Touch</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011.03.14 ~ 2011.03.25	近年、日本で発表された劇作のうち、これまで紹介されていない作品、また英国の観客から共通理解が得られる内容の作品2作を選び、それぞれ英国の演出家・俳優を起用して英語でドラマリーディングを実施。 長塚圭史作『Sisters』(11.03.15)、坂手洋二作『ブラインドタッチ』(11.03.25) 長塚、坂手両劇作家による簡単な解説トークならびに質疑応答のセッションを設けた。また、長塚圭史(劇作家/演出家)によるアーティスト・トーク(11.03.14)を関連事業として実施
3	廣田丈自和太鼓グループ イスラエル派遣 <在外日本文化専門家 第三国間派遣事業>	ハイファ (イスラエル)	ティコティン日本美術館	在イスラエル大使館	2010.05.26 ~ 2010.05.31	イスラエルのハイファにあるティコティン日本美術館の50周年グランド・オープニングにあわせて英国在住の廣田丈自太鼓グループによる太鼓公演を実施、英国から同グループ所属の3名の演奏者を派遣

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	現場で活躍する日本人キュレーターによる報告会 (<i>Curator Talk: Contemporary Art in Japan</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ブリティッシュ・カウンシル(British Council)	2010.05.11	ブリティッシュ・カウンシルと共催で、ブリティッシュ・カウンシルのキュレーター英国視察プログラムで訪英した日本の美術館学芸員やフリーランス・キュレーター8名による活動報告会を実施
5	東俊行によるアーティスト・トーク (<i>Artist Talk: Nihonga and the Recent Site-specific Works of Toshiyuki Higashi</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010.05.26	東俊行(日本画家)によるアーティスト・トーク。日本画の技法を画像や自身の作品を見せながら説明するとともに、同氏が手がけた日本の寺院の天井画(天然木への描画)の制作方法などを紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	「歌舞伎を聞く：黒御簾音楽の調べ」 (<i>Hearing Kabuki: Sound of Kuromisu Music</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 06. 05	歌舞伎の黒御簾音楽の専門家で、サドラーズウェルズで行なわれた市川海老蔵歌舞伎公演に同行した三代目望月太左久を講演者に迎え、歌舞伎の音響効果として重要な役割を果たしながら、一般にはほとんど知られていない黒御簾音楽について、映像、解説、実際の楽器演奏を通して紹介を行った。デイビッド・ヒューズ (Dr. HUGHES, David: ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 講師) の解説付
7	1910年日英博覧会：100年後の回顧 (<i>The Japan-British Exhibition of 1910: A Historical Re-Assessment 100 Years On</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 06. 16	イアン・ニッシュ (Prof. NISH, Ian: ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス名誉教授) による日英博覧会に関する概説、宮武公夫 (北海道大学教授) によるアイヌ人の「展示」に関するプレゼンテーション及びメリ・アリチ (Dr. ARICHI, Meri: ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) シニア・ティーチング・フェロー) による日本美術に関するプレゼンテーションを実施。引き続き、ジャネット・ハンター (Prof. HUNTER, Janet: ロンドンスクールオブエコノミクス教授) と渡辺俊夫 (ロンドン芸術大学教授) を交えたディスカッションを行った。チェアー・パーソンはアヤコ・堀田-リスター (Dr. HOTTA-LISTER, Ayako)
8	ドナルドキーン講演会「カーメンブラッカーと日本」 (<i>Carmen Blacker and Japan by Professor Donald Keene</i>)	ロンドン	大英博物館 セイNZベリー日本芸術研究所 シニアター	セイNZベリー日本芸術研究所 ジャパン・ソサエティ 大英博物館 全日本空輸株式会社 (ANA)	2010. 06. 22	ドナルド・キーン (コロンビア大学名誉教授) を招き、2009年7月13日に逝去したケンブリッジ大学東洋学部教授で日本研究者・民俗学者の故カーメン・ブラッカーと日本のかかわりに関する講演会を開催。セイNZベリー日本芸術研究所、ジャパン・ソサエティ、大英博物館及び全日本空輸株式会社 (ANA) と共催により実施。あわせて、ドナルド・キーン教授と在英日本研究者及び日英交流団体支援機関関係者との意見交換の場を設ける
9	劇場を越えた日本の演劇活動の状況を巡る報告会 (<i>New Stages: Approaches to Performing Arts Projects Beyond the Theatre: Recent Examples from Japan</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	ブリティッシュ・カウンシル (British Council)	2010. 07. 12	従来の劇場空間を使わない演劇活動につき、日本から現場の責任者より事例を交えて紹介してもらいセミナーを実施。プレゼンターとして参加したのは、丸岡ひろみ (国際舞台芸術交流センター: PARC)、山浦日紗子 (高知県立美術館)、加藤弓奈 (急な坂スタジオ) の3名。司会は、ブレンダン・グリッグス (GRIGGS, Brendan: ブリティッシュ・カウンシル舞台芸術部長)
10	前川知大による劇作家トーク (<i>A Sense of Wonder: Playwright Tomohiro Maekawa in Conversation</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 08. 03	ロンドンのロイヤルコートシアター (Royal Court Theatre) が主宰する若手劇作家の国際ワークショップ (International Playwriting Residencies) に参加した前川知大 (劇作家/劇団イキウメ主宰者) を招へいし、前川の作品紹介を動画上映と同シアターのスタッフとの対話を通して行うと同時に、日本の若手作家の活動状況や日本の現代演劇事情を紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	セミナー「演劇や劇場は子供たちに居場所を提供できるのか？」 (How Can Drama & Theatre Offer a Place for Children and Young People?)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アクション・フォー・チルドレンズアート (An Action for Children's Arts (ACA)) シアター・フォー・オーディエンス (Theatre for Young Audiences (UK Centre for ASSITEJ))	2010. 09. 08	「児童・青少年演劇を通しての子供たちの居場所作り」をテーマに、日本より、小林由利子（東京都市大学教授）、下山久（キジムナーフェスタ・ディレクター）、高尾隆（東京学芸大学准教授）を招へいし、英国の児童・青少年演劇専門家を対象としたミニシンポジウムを実施。また会場を替えて、関連ワークショップ（09.09）を開催
12	精進料理についての講演会 (Shojin Ryori - Cuisine of the Spirit)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	カルチャー・プロジェクト (Cultural Project)	2010. 09. 16	棚橋俊夫（精進料理家）が、精進料理の定義や歴史、現代における精進料理の必要性などを画像を用いて説明。また精進料理の基本といえる胡麻擦りの実演や実際に使われる野菜の種類などの紹介も行い、講演後には、同氏が調理した精進料理3品の試食会も開催
13	川内倫子アーティスト・トーク (Artist Talk: Awe in the Everyday- Rinko Kawauchi in Conversation)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	フォトワークス (Photoworks)	2010. 10. 04	若者を中心に国内外で多数の支持者を得ている川内倫子（写真家）を招へいし、作品紹介を兼ねたアーティスト・トークをセシル・デイビス（DAVIES, Cecil: フォトワークス）との対談形式で実施
14	折元立身アーティスト・トーク (Artist Talk: Bread Man Walking- Tatsumi Orimoto in Conversation)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	Aファウンデーション (A Foundation)	2010. 10. 15	パフォーマンス・アーティストとして日本の国内外で活躍する折元立身（美術作家）を招へいし、折元の業績や作品に対する思想を紹介するアーティスト・トークを対談形式にて実施。対談相手は、マーク・ウォーフ（WARF, Mark: A Foundationディレクター）。また折元がミニパフォーマンスも実演
15	ジェームズ・カーカップ：日本での生活がいかに世界的名声を博す詩人・作家である同氏の人生や仕事に影響を与えたか (James Kirkup in Japan: How living in Japan influenced the life and works of the internationally renowned poet and writer, James Kirkup)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 10. 26	ジェームズ・カーカップコレクションのアーキビスト・キュレーターであり、カーカップの長年の友人であるドロシー・フリート（FLEET, Dorothy）及び彼の生まれ故郷にあるサウスシールズ図書館のアン・シャープ（SHARP, Ann）、サウスシールズ博物館のアダム・ベル（BELL, Adam）が、映像や詩を織り交ぜてカーカップの生涯を紹介
16	風呂敷講習会 (Furoshiki - The Japanese Way of Wrapping)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	日本協会（ロンドン）	2010. 11. 02	風呂敷の包み方についての実践的なワークショップ。講師は小山祥明。大きさも模様もさまざまな風呂敷を複数枚使用し、ワインの包み方からリサイクルできる買い物袋まで、風呂敷の多様性につき解説を加えながらワークショップを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	「古代日本の音と色」 (<i>The Sounds and Colours of Ancient Japan</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	インディゴローズ (Indigo Rose)	2010. 11. 15	平城京遷都1300年を記念し、村上太胤(薬師寺執事長)による声明の実演、ならびに吉岡幸雄(染色家)による奈良時代の染色についての講演会を実施
18	大石暁規トーク (<i>Small Pictures Big Imagination: Akinori Oishi Talk</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	アバタイ・ダンディー大学 (Institute of Arts, University of Abertay, Dundee)	2010. 11. 17	今年度のシリーズ(アーティスト・トーク)の一環として、デジタルメディアからグラフィックアートまで幅広く手がける大石暁規(アーティスト)を招へいし、自身の作風や作品制作に対する姿勢などを画像・動画などを使って解説してもらう講演会を実施。講演後に、キース・ウィットル(WHITTLE, Keith: セントラル・セイントマーティン大学研究員)とのミニ対談も実施
19	日本陶芸についての学習会 (<i>Japanese Pottery : Study Day</i>)	アビリスウィス	アビリスウィス・アーツセンター (Aberystwyth Arts Centre)	アビリスウィス大学 (Aberystwyth University)	2010. 11. 25	国際交流基金主催巡回展『現代日本の陶磁器』展の関連事業として、大学の学生や専門家を対象とした日本の陶芸に関する1日学習会(特別講演会)を実施。講演者は、ニコル・ルマニエール(ROUSEMANIERE, Nicole: 日本の陶芸専門家)や日本滞在の経験があるジェニファー・リー(LEE, Jennifer: 陶芸家)など
20	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズ第1回: 現代日本の住居における物質的文化について (<i>Japan Foundation Fellows Lecture Series I The Japanese House: Material Culture in the Modern Home Book Launch Dr. DANIELS, Inge</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター	はせがわ酒店 (Hasegawa Saketen)	2010. 12. 01	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズの第1回目。インゲ・ダニエルズ(Dr. DANIELS, Inge: オックスフォード大学社会文化人類学研究所講師)が講師となり、「日本の住居」についての研究成果を発表。今回は特に <i>The Japanese House</i> (Berg Publishers)の出版にあわせた出版記念講演会として開催
21	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズ第2回: なぜ春画を学ぶのか。日本のエロティックアートの隠れた重要性について (<i>Japan Foundation Fellows Lecture Series II Why Study Shunga? - The Hidden Importance of Japanese Erotic Art</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011. 01. 25	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズの第2回目。アンドリュー・ガーストル(GERSTLE, Andrew: ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)教授)が講師となり、「春画」についての研究成果を発表。ディスカッサントは、ティモシー・クラーク(CLARK, Timothy: 大英博物館日本セクション長)
22	日本映画を復興させた監督特集映画上映会プレトーク (<i>Back to the Future: Japanese Cinema Since the Mid-90s: Preview Talk by Jasper Sharp</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011. 01. 27	国際交流基金主催映画上映会に先立ち、映画祭のアドバイザーを務める英国の日本映画専門家ジャスパー・シャープ(SHARP, Jasper)を招いて、同映画上映会のラインナップやテーマを紹介する講演会を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
23	日本のファッションについての講演 (<i>Japan/ Fashion - A Talk by Akiko Fukai</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011. 03. 08	英国バービカンギャラリーで2011年2月まで開催されていた日本の現代ファッション展のキュレーター、深井晃子（京都服飾文化研究財団理事）を招へいし、日本の現代ファッションについて、根底をなす美意識や文化的土壌を含めた概説的な講演を行った。アリソン・モロニー（MOLONEY, Alison : プリティッシュ・カウンシルのファッションアドバイザー）との対談ならびに参加者を交えての質疑応答を実施
24	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズ第3回：「ミセスワタナベ」再考 (<i>Japan Foundation Fellows Lecture Series III - Rethinking Mrs Watanabe: changes and constraints in the relationship between Japanese women and accounting / finance under the influence of globalisation by Dr. Naoko Komori</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011. 03. 11	国際交流基金フェロー・レクチャー・シリーズの第3回目。ナオコ・コモリ（シェフィールド大学）が講師となり、日本の家庭及び監査法人における女性の役割に関し、歴史的な変化について研究成果を発表。ディスカッサントは、ジョゼフィーヌ・モルトビー（MALTBY, Josephine : ヨーク大学教授）

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
25	図書館運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	日本語教育関係資料を中心に収集する図書館を運営 ①所蔵資料合計： 約8,500点（視聴覚資料数を含む） ②利用者数（年間）： 約1,437名 ③貸出点数（年間）： 約1,439点 ④レファレンス件数（年間）： 787件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
26	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ロンドン日本文化センターの各種事業案内、公募事業案内、活動紹介等を行うウェブサイトを運営。使用言語は英語 URL : http://www.jpff.org.uk/ アクセス件数(年間) : 188,695件 メールマガジン配信数(年間) : 45,457件
27	日本映画紹介ウェブサイトの立ち上げ	2010. 12. 01 ~ 2011. 01. 15	毎年実施している国際交流基金英国主催巡回上映会の広報を第一目的として、同事業専用のウェブサイトを立ち上げた。サイトには、英国における日本映画上映情報を随時告知できるページも含まれている。制作費にはグレートブリテン・ササカワ・ファウンデーションからの助成金も充当 URL: http://www.jpff-film.org.uk/

海外拠点

【その他】

	事業名	期間	事業内容
28	英国日本研究調査 2010	2010. 05. 01 ~ 2011. 03. 31	前回調査(2007年)から3年が経過し、学習者数(学部・大学院生)等機関への調査のアップデートを行い、日本語・日本研究学科生へのアンケート調査を試行的に実施。20を超える研究機関から回答を得、学生へのアンケートは260名以上の回答を得た。調査結果はウェブサイトにて公開

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
29	日本の現代演劇に関する講演会 (<i>Explosion of Energy : Japanese Contemporary Theatre from the 1980s to the Present and the Future</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2010. 05. 25	扇田昭彦(演劇評論家)による、日本の現代演劇を考察する講演会。動画などを用いて、1980年代から現代にいたるまでの日本の現代演劇を紹介。参加者数88名
30	日本ゼロ年以降の新しい舞台芸術の傾向についての講演会(<i>Beyond Boundaries: Japanese Performing Arts for a New Generation</i>)	ロンドン	ロンドン日本文化センター		2011. 02. 01	佐々木敦(批評家)による、日本ゼロ年(2000年)以降の新しいパフォーマンスシーンを紹介する講演会を実施。参加者数62名

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
31	日研・知的事業助成: <i>Biographical Portraits, Volume VII</i>	グローバル・オリエンタル	2009. 10. 01 ~ 2010. 08. 31	日英交流に関係のあった人物に焦点をあてて紹介する、同シリーズの第7巻 <i>Britain and Japan: Biographical Portraits, Volume VII (Global Oriental)</i> の出版。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、出版経費の一部を助成
32	伊豆蔵明彦展ならびにワークショップ(<i>Akihiko Izukura-Life in Colours</i>)	ノッティンガム・トレント大学 (Nottingham Trent University)	2010. 04. 22 ~ 2010. 05. 14	テキスタイル学科で有名なノッティンガム・トレント大学にて伊豆蔵明彦(染色家/テキスタイル作家)の展覧会と自然染色に関する講義とワークショップを実施。ロンドン日本文化センターは、広報費の一部を助成
33	公演『カッティング・ザ・コード』(<i>Cutting the Code</i>)	フライング・アイ・パフォーマンスカンパニー (Flying Eye Performance Company)	2010. 04. 26 ~ 2011. 02. 26	英国で活躍する木村さち(舞台芸術アーティスト)が、自身の異文化体験を元に書き上げた戯曲を使い、木村さち本人の主演にて公演を行った。ロンドン日本文化センターは、リハーサル会場の会場費及び広報費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
34	エジンバラにおける落語公演 (<i>Rakugo in Edinburgh</i>)	スコットランド日本協会	2010. 05. 18 ~ 2010. 05. 20	エジンバラ大学及びスコッティッシュ・ストーリーテリング・センターにて、桂米團治 (落語家) の英語落語公演をそれぞれ1回ずつ実施。一般市民、大学関係者ならびに文化人など合計330名が参加。ロンドン日本文化センターは、同氏の航空運賃の一部を助成
35	日本研究者旅費支援プログラム : Dr. Roger Levermore		2010. 05. 29 ~ 2010. 06. 05	対象者 : ロジャー・レヴァルモア (Dr. LEVERMORE, Roger) 所属機関 : リバプール大学マネジメント・スクール講師 研究テーマ : Responsible business by Japanese multi-nationals operating in South Africa: A case study of foru saka-based corporations ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成
36	日研・知的事業助成 : <i>East Asian Capitalism</i>	ノッティンガム大学	2010. 06. 03 ~ 2010. 06. 04	ノッティンガム大学及びロンドン・スクール・オブ・エコノミクスの主催する、2日間に及ぶ「東アジアにおける資本主義」に関する知的交流会議。英国、日本をはじめ、シンガポール等を含めた複数の国から23名の専門家が参加。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、参加者の旅費の一部を助成
37	グループ展 <i>Persistence Vision</i>	ファクト (FACT)	2010. 06. 18 ~ 2010. 08. 10	デジタルメディアを専門とするリバプールのアーツセンター、ファクトにてグループ展を実施し、日本から渡辺水季 (現代美術作家) が招へいされ作品を発表。動員数は約14,000人。ロンドン日本文化センターは、招へい作家の旅費ならびに謝金の一部を助成
38	『奈良時代における仏教の色』 (<i>The Colour in Buddhism in the Nara period</i>)	インディゴ・ローズ	2010. 07. 14 ~ 2010. 11. 19	平城京遷都1300年を記念し、村上太胤 (薬師寺執事長) による声明の実演、並びに吉岡幸雄 (染色家) による奈良時代の染色についての講演会やワークショップを、大英博物館及びイーストアングリア大学で実施。ロンドン日本文化センターは、招へい専門家の宿泊費の一部を助成
39	『岡本敦生』展 (<i>Faraway Mountain: Atsuo Okamoto</i>)	コーン・エクスチェンジ・ギャラリー (Corn Exchange Gallery)	2010. 07. 30 ~ 2010. 09. 30	エジンバラ・フェスティバルにあわせ、エジンバラのコーン・エクスチェンジ・ギャラリーにて、岡本敦生 (彫刻家) の個展を開催。ロンドン日本文化センターは、作品輸送費の一部を助成
40	出田郷 アーティスト・レジデンシーと展覧会	ワークワース・ファーム (Wirkworth Farm)	2010. 08. 15 ~ 2010. 09. 26	ダービー地方の芸術フェスティバル「ワークワース・フェスティバル」に出田郷 (美術作家) が招へいされ、レジデンシーと小規模ながら2週間の作品発表を行い、約6,500名を動員。ロンドン日本文化センターは、出田郷の宿泊費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
41	日研・知的事業助成： <i>Japanese Media Studies</i>	セインズベリー日本藝術研究所 (Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures)	2010.09.16 ～ 2010.09.19	セインズベリー日本藝術研究所がNHK放送文化研究所及びドイツイ日本研究所の協力を得て開催するワークショップ。英・独・日から15名の研究者が参加し、日本のメディア文化について、視聴者の高齢化、ラジオ・テレビの視聴率、アニメやテレビシリーズの言語分析などの様々な分野で国際的な比較を行う研究発表を行った。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、参加者の旅費の一部を助成
42	<i>TAPS: Improvisation with Paul Burwell</i>	マッツ・ギャラリー (Matts Gallery)	2010.09.17 ～ 2010.09.19	英国のミュージシャン、ポール・バーウェル(BURWELL, Paul)の多彩な活動を振り返る3日間のイベントに、日本から福原隆造(舞踏家)が参加し、バーウェルの映像にあわせた即興パフォーマンスを行った。ロンドン日本文化センターは、福原隆造の旅費ならびに謝金の一部を助成
43	リバプール・ビエンナーレ企画展 阿部幸子展 (<i>Participation of Sachiko Abe in Liverpool Biennial 2010</i>)	リバプール・ビエンナーレ (Liverpool Biennial)	2010.09.18 ～ 2010.11.28	リバプールで開催される大型国際展リバプール・ビエンナーレの企画展のひとつに、阿部幸子が招へいされ、作品展示の他、ライブパフォーマンスも行い、会期中に14,000名を動員。ロンドン日本文化センターは、作品輸送費と図録制作費の一部を助成
44	喜多川歌麿展(<i>Kitagawa Utamaro</i>)	アイコン・ギャラリー (Ikon Gallery)	2010.09.22 ～ 2010.11.14	大英博物館所蔵の喜多川歌麿作の浮世絵を、現代美術を専門とするアイコン・ギャラリーにて展示し、14,956名の観客を集めた。ロンドン日本文化センターは、展覧会図録制作費の一部を助成
45	日本研究者旅費支援プログラム：Nao Fujita		2010.10.04 ～ 2010.12.22	対象者：ナオ・フジタ (FUJITA, Nao) 所属機関：ケンブリッジ大学開発心理学博士課程 研究テーマ： <i>Cross-cultural research on children's social and cognitive development in Japan and the UK</i> ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成
46	スーパーソニック・フェスティバル(<i>Supersonic Festival</i>)	カプセルUK	2010.10.22 ～ 2010.10.24	バーミンガムで毎年実施される音楽祭に、日本からケーケー・ヌル (KK Null：演奏者) が招へいされ、公演を実施。ロンドン日本文化センターは、ケーケー・ヌルの旅費の一部を助成
47	日本研究者旅費支援プログラム： Dr. Ornella Corazza		2010.10.25 ～ 2010.10.30	対象者：オーネッラ・コラッツァ (Dr. CORAZZA, Ornella) 所属機関：ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 研究員 研究テーマ： <i>Can Japanese philosophy of mind and body contribute to the scientific study of consciousness? Research plan and documentary work</i> ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
48	日研・知的事業助成： <i>Cultural Typhoons: Cultural and Information Studies in Japan</i>	グラスゴー大学	2010. 10. 28 ～ 2010. 10. 30	グラスゴー大学が主催するカルチュラル・スタディーズに関する東京大学との知的交流会議。吉見俊哉（東京大学教授）の発表は、 <i>Mapping Urban Visualities in Postwar Japan: Socio-spatial Formation of Movie Theatre and Street TV in Tokyo: 1945-65</i> 。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、参加者の旅費の一部を助成
49	日本研究者旅費支援プログラム：Thomas Eaton		2010. 10. 29 ～ 2010. 12. 23	対象者：トーマス・イートン（EATON, Thomas） 所属機関：フリーランス 研究テーマ： <i>The Imaginary War Theatre of Shuji Terayama</i> ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成
50	風呂敷ワークショップ(<i>From 2D- to 3D-Arts of Japanese Wrapping Cloth, Furoshiki</i>)	英国日本協会 (The Japan Society)	2010. 11. 01 ～ 2010. 11. 05	ロンドン周辺の小学校（6カ所）やロンドンのバービカンセンターなどで風呂敷の多様性を示す包み方の講習会を実施。ロンドン日本文化センターは、専門家、小山祥明（宮井株式会社企画開発室）の渡航費の一部を助成
51	『浦島太郎』(<i>Urashima Taro</i>)	ローグ28シアター (Rogue 28 Theatre)	2010. 11. 01 ～ 2010. 12. 01	英国の劇団が『浦島太郎』を原案としたパペット・シアターを制作。地方数カ所を巡業し、公演とパペットワークショップを行った。ロンドン日本文化センターは、パペット制作費の一部を助成
52	大石暁規展	アバタイ・ダンディー大学 (Institute of Arts, University of Abertay, Dundee)	2010. 11. 11 ～ 2011. 01. 28	スコットランドの地方都市ダンディーに所在するアバタイ・ダンディー大学にて開催されるデジタル芸術フェスティバル、「NEoN10」で大石暁規（アーティスト）の個展を開催。大石が招へいされてシンポジウムに参加。ロンドン日本文化センターは、大石暁規の渡航費の一部を助成
53	日本研究者旅費支援プログラム： Dr. Columba Peoples		2010. 12. 03 ～ 2010. 12. 17	対象者：コランバ・ピープルズ（Dr. PEOPLES, Columba） 所属機関：ブリストル大学社会・政治・国際学研究科講師 研究テーマ： <i>Space for Peaceful Purposes? Japan's Space Policy in a Global Context</i> ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成
54	「鈴木友昌展」(<i>Tomoaki Suzuki</i>)	タウナー (Towner)	2010. 12. 11 ～ 2011. 02. 27	英国南部の地方都市イーストボーンの公立美術館タウナーにて、英国在住の鈴木友昌（現代作家）の個展を開催し、会期中に約13,000名を動員。ロンドン日本文化センターは、作品の輸送費の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
55	日本研究者旅費支援プログラム： Dr. Christopher Howard		2011. 01. 14 ～ 2011. 01. 29	対象者：クリストファー・ハワード (Dr. HOWARD, Christopher) 所属機関：ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) ティーチング・フェロー 研究テーマ：Japanese and Chinese (PRC) cinematic connections in the post-Occupation period ロンドン日本文化センターは、調査研究のための訪日旅費の一部を助成
56	日研・知的事業助成：Documenting Religion: A festival of Films about Shugendo, in memory of Dr. Carmen Blacker	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS)	2011. 03. 24 ～ 2011. 03. 25	ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) が主催する修験道に関する、2日間にわたるドキュメンタリーフィルムの上映会及び知的交流会議。北村皆雄の作品ほか、計3作品を上映。延べ120名程度が参加。同事業の実施に関し、ロンドン日本文化センターは、参加者の旅費の一部を助成

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
57	Okinawa Day 2010	ロンドン沖縄三線会・英国沖縄県人会	2010. 06. 26	沖縄音楽の演奏、エイサー演舞等、多面的に沖縄を紹介するイベントに対してロンドン日本文化センターは、後援名義を付与して支援
58	Taste the East	パーフェクトエンプロイメント	2010. 07. 09 ～ 2010. 07. 10	日本を中心とした東アジア諸国の食文化及びゲイの文化の紹介を行うイベントに対してロンドン日本文化センターは、後援名義を付与して支援
59	Hyper Japan	クロスメディア	2010. 10. 01 ～ 2010. 10. 03	日本のポップカルチャー及び日本食を紹介するイベントに対してロンドン日本文化センターは、後援名義を付与して支援
60	日英セミナー兼第3回日英ローカルリンク会議	財団法人自治体国際化協会ロンドン事務所	2011. 03. 04	地方自治体をはじめとする英国及び日経各機関担当者を招へいし、日英間の都市間交流の今後のあり方を探る財団法人自治体国際化協会が主催するセミナーに対してロンドン日本文化センターは、後援名義を付与して支援

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
61	Meet the Kuramoto (Sake brewers) for sake tasting in London	はせがわ酒店 (Hasegawa Saketen)	2010. 09. 15	日本酒の紹介及びテイスティングをするイベントに対してロンドン日本文化センターの会場を提供。日本酒の蔵元30社以上が参加

海外拠点

マドリード日本文化センター

合計額 38,156,814 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	切り絵展示会	マドリード	バルベルデ・ギャラリー (Espacio Valverde)	バルベルデ・ギャラリー (Espacio Valverde)	2010.11.24 ~ 2010.12.10	マドリード市内のバルベルデ・ギャラリーと共催して、久保修（切り絵作家）の作品20点を紹介する展示会を実施。日本の風景を題材にした作品だけでなく、約25年前にスペイン滞在中に制作した作品も展示

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	AGA-SHIO 公演	マドリード	ライブハウス サラ・クラモレス (Sala Clamores)	マドリード日本人会 (Asociación de la Comunidad Japonesa de Madrid)	2010.06.13	マドリード市内のライブハウス（ジャズ・バー）サラ・クラモレス (Sala Clamores) において、三味線とピアノという文化背景の異なる楽器が生み出す新たな音楽を披露するコンサートを実施。スペイン人、日本人約100名が鑑賞

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	レナード衛藤Blendrumsスペイン公演	マドリード	白夜祭特設ステージ、オスカー・ルーム・メイトホテル	カサ・アジア (Casa Asia)	2010. 09. 09 ~ 2010. 09. 27	レナード衛藤（和太鼓奏者）が、様々なジャンルのミュージシャン、ダンサーとコラボレーションを行うプロジェクトであるBlendrumsを招へいして巡回公演を実施。今回の構成は、和太鼓、タップダンス(Suji)、サックス(Yukarie)で、スペイン国内7都市にてコンサート8回、ワークショップ1回を実施。 マドリード市が実施する大型文化事業「白夜祭」において、カサ・アジアと共同で設置した特設ステージでアジア音楽紹介イベントのメインプレイヤーを務め、更にカサ・アジアが毎年バルセロナで開催する「フェスティバル・アジア」にも出演。これら2フェスティバルだけで4,000名を動員したほか、各巡回地においても多くの観客から熱狂的に迎えられた
		バルセロナ	フェスティバルアジア特設ステージ			
		アルコベンダス	アルコベンダス市劇場	アルコベンダス市 (Ayuntamiento de Alcobendas)		
		バレンシア	バレンシア大学	バレンシア大学 (Universidad de Valencia)		
		バジャドリード	バジャドリード大学	バジャドリード大学 (Universidad Valladolid)		
		サラマンカ	サラマンカ大学	サラマンカ大学日西センター (Centro Cultural Hispano Japonés, Universidad de Salamanca)		
		サラゴサ	サラゴサCAI財団	サラゴサCAI財団 (Fundación CAI Zaragoza)		

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	「炎太鼓」スペイン公演	マドリード ムルシア ムルシア	マドリード 芸術サークル (Círculo de Bellas Artes) Novotelホテル 会場 ムルシア大学 講堂	マドリード芸 術サークル (Círculo de Bellas Artes) ムルシア・サロ ン・デ・マンガ 協会 (Salón de Manga de Murcia) デルクス中世 フェスティバ ル (Festival Medieval D'elx)	2010. 10. 19 ~ 2010. 10. 27	女性のみで構成される和太鼓グループ「炎太鼓」が「エル チェ中世フェスティバル」のメイン招待アーティストとして 招へいされた機会を捉え、フェスティバル終了後にマドリー ド日本文化センター主催の公演を各地で行った。まずスペ イン南部ムルシア市で開催される「サロン・デ・マンガ」の記者 会見の場で演奏を行い、公演の広報を行うと共に、プレス の「サロン」への関心惹起に貢献。続いてイベントとして ムルシア大学講堂でも公演。その後マドリード芸術サークル で3年ぶりの公演を2日連続で実施。観客から熱狂的に迎えら れた。世界各国の優れた音楽を受け入れている芸術サークル 関係者からも「これまで実施した中で最も素晴らしいもの のひとつ」との絶賛を受けた。マドリードでは、現地の和太鼓 グループへの指導ワークショップも実施
5	三楽亭竜楽スペイン語落語口演会	マドリード	マドリード日 本文化セン ター大教室	マドリード日 本人会 (Asociación de la Comunidad Japonesa de Madrid)	2010. 11. 02	マドリード日本文化センターでスペイン人向けのスペイン語 による落語口演を実施。初めに落語の歴史、特徴、小物の使 い方等のレクチャーを行った後、実演。マドリード日本人会 の協力により、寄席の雰囲気味わえるよう教室内に高座を 設置。落語口演は基本的に日本語で、要所要所にスペイン語 を入れる形で行われたが、演者の熱演によって随所に笑いが 起こり、言葉が完全にはわからなくても落語の魅力が十分に 伝わっていることが判った
6	マドリード観光見本市における からくり人形実演	バルセロナ ビルバオ マドリード マドリード	カサ・アジア ビルバオパン ツェルキ人形 劇保存セン ター マドリード国 際見本市会場 マドリード日 本文化セン ター	カサ・アジア (Casa Asia) ビルバオパン ツェルキ人形 劇保存セン ター (Centro de las Artes de los Titeres de Bilbao, Pantze rki) 在スペイン大 使館	2011. 01. 18 ~ 2011. 01. 25	マドリードにおいて毎年1月に開催される国際観光見本市 (FITUR)において、半屋春光(からくり人形師/スタジオ ぎえもん主宰)を招へいし、茶運び人形、段返り人形、品玉 人形などのからくり人形実演を実施。オープニング初日には ソフィア王妃の公式訪問があり、王妃の前で実演。各巡回地 で、からくり人形の歴史や構造について詳細に解説する講演 会を行い好評を博した。 からくり人形そのものに対する関心も大きかったが、むしろ それ以上に、からくり人形がもともと南蛮渡来の機械類に端 を発しており、スペインやポルトガルと深い縁があるという 専門家の説明に、非常に好意的な反応があった

海外拠点

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	日本研究講演会（6月）	マドリード	カサ・アジア マドリード (Casa Asia Madrid)	カサ・アジア マドリード (Casa Asia Madrid) スペイン日本 研究者協会 (Grupo de investigación japón y españ a: relaciones a través del arte)	2010.06.24 ~ 2010.07.01	季節ごとにメインテーマひとつといくつかのサブテーマを決め、各サブテーマごとに数名の研究者が各自のテーマに基づく講演を実施。講師の中に少なくとも1名は若手研究者を入れ、若手の育成の場を提供。エレナ・バルレス(Elena Barlés : サラゴサ大学美術史学科教授)、ダビッド・アルマサン(Davia Almazan Almazán : サラゴサ大学美術史学科教授)の2名の講師が、それぞれ「日本におけるイベリアの世紀」、「現代スペインの文化と芸術における日本の魅力」と題する講演を実施
8	日本研究講演会（秋）	マドリード	カサ・アジア マドリード (Casa Asia Madrid) マドリード 日本文化セン ター マドリード 芸術サークル (Círculo de Bellas Artes)	カサ・アジア マドリード (Casa Asia Madrid) スペイン日本 研究者協会 (Grupo de investigación japón y españ a: relaciones a través del arte)	2010.11.16 ~ 2010.12.02	季節ごとにメインテーマひとつとサブテーマを3つ決め、各サブテーマごとに3名ずつの研究者が各自のテーマに基づく講演を実施。秋は「日本古典文化の誕生」をメインテーマに、3名の日本研究者がそれぞれ平安時代を中心に、建築、女流文学、思想をサブテーマに講演。また秋の特別セッションとして三島由紀夫没後40周年を記念したラウンドテーブルを開催 ①「日本古典文化の誕生」：フェルナンド・ガルシア・グティエレス (Fernando García Gutiérrez : 元セビーリヤ大学教授) ②「平安時代の文学におけるジェンダー」：高木香世子 (マドリード自治大学助教授) ③「日本古典文化の美意識」：フェデリコ・ランサコ (Federico Lanzaco : 元マドリード自治大学教授) 特別セッション：三島由紀夫ラウンドテーブル：カルロス・ルビオ (コンプルテンセ大学教授) (モデレーター)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本研究講演会（冬）	マドリード	マドリード 日本文化センター	カサ・アジア マドリード (Casa Asia Madrid) スペイン日本 研究者協会 (Grupo de investigación japón y españa: relaciones a través del arte)	2011.02.16 ～ 2011.03.31	通常、季節ごとにメインテーマひとつとサブテーマを3つ決め、各サブテーマごとに3名ずつの研究者が各自のテーマに基づいて講演を実施。今期（冬）については、特に「侍の時代」（鎌倉・室町から戦国時代）、「江戸時代の都市・大衆文化」とメインテーマを2つ定め、それぞれ3名の日本研究者が講演会を実施。また、スペインにおける日本研究の草分けである「7人の侍」（日本研究パイオニア世代の通称）を招き、その筆頭格であるランサコ教授の功績を中心にスペインの日本研究の軌跡をたどる日本研究ラウンドテーブルをカサ・アジアとの共催で実施 【メインテーマ1】「侍の時代」 ①「平家物語」：カルロス・ルビオ（Carlos Rubio：コンプルテンセ大学教授） ②「禅と日本の文化・芸術」：ハビエル・ビジャルバ（Javier Villarba：サラマンカ大学講師） ③「武者絵」：ピラルル・カバーニャス（Pilar Cabañas：コンプルテンセ大学教授） 【日本研究ラウンド・テーブル】 ーフェデリコ・ランサコの功績を中心にー 【メインテーマ2】「江戸時代の都市・大衆文化」 ①「浮世絵」：エレナ・バルレス（Elene Barlés：サラゴサ大学教授） ②「歌舞伎と文楽」フェルナンド・シッド（Fernando Cid：バジャドリード大学講師） ③「義太夫節」アナマリア・アラルコン（Ana Maria Alarcon：サラゴサ大学博士課程）
10	にぎり寿司レクチャー・デモンストラーション	バルセロナ バルセロナ マドリード マドリード マドリード リスボン（ポルトガル）	フェスティバル・アジア やしま キッチンクラブ マドリード 日本文化センター	カサ・アジア (Casa Asia) 在スペイン大使館 在ポルトガル大使館	2010.09.21 ～ 2010.10.01	風戸正義（さかえ寿司店主／全国すし商生活衛生同業組合連合会渉外副委員長）、高橋秀彰（都寿司）を招へいし、にぎり寿司がもっている「生ものをおいしく安全に食するために発達してきた文化」としての側面を紹介するセミナー及び試食会を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	駒形克己ワークショップ・講演会	バルセロナ ビルバオ マドリード	Tantagora Alhondiga Bilbao ABCミュージアム	タンタゴラ (Tantagora) アロンディガ・ビルバオ (Alhondiga Bilbao) ABCミュージアム (Museo ABC)	2011. 02. 18 ~ 2011. 02. 25	駒形克己（造本作家／デザイナー）を招へいし、絵本の制作に関する講演会・デモンストレーションを実施。初期から現在にいたる作品についての紹介や、子供の成長に伴う描画スタイルの変化・発展などについて説明。また、講演会の一部としてイラストのデモンストレーションも行った
12	日本研究巡回講演会	バレンシア バルセロナ マドリード マドリード	バレンシア大学 (Universidad de Valencia) ポンペウ・ファブラ大学 (Universidad Pompeu Fabra) マドリード自治大学 (Universidad Autónoma de Madrid) マドリード・コンプルテンセ大学 (Universidad de Complutense de Madrid)	バレンシア大学 (Universidad de Valencia) ポンペウ・ファブラ大学 (Universidad Pompeu Fabra) マドリード自治大学 (Universidad Autónoma de Madrid) マドリード・コンプルテンセ大学 (Universidad de Complutense de Madrid) 在バルセロナ総領事館 在スペイン大使館	2011. 03. 06 ~ 2011. 03. 13	スペインにおいては社会科学分野の日本研究の蓄積が乏しいため、若手研究者や学生に社会科学分野の専門家の知見に触れる機会を提供するため、大学巡回講演会を実施。第1回目は白石昌也（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授）を招へいし、「アジア太平洋における地域協力の展開と日本—アジア太平洋地域主義とFTAの展開」をテーマに、各大学で講演を行った

海外拠点

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	日本映画定期上映会 (6月)	マドリード	Cine Golem Pequeño Cine Estudio	マドリード実験映画祭事務局 (Semana de Cine Experimental de Madrid) シネ・ゴレム (Cine Golem)	2010.06.08 ~ 2010.06.16	1カ月に2本、新しい映画と古典映画を1本ずつ共通のテーマ設定に基づいて選定し、日本映画研究者ロレンソ・トーレス (Lorenzo Torres: ファン・カルロス国王大学教授) による事前講演会と組み合わせて、日本映画と日本文化を理解する糸口を提供。6月上映作品は、『空気人形』(是枝裕和、2009) 及び『雨月物語』(溝口健二、1953)
14	日本映画定期上映会 (7月)	バルセロナ マドリード	フランチェスカ・ボンメソン財団 Pequeño Cine Estudio	 マドリード実験映画祭事務局 (Semana de Cine Experimental de Madrid)	2010.07.07 ~ 2010.07.27	1カ月に2本、新しい映画と古典映画を1本ずつ共通のテーマ設定に基づいて選定し、日本映画研究者ロレンソ・トーレス (Lorenzo Torres: ファン・カルロス国王大学教授) の講演会と組み合わせ、日本映画と日本文化を理解する糸口を提供。7月上映作品は、『弾丸ランナー』(SABU、1996) 及び『恋も忘れて』(清水宏、1937)
15	日本映画定期上映会 (9月~12月)	マドリード	Ateneo de Madrid	マドリード実験映画祭事務局 (Semana de Cine Experimental de Madrid)	2010.09.08 ~ 2010.12.08	1カ月に2本、新しい映画と古典映画を1本ずつ共通のテーマ設定に基づいて選定し、日本映画研究者ロレンソ・トーレス (Lorenzo Torres: ファン・カルロス国王大学教授) の講演会と組み合わせて、日本映画と日本文化を理解する糸口を提供 9月上映作品 『菊次郎の夏』(北野武、1999) 『朧夜の女』(五所平之助、1936) 10月上映作品 『ソナチネ』(北野武、1993) 『東京流れ者』(鈴木清順、1966) 11月上映作品 『沙羅双樹』(河瀬直美、2003) 『東京物語』(小津安二郎、1953) 12月上映作品 『まあだだよ』(黒澤明、1993) 『二十四の瞳』(木下恵介、1954)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	日本映画定期上映会 (1月～3月)	マドリード	Ateneo de Madrid	マドリード実験映画祭事務局 (Semana de Cine Experimental de Madrid)	2011. 01. 12 ～ 2011. 03. 09	1カ月に2本、新しい映画と古典映画を1本ずつ共通のテーマ設定に基づいて選定し、日本映画研究者ロレンソ・トーレス (Lorenzo Torres: ファン・カルロス国王大学教授) の講演会と組み合わせて、日本映画と日本文化を理解する糸口を提供 1月上映作品 『Cure』 (黒沢清、1997) 『鬼婆』 (新藤兼人、1964) 2月上映作品 『Love Letter』 (岩井俊二、1995) 『秋津温泉』 (吉田喜重、1962) 3月上映作品 『2/Duo』 (諏訪敦弘、1997) 『狂った果実』 (中平康、1956)
17	白夜祭日本映画上映会 <i>La Noche en Blanco 2010</i>	マドリード	マドリード日本文化センター	マドリード市 (Ayuntamieto de Madrid)	2010. 09. 11	マドリード市が重点事業のひとつとして実施する文化イベント「白夜祭」に参加し、マドリード日本文化センター1階多目的ホールにおいて、SFアニメ『スカイ・クロラ』 (押井守) 『新世紀エヴァンゲリオン』 (庵野秀明) の2作品を上映
18	第20回マドリード実験映画祭 日本映画上映会 <i>20 Semana de Cine Experimental de Madrid Retrospectiva Takashi Shimizu</i>	マドリード	マドリード日本文化センター	マドリード実験映画祭事務局 (Semana de Cine Experimental de Madrid)	2010. 11. 19 ～ 2010. 12. 08	例年11月に開催されるマドリード実験映画祭において、同映画祭事務局との共催により日本映画特集を実施。本年度はJホラーの旗手、清水崇監督の5作品、『呪怨』 (2002) 『呪怨2』 (2003) 『稀人』 (2004) 『The JUON/呪怨』 (2004) 『呪怨パンドミック』 (2006) を上映

【日本語教育】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	カサ・アジアによる日本語講座	マドリード	マドリード日本文化センター	カサ・アジアマドリード (Casa Asia Madrid)	2010. 09. 13 ～ 2011. 04. 13	カサ・アジア・マドリードセンターが実施する日本語講座、「みんなの日本語」初級1及び初級2 (受講者数延べ11名) に対して教室を提供し協力
20	日本語弁論大会	マドリード	マドリード日本文化センター	日西文化協会TORA (Asociacion Cultural Hispano-Japonesa TORA)	2011. 01. 14	日西文化協会“TORA”が主催する日本語弁論大会にマドリード日本文化センター所長が審査員として参加

海外拠点

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
21	図書館運営	2010.09.01 ~ 2011.03.31	日本語教育関係図書と現代日本のポップカルチャー(マンガやアニメなど)を主たる蔵書とする図書館を9月初めに開館。日本語教師や日本文化に関心を持つ一般市民が閲覧可能 ①所蔵資料合計：約8,500点(視聴覚資料を含む) ②利用者数(年間)：400名 ③貸出点数(年間)：165点 ④レファレンス件数(年間)：50件

【出版・広報】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
22	ウェブサイト運営				2010.04.01 ~ 2011.03.31	マドリード日本文化センターの概要(成り立ち、所在地、連絡先)の他、活動について4つの柱に分け解説。①文化芸術事業、②日本語普及事業、③日本研究事業、④助成金情報。また、過去に実施をしたイベント、他の団体による日本文化関係イベント、リンク集、ニューズレターの情報も掲載 URL: http://www.fundacionjapon.es/ アクセス件数(年間)：78,246件
23	「増村保造監督特集」映画週間における広報	マドリード	マドリード芸術サークル	マドリード芸術サークル(Círculo de Bellas Artes)	2010.10.28 ~ 2010.11.07	国際交流基金本部の「海外日本映画祭(主催)」事業として増村保造(映画監督)作品18本の特集上映をマドリード芸術サークル付属映画館にて実施するに当たり、広報および作品理解の一助とするべく、上映日程及び各作品を解説したプログラム3,000部を作成、配布
24	「日本の熱い血」映画週間における広報	マドリード	マドリード芸術サークル	マドリード芸術サークル(Círculo de Bellas Artes)	2011.03.17 ~ 2011.03.27	国際交流基金本部の「海外日本映画祭(主催)」事業として「日本の熱い血」特集上映をマドリード芸術サークル付属映画館にて実施するに当たり、広報及び作品理解の一助とするべく、上映日程及び各作品を解説したプログラム3,000部を作成、配布

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
25	生け花教室	マドリード	マドリード日本文化センター	カサ・アジア(Casa Asia)	2011.03.21 ~ 2011.06.06	カサ・アジアが主催する生け花教室に対し、マドリード日本文化センターの地階教室を提供

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	マドリード日本文化センター開所式	マドリード	マドリード 日本文化セン ター	マドリード市 (Ayuntamiento de Madrid)	2010. 04. 16	スペイン外務省、マドリード市、カサ・アジア、日西財団等 の関係者を招き、マドリード日本文化センターの開所式を実施
27	サラゴサ日本文化週間	サラゴサ	サラゴサ大学	サラゴサ大学 (Universidad de Zaragoza) ト랄バ財団 (Fundación Torralba)	2011. 03. 07 ~ 2011. 03. 24	サラゴサ大学が毎年開催する日本週間において、「日本の神 話とヒーローたち」というコンセプトのもと、スペイン各地 から集った日本研究者による講演会、コンサート、映画上映 会等を実施。また、同文化週間開始後に発生した東日本大震 災の被災者のため、サラゴサ大学が主体となって募金活動も 行い、募金箱を設置したほか、募金先情報を記したチラシの 配布等を実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
28	日本研究小規模助成	バルセロナ自治大学 (Universidad Autónoma de Barcelona)	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 13	小浜裕久(静岡県立大学国際関係学部教授/同大学院国際関 係学研究科教授)を講師に、東アジア研究学士課程(翻訳・通 訳学科)を有するバルセロナ自治大学において「第二次世界 大戦後の日本経済(Economía Japonesa. Desarrollo diná mico después de la II Guerra Mundial y las dos décadas perdidas)」と題する講演会を実施する事業に対して、マド リード日本文化センターは、講師の交通費、宿泊費の一部を 助成
29	文化芸術小規模助成	①文学祭慈善トラストLtd. (Festival of Literature Charitable Trust Ltd.) ②スペイン生け花協会 (Asociación de Ikebana en España) ③マドリッド池坊生け花協会 (Association of IKENOBO IKEBANA in Madrid) ④ファン・ゲーム・アソシエー ション(Asociacion Fun Games) ⑤バレンシア大学 (Universidad de Valencia)	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	マドリード日本文化センターは、スペイン国内の非営利団体 が実施する日本文化紹介事業に対して、以下の小規模助成を 実施 ①セゴビアにおける文学祭 <i>Hay Festival</i> に日本人建築家を 講師として招へい(10年09月)。同講師の交通費、宿泊費 の一部を助成 ②マドリードにおける生け花、水石、草もの、苔玉展示会 (10年05月)に対し講師謝金の一部を助成 ③マドリードにおける生け花・書道展(10年10月)に対し 講師謝金の一部を助成 ④サロン・デ・マンガ・ムルシア(10年11月)実施に当たり、 講師謝金の一部を助成 ⑤バレンシアにおける剣道レクチャー(11年02月)の実施に 当たり、講師謝金の一部を助成

海外拠点

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
30	<i>Nihon Jaia</i> (ニホン・ハイヤ)	バスク・アジア研究協会 (EuskadiAsia)	2010. 11. 13 ~ 2010. 11. 14	バスク・アジア研究協会が主催する日本文化紹介イベントに後援名義を付与
31	茶道デモンストレーション	アンダルシア日本文化普及研究協会 (ADEC JAP-AN)	2010. 11. 16 ~ 2010. 11. 17	ADEC JAP-AN主催による茶道デモンストレーション・レクチャー事業に後援名義を付与
32	第3回スペイン水石コンクール	スペイン水石協会 (Asociación Española de Suiseki) アルコベンダス市 (Ayuntamiento de Alcobendas)	2010. 12. 04 ~ 2010. 12. 05	スペイン水石協会とアルコベンダス市が主催する水石コンクールに後援名義を付与。本コンクールではスペイン国内外の水石創作者が出品し、その技を競う。オープニング式典にマドリッド日本文化センター所長が出席
33	日本のための千羽鶴 (<i>Mil grullas para Japón</i>)	カサ・アジア (Casa Asia) 日西協議財団 (Fundación Consejo España Japón)	2011. 03. 24 ~ 2011. 03. 26	「日本のための千羽鶴」と称して、東日本大震災からの復興を祈って千羽鶴を作り、募金を募るイベントに対し、会場を提供して協力。また、バルセロナ、アビレス、ビルバオ、ムルシアにおいては後援名義を付与して支援
34	<i>Manga: Del cuadro flotante a vineta japonesa</i> 出版発表会 (マンガ：浮世絵から日本の漫画のコマまで)	カサ・アジア (Casa Asia)	2011. 03. 25	カサ・アジアが主催するホセ・サンティアゴ・アンドレス・イグレスィアス (マンガ研究者) の新刊書 <i>Manga: Del cuadro flotante a vineta japonesa</i> の出版発表会に後援名義を付与すると共に、広報にも協力。 本書は浮世絵から現代漫画までの歴史、漫画の定義・特徴、ジャンル、アニメ、世界市場における「マンガ」、それが社会に与える影響等について解説したもの

ブダペスト日本文化センター

合計額 39,154,988 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	巡回展『現代日本の陶磁器』	ケチケメート デブレツェン	国際陶芸スタジオ (International Ceramic Studio) メッジェシ美術館 (Medgyessy Museum)	国際陶芸スタジオ (International Ceramic Studio) メッジェシ美術館 (Medgyessy Museum)	2010.06.03 ~ 2010.09.12	ケチケメート市及びデブレツェン市において、現代日本の代表的な陶磁器作品を紹介する展覧会を実施。2都市合計1,630名が来館

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	文化講演会『日本の陶芸』	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2010.05.21	ケチケメート市及びデブレツェン市で開催した巡回展『現代日本の陶磁器』に先駆け、ハンガリー語・日本語の通訳・翻訳家であり陶芸家でもあるマルトニ・エーヴァ (MARTONYI Éva) を講師に迎え、日本の陶芸に関する講演会を実施
3	文化講演会『日本のファッション』	ブダペスト	ブダペスト日本文化センター		2010.06.04	元・文部科学省国費留学生で、日本の現代文化に詳しい応用美術の専門家トート・ヴァシャルヘイ・レーカ (TÓTH Vasarhely Réka) を講師に迎え、現代日本のファッションに関する講演会を実施
4	「中東欧における日本の伝統演劇講座」	ブカレスト (ルーマニア)	UNESCO Chair of International Theatre Institute (UNESCO Chair-ITI) スタジオ	UNESCO Chair of International Theatre Institute (UNESCO Chair-ITI) 桐朋学園芸術短期大学	2010.10.25 ~ 2010.12.04	ルーマニアのUNESCO Chair-ITI及び日本の桐朋学園芸術短期大学との共催で、「能・狂言」「舞踏」「日本舞踊・歌舞伎」の各分野で日本から善竹十郎 (狂言師/桐朋学園芸術短大・帝京平成大学講師)、加賀谷早苗 (舞踏家)、藤間藤三郎 (日本舞踊家) を招へい、41日間計280時間にわたり、ルーマニア及びポーランドの若手・実力派俳優・演劇人10名を対象にした集中レクチャーを実施。それぞれの講座最終日には、演劇または舞台芸術関係者を招いた一般公開のデモンストラーションを実施
5	現代日本社会に関する講演会 <i>Roadside Japan!</i>	ブダペスト	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	マイ・マノハンガリー写真美術館 (Mai Mano Hungarian House of Photography)	2010.10.26	写真集 <i>TOKYO STYLE</i> 他、現代日本社会において見過ごされがちな人々や文化に注目した作品で有名な都築響一 (写真家) による現代日本社会に関する講演会を実施。ケルン日本文化会館企画によるドイツ・ハンガリー巡回講演の一部

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	クラスナホルカイの世界	ブダペスト	ゲーテ・インスティテュート ブダペスト支部	ゲーテ・インスティテュート ブダペスト支部	2010. 10. 27	元・国際交流基金フェローで、日本を舞台にした著作もあるハンガリーの著名な作家クラスナホルカイ・ラースロー(KRASZNAHORKAI László)と同氏作品の各国語翻訳者たちによるシンポジウムを実施。ゲーテ・インスティテュート・ブダペスト支部との共催。日本からは早稲田みか(大阪大学教授)がビデオインタビューで参加
7	文化交流使による能楽ワークショップ	ブダペスト カポシュヴァール	メルリン劇場 カポシュヴァール大学	メルリン劇場 カポシュヴァール大学	2011. 03. 28 ~ 2011. 04. 07	平成22年度文化庁文化交流使である津村禮次郎(能楽師)が、ハンガリーの学生・若手ダンサー向けに、延べ10日間のワークショップを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	日本映画上映会	ブダペスト	ウルクモズ ゴー映画館	ハンガリー国立フィルム アーカイブ	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	『ウォーターボーイズ』(矢口史靖、2001)、『雨あがる』(小泉堯史、2000)等、欧州フィルム・ライブラリーの16mmフィルムを利用し、市民向けの定例映画上映会をブダペスト市内の映画館で19回実施。1,154名が参加

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	図書館運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ブダペスト日本文化センターに併設された図書館において、主に日本語学習、日本研究をサポートする書籍を中心とした図書収集、公開及び貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施 ①所蔵資料合計：約11,000点(うち視聴覚資料：約100点) ②利用者数(年間)：6,637名 ③貸出点数(年間)：4,939点 ④レファレンス件数(年間)：104件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ブダペスト日本文化センター・ウェブサイト(ハンガリー語、日本語、英語で閲覧可能)を整備、拡充し、幅広い分野、年齢層を対象に事業の広報を実施 URL：http://www.jfbp.org.hu アクセス件数(年間)：39,798件
11	ニューズレター『ENGAWA』発行	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ブダペスト日本文化センターが行う事業の報告や案内を掲載したニューズレターを発行し、ハンガリー国内の関係機関に配布 発行部数(年間)：500部

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	中央市場日本の日	ブダペスト	中央市場	JapHun メディアアート社	2010.07.08 ~ 2010.07.10	ブダペスト市最大の市場である中央市場にて、日系企業や日本食レストランのブース出展、武道や太鼓等のパフォーマンス、日本に関するクイズ等の日本文化紹介事業を3日間にわたって実施
13	ハンガリー俳句コンテスト	ブダペスト	ハンガリー文化財団		2010.09.01 ~ 2010.11.30	ハンガリー市民(高校生から成人まで)を対象に、ハンガリー語による俳句を募集。3名の審査員(詩人、日本文学研究者)による審査を経て、優秀者を表彰。コンテストへの応募者を招待して行われた表彰式では、黛まどか(俳人/文化庁文化交流使)による講演会を実施
14	フェローOBカンファレンス	ブダペスト	ゲーテ・インスティテュート ブダペスト支部		2011.02.18	中・東欧諸国出身の過去15年間の国際交流基金日本研究フェローOBに対するフォローアップ事業として、6名のフェロー(オーストリア、ブルガリア、チェコ、ポーランド、ルーマニア、ハンガリーより各1名)をブダペストに招へいして、「ボローニャ・プロセスによる高等教育制度の変容と中・東欧の日本研究の将来」と題したシンポジウムを実施

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	第17回ブダペスト国際図書展	ブダペスト	ミレナーリシュ	ハンガリー出版・書籍販売業協会 (Hungarian Publishers' and Booksellers' Association)	2010.04.22 ~ 2010.04.25	ハンガリー最大規模の国際図書展に日本ブースを出展し、日本の最新図書・雑誌を紹介。合わせて俳句講演会や折り紙デモンストレーションを実施
16	東欧巡回映画祭	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2010.09.06 ~ 2010.09.12	国際交流基金本部フィルムライブラリー所蔵の35mmフィルムを利用して、『雁』(豊田四郎、1953)、『忍ぶ川』(熊井啓、1972)等、1950年~2000年代に制作された日本映画7作品を上映
17	浮世絵レクチャー・デモンストレーション	ブダペスト ペーチ	ハンガリー国立美術大学 ペーチ文化会館		2010.10.12 ~ 2010.10.13	安達以乍牟(アダチ伝統木版画技術保存財団理事長)、堀本長志(摺り師)、川合千春(摺り師)の浮世絵専門家3名による、レクチャー付きの浮世絵木版画作成工程実演を実施(ブダペスト市とペーチ市で各1回)。ブダペスト市のハンガリー国立美術大学では、学生を対象としたワークショップを実施
18	黒澤明生誕100周年記念映画上映会	ブダペスト	ウルクモズゴ映画館	ハンガリー国立フィルムアーカイブ	2010.11.11 ~ 2010.11.17	黒澤明監督の生誕100年を記念し、セルビア、ハンガリー、スロバキアを巡回する特集映画祭を実施。ハンガリーでは、『生きる』(1952)『天国と地獄』(1963)等7作品をブダペスト市内の映画館で上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	キャラクター大国、ニッポン展	ブダペスト	ハンガリー貿易観光博物館	ハンガリー貿易観光博物館	2011.01.14 ~ 2011.02.14	ハンガリー貿易観光博物館にて、日本の戦後のポップカルチャーにおけるキャラクターを紹介する本部巡回展「キャラクター大国、ニッポン」展を実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
20	欧州剣道選手権 太鼓デモンストレーション	トリススポーツ文化協会 (TORII Kulturális és Sportszolgálatató)	2010.04.10 ~ 2010.04.11	デブレツェン市で開催された欧州剣道選手権大会にあわせて行われた日本文化紹介イベントでの和太鼓公演に対し、公演制作費の一部を助成
21	国際レースフェスティバルにおける日本の着物展	ハラシュレース財団 (Halas Lace Foundation)	2010.04.23 ~ 2010.05.09	ハンガリーの伝統的なレース編み工芸で有名な地方都市キシュクンハラシュで行われた日本の着物展(及び着付け・いけばなデモンストレーション)に対し、広報経費の一部を助成
22	モハーチにおける陶芸展と日本文化紹介	ジュニア文化財団 (Junior Art Foundation)	2010.05.03 ~ 2010.05.31	ハンガリー南部の地方都市モハーチ市で行われた、日本在住のハンガリー人陶芸家アグネシュ・フス (HUSZ Agnes) の陶芸展及び日本人生け花作家鈴木ひろ子によるデモンストレーションに対し、2名の旅費の一部を助成
23	ブダペスト市13区 「日本文化の週末」	ブダペスト市13区文化非営利会社 (The Cultural Non-profit Ltd. of the 13th district of Budapest)	2010.05.07 ~ 2010.05.09	ブダペスト市13区の文化センター主催の日本文化イベント内で実施された、演劇公演『日本の漁師たち』に対し、広報経費の一部を助成
24	ハンガリー語による芥川龍之介『羅生門』公演	ゲレチェスタジオ (Geracse Stúdió Bt.)	2010.06.01 ~ 2010.06.15	ハンガリー人の若手演劇集団により翻案された芥川龍之介『羅生門』の公演に対し、制作費及び広報経費の一部を助成
25	ペーチ折り紙フェスティバル	貿易・金融・ケータリング事業従事者のための文化財団 (Cultural Foundation of Trader, Financial and Catering Workers)	2010.07.01 ~ 2010.08.31	2010年欧州文化首都となったペーチ市で開催された国際折り紙フェスティバルに対して、通訳経費及び設営経費の一部を負担
26	ミシュコルツにおける盆栽フェスティバル	ミシュコルツ市 青少年の家 (Ifjúsági és Szabadó Ház)	2010.09.11 ~ 2010.09.12	ミシュコルツ市で行われた国際的な盆栽展示会(及び折り紙、いけばな等のワークショップ)に対し、参加者の宿泊費の一部を助成
27	ソンバトヘイ 子供の着物展	ハンガリー・日本友好協会ソンバトヘイ支部 (Magyar-Japán Baráti Társaság-Szomnathely)	2010.09.30 ~ 2010.10.30	ソンバトヘイ市のハンガリー日本友好協会主催による子供の着物展覧会に対し、展示経費と広報費の一部を支援
28	EDITダンス映画フェスティバル	ワークショップ財団 (Workshop Foundation)	2010.10.08 ~ 2010.10.10	ダンス映画フェスティバルを主催するハンガリーの財団に対し、飯名尚人(映像作家/演出家)のブダペスト招へい旅費を支援

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
29	ヴェスプレーム日本の日	ヴェスプレーム県ハンガリー・日本友好協会 (Veszprém Megyei Magyar-Japán Baráti Társaság)	2010. 10. 09 ~ 2010. 10. 10	ハンガリー西部のヴェスプレーム県にあるハンガリー・日本友好協会が主催した「日本の日」イベントに対し、出演者宿泊費の一部を助成
30	クラクフ・マンガセンターにおける日本文化連続講演会	日本美術技術博物館マンガセンター (The Manggha Centre of Japanese Art and Technology)	2010. 11. 03 ~ 2011. 01. 26	「日本の過去と現在の文化における人形」と題し、クラクフの日本美術技術博物館マンガセンター(ポーランド)で実施される連続講演会(全12回)に対し、講師南畷宏(女子美術大学教授)等12名の旅費、謝金及び通訳経費の一部を助成
31	「俳句誌出版」	ナプクート出版社 (Napkút Publishing House)	2011. 01. 01 ~ 2011. 03. 31	ハンガリー語による俳句雑誌の出版事業に関し、印刷経費の一部を助成
32	「ポーランド能公演」	ワルシャワ演劇研究所 (Zbigniew Raszewski Theatre Institute in Warsaw)	2011. 02. 17 ~ 2011. 02. 19	ワルシャワ国立劇場(ポーランド)での鍔仙会(てっせんかい)による新作能「調律師-ショパンの能」公演(ショパン生誕200周年記念公演)に対し、出演者旅費の一部を助成
33	「ソンバトヘイ大学 日本の日」	アタル太鼓協会 (Ataru Útő segyesület)	2011. 02. 26	西ハンガリー・ソンバトヘイ大学で開催された「日本の日」に関し、講演会講師の旅費及び広報経費の一部を助成

【文化備品・視聴覚資料貸出】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
34	ブダペスト日本文化センター所蔵巡回展示セットの貸出し	オーブダ文化センター ブダペスト市13区文化センター 在スロベニア大使館	2010. 04. 01 ~ 2011. 03. 31	ブダペスト日本文化センターが所蔵する6種類の展示セット(写真パネル4セット(『日本建築展』『京都展』『日本人の日常生活展』『日本の世界遺産展』)及び『凧・独楽展』『日本人形展』)を、希望する外部団体に貸し出し、巡回展を実施

海外拠点

モスクワ日本文化センター

合計額 43,350,385 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	写真パネル巡回展「京都写真展」	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館 3階展示ホール	ロシア国立外国文献図書館 (The All-Russia State Library for Foreign Literature)	2010.03.23 ~ 2010.04.11	モスクワ日本文化センター所蔵の文化備品、京都の写真パネル・セットによる巡回展示を実施
2	写真パネル巡回展「京都写真展」	ドミートロフ カザン オレンブルク	ドミートロフ市中央図書館 映画館「タタルキノ」 オレンブルク国立大学	ドミートロフ市中央図書館 (Dmitrov Central Regional Library) タタール日本文化情報センター「サクラ」 (Tatar-Japan Culture and Information Center 《Sakura》) オレンブルク国立大学 (Orenburg State University)	2010.04.14 ~ 2010.11.07	モスクワ日本文化センター所蔵の文化備品、京都の写真パネル・セットによる巡回展示を実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	落語会	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.05.12	三遊亭楽麻呂(落語家)の私的なモスクワ訪問の機会を捉え、一般市民を対象に、ロシア語逐次通訳を挟んだ落語会を実施。演目は『まんじゅうこわい』など

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	オペラ『おなつ』公演	モスクワ	ヤウザ会館	モスクワ国立音楽院附属日露音楽文化センター (Russian-Japanese Center of Musical Culture attached to Moscow State Conservatory)	2011. 02. 07	モスクワ国立音楽院附属日露音楽文化センターと共催で、塚本一成作のオペラ『おなつ』を上演

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	日本文化出前講座 (第1四半期)	モスクワ ドミートロフ	初・中等教育機関等(計6機関)		2010. 04. 01 ~ 2010. 05. 14	将来を担う子供たちに日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初・中等教育機関の応募に基づき、各学校で出前講座を実施 10. 04. 01 第838番学校で「伝統の遊び (けんだま、お手玉、おはじき、あやとり等)」 10. 04. 07 第1573番学校で「茶道」 10. 04. 08 国立ファッション大学付属カレッジで「墨絵」 10. 04. 14 ドミートロフ市立中央図書館で「書道」 10. 04. 23 国立芸術教育センター「真珠」で「着付け」 10. 05. 14 第1784番陸軍幼年学校で「伝統の遊び (けんだま、お手玉、おはじき、あやとり等)」
6	夏休み特別企画・日本文化体験講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 07. 06 ~ 2010. 07. 10	風呂敷講座、香道講座、日本の伝統の遊び (けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとり等) 講座、俳句講座を実施
7	林英哲和太鼓ワークショップ	モスクワ	ストラスノイ劇場	モスクワ国立音楽院 (Moscow State Conservatory) ロシア演劇人同盟 (Theatre Union of Russian Federation) ストラスノイ劇場 (Strastnoy Theatre)	2010. 08. 26	海外でも著名で、日本の和太鼓界をリードしてきた、林英哲による一般市民を対象とした和太鼓ワークショップを実施。翌日に開催された国際交流基金助成事業「文京区区民オーケストラ公演」で同氏は飛天遊をオーケストラと共演して絶賛を博し、当地テレビ局がワークショップとコンサートの双方を取材して放映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
8	国際シンポジウム「オリエンタリズムとオキシデンタリズム：文化の言語と記録の言語」	モスクワ	大統領付属ロシア国家行政アカデミー	ロシア文化研究所 (Russian Institute for Cultural Research) ロシア文化省 (Ministry of Culture of the Russian Federation) 大統領付属ロシア国家行政アカデミー (Russian Academy of State Service under the President of the Russian Federation)	2010. 09. 23 ~ 2010. 09. 25	ロシア、日本、米国など10カ国から約90名の研究者が参加して、オリエンタリズムとオキシデンタリズムをめぐり、その歴史、文化的背景、グローバル時代における文化理解の展望を議論。日本からは渡辺俊夫（ロンドン芸術大学トランスナショナル・アート研究所所長）、稲賀繁美（国際日本文化研究所教授）、生田美智子（大阪大学）、鈴木桂子（立命館大学）の4名が参加
9	「日本の伝統人形芝居」ワークショップ&レクチャー	モスクワ	モスクワ人形劇場	モスクワ人形劇場 (Moscow Puppet Theatre)	2010. 09. 27	日本の伝統人形芝居を継承する3劇団、八王子車人形西川古柳座（東京・車人形）、西畑人形芝居朝日若輝一座（香川・棒遣い）、あやつり人形劇団みのむし（兵庫・糸繰り人形）による演劇・人形劇関係者を対象としたワークショップ・レクチャーを実施。3つの伝統人形の遣い方の説明のほか、人形体験、人形劇（車人形（一人遣い）「日高川入相花王／雨田堤より渡しの場の段」、西畑人形芝居（棒遣い）「岩見重太郎大蛇退治」、糸あやつり人形劇団みのむし（糸繰り人形）「獅子舞」「鷺娘」）の演技も披露
10	日本文化出前講座（第2四半期、第3四半期）	モスクワ	初・中等教育機関等(10機関)		2010. 09. 30 ~ 2010. 12. 14	将来を担う子供たちに日本文化に親しむ機会を提供し、親日家の育成を目指すため、初・中等教育機関の応募に基づき、各学校で出前講座を実施 10. 09. 30 第1920番学校（折り紙） 10. 10. 06 第1370番学校（茶道） 10. 10. 07 第2030番教育センター（書道） 10. 10. 12 医療センター学校「Vita」（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 10. 10. 19 第1119番学校（生け花） 10. 10. 20 第1359番学校（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 10. 10. 21 第825番教育センター（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 10. 10. 27 第1682番教育センター（墨絵） 10. 10. 28 第1136番学校（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 10. 12. 14 第1358番学校（書道）

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
11	若手研究者ジャパンレポート	モスクワ	モスクワ大学 附属アジア・ アフリカ諸国 大学 モスクワ日本 文化センター	ロシア日本研究 者協会 (The Association of Japa- nologists)	2010. 10. 09 ~ 2010. 10. 10	若手研究者の研究発表会を実施し、24名が研究成果を発表。 研究内容は『JAPAN REPORT—日本、ロシアにおける受容』 (2011年、ナタリス出版社)として出版 研究発表者及びテーマ（一部抜粋）： ステパン・ロジン (RODIN, Stepan : ロシア国立人文大学) 「8世紀の日本における追悼詩及び伝記ジャンル」 ドミートリー・ラキン (RAKIN, Dmitry : 実用東洋学大学) 「徳川時代後半の刑罰システム分類」 エレナ・レペホヴァ (LEPEKHOVA, Elena : ロシア科学アカ デミー東洋学研究所) 「日本の新興宗教の活動の特徴と海外における天台宗：類似 と相違」 アレクサンドラ・ブルィキナ (BURYKINA, Aleksandra : モス クワ国立大学) 「能における仏教」 アンナ・ナイムシナ (NAIMUSHINA, Anna : イルクーツク国立 大学) 「ロシアにおけるアニメの歴史」 アンナ・ニキチ・クリリチェフスカヤ (NIKICH- KRILICHEVSKAYA, Anna : モスクワ国立大学アジア・アフリカ 諸国大学) 「文化プロセスとしての漫画」 エカテリーナ・ブリト (BRIT, Ekaterina : ノボシビルスク 国立工科大学) 「日本のソフトパワーの実現問題」 アンナ・カガネツ (KAGANETS, Anna : モスクワ国立国際関係 大学) 「日本のエコビジネス—ロシアへの教訓」 アンナ・リシツィナ (LISITSYNA, Anna : モスクワ国立大学 アジア・アフリカ諸国大学) 「日本無声映画の特徴。1920年から1930年にかけての大衆文 化における江戸時代と明治維新の受容」 オリガ・メルクシェヴァ (MERKUSHEVA, Olga : モスクワ国立 大学) 「日本の朝鮮人—移民の地理的、歴史的、社会的アスペク ト」 オリガ・ザベレジュナヤ (ZABEREZHNYAYA, Olga : サンクトペ テルブルク国立大学) 「宗長手記における日常スケッチ」 ナタリア・ペトレンコ (PETRENKO, Natalia : モスクワ国立大 学アジア・アフリカ諸国大学) 「鈴木光司、作品イメージとロシアの伝統及び受容との関係 について」など

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	若手研究者ジャパンレポート	サンクト・ペテルブルク	サンクトペテルブルク国立大学東洋学部学生クラブ No.1	サンクトペテルブルク国立大学東洋学部 (Saint Petersburg State University, Faculty of Eastern)	2010. 11. 24 ~ 2010. 11. 25	<p>サンクトペテルブルク及びモスクワの様々な大学及び研究機関の若手日本研究者23名が「日本史」、「国際関係における日本の経済、政治、社会」及び「日本文化、文学と言語学の問題」の3分野で研究成果を発表し、討議を行うと共に、論文集『サンクトペテルブルク若手日本研究者会議』（2010年、ギベリオン出版社）を発行（200部）。在サンクトペテルブルク総領事館が後援。</p> <p>会議冒頭の総会では、ロシア日本研究の権威、リュビン・ヴィクトル（RYBIN, Victor：サンクトペテルブルク国立大学日本研究学科長）及びバース・イリーナ（BASS, Irina：サンクトペテルブルク国立文化芸術大学外国語学科長）が、それぞれ「サンクトペテルブルクにおける日本語教育の歴史」、「日本における文書の言語学」をテーマに講演</p> <p>研究発表者及びテーマ（一部抜粋）： アンナ・ベルトヴァ（BERTOVA, Anna：サンクトペテルブルク国立大学） 「日本における現地のキリスト教宣教師としての無教会。内村鑑三の活動」 ディアナ・キクナゼ（KIKNADZE, Diana：ロシア科学アカデミー東洋学研究所） 「民衆のイメージにおける修道僧」 アルチョム・クリモフ（KLIMOV, Artyom：サンクトペテルブルク国立大学） 「松田伝十郎、日本のサハリン研究者」 ユリア・クリャチキナ（KRYACHKINA, Yulia：サンクトペテルブルク国立大学） 「2008年以降の日本外交におけるロシア」 アリサ・ノヴィク（NOVIK, Alisa：サンクトペテルブルク国立文化芸術大学） 「現代日本社会の社会精神問題としてのニート」 アンナ・オシキナ（OSIKINA, Anna：ロシア国立人文大学） 「貝原益軒と福沢諭吉：婦人教育に対する新旧視点」 ヴィクトリア・チホミロヴァ（TIKHOMIROVA, Viktoria：サンクトペテルブルク国立経済財政大学） 「日本ブランドデザインにおける日本の民族的特徴の発現」 ヴァルヴァラ・フィルソヴァ（FIRSOVA, Varvara：ロシア科学アカデミー人類学・民族学博物館） 「日本における南アジアディアスポラ形成」 アナスタシア・ボリソヴァ（BORISOVA, Anastasia：モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学） 「聖詠経の慣用句と日本の形容語枕詞：意味相違の問題」 アクシーニャ・ゾリナ（ZORINA, Aksiniya：東洋研究所） 「日本庭園」 エレーナ・リボヴァ（LIBOVA, Elena：サンクトペテルブルク国立経済財政大学） 「日本独特の経済。系列、財閥、終身雇用制度を例として」など</p>

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
13	児童フェスティバル「本物の日本」	モスクワ	第147番児童図書館	モジヤイスキー障害児社会支援センター (Social Services Center for Children with limited possibility “Mozhaisky”) 第147番児童図書館 (Children’s Library No. 147) 露日協会モスクワ支部 (Moscow Branch of the Society “Russia-Japan”)	2010. 12. 10	「露日協会モスクワ支部」の提案により、モスクワに滞在中の日本人留学生の協力を得て、モジヤイスキー障害児社会支援センターの児童を対象に、折り紙、生け花、伝統の遊び(あやとり、けんだま)のワークショップと日本に関するクイズ大会を実施
14	日本の美	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール	池坊流全ロシア・CIS支部 (Ikebana Ikenobo Branch in Russia and CIS Countries) 草月流モスクワ支部 (Sogetsu School of Ikebana, Moscow Branch)	2010. 12. 14	生け花、池坊流全ロシア・CIS支部と草月流モスクワ支部が合同で生け花デモンストレーションを実施。モスクワにある日本文化団体(生け花、茶道等)が、2008年より合同で事業を実施。普段は独立して活動している日本の文化団体が合同でイベントを実施することにより、偏ることなく、広く日本文化を紹介。生け花のみならず、墨絵、茶道、小物作り等も紹介
15	日本文化デー	モスクワ	ベリャーエヴォ・ギャラリー	ベリャーエヴォ・ギャラリー (Gallery Belyaev)	2010. 12. 17	冒頭に、モスクワの劇場で活躍する折田智水(俳優)による日本舞踊と着付けのデモンストレーションを行った後、ゾーヤ・チャシヒナ(CHASHCHIKHINA, Zoya: 折り紙)、石嶋かおり(書道)、加藤啓子(押し花)のワークショップを実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	押し花ワークショップ	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 02. 03	加藤啓子（押し花作家）を講師に迎えて、日本で独自に発展した押し花技術のワークショップを実施
17	日本文化出前講座（第4四半期）	モスクワ及びドミートロフ	初・中等教育機関等（計12機関）		2011. 02. 09 ～ 2011. 03. 16	将来を担う子供たちに日本文化に親しむ機会を提供し、親道家の育成を目指すため、初・中等教育機関の応募に基づき、以下の学校（計12校）で出前講座を実施 11. 02. 09 第1359番学校（書道） 11. 02. 12 第797番学校（書道） 11. 02. 16 第29番学校（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 11. 02. 18 第1051番学校（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 11. 02. 19 音楽コーラス学校「喜び」（伝統の遊び：けんだま、お手玉、おはじき、だるまおとし、あやとりなど） 11. 02. 24 第1881番学校（折り紙） 11. 03. 01 第1349番学校（着付け） 11. 03. 02 第1989番学校（生け花） 11. 03. 03 第1883番学校（生け花） 11. 03. 09 第5番学校（書道） 11. 03. 10 ドミートロフ市立図書館（茶道） 11. 03. 16 第1397番学校（生け花）
18	日本映画講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 02. 10 ～ 2011. 03. 03	一般市民を対象に、日本映画に関する理解を深めてもらうため、映画専門家、ナウム・クレイマン（KLEIMAN, Naum：国立中央映画博物館館長）と日本文化専門家、ヴィクトル・マズーリック（MAZURIK, Viktor：モスクワ国立大学アジア・アフリカ諸国大学准教授）によるディスカッションを実施。以下の作品を取り上げた 11. 02. 10 『羅生門』（黒澤明、1950） 11. 03. 03 『父ありき』（小津安二郎、1942） 11. 03. 17 に予定していた3回目は、東日本大震災のため中止
19	エカテリンブルク講演会	エカテリンブルク	ゲルツェン記念中央市立図書館	露日協会エカテリンブルク支部（Ekaterinburg Branch of the Society“Russia-Japan”）	2011. 02. 20 ～ 2011. 02. 21	『源氏物語』の翻訳で著名な、タチヤーナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（SOKOLOVA-DELUSINA, Tatiana：日本文学研究者／日本語教師）をエカテリンブルクに派遣して、一般市民を対象に、以下をテーマに講演会を実施 11. 02. 20 「源氏物語」 11. 02. 21 「日本の詩歌」
20	日本経済講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 03. 10 ～ 2011. 03. 24	日本経済専門家、エレナ・レオンチエヴァ（LEONTIEVA, Elena：ロシア科学アカデミー世界経済国際関係研究所主任研究員）を講師に迎え、日本経済を専門とする若手研究者及び日本経済に関心を持つ若手日本研究者を対象に、以下のテーマで、3回連続のセミナーを実施 第1回「日本と世界における2008年～2009年の経済危機」 第2回「2008年～2009年の日本経済危機の結果－政治危機と政権交代」 第3回「世界経済における日本の立場の変化－今後10年間の見通し」

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
21	ノボシビルスク講演会	ノボシビルスク	シベリア国際関係・地域研究大学	シベリア北海道センター (Municipal Culture Center “Siberia - Hokkaido”)	2011. 03. 18 ~ 2011. 03. 20	楯岡求美 (神戸大学准教授) をノボシビルスクに派遣して、「第3回シベリア日本研究・日本語教育シンポジウム」にて、以下のテーマで講演会を実施 11. 03. 18 「日本の広告」 11. 03. 20 「最近の日本の舞台作品・映画」
22	日本文学翻訳者・出版社会議	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 03. 21	日本文学翻訳者及び日本関連書籍の出版社 (東洋文学、フォルトゥナ・エル、ギペリオン、ナウカなど10社が参加) を招き、シンポジウムを実施。アレクサンドル・メシェリャコフ (MESHCHERYAKOV, Aleksandr : ロシア国立人文大学教授) の司会により、沼野充義 (東京大学教授) による日本文学の海外での翻訳状況に関する報告、ドミートリー・ラゴージン (RAGOZIN, Dmitry : 翻訳家) による、ロシアにおける日本文学の翻訳状況に関する報告の後、ロシアにおける日本文学の翻訳出版の問題点とその解決方法について議論
23	能レクチャー・デモンストレーション	モスクワ	国立演劇大学	国立演劇大学 (The Russian University of Theatre of Arts)	2011. 03. 25	津村禮次郎 (能楽師)、酒井はな (バレリーナ)、佐藤健作 (太鼓演奏家) 等による能の話 (能面や装束の紹介その他)、『融 (とおる)』『屋島』『土蜘蛛』、能舞『井筒』、ダンス『ひかり、肖像』等、古典から現代までの能作品に関するレクチャー・デモンストレーションを実施

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
24	日本映画上映会 (第1四半期)	モスクワ	国立東洋美術館 レクチャーホール	国立東洋美術館 (The State Museum of Oriental Art) 国立中央映画博物館 (ムゼイ・キノ : The State Central Cinema Museum)	2010. 04. 05 ~ 2010. 06. 07	在ロシア大使館所蔵のロシア語フィルム・ライブラリーから、一般市民を対象に、幅広く日本映画を紹介するため、以下の作品を上映 10. 04. 05 『三文役者』 (新藤兼人、2000) 10. 04. 19 『学校』 (山田洋次、1993) 10. 05. 17 『ソナチネ』 (北野武、1993) 10. 06. 07 『潮騒』 (谷口千吉、1954)
25	現代日本映画上映会 (第1四半期)	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館 大ホール		2010. 05. 26 ~ 2010. 06. 30	一般市民を対象に、現代日本映画を紹介するため、以下の作品を上映 10. 05. 26 『世界はときどき美しい』 (御法川修、2007) 10. 06. 30 『長州ファイブ』 (五十嵐匠、2006)

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
26	ドキュメンタリー映画上映会	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 08. 10 ~ 2010. 08. 13	「能」のライブ録画 (DVD) 作品を4日間連続で上映 10. 08. 10 『蠟燭能 第一夜 鉄輪』 (2004) 10. 08. 11 『蠟燭能 第二夜 紅葉狩 鬼揃』 (2004) 10. 08. 12 『雪の蠟燭能 第一夜 大般若』 (2006) 10. 08. 13 『雪の蠟燭能 第二夜 邯鄲』 (2006)
27	現代日本映画上映会 (第2四半期)	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2010. 09. 24	一般市民を対象に、現代日本映画を紹介するため『いつか読書する日』 (緒方明、2005) を上映
28	ウミヒコ ヤマヒコ マイヒコ ~ 田中泯ダンスロード in インドネシア ~	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2010. 10. 15	日本の代表的な舞踏家でロシアでも著名な田中泯 (舞踊家) が2004年10月から12月までインドネシアを旅した際の記録映画を特別上映
29	黒澤明監督映画上映会	モスクワ	全ロシア国立映画大学	全ロシア国立映画大学 (All-Russian State University of Cinematography)	2010. 10. 26	全ロシア国立映画大学主催の第30回国際学生フェスティバルで行われる黒澤特集の一環として、在ロシア大使館ロシア語フィルム・ライブラリー所蔵の『椿三十郎』 (1962)、『天国と地獄』 (1963) を上映
30	現代日本映画上映会 (第3四半期)	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2010. 10. 29 ~ 2010. 11. 26	一般市民を対象に、現代日本映画を紹介するため、以下を上映 10. 10. 29 『アヒルと鴨のコインロッカー』 (中村義洋、2006) 10. 11. 26 『鏡心』 (石井聰互、2005)
31	日本映画上映会 (第3~第4四半期)	モスクワ	国立東洋美術館レクチャーホール	国立東洋美術館 (The State Museum of Oriental Art) 国立中央映画博物館 (ムゼイ・キノ: The State Central Cinema Museum)	2010. 12. 21 ~ 2011. 03. 08	在ロシア大使館所蔵のロシア語フィルム・ライブラリーから、以下の作品を上映 10. 12. 12 『15才 学校4』 (山田洋次、2000) 11. 01. 11 『どこまでもいこう』 (塩田明彦、1999) 11. 01. 18 『NAGISA』 (小沼勝、2000) 11. 02. 08 『森の学校』 (西垣吉春、2002) 11. 02. 15 『ごめん』 (富樫森、2002) 11. 03. 08 『がんばっていきまっしょい』 (磯村一路、1998) 11. 03. 15と03. 29の上映会は、東日本大震災の影響で中止
32	黒澤明監督『夢』上映会	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2010. 12. 24	黒澤明 (映画監督) 『夢』 (DVD版) を上映
33	現代日本映画上映会 (第4四半期)	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2011. 01. 28 ~ 2011. 02. 25	一般市民を対象に、現代日本映画を紹介するため、以下の作品を上映 11. 01. 28 『ウィニングパス』 (中田新一、2004) 11. 02. 25 『遠くの空に消えた』 (行定勲、2007) 3月の上映会は、東日本大震災の影響で中止

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
34	無声映画コンサート（日本映画上映会）	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館大ホール		2011. 02. 16	一般市民を対象に、「日本無声映画名作館」より『江戸怪賊傳 影法師』（二川文太郎、1925）を、ロシア語字幕つきで上映。ロシア人音楽家、マラル・ヤクシエヴァ（YAKSHIEVA, Maral：ピアノ）の演奏とアントン・ヤホントフ（YAKHONTOV, Anton：コンピューター）による電子音楽の伴奏をつけて上映
35	映画上映会（ロシア映画人同盟）	モスクワ	ロシア映画人同盟ドム・キノ	ロシア映画人同盟（The Union of Cinematographers of the Russian Federation）	2011. 03. 02 ～ 2011. 03. 03	在ロシア大使館ロシア語フィルム・ライブラリーの所蔵作品から、三島由紀夫原作の以下の2作品を上映 11. 03. 02 『春の雪』（行定勲、2005） 11. 03. 03 『炎上』（市川崑、1958）

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
36	図書館運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	日本語及び日本文化全般に関心を持つ幅広い層のロシア人の利用を想定した集書を行い、利用に供している ①所蔵資料合計： 8,846点 （内訳：図書6,974冊、視聴覚資料数936点） ②利用者数（年間）： 3,183名 ③貸出点数（年間）： 1,885点 ④レファレンス件数（年間）： 1,242件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
37	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	モスクワ日本文化センターの実施事業の広報、図書館情報、日本語事業情報、国際交流基金助成プログラム、Japanese Book Newsのロシア語訳などを掲載 URL: http://www.jpfmw.ru/ アクセス件数（年間）： 133,517件

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
38	日本文学セミナー（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 02 ～ 2010. 06. 25	『源氏物語』の翻訳で著名な、タチヤーナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（SOKOLOVA-DELUSINA, Tatiana：日本文学研究者／日本語教師）を講師に迎え、『伊勢物語』、『枕草子』、『古事記』などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家など、さまざまな文学テキストを講読

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
39	将棋講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 03 ～ 2010. 06. 26	棋士連盟から講師イーゴリ・シネリコフ（SINELKOV, Igor）を迎え、毎週土曜日に将棋講座を実施
40	折り紙講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 03 ～ 2010. 06. 26	モスクワの子供折り紙センターより講師ゾーヤ・チャシヒナ（CHASHCHIKHINA, Zoya）を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
41	茶道講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 06 ～ 2010. 06. 15	モスクワにある表千家のエカテリーナ・ミーニナ（MININA, Ekaterina）、裏千家のアナスタシア・クドリャシヨヴァ（KUDRYASHOVA, Anastasia）講師が茶道講座を実施 表千家：毎月第1・3火曜日 裏千家：毎月第1・3日曜日
42	生け花講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 07 ～ 2010. 06. 23	生け花の各流派の講師、草月のタチヤーナ・リモナエヴァ（LIMONAEVA, Tatiana）、池坊のナジェジュダ・クズネツォヴァ（KUZNETSOVA, Nadezhda）が生け花講座を実施 草月：毎月第1・4水曜日 池坊：毎月第2・3木曜日
43	日本理解講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター ロシア国立外国文献図書館 楕円形ホール		2010. 04. 21 ～ 2010. 06. 16	日本文化の研究者・専門家などによる、以下の講座を実施 10. 04. 21 「現代歌舞伎のスーパースター：女形坂東玉三郎」 講師：ニーナ・アナーリナ（ANARINA, Nina：芸術学博士） 10. 05. 19 「日本の学校教育システムの印象。教師の家庭での一日」 講師：ヴィクトリア・オスタペンコ（OSTAPENKO, Victoria：第1535番学校副校長） 10. 05. 25 「芭蕉と西行の俳句について」 講師：山田みどり（生け花池坊流） 10. 06. 16 「北野武の映画について」 講師：アントン・ドーリン（DOLIN, Anton：映画ジャーナリスト）
44	書道講座（第1四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 04. 28 ～ 2010. 06. 23	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）による、書道講座を実施。初心者を対象に、1クラス5回のコースを2クラス開講
45	卒業記念合同イベント	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 06. 05	折り紙、生け花、茶道、書道、将棋の各講座の講師と生徒が、デモンストレーション、ワークショップを実施するとともに、日本語講座参加者による日本語コンテスト、書道講座参加者による書道コンテスト、将棋大会、カラオケ大会を実施
46	日本の歌講座（第2四半期）	モスクワ	第1535番リセ		2010. 07. 01 ～ 2010. 09. 27	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）を講師に、日本の歌講座を実施
47	墨絵講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 07. 13 ～ 2010. 07. 17	夏休み特別企画として、日本の墨絵コンクールに入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァ（SELVANOVA, Olga）を講師に迎え、全5回の墨絵講座を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
48	小物講座	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.07.20 ~ 2010.07.24	夏休み特別企画として、全5回の小物講座を実施。桜模様の鞆キーホルダー、菊のブローチ、小さいマスコット、アクセサリー入れ、楕形ブローチを作成
49	生け花講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.01 ~ 2010.09.23	生け花の各流派の講師、草月のタチヤーナ・リモナエヴァ（LIMONAEVA, Tatiana）、池坊のナジェジュダ・クズネツォヴァ（KUZNETSOVA, Nadezhda）が生け花講座を実施 草月：毎月第1・4水曜日 池坊：毎月第2・3木曜日
50	日本文学セミナー（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.03 ~ 2010.09.24	『源氏物語』の翻訳で著名な、タチヤーナ・ソコロヴァ=デリューシナ（SOKOLOVA-DELUSINA, Tatiana：日本文学研究者／日本語教師）を講師に迎え、『伊勢物語』、『枕草子』、『古事記』などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家など、さまざまな文学テキストを講読
51	日本理解講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.04 ~ 2010.09.22	日本文化の研究者・専門家などによる、以下の講座を実施 10.09.04「トルストイと日本」デイヴィス・ふみ子（作家／翻訳家） 10.09.22「日本の演歌・歌謡曲とロシア民謡」森谷理沙（音楽研究者）
52	将棋講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.04 ~ 2010.09.25	棋士連盟から講師イーゴリ・シネリコフ（SINELKOV, Igor）を迎え、毎週土曜日に将棋講座を実施
53	折り紙講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.04 ~ 2010.09.25	モスクワの子供折り紙センターより講師ゾーヤ・チャシヒナ（CHASHCHIKHINA, Zoya）を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
54	茶道講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.07 ~ 2010.09.21	モスクワにある表千家のエカテリーナ・ミーニナ（MININA, Ekaterina）、裏千家のアナスタシア・クドリャショヴァ（KUDRYASHOVA, Anastasia）講師が茶道講座を実施 表千家：毎月第1・3火曜日 裏千家：毎月第1・3日曜日
55	書道講座（第2四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.09.15 ~ 2010.09.29	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）による、書道講座を実施。初心者を対象に、1クラス5回のコースを2クラス開講 第1回目：10.09.15 第2回目：10.09.29
56	日本文学セミナー（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.10.01 ~ 2010.12.24	『源氏物語』の翻訳で著名な、タチヤーナ・ソコロヴァ=デリューシナ（SOKOLOVA-DELUSINA, Tatiana：日本文学研究者／日本語教師）を講師に迎え、『伊勢物語』、『枕草子』、『古事記』などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家など、さまざまな文学テキストを講読
57	将棋講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010.10.02 ~ 2010.12.25	棋士連盟から講師イーゴリ・シネリコフ（SINELKOV, Igor）を迎え、毎週土曜日に将棋講座を実施

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
58	折り紙講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 02 ～ 2010. 12. 25	モスクワの子供折り紙センターより講師ゾーヤ・チャシヒナ（CHASHCHIKHINA, Zoya）を1名招いて、毎週土曜日に折り紙講座を実施
59	日本の歌講座（第3四半期）	モスクワ	第1535番リセ		2010. 10. 04 ～ 2010. 12. 20	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）を講師に、日本の歌講座を実施
60	茶道講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 05 ～ 2010. 12. 21	モスクワにある表千家のエカテリーナ・ミーニナ（MININA, Ekaterina）、裏千家のアナスタシア・クドリャシヨヴァ（KUDRYASHOVA, Anastasia）講師が茶道講座を実施 表千家：毎月第1・3火曜日 裏千家：毎月第1・3日曜日
61	生け花講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 06 ～ 2010. 12. 22	生け花の各流派の講師、草月のタチヤーナ・リモナエヴァ（LIMONAEVA, Tatiana）、池坊のナジェジュダ・クズネツォヴァ（KUZNETSOVA, Nadezhda）が生け花講座を実施 草月：毎月第1・4水曜日 池坊：毎月第2・3木曜日
62	書道講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 13 ～ 2010. 11. 10	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）による、書道講座を実施。初心者を対象に、1クラス5回のコースを2クラス開講。第2四半期に引き続き実施 第3回目：10. 10. 13 第4回目：10. 10. 27 第5回目：10. 11. 10
63	墨絵講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 13 ～ 2010. 12. 08	日本の墨絵コンクールに入賞経験のあるオリガ・セリヴァノヴァ（SELVANOVA, Olga）を講師に迎え、夏休み特別企画として好評であった墨絵講座を再び全5回実施
64	日本理解講座（第3四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2010. 10. 20 ～ 2010. 12. 22	日本文化の研究者・専門家などによる、以下の講座を実施 10. 10. 20 「長野 伝統と現代」 講師：オレーシャ・ベッソノワ（BESSONOVA, Olesya：モスクワ大学アジア・アフリカ諸国大学講師） 10. 11. 24 「日本文化に反映された自然」 講師：アレクサンドル・メシュリャコフ（MESHCHERYAKOV, Aleksandr：ロシア国立人文大学教授） 10. 12. 08 「日本の革新と日露協力」 講師：今村朗（在ロシア大使館公使） 10. 12. 16 「博報財団 第3回海外児童日本体験プログラム」 講師：オクサナ・バジュリキナ（BAZYULKINA, Oxana：日本語教師） 10. 12. 22 「日本の広告：過去と現在」 講師：楯岡求美（神戸大学准教授）

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
65	日本理解講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.08 ～ 2011.03.02	日本文化の研究者・専門家などによる、以下の講座を実施 11.01.08「もうひとつのジャポニスム 伊勢型紙とモダンデザイン」 講師：生田ゆき（三重県立美術館学芸員） 11.02.17「ロシアの東洋学者ニコライ・ネフスキー—琉球文化研究者」 講師：エヴゲニー・バクシェエフ（BAKSHEEV, Evgeny：文化学博士） 11.03.02「俳句からみた日本」 講師：扇千恵（大阪大学非常勤講師／同志社大学非常勤講師）
66	茶道講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.11 ～ 2011.03.15	モスクワにある表千家のエカテリーナ・ミーニナ（MININA, Ekaterina）、裏千家のアナスタシア・クドリャショヴァ（KUDRYASHOVA, Anastasia）講師が茶道講座を実施 表千家：毎月第1・3火曜日 裏千家：毎月第1・3日曜日
67	生け花講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.13 ～ 2011.03.30	生け花の各流派の講師、草月のタチヤーナ・リモナエヴァ（LIMONAEVA, Tatiana）、池坊のナジェジュダ・クズネツォヴァ（KUZNETSOVA, Nadezhda）が生け花講座を実施 草月：毎月第1・4水曜日 池坊：毎月第2・3木曜日
68	日本文学セミナー（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.14 ～ 2011.03.25	『源氏物語』の翻訳で著名な、タチヤーナ・ソコロヴァ＝デリューシナ（SOKOLOVA-DELUSINA, Tatiana：日本文学研究者／日本語教師）を講師に迎え、『伊勢物語』、『枕草子』、『古事記』などの古典から、太宰治、芥川龍之介、夏目漱石などの近・現代作家など、さまざまな文学テキストを講読
69	将棋講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.15 ～ 2011.03.26	棋士連盟から講師イーゴリ・シネリコフ（SINELKOV, Igor）を迎え、毎週土曜日に将棋講座を実施
70	折り紙講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.01.15 ～ 2011.03.26	モスクワの子供折り紙センターより講師ゾーヤ・チャシヒナ（CHASHCHIKHINA, Zoya）を招き、毎週土曜日に折り紙講座を実施
71	日本の歌講座（第4四半期）	モスクワ	第1535番リセ		2011.01.24 ～ 2011.03.28	モスクワ在住の曾又ひとみ（オペラ歌手）を講師に、日本の歌講座を実施
72	書道講座（第4四半期）	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011.02.02 ～ 2011.03.16	モスクワ在住の石嶋かおり（書道師範）による書道講座を実施。初心者を対象に、1クラス5回のコースを2クラス開講 1回目：11.02.02 2回目：11.02.16 3回目：11.03.02 4回目：11.03.16 5回目：都合により中止

海外拠点

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
73	第3回全ロシア俳句コンクール	モスクワ	ロシア国立外国文献図書館 楕円形ホール	ハイクメナ (Haikumena)	2010. 06. 15 ～ 2010. 12. 11	ハイクメナ(Haikumena)と共催でWebサイト上で俳句を募集(10. 06. 15～10. 09. 30)。3,100句の応募があり、応募作品の中から、編集者が第1次選考を行いサイトに掲載し、一般からの人気投票を実施。最終的に、審査員によって、俳句の部と川柳の部それぞれ10句の優秀作品と20句の入賞作品を選考。またそれぞれの部で2句ずつサイトの人気投票で選ばれた読者賞を決定し、表彰(10. 12. 11表彰式)。俳句コンクールの入賞作品は、2011年第1四半期に(『全ロシア俳句コンクール作品集1998～2010』I. B. ベールイ出版社、2011)として出版
74	子供絵画コンクール	モスクワ	モスクワ日本文化センター	民話雑誌 (Jurnal ckazok)	2010. 08. 01 ～ 2010. 12. 31	月刊で各国の民話を紹介している民話雑誌(Jurnal ckazok)と共催し、モスクワ日本文化センターのウェブサイト及び『民話雑誌』8月号にて、高校生以下を対象に絵画を募集。ロシア国内のみならず、ベラルーシ、ウクライナ、イスラエルなどの海外の子供たちからも応募があり、予想を大幅に超え応募総数は3,366点。リュドミラ・ブルンツォヴァ(PRUNTSOVA, Lyudmila: 民話雑誌編集長)及びエレナ・ドロノヴァ(DRONOVA, Elena: イラストレーター)に審査を依頼し、入賞作品414点を決定。入賞作品、応募作品は『民話雑誌』誌上で公表しただけでなく、全作品を、モスクワ日本文化センターのウェブサイトに掲載。ギャラリー「リストック」で作品展も実施(11. 05. 25～11. 06. 24)
75	第2回日本大使杯将棋大会	モスクワ	モスクワ日本文化センター	棋士連盟(The Union of Players of Japanese Chess “Shogi”) 在ロシア大使館	2010. 10. 16 ～ 2010. 10. 17	初級者も含めた将棋大会を2日間にわたって実施。初級者もレーティングを得られるように、経験者と対戦。全体の1位から3位、そして、初級者第1位、女性第1位を決定。大使杯受賞者はアレクサンドル・レヴィト(LEVIT, Aleksandr: 技師)
76	国際交流基金フェロー交流会	モスクワ	モスクワ日本文化センター		2011. 03. 20	国際交流基金の元・フェローを招いて交流会を実施。交流会では、国際交流基金本部事業日本研究フェローシップ・フェロー交流会における記念講演実施のため派遣された沼野充義(東京大学教授)による記念講演「春樹VSカラマーズフー現代日本文学における偉大なロシア文学の影」を実施。参加者は20名

海外拠点

カイロ日本文化センター

合計額 36,785,599 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	カイロ・ビエンナーレ奈良美智特別展	カイロ	EL BAB GALLERY	エジプト文化省	2010.12.12 ~ 2011.02.12	第12回カイロ・ビエンナーレの特別招待アーティストとして日本の奈良美智が指名され、開会式への作家派遣及び同氏の絵画と彫刻の特別展を実施

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
2	AGA-SHIO公演	カイロ	カイロオペラハウス小ホール	カイロオペラハウス	2010.06.08	上妻宏光（津軽三味線奏者）と元オルケスタ・デ・ラ・ルスの塩谷哲（ピアニスト）のデュオ・コンサートをカイロ・オペラハウスにて実施

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	アレキサンドリア凧ワークショップ	アレクサンドリア	イスアーフ公園	アレキサンドリア図書館	2010.06.04	毎年夏にアレキサンドリア図書館が行っている子供向けフェスティバルにカイロ日本文化センタースタッフが参加、凧や折り紙、オセロを通じて日本文化を紹介。アレキサンドリア図書館が手配したエジプト人ボランティアと協力して日本文化紹介を行ったところ、参加した子供たちだけでなくボランティア・スタッフも折り紙や凧作りを覚え、日本文化に興味を抱く相乗効果もあった
4	第2回JENオープンサロン「文化としてのヒロシマ」講演会	カイロ	在エジプト大使館多目的ホール	在エジプト大使館	2010.10.17	日本・エジプト間の文化交流促進を目的とした有志の団体Japan Egypt Network (JEN)が開催する公開イベントの第2回目。外務省外国報道関係者招へいプログラムで広島を視察したアムル・ガラール (Amr Galal: アフパール紙記者) 及び、カイロの民間文化施設として主要な役割を果たしているEl Sawy Culturewheel創設者のムハンマド・エルサウィー (Mohamed El Sawy) による講演会を実施。日本語学習者による意見発表、エジプト風刺漫画家協会メンバーによるヒロシマをテーマにした風刺漫画展を組み合わせ、ヒロシマを自身の問題として考えてもらう機会を提供
5	日本映画祭Hiroshima関連事業 田邊雅章特別授業	カイロ	Shorouk School	Shorouk School	2010.10.20	映像制作者であり、被爆体験者でもある田邊雅章が、カイロ市内の私立学校シュルーク・スクールにて特別授業を実施。対象は同校の中学・高校生約30名で、同氏制作のDVDを鑑賞した後、質疑応答形式で核兵器の恐ろしさ、平和の大切さについて考える機会を提供
6	日本映画祭Hiroshima関連事業 田邊雅章特別講演会	カイロ	El Sawy Culturewheel	El Sawy Culturewheel	2010.10.22	映像制作者であり、被爆体験者でもある田邊雅章の作品上映及び講演を、カイロの民間文化施設 El Sawy Culturewheelにて実施。約200名が参加。広く一般の参加者に核兵器の恐ろしさ、平和な世界の実現について考える機会を提供。講演の後、アニメ映画『はだしのゲン』を上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
7	講演会「日本の宗教」	カイロ	カイロ日本文化センター図書館		2010. 11. 07	今井雅晴（筑波大学名誉教授／アインシャムス大学客員教授）による日本の宗教に関する概説講演会（日本語、アラビア語逐次通訳付）を実施。同教授の専門は日本中世思想史。カイロ大学やカイロ日本文化センター日本語講座の学習者等、会場の図書館スペースが満席となる約70名が参加、分かりやすい説明に参加者より高い満足度を得られた
8	第4回JENオープンサロン「日本の食文化」講演会	カイロ	在エジプト大使館多目的ホール	在エジプト大使館	2010. 11. 25	日本・エジプト間の文化交流促進を目的とした有志の団体 Japan Egypt Network (JEN) が開催する公開イベントの第4回目。国際交流基金本部の「日本文化紹介派遣(主催)」事業の一環としてシリアとエジプトを巡回。藤田貴子(和食料理人)他が、駐エジプト大使公邸料理人と共に、エジプト人ジャーナリストらを対象に、寿司等の日本の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。120名を超えるエジプト人が参加

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
9	図書館運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	<p>日本に関心のある人々にとって魅力的な図書館を目指し、英語・アラビア語の日本文化紹介図書、日本語学習者向けの教材、日本研究者向けの人文・社会科学関係の専門書及び一般向けの雑誌等、幅広く現代日本文化関連書籍を集書し提供する図書館を運営。週5日間開館（金・土曜日休館）</p> <p>①所蔵資料合計： 3,614点 （内訳： 和書1,705冊、洋書1,300冊、視聴覚資料数609点）</p> <p>②利用者数（年間）： 4,206名 ③貸出点数（年間）： 660点 ④レファレンス件数（年間）： 40件</p>

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
10	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	<p>カイロ日本文化センターのウェブサイトを定期更新し、イベント情報の広報、講座の募集などを掲載</p> <p>URL: http://jfcairo.org/ アクセス件数（年間）： 89,823件</p>

海外拠点

	事業名	期間	事業内容
11	ニューズレター発行	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニューズレター <i>Waves</i> 第13号の発行。3,000部。英語・アラビア語併記で、エジプトのみならず在外公館を通じてアラビア語圏全体に発信。第13号は、カイロ日本文化センターで実施している囲碁教室の案内と併せ、将棋や双六など、日本のボードゲームを紹介、また『基礎日本語学習辞典』アラビア語版の発行やモロッコにおける日本語教育事情等の特集

【教室事業】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
12	囲碁講座（平成22年度前期）	カイロ	カイロ日本文化センター 図書館		2010.04.01 ~ 2010.07.29	毎月第1・第3木曜日18時から20時、カイロ日本文化センター図書館にて基会所形式で開催。参加者がルールを覚え自立するまでの間は、囲碁の指導経験のある在留邦人が講師としてボランティアでルール・基本的なうちかたを指導
13	生け花講座（初級：第20回、21回、 中級：第22回、23回）	カイロ	カイロ日本文化センター 図書館		2010.04.12 ~ 2011.03.14	年間初級2回（10.04.12~05.17、10.05.31~06.28）、中級2回（10.10.11~11.08、10.01.17~11.03.14：革命のため一時休講）の4コースを実施。各コースは、期間中毎週月曜日の18時から19時、全5回。講師は、エジプト在住の町田一甫（町田一枝：未生流中山文甫会）
14	折り紙講座	カイロ	El Sawy Culturewheel	El Sawy Culturewheel	2010.07.07 ~ 2011.03.29	一般成人向けの折り紙教室をカイロの民間文化施設であるEl Sawy Culturewheelのアクティビティ・コースの1つとして実施。山折りや谷折りの基本から始め、多少複雑な作品を折れるまで、1回2時間の計3回コースとして、年間2回、（7月と3月）、各回約30名を対象に実施。参加者の高い満足度と折り紙への継続的な関心を得た

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
15	秋のお茶会	カイロ	カイロ日本文化センター3階 A教室	カイロ茶道 同好会	2010.10.26	在留邦人夫人を中心とするカイロ茶道同好会と共催でお茶会を実施（例年秋と春の2回実施しているが、本年度については2011年1月のエジプト革命を受け、春のお茶会は中止）。カイロ大学、アインシャムス大学、カイロ日本文化センター日本語講座の学習者、カイロ駐在外国大使館関係者など、招待客84名が参加し、お点前を見学・体験

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
16	全エジプト美術論文発表シンポジウム	アシュート大学 (Assiut University)	2010.11.01 ~ 2010.11.03	エジプト文化省とアシュート大学が主催する全エジプト美術論文発表会議に対し、伊部京子（和紙アーティスト）を審査員として招へいするための国際航空賃の一部を助成

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
17	津島佑子著『光の領分』演劇公演	ライティング・グループ (Lighting Group)	2010. 11. 21	アレキサンドリアを拠点に活躍する演出家、シェリフ・ハムディ (Sherif Hamdy) がエジプトを舞台に戯曲化した津島佑子の小説『光の領分』の演劇公演に対して経費の一部を助成

海外拠点

ベトナム日本文化交流センター

合計額 50,233,716 円

(1) 主催・共催事業

【展示】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	CAMAMOTO <i>On Each Milestone</i> 展	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター展示ホール		2010.07.23 ~ 2010.08.03	2009年にトーキョーワンダーサイトに滞在していたホアン・ズオン・カム (Hoang Duong Cam:アーティスト) と山本高之 (ヴィジュアル・アーティスト) により結成されたアート・ユニット「CAMAMOTO」による新作展示。ベトナムを南から北上しながら、架空の双子を演じる二人をロードムービー風に撮影した短編ビデオを制作し、上映するとともに、オープニングではパフォーマンスを行った
2	YuRiEコスプレ写真展&パフォーマンス (Active Expo 2010参加)	ハノイ	ベトナム日本文化交流センター展示ホール ハノイ児童宮 野外広場	Vietnam Social Media Corporation (VSMC) 在ベトナム大使館 Animation & Comic Community (ACC)	2010.09.11 ~ 2010.09.23 2010.09.12	世界コスプレサミット2009優勝者及び日本代表経験者の日本人コスプレイヤー、因幡☆優里、愛華しぐまを招へいし、コスプレ写真とビデオ作品の展示を行うとともに、Active Expo 2010 において、コスプレ大会の審査員を務め、コスプレパフォーマンスを披露。また、同イベントに国際交流基金ブースを設置し、日本の玩具、雑誌、折り紙、癒し系ロボット『パロ』等日本文化を紹介。Expo来場者数は、延べ1万人

【公演】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
3	いいむろなおき『マイムの時間』公演	ハノイ フエ	青年劇場 ロイヤルシアター	青年劇場 フエ・フェスティバル・センター	2010.06.02 ~ 2010.06.07	数々の賞を受賞し、その実力とオリジナリティに定評のあるいいむろなおき (マイム俳優) のソロ公演及びワークショップをハノイ (ハノイ遷都千年記念行事の一環) 及びフエ (フエ・フェスティバルへの協力事業) で実施
4	桂歌蔵・英語落語公演		ハノイ国家大学人文社会科学大学E棟8階ホール ベトナム軽音楽舞踊劇場		2010.10.19 ~ 2010.10.20	桂歌蔵 (落語家) が、①英語落語、②ベトナム語字幕付日本語落語を披露。『時そば』『権助魚 (ごんすげごかな)』など古典落語を上演したほか、創作落語として、『寿限無』ラップバージョン、『頭山』ロックバージョンのビデオを上映

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
5	斎賀みつき feat. JUST トーク & ミニライブ	ハノイ	国立映画センター		2011. 01. 14	日本アニメーション映画祭関連事業として、2010年の声優アワードで海外ファン賞を受賞した斎賀みつき（声優）によるトーク&ミニライブを実施。トークでは、声優の仕事の魅力について語るとともに、ミニライブでは、西岡和哉（作曲家）とユニットを組み、「斎賀みつき feat. JUST」としてオリジナル曲「ASK」等を披露

【講演・シンポジウム】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
6	いけばな紹介事業（第1回）	ハノイ	ベトナム女性博物館	文化庁(日本)	2010. 09. 14 ～ 2010. 09. 21	平成22年度文化庁文化交流使、佐々木康人（池坊講師／華道家）によるいけばなワークショップ及びレクチャー・デモンストレーションを計12回実施
7	いけばな紹介事業（第2回）	ダナン ハノイ ハノイ	東アジア大学 国立映画センター1階ロビー 文廟	文化庁(日本)	2010. 10. 31 ～ 2010. 11. 14	平成22年度文化庁文化交流使、佐々木康人（池坊講師／華道家）によるいけばなレクチャー・デモンストレーションのダナンにおける実施、ハノイでは日本映画祭（ベトナム日本文化交流センター主催事業）会場におけるいけばな作品展示ならびに文廟における献花式を実施
8	ふろしき紹介事業	ハノイ フエ ホイアン ダナン	ベトナム日本文化交流センター ヴィエットドゥック高校 ハノイ大学 フエ外国語大学 フエ文化スポーツセンター ファンチャウチン大学 ホイアン文化スポーツセンター ダナン外国語大学 ダナン外務局	ふろしき研究会（日本）	2011. 03. 01 ～ 2011. 03. 14	日本から半田博子と山本陽子の2名の専門家を招へいし、ベトナムの北部、中部、南部の5都市で、ふろしき紹介のワークショップを計28回実施。ハノイでは、学生のためのふろしき国際デザインコンテストの最優秀賞受賞者ファン・カイン・チャン（Phan Khanh Trang：フエ芸術大学）等の記者発表とふろしき展示会を同時開催。伝統的及び現代的な包み方を披露しふろしきの魅力を紹介。またエコプロダクトとしての関心を高めるとともに、ベトナム人がデザインした現地製作のふろしきを配布

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
		ホーチミン	ホーチミン人文社会科学大学 チュンヴオン高校 ホンバン大学 レクイドン高校 外国語情報大学 ホーチミン師範大学 ヴァンヒエン大学 マリーキュリー高校			
9	小野正嗣講演会	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム社会科学院 ベトナム文学院 フエ作家協会 フォンナム・カフェ 土曜カフェ ホーチミン市人文社会科学大学	フエ作家協会	2011. 03. 08 ～ 2011. 03. 12	小野正嗣（作家）を招へいし、「現代日本の小説～村上春樹を手がかりにして」と題する講演会を実施するとともに、ベトナムの作家、日本研究者、評論家を中心とする有識者との意見交換会を実施。意見交換会では、同氏の代表作『にぎやかな湾に背負われた船』をベトナム語に翻訳し、参考資料として配布

海外拠点

【映画】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
10	第1回ベトナム国際映画祭	ハノイ	国立映画センター プラティナム・シネプレックス メガスター	ベトナム文化・スポーツ・観光省 ベトナム・メディア・コーポレーション	2010. 10. 17 ～ 2010. 10. 21	ベトナム文化スポーツ観光省主催の第1回ベトナム国際映画祭に対し、アニメ映画『サマーウォーズ』（細田守、2009）、『時をかける少女』（2006）の出品協力を行うとともに、コンペティション部門出品作品『ハナミズキ』（2010）の監督、土井裕泰（どい・のぶひろ）の招へいに協力
11	映画『ノルウェイの森』試写会	ハノイ	メガスター	ギャラクシー・スタジオ	2010. 12. 22	村上春樹原作、トラン・アン・ユン(Tran Anh Hung)監督、松山ケンイチ主演の映画『ノルウェイの森』の試写会をプレス記者及び映画関係者、文化人等を対象に行うとともに、同監督によるティーチインを実施
12	日本アニメーション映画祭～発見！日本アニメーションの魅力～	ハノイ	国立映画センター	文化庁	2011. 01. 12 ～ 2011. 01. 16	『カラフル』（原恵一、2010）、『REDLINE』（小池健、2010）、『千と千尋の神隠し』（宮崎駿、2001）など、2000年以降に製作された話題作8本をベトナム語字幕付で上映するとともに、原恵一、片渕須直、アミノテツロの3名の監督、丸山正雄（マッドハウス・プロデューサー）を招へいし、舞台挨拶及びアニメ関係者との意見交換を実施

【図書館運営】

	事業名	期間	事業内容
13	図書館運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	現代日本を紹介する書籍（社会科学、人文学、芸術、日本語教育等）、雑誌、新聞、マンガ（ベトナム語翻訳版）を開架方式で配架し、図書館サービスを提供 ①所蔵資料合計：2,038点（内訳：図書1,949冊、DVD89点） ②利用者数（年間）：4,165名 ③貸出点数（年間）：1,441点 ④レファレンス件数（年間）：34件

【出版・広報】

	事業名	期間	事業内容
14	ウェブサイト運営	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	ベトナム日本文化交流センターの文化・芸術、日本語、日本研究・知的交流の各種イベント、事業案内のほか、文化人に対するインタビューや告知記事をベトナム語、日本語、英語で掲載 URL：http://jpf.org.vn/ アクセス件数（年間）：102,610件

海外拠点

	事業名	期間	事業内容
15	若手・中堅ベトナム人文化人招へい・記者報告会	2010.04.08	平成21年度に実施した「ベトナム中央文学芸術協会連合会グループ」（文学、映画、音楽、舞台、アニメ、建築、ジャーナリズムで活躍する若手・中堅文化人11名を日本に招へい（10.03.28～04.07））。一行の帰国直後にプレス向けに会見を行ったほかベトナム人と日本人との懇談会を実施

【その他】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
16	ホイアン日本祭2010	ホイアン	ホイアン市 旧市街各地	ホイアン市 在ベトナム大使館 国際協力機構 (JICA) 堺市 昭和女子大学	2010.08.21 ～ 2010.08.22	ホイアン市主催第8回ホイアン日本祭において、各関係機関の文化紹介イベントのコーディネートを行うとともに、浴衣着付、癒し系ロボット『パロ』の展示、折り紙、茶道、琴公演の各ブースを設置し、野外ステージでは大阪府堺市の子ども獅子舞及び島根県大田市の石見神楽の公演を実施

【本部事業受入】

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
17	巡回展「未来への回路ー日本の新世代アーティスト」展	ハノイ フエ ホーチミン	エキシビジョン・ハウス 「29ハン・バイ」 フエ市ホーチミン博物館 ホーチミン市労働文化会館	エキシビジョン・ハウス 「29ハン・バイ」 フエ市ホーチミン博物館 フエ市友好協会連盟 ホーチミン市労働文化会館 在ホーチミン総領事館	2010.05.14 ～ 2010.07.24	東芋、明和電機、須田悦弘など、気鋭の若手日本人アーティスト11組の作品42点をハノイ、フエ、ホーチミンの3都市で展示し、日本の現代アート的一端を紹介
18	「世界一の癒しロボット『パロ』とロボットセラピー」レクチャー・デモンストレーション	ハノイ	ハノイ工科大学		2010.09.29	癒し効果のあるロボット「パロ」の開発者である柴田崇徳（産業技術総合研究所）を招へいし、「パロ」に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。また「パロ」をホイアン日本祭2010、Active Expo 2010 においても紹介

海外拠点

	事業名	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
19	日本映画祭2010～千年祭を祝して～	ニャチャン ハイフォン ハノイ ホーチミン	ホアン・ホア・タム10シネマ 5月1日シネマ 国立映画センター BHDスターシネマ	ハイフォン市 外交局 在ホーチミン 総領事館 BHD社	2010.10.08 ～ 2010.11.10	平安時代を舞台にした名作『山椒大夫』、『羅生門』、『時』に関わる近年の話題作『夕風の街、桜の国』、『トニー滝谷』、『秒速5センチメートル』、『ハッピーフライト』、『明日の記憶』、『下妻物語』を選定し上映（ベトナム語吹替版）。ハノイでは、連携事業として、佐々木康人（池坊華道会／文化庁文化交流使）による「いけばな」展を国立映画センターのロビーにて開催
20	かりん&カルテット現代邦楽公演	ハノイ	青年劇場 ベトナム音楽院		2010.12.08 ～ 2010.12.09	かりん(25絃箏)、小濱明人(尺八)、石塚まみ(ピアノ)、アキーラ・サンライズ(パーカッション)のカルテットが、かりんのオリジナル曲を中心に演奏するとともに、一部ヴァネッサ・ヴォー (Vanessa Vo : 16絃箏)、トゥ・フウェン (Thu Huyen : チェオ歌手) を客演に迎え、ベトナムの伝統曲をかりん&カルテットの編曲にて競演。また、ベトナム音楽院の学生を対象に、ワークショップを実施
21	大学生のための日本研究基礎文献セミナー	ハノイ フエ ホーチミン	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文社会科学大学		2011.02.25 ～ 2011.02.28	栗田淳子(国際交流基金JFIC Library主任司書)を招へいし、日本を知るための基礎情報の在り処やポータルサイト、論文検索のためのデータベース・サイトをスライド資料を使って紹介。各サイトの使い方を具体的に手順を追って説明。また各都市とも、受入機関の教授(講師)が、ベトナムでの日本研究の状況、ベトナム語文献の紹介等を実施

(2) 助成・協力事業

【助成事業】

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
22	IN: ACT - International Performing Arts Event	ニャーサン・スタジオ	2010.08.09 ～ 2010.08.14	ニャーサン・スタジオ主催の国際パフォーマンスアート事業「IN: ACT」に対し、その経費の一部を助成。タイ、ミャンマー等アジアを中心に世界各国から10名（日本からは福島佳奈）が参加。ベトナム人パフォーマーと意見交換を行い、フィールドツアーを行うとともに、米粒を全身に浴びるパフォーマンス等各自のパフォーマンスを披露した

海外拠点

	事業名	助成対象機関	期間	事業内容
23	国際シンポジウム「ベトナム・日本戦略パートナーシップ構築：内容及び道のり」	ベトナム社会科学院	2010. 11. 03 ～ 2010. 11. 04	ベトナム社会科学院主催の国際シンポジウムに対し、経費の一部を助成。「政治・外交」「経済協力」「文化交流」「科学・教育」「安全保障」のテーマのもと、日・越の専門家・研究者により二国間関係の現状と課題に関して討議
24	もったいないフェア 7	3R Club	2011. 03. 27	ゴミのReduce、Reuse、Recycleを推進する非営利団体3R Clubが主催し、環境問題を考え、3R運動を紹介する「もったいないフェア」に対し、経費の一部を助成。学生を中心とした参加者によるフリーマーケット、エコ、環境に関わるステージパフォーマンス等を実施

【後援事業】

	事業名	主催機関	期間	事業内容
25	NASIC北澤カップ日本語スピーチコンテスト	財団法人学生サポートセンター(NASIC)	2010. 08. 24	ハノイの大学生を対象に開催された日本語スピーチコンテスト(第4回)に対して後援名義を付与

【会場提供】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
26	茶道体験教室	茶道クラブ「竹葉」	2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	ベトナム人で構成される茶道クラブ「竹葉」(藪内流)が隔週土曜日の午後に茶道教室を開くにあたり、会場を提供
27	児童によるピアノ演奏会	児童によるピアノ演奏会実行委員会	2010. 06. 13	チャン・ハー・ミー(Tran Ha My:ピアニスト)、黒田鈴奈(ピアニスト)が、ベトナムのポピュラーソングをピアノで演奏したほか、日・越双方の小・中学生が日本と西洋の名曲を演奏
28	「東遊運動におけるファン・ボイ・チャウと浅羽佐喜太郎の交流」パネル展	静岡県袋井市浅羽ベトナム会	2010. 11. 09 ～ 2010. 11. 15	「2010ベトナム・袋井交流事業」(ファン・ボイ・チャウと浅羽佐喜太郎記念/国際交流基金本部「市民青少年交流(助成)」プログラムによる事業)の一環として「東遊運動におけるファン・ボイ・チャウと浅羽佐喜太郎の交流」パネル展をハノイで実施するにあたり、展覧会場としてベトナム日本文化交流センターを提供

海外拠点

【その他】

	事業名	対象機関	期間	事業内容
29	福岡・ジャパンフェア	財団法人福岡県国際交流センター ハノイ市 ベトナム航空 在ベトナム大使館 福岡県	2010.08.10 ～ 2010.08.13	福岡県の文化・物産を紹介する福岡ジャパンフェアの会場において、①浴衣着付、②茶道、③折り紙の各ブースを設置し、来場者に日本文化体験の機会を提供

文化交流施設等協力事業に必要な経費

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

- (1) 人物交流特定寄附
- (2) 日本研究特定寄附
- (3) 日本語特定寄附
- (4) 催し等特定寄附
- (5) 文化紹介特定寄附
- (6) 文化交流施設等特定寄附

文化交流施設等協力事業費

1. 文化交流施設等協力事業費

海外の公益団体等が実施する国際文化交流事業に対して寄附を計画している場合に、国際交流基金の業務目的に合致するものに限り当基金が寄附金を受入れ、対象となる機関に援助する。

合計額 400,719,214 円

事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
(1) 人物交流特定寄附					
1 日米交流財団フェロシッププログラム	日米交流財団	米国	日米交流財団	2007.07.01 ~ 2010.06.30	米国から日本への留学生数を増加させ、将来の日米友好関係の増進を目指すため、日本への留学を希望する米国人大学生に奨学金を支給
2 ロータリー国際親善奨学支援事業	日本ロータリー奨学金委員会	全世界区分困難	ロータリー財団	2009.07.01 ~ 2013.06.30	①相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することを目的とする者を対象とした「ロータリー国際親善奨学金」②世界平和や紛争解決等の国際問題研究を行う社会人を対象とした「世界平和フェロシップ」③新たに発足する2種類の補助金（グローバル補助金、新地区補助金）の支給事業を実施
(2) 日本研究特定寄附					
3 ウェスタン・ミシガン大学曾我道敏日本センター宛基金増資事業	カラマズー会	米国	ウェスタンミシガン大学 曾我道敏日本センター	2008.12.30 ~ 2010.3.31	ウェスタン・ミシガン大学曾我道敏日本センターの事業を拡大するため、“The WMU Friends in Japan Endowment Fund”を増資し、その運用益にて①教員及び学生の日本研究の為の留学支援②大学近郊地域での日本クラブ設立及び日本文化・経済交流③永井荷風居住家屋の記念家屋指定及び保存事業を実施
4 日米研究インスティテュート	日米研究インスティテュート	米国	日米研究インスティテュート	2009.04.14 ~ 2012.03.31	京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学等が米国ワシントンに共同で設立した日米研究インスティテュートにおいて、日米が直面する問題について、学術研究を基盤とした政策的含意を持つ研究を実践し、その成果の発信やコミュニティの形成、将来の日米の意思決定を担う人材の育成等を実施
5 「故石川吉右衛門教授記念・比較日本法基金」の設立	ハーバード・ロースクール・アソシエーション・オブ・ジャパン	米国	ハーバード・ロー・スクール	2010.01.01 ~ 2011.12.31	故・石川吉右衛門(東京大学名誉教授)の功績を記念する日本研究促進のための恒久基金を設置し、その運用益にて①日本法の客員教授の招へい②日本法の学生・研究者への資金援助③日本法の図書等拡充④日本の若手法学研究者の同校への留学費用助成を実施
6 コロンビア・ロー・スクール日米交流事業	コロンビア・ロー・スクール在日同窓生寄付実行委員会	米国	コロンビア・ロー・スクール	2010.06.01 ~ 2013.05.31	コロンビア・ロー・スクールにおいて①東京でのセミナー②日本人同窓生向け行事③客員教授として招へいする日本法専門家の旅費等補助④日本のNGO活動に参加する学生への奨学金支給⑤日本法研究センターにおけるワークショップ開催費⑥日本法研究センター所長の日本への調査旅行を実施
7 ミシガン大学ロー・スクール日本法研究プログラム	弁護士法人大江橋法律事務所	米国	ミシガン大学ロー・スクール	2010.07.01 ~ 2011.06.30	ミシガン大学ロー・スクールにおいて、教職員及び学生が日本法に対する理解を深めるため、①日本法に関連する教職員の研究活動支援②日本法に関連する蔵書の収集③日本法研究部門の客員教授派遣及び招へいを実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
8	ミシガン大学 ロー・スクール日 本法研究プログラ ムのための基金設 立事業	山川 洋一郎	米国	ミシガン大学 ロー・スクール	2011.01.01 ~ 2011.06.30	ミシガン大学ロー・スクール日本法研究プログラムに活用するための基金を設置し、その運用益にて、①同ロー・スクール教授陣・学生・卒業生の日本の大学への派遣②日本の提携大学から同ロー・スクールへの研究者招へいを実施
9	長島・大野・常松 法律事務所奨学金 (コロンビア・ ロー・スクール)	長島・大野・常松 法律事務所	米国	コロンビア・ ロー・スクール	2011.07.01 ~ 2012.06.30	コロンビア・ロー・スクールにおいて、日本法への関心や日本語の知識を持ち、将来的に日米間の協力や日本法学に関連する経歴を積む明確な意欲を示す学生に対し、奨学金を支給
10	長島・大野・常松 法律事務所：日本 法・文化プログラ ム(デューク・ ロー・スクール)	長島・大野・常松 法律事務所	米国	デューク・ロー・ スクール	2011.07.01 ~ 2012.06.30	デューク・ロー・スクールにおいて、日本法・文化の研究と理解を促進するため、①JD(3年制)課程日本法紹介コースへの日本からの客員教授招へい②日本法関連図書購入③香港での夏期国際法講座への日本法教授招へい④同講座参加学生への奨学金支給⑤同校教授の日本派遣を実施
(3) 日本語特定寄附						
11	エルエスエイチ アジア奨学金	特定非営利活動法 人エルエスエイチ アジア奨学会	アジア地域区分困 難	特定非営利活動法 人エルエスエイチ アジア奨学会	2008.04.01 ~ 2011.03.31	2001年に新大久保駅の事故で亡くなった韓国人青年李秀賢の勇気ある行動を称え、同氏の国際交流の理念を実現するため、国内の日本語教育機関に在籍するアジア諸国からの就学生に奨学金を支給
12	ドイツ社団法人日 本語普及センター の事業資金	日本語普及セン ター国内募金委員 会	ドイツ	ドイツ社団法人 日 本語普及センター	2010.04.01 ~ 2011.10.31	ドイツでの日本語普及と日独の文化交流促進のため、①フランクフルト大学東アジア研究所法律用語コースへの日本語担当講師派遣②ジークブルク市及びフランス・マルリー市における書と貝合わせ展「平安に遊ぶ」③ドイツの高校生に日本への興味を呼び起こすための作文コンクールを実施
13	和独大辞典	大坂 靖彦	ドイツ	ベルリン自由大学	2010.10.01 ~ 2011.06.30	1998年に発足し、2009年11月にその第1巻が出版された、現代の日本語を対象とする『和独大辞典』の編纂事業の一環として、今後の第2巻、第3巻出版に向けた編集、校正の作業を実施
14	ジャパン・リター ン・プログラム 2009年日本語サ ミット・ニッポン 新発見塾	ジャパン・リター ン・プログラム募 金委員会	全世界区分困難	特定非営利活動法 人 ジャパン・リ ターン・プログラ ム	2008.10.01 ~ 2010.04.30	過去10回実施した「日本語サミット」の総括として、これまでに招へいた延べ128カ国162名のパネリストから海外在住10名・日本在住5名の塾生を選抜し、企業研修、日本企業若手社員とのディスカッション、各種ワークショップ、講師講演等を実施すると共に、福岡及び東京にてプレゼンテーション発表会を実施
15	ジャパン・リター ン・プログラム 2010年「勇気と平 和」日本語サミッ ト	ジャパン・リター ン・プログラム募 金委員会	全世界区分困難	特定非営利活動法 人 ジャパン・リ ターン・プログラ ム	2009.10.01 ~ 2011.03.31	世界で日本語を学ぶ青少年をパネリストとして招へいし、日本代表パネリストと共に、「勇気と平和」をテーマに日本語でのディスカッションやディベートを行う「日本語サミット」を東京都及び福岡県にて開催

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
(4) 催し等特定寄附						
16	日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト	株式会社ロッテ	韓国	日韓学生パッケージデザイン交流プロジェクト実行委員会	2009.10.01 ~ 2010.12.31	日本と韓国にてデザインを学ぶ学生の交流を推進するため、①生活用品パッケージの「デザインコンテスト」②日韓の有識者による「デザインフォーラム」とコンテスト優秀作品の「展覧会」③コンテストの入賞者に対する「学生向け研修」を実施
17	日韓交流おまつり2010	日韓交流おまつり実行委員会	韓国	日韓交流おまつり実行委員会	2010.04.01 ~ 2010.12.31	2005年の日韓友情年より毎年ソウルで開催され、2009年より東京とソウルでの同時開催となった日韓交流おまつりを開催し、日韓の伝統文化や民族芸能のステージ公演やパレード公演、自治体等の展示ブース出展等を実施
18	四天王寺ワッソ	特定非営利活動法人大阪ワッソ文化交流協会	韓国	特定非営利活動法人大阪ワッソ文化交流協会	2010.04.01 ~ 2011.03.31	古代に「なにわの津」と呼ばれ、東アジアの国際交流の拠点であった大阪・四天王寺において、古代衣装をまとった1,000名の大巡行や古代楽器の演奏、特設ステージでの交流儀式的再現等により、古代の国際交流を現代に再現する市民参加型の祭りを開催
19	日中ジャーナリスト交流会議	「日中ジャーナリスト交流会議」実行委員会	中国	「日中ジャーナリスト交流会議」実行委員会	2010.04.01 ~ 2011.09.30	日中間の最新的话题をテーマに、両国を代表する計17名のジャーナリストが率直に語り合う会議を東京及び北京で開催すると共に、ジャーナリストと大学生による討論会を実施
20	ミュージック・フロム・ジャパン創立35周年記念音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	2009.04.01 ~ 2010.05.21	ニューヨーク音楽祭として「芝祐靖 雅楽の宇宙」及び「ミュージック・フロム・ジャパン委嘱曲ハイライトII」の2つのコンサートを開催すると共に、ワシントンDCにも巡回し、「芝祐靖 雅楽の宇宙」を開催
21	ミュージック・フロム・ジャパン2011年音楽祭	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	米国	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニューヨーク音楽祭として「日本人の心を歌う」及び「東の笛、西の笛」の2つのコンサートを開催すると共に、ワシントンDCにも巡回し、「日本人の心を歌う」を開催
22	第17回ホノルルフェスティバル	ホノルル フェスティバル財団	米国	ホノルル フェスティバル財団	2010.04.01 ~ 2011.05.31	日本とハワイ及び環太平洋諸国の人々の親善と相互理解のため、民芸・物産展等の展示会、書道や生け花等の実演、小・中・高校生を対象とした伝統文化の教育プログラム、各国の伝統的なお祭り・音楽・踊り等のステージやパレード等を行うフェスティバルを実施
23	新国際版「マダムバタフライ」世界初演	特定非営利活動法人みんなのオペラ	イタリア	特定非営利活動法人みんなのオペラ	2009.10.29 ~ 2011.08.31	オペラ「マダム バタフライ」の原作における日本文化への誤認等を修正した公演を第57回プッチーニ・フェスティバルにて行うため①日本国内での告知と啓蒙のためのシンポジウム②12名の日本人役歌手を選考する国際オーディション③日本側スタッフ及び日本人歌手の現地への派遣等を実施
24	ヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ・パリ公演	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	フランス	ヴァイオリン・フェスタ・トウキョウ実行委員会	2010.04.01 ~ 2011.01.31	日本とフランスの若手ヴァイオリニストが、互いに学びあい、交流を深めるための演奏会を、パリの名門ホール「サル・ガボー」にて実施

文化交流施設等協力事業費

	事業名	寄附申込者	対象国	対象機関	期間	事業内容
25	2010年トルコにおける日本年	2010年トルコにおける日本年実行委員会	トルコ	2010年トルコにおける日本年実行委員会	2010. 01. 01 ～ 2011. 06. 30	「2010年トルコにおける日本年」を記念し、日本とトルコの交流を促進するため、日本年実行委員会が①プレオープニング式典②グランドオープニング式典③エルトゥールル号120年慰霊式典④クロージング式典を開催
26	国際犯罪学会第16回世界大会	日本犯罪関連学会連合会	全世界区分困難	日本犯罪関連学会連合会	2010. 03. 18 ～ 2011. 12. 31	「グローバルな社会・経済的危機と犯罪統制政策—地域・国家間の比較」を全体テーマとして、世界の犯罪学研究者が一堂に会し犯罪諸科学の最新の研究成果について討論や発表を行う「国際犯罪学会」の世界大会を、日本で初めて開催
27	文化経済学会〈日本〉20周年記念事業	文化経済学会〈日本〉	全世界区分困難	文化経済学会〈日本〉	2010. 10. 01 ～ 2013. 03. 31	文化経済学会〈日本〉の創立20周年記念事業として、「クリエイティブ・エコノミクスの国際化に向けて」を統一テーマに、2011年11月に東京で「2011年文化経済学会〈日本〉秋の講演会」を2012年6月に京都で「第17回国際文化経済学会（2012年）・世界大会」を実施
(5) 文化紹介特定寄附						
28	日本音楽紹介ラジオ番組制作事業	三菱商事株式会社	中国	ラジオ番組制作委員会	2010. 10. 01 ～ 2011. 09. 30	日本の最新流行音楽や若者文化、日本語等に関する情報を中国の若い世代に紹介するラジオ番組を制作し、北京外語ラジオ及び広東ラジオにて放送
(6) 文化交流施設等特定寄附						
29	アジア女子大学	アジア女子大学の設立を支援する会	アジア地域区分困難	アジア女子大学支援財団	2009. 11. 01 ～ 2012. 10. 31	2008年にチッタゴン（バングラデシュ）に設立されたアジア女子大学において、学部学生及びアクセスアカデミー（1年間の大学入学準備プログラム）の学生に対して奨学金を支給
30	日英博覧会日本庭園修復事業	特定非営利活動法人環境再生	英国	特定非営利活動法人環境再生	2009. 01. 01 ～ 2011. 12. 31	1910年5月の日英博覧会に出展され、ロンドン市ハマースミス・フラム区のハマースミス公園に保存されている日本庭園の修復を日英共同で行う事業計画のうち、日本側が担当する基本設計及び実施設計・工事の技術指導を実施

プログラム名索引（五十音順）

あ	アジア・ユースフェロシップ高等教育奨学金訪日研修	228	さ	在日外交官日本語研修	230
	アニメ文化大使	143		さくら中核事業（基金海外拠点）	185
	安倍フェロシップ	338		さくら中核事業（非基金海外拠点）	188
い	EPA 研修（交付金）	199		サンパウロ日本文化センター	527
	EPA 研修（受託）	199	し	JFIC 事業	354
	E ラーニング開発事業	238		JF サポーターズクラブ	354
	李秀賢氏記念韓国青少年招へい研修	227		事業開発（文化資料）	383
う	ウェブサイト・メールマガジン	353		事業開発（催し）	381
え	映像出版情報交流（文化資料）	151		事業評価（企画評価）	374
	映像出版情報交流（催し）	143		試験問題作成・分析評価	201
か	海外展（企画展）	49		指導的日本語教師の養成（海外日本語教師上級研修）	204
	海外展（巡回展）	53		指導的日本語教師の養成（日本語教育指導者）	203
	海外展（助成）	61		シドニー日本文化センター	486
	海外日本映画祭（主催）	130		市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）	339
	海外日本映画祭（助成）	138		市民青少年交流（主催／招へい）	39
	海外日本語教育機関等調査	157		市民青少年交流（主催／派遣）	36
	海外日本語教師研修（国別）	209		市民青少年交流（助成）	40
	海外日本語教師研修（短期）	206		市民青少年美術交流助成	73
	海外日本語教師研修（長期）	205		ジャカルタ日本文化センター	441
	カイロ日本文化センター	581		受託研修（関西国際センター）	231
き	機関連携事業	378		受託研修（関西国際センター）〔アセアン〕	232
	教育アウトリーチ支援小規模助成	331		受託研修（関西国際センター）〔サーク〕	234
	京都支部	385		受託研修（日本語国際センター）	209
く	クアラルンプール日本文化センター	470		受託研修（日本語国際センター）〔アセアン〕	210
け	ケルン日本文化会館	399		受託研修（日本語国際センター）〔サーク〕	211
こ	公演（国際舞台芸術共同制作）	116		受託事業（アセアン）	30
	公演（主催）	76		受託事業（アセアン）	47
	公演（助成・海外公演〔市民青少年交流〕）	123		受託事業（アセアン）	274
	公演（助成・海外公演〔舞台芸術〕）	82		受託事業（アセアン 第三期）	161
	公演（助成・PAJ 欧州）	113		受託事業（アセアン 第二期）	158
	公演（助成・PAJ 北米）	108		受託事業（日中交流センター）	240
	後援名義の付与	357		人材育成 Grant [米州]	259
	広報（情報センター）	352		人材育成 Grant [アジア・大洋州]	305
	国際交流顕彰事業（基金賞）	355		人材育成 Grant [欧州・中東・アフリカ]	327
	国際交流顕彰事業（地球市民賞）	356		人物交流特定寄附	594
	国際展（国際展参加）	49	せ	専門日本語研修（外交官）	217
	国際図書展参加	149		専門日本語研修（公務員）	219
	国際漫画賞	142		専門日本語研修（文化・学術専門家）	221
	国内連携促進	351	そ	造形美術情報交流（催し）	70
	国内連携による日本語普及支援（招へい）	235		ソウル日本文化センター	421
	国内連携による日本語普及支援（派遣・助成）	177	ち	地域・草の根交流小規模助成	334

地域交流研修（関西国際センター）	228	日本語学習者訪日研修（各国成績優秀者）	222
知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕	299	日本語学習者訪日研修（高校生）（関西国際センター）	227
知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕	303	日本語学習者訪日研修（大学生）（関西国際センター）	225
知的交流会議（主催）〔欧州・中東・アフリカ〕	320	日本語教材・教授法等開発・普及	212
知的交流会議（主催）〔米州〕	257	日本語専門家派遣（日本語指導助手）	183
知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕	292	日本語専門家派遣（日本語シニア専門家）	184
知的交流会議（助成）〔欧州・中東・アフリカ〕	323	日本語専門家派遣（日本語上級専門家）	165
知的交流会議（助成）〔米州〕	258	日本語専門家派遣（日本語専門家）	172
知的交流小規模助成	330	日本語特定寄附	595
知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕	291	日本語能力試験実施	200
知的リーダー交流（招へい）〔欧州・中東・アフリカ〕	318	日本語普及活動助成	190
中国高校生の招へい事業	241	日本文化紹介派遣（主催）	11
中国「ふれあいの場」事業（共同設置）	244	日本文化紹介派遣（助成）	21
中国「ふれあいの場」事業（助成）	245	日本理解促進映像制作（助成）	152
調査研究	373	日本理解促進出版・翻訳（助成）	153
調査研究	379	ニューデリー日本文化センター	480
て		ニューヨーク日本文化センター	505
と		ネットワーク整備事業（ウェブサイト構築・運営）	246
		ネットワーク整備事業（交流担い手ネットワーク構築）	246
		ネットワーク整備事業（招へい）	243
に		ネットワーク整備事業（派遣）	242
		年次報告	353
		は	
		パリ日本文化会館	408
		バンコク日本文化センター	454
		ふ	
		フィルムライブラリー充実（海外）	148
		フィルムライブラリー充実（本部）	146
		舞台芸術情報交流	117
		舞台芸術情報交流（内田奨学金フェローシップ）	75
		ブダペスト日本文化センター	561
		文化協力（主催）	2
		文化協力（助成）	4
		文化交流施設等特定寄附	597
		文化事情調査	376
		文化紹介特定寄附	597
		文化人招へい	8
		へ	
		北京日本学術研究センター研究支援（北京外国語大学）	268
		北京日本学術研究センター研究支援（北京大学）	268
		北京日本学術研究センター招へい（北京外国語大学）	266
		北京日本学術研究センター招へい（北京大学）	267
		北京日本学術研究センター派遣（北京外国語大学）	264
		北京日本学術研究センター派遣（北京大学）	265
		北京日本文化センター	433
		ベトナム日本文化交流センター	585

ま	マドリード日本文化センター	550
	マニラ日本文化センター	462
め	メキシコ日本文化センター	522
も	モスクワ日本文化センター	566
	催し等特定寄附	596
ろ	ローマ日本文化会館	390
	ロサンゼルス日本文化センター	515
	ロンドン日本文化センター	540